

Yukar
Kachō Kor Mat

ユーカラ
太鼓を持つ女

金成マツ

切替英雄・高橋靖以 訳

目次

太鼓を持つ女	1
例言	1
原テキスト	1
表題	2
編集要綱	4
原テキスト第1ページ（影印と翻刻）	5
分担	6
参考文献	6
物語 太鼓を持つ女	7
第1段 オタサム彦の語り	7
第1章 お爺さんに養われて 妹の成長	7
第2章 両親とエトロバの親族、いいなずけ	8
第3章 旅立ちと淫乱のペケンヌップ姫	9
第4章 クナシリ彦の招きとペケンヌップ姫の乱行	11
第5章 エトロバ村に到着する	13
第6章 水銀の槍	14
第7章 クナシリ彦への復讐	16
第8章 ペケンヌップ彦への復讐	17
第2段 オタサム姫の語り	18
第9章 傷つきながら戦う兄を透視する	18
第10章 オタサム村へ帰る	21
第3段 オタサム彦の語り	23
第11章 オタサム彦にたいする女たちの治療と介護	23
第12章 夢に狼神の妹が現れる	24
第13章 母が教えてくれた雷神の娘の企み	25
第14章 オタサム村での暮らし	27
第15章 一族を招待する	29
第16章 婚姻	31
第17章 初夜	33
太鼓を持つ女	35
第1段 オタサム彦の語り	35
第1章 お爺さんに養われて 妹の成長	35

第2章	両親とエトロバの親族、いいなずけ	40
第3章	旅立ちと淫乱のペケンヌップ姫	51
第4章	クナシリ人の招きとペケンヌップ姫の乱行	60
第5章	エトロバ村に到着する	73
第6章	水銀の槍	81
第7章	クナシリ彦への復讐	89
第8章	ペケンヌップ彦への復讐	95
第2段	オタサム姫の語り	99
第9章	傷つきながら戦う兄を透視する	99
第10章	オタサム村へ帰る	118
第3段	オタサム彦の語り	131
第11章	オタサム彦にたいする女たちの治療と介護	131
第12章	夢に狼神の妹が現れる	137
第13章	母が教えてくれた雷神の娘の企み	142
第14章	オタサム村での暮らし	160
第15章	一族を招待する	171
第16章	婚姻	185
第17章	初夜	197

例言

1. 原テキスト

本書で紹介するアイヌ語テキストは、アイヌ英雄叙事詩（ユーカラ）の一編であって、萱野志朗氏（萱野茂二風谷アイヌ資料館）が所蔵するいわゆる「金成マツノート」（金成マツ遺稿）に依っている。但し、翻訳に当たって北海道アイヌ協会から送られた原テキストの複写（影印）を用いた。

幸いにして萱野志朗氏、北海道アイヌ協会のご厚意により、2016年7月1日、原テキストの複写作業に立ち会うことができた。

手帳は幅約 190mm、高さ約 226mm、厚さ約 20mm の大きさで、糸かがりであるのはもちろんのこと、表紙が布張りであり、立派な装丁がされている。表紙には NELSSON NOTE BOOK という銘柄が印字されている。また、XIV とローマ数字による書き込みが見られる。裏表紙には「S7 トゥミアンレウケ他」と認められている。見返し左には次のような商標が貼ってある。

STATIONERS

京東

屋東伊

price 135

Nº 2

見返し右には、表紙にあると同様、XIV が書き込まれている。手帳 INDEX 欄にはマツ自身が次のように記している。また、次のページの INDEX 欄で、金田一はこれを次のように書き換えている。

Tumianreukep Kanianreukep

Etorba um mat kachō koro mat

Kanirapo Noka pon Akoro Sapo

ツミアンレウケプ カニアンレウケプ	Tumi anreukep kani anreukep	p. 1 — p. 101
エトロバ姫、太鼓をもつ女の物語	Etorba um mat Kachō kor mat	p. 1 — p. 76
金翅の形ある我が若き姉の物語	Kani Rapko Noka pon Akor Sapo	p. 1 — p. 43

この手帳の三つ目のユーカラの p. 43 には、下記のような自署が認められている。本書で翻訳した Etorba um mat kachō koro mat には、残念なことに、摺筆した日付が記されていないから、執筆年月日を推定するうえで参考になる。おそらく摺筆日は、この日付から十日も遡るまい。

昭和七年五月十六日北海道室蘭本線 登別村ニテ 金成マツ

翻訳・編集にあたって、本編集者は影印によって作業し、直接手帳にもとづいているわけではないので、以下、影印から知り得ることを記し、かつ編集方針を示す。

2. 表題

この叙事詩の表題^{*1}としてマツは次節に示した影印に見られるように、冒頭に

Etorba um mat Kachō kor mat yayirap

と記している。「カチョーを持つ女、エトロバ姫が物語る（歌う）」と訳せよう。「カチョー」は樺太アイヌが用いた単語で、シャーマンが打ち鳴らす太鼓を指す。ニブフ語（ギリヤーク語）由来の樺太アイヌ語であって、北海道のアイヌはこの語を用いないし、北海道のトゥスクル（シャーマン）がこの太鼓を用いたということも管見にない。この太鼓はヒーローのオタサム彦の許嫁であるエトロバ姫が、その母（ヒーローの叔母）から受け継いだものである（*l. 6013*）。撥で叩くとシャーマンの力が増すと狼神の妹が夢に現れて説明している（*l. 5997*）。事実、オタサム彦を治療するとき、エトロバ姫は傷口から出る猛毒の水銀を吸い出すが、そのあと、打ち鳴らされる（*l. 4820*）。また、瀕死のオタサム彦が戦っているさなかでも、打ち鳴らされてオタサム彦を応援する（*l. 2788*）。また、保持する者のお守り（背後で守るもの）にもなるとも説明されている（*l. 6013*）。

シャーマンの太鼓は、それがヒーローの叔母のものであったという叙述から、女系をたどって受け継がれるものであることが知られる。したがって、オタサム彦の祖母が樺太につながると推察するのもあながち不当ではあるまい。また、このユーカラは、宗谷アイヌが樺太アイヌより伝承したハッキ（ユーカラ）が天塩川流域のアイヌによって近文のアイヌにもたらされ、その地のアイヌ（たとえば川村ムイサシマツのような人）からマツが聞き覚えたものなのかもしれない。もっとも、これは推測に過ぎない。

yayirap ヤイラフ [jaírap] は、ユーカラ [júkar] と同じ意味の動詞・名詞と思われる。バチラーが *n. An ode.* と示している語 yairap、久保寺逸彦が「少年英雄の戦物語 室蘭——口蝦夷」と示している yairap ないし yairap に相当するものに違いない。なお、石狩、十勝、釧路のアイヌはユーカラをサコロベ [sákorpe] と呼んだ。

Kachō 「シャーマンの太鼓」に見られる長音符号の使用は、多分マツがバチラーに教わった日本語ローマ字表記法に由来するものであろう。樺太アイヌ語では母音の長短が重要であるが、北海道のアイヌ語諸方言では母音に長短が区別されない。なお、この長音符号は、このユーカラ本文では用いられず、ただ表題に見られるにすぎない。

本書ではア・日両表題を次のようにすることにした。

アイヌ語表題 Kachō kor mat
日本語表題 太鼓を持つ女

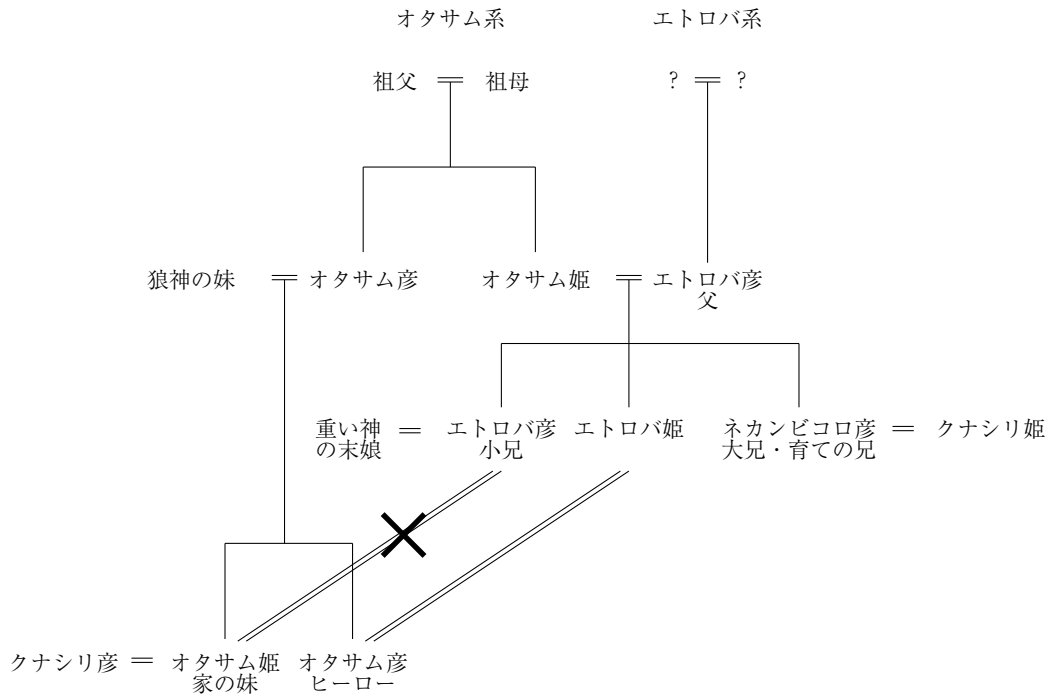
3. 「太鼓を持つ女」を理解するために

ユーカラ「太鼓を持つ女」は、オタサム彦（ヒーロー）とエトロバ姫（太鼓を持つ女）とが結婚に至る物語をヒーローの視点から述べるものである。もっとも、途中、オタサム彦の語り（第2段）が入っていて、やがて再びオタサム彦の語りに復帰する（第3段）。これは、ari an ko oyak ta terke 「ここまでで、（話は）よそに飛ぶ」という常套句二つによって示されている。しかし、二度目のオタサム彦の語り（第3段）の中ではオタサム彦の母なる狼神の妹の語り（夢のお告げ）として比較的長く引用されている。引用の境にはこの常套句は挟まれていない。したがって、本稿では、このユーカラを三つの段に分け、狼神の妹の語り（夢のお告げ）は第3段に含ませた。

ヒーローと妹のオタサム姫「家の妹」は父のオタサム彦と狼神の妹との間に生まれ、祖父（父オタサム彦の親）に育てられた。ヒーローと妹の両親は、早くに死亡し、神の国に帰っている。この物語の理解の便宜に、オタサムとエトロバの二つの家族の系譜を説明しておきたい。下図では、実線が血縁関係、二重線が許婚・婚姻関係を示している。

このユーカラには、オタサム系の祖父とその孫のオタサム彦（ヒーロー）、ヒーローの妹（家の妹）、エトロバ

^{*1} アイヌ口承文芸の個々の作品には、本来、現在見るような定まった表題、つまり作品の一部としての表題はついていなかった。だから、マツのこの記述もそういった意味での表題と見るべきかどうか疑問が残る。



系のエトロバ彦（小兄）、エトロバ姫、ネカンビコロ彦（大兄・育ての兄、ニカンビコロ彦とも呼ばれる）の他にペケンヌップ彦・ペケンヌップ姫兄妹、クナシリ彦・クナシリ姫兄妹、コタンラ彦・コタンラ姫兄妹が登場する。また、ヒーローの母、狼神の妹がヒーローの夢に現れて、この物語で描かれる異常な事件の真相を告げる。

第1段で、ヒーローは祖父の意向に従い、許嫁であるエトロバ姫と結婚するため、ある種の不安を覚えつつエトロバ村に赴くが、途中、痴女ペケンヌップ姫に執拗にまとわりつかれる。ペケンヌップ村の次に立ち寄ったクナシリ村、目的地であるエトロバ村でもペケンヌップ姫の背徳的な行為により、クナシリ彦、エトロバ彦（小兄、妹オタサム姫の許嫁）の怒りを買う。エトロバ村では、妹の許嫁に水銀の槍で刺しぬかれ、瀕死の重傷を負う。クナシリ彦の誤解と怒りをなだめるため、クナシリ彦の元にお守りのトンビ（何らかの発光体）を残していく。エトロバ村に着いて、トンビを持っていなかったためか、エトロバ彦に水銀の槍に刺される。それから狂気にかかれ、水銀の毒がまわり朦朧となっているにもかかわらず、エトロバ彦、ペケンヌップ姫を殺し、三つの村を滅ぼす。

オタサム姫（家の妹）が語る第2段では、ヒーローとともに戦ったクナシリ姫と太鼓（カチョー）を持つ許嫁のエトロバ姫と、妹のオタサム姫（家の妹）が、水銀の毒により瀕死の状態に陥ったヒーローを介抱し、生き返らせたことが述べられる。

再び語り手がヒーローとなり（第3段）、夢に現れた母なる狼神の妹から事件一切が雷神の末娘の企みであったことが教えられる。雷神の末娘は、ペケンヌップ姫を痴女に仕立てる。そのため男たちに怒りと狂気を生む。男たちを争わせて、戦いの中でヒーローを死なせる目論見であった。身体が減んだヒーローの魂と神の国で結婚しようという企てである。

狂気のヒーローに殺されたエトロバ彦（小兄）は、オタサム姫の許嫁であったが、その魂が神の国に昇り、「尊い神の末娘」と結婚した。許嫁を失ったオタサム姫は、ヒーローの指図でクナシリ彦と結婚することになる。

クナシリ姫は「イノウ冠をかぶった女」とも呼ばれる。よい娘で、オタサムの味方になって刀を振るって奮戦する。オタサム彦が強く惹かれ、一度は妻にしたいと思ったほどだが、ニカンビコロ彦と結ばれる。

エトロバ姫はオタサム彦の生れたときからの許嫁である。オタサム彦の叔母にあたる母から受け継いだ太鼓のため、最もシャーマンとしての力が強い女である。オタサム彦の槍の創傷に口を当てて猛毒の水銀を吸い取る。

ニカンビコロ彦（ネカンビコロ彦とも）はエトロバ彦（小兄）とエトロバ姫の育ての兄である。人柄がよいだけの凡庸な男として描かれている。優れた容貌と雄弁の才が具わっているともいわれるが、この物語で重要な役割は果たしていない。クナシリ姫と結婚する。

狼神の妹は、夢で息子のオタサム彦に、ペケンヌップ姫を痴女に変え、男たちが殺戮に狂奔したのは雷神の企てであったことを教える。

ペケンヌップ姫は、美しい娘であったが、女は雷神の末娘により醜く淫乱な女に変えられ、この事件の引き金役となる。オタサム彦らを狂気に至らしめる。オタサム彦に斬り殺される。後に蘇ってオタサム一族であるコタンラ彦と結ばれる。

以上の登場人物のうち、クナシリ彦は重要な登場人物の一人であり、次に述べるペケンヌップのように異族ではなく、オタサムの元からの親族である。しかし、ヒーロたちとの系譜関係は具体的に説明されていない。許嫁を失ったオタサム姫と結婚する。

一方、ペケンヌップ彦も重要な登場人物であるが、本来、オタサムの親族ではない。事件が解決し平和が回復してのち、コタンラ彦と結婚することになる。

コタンラ彦・コタンラ姫兄妹の二人は事件が解決したあとの祝いの酒宴で初めて登場し、「異彩を放つ鳥のように」と説明されているが、事件において積極的な働きは何一つしていない。しかし、ペケンヌップ兄妹とは異なり、オタサムの本来の親族とされている。とはいえ、これも系譜上の関係について、それ以上は語られていない。したがって、婚姻を通してペケンヌップ兄妹をオタサムの親族に組み入れるためだけに、大団円たる酒宴に席に登場させられた者のようにみえる。

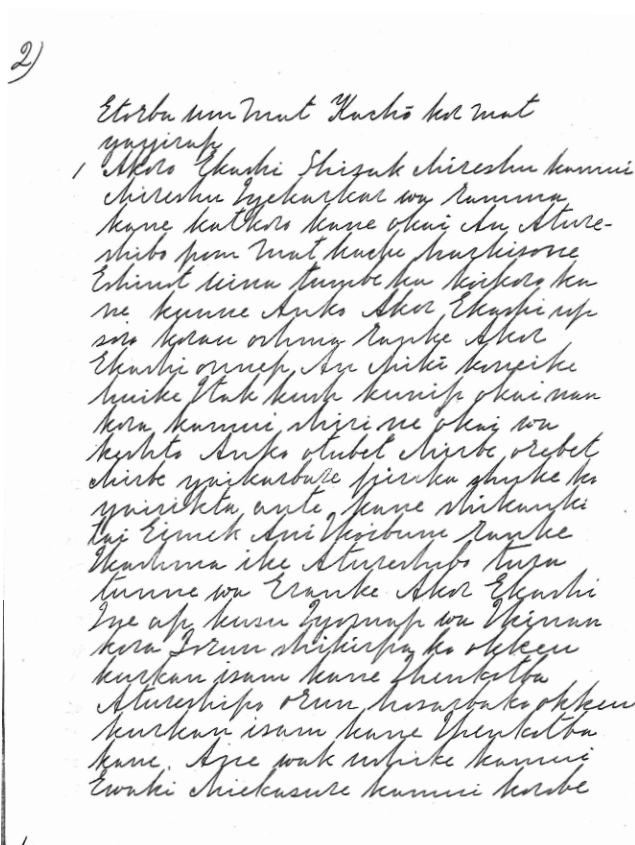
オタサムの兄妹を育てた祖父は孫の危機にさいして隊列を率いて出征するが、戦のさなか死亡する。はっきりと述べられていないが、狂った孫の刃にかかったものと思われる。蘇りの機会が与えられるが、オタサムに平和が戻ったのを見て安心し、神の国に残ることを希望する。

戦で死んだ者たち、滅んだ村々はエトロバ姫の訴えにより、神々が蘇らせる。ただ、神の国で結婚したエトロバ彦は神の国に残る道を選ぶ。

4. 編集要綱

マツのテキスト（原テキスト）の最初のページ（p.1）を複写して次ページに掲げた（影印）。「太鼓を持つ女」II. 1-47に相当する冒頭部分である。原テキストの紙面の体裁はこれから推し量れよう。これを忠実に複写したとすればその右のようなものとなるか（翻刻）。本書ではこのようなものを以下の要領で提示した。

- (a) 行を改めた。叙事詩のリズムに合わせ、1行が4音節ないし5音節に収まるように改行した。これはアイヌ語の詩句（詩行）に一致する。但し、例外もきわめて多く、6音節以上になることがある。
- (b) 大文字の使用を固有名詞の頭に限定した。そのほかの大文字は、文の頭を除いてすべて小文字に換えた。マツの大文字の使用については、よくわからない点が多い。大文字が文頭で用いられると決まったわけではない。但し、人名、地名などの最初の文字は大文字となっている。人称接頭辞（a-, an-, i-, e-, echi-）のつけられた語がたいがい大文字で始まっていることが注意される（例：影印1行目の Akoro (a-koro)「我の」）。また、小文字の母音字のうち o は、点を打ち忘れた i と紛らわしく、a と u の違いもしばしば紛らわしい。行頭およびスペース直後の大文字の繁用はそのような曖昧さを回避するためと推察される。
- (c) 原テキストには句読法を指示するピリオド、コンマ、また、引用符“——”など、いわゆる約物が用いられていない。
- (d) 語、助詞は、その境界で切った。但し、強固な語や助詞連結の表記にあたり、この原則に従わないこともある。たとえば、影印にはないが、harki sotta「左座に」は、harkiso ot ta の短縮形である。これを harkiso't ta あるいは harkiso t ta などとはせず、一つの副詞として扱い harkisotta とした。
- (e) 語、助詞が空白（スペース）や改行によって途中で切断している場合はそれらの断片を結合した。たとえば影印8行目から9行目にわたる up と soro は1語であるから upsoro「ふところ」とした。



原テキスト「太鼓を持つ女」の第1ページ（影印と翻刻）。ll. 1-47.

Etorba um mat Kachō kor mat
yayirap

- 1 Akoro Ekashi Shisak chireshu kamui
chireshu Iyekarkar wa ramma
kane katkoro kane okai An Ature-
shibo pom mat kachi harkisone
Eshinot uina tambe ka koikoro ka
ne kunne Anko Akor Ekashi up
soro korau oshma ranke Akor
Ekashi onnep An chiki koneike
huike Itak kush kunip okai nan
kora kamui shiri ne okai wa
keshto Anko otubet chirbe orebet
chirbe yaikarbare pirika shuke ko
yairikta ante kane shikanki
tai Eimek Ani Ikoibuni ranke
Ikashma ike Atureshibo tura
tunne wa Eranke Akor Ekashi
Ine ap kusu Iyomap wa Ikinan
kora Iorun shikirpa ko okkeu
kurkan isam kane Ihenkotba
Atureshipo orun hosarbaka okkeu
kurkan isam kane Ihenkotba
kane Ane wak ushike kamui
Ewaki chiekasure kamui korobe

- (f) 原ノートの行末に見られるハイフンはすべて落とした。たとえば影印4行目から5行目にわたる *Ature-* と *shibo* は *a-tureshibo* 「我が妹」として1行におさめた。原ノートではこのような場合以外にハイフンが用いられることはない。
- (g) 長大な動詞が2行にまたがるときは、1行目の末尾にハイフンを補った。
- (h) 原テキストでは人称を示す接頭辞は多くの場合、人称語幹と結合されて示されているが、本書ではこの境界にハイフンを挿入した。たとえば影印1行目の *Akoro* 「私の」は *a-koro* に、20行目の *Ihenkotba* 「我を愛撫する」は同様に *i-henkotba* に改めた。
- (i) 人称を示す接尾辞 *-an* は固有のアクセントを持つため、それを反映して人称語幹と離されて示されることが多いが、現在の習慣にしたがい、ここにもハイフンを挿入した。たとえば影印5目行の *kane okai An* は *kane okai-an* 「我は——している」となる。
- (j) 各行（詩句）に通し番号をつけた。
- (k) 原テキストには一切の章立てはない。ここでは、内容よっての17の章に分た。
- (l) アイヌ語片仮名文は原テキストにはないものである。マツは *ne* 「その」（繫辞類）をときおり *nei* と、*re* 「名」を *rei* と書くことがある。これはいずれもアクセントのある *né*, *ré* であって、John Batchelor のアイヌ語綴

- りの影響を受けたものと思われる。その綴りはそのままとしたが、片仮名表記ではそれぞれネ、レとした。
- (m) アイヌ語片仮名文の下に記した逐語訳は極めて大雑把なものである。例えば **ne** は繫辞であって、「AはBである」と訳せる。しかしまた、「AはBになる」のような状態変化を意味することもある。また「BであるA」のように連体修飾語にもなる。Bが自明なときはBが省略されるから、「それであるA」つまり「そのA」のようになって、指示形容詞としても使われる。これを一括して繫辞類として示した。
- (n) たとえば、**a-kore** は「我はAにBを与える」の意味であるが、また「我らはAにBを与える」と複数の意味で、さらに「AはBを与えられる」と受動の意味でとるべき箇所も多い。またさらに、**i-kore** は「Cが我にBを与える」とも「Cが我らにBを与える」とも訳せる。これらを、かならずしもすべてというわけではないが、一括して「我・与える」とした。紙面の制約があって、たとえば繫辞類を**繫**、理由・目的の接続詞を**根拠**、形式名詞を**形名**、音節調整の助詞を**音調**などと略記して記した。
- (o) 日本語訳は素直に読めるよう工夫したが、なお通読しにくい箇所が多い。これは、読みやすさをある程度犠牲にしてアイヌ語の詩句を逐条的に翻訳することがいくらか多かったからにはほかならない。読者には、「物語 太鼓を持つ女」によって物語の大意を把握せられたい。
- (p) 脚注は、主に原テキストと本書の表記の違いを示すにとどめた。
- (q) 「物語 太鼓を持つ女」はこの叙事詩の日本語訳をもとに一編の物語として編んだものである。欄外の数字は該当する叙事詩の行番号を示す。
- (r) 念のため記すが、編者が原テキストに改編を加えたとすれば、それは改行と分綴とハイフンのあるなし、大文字・小文字の別、明らかな誤りだけである。原著者の誤記については、脚注に原綴りを記した。

5. 分担

編集に当たっての分担を示す。

- (a) 原テキストの解説・翻訳（数字は「太鼓を持つ女」の行番号）
切替英雄 II. 1—3772
高橋靖以 II. 3773—8791
- (b) 片仮名アイヌ語表記
切替英雄・山下浩一
- (c) 逐語訳
切替英雄・高橋靖以
- (d) 物語 太鼓を持つ女
切替英雄 II. 1—3772
高橋靖以 II. 3773—8791
- (e) レイアウト・組版
切替英雄・山下浩一

6. 参考文献

- (a) 最初から最後まで『アイヌ叙事詩ユーカラの研究 II』（金田一京助. 東洋文庫. 1931年）『アイヌ叙事詩ユーカラ集 I-VII』（金成まつ筆録, 金田一京助訳注. 三省堂. 1959-1966年）にはお世話になりっぱなしであった。難解な語句は、ほとんどこれらの書物に何らかの言及がなされていた。
- (b) 『アイヌ・英・和辞典』（第4版. ジョン・バチラー. 岩波書店. 1938/1981年）と『アイヌ叙事詩神謡・聖伝の研究』（久保寺逸彦. 岩波書店. 1977年）と『アイヌ語沙流方言辞典』（田村すず子. 草風館. 1996年）は有益な情報源となった。
- (c) 『アイヌ語・日本語辞典稿』（久保寺逸彦. 北海道教育委員会. 1995年3月）からは、表題にある yayirap につき教えられた。

物語 太鼓を持つ女

第1段 オタサム彦の語り

第1章 お爺さんに養われて 妹の成長

- 1 お爺さんがたぐいさない育て、神の育てを我にほどこしてくれて、それで我はいつも変わりなく暮らしていた。
- 8 幼い妹が左座で遊び、炉の灰の中で水鳥が水を切るよう戯れていた。妹は、日が暮れるとお爺さんのふところに潜り込んだ。
- 18 お爺さんは老いがそなわり、どこもかしこも言葉で讚えようもないほど神さながらであって、毎日多くのしずくで手を清め立派な食事を用意し、高々と膳を上げて、頭の上に掲げて給仕してくれた。余るほどのものを妹と二人で食べた。
- 39 お爺さんは、なんと我らを愛してくれたことでしょう。我に顔を向け、首が見えなくなるほどうなづいて我を愛撫した。妹の方へ振り向いて、首がなくなるほどうなづいて愛撫した。
- 52 我らの住いは神の住いを凌ぐほどすばらしかった。宝物の大きな列が切り立った懸崖のように伸びていた。その上に首領の佩く刀の多くの柄（つか）に付いていて垂れ下がる飾り房が揺れていた。その上で神々しい光が輝いていた。好ましく思う心が胸に揺曳した。右座などには、金の女物の小箱が並び、その下が輝いていた。大きな宝列が下座の隅まで届いていた。その手前に金の枕、女物の枕が横たわっていた。その上には、どこの国の人が、どこに生まれた人が作ったものなのか、金の刺繍衣、神の刺繍衣が竿をしならせて掛かっていた。その表面にはおびただしい神の光が輝いていた。我はうっとりとした。
- 96 金の畳の上は広々としていた。金の炉縁木が伸び行くさまは、ルマイベの色に色づき、その手前に金の板づくりの寝台が伸びていた。その上で我は育てられていた。我は美しく成長したようで、身の傍らが光り輝いていた。
- 112 濃いもやの中に我は入り、二つの成長、三つの成長を

我は競い合わせた。今やさほど大きくはないが、立派になった我が身を眺めていた。それとともに、我が妹も既に炉の灰で遊ぶこともせず、左座で女の寝床をお爺さんが美しく作り、そこに妹を寝かせた。

「おまえは、もうこれほどまでに大きくなったからには、女のふるまい、淑女のたしなみに従って、別の寝床を取るようになさい。女がこれほどになれば針仕事など稽古するものだ。」と言いながら、女物の鞆を引きずり出した。

妹はとても喜んで絹の布を出して大きな袋溜め、小さな布溜めを連ねていた。糸が突っ張り、布が縮んだ。お爺さんは、たいそう喜んで、「おやまあ、まことに我が孫娘は上手なものだ。実に上手だ。」と我が妹を誉めた。妹は誉められて本当にお上手と言われたと思込んで内心嬉しそうにしていた。お爺さんは後ろを向いてクック、クスクスと笑っている。上手も上手、我もおかしくて後ろを向いてクスクス、クックと笑った。

妹は不審に思ってお爺さんと我をしげしげと眺めた。我らが笑っているのを眼で捉えるや、逆さまにひっくり返って足をバタバタして、泣き声をあげた。お爺さんはさも驚いたように、頭を掻きながら

「おやおや、どうした。神の孫娘よ。なにを泣いているのか。心も破れるではないか。家の中の召使と外の召使が何か変なことを言っているので笑ったまでのこと。我が孫娘よ、こんなに上手なのに、なぜ我らが笑うものか。少しも笑ってはいないのですよ。」と

言いながら、妹になだめの言葉を数々かけて、教え諭したら、妹はそれを真に受けた。涙で濡れた眼を開けて毎日袋溜めを作って、布をつっぱらすのに精を出した。

今や時が巡り、我が妹は女の姿形が身に具わり、肌着の紐を胸高に結ぶようになった。神のような姿となり、濃いもやに包まれた。どうにも讚えようがないほどであった。あんなにへたくそに縫ってはおかしくて笑ってしまうような運針であったのに、なんとまあ、上手になったことか。

- 253 刺繍で彩られた着物が二つの神雲となり、三つの神雲となって立ち昇った。我は刺繍を子細に眺めて、その見事さに魂がゆすぶられた。お爺さんも炉の向かいの座で手の平を上へ下へと揺すり礼拝してこう言った。
- 267 「以前はあれほど上手だったのに、今はへたくそだな」と言ったが、妹は聞こえないふりをして、少しも気にとめていない様子なので、我らは密かに腹を抱えていた。
- 284 妹は早や調理も、掃除も上手にこなせるようになった。毎日妹はおいしい料理を自分の頭より高く掲げ持って配膳した。
- 297 我も宝刀の柄や鞘に刻紋を施し、宝物の器の表面に彫刻するのに一心不乱であった。神々しい形象を数々連ねた。一人で作ったものながら、その全き好ましさに我が心は揺曳した。

第2章 両親とエトロバの親族、いいなすけ

- 308 ゆくりなくも耳にしたことは、遠くのエトロバ彦は、二人の男きょうだいと妹が一人であって、兄は人呼んでニカンビコロ彦、弟とともにその面魂、その器量は神の世界にも人間の世界にも及ぶものがないといううわさが聞こえてきたが、
- 327 ある日、お爺さんは何か言いたいことがあるのか、沖の燃え炭を陸に寄せ、陸の燃え炭を沖に寄せ、灰ならして立てた数々の条を突き刺したりまた条をつけたりしながら言うことには、
- 341 「もしもし、我が育ての孫、神なる人と孫娘よ、今こそおまえたちの先祖の物語を聴かせよう。しっかりと聴いてほしい。
- 353 この村はその名をオタサムとって、昔、我には息子が一人、妹一人あり、とともに住んでいた。
- 362 我が息子は容貌、胆力ともに人間世界にも神の世界にも並ぶべき者がいなかった。その噂が多くくの国々を越えて、名声高く広がった。
- 374 おりしも天界では狼神は二人兄弟で、また二人の姉妹があって、その妹が我が息子の力量、弁の才、容貌に心が浮き上がるほど惚れきってしまった。兄たちと姉に結婚の許しを乞うが、許しが得られなかった。
- 389 死のうとして何も食べずに泣いて頭を掻きむしった。神々は大変心配した。そこで結婚を許した。
- 396 神の娘は家ごと宝物とともにオタサムの村に降りて結婚した。二人はととても仲良く、その評判が立ったけれど、

- 遠くにいる者たち、近くにいる者たちは皆して我が息子をそねみ、嫉んだので一つのいくさ、一つの戦いをオタサムの村に海から仕掛けるため戦いの準備をしていた。我が鎮めるオタサムであるから、息子夫婦も我が夫婦も 414
- 二つの波を越え三つの波を越えていくさばかりの、殺し合いばかりの辛い生活を送っていたとき、我が息子の征戦が遠く、(共に戦う) エトロバ村に伸びたとき、
- エトロバ彦は神なる勇者で、殿(和人)の法令にも神のしきたりにも従い、それでおのれの村を鎮めていたのだが、いくさに飽き、戦いに倦んだ。我が息子と 428
- 同じいくさ、一つの戦いに苦労を共にしたが、いくさの合間休息をとったとき、いくさの礼、同盟の挨拶をしようと、我が娘のオタサム姫が宝物を首から下げさせられ、エトロバ村に嫁いだ。
- その間から男が二人、女が一人生れた。これらの人々は、それこそ非常な評判が立ったようだ。さらに、神の女(狼神の妹)からおまえたち二人が生れた。 454
- わが息子夫婦(息子と狼神の妹)もエトロバの甥夫婦(オタサム姫とエトロバ彦)たちも余りに人間の国で憎まれ、憂いばかり、不安ばかりの苦労が絶えなかった。そこで、神の国に行き、本当の結婚、全き結婚をするためにまだ若かったが一緒に神のもとに昇ってしまった。
- 我も速やかに神のもとに行きたいと思っていたが、余りにもおまえたちが隣りに思われた。我は心猛き者であるから、おまえたちがこれほど成長するまでに育てられて、まことに喜んでいる。 466
- これから遺言を述べるから聞きなさい。我が孫よ、おまえはエトロバ姫、我が孫娘の入ったむつきの半分で育てられた(生まれたときからの許嫁だった)。おまえの食べた物をエトロバ姫も食べ、エトロバ姫が食べた物もおまえが食べたのだ。我が年少の孫であるエトロバ彦(先のエトロバ彦の息子)は我が孫娘(主人公の妹)をいれたむつき半分で育てられたのだ。同じ一族である。このような次第でおまえたちは結ばれるのだ。よく首領の習わし、淑女の習わしをともに身に備えることができるようにしなさい。 487
- 後で、いかかさ酒を醸し、我が一族をすべて招待しよう。その前に孫よ、まずはエトロバのおまえの一族を見舞ってはどうか。良き人が長く会わないでいると、いろいろなところから魔物が振り返るものだ。」とお爺さんは今こそ我に語り終えた。 501
- 我は驚いてしまった。たまげた、こんな全き先祖をもつ 554

我らであったのに、哀れ、いったいどんな巡りあわせか、父も母も皆にやっかまれ、皆にいじめられ、我が見ぬうちに神のもとに旅立たれてしまった、という話に悲しみ嘆く心を抱いた。

576 お爺さん、かわいそうに。こんなにお歳を召しているのに、幼いときから我らを憐れみ、よき育みをとともに我らに授けてくれたと思うと、目元に涙があふれ、お爺さんに感謝の念を覚えた。

591 我が妹も我と異なる思いをしているとは思われず、我と同じ考えであって、後ろを向いて顔をぬぐっていた。

602 それからまた、ほかの誰であろうとも評判の高い者であれば我はやはり賛嘆し、長者の徳を慕い、首領を崇めるようにしたであろうが、令名を馳せるすべもない、親族のいない、身寄りのいない我らとと思っていたが、

617 なぜか知らないが同族とはいえ並みならぬ者がいて、その名は女であって、女（生れたときからのいいなずけ）とともに成長している我であるとのこと、何か気づく思いがして、心密かに喜んだ。

631 ある日お爺さんが後ろを探ってごぞを出した。宝列の上から金のトンビ、目で座るトンビを出して並べた。金の中から取り出されたような宝物、神々しい宝物の輝きが家の中に輝いた。

646 出したごぞの傍らにそれを置いた。くるくる縛って炉の上座に置いた。それからこう言った。

653 「さて、我が孫よ、今日はまったく日和が良いのでエトロバへ赴いて我が親族を訪問しなさい。我もすっかり年老いてしまった。一刻も早く我が一族（娘の嫁ぎ先）に会いたいものだ。おまえたちは結婚するのだ。みなを早く結婚させ、オタサムの村の川下と川上を治めさせ、それを確かめ安心できたら、心やすく我も神のもとへ帰れよう。

679 歩きながらも首領とは守り神を背負って歩く者である。それゆえ、金のトンビ、眼で座るトンビ、神のもとから、天からオタサムの村の頂に降ろされたもの、この神の宝を歩く守り神としておまえに授ける。この神の宝を保持したらどんな困難に出会っても少しの恐ろしい目にあうことはない。」と言った。

704 良い教えを聞いたけれどなぜ我は戸惑いを覚えたのだろうか。エトロバの村へ行くのが気が進まなかった。かわいそうに、お爺さんは以前から待ち望んでいたと言い、後ろ盾となり励ますとのこと。

719 もし従わなければ悪かろう。お爺さんがいたおかげで

長者の養育、首領の受けるはぐくみを我は受けたのだから、お爺さんの心からの望みを果たさなければ、神から罰せられるだろうと、我は思案した。

我は寝台の上に立ち上がった。金の小袖を体に巻きつけ、留め金の付いた帯を胴に巻き、神授の太刀を帯にさし、金の小兜の垂れた紐を顎に締めた。ますますわが身が凜々しくなり、我が周りに神の光が輝いた。濃いかすみの中に入り、上座を静かな足取りで大股に歩いた。我が鏝のたてる音がさわやかに響いた。 733

お爺さんは我が身をしげしげと探るように見て、我的手前に目を落とした。「孫よ、果たして思っていたとおりに立派になった。昔、おまえの父がしたことは少しもおまえを捨てて去ったということではないのだ。こんな立派な者が人間ゆえに地上に生れたのか。いわゆる祭られる神がこの世に生れるさながらだ。」と言って我を褒めたたえ、二度のうなずき、三度のうなずきを我に返した。 758

首の骨もなくなるほどであった。お爺さんはこう言った。「遠くへと歩むさなか勇者の風采、首領の習いができるなら、ますます神が褒めたたえる。どこか村の岸辺でイナウを捧げ、酒を捧げている人たちがいるようなら、その祭りが済むまで待って、決してその前を横切ってはいけない。」とお爺さんは教諭した。宝物を包んだごぞを我は脇に下げた。我が妹は微笑んで、早く帰ってくるようにと繰り返し言った。我も唇をほこらばせて多くのうなずきを返した。「早く帰るよ。お爺さんを大切にしてくれ。」と言って、外に出た。 788

どこか村の岸辺でイナウを捧げ、酒を捧げている人たちがいるようなら、その祭りが済むまで待って、決してその前を横切ってはいけない。」とお爺さんは教諭した。 800

宝物を包んだごぞを我は脇に下げた。我が妹は微笑んで、早く帰ってくるようにと繰り返し言った。我も唇をほこらばせて多くのうなずきを返した。「早く帰るよ。お爺さんを大切にしてくれ。」と言って、外に出た。 813

第3章 旅立ちと淫乱のペケンヌップ姫

見れば、なんとまあ、我が住まう山は美しくあることか。そびえ立つ小山の頂に金の家、金の柵が並び立ち、その中で我は育てられていたのだ。どこもかしこも我が住いを囲む造りは好ましく、驚くほどだ。 836

小山の上から浜へ出る道はうねうねと肘を張ったように折れ曲がっていて、我はその広い道を降りていった。折れ曲がり坂を降りて行った。海を表は輝いて美しい風が広がっていた。風に棲む鳥たちが潜り漁る声が響いていた。なんとすばらしい。 853

浜辺を歩いた。入り江の向こう岸へ行った。良く回る輪のように速やかに進んで行くと、どこに行きついたものか、何という村なのか、人の多い村が平らに広がっていた。 863

海を表は輝いて美しい風が広がっていた。風に棲む鳥たちが潜り漁る声が響いていた。なんとすばらしい。 874

- 888 お爺さんが言ったように、村の浜手で沖に向かってイナウを捧げるため、浜手の砂丘の前で多くの人々が酒宴の礼装をしてイナウを上げ、酒を捧げていた。
- 901 お爺さんが言ったとおり逆さまに跨ぐように砂丘を滑り降り、砂浜に膝を折ってあぐらをかいて慎んで、イナウを上げる者の儀式が済み、立ち去るのを待っていた。
- 913 儀式が終わったと思われるとき、何者かが我がそばにすり寄ってきた。見れば使いに出された長者であるらしく、伝令を務める顔立が際立って優れた勇士が我が向かいにあぐらをかいていくどもいくども手を擦り合わせた。我に顔を上げることさえ差し控えつつ、ただ我を包むもやに向かっていくども手を擦り合わせて礼拝し、次のような伝言を述べた。
- 938 「この我が村の名は、ペケンヌップで、村の首領、主である首領が我を使いとしてこういいました。『我らの流儀にしたがってのことで、いささかの酒を醸し、今晚は酒宴を催すつもりだったが、それに先立ち、まず、海の表と砂丘の上の草わらに住まう神にイナウを捧げ、酒を捧げ、心が休まったら家に入り穏やかに神祭りをしようとしていたら、
- 966 神だか人間だかが訪れたらしく思われた。驚いたことに、神の習わし首領の習いができる人らしい。我はみすぼらしく、我が身は大切に育てられたわけでもよもや神として育てられたわけでもないが、我がイナウを捧げている前を神の人が横切るのを憚っておられる。長く待たしたらまったく申し訳ない。
- 988 村の名によって、国の名によって人となり分かるというもの。どこの村から来てどこへ向かう旅の神なのか、神の知遇を得たいもの。神なる人よどこの村の者か名乗ってください。』と尋ねられたので、
- 1002 返す言葉に先立ち、咳払いして、「かくかくしかじかの次第で我はオタサムに住まうものであるが、一族を訪れるため緩やかな歩みをしていたところ、イナウを捧げる催しに行きあった。その前を通過するのも畏れ多いのでここにこうしているのです。」と我が言うと、伝令はそのよい伝言を持って戻っていった。
- 1023 しばらくして再びやってきてこう言った。「なるほど、そういう次第なら驚くべきことです。まこと、ただ噂だけを聞いても実に畏れ多いのですが、このようなオタサム彦なる神の勇者が我を喜ばせるため我が酒を受けてくれるというのですか。
- 1043 畏れ多いことですが、さあ、我が醸した酒のそばにやってくるよう心をお決めください。さっそく長者どうしの会見、首領の近づきをしたいものです。」と述べた。
- 「ありがたい。このようなよきお誘いをお断りするならご機嫌を損なってしまいます。」と思い、伝令の言葉の先に飛び乗って伝令の背に載るようにして、浜を後にした。村の中央には広壮な家があって、島ほどの大きさで目にも鮮やかだった。家の周囲も実に見事で驚き入った。我が手に持つござを家のそばの竿の先に下げた。それから下屋の中に目を向けた。大きな咳払いを響かせた。金の響きがそれに続いた。こもを手で上げて風のように中に入った。土間の上に光ともやとともに足を踏み入れた。
- 大きな家の中には驚くほど大勢の人々がぎっしり座っていた。酒宴の長い座が延びていた。炬の上手の席が空いていた。左座をとおって鏝の音をチリンと響かせて炬の上手に腰を下ろした。
- 右座に人呼んでペケンヌップ彦がもやの光で見失なうほどであった。酒宴の盛装に包まれて、ますますなんと言っても言葉に尽くせない美しい者が座っていた。
- また、以外にも小娘の顎の長いのがいて、顎の途中で直毛の髪を切り揃えて両脇の髪が垂れていた。炬縁に細い腰を載せていた。我が座るや、我が姿をじろじろ見て我が二つのもやの根元、三つのもやの根元を払った。型どおりに驚くならばありそうなことだが、小娘は口元に笑いを浮かべている。我を見るとすぐに激しい欲情を覚えたらしい。我はそれを見ただけで怒りと腹立ちを覚えた。
- ペケンヌップ彦は、手を高々と上げて美しい言葉を次々と並べ、手を上へ下へと揺すり、我を礼拝した。これに對して我も挨拶した。そのあと、シントコのかげでもてなしを受けた。類くない酒を酌み交わした。今初めて酒というものを我は飲んだ。なんとおいしく元気がわいてきたことか。実に我が心臓の端から端まで伸びやかになった。実に心臓が伸びる思いであった。
- 醜い女、悪い女は酒宴の座に足を運び、片口を手にして酌をして回った。その間も我に對して盛んに色目を使った。しかし我は少しも相手にしなかった。
- なんとまあ、ペケンヌップ彦は我を敬愛し、言葉を尽くしてもてなしてくれたことか。心の底からの語り口、多くの楽しい話を我に向けてくれた。その間、醜い女、悪い女のふるまいを見た者がいたのか、怪訝に思った者がいたのか我にはわからなかった。

- 1214 酒宴は進み、多くの人々が何かを笑っているの、目を向けると思ひもよらないことに、ペケンヌップ姫、あの醜い悪い女が、我の宝物を包んだごさを縛ったところで足先に引っ掛けて左座に引きずり引きずりして入ってくると、それを男たちも女たちも皆しておもしろがっているのだった。
- 1239 ペケンヌップ人でさえ、振り向いてその行為を見て、心の底から愉快そうにしていた。我はそれを見て怒りがこみあがった。今少しのところ醜い悪い女をバラバラにしてやろうと思ったけれど、穏やかな足取り、優雅な足取りでやって来た我が人を斬り、人を殺すのは悪いことと考へ、こらえていたが、宝物を包んだごさを悪い女が足先でずっているのペケンヌップ彦も悪いこととさえもいさめもせず、加勢するように笑っている声を我は聞いて、実に憤りと怒りの情を抱いた。
- 1277 もう少しのところペケンヌップ彦を斬り捨てようかと思つたが、エトロバの村に着く前に刀を振るうまい、と思ひ、心を強くして、すばやく立ち上がると多くの者どもの頭上を飛び越え、左座に音もなく移り、醜く悪い女を高々と蹴りあげて、我がごさを奪い取ると家を出た。
- #### 第4章 クナシリ彦の招きとペケンヌップ姫の乱行
- 1302 今は明るい夜明けと暗い夜明けが行き違い、夜が開け放たれようとしていた。それから、飛ぶように走って行った。いずこにか着くと、また、どこの村であろうか。大きな広々と広がる村があった。
- 1318 村の浜にイナウを立て、酒を捧げる者たちが大勢行きかっていた。それを見て、また、先のように離れたところであぐらをかいていると、前と同じように伝令がやってきてこう言った。
- 1332 「我らが仕える長者が使いしてこう言っています。我が村はその名をクナシリといい、クナシリ彦には男兄弟がなく、妹一人と住んでいます。先祖の遺風はかくかくの次第で、今では成人した男となったので、わずかの酒を醸し、イナウを上げ、酒を捧げていました。
- 1350 あちらから、こちらへ神なのか、人なのか、見知らぬ人が旅してきました。首領のたしなみ、神のたしなみがすばらしく、しばらく控えている様子、まことに驚くものがあります。国を知れば、村を知ればこそ人柄がわかるというもの。神なる人よ、村の名を告げて下さい。」と言つたので、
- 先祖はかくかくしかじか、と言うと、伝令はそのよき伝えをもって帰っていった。折り返しやってきて、また、さっきのように招きを承諾して、つまらない思いをするのは懲りごりだから誘いを断ろうと思つたが、幸いに気持ちよく数々の幸便を言葉を尽くして述べてくれたので失敬するのも済まなく、伝令の言葉の先に載って、背に続いて
- 浜から上がって行った。見ると村の中央に盛り上がった小山が高々とそびえていた。小山の上に大きな家、大きな柵が重なって立っていた。その周囲の輝かしいさまは讚えようもなかった。
- 大きな咳払いを家の中へ送り、垂れている蓆を風になびかせて、光とともに、もやとともに土間に入った。大きな家の中の装飾も非常に好ましかった。多くの人たちが家に満ちていた。長々とした宴のむしろが伸びていた。炉の上座に空席があったので、左座をとおって疲れた足を静かに運んだ。我が鐙の鳴る音がほのかに響いた。厳かに炉の先に座を占めた。
- 右座に人呼んでクナシリ彦が神のように勇者らしく装う衣服にただ驚くばかりであった。もやに包まれていた。下座の娘が何ともいえないほど美しい。大切に育てられ全き養育を受けた女らしく、耳にも首にも神々しい耳輪、美しい玉飾りが下げられていた。さらでだに美しいのに、美しい金の冠を頭に載せていた。神々しい輝きがかんばせの周りに照り映えていた。同族の者らしく兄と同じ眼差し、変わらぬ眉のつくりをしていた。
- クナシリ彦は我に向かつて手を高々と上げていまこそ会見の言葉を巧みな言葉をかずかず、我に語つた。なんと聡明なもの言いだらう。我も返礼の感謝の言葉を述べ、礼拝した。そのあと、シントコの陰で我を歓迎するうまい酒神の酒を酌み交わした。なんと酒の神のおいしいことだらう。実においしかった。
- ふと不審に思つて戸口へ目を向けようとして人々の頭越しにじっと目を凝らしてみたところ、まさかこんなことを目にしようとは思わなかったが、あのペケンヌップ姫、醜い女、悪い女が遠くから駆けて来たものだから、汗に濡れて、戸の下がったむしろを肩の上に跳ね飛ばし、下屋に滑るように入ってきた。
- 入るやいなや、多くの人々に目もくれず、背を伸ばして我を見つけた。我が姿を認めると、安心し、左座の炉縁木の上に瘦せた尻を載せた。多くの人越しに背を伸ばし、背を屈めて我に対して盛んに色目を使った。我がし

たことといえば、ただそれを見ただけであるが、あつげにとられてなすすべもなかった。こんなことがあるものか。

1545 醜い女、悪い女が遠くから我を追いかけてやってきたのを見て、我はあきれてしまった。もう少しのところ立ち上がり、ぶち殺し、ぶち斬ってやろうかと思ったが、よその人から穏やかな酒に招かれて丁重にもてなされているのに、その上、血の潮を流すのには躊躇した。よその女がどんなにひどいふるまいに及んでもみずから手を下すことはできなかった。ペケンヌップ彦に任せるとも考えたが、先のペケンヌップ人のふるまいを思い出すと、怒りがこみあげてきた。皆は不審に思って悪い女に目を向けていた。我ばかりが少しも気にとめなかった。

1586 高貴な人、クナシリ彦は、我を敬愛しているのであるから、楽しい数々の言葉を掛けてくれて、饒舌だった。我もこれに応じて数々の楽しい話を返した。冠をつけた女(クナシリ姫)が美しい所作で片口を手にとり、酒宴の座をまわり、酌をした。醜く悪い女はそれが面白くないらしいものだから、仕草からその思いが我にはわかった。

1615 遊興の踊り歌う声が美しかった。長者たち、首領たちは、代わる代わりに立ち上がって上座でもに足を踏みしめ躍った。その後ろで大勢の婦人たちが踊った。なんとまあ、首領たち、勇者たちの喉に巧みで、口に巧みなことだろう。好ましい思いを胸に揺すった。

1639 人々の踊りを見て、我もまねようと立ち上がり、上座で舞踏の足踏みを数々重ねた。我がなす宴の音が喉の奥から響いた。我が口元が天に昇る神となって響いた。酒宴の上手から下手へかけて首領たち、勇士たちが我が姿に目を向けていた。一斉にどよむ掛け声、一斉にするうなずきが響き渡った。左座では女たちも、女の座一面が静まり返って皆が我が姿に目を向けていた。型どおりに我に感心するのならばありそうなことだか、多くの者たちが尊い者を見たように我の手前に目を伏せていた。

1678 焔縁木で醜い悪い女が相変わらず我から他へ目をそらせることもなく、我を見すえていた。激しい恋心、強い欲望を向けていた。しかし、我は少しもそれに目を向けることはなかった。少しも構わないでいたところ、

1697 醜い腐れ女はまさかそんなことをするとは思ひもしなかったが、立ち上がり、我の後ろに来て後ろから尻の押し付けと尻を引くことを交互に繰り返した。それを見ただけで今こそ斬り捨ててやりたくなった。そう思ったけ

れど、首領たち、勇士たちの気持ちを付度してよくよく我が気持ちを抑えた。多くの者たちは驚き、そのため皆そろって首うなだれた。女たちも多くのものは、あたりまえに気の毒がるのならばもっともだが、多くのものは首を垂れていた。我は恥ずかしさと怒りを覚えた。

クナシリ彦は穏やかな顔色を変え、上半身を立てて、激しい怒りを面に現した。「無礼この上もない。オタサムの首領として、長者として我が祭りにやってきたので、こちらはなんの悪気もなく、我が醸した酒に招いてもてなしているのに、無礼なことだ。

おまえはこの女とやって来たのだ。おまえの妻、おまえに仕える妻なのか。おまえは、連れてきた女をどこかに隠し置いた。我が酒におまえが招かれたのが分かって、それで女はおまえの後からやってきた。先ほどの言語道断のふるまいを我は怒り、もう少しのところ斬り捨てようと考えたが、おまえの釈明を聞いてやろう。一言でも、あれこれ、悪かったとか良かったとかおまえが言うはずと胸の内を考えていたが、

おまえは何も言わなかった。オタサムの者たちのなすことといえばそんなことか。見守る神に喜んでもらうのが踏舞の趣旨であるのに我が目を驚かすような侮辱をおまえは我にするのか。今、我にも神にも無礼を働いたのだから一人おまえを殺しても飽き足りない。オタサム村へひといくさ、ひと戦いを送るつもりだ。どうだ、それは、いいことか、悪いことか。いずれにせよ、そうならば、いい返事をしろ。この女はなぜそんなふるまいをするのか。おまえがさせたのか。聞きたいものだ。さあ、答えよ。」と言って、腹立ちを露わにし太刀の柄を握り、我に怒りを向けた。怒りはもっともと思ったけれど、クナシリ彦の怒り、腹立ちをなだめることもできないが、怒り、腹立ちをもっと静められないのか。この悪い女が、何者であってやって来たのか、まだ女の出自も知りもせず、村ごと滅ぼすという。我が胸の中でほんとうに怒りと腹立ちの気持ちがこみあげてきたが、顔にだけ笑みを浮かべて言葉を返した。

「もしもし、クナシリ彦よ、おまえが言うとおりの。我もこの女を二度、三度と斬って殺そうと考えたが穏やかな歩み、美しい歩みをしてエトロバ村を目指しているので、こらえているのです。長者の女、首領の女を我の恣意では殺せないのです。

帰りには、我に裁きの権能が具わります。この宝物は神のもとから、天からオタサム村の頂に降ろされたもので

1739

1769

1800

1840

1868

1891

す。この宝物でほんのしばし自分の身を守りたい。首領よ、勇士よ、どれほど腹立たしくてもこの宝物で心をなだめるなら、ますます神のところまで評判が立ちます。戻るまでこれをしっかりと仕舞って置いてください。」と言いながら、

- 1917 ごさをクナシリ彦の両腕に預けるとクナシリ彦は紐をほどいて開けた。家の中が明るくなった。中の宝物に多くの人々が目を向けた。あたりまえに驚くならばさもありなん。多くの人々が感に堪えぬ声をあげた。クナシリ彦はあれほど怒りの声をあげていたのに、宝物に目を向けて腰のまん中を屈め、鼻を抑え口を抑えて幾度も幾度も礼拝を繰り返した。宝物にも我にも礼拝を繰り返した。
- 1950 そうしながら、語ることには、「なるほど、二つの村、三つの村を越えて遠くまで令名を馳せるオタサム彦の神であるからこそ、なんという宝物を持つ者であるのか。」と言ったので、密かな笑い、密かな嘲笑を胸に浮かべた。
- 1967 冠をかぶった女はあたりまえに気の毒がる者であればあたりまえだが、後ろに振り向いて涙をぬぐっているらしい。それをちらりと見て我は表に出た。それから、闇の中をよく走る輪のように、進んだ。はや、夜は明けた。

第5章 エトロバ村に到着する

- 1984 どんどん進んで行くと、今こそいわれるエトロバ村大きな村が迫ってきた。村の中央に盛り上がった小山が天にそびえていた。小山の上に大きな柵と大きな家とが重なるように建っていた。驚いた。ペケンヌプの柵もクナシリの柵もその美しさ、神々しさに賛嘆の念が起こったけれど、これは何としたことか。これこそ本当に神の住いを凌いでいた。家の周りも、柵の周りもそのきらびやかさでどこもかしこも驚くものがあった。我が家、我が住いの美しさに一つも遜色がなかった。驚異の気持ちを抱いた。
- 2024 家のそばをゆったりとした足取りで進み行くと、鏝の鳴る音がチリンと響いた。入り口の納屋に回った。宝物の匂いが強い風となって我をたじたじとさせた。垂れさがったこもを引き上げた。風のように入り込んだ。土間に光とともにもやとともにすっと入った。
- 2045 大きな家の棟木の下に隙間なく宝物が並んでいた。金のござが平らに敷かれていた。金の炬縁の伸びゆくさまは光り輝くよう。右座には濃いもやの小山が座っていた。下座にもまたもや濃いもやの小山が座っていた。

上座にあるもやの中を手で払い見ると、人呼んでエトロバ彦（小兄のエトロバ彦ではない。ネカンビコロ彦のこと）、ネカンビコロ彦、育ての兄らしいのが金の小袖をまとっていた。留め金のついた帯を胴に巻いていた。金の小さい兜の兜の垂れ紐を締めていた。兜の縁にかんばせの輝きが照り映えていた。若々しい髭で口のまわりが黒々としている。神授の太刀を帯びに差している。

下座にいる者の二つのもやの根元、三つのもやの根元を我は払った。幾度も、幾度も払ってようやく人の姿を現わせた。何と美しい。人呼んでエトロバ姫、我がいいなずけである娘は、大切に育てられ、最高の養いを受けた者であるから、輝かしい金の刺繍衣を身にまとい、首のまわりに、耳に高貴な耳輪、玉飾りを下げていた。神々しい髪は絹のように頭を覆っていた。髪の毛の先には光りの玉が付いていた。その下に神々しいかんばせが日の光のように輝いていた。

宝列の手前に金の寝台、板づくりの寝台が伸びていた。寝台の上には濃いもや、もやの小山が立っていた。もやの二つのもと、三つのもとを我は払った。しかし繰り返し試みても人の姿を顕わすことができなかった。しばらくやり続けているうちに、人呼んでエトロバ彦（父のエトロバ彦、大兄のネカンビコロ彦ではない）、我が小兄（従弟）であった。もっと齢を重ねているからこそ名が世に流れていると思っていたが、今年になって少し我より年長にすぎなく思える男の兄が私の装い、また私の刀を佩くさまをすっかりまねたように金の小袖を普段着のように身にまとい、留め金のついた帯を胴に巻いて、神授の太刀を帯に差し、金の兜の下げ緒を締めていた。兜の端に神々しい顔が南天の日の光のように輝いていた。まことに神のようであって、鞘の表面の彫刻に余念なくいるようだった。

小兄は何か不審に思うと同時に土間にいる我に顔を向け、我を目で捉えた。何とも言えず立派な神、立派な神人を目撃したかのように直ちに我が手前に目をふせて、目を落とした。小兄は寝台の上から我を包む二つのもやの元、三つのもやの元を払いのけようと何度も何度も試みたが、我が姿を顕わすことができなかったが、しばらく我がもやを払っているうちに我を認めた。

するとみるみる顔が青ざめた。我を隅々まで目で探した。なぜそんなに探るのだろう、我を殺害しようという様相が顔に強く出ていた。我を見るのがきつく激しかった。我を見るのも厭わしそうで私のいない方に顎をしゃ

2063

2087

2122

2142

2177

2201

くり身をそむけて我を無視して仕事を続けていた。なんともわが胸も乱れたような気分になった。我が常の顔色も悪くなったが、

2226 我は恭しく炉の上に座を占めた。すると、育ての兄のネカンビコロ彦はあたりまえに気の毒に思うどころか、心を痛めて、我の手前に頭をくり返し下げている。我が妹は強く緊張しているものだから、髪を先を蓆の上にまで垂らし顔を上げることもなかった。育ての兄は強く心を保ち、我が膝頭に手を伸ばし、さすりながら言葉というものを声に響かせた。

2253 「オタサムに住む我が弟よ、国を統べる神よ。まずは一人で尋ね歩いて来たことに感謝する。できることなら、こちらが先に出向いて、我が祖父にも、我が弟（ヒーロー）にも、我が妹（ヒーローの妹）にも会いにオタサムへ出かけようと思ったが、比較を絶して忙しく、遅れに遅れているうちに、我が弟の方が先に土を蹴ってやって来てくれた。人間だからこそ人間の姿をしているからこそ直接撫ぜさすり、会見できるのであって、こういう人は人間だからこの地に生れ、旅をするのだけどまさしく我らが拜む神がこの地上に降り立ったならば、人間とは思われぬ姿であろう。」と言うのを聞くとハット気づくところがあった。

2291 我は育ての兄の両腕の間に頭を差し伸べると、すぐに心とらぎ、兜の内にある私の頭に手を入れて我をさすった。私の手の上をさすってくれたが板づくりの寝台の上で小兄は振り向くことも頭をまわすこともうとましそうにしていた。

2306 育ての兄はこう言った。「さあ、妹よ、おまえのちい兄さんに何か作って食べさせなさい。」それを聞くとこれほど素直に言うことを聞くものか、妹（いいなづけ）は言われるとすぐ立ち上がり、下座に行き、そんなことをしなくても十分立派な娘なのに、しずくをパラパラト掛け手を清め、よい小鍋のつるを掛ける耳の方から鍋底へと清め、中に水を入れ、炉の火へユラユラと掛けた。貯えられている脱穀した米を鍋の中へ注ぎ入れた。

2333 良きご飯を少々一人で作り、その小鍋を高く上げるとおりしも家のそばに誰かが走る音がタッタッと聞こえた。入り口の納屋に入ってきた。憚ることなく垂れさがった戸の蓆を肩で跳ね飛ばし土間に押し入ってきた。見るとまさかまた見ることもあるまいと思っていたベケンヌブ姫、醜い女、悪い女が遠くから駆けて来たものだから、疲れ切った表情で顔がちが変っていた。汗で濡れてい

た。両脇の髪が房になって垂れていた。我がいるのを見て、口に笑いを浮かべた。目のくぼみが汗をたたえていた。我は気分が悪くなった。

女はまっすぐに私の傍らに来て私の膝の上に頭を載せて、多大の淫の情を我に投げかけた。もう少しのところまで斬り刻んでバラバラにしてやる所だった。そう思ったが、心を静めなだめ、落ち着かせて、少しも構わずにいた。育ての兄のネカンビコロ彦も我が妹（いいなづけ）も今こそそんな醜態を見たものだから、型どおりに驚くのならあたりまえ、それどころかあつけにとられたものだから、目を剥いていた。しかし、心の半分では我を気の毒に思っているようだった。

醜く性悪な女がいつまでもあさましいふるまいを我になすのなら、どうすればよいのか。そのふるまいを見て、どうにしようがなかった。一刻も早くベケンヌブ村に戻って、ベケンヌブの者に怒りをぶちまけ、我が口を振るわせてやろうと心の中で意気込んでうなっていた。

第6章 水銀の槍

鍋が煮えたので、我が妹は薄造りの膳に薄造りの椀を出して並びたて、うまいめしの高盛を頭の上に掲げて慎み深く我に差し出した。毎日酒ばかり飲まされていたので、空腹を感じて死ぬかと思っていたので、喝采をあげる思いで大きな飯盛りを受け取り、上げ下げして礼拝、感謝した。

自分の前に椀を置いて、今しも箸を取り上げようとしたとき突然、宝列の手前の寝台の上に言葉の中でも激しく痛い言葉を、若造の過激な言葉を、我を衝き、我を斬るかのように我に浴びせた。

「失礼千万、無礼極まりない。オタサム彦とはどこかで我らは親族の関係になったが、何をしようと我が家に入ってきて、そんなふるまいをするのか。オタサム彦の来た道をたどってやってきたベケンヌブ姫は第一の美人、比べる者のない働き者であるが、色を想い、淫らな情を抱き、孕みもせず、子ももうけもせず二人戯れて腰を振りながらやって来ると耳にしていたが、ただの話、つまらない噂もあるものだと思っていたが、本当になんということ。目を疑う。

こんなのが人か。ものを見る神の目を盗んで、オタサム彦との淫らな情に憑りつかれ、淫ら事にふけている。神とともに我をも欺いている。無礼、非礼とは、こ

2374

2407

2428

2453

2467

2498

れがそうか。我が妹は不細工で不器量で、醜女であるそうだから、自らを低めているのに、なぜ自分の妻（ベケンヌップ姫）が調理したものを最初に食べないで、我が妹が作ったものを食べようとするのか。決して一口でも我が妹が調理したものを食べて結婚を承諾してはならない。生きるのを恐れ、蘇生を恐れる者がすることとは、こういうことか。」

2535 と言ったと思うや、立ち上がった。その間、我は何の警戒もせずにはいたが、突然、私の後ろから、まったくこんなことになろうとは思ひもしなかったのに、我が小さな背中が激しく痛み、激しく突かれた。我が小さな胸に水銀色の幅広の槍が、金の幅広の飛び出た。そのため、おびただしい肉の断片が飛び出した。水銀の泡が槍の周りにふつふつとわき、コネップケウカタ今こそ痛みというものを知った。

2562 我が胸が樺の皮が巻き付くように痛み、痛々しい血が我が後ろからも前から滝のように流れた。ニカンビコロ彦、育ての兄、我がいいなずけは、何を見たのか、育ての兄の危急を告げる女の声で喉を震わせた。威嚇の声をあげようにも泣き声となり、ものを言おうとしても泣き声になってしまう。ニカンビコロ彦は立ち上がり、柄の短い槍を低い杖として突き、飛び跳ねようとする、足がふらついた。いいなずけは、男のような威嚇の叫びをあげて喉頭の鳴り響かせた。

2592 我がしたことといえば、ただ見ただけにすぎないが、我は気が狂ったように激しく心が乱れ狂った。苦痛をこらえて、足に力を入れて我が起き上がる音がさっと鳴って我は飛び起きた。寝台の上へエトロバのやつ兜の下にある頭のとっぺんに付いているものを手でつかみ、頭を引きずりだした。そうしながらきつい言葉を我は言った。

2611 「なんとまあ、エトロバのやつ、わが小指にも、わが足の小指にも及ばない者よ、一体、何を言うのか。何度でも、いくらでも言ってみろ。聞いてやる。怒りにかられ、瞋恚にまみれ、そんなことをするとは。もっと落ち着いてよく聴いて本当の訳を知って、それから決闘するにせよ、瞋恚なり怒りにかられたとしたら、首領の習い、勇者の風であったものを。

2637 一体全体、わかりもせずに、我がベケンヌップ姫に淫らな行い、卑猥な想いをかけて、孕ませと、児をなすことをせずに、さかり狂っているとおまえは思った。それがおまえの理解し得た筋書きなのか。そんなさまでどうし

て勇者の風、首領の風が吹かせられるのか。無思慮にも我を不意打ちし、このように我が背後から衝いた。昔から、神から伝わる話、先祖から伝わる話があって、水銀で死んだ者は、神でも、人間でも、どんな比類なき勇者であろうが、生き返られるものではない、と言われていたが、おまえはそれを知らずに、今まさに、なんという凄惨な殺害を試みたものか。

今はもうオタサム村から魂をなくすることをおまえはなした。死こそ善きこと、というのなら、おまえをぶち殺してやる。エトロバ村であろうとも我は滅ぼしてやる。覚えていろ。」といいながら、我はエトロバ彦（小兄）にうなり声をあげて、伸びる炬燵木の真ん中で腕の先をブンといわせて打ちすえた。固い体（死骸）が転がった。我が心は怒りに満ち満ちていた。その胸に我は膝をつけて首の骨を枯れ木を折るようにへし折った。燃え盛る火の中に頭からくべた。燃える音がブスブスとした。燃える火のさなかから神の死霊が天に昇る音がゴーゴーとした。

ベケンヌップ姫は、驚いて額の生え際がブルブル震えていた。水につかった昆布のように色を失っていた。我には狂気じみた怒りが沸き起こった。我は手を伸ばしてベケンヌップ姫を捉え、首を乾いた木を折るようにへし折った。炬燵のまん中に投げ込んだ。それが燃えはぜる音がバチバチとした。

ニカンビコロ彦は、今や、泣き死にしそうになった。あいかわらず威嚇のうなりをあげようとしてもそれが悲鳴になってしまった。言葉に出そうとしても、それが泣き声になってしまった。飛び跳ねようとしても足元が震えていた。我はそれを見ると家の外に飛び出た。忌々しい。エトロバ彦（小兄）は、荒々しい憎しみの言葉を失礼千万にも我に投げかけた。その上さらに殺害にしても並みでない殺しを我になしたのだから、我は口惜しくてたまらなかった。

村の上手から我は荒らした。慌てふためく声が交錯した。突然の襲撃を受けたものだから、妻の手を取る者、子供の手を取る者が逃げ惑った。危急を告げる男の喉ならし、女の裏声が断続して入り混じり響いた。村の上でも村の下でも鎧を身に着けるガチャガチャという音が盛んに聞こえた。どこのどいつが攻めようとしているのか、虫が湧くかのように騒いでいた。

おびただしい者どもが我が太刀の先で音を立てて斬られた。どこでもかしこでも神の死にゆく音が絶え間なく

2680

2720

2737

2765

2788

続いた。神の空の上から誰かが女の喉から出る泣き声だろうか、想いを述べる言葉であろうか、昇天する神のように美しく声を響かせた。金の太鼓がドン、ドンと打ち鳴らされた。リン、リンと打ち鳴らされた。戦いのさなかであったけれど、我はそれを耳にしながら、夜も、昼も、このおおいきさ、ひどい禍事に一人で立ち向っているうちに、犬にたかる虫も地べたに群がる虫も残らず殺戮した。

2816 いくさのあと、殺戮のあとは静まり返った。エトロバ村の墓場の地べたがひっくり返っていた。我はそれを見て、魚が身を翻すように神の空へと昇り進み行く音がゴーゴーと響いた。

第7章 クナシリ彦への復讐

2829 進んでいるうちにクナシリ村に到着した。村の上空を旋回し、激しい痛言を、ものを斬るように、ものを刺すように叫びの言葉を次のように語った。

2840 「さてこそクナシリ彦よ、我の言うことをよく聞け。歩いて旅するさなか、おまえが我を酒に招いてもてなしてくれたことに我は深く感謝したけれど、ベケンヌツプ姫がああいうふるまいをしたため、おまえは口を振って我に怒りの言葉を投げかけたが、その言葉の趣旨に我は怒った。

2857 幸いにも、宝物を背にして持って歩いていたおかげで、それでもって自らを防げたのでおまえが我を赦さないつもりなら、おまえが言ったとおり、オタサム村へ強いいくさ、激しい戦いをおまえは仕掛けることになるだろう。

2870 ベケンヌツプ姫がだ一人でいただいた淫らな想いということが、おまえには分かったであろうに、少しも我の気持ち察せず、殺意を村にまで及ぼすと言うのを聞き、本当に我は怒った。神に対してのみならず、恐れ憚らない失礼を我になした。

2886 いつだって人に嫉まれるオタサム村だから、今はもう、村を去るつもりだ。その前にいささかのお返しをしておこう。覚悟しろ。」と言うと、村の上から荒らしまわり、あらゆるものを跳ね飛ばした。

2900 村一面に声があがり、凄く多くの者たちがぶつかり合い、逃げ惑っている。

2904 「どうしたことか、驚くべきことではないか。昔から、我が鎮めてきた村こそクナシリであるのに、ベケンヌツ

プ姫、非道な女、悪女、妖婦、さかりのついた女の淫らな想いのために、今や我らが村とともに滅びるように、そう言うのだな。」と大勢の者たちが

騒いでいた。そのさなか、村の中央に声があがった。クナシリ彦はあわてふためき、手下たちの後ろを走り、我が動静を探っていた。型どおりに我の有様に驚くならば、あってもおかしくないが、目を見開いてギョロギョロさせている。 2924

「これはまた、そんなことがあるものか。こんなやつがどこに心臓がついていて、そんな尋常でないことを口にし、駆けずり回るのか。もしもし、オタサム彦、神なる勇者よ、さあ、速やかに心を静めてください。おまえから災いを払うためまじなってみてあげよう。 2942

実に我は幼かった頃から少しもオタサムの神なる人を悪く思ったことはなかったのに、ベケンヌツプ姫、まがまがしい神人、極悪の神の淫らな想いに怒って、我はおまえに口を振るって瞋恚の言葉を汚らしくぶちまけたのだ。おまえが去ったあと、まことに反省し、気づくところがあつて、おまえが戻ってきたときおまえに謝罪し、おだやかな心組みを保っていたいものと考えていたが、おまえはどうしたことか。心静めて考てくれ。」とクナシリ彦は言ったけれど、われは一切相手にしなかった。 2961

すると我のすぐ傍らに何者かが滑るように近づいてきた。見ればクナシリ姫、冠をかぶった女で、ずっと先から泣いていたものだから、流れる涙のため両頬がただれていた。まつ毛が半分しか立っていなかった。クナシリ姫は喉を震わせてこう言った。 2989

「もしもし、オタサムを統べる神よ、一時も早く心静めようと思ってください。これではまるでおまえは殺戮の狂気、禍々しい狂気金縛りになっています。実のところ、育ての兄（クナシリ彦）も私も悪い気持ちは少しも持っていません。 3005

育ての兄がなした言葉がとても悪かったとしても、育ての兄が深く反省していることが私にも分かるのです。だから、赦してやって楽な気持ちにさせてください。私たちの家にしばらく休んでください。そうなさい。負傷したところも、神を呼んで癒してあげましょう。 3021

私たちが鎮めてきた先祖からの村、母なる村でしたが、今は一かけらも残らないようにしておしまいです。神のような勇者よ、心を静めたまえ。」と言いながら我の方へ近づいてきた。それを 3041

聞いただけで狂気じみた激しい怒りが我が心中で頭を 3055

もたげた。一体、何をクナシリ彦どもが言うのか。生き延びようなどと我が思っていると思ひ込んで、我の怪我を手当したいと言うのだから、激しい怒りがこみあがってきた。

3070 汚い女、よこしまな女（クナシリ姫）に激しく太刀を浴びせたところ、女は者どもの足の下に潜りこんだ。我は逃がさぬように懸命になった。打ち損じた我が太刀によって多くの者どもがその剣先にかかった。

3085 やがて我が見るものが二つになり、三つになっていった。ようだ。忘我の中、この戦いに我は立ち向かった。夜となく昼となく戦い、我が心はもうろうとしてきた。いつの間にか犬にたかる虫、地を這う虫にいたるまで、ことごとく殺戮していた。

3099 いくさが終わり、戦闘が済むとあたりは静まり返った。クナシリ村の墓地の表土を我はひっくり返した。それから、神の空に我は昇り来た。音をたてて我が耳もとで風が巻いた。

第8章 ペケンヌップ彦への復讐

3111 ペケンヌップ村に到着した。我は村の上空を旋回して、激しい言葉を次のように翻すように述べた。「さてさて、ペケンヌップ彦よ、なんのいわれがあつて、おまえの悪しき妹、汚い妹、悪い妹、淫らごとに跳ね回る者、淫欲にかられた者が失礼千万なことを我に仕掛けたのに、おまえはいさめもしなかった。

3132 今こそねたまれるのはオタサム村であるから、ここを去る前にいささかのお返しをしてやる。覚悟しろ。」と我は言った。

3141 村の上手から我は攻撃した。いつものように急襲したものだから、今はもう、村の間で叫喚が走り、村の中央にも声があがり、非常に多くの者たちが押し合いへし合い逃げ惑った。すると再び、冠をかぶった女（クナシリ姫）が遠くから走って来たものだから、汗で顔を濡らして我のすぐそばに音もなく立った。

3161 「もしもし、神なる人よ、こんなにいつまでもいくさばかり、戦いばかりに従つては、ますますお体に障ります。早くオタサム村、あなたの村にお戻りなさい。ペケンヌップ村に起こったいくさには、私が一人で向かいます。」と言った。

3181 激しい怒りがこみあがってきた。どうしてまた、我を介抱しようとする者がクナシリ姫であるのか、それが我を

苛々させる。二度も三度もそんなことを言うので、気違いじみた怒りがこみあがった。激しい太刀影を女のほうへ走らせた。我が激しい刀の鋭い刃が透明な風となって流れた。

そのとき、ペケンヌップ彦が大声をあげて手下に命じた。「この腐れ外道の罰当たりめ。オタサム彦がいなければ若い者と幼い者とが惚れあえたのに。可愛そうに我が妹（ペケンヌップ姫）も成長した女兒、若い女であるから、想いのおもむくまま、オタサム彦に心を寄せてしまい、自らを貶めてへりくだった。

それなのに妹のようなたぐいまれな神、あれほどの神人、美しい人を殺すにしても無残極まりなくおまえはすると、その上さらに昔から我が鎮めてきたこの母なる村、先祖からの村がペケンヌップであるのに、我らを害するとはこんなことなのか。どのようにふるまうおまえであろうとも、ほんの少しの生き延び、ほんのかすかな蘇生しかできないであろう。早く、早く我が一族の者らよ、よく動け、よく奮戦しろ。オタサム彦はたった一人ではないか。速やかに斬って殺してしまえ。」と言うと、ものすごい数の者が気合の声をかけあつた。武装する音が数多くガチャガチャと鳴った。なんとも驚いた。初めに攻撃してきた者どもは、ほんの子供の寄せ集めで、一体、誰を撃とうというのか。それがおびたしい軍団となって打ち重なり攻めてきた。虫が湧くのと違いがない。群れのすぐそばを我は駆けた。冠をかぶる女は我がそばで、我に味方して太刀を振るつた。

多くの兵からなる槍を持つ軍団は細い隊列で我にかかつてきた。太刀を持つ軍団は炎のように我にかかつてきた。我は槍もろとも打ち叩き、槍もろともへし折つた。太刀もろとも打ちすえた。我は何を斬り、誰を殺しているのか、クナシリ姫、冠をかぶる女のただ太刀影が閃いて、我はもうろうとなり、目が定まらなくなった。ときおり気が遠くなった。

大勢が我に襲いかかってくると、冠をかぶった女は、我を守るために我の周りで刀は振り回していた。我は意識が回復すると、狂おしい怒りがこみあがった。いつでもいくさの庭で斬られ、死ぬ覚悟はできていた早く、さっさと殺してくれたら良いのに、なぜか我と同じ血筋を引く者、我に似た者であるクナシリ姫であるからか、いつまでも我に味方してくれるため、我が太刀を激しく振るうと、（ペケンヌップの者たちは）鹿の膀胱がつぶれるかのようにたわいもない。そのさなか、見れば争いのため

3201

3223

3257

3279

3302

クナシリ姫の髪が乱れていた。

3344 とこまでよそに飛ぶ。

第2段 オタサム姫の語り

第9章 傷つきながら戦う兄を透視する

- 3341 お爺さんが私たちを育ててくれた。ある日、かくかくしかじかと、私たちも素性の知れた先祖と親族がある者であることをことごとくお爺さんが物語って話してくれた。半分は泣きながら、半分は喜びながら自分の先祖についても親族についても知った。わたしのちい兄さん（オタサム彦）も私と変わらぬ考えであると思っていると、
- 3365 ある日、お爺さんが色々と教え諭してちい兄さんを旅出させた。お爺さんは、ちい兄さんの歩く後ろにお守りの宝物を付けて、エトロバ村へ、親族の元へ遊びにやった。ちい兄さんはどうした訳なのだろう、行くのものの憂く、渋っていた。そう私には思われた。
- 3382 早く帰るようにと送り出したが、日々待っても、戻る気配がなかった。毎日毎日二つの十日、三つの十日待ってもまるで戻って来なかった。時として心寂しく思った。それでも行くのがやむをえぬことだった、と心の中で一人とつおいつ考えたが、
- 3402 ちい兄さんの歩む間に何事もわずらいなく、親族の元に無事到着したとしてもこう戻ってくるのが遅いので、夜も昼も心配し、不安に思っただけであった。
- 3416 お爺さんはお気の毒に老いの深まるうちに自らもなかなか案じているものだから、毎日「どうしたことか。これでは、どれほど我が孫が穏やかに何の事故にも遭うことなく、歩いたとしても、これでは余りにも帰りが遅すぎるではないか。我らを嫉む者ばかり、我らの魂をいたぶる者ばかりが以前から、虫のようにたかっているためだからこそ、宝物（トンビ）などをお守りとして与えて行かせたが、どうしたことか。いっそのこと、送りださないほうが良かったようだ。」
- 3448 と悔やむ嘆きの声をあげていた。ある時はめそめそと涙を流し、嘆き悲しむ言葉を繰り返した。それを見て、それを聞いて私のお爺さんがちい兄さんが戻らないことで毎日、いつまでも独り言して自責の念に苦しみ、心を腐らせている姿を私は憐れんだ。

- 私も毎日透きとおった涙をボロボロこぼした。日が暮れると、眠るのも疎ましく、寝床で涙をこすっていた。お爺さんも、同じように毎日気を腐らせている。その姿を私は実に気の毒におもっていた。
- ある日、二つの夕食、すんで、その後が片付くと、お爺さんは横になるやいびきを長々とかいた。私も眠けに耐えられずよい眠り、健やかな寝息が私に絡みついた。目が
- ぱちりと開いた。神窓に下がるこもを透かし見た。お爺さんが立てたとても大きな幣棚の頂に視線を伸ばすとその東端にもやの橋が伸びていた。どこまで伸びるのか、大きなもやの橋は天の間に反って伸び行く、その光が川岸の林の上を明るくした。
- 橋の上をどこまでも目でたどっていくと、なんという村なのか、大きな村、美しい村があって、それが平らに広がっていた。そうこうするうち、村の中央に爆音がして、何者か、さして大きくない、人を包むささやかな霧の小山、不吉な血煙が蔽いかぶさった人が走っていた。その村は、いったい、どうなっているのか。ものが跳ね上がり、散らばっていた。激しい戦、猛烈な戦闘が次々と巻き起こった。他愛もない勇者が軍勢に立ち向かっているならばさしたることもないあるうが、真の勇者が戦いに挑んでいるものだから、天の間がどよめいた。
- 非常に多くのものが、上になり下になり動めいていた。その者どものそばに何者かが血のもやにおおわれている。その二つのもやの元を、三つのもやの元を私は払いのけて見ると、目がくらんだ。よもやまた目にしようとは思わなかったちい兄さんの身につけている小袖が着崩れ、よれよれになっていた。肌の輝きが日の光のようにあたりを差していた。
- 小さな胸の上に金の広刃の槍、水銀の広刃の槍の穂先が突き出ていた。その刃は金属の輝きであった。その先には二つの肉の塊、三つの肉の塊が張り付いていた。広刃の槍の周りは、水銀の泡がまとわり、湿っていた。背中に（突き出た）広刃の槍（の柄）はポッキリと折れていて、ちい兄さんの後ろからも前から痛々しい血が滝のように流れていた。ちい兄さんの顔色は萎れきっているが、しかし勇者らしくその気品が顔色の中に際立ってみえた。その眼は二つの小さな星のように並びあっていた。激しい怒りのため、眼に血管が走っていた。
- そんな姿のちい兄さんのどこに心臓があるのか、これほどの大勢の者の中に、刃を抜き、濛々とした血の煙を後

3468

3486

3500

3521

3540

3557

3579

3618

- ろに引いて突入すると、大小さまざまな土くれの大きさに襲いかかる者を薙ぎ払った。薙ぎ払っているうちにどこの村なのか、掘り返された畑の土のように掻きまわした。この闘争が終了してあたりは静まり返った。闘争の終了を我は知った。
- 3637 ちい兄さんが大空にすばやく立ち昇り、帰って行く音がごうごうと響いた。どこかであろうか、村の表は穏やかに広がっていた。そこにいる者が戦いを挑んで虫の湧くように現れた。その集団に対して、再びちい兄さんは刀を取った。
- 3654 何者かがちい兄さんの周りを走った。その者を包む多くのもやの元を我は払いのけた。見れば、驚いたことにどの村を統べる者なのか、いずれの国を統べる者なのか、娘であって、ようやく今年、我より少しばかり年かさと思われる。こんなに美しい娘がいるのだろうか。金の刺繍衣、神の刺繍衣を身にまとい、どこもかしこも驚くべき神々しいなりが何を悲しみ嘆いているのか、身に心の悩みを漂わせていた。しばらく泣いていたので、まつげの半分しか立っていないけれど、どうにもない美しさであった。
- 3693 ちい兄さんに遠くから、近くから追いかけている。その間、またもや激しい戦いが一斉に始まった。争う音が響き渡った。そうこうするうち、再び大きな村の地面がひっくり返された。戦いがやみ、いくさが終わり静まり返ったらしい。
- 3711 再びちい兄さんの大空にポンと昇り来る音が響いた。どこか再び大きな村の上が凧いだように穏やか広がっていた。村の上空をちい兄さんが旋回しているように思われた。再び大きな争いが出来た。初めに襲ってきた者はほんの幼い者であった。多くの子どもが重なるように襲ってきて、虫の湧き、あたりにみなぎるようになった。子どもがすぐ目の前をちい兄さんは走り、そのそばを再びあの娘が走った。
- 3738 さらにだに美しい娘は再び金のイナウの冠、神の冠を頭に載せて、それですます際立った容貌、人と異なる姿となり、ちい兄さんを助けるため、そばで刀を振った。ちい兄さんはときに鍋の弦ほどにもうろうとして、立ちすくんだ。すると、大勢の子どもがちい兄さんを衝き、斬ろうとした。するとイナウの冠をかぶる女はちい兄さんのまわりで刀を振るい、それを妨げた。するとちい兄さんは、
- 3765 意識がもどり、小枝が跳ね返るようにイナウの冠の女に
- 激しい太刀を浴びせた。太刀はねらいをはずした。兄は太刀を持って激しく追いかけた。ねらいをはずした者、大勢の者を斬り散らした。神の死ぬ音が何度も鳴り続けた。私は見ただけで気持ちが悪くなった。
- 兄さんよ、と私は泣き叫んだ。小兄を抱きかかえたように思ったら、私の身体は急に軽くなった。私は眠って夢を見ていたのだった。私は枕を寝床で持ち上げて目覚めたのだった。
- それと同時に私のお爺さんは寝床の上で山の熊のような力で伸びをして起き上がったそして、叫び声を出しながら立ちあがった。
- 「夢であるのか、眠りであるのか、何としたことか。我のすることはまさしくこのようであるのか。まことに、我の孫が歩んでいく途中で困難があるように思う。今、これから我の一族、まことの勇者ばかりを、我は頼りにして孫を助け出し、早く蘇生させたいと思う。我が孫娘よ、しっかりと神の住まいを守ってくれ。」
- お爺さんはこのように言い、金の戦いの装束を身につけた。そして、私は跳び起きた。「さてさて、お爺さん、落ちてみてください。お爺さんはあまりにも年老いています。私はとても心配です。危険です。お爺さんが神の住まいを守ってください。私は女ですが、私が小兄の救出に向います。」
- 私がこう言うと、お爺さんは頸の骨も折れるほど、うなづきを私に何度も繰り返した。そしてこう言った。「よくわかった。我のことは心配するな。昔は戦いにおいて、戦闘において、我に匹敵するものは一人もいなかったのだ。今でも、戦いにおいては若い者をしのぐほど、二人分の働き、三人分の働きができるように思う。お前が神の住まいを守りなさい。婦人というもの、長者というものは、言うことを聞くものだぞ。」お爺さんがこう言うと、なるほど、と私は思いおじいさんの言うことを聞いてみずからをなだめることにした。
- お爺さんは気合いの声とともに、戦いの装束を身につけた。金の小袖、小袖の中で足を上げ(?)、金の帯を胴に巻いた。そして、神受の太刀、鞘が長く反っている太刀を帯に差した。金の兜、その兜の帯を強く締めた。驚いたことに、お爺さんが装束を身につけると、ますます神の如き様子である。
- お爺さんは長押にある槍を下ろした。槍の鞘を打ち払い、短い杖としてみずからを支えた。そして、良い言葉を私に何度も言い聞かせ、外へ出た。お爺さんは村の上

- 手へ、村の下手へと声を張り上げ、呼びかけた。村の上手から、村の下手から、戦いの装束を身につける音が何度も響いた。そして、お爺さんは大勢の者たちと長い列となり、ずっと遠くへ行く音が鳴り響いた。
- 3953 今はすっかり明るくなった。小兄は如何なる延命如何なる蘇生をしているのか。夢であるのか、眠りであるのか、只事ではないと感じたことを私は思い出したが、どうすることもできない。二日間、泣きながらお爺さんを心配した。小兄を思い出すことも、寝ることもできず、私はどのようにすればよいかわからない。私の心は
- 3981 怒りに満ちた。私は戦いの装束を身につけた。そして、鏢のある小刀を懐に入れ、外へ出た。私は外の櫓、その櫓の上から天空へ飛び上った。弱い風、その風の先に私は軽々と吹き上げられた。どこかへ神風が私を運ぶ音が耳元で鳴った。
- 3998 私は進んで行き、どこかへ進んでいくと、私のお爺さん、年老いた人が人々の先頭に立ち、声を出しながらまだ砂浜の側を進んでいる。私は驚いた。このようになると私が思ったので、お爺さんに留守番を頼んだのだが、拒絶された。
- 4017 お爺さんはひどく疲れているらしく、その姿、歩く様子を見ると、もう少して「お爺さん」と言って抱きかかえそうになった。しかし、そのようにしたならば、お爺さんに屈辱を与え、言い付けに背くことを恐れ、私は涙とともに、他の場所へ神風に運ばれて進んで行った。
- 4039 進んで行き、どこかへ進んで行くと、戦いの音、戦闘の音が響き渡り国土が激しく鳴り響いた。さらに戦場の近くまで来て、天空の雲に乗って見ると、どこの者を攻撃しているのだろうか。大勢の者たちは虫の湧くかのようなのである。その上空は戦いの霧、戦闘の霧が暗い雲、濃い雲となって覆っている。
- 4064 人々の側で、まさか私が見るとは思わなかったが、夢であるのか、眠りであるのかと思っていたのだが、小兄がいる。着ている小袖は血に染まり、よれよれにねじれている。小さな胸に、本当に、猛毒の幅広槍の先端、数多くの肉片が貼り付いている。それが突き出る様子は光り輝いている。その周囲では猛毒の泡が噴き出している。その背後で、幅広の槍が折れており、槍の半分は突き刺さっている。前から背後から、流れる血は沢の流れのようである。
- 4099 今はもう、死相が浮かんでいる。長い間、何も口にしておらず、痩せ細っている。手はつぶされ、足は裂かれて
- おり、頬の骨は突き出し、眼の窪みは暗く淀んでいる。このような者がどこに心臓を持ち、このように戦いに集中しているというのか。通り抜けるところは広げられた敷物のように、散らばった敷物のように乱れ散る。
- その側に、まさしく、イノウ冠の女、神の如く美しい者がいる。鏢のある小刀で顔の側が光り輝いている。戦いに腕をふるっている。長い間泣いており、まつげが半分しか出ていない。そうではあるが、どのように褒めたたえることもできないほど美しい
- 小兄はあるときには、突っ立って、凍ったように立ちつくし、硬直している。鍋が煮立つほどの間、しばらくの間、そうしている。兄が気を失っていると、大勢の敵方は奮い立つ。「さあ早く、オタサム彦を斬りなさい、殺しなさい。」そのように言われると、大勢の敵方は小兄に向かって行く。兄は一斉に突かれ斬られる。
- その周囲でイノウ冠の女が刀をふるったところ、小兄はそのときに、意識を取り戻した。そして、イノウ冠の女に斬りかかり、何度も激しく追いかけた。私は見ただけではあるが、すっかり驚いた。まことに、夢で、眠りで見ただけと同じである。本当に驚いた。驚愕した。このような有様
- であるとは。いかなる戦いの原因、戦闘の理由があつて、戦うにしても、只事ではないことに、小兄は立ち向っているのか。その次に、どこの婦人であろうか、有難いことだ。小兄を救出しようとしても、小兄は戦いの狂気、戦闘の狂気に取り憑かれているので、このような有様であるのかと、まことに、私は驚いた。
- 私は貧しい女、下らぬ女であるが、立派な成長、穏やかな成長を遂げてきた。少しも、病気というもの、痛みというものを知らなかったが、可哀想に、小兄が攻撃され、痛み苦しんでいるのに、どうすることもできない。私は小兄の側へ降りた。
- 「兄さん。」と私は泣き叫んだ。私が抱きかかえると兄は私を見た。今はもう、死人の目つき、目玉に血管が走っていた。死人の顔色、死人の血色をしている。そして、手元がざっと鳴り、激しい太刀を私に浴びせた。
- 私は死ぬ訳にはいかない。大勢の敵方の中へ私は隠れた。すると、兄は私に斬りかかり、私の上へ覆いかぶさり、私を激しく追ってきた。人々の端の方へ私は抜け出した。兄は私の後から抜け出した。今は、私は斬られそうである。再び、私は人々の下手へ隠れた。兄は私を斬ろうとしてねらいを外し、大勢の人々、神々の死ぬ音が

何度も続いた。私は人々の上手へ抜け出し、人々の下手へ抜け出した。同じように、いつまでも、小兄は私に斬りかかり、もう少しで私は斬られそうになった。

4288 再びまた、二十回、三十回と私は逃げ、その周辺一帯の大勢の敵方は斬り捨てられた。そして、驚いたことに、大勢であった敵方は、もう少数の集団になった。

4303 イノウ冠の女は跳躍しながら私の周囲で刀をふるった。小兄はいつまでも、私だけを狙って追いかけてくる。私を逃がすことはできないと思っているので、少しも、他所を見ようとせずに、気合いの声とともに私に斬りかかる。今は大勢の敵方を犬にたかる虫、下らぬ虫まで割り取った。

第10章 オタサム村へ帰る

4326 戦いの後、戦闘の後が静まり返った。跳躍しながら私はこのように言った。「さてさて、どこの婦人でしょうか。長い間、小兄を助け出してくださったように思います。今は、穏やかに話し合うことも忙しくてできません。小兄は戦いの狂気、悪事の狂気に取り憑かれています。どのようにしたら、穏やかになるのでしょうか。

4350 私たちはこれからオタサム村、私の村へ逃げましょう。私の家へ着いたならば、もしかして、神の意向で小兄を穏やかにできるかもしれません。そのときに、話し合いができるでしょう。さあ、私について来てください。」と私は言った。

4370 私は跳躍して再びまた、オタサム村の方向へ飛んでいった。小兄は振り向きも見向きもしない。それから、私は激しく跳躍し、飛び跳ねた。近づいてきても、小兄は私の上を覆うようにやって来た。すると、私のお爺さんがまだ、砂浜の側で人々の先頭に立っていた。大勢の人々は長い列をつくり、声を出しながらやって来た。私は驚いた。

4400 今は、私はどうしようも無いので、お爺さんの後ろで長い列をつくる大勢の人々、その人々の中へ隠れた。そして、人の群れから抜け出すと、まさしく、私の上は急に軽くなった。

4416 私のお爺さんは人々とともに、ひどく殺された様子である。それから、私は飛び跳ねて走って行き、ようやく家へ到着した。今はもう、お爺さんも、立派な様子を酷くされて亡くなった。そして、私は貧しい女、下らぬ女であり、どうすればよいのか。生きていてよいのか。いっ

そのこと、小兄の太刀の刃の上で斬られたならば、その方が死んでから立派な霊魂としていられたのだ。私はそう思い、右座の柱へ身体をぶつけた。私の泣き声が響き渡った。

私がそうしていると、しばらくして、家の側の上で人間の歩く音が颯爽と鳴った。そして、玄関納屋の方へまわり、簾戸を肩の上へ跳ね上げた。土間の上へ入って来た者を私が見ると、

4452 小兄であった。今はもう、死にそうな様子であり、左座へ荒々しい足取りで歩み、炬の手前へやって来た。そして、元気であるからそのようにすると思ったのに、うつ伏せに倒れて、硬直した身体を横たえた。

4465 その間に、何者かが、簾戸を跳ね上げて敷居をまたぎ、土間の上に這いながら入って来た。私が見ると、イノウ冠の女であった。長く走ってきたらしく、顔に汗が出ている。あたりまえに畏まるものであるならばさもあるが、表情が硬くなっている。そして、悲しみの涙を何度も流した。

4481 「兄さん。」と言った。小兄の方へ私が振り向くと猛毒の匂い、良くない匂いが激しい風となって私を奥へ追いやった。もはや私の心臓が溶けて無くなり、死んでしまうかと思った、

4504 その間に、天空で何かの音、何かの聲が私の耳穴に届いた。そこで、耳を澄まし、耳を傾けて注意していると、何の声であるのだろうか。歌声であるのか、泣き声であるのか、女の咽喉、若々しい咽喉の聲が鳴り響いている、それと同時に、何かの金属が叩かれる音、その音が美しく鳴った。聞こえてくる声は帰天する神のように響き渡る。次第に、私の住まいへ近づいてきて、外の

4519 櫓、その櫓の上へ降りた。何者かが、家の側の上で歩く音がした。懐中の宝物が鳴り響いた。そして、玄関納屋の方へまわり、咳払いをしながら、簾戸を風でそよがせた。土間の上に何者かが光とともに入ってきた。

4546 私が見ると、濃い霧、小さな霧の小山があり、霧の中は神光で輝いている。霧の中心を何度も目で散らして見ようとしたが、何度そうしても、人間の姿を見定めることができない。長い間そうしていると、霧の中で私の目の前が急に暗くなった。若い女であり、今年あたりに私によく似て、少し私を越えて成長したように思われる女である。大事に育てられた者、美しく育てられた者であるらしく、神の刺繍衣、金の刺繍衣を身にまとっている。私が着ているものとそっくりである。

4567 私が着ているものとそっくりである。

- 4602 耳の上で神の耳飾りが輝いている。頸の上には神の首飾りをつけており、神光で輝いている。神々しい髪は絹の糸のように頭上を覆っている。髪の毛の先端は光り輝いている。その下には神々しい顔が太陽のように輝いている。
- 4621 長い間泣いており、まつげが半分しか出ていないのだが、どのように褒めることもできないほど美しい。霊力に優れた者であるらしく、霊力を秘めた表情で顔色が異彩を放っている。そして、金の太鼓を脇に抱えている。神光が家の中で明るく輝いている。人々が噂するエトロバ姫小姉であることが私にはよく分かった。姉は金の太鼓を左座にある寝床の掛け竿の先端に掛けた。それから、
- 4650 私の方へ身体を向け、このように言った。「さてさて、オタサム姫、私の妹とクナシリ姫、神である婦人よ、話しますからよく聞いてください。私はエトロバの女です。遅かれ早かれ、いずれにせよ、良い会見、穏やかな会見をすることばかりを私は待ち望んでいたのですが、極悪の神、性悪の神の悪いおこない、悪戯が原因で、一緒に死の縁へ追い込まれたのです。
- 4682 オタサム彦、小兄は可哀想に攻撃を受けたのです。今は、神の魂も抜け出してしまうように思います。私たちは正しい理由を持っているのです。女ではあっても、小兄を治癒して魔払いをしてみましょう。今はもう、私たちが頼りにする心強い男は人もいませんから、私たちが治癒をしてみましょう。
- 4708 長い間、猛毒で死んだ者は、神でも人間でも、蘇生することができないのだと言われていますが、小兄はまたとない勇者です。猛毒で死ぬのは可哀想です。すぐに死んでしまったら、オタサムの村は意気消沈することになります。
- 4726 いつまでも、小兄の神の魂が戻る事が無ければ、私たちは女ですが、天空まで、神々のところまで攻撃をしかけて、神々の世界を表土とともに荒らしてやりましょう。
- 4742 わたしが小兄を治癒します。二人で私の背後についてくれませんか。小兄が蘇生し、生き返ったのが分かったら、それから挨拶を交わしましょう。」エトロバ姫はこう言って、みずからの帯をほどいた。ただ一枚の薄衣を身にまとい、神の鉢巻を巻いた。
- 4763 気合いの声とともに小兄の腰の上へ膝をつき、折れた槍の半分を強く握った。そして、槍を揺すり引き抜いた。
- 激しい叫び声で私の咽喉が響いた。私の背後でイナウ冠の女は激しい叫び声で咽喉を響かせ、激しい足踏みをした。私は肩を並べた。
- エトロバ姫、小姉の背後で何度も私たちは足踏みをして腕を伸ばした。幅広の槍には血が滴り、神窓から外へ飛び散った。猛毒の匂い、良くない匂いが私たちを奥へ追いやった。今は、心臓が悪くなりそうな気分である。
- 何と小姉は心臓が強いことか。小兄は幅広の槍で突き刺された。突き刺されたところから、猛毒の泡が出てくると、そこに口をつけて、吸い出した。小兄は何度も逃げようとした。前から、背後から、猛毒の泡、猛毒の水を姉は吸い出し、乾燥させた。
- それから、金の太鼓を取り出し、脇に抱えた。そして、口元が鳴った。それと同時に、口元からかすかな魔払いの音が何度も聞こえ、小兄の上へ降り注いだ。戦いの最中に負った深い傷、数多くの傷の上に、その傷の上に、魔払いの音が突き刺さった。同じように、浅い刀傷、数多くの刀傷が前へ出て、背後へ出て、突き出していった。小兄の着ていた小袖の裂けた布、数多くの布、周囲に垂れ下がっていたものは、すべて前よりも立派になった。
- それから、姉は兄を炉の前へ寝かせ、腕の中に小兄を抱えた。小兄、死人、死相を浮かべた者は人間であるのか。まったく、神の如き様子である。その周囲は悲しみの影で幾重にも覆われている。それから、小姉は歌を歌い、咽喉を美しくねじらせた。その口元は帰天する神のように響いた。金の太鼓の表面を、金の小さな撥で拍子をとりながら叩く音が鳴り響いた。
- 何と咽喉が良く声が美しいことか。金の太鼓の音が鳴るとともに、聞こえてくる声を私は好ましく思った。まことのことであろうか。
- 小姉は憑き神のためなのか。そのおこないは男の勇者をしのいでいる。私が恐ろしく思い、匂いだけでも死にそうな気分になったのが、この猛毒なのに。しかし、治癒することも並々ならぬ様子である。その上にまた、憑き神の力を持つ者であるから、今は、小兄を蘇生させることができたように思われた。
- 私は驚いた。クナシリ姫、イナウ冠の女も、あたりまえに驚くものであるならば、さもあるが、まことに驚いたものであるらしく、それが私にはよく分かった。
- 今はもう、小兄は次第に生者の血色になってきた。まさしく、私は喜んだ。とても驚いた。小兄を私は惜しみ、私も生きていないだろうと思っていたのだが、まことの

ことなのか。事実なのか。小姉がいたおかげで、今はもう、小兄に会うことができるのだ。そこで、私は泣きながら喜んだ。

4964 イノウ冠の女も、私と同じように思ったものらしく、泣きながら目を開けた。そして、小兄の上を畏まりながら見回した。今は、小兄も小姉も元気な様子である。まことに、まさしく、似つかわしい顔つき、似つかわしい容貌であると、心の中で私は喜んだ。

4998 ここで、話は他所へ飛ぶ。

第3段 オタサム彦の語り

第11章 オタサム彦にたいする女たちの治療と介護

4988 眠りであるのか、死であるのか、私にはわからない。長い間、暫くの間、私は意識が無く、私の心は狂ったように、朦朧としていた。何かの声、何かの音が何度も何度も聞こえ、我は起きようとする、夢の中へ何度も入り込んだ。何度となく、幾度となく、そのようであった。

5009 あるとき何者かが歌う歌が帰天する神のように美しく響いていた。何かの金属の表面が叩かれる音が美しく鳴っていた。そのときに私は目覚めた。

5022 目を開いて見ると、よもやまた、そのようであるとは思わなかったが、私のどこに傷があり、痛めつけられているというのだろうか。前と同じ身体に戻っている。着物も装束も、美しくなっている。エトロバ姫、我が妹の顔の側で私は目覚めた。

5041 妹はいつものように、神の如き姿、貴人の姿であり、ただ一枚の薄い衣を着ている。神の鉢巻を高々と締め、金の太鼓、神宝で顔の側が光っている。金の小さな撥で太鼓の表面を叩く音であったのだ。我は驚いた。

5058 我は火の側で起き上がった。長い間、何も食べていなかったものであるから、我はまことに痩せ細っている。腕の力も萎えている。今は心臓が悪くなりそうな気分である。エトロバ姫、我が妹は、薬の入った小鍋を炉に掛けた。それを沸かしてお椀に入れ、畏まりながら我に飲ませた。すると、薬効のある気を何度も我は飲み込んだ。良い薬で、我は心臓の上手から下手まで、伸び伸びした気になった。まことに、私は気持ちが落ち着いてきた。妹は魚の尾びれや鰓を取り出し、煮て、その汁を我に吸わせた。

5094 我が見ると、祖父はどこへ行ったのであろうか。まったく姿が見えない。家の妹は右座の側で今は泣き倒れそうにしている。悲しみの涙を何度も流している。左座にはよもやまた、そのようなことがあるとは思わなかったが、クナシリ姫がいつものように、神の如き姿でおり、その表情は暗く沈んでいる。長い間、何も食べなかったものである、痩せ細り、まことに疲れている。それが我にはよく分かった。

5125 エトロバ姫、我が妹も、毎日何も食べていないものであるように思われる。そして、ひどく疲れているように我は思った。家の妹、我が妹も、まったく疲れている様子であるが、声をかけることもできない。我は頸の上からうつむいて、一個所を見つめた。

5148 家の妹、我が妹は立ち上がって、下座へ行った。水滴を何度か使い、良い煮炊きをかいがいしくおこなった。鍋が煮えると、高盛りの飯をみずからの上に乗せて、畏まりながら我に差し出した。我はそれを受け取って高くかざし、低くかざし、拝礼した。空腹で倒れそうに思っていたので、我は食事をした。ゆっくりとした食事を我はみずからおこなった。我が妹たち、イノウ冠の女は三人で食事をした。

5180 我が何も言わないものであるから、一人残らず、ひどく畏まっており、息をするところ、呼吸をするところもみずから塞いでいる。何も言わずにただ食事だけをしている。そして、食事が終わった。我の腕と足は筋が張っている。我はそれを揉みほぐした。それから、我は立ち上がった。仕切られた寝台、その寝台の上へ上がり、身を横たえた。そして、良い寝床、その寝床の中へ入った。左座では、エトロバ姫、我が妹とクナシリ姫が良い寝床をみずから用意して横になった。右座では、掛け竿の下の枕の上で、家の妹、我が妹が横になった。今はもう、よく眠った。寝床の上で、夜着の裾の上で、我は足をねじり袖口を被った。それから、我は様々なことを回想した。

5232 祖父はそのように教え諭した。それからまた、そのように、言い、エトロバにいた一族を訪問させた。我は気が進まずに行くと、道中で、事件があった。エトロバの村に到着して我は酷い目に遭った。エトロバ彦を我は惨殺した。ペケンヌツ姫、貧しい女、下らぬ女を我は惨殺した。そして、ニカンビコロ彦、育ての兄は意気地なしで、心が弱かった。

5258 我はそれを見て外に出ると、エトロバの村を破壊したこ

とまでを夢のように思い出した。しかし、その後はまったく、いつまで努力しても思い出すことができない。どのようにして我は家へ到着したのか。どのようにして我は生き返ったのか。誰が我を治癒したのか。クナシリ姫、イノウ冠の女はどのようにして我が家に来ているのか。家の妹、我が妹も、なぜこのようにあまりにも疲れているのか。その次に、私の祖父、年老いた人はどこへ行ったのかと、我はとて不思議に思った。

第12章 夢に狼神の妹が現れる

- 5302 早く、明日になったら、少しでも快復して、人々の話をよく聞きたいと思い、我は眠ることもできなかった。すると、よもや、我が眠るとは思わなかったが、良い眠り深い眠りが我に絡みついた。
- 5320 我が目はぱっと開き、神窓の覆い、その隙間から目を通して見ると、立ち並んだ幣柵、その幣柵の上から霧の橋が伸びており、天空まで届いている。その表面はどこまでも明るく輝いている。
- 5335 橋の上に目を向けて見ると、ずっと天空の間から、橋の上を何者かが、回転する輪のように、さっと降りてきた。降りてきて、今は幣柵の上手に近づいた。橋の上に小さな霧の小山が現れた。
- 5354 我は霧の中心を何度も目で散らしてみたが、何度そのようにしても、人間の姿を見定めることができない。長い間そのようにしていると、霧の中で目の前が
- 5366 急に暗くなった。成長した婦人であろうか。金の刺繍衣、神の刺繍衣を無造作に着ている。着物の表面には狼の毛の無い皮、金の毛皮がついている。袖口にも、裾にも、幅広の平金が取り付けられている。平金の表面は金の模様で隙間なく飾られており、それを上着にしている。絹の帯を胴に撒いている。片方の肩には日光の虹がかかり、もう片方の肩には頭の折れた虹がかかっている。二つの虹は頭上で交差している。
- 5396 神髪は絹のように頭上を覆っている。その下で、神々しい顔が太陽のように我に照り返す。靈力に優れた者らしく、靈力を身体の中に隠している。姿を現している憑き神は蝙蝠の群のように背後で飛び交っている。姿を隠している憑き神は星のきらめきのように背後で輝いている。
- 5416 そうでなくとも美しいのに、口のまわりの刺青が美しく輝いている。神の鉢巻をねじり上げており、神である

から、神の顔色である。このような神、このような貴人が、悲しんで、嘆き心配しているのだろうか。悲しみの表情を幾重にも浮かべている。心が乱れているかのようなのである。

長い間泣いており、まつげが半分しか出ていない。そうではあるが、そのことで少しも美しさが損なわれることは無い。 5439

神の如き姿でいる者は我の方へ振り向いた。このような神、このような貴人がみずからを差し置いて何に感嘆するものであろうか。霧の中心を何度も私に対して散らした。何度そのようにしても、人間の姿として我を見ることができない。長い間、そのようにして、我を見定めると、表情が急に暗くなり、我の手前へ視線を落とした。隅々まで我に感心したようである。 5448

それから、涙が雨のように、顔の上から流れ出た。そして、咽喉が美しく響き、言うことはこのようであった。 5475

「さてさて、私の息子よ、話しますから良く聞きなさい。私はあなたの母なのです。あなたたちの祖父が言い諭し、聞かせたように、私は神であり、天空にいます。 5484

神は急に振り向くものではないので、いつものように、何も心配することなく、あなたたちがいるものと思っ 5498

ていましたが、意外にも、大変な出来事があったのです。本当に、天空といっても、一つではないのです。下方の 5511

天空、上方の天空、雲間の天空が重なるように、神々の世界があるのです。突然、エトロバ彦、あなたの小兄が神々の世界、その世界を攻撃してきました。下方の天空も、雲間の天空も、 5524

表土とともにひっくり返そうと子供じみた乱暴をして皆を慌てさせたです。そこで、靈力の強い神も、弱い神も、一斉に、大いに慌てたのです。神は靈力に勝るものですが、勇気においては、奮戦においては、どうしても人間の勇者が、男でも 5536

女でも勝るものであると、神々の間では言われているのです。それは 5559

本当です。私は人間のところへ嫁ぐために、幼少の頃から、成人するまで、成長するまで、神の戦いにも人間の戦いにも、まことに激しい戦いにも加わったのです。人間の男にも、人間の女にも、その勇気にも、その憑き神の力にも、本当に私たちは敵わないものなのです。 5579

エトロバ彦、あなたの小兄には、その妹にも、神の手が及ばないのです。それが急に神々の村へ攻め寄せてきたものですから、神々は一人残らず、みずからを見失うほ

ど慌てました。

5596 人間の村、オタサムへでも、エトロバへでも振り向いたところ、まさしく、困難な悪い出来事が起こっていたのです。その出来事、戦いの原因、悪事の原因を探しました。すると、意外なことでした。

第13章 母が教えてくれた雷神の娘の企み

5610 下方の天空にいる雷神は六人の兄弟であり、六人の姉妹であるのです。その最も年若い女には、霊力において匹敵する女がいないのです。そこで、神々の間でふさわしい連れ合いを探しましたが、心から納得できる相手は一人もいませんでした。

5628 そこで、人間の世界、その世界の一部を調べて、ふさわしい相手を探しましたが、なかなか見つからず、最後にあなたを発見したのです。まさしく、その容貌、その勇氣、その雄弁さ、あなたの心が美しいことを見抜いたのですから、本当に、心の底から、あなただけに激しく惚れこみました。まさに似つかわしいと惚れたのです。

5653 どうにかして、あなたを殺したいと思いました。あなたを殺して、あなたの魂を奪い、天空で連れ添うことを強く望んだのです。しかし、あなたを殺すことはとても難しかったのです。類稀な霊力を持つ女ですから、天空にも霊力のある神が集まっているのですが、一人残らず、目の前を霧で覆い、塞いだのです。みずから、兄たちにも、姉たちにも、同じことをしました。人間の世界、その世界の上にいる神々、霊力の強い神も、弱い神も、一人残らず、目の前を霧で覆い、塞ぎました。エトロバ姫、あなたの妹は類稀な霊力を持つ女ですが、目の前を塞がれ、霧で覆われました。

5696 それから雷神の娘は、オタサムの館へ降り立って、あなたの住まい、あなたの上空の天窓の上に降りました。そして、夜も昼も、何度となく降りて来て、あなたばかりを見ていたのです。あなたの美しい様子にとっても満足して、あなたを見張っていたのです。どうすればあなたを殺すことができるだろうかと毎日いつも考えていたのです。

5722 あなたは守護神の力が強いものですから、今はもう、神々が振り向きそうになりました。そこで、あなたを殺すことがまったく出来ませんでした。その間に、あなたの祖父があのような次第で、あなたたちに言い諭しました。それでエトロバ村へあなたは行きました。

そのことをまことに、雷神の娘は喜んだのです。あなたの道中に、あのような悪戯をして、戦いの原因をつくりました。そうすれば、あなたが軽はずみで怒り、あなたたちの争いが生じれば、そのときに、それにかこつけて、あなたを殺すことができると

考えたのです。汚い女、下らぬ女の意向で、ペケンヌップの人々も、クナシリの人々も、一人残らず騙されて酒を醸したのです。一人残らず、少しも悪い心を持っていませんでした。神の意向、貴人の意向で、村の上を治めていた長者たち、頭領たちなのです。

ペケンヌップ姫も、頬の長い瘦せた醜い女ではないのです。しかし、雷神の娘がそのように悪戯をしたのです。本当は美しく、器用で、名高い者なのですが、そのように姿をゆがめられました。悪者であるように、あなたもクナシリの人々も、エトロバの人々も悪意を持って見たのです。

ペケンヌップ姫があなたの荷物を足で蹴り、引きずりながら入ったことも、大勢の人々とともに、ペケンヌップ彦を笑わせたことも、雷神の娘がその意向でしたことなのです。

いつ、あなたが怒って争いを始めるかと思い、まことに笑いを堪えていました。しかし、いつまでたっても、あなたは守護神の力が強く、頭が良いものですから、心の中で怒りを覚えても、あなたはエトロバ村へ行きませんでした。

その前に、人間を斬ること、殺すことはできないと、あなたはまことに穏やかな意志、良い意志を持っていました。そして、

クナシリ村に行ったときに、またあのような出来事がありました。悪い女下らぬ女の意向で、クナシリ彦は大いに腹を立てました。あなたが口を振るってあなたも怒れば、大きな争いになるだろうと、笑いを堪えていました。そして、いつまでも、あなたの後を追いかけて天窓におり、あなたの方ばかり見ていたのです。

そのような悪戯をして、今度こそはと、身を引き締めて待ち構えていました。しかし、見ていると、あなたは雄弁であるので、我慢して、堪えることができました。

あなたはオタサムの館、神の住まいの上流へ降ろされた尊い神室で、みずからを守っています。そこで、再び戦いが起こらないように、戦闘が起こらないようにクナシリ村まであなたは出かけました。

雷神の娘はまことに驚き、心配しました。怒りながらま

- た、エトロバまであなたにくっついて行き、あのような悪戯をしました。エトロバ姫、あなたの妹が煮た良い料理、美味しい料理を先にあなたが食べるのを嫌がり、あなたの小兄（エトロバ彦）を騙しました。
- 5911 猛毒の槍、幅広の槍であなたはいきなり攻撃され、一口もエトロバ姫のうまい料理を口にすることなく、背後から突き刺されたのです。
- 5919 雷神の娘はただの人間、あたりまえの人間たちと考えて、自身より霊力の強い者は一人もいないと自惚れ、まわりを見下していたのです。オタサム彦の殺害は容易なことと思ひ、エトロバ村まで行って、只事ではない悪戯をしました。今度こそはと、まことに喜びました。猛毒で死んだ者は、いつまでも、神でも、女神でも、それに抗う勇者はいないものであり、蘇生できないものであると知っていたのです。
- 5953 あなたはただの人間ですから、すぐに死ぬと思ひ、あなたが死んだら、あなたの魂を奪うことばかりを考えていました。しかし、よもやまた、あなたがそうするとは思わなかったのでしょうか。あなたの小兄はオタサム彦によって死ぬにしても只事ではない様子にされました。ペケンヌップ姫もオタサム彦によって同じように、死ぬにしても只事ではない様子にされました。
- 5975 雷神の娘はまことに慌てて、まさに考え直しました。神々が振り向くであろうと思ひ、まことに怖れたのです。しかし、その結果、あなたを逃がすことを嫌に思ひ、どうにかして、あなたを捕えようと思いました。あなたの背後でねらいを外し、あなたを逃しました。その間に、
- 5997 エトロバ姫、あなたの妹はまことに慌てて、大昔に、オタサム村、神の住まいの上流へ天空から、神々のところから降ろされた神宝の中の金の太鼓を取り出しました。女の霊力を強くするものなのです。
- 6013 あなたの伯母がエトロバ村に嫁いだときに、頸の上を美しく飾っていたものなのです。そこで、その金の太鼓、神宝にあなたの妹は背後を守られ、またオタサム村へ嫁ぐことになるのです。それを取り出して、腕に抱えて
- 6032 外に出ました。その間に、まさしく、目の前の霧が消えました。今こそは、悪事の原因、戦いの原因がこのような次第であることが知れ渡りました。神々はまことに驚いて、密かに雷神の娘の後を追いました。雷神の娘も、類稀な霊力のある女ですから、雲間を何度も滑り抜けました。
- 6054 その間に、あなたは毒にやられ、エトロバ村をひどく破壊
- 壊しました。表土とともに引っくり返しました。それから、あなたはクナシリ村を破壊しました。
- クナシリ彦は我に返り、戦いを嫌がり、戦闘を嫌がりま
- 6064 妹とともに、そうしたのですが、あなたは戦いの狂気、悪事の狂気に取り憑かれました。
- 雷神の娘は追われていても、その間にいつも人を騙して
- 6074 逃げていました。どうにかして、早くあなたが死ぬことを望んでいたのですが、クナシリ姫、イナウ冠の女はまことに心が良い者であるので、理由の正しくない事に加担することを嫌がり、あなたを助けたのです。そして、あなたが死にそうとき、あのようなことを戦いの最中にされたのです。
- ペケンヌップ村をあなたはひどく破壊しました。あなたの祖父が殺害されたのも雷神の娘がしたことなのです。その間に神々は一人残らず、振り向きました。天空から、霊力の強い者ですから、悪い女、下らぬ女は縄をかけられました。捕えられ、柱に縛り付けられて罰せられ、懲らしめられました。
- その間に、あなたは死に、まことに、エトロバ姫は神々の世界へ攻め寄せようとしたのですが、憑き神の力が強く、男の勇者を凌ぐ者ですから、先にあなたの元へ行き、神々すべてが振り向くようにと言いながら、あなたを治癒し、救出したのです。
- 6100
- その間に、天空には、あなたの小兄がやって来ました。
- エトロバ村、クナシリ村、ペケンヌップ村の一人の人間も欠けることなく、村を元に戻すように。オタサム一族で殺されたものを一人残らず元に戻さなければ、神々の世界が太陽とともに引っくり返ることになる、という伝言が雷神たちに伝えられました。
- 雷神たちはまことに後悔しました。まことに、神々の話は激しいものでした。上天には、人間をつくる神、夫婦の神がいるのです。大勢の神々から相談されて、人間をつくることを承諾しました。そして、あなたが壊した三つの村の人々を元通りに、以前よりも立派に、一人も残さずに、家とともに、宝物とともに、食物とともに戻しました。
- 6123
- 如何なる山も、川も、林も、獣も、余すことなく、新しくつくり終えました。神がつくれぬものは一つもないのですから、今はもう、あなたが壊したものはすべて、神々が助け合い、新しくつくり直されました。
- オタサムで殺された人々も、一人残らず、遠くの魂、近くの魂を追いかけて生き返らせ、村に帰しました。あな
- 6144
- 6169
- 6194
- 6212

たの祖父は、帰そうとしても拒絶しました。

- 6226 『いつも、早く神のところへ行きたいと思っていた。我が孫たちに先に再会し、それから、少しの酒を醸して、イナウとともに我は立ち去るつもりだ。このような意志が下されたが、極悪の神性悪の神が我を悩ませた。あろうことか、只事ではないことをしたのだ。しかし、我が孫たちが気配りをして暮らし、神の住まいの上流を治め、下流を治めるならば、それに勝るものはない。』そう言って、帰りませんでした。
- 6261 これからは神のところにいることになります。その次に、あなたの小兄も、あまりに殺され方が酷かったので、きまりがわるく、恥しく思い、
- 6273 『再び人間の世界へは帰りません。』と言いました。上天のまことに尊い神の最も幼い娘が仲裁すると、まことに喜びました。そして、お互いに、まことに理解し合い、仲良くなり、夫婦となりました。そのおかげで、今はとても落ち着き、穏やかになりました。その次に、
- 6297 雷神たちは、一人の娘の愚かなおこないのために、神も人間も慌てさせ、酷い目にあわせたのです。そこで、何も知らないものなのですが、一人残らず、もう少しで湿った下方の世界へ追いやられるところでしたが、神々の相談が激しく、一人残らず蘇生され、許されました。
- 6320 神のところでも、女神のところでも、人間のところでも、人を好きになり、惚れこみ、乱心、淫心というものとは異なるものではないのです。しかし、雷神の妹が惚れこむ様子はまことに良くなかった。そのために、戦いが始まったのですが、神の憐れみがあったおかげで、今はもう、何もかも良くなって、私は安心しました。
- 6349 私の娘が一番可哀想ですが、今はもう、何をすることも何を言うこともできません。揺り籠の上から、裸の上から一緒に育てたものですが。このような次第であなたは頭領になったのです。あなたは勇者です。良いように、あなたの妹を世話してください。可愛がって、良くない人であっても連れ添うようにしてください。
- 6375 このように、戦いの理由、戦闘の理由があったことも、天空はこのような次第であったこと、そのことをすべて、エトロバ姫、あなたの妹だけが残らず見通し、理解しています。クナシリ姫、イナウ冠の女と私の娘はこのような次第であることを少しも知らないのです。そこで、今晚、このような次第を、夢で残らず
- 6403 伝えました。これからは、早く沢山の食事をとり、元気になりなさい。いつまでも、良い意志、穏やかな意志、

神の意志を持って一族を大切にしてください。そして、オタサム村、オタサムの館、神の住まいの上流を治め、下流を治めてください。これまでの次第は、残らず、エトロバのあなたの大兄、ニカンビコ彦にも、クナシリ彦にも、ペケンヌップ彦にも、一斉に、これまでの経緯を夢で伝えるつもりです。

雷神たちのその娘は神の意向で罰せられるので、それに任せたら、下らぬ女、悪い女は何度も殺されました。折檻され、処罰されました。再び、人間のところでそのような悪戯をしないと承諾し、まことに後悔して謝り、許されました。今はもう、神のところでも、何も心配することがなくなりました。そこで、このことを一つ残らず、あなたに聞かせるのです。

早く元気になって、少しの酒でも醸して、天空までイナウとともに届けてください。そうすれば、まことに神々は喜ぶでしょう。これからは、大勢の神々が、いつも人間の世界、その世界の一帯を見張ります。そうすれば、生涯の間、何の困難も無く、

以前の通りになります。大昔に、あなたの父、神である勇者が国土の一帯で名高かったように、あなたも、いつまでも、名高い人でありなさい。」母はこのように言った。

そして、頸の骨も折れるほど、何度もうなづきを繰り返した。二度、三度と我から離れて向きを変えることもしかなる様子である。

母よ、と我は言い、強くつかみ、抱き寄せたと思ったら、枕を振り回しており、我は目が覚めた。我の心は激しく乱れた。我は夢を見て眠っていたのだった。

第14章 オタサム村での暮らし

それと同時に、家の妹は母さんよ、と泣き叫んだ。枕を振り回した。泣き声が鳴り響いた。エトロバ姫、我が妹とクナシリ姫、イナウ冠の女は悲しみの涙を幾度となく流している。聞いただけでも、酷い話であり、母である人が我に聞かせたのであるかと、一日中、国土とともに揺らされるように思った。

如何なる顔つきの者、如何なる容姿の者が我であるのか。神は神と、人間は人間と結婚するものであるのに、意外にも、極悪の雷神、性悪の雷神、下らぬ女、悪い女の意向であったのか。

二度も三度も、我が治めていた村を破壊され、尋常では

6436

6468

6490

6503

6513

6525

6551

6567

ないことをされたのだと、我は驚いた。エトロバ彦、我が小兄は心から我に手荒な扱いをしたのだと思い、あまりに腹立たしく思い、悔しく思い、自身を哀れに思ったのだ。

6591 我は戦いの狂気、戦闘の狂気に取り憑かれたので、殺すにしても並々ならぬことをしたのだが、意外にも、このような次第であったのかと、我は怒りを覚えた。

6605 今は、我が小兄は恥じているというので、人間の世界に引き返すこともせず、神の世界に滞在しているのか。我は半ばは満足し、半ばは憐れに思った。このような神、このような貴人をもう、生涯の間、会うことができないのかと、我は勇者の末裔、頭領の末裔であるが、寢床の上で濃い涙を幾度も落とした。

6633 極悪の神、神の悪い意向により、ペケンヌツ姫も、容姿を痛めつけられるにしても、並々ならぬことをされたのだ。そのために、死ぬにしても並々ならぬ様子であったことを我は思い出し、憐れみと怒りを覚えた。

6650 その次に、我が祖父、年老いた人は幼少の頃から我を養育し、可愛がってくれた。そこで、我は一人前の男に成長したら、狐でも兎でも捕えて祖父を養い、大事にしようとはばかり思っていた。しかし、極悪の神、性悪の神の悪い意向のために我は不孝なおこないをしたのだ。これからは会うことができないのかと、我は寢床の上でみずから涙を拭った。どうすることもできない。恐ろしいことだ。

6686 もう少しで、これから神の世界へ攻め寄せて、下らぬ女、悪い女を湿った下方の世界へ蹴落としたと思った。しかし、我が母が言い諭したのだ、と考えると、我は考え直し、心を落ち着けた。

6704 我が母は神であるから霊力が強く、憑き神の力が強いのか。我の心を見通していた。何もかもそのように言うので、我は驚いた。まだまだ、神である母に会いたいものだ。

6718 如何なる生まれの者、如何なる育ちの者が、我の父であるのか。なるほど、妬みを受けて、成長の途中で戦いばかり、戦闘ばかりのつらい生涯を送り、まだ若いのに、我を残して良かったのかと、まことに我は泣きながら、二日間、三日間とふさぎ込んでいた。

6740 それと同時に、我が妹たちも、クナシリ姫も、何も食わずに横になっていた。いつまでも、このようにしていても、何の実りがあるろうか。神である母の言い付けに背くことになるのだと我は思い、ある日に、手をつけて起き

上がった。

我が起きると、妹たちは安堵して、一斉に起き上がり、互いを手伝って煮炊きをした。家の妹は頭の上に食物を乗せ、毎日、我に差し出した。我が妹たちは我に畏まるものであるから、密かに泣き合い、互いに挨拶し、互いの無事をねぎらった。毎日、我々は沢山の食事をとり、元気になった。今はもう、以前の心、以前の精神を我は取り戻した。まことに元気になった。それと同じく、我が妹たちも、まことに、揃って、顔色が良くなった。一人残らず元気になった。

6796 我は毎日、刀の鞘を彫ること、その表面を彫ることに集中した。たちこめた霧、濃い霧を我はめぐらせた。家の妹、我が妹は、先祖伝来の物入れを手で探り、絹を取り出した。そして、毎日三人で刺繍に脇目も振らない。刺繍しているのを我が見ると、誰のものも、美しさにおいて、器用さにおいて、優劣があるだろうか。刺繍したものは神雲となって幾重にも立ち昇る。美しさにおいて、器用さにおいて、エトロバ姫、我が妹は勝っている。

家の妹、我が妹は何を思うのか、澄んだ涙を何度も落とした。どうしても、エトロバ彦、小兄を思い出すことが我には分かった。そして、可哀想に、我が妹は成長した娘、成長した女は、若い心を悩ませ、密かに心を痛めている。我は可哀想に思い、心の中で泣きそうに思った。その次に、エトロバ姫、我が妹も、憑き神の力のためか、勇者であるからなのか。するにしても並々なることをして、我を蘇生させたのだが、我は一言も感謝の言葉を述べていない。

6832 今は、まことに、我は自身に驚いた。我は言うことを聞く人間、人目を気にするものである。そこで、夜も昼も、今こそは我が妹をつかまえて抱きしめようと思ったが、思い直し、気持ちを落ち着けていた。

我が妹も、クナシリ姫、イナウ冠の女も今は、故郷の村が新しくつくられたので、行って見たい様子であることも、我には分かった。我の言うことを良く聞くものであるから、その意向により、このように行くこともわからずにいる。ひどく畏まっているものであるから、ただ密かに女どうしで会話している。

6858 ある日、まことに天気が良かった。そこで、寢台の上で我は立ち上がり、身なりを整えた。荷縄のついた矢筒を背中に掛けて、桜皮の弓、その弓の真中をつかんだ。

6874 そうすると、あたりまえに、我が妹たちは喜ぶものであるならば、さもあるろうが、三人で一斉に振り向き、口

元に笑みを浮かべている。我はそれを見て、天窓から飛び上った。一気に、オタサム村の上流の奥へ飛んで行った。

- 6942 今こそは、我が奥地の一帯を見知った。神がつくった奥地の美しい様子を我は好ましく思った。我はまことに大きな雄鹿を獲物にした。我はひどく嬉しく思った。我は皮を剥いで見ると、何と獣の神は肉や脂身のあることか。まことに脂身の塊である。どうにかして、
- 6965 我が妹たちを喜ばせたいもののだと思い、我は陰で笑みを浮かべた。皮を剥ぎ終えると、我は荷造りをして背負い、川に沿って下る風を伴い、下って行く音が響いた。
- 6979 家の神窓、その窓の下に我が大きな鹿の肉を投げ入れる音が響いた。我が思った通り、三人の娘はさっと起き上がり、手のひらを打って狩猟の踏舞、狩猟の踊りをした。素晴らしい、と騒ぐ声が家の中で響いた。密かな笑いを我は浮かべた。
- 7001 家の妹、我が妹は、笑みとともに、肉を運び入れた。運び入れて、我は肝臓に刀を入れて切り分け、火の神の口につけた。それから、大きな高盛りをみずからつくった。そして、エトロバ姫、我が妹に差し出した。あたりまえに慌て、畏まるものであるならば、さもあろうが、表情が硬くなっている。畏まりながら、大きな高盛りを受け取り、高くかざし、低くかざし、拝礼した。
- 7029 再び、大きな高盛りをクナシリ姫、イナウ冠の女に差し出すと、同じように、畏まりながら受け取り、高くかざし、低くかざして拝礼した。
- 7040 家の妹、我が妹に我は高盛りを差し出した。まことに喜びながら受け取り、高くかざし、低くかざした。
- 7049 それからまた、我はみずから大きな鍋に水を入れ、炉に掛けた。我はの脂身、脂身の良いところを鍋の中へ切って入れた。炉の側で、三人で肝臓を食べた。何と味が良いことか。まことに美味しい。三人の娘は良い肝臓、新しい肝臓に舌鼓を打ち、食事をした。鍋が煮立つと、
- 7072 我は鍋を降ろし、大きな木盆を取り出した。その中へ肉を入れ、脂身を入れた。再び大きな高盛りをそれぞれに差し出した。娘たちはまことに喜んだ。
- 7085 我は生まれ嫉まれたものであるので、我が祖父に良い獲物を一口も食べさせることができず、不孝をしたことを思い出し、何度も悲しみの気持ちを抱いた。そして、食事が終わった。我は休まされた。

第15章 一族を招待する

- 「さてさて、我が妹たちよ、食物の残りでもあるならば、取り出して、酒を醸しなさい。今からでも、先祖の住むところへ小さな祭祀でもするつもりだ。我が一族、遠くにいる者、近くにいる者を残らず招いて、互いに喜びたいと思う。」我がこう言うと、三人の娘たちはそれを聞いて顔を見合わせた。まことに、心の底から喜ぶものであるから、笑みとともに外へ出た。
- 7100
- 村の上手へ、村の下手へと、声を出した。選ばれた長者たち、選ばれた婦人たちが集まった。六つのかますが倉から取り出された。それから、水汲みや、臼つき、煮炊きに集中した。イナウにする木を切る者は山へ駆けていった。我が手が触れるものは、このように、しばらくすると、六つの行器が上座に置かれた。二日、三日すると、神が食べたいものであるから、良い酒、神の酒の良い匂いが家の中で満ちた。我が一族は家の中へ入った。それからまた、酒を漉す音が次々と鳴り響いた。酒を漉す者は互いに策を走らせた。我はそれを好ましく思った。
- 7127
- 我も立ち上がり、イナウを削ってみると、何と上手であることか。我が削ったイナウは最も良い。神雲が幾重にも立ち昇る。我が一族の人々は鼻を押さえ、口を押さえ、感嘆した。
- 7174
- 我が住まいの中は新しいイナウで美しく飾られた。家の内部は白い光で輝いている。天空へ届けられるように我はイナウをみずからつくった。我が削ったものは、宝列の上、屋根裏の下の大きな列に届くほどである。
- 7190
- 今は、酒を飲むように、準備が整った。我は酒宴の礼装を身にまとった。ますます、我の身体は見えないようになり、神の如き様子である。我が妹たちは、三人で、酒宴の礼装を身にまとった。驚いたことに、ますます、神の如き様子である。
- 7207
- 我は雄弁な者に言付けし、エトロバ彦、ニカンビコロ彦、我が大兄も、クナシリ彦も、ベケンヌップ彦も、妹とともに招いた。我は長い伝言を届けた。伝言を受けた者が国土の上で進んで行く音が響いた。
- 7227
- 今は夕方になった。伝言を受けた者が戻ってきて、神である者は今から来るであろうと言った。その途中で、国土の上で、数多くの神がやってくる音が鳴り響いた。
- 7242
- 次々と外の櫓の上に、何者かが降りてきた。家の側の上で、何者かの鐙が鳴る音が響いた。玄関納屋の方へまわ
- 7256

- り、次々と咳払いの音が家の奥まで届き、美しく響いた。簾戸を風でそよがせて、土間の上に、光とともに、靄とともに、入ってきた者を我は見た。
- 7281 ニカンビコロ彦、我が大兄であり、今の美しさはもの凄
い。神の如き様子、酒宴の礼装でますます、どのように
褒めることもできないほど美しい。大兄は中へ入った。
- 7292 その背中の上には、クナシリ彦がいた。神である勇者、
神の守護を受けた者であり、ますます、どのように褒
めるこおともできないほど美しい。酒宴の礼装をして
いる。
- 7302 その背中の上にいる者を我は見た。ペケンヌップ彦で
ある。いつものように、神の如き様子である。酒宴の礼
装で、ますます、今の美しさはもの凄。勇者たち、頭
領たちは肩を並べている。
- 7316 一番最後に、何者かが簾戸を持ち上げた。敷居をまたい
だ者を我は見た。小さな靄の小山が土間の上に這い寄っ
てきた。靄の中を我は目で散らして見ると、驚いたこと
に、噂のペケンヌップ姫である。美しく育てられた者、
大切に育てられた者であるらしく、神の刺繍衣、金の刺
繍衣を無造作に着ている。酒宴の礼装をしており、神の
耳飾りで耳穴の上が輝いている。神の首飾りを頸の上
につけている。神髪は絹のように頭上を覆っている。その
下で、神々しい顔が太陽のように照り輝いている。
- 7356 ペケンヌップ彦と目つきから眉つきまで似た者である。
泣かずに、ひどく畏まるものであるから、表情が硬くな
っている。顔を上げることもできない。我は驚いた。
これほど容貌の美しい者であったのか。容姿を痛めつけ
られ、我が見る様子はあのようであったのかと、ますま
す、雷神の娘を憎く思い、どのように言うこともできな
いように思った。
- 7386 その間に、勇者たちは上座の上で我に向かって激しい踊り
で肩を並べた。腕を我の方に伸ばし、激しい叫び声が響
き渡った。それを真似て、我も激しい叫び声で腕を伸ば
した。
- 7404 我が踊ると、我が妹たち、クナシリ姫、イナウ冠の女
とペケンヌップ姫は起き上がった。我の背中の上を押さ
え、かすかな叫び声で上半身を揺すり、声が響き渡った。
そして、腕を伸ばした。酒宴の座の上で勇者たち、頭領
たち、婦人たちは腕を伸ばした。親族の気合いの声を我
にかけた。
- 7427 勇者たちは我に槍を反らし、刀を反らした。我らはお互
いに、刀を反らし、槍を反らした。戦闘まで、斬り合い
- を越えて、我らは無事を祝った。それが終わると、我は
柄の短い槍を低い杖として身を支え、槍の柄の端に頸を
乗せた。我がする口上が郭公の声のように響き、咽喉が
美しく鳴った。
- 人々は皆、他所の者も、親族も一人残らず知っているも
のであるが、このような次第で先祖を持つ者、親族を持
つ者が我であった。そして、このように、極悪の神、性
悪の神が我を妬み、あのように、道中で事件が起きた。
その経緯から、もう少しで、この人間の世界から我は
離れるところであったが、神の意向が良いおかげで、今
は、人間の世界に戻った。これから、我が一族を守り、
面倒を見て、みずから守護することができるので、神々
のそこへ、天空まで、我は感謝し、イナウを捧げ、酒を
捧げるのだ。
- 列の端で、昔の男性の先祖、近い男性の先祖たち、昔の
女性の先祖、近い女性の先祖たちを我は供養して安心し
たい。それから、良い酒宴、良い食事の最中に、悪いこ
とも良いことも、ゆっくりと穏やかに語り合い、喜びた
いものだ、と我は言った。
- その次に、エトロバ彦とニカンビコロ彦、我が大兄が述
べる口上が郭公の声のように響いた。何と雄弁で賢明で
ることか。まさしく、神も人間も、納得する言葉が響き
渡った。
- エトロバ村で起こったことからてっきり意気地無し
の意志を持たぬ者がしたとばかり我は考えていた。今まで
我はそう考えていたが、言われて、すべて、人を騙す者、
人を悪くする神が悪戯をして、人を悪くしたのであ
った。今はますます、我は驚いた。
- それが終わると、クナシリ彦、類稀な勇者が述べる口上
が郭公の声のように響いた。同じように、無事をねぎら
い、謝罪をし、みずからの無事を喜び、良い言葉を何度
も繰り返した。その声が響いた。
- それが終わると、ペケンヌップ彦、類稀な勇者の述べる
口上が郭公の声のように響いた。同じように、感謝の言
葉と謝罪の言葉、無事をねぎらう言葉、みずからの無事
を喜ぶ言葉を周囲に何度も詳しく述べ、言い終えた。
- その間に、コタンラ彦、我が小兄が妹とともに来た。神
の如き様子であり、元気な様子である。そして、我が一
族は男たちも、女たちも、大勢であり、美しい者ばかり
集まっている。しかし、その中で、コタンラ彦、我が小
兄は妹とともに、異なる鳥のように、異彩を放つ鳥のよ
うに混ざっている。

- 7596 コタンラ彦、我が小兄は立ち上がり、述べる口上は郭公の声のように響いた。親族の無事を祝い、他所の者の無事を祝い、我が妬まれたこと、嫉まれたこと、傷つけられ攻撃されたことに慌てた。よく考えても、只事ではなかったが、今は神の憐れみが強く、何事も良いようになった。
- 7618 「我が弟君、国土の神がオタサム村で蘇生した。それがよく我には分かったのだ。その次に、親族のいない者、一族のいない者が我であったが、極悪の神、性悪の神が攻撃し、妬んだことを我は心配し、怒りを覚えたのだ。しかし、その経緯により、クナシリ彦、神である者が妹とともに来て、ペケンヌップ彦が妹とともに来て、頭領ばかり、勇者ばかりと我は知り合ったのだ。
- 7645 これが理由となって、これからは、同じ一族として、親族として互いに結び付き、親しくすることができる。互いに強く結び付くことができたので、まことに我は感謝し、嬉しく思うのだ。」
- 7659 このようなこと、良い言葉を何度も繰り返した。誰もかも、勇敢で賢明であり、雄弁である。優劣があるだろうか。我は驚いた。
- 7671 それが終わると、上座の上で、ニカンビコロ彦、育ての兄は、弟、心臓よ、と言い、我を抱きしめた。幼児を抱くようなこと、子供を抱くようなことを我にして、強く抱きしめた。類稀な勇者は、我の上で濃い涙を何度も流して挨拶した。
- 7688 兄よ、と我も言い、腕を撫で合った。クナシリ彦とペケンヌップ彦とコタンラ彦、我が小兄は私の傍らへ這い寄ってきた。我々はお互いに腕を撫で合い、挨拶をした。
- 7702 家の妹とエトロバ姫とイナウ冠の女が、這い寄りながらやって来た。我が妹たちはニカンビコロ彦、育ての兄と挨拶をして、腕と膝頭を撫でさすった。育ての兄はみずからの周囲へ妹よ、と言い、我が妹たちの頭上を撫でさすった。
- 7722 イナウ冠の女の兄とも腕を撫で合い、挨拶をした。女たちも今は互いの無事をねぎらった。
- 7729 ペケンヌップ姫も無事をねぎらい、一緒に泣いた。我が一族は情けを同じくした。
- 7734 それが終わると、ニカンビコロ彦を右座の側の火の傍らへ我は座らせた。行器の背後でクナシリ彦の美しい手を我は高く上げ、向いへ座らせた。クナシリ彦の傍らに、コタンラ彦、我が小兄を座らせた。ペケンヌップ彦を並

- んで座らせた。長い酒宴の座が伸ばされた。酒宴の座の上手はかすんでおり、酒宴の座の下手はかすんでいる。神々のところまで、天空まで、イナウを捧げ、酒を捧げた。我々は神への祈りを終えた。我々は遠くの神、近くの神に杯を捧げ、それを終えた。それから、遠い先祖たちを一人残らず供養し、それを終えた。近い先祖たちを一人残らず供養し、それを終えた。我は安心した。
- それから、良い酒、神の酒、その酒を酌み交わした。家の妹、我が妹は酒宴の座の間を行き来し、酒を注いだ。我が一族はまことに喜び、酒宴の声は帰天する神のように響いた。
- 女たちの大勢で歌い踊る声、踊る声が響いた。エトロバ姫、我が妹とイナウ冠の女、ペケンヌップ姫は異なる鳥のように、異彩を放つ鳥のように歌の始め、踊りの始めを仕切っている。互いに喜んでいる。長者たち、頭領たちは次々と交替して、起き上がり、踏舞を幾度も繰り返した。その背後で婦人たちが踊った。まことに、互いに喜んでいる。我は嬉しく思った。

第16章 婚姻

- 今は酒宴の真中になった。我は杯を高く上げ、クナシリ姫、イナウ冠の女を呼んだ。我が飲みさしを渡すと、ひどく畏まっているものであるから、這い寄りながらやって来て、杯の下で顔を上げ、杯を受け取った。我は杯の表面を撫でながら、このように言った。
- 「さてさて、クナシリ姫、神である婦人、話すからよく聞きなさい。極悪の神、性悪の神、神のした悪戯があった。あなたは婦人の心、良い心を持っているので、もう少しで我が死にそうになると、我を救出してくれた。我は死ぬところであったが、あなたが防いでくれた。今、我は生き返ってここにいるようである。しかし、我は悪事の狂気、戦いの狂気に取り憑かれたため、あなたももう少しで殺すところであったそうだが、あなたは賢明であった。感謝する。
- 我が家へ来て、今まで、同じ場所で同じ食事をして、穏やかに暮らしており、まことに我は嬉しい。我は妻のいない人間であるならば、容姿も悪く、容貌も悪い者ではあるが、あなたに食事の世話をしてもらいたいと思う。しかし、揺り籠の上から、裸の上から約束した妻がいるので、あなたを妻にすることはできないのだ。

- 7909 決して悪く思うな。本当のところ、家の妹、我が妹とエトロボ彦は結ばれる。ニカンビコロ彦、我が兄の食事の世話をしてもらおうと考えたけれど、改めてもう一度考えてみた。ニカンビコロ彦の住いへ行ってくれないか。そうであるならば一番良いと思う。ニカンビコロ彦、我が兄の食事の世話をしてくれないか。そうすれば、これからは、まことに、同じ一族として暮らすことができるのだ。」
- 7937 我がこう言うと、あたりまえに喜ぶものであるならば、さもあろうが、杯を受け取り、高くかざし、低くかざして飲みさしを受け取り、杯を運んだ。物陰で笑みを浮かべている。
- 7949 ニカンビコロ彦、我が兄は慌てたものであるから、腰の真中を折り曲げて、嫁取りの拝礼をした。クナシリ彦も、まことに喜んでおり、低く、高く、我に拝礼し、感謝した。我も、まことに安心した。
- 7967 それから、再び、我は杯を高く上げ、家の妹、我が妹を呼んだ。我は飲みさしを渡した。妹は這い寄りながらやって来て、杯を受け取った。我は杯の表面を撫でながらこのように言った。
- 7983 「さてさて、我が妹よ、話すからよく聞きなさい。同じ一族として、あなたは揺り籠の上から、夫とともに成長したものであるが、我が姪まれ、嫉まれたために、あなたたちは離れたが、再び神の意向で、まさしく、クナシリ彦、神である者と似つかわしい容貌、似つかわしい容姿である。よく、婦人のおこない、神のおこないをして、クナシリ彦、神である者の食事の世話をすることにしなさい。」
- 8012 我がこう言うと、あたりまえに喜ぶものであるならば、さもあろうが、物陰で笑みを浮かべている。杯を受け取り、高くかざし、低くかざして拝礼し、飲みさしを受け取って杯を運んだ。
- 8025 クナシリ彦、神である者はあたりまえに喜ぶ者であるならば、さもあろうが、腰の真中を折り曲げて、嫁取りの拝礼をした。二十の拝礼、三十の拝礼を繰り返した。我は安心した。
- 8038 それからまた、再び、我は杯を高く上げ、コタンラ姫、我が妹を呼んだ。我は飲みさしを渡した。妹は這い寄りながらやって来てた。ひどく畏まっているものであり、杯の下で顔を上げ、杯を受け取った。杯の表面を我は撫でた。
- 8056 「さてさて、コタンラ姫、我が妹よ、あなたが知ったよ
- うに、あなたが聞いたように、あのような原因があったのだ。ペケンヌップ彦、神である勇者は他所者ではあるが、これからは同じ一族として、親族として、暮らし、親しくするつもりだ。人間のおこない、神のおこないはこのようである。今は我らはともに、心を通わせることができたのだ。婦人のおこない、神のおこないをよくして、ペケンヌップ彦、神である者の食事の世話をしてくれないか。」
- 我がこう言うと、まことに、心の底から、純粋な気持ちで喜ぶものであり、物陰で笑みを浮かべている。杯を受け取り、高くかざし、低くかざして拝礼し、飲みさしを受け取って杯を運んだ。
- ペケンヌップ彦はまさしく慌てたもの、喜んだものであるから、腰の真中を折り曲げて、嫁取りの拝礼をした。我は安心した。
- それからまた、再び、我は杯を高く上げ、ペケンヌップ姫を呼んだ。我は飲みさしを渡した。あたりまえに我に畏まるものであるならば、さもあろうが、表情が硬くなっている。泣かずに、這い寄って来て、杯の下で顔を上げ、杯を受け取った。我は撫でながらこのように言った。
- 「さてさて、ペケンヌップ姫、神の婦人よ、話すからよく聞きなさい。我はただの人間で、霊力を欠き、巫術の力を欠くものであるから、このようなことも見逃していたのだ。極悪の神、性悪の神がしたことで、我は戦いの狂気、悪事の狂気に取り憑かれたのだ。
- 可哀想に、手荒なふるまいをされ、殺されるにしても並々ならぬことをされたのだ。しかし、神の意向で、今は何もかも、良くなったことを我は知った。
- 我は妻のいない人間であれば、食事の世話をしてもらいたいと思うのだが、我は妻のいる人間なのだ。あなたといることはできないが、コタンラ彦、我が小兄こそは、似つかわしい容貌、似つかわしい容姿である。食事の世話をしてくれたら、同じ村で同じ一族として、親族として親しく結び付くことができる。いつまでも会えないわけではないのだ。婦人のおこない、神のおこないを立派におこなってください。」
- 我がこう言うと、あたりまえに喜ぶ者であるならば、さもあろうが、まことに、泣きながら喜ぶ様子が我には分かった。杯を受け取り、低くかざし、高くかざして拝礼し、飲みさしを受け取った。それから、杯を運んだ。
- コタンラ彦、我が小兄はまことに喜び、腰の真中を折り

- 曲げて、嫁取りの拝礼をした。ペケンヌップ彦、神である者はまことに喜び、二十の拝礼、三十の拝礼を繰り返し、我に拝礼した。まことに我は安心した。
- 8244 それから、一番最後に、我はエトロバ姫、我が妹を呼んだ。我は飲みさしを渡した。這い寄りながら我の側にやって来て、杯の下で顔を上げた。すぐそばで見ると、ますます、人間であるのか。まさしく帰天する神、帰天する貴人のようである。もう少しで、つかまえて抱きしめようかと我は思った。我は杯の表面を撫でた。
- 8269 「さてさて、我が妹よ。良い会見穏やかな会見をしたいと思っていたが、我を嫉む神、我を悪くする神の良くない意向があったのだ。そうでなくとも腹立たしいのに、その上に、危うく人間の村、オタサム村が嫉まれるところであった。
- 8288 あなたは憑き神の力を持ち、男の勇者を凌ぐ者であるので、我を治癒し、蘇生させた。そのおかげで、我は生きているのだ。しかし、
- 8298 我は言うことを聞く者、人目を気にする者であるから、今まで、一言も声を掛けなかったのだ。
- 8305 今は、神々も理解しているので、夫婦となってオタサムの館、先祖の家の中で暮らし、食事の世話をして我を大切にしてくれないか。婦人のおこない、神のおこないをしてほしい。」我がこう言うと、
- 8325 我が妹はまことに喜ぶものであるから、物陰で笑みを浮かべている。杯を受け取り高くかざし、低くかざして拝礼し、杯を運んだ。
- 8336 ニカンビコロ彦、我が兄が感謝する声が響いた。「我が弟君、まことに采配が良い。」と言った。我も、今は何もかも理解した。まことに我は喜んだ。
- 8350 我は立ち上がり、踏舞を幾度も繰り返した。我の酒宴の声は帰天する神のように響いた。婦人たちは立ち上がり、我の背後について踊った。酒宴の座の上手で、酒宴の座の下手で、頭領たち、勇者たちが我に腕を伸ばした。親族の掛け声、親族の気合いの音が響いた。我は好ましく思った。
- 8372 ニカンビコロ彦、我が兄も、コタンラ彦、我が小兄も、クナシリ彦も、ペケンヌップ彦も、頭領ばかり、勇者ばかりがまことに喜ぶものである。
- 8383 酒宴は帰天する神のように美しく響いた。女たち、婦人たち、我が妹たちが歌い踊る声、踊る声が次々に鳴った。その音が響いた。まさしく、我らは類稀な酒、神の酒を酌み交わした。我が一族はまことに喜び、二十の拝

- 礼、三十の拝礼を繰り返した。そして、まことに感謝しながら帰った。
- その後で、コタンラ彦は妹とともに、クナシリ彦は妹とともに、ペケンヌップ彦は妹とともに、ニカンビコロ彦、我が兄とともに、まことに同じ一族となった。
- 我らは二日、三日と、新しい獲物を食べながら良い酒、神の酒を飲んだ。食事の最中に、まことに、心の底から、良いことも、悪いことも、話し合った。何と、頭領たち、勇者たちは互いに喜び、互いに親しむことであろうか。まさしく、一人残らず、笑い話を何度も繰り返した。
- それと同じように、女の方も別の列で笑う声、話す声が響いた。そして、家の妹は先祖伝来の物入れに女の持ち物、良い物ばかりを入れて、大きな荷物をつくり、背負った。そして、クナシリ彦とともに、ニカンビコロ彦、我が兄を誘い、イナウ冠の女と四人で二十の拝礼、三十の拝礼をした。本当に感謝した。
- 再びまた、早く再会するつもりだ、と言いながら、ずっとクナシリへ一緒になって去って行った。
- コタンラ彦我が小兄は、ペケンヌップ彦をみずから誘い、同じように、二十の拝礼、三十の拝礼をした。本当に感謝した。早くまた、良い再会をするつもりだ、と言いながら、また四人で、ずっとコタンラへ去って行った。

第17章 初夜

- その後で、我はエトロバ姫とただ二人になっていた。今こそは、人がおらず、人目もなく、いるものであるから、我が妹をつかまえて、抱きしめた。
- 右座の火の傍らで、我が妹を我は腕の中に抱えた。我は元気になっていたからそうしたのであるが、萎れた草のように我が妹に寄りかかった。そして、我が妹の上で泣いた。妹よ、心臓よ、と我は言い、二度、三度と抱きしめた。
- 我が妹も、元気であるからそのようにしたのだが、萎れた草のように我が腕の上で泣いた。泣き声が響いた。兄さんよ、と泣き叫んだ。我の裾をつかみ、我の腕と膝頭を撫でさすった。
- 子供を抱くようなこと、赤子を抱くようなことを我はして、妹の頭上を撫でた。そして、顔に接吻をした。我は勇者の末裔、頭領の末裔であるが、僅かな涙を何度も妹の上に流した。我は挨拶し、感謝した。そのお返しに妹は無事をねぎらった。

- 8563 それから、妹は下座へ行き、水滴を何度も用いて、良い小鍋の耳元から水をかけて洗い、その中に水を入れて、炉に掛けた。そして、精白した穀物を鍋の中へ注ぎ入れた。小鍋が湯気を出し煮立った。そして、妹はそれをかき混ぜた。良い御飯はへらを使う最中に湯気が分かれ、横になびいた。妹はへらで混ぜ、蓋をして、炉に掛けた。しばらくして炉から降ろした。
- 8593 それから、薄造りの御膳、薄造りの御椀を取り出して重ねた。良い御飯、下の方へ盛ったものは小さく、上の方へ盛ったものは大きくなっている。妹は両腕に抱えた大きな高盛りを畏まりながら頭の上に乗せ、我に差し出した。
- 8609 我は受け取って高くかざし、低くかざして拝礼した。我はゆっくりと食事をおこなった。今こそは、我が妹が良く煮炊きした物を食べた。何と煮炊きが上手であることか。まことに味が良い。我は舌鼓を打った。
- 8627 我は食事をして、御馳走の半分を渡した。妹は畏まりながら受け取って、高くかざし、低くかざして拝礼し、それを食べた。そして、食事が終わった。
- 8638 我が言うことはこのようであった。「早く、今こそは、先祖の寝床、母の寝床の中に入りたい。神のおこない、人間のおこないはこのようにあるものなので、夫婦のおこないをしたいと思う。二つの寝床を用意してくれ
- 8654 ないか。」我がこう言うと、我が妹は何と喜ぶことであろうか。言葉を聞いてすぐに立ち上がり、笑い話を何度も我にした。我は頸の骨も無くなるほど、何度もうなづきを繰り返した。
- 8670 妹は奥へ行き、二つの寝床を用意して、その奥の方で、寝具の中に入り、横になった。
- 8679 すると、我は立ち上がり、金の帯をほどいた。神受の太刀、金の兜を置いた。我はそれを束ねて掛け竿の上に掛けた。金の小袖を脱ぎ、掛け竿の上にぶら下げた。
- 8693 それから、我の裸体を我が妹の寝床の中に入れた。今こそ、我は女の肌身を知った。何と我が妹の身体の匂い、脇の匂いは良いことであろうか。良い匂い、神の匂いが我を快復させる風となり、我を奥へ押しやった。
- 8713 我は向きを変え、頸の上に手を伸ばし、乳房に手を伸ばした。若々しい乳房は、何かの噂を耳にした二人が、お互いに背を向けて、首をねじっているかのようなのである。
- 8724 それを見て、我は笑みを浮かべた。良い小さな乳房を我はつかみ、揉んだ。我は手でもて遊んだ。乳房は滑らかな氷のように我が手をすり抜けた。我が妹が笑う声が響

いた。二度、三度と、我らは接吻を繰り返した。そのようにして、我が妹を胸の上で抱きしめた。足をからめて我は妹を抱きしめた。

今こそは、純潔な肌身、尊い肌身、若者の肌身、良い肌身を互いに理解した。いわゆる、若者のおこない、青年のおこないをしてみると、何とまた、我が心は幸せであることか。まことに、互いに我らは喜んだ。ますます、我が妹を可愛く思った。妹は我を愛おしく思った。今こそは、まことに心の底から、安心した。我は妹を抱きしめた。

妹は我を抱きしめた。心地よい寝床、母の寝床、良い寝床、その寝床の上で我らはよく眠った。ここまで。

8747

8777

太鼓を持つ女

第1段 オタサム彦の語り

第1章 お爺さんに養われて 妹の成長

- 1 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんが
- 2 shisak chiresu
シサク チレシュ
またとない はぐくみ
たぐいがない育て、
- 3 kamui chiresu
カムイ チレシュ
神 はぐくみ
神の育てを
- 4 i-y-ekarkar wa
イ・イエカッカラワ
我・する 接続
我にほどこしてくれて、
- 5 ramma kane
ラムマ カネ
いつも 同時・音調
それで我はいつも
- 6 katkoro kane
カトコロ カネ
振舞う 同時・音調
変わりなく
- 7 okai-an
オカイ・アン
いる・我
暮らしていた。
- 8 a-tureshibo
ア・トゥレシボ
我・妹
幼い
- 9 pom matkachi
ポム マトカチ
小さい 少女
妹が
- 10 harkiso ne
ハラキソ ネ
左座 繋
左座で
- 11 eshinot
エシノト
遊ぶ
遊び、
- 12 uina tum beka
ウイナ トウム ベカ
手に取る 中 で
炉の灰の中で
- 13 koikoro kane
コイコロ カネ
波を立てる 同時・音調
水鳥が水を切るよう戯れていた。^{*2}
- 14 kunne an ko
クンネ アン コ
夜 ある 条件
妹は、日が暮れると
- 15 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんの
- 16 upsoro
ウッソロ
内部
ふところに
- 17 korauoshma ranke
コラウオシマ ランケ
下方へ入る hanpuku
潜り込んだ。
- 18 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 19 onnepan chiki
オンネパン チキ
老人である 条件
老いがそなわり、^{*3}
- 20 koneike huike
コネケ フイケ
どこ 隅
どこもかしこも
- 21 itakkash kunip
イタッカシ クニフ
言葉に尽くせない 形式名詞
言葉で讀えようも
- 22 okai nankora
オカイ ナンコラ
ある だろうか
ないほど
- 23 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 繋
神さながらで
- 24 okai wa
オカイ ワ
ある 接続
あつて、
- 25 keshto an ko
ケシト アン コ
毎日 ある 条件
毎日
- 26 otu betchirbe
オトゥ ベトチリベ
二つの 水滴
多くの
- 27 ore betchirbe
オレ ベトチリベ
三つの 水滴
しづくで
- 28 yaikarbare
ヤイカッパレ
清める
手を清め
- 29 pirika shuke ko
ピリカ シュケ コ
よい 炊事する 条件
立派な食事を用意し、
- 30 yairikta-
ヤイリクタ・
高々と(掲げる)
高々と
- 31 ante kane
アンテ カネ
あらしめる 同時・音調
膳を上げて、
- 32 shikankitai
シカンキタイ
己の頭上
頭の上に
- 33 eimekani
エイメカニ
配膳する
掲げて
- 34 i-koibuni ranke
イ・コイブニ ランケ
我・食事を出す 反復
給仕してくれた。
- 35 ikashma ike
イカシマ イケ
余る こと
余るほどのものを
- 36 a-tureshibo tura
ア・トゥレシボ トウラ
我・妹 とともに
妹と
- 37 tun ne wa
トゥン ネ ワ
二人 繋 接続
二人で
- 38 e ranke
エ ランケ
食べる hanpuku
食べた。
- 39 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは、
- 40 ineapkusu
イネアックス
何と
なんと
- 41 i-y-omap wa
イ・ヨマフ ワ
我・愛する 接続
我らを愛して
- 42 iki nankora
イキ ナンコラ
する だろうか
くれたことでしょう。
- 43 i-or un shikirpa ko
イ・オルン シキリパ コ
我・ところ 方向 振り向く 条件
我に顔を向け、
- 44 okkeukurkan-
オクケウクルカン・
首の骨
首が
- 45 isam kane
イサム カネ
ない 同時・音調
見えなくなるほどうなづいて
- 46 i-henkotba
イ・ヘンコトバ
我・愛撫する
我を愛撫した。

^{*2} koikoro の訳は、アイヌ語沙流方言辞典に従う。

^{*3} この行の解釈は仮のもの。

- 47 a-tureshipo or un
ア・トゥレシポ オルン
我・妹 所 方向
妹の方へ
- 48 hosarba ko
ホサロバ コ
振り向く 条件
振り向いて、
- 49 okkeukurkan-
オクケウクルカン・
首の骨
首が
- 50 isam kane
イサム カネ
死ぬ 同時・音調
なくなるほどうなづいて
- 51 henkotba kane^{*4}
ヘンコトバ カネ
愛撫する 同時・音調
愛撫した。
- 52 an-ewak ushike
アネワク ウシケ
我・住む ところ
我らの住いは
- 53 kamui ewaki
カムイ エワキ
神 住まい
神の住いを
- 54 chiekasure
チエカスレ
凌ぐ
凌ぐほどすばらしかった。
- 55 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
宝物の
- 56 boro ikiri
ボロ イキリ
大きい 列
大きな列が
- 57 rambesh kunne
ラムベシ クンネ
懸崖 ように
切り立った懸崖のように
- 58 chishituri
チシトゥリレ
伸びる
伸びていた。
- 59 enkashi ta
エンカシ タ
離れた上 場所
その上に
- 60 nishpa mut be
ニシパ ムト ベ
長者 差す もの
首領の佩く刀の
- 61 otu santuka
オトゥ サントウカ
二つの 刀の柄
多くの
- 62 ore santuka
オレ サントウカ
三つの 刀の柄
柄 (つか) に
- 63 chieunruke
チエウンルケ
整列
付いていて
- 64 tusa ranbusa
トゥサ ランプサ
刀飾り 垂れている房
垂れ下がる飾り房が
- 65 suiba kane
スイバ カネ
揺する 同時・音調
揺れていた。
- 66 kurkashike
クルカシケ
上
その上で
- 67 kamui imeru
カムイ イメル
神 光
神々しい光が
- 68 eshimaka
エシマカ
輝く
輝いていた。
- 69 anramasu
アンラマス
まったく好ましい
好ましく思う心が
- 70 a-uwesuye
ア・ウウエスイエ
我・思う
胸に揺曳した。
- 71 shisotta hene
シソッタ ヘネ
右座の も
右座などには、
- 72 kani matchuyop
カニ マトチュヨプ
黄金 女持ちの手箱
金の女物の小箱が
- 73 ikirbok konna
イキリボク コンナ
宝壇の下 は
並び、その下が
- 74 komeunataru
コメウナタラ
きらびやかである
輝いていた。
- 75 boro ikiri
ボロ イキリ
大きい 列
大きな宝列が
- 76 uturun shikkeu
ウトウルン シッケウ
火尻座の 隅
下座の隅まで
- 77 chieushi
チエウシ
とどく
届いていた。
- 78 nei kotchake
ネ コトチャケ
繫 前
その手前に
- 79 kani mukru
カニ ムクル
黄金 枕
金の枕、
- 80 menoko mukru
メノコ ムクル
女 枕
女物の枕が
- 81 chieshituri
チエシトゥリ
伸びている
横たわっていた。
- 82 enkashi ta
エンカシ タ
離れた上 場所
その上には、
- 83 nekona shikop
ネコナ シコプ
どのように 生れる
どこの国の人が、
- 84 nekona barop
ネコナ バロップ
どのように 生れる
どこに生まれた人が
- 85 tekekar kunip
テケカラ クニップ
手ずからに作る 形式名詞
作ったもの
- 86 ne nankora
ネ ナンコラ
繫 だろうか
なのか、
- 87 kani chikirbe
カニ チキリベ
黄金 刺繍衣
金の刺繍衣、
- 88 kamui chikirbe
カムイ チキリベ
神 刺繍衣
神の刺繍衣が
- 89 eereweuse
エエレウエウセ
しなる
竿をしならせて掛かっていた。
- 90 kurkashike
クルカシケ
上
その表面には
- 91 tu kamui chupki
トゥ カムイ チュプキ
二つの 神 光
おびたらしい
- 92 re kamui chupki
レ カムイ チュプキ
三つの 神 光
神の光が
- 93 eshimaka
エシマカ
輝く
輝いていた。
- 94 anramasu
アンラマス
まったく好ましい
我はうっとり
- 95 a-uwesuye
ア・ウウエスイエ
我・思う
した。
- 96 kani amso
カニ アムソ
黄金 すわり座
金の畳の
- 97 amso kurka
アムソ クルカ
すわり座 上
上は

*4 原綴りは ihenkotba kane。これでは、妹の方を向いて我を愛撫するの意味にとれるので、iを取り除いた。

- 98 koteshnataru
コテシナタラ
平らになっている
広々としていた。
- 99 kani inumbe
カニ イヌムベ
黄金 炉縁
金の炉縁木が
- 100 baye ruwe konna
バイエ ルウェ コンナ
行く 跡 は
伸び行くさまは、
- 101 rumaibe etomne
ルマイベ エトムネ
(色の名。未詳) 色に染まる
ルマイベの色に色づき、
- 102 ikit tukari
イキト トウカリ
列 手前
その手前に
- 103 kani amset
カニ アムセト
黄金 寝台
金の
- 104 chituyeamset
チトウイエアムセト
切られた寝台
板づくりの寝台が
- 105 chieshituri
チエシトゥリ
伸びている
伸びていた。
- 106 kurkashike
クルカシケ
上
その上で
- 107 an-i-y-ereshu
アニ・イエレシユ
我・?で育てられる
我は育てられていた。
- 108 pirika-an kotomno
ピリカ・アン コトムノ
美しくある ように
我は美しく成長したようで、
- 109 a-tomsamkonna-
ア・トムサムコンナ・
我・身の周り
身の傍らが
- 110 shikaye kane
シカイエ カネ
光る 同時・音調
光り
- 111 mike kane
ミケ カネ
輝く 同時・音調
輝いていた。
- 112 okutchi urar
オクッチ ウララ
たちこめる 霧
濃いもやの
- 113 urar tumu
ウララ トウム
霧 中
中に
- 114 a-yayomare
ア・ヤヨマレ
我・みずから入れる
我は入り、
- 115 tu shukup ramkur
トゥ シュクフ ラムクル
二つの成長する 年齢(?)
二つの成長、
- 116 re shukup ramkuru
レ シュクフ ラムクル
三つの成長する 年齢(?)
三つの成長を
- 117 a-unosbare
ア・ウンシバレ
我・追いかかわせる
我は競い合わせた。
- 118 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今や
- 119 semorborono
セモロボロノ
さして大きくない
さほど大きくはないが、
- 120 a-yaishitomkur-
ア・ヤイシトムクル・
我・己の容姿
立派になった我が身を
- 121 nukar kane an-an
ヌカラ カネ アナン
見る 同時・音調 いる・我
眺めていた。
- 122 eirbakno
エイリバックノ
それとともに
それとともに、
- 123 a-tureshibo
ア・トゥレシボ
我・妹
我が妹
- 124 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繋 接続 繋 譲歩
も
- 125 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
既に
- 126 uina oro oshinot
ウイナ オロ オシノト
手に取る 所 遊ぶ
炉の灰で遊ぶ
- 127 somokino
ソモキノ
しない
こともせず、
- 128 harkisotta
ハッキソッタ
左座に
左座で
- 129 menoko sotki
メノコ ソトキ
女 寝床
女の寝床を
- 130 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんが
- 131 tomte kane kar wa
トムテ カネ カラ ワ
輝かす 音調 作る 接続
美しく作り、
- 132 oro ta a-tureshibo
オロ タ ア・トゥレシボ
所 場所 我・妹
そこに妹を
- 133 hotkere
ホトケレ
寝かせる
寝かせた。
- 134 tane tambe bakno
タネ タムベ バクノ
今 これ まで
「おまえは、もうこれほどまでに
- 135 e-shikup ko anakne
エ・シクフ コ アナクネ
汝・成長する 条件 は
大きくなったからには、
- 136 menoko buri
メノコ ブリ
女 行い
女のふるまい、
- 137 katkemat buri
カトケマト ブリ
婦人 行い
淑女の
- 138 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
たしなみに
- 139 konep ne kusu
コネプ ネ クス
何 繋 根拠
従って、
- 140 shinnai sotki
シンナイ ソトキ
違った 寝床
別の寝床を
- 141 e-kor kusune
エ・コロ クスネ
汝・持つ 意志
取るようにしなさい。
- 142 menoko anakne
メノコ アナクネ
女 は
女が
- 143 bakno okai ko
バクノ オカイ コ
まで ある 条件
これほどになれば
- 144 kemeiki hemem
ケメイキ ヘMEM
針仕事をする も
針仕事など
- 145 e-yaihanokkar be
エ・ヤイハノクカラ ベ
汝・稽古する もの
稽古する
- 146 tap okai na
タップ オカイ ナ
これ ある (訴え)
ものだ。」
- 147 ari itak kane
アリ イタク カネ
引用 言う 同時・音調
と言いながら、
- 148 shut ketushi
シュトケトゥシ
根元 長持ち
女物の鞆を
- 149 nimba nimba
ニムバ ニムバ
引きずる 引きずる
引きずり
- 150 sanasapte wa
サナサッテ ワ
取り出す 接続
出した。

- 151 a-tureshibo
ア・トゥレシボ
我・妹
妹は
- 152 shino nubetne wa
シノ スベトネ ワ
まことに 喜ぶ 接続
とても喜んで
- 153 sarambe saptē
サラムベ サッテ
絹 出す
絹の布を出して
- 154 rupne bukuru
ルッネ ブクル
大きい 布の袋
大きな袋溜め、
- 155 nokan bukuru
ノカン ブクル
小さい 布の袋
小さな布溜めを
- 156 uchiubare
ウチウバレ
連ねる
連ねていた。
- 157 ukoyomba
ウコヨムバ
全部縮まる
糸が突っ張り、布が縮んだ。
- 158 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは、
- 159 shino nubetne wa
シノ スベトネ ワ
まことに 喜ぶ 接続
たいそう喜んで、
- 160 oyoī oyoī
オヨイ オヨイ
感嘆 感嘆
「おやまあ、
- 161 sonno hetap ne
ソンノ ヘタップ ネ
真に これ 繋
まことに
- 162 a-matnenitpo
ア・マトネニトポ
我・孫娘
我が孫娘は
- 163 ashkai ruwe okai
アシカイ ルウェ オカイ
上手である 跡 ある
上手なものだ。
- 164 shino pirika ruwe ne
シノ ピリカ ルウェ ネ
まことに よい 跡 繋
実に上手だ。」
- 165 ari a-tureshibo kobuntek
アリ ア・トゥレシボ コブンテック
引用 我・妹 誉める
と我が妹を誉めた。
- 166 a-tureshibo
ア・トゥレシボ
我・妹
妹は
- 167 sonno a-kobuntek
ソンノ ア・コブンテック
真に 我・誉める
誉められて
- 168 sonno ashkai hawe
ソンノ アシカイ ハウエ
真に 上手である 声
本当にお上手と
- 169 ne kuni ramu hine
ネ クニ ラム ヒネ
繋 必然 思う 接続
言われたと思いでんで
- 170 eyaisembir-
エヤイセムビリ・
己の陰
内心
- 171 omina kane
オミナ カネ
笑う 音調
嬉しそうにしていた。
- 172 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 173 shisembir un
シセムビリ ウン
己の後ろ 方向
後ろを
- 174 shikirba ko
シキリバ コ
振り向く 条件
向いて
- 175 ebituntunke
エビトウトウンケ
忍び笑う
クック、
- 176 ebikitkitche
エビキトキトチェ
忍び笑う
クスクスと笑っている。
- 177 ashkai ne yakka
アシカイ ネ ヤッカ
上手である 繋 かし
上手も上手、
- 178 shino a-emina rusui
シノ ア・エミナ ルスイ
まことに 我・笑う したい
我もおかしくて
- 179 shisembir un
シセムビリ ウン
己の後ろ 方向
後ろを
- 180 shikiru-an ko
シキル・アン コ
振り向く・我 条件
向いて
- 181 a-ebituntunke
ア・エビトウトウンケ
我・クスクス笑う
クスクス、
- 182 a-ebikitkitche
ア・エビキトキトチェ
我・クスクス笑う
クックと笑った。
- 183 a-tureshbo
ア・トゥレシボ
我・妹
妹は
- 184 iyoyamokte
イヨヤモクテ
不思議に思う
不審に思っ
- 185 a-kor ekashi hene
ア・コロ エカシ ヘネ
我・もつ 老人 も
お爺さんと
- 186 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
我をしげしげと
- 187 uwambare
ウワムバレ
見て調べる
眺めた。
- 188 mina-an shiri
ミナ・アン シリ
笑う・我 様子
我らが笑っているのを
- 189 shikeshitaiki p
シケシタイキ プ
目撃する もの
眼で捉えるや、
- 190 kuttokono
クトトコノ
逆さまに
逆さまにひっくり返って
- 191 hokush hotakpatakpa kane
ホクシ ホタックパタックパ カネ
裏返す 足をバタバタする 同時・音調
足をバタバタして、
- 192 chish kan konna
チシ カン コンナ
泣く は は
泣き声を
- 193 kari kane
カリ カネ
回る 同時・音調
あげた。
- 194 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 195 homatu rui kunip
ホマトウ ルイ クニフ
驚く 激しい 形式名詞
さも驚いた
- 196 shikobayar
シコバヤラ
さながらである
ように、
- 197 yaikimui ka kiki
ヤイクムイ カ キキ
己の髪 上 掻く
頭を掻きながら
- 198 usaine tap sui
ウサイネ タフ スイ
色々と これ 再び
「おやおや、どうした。
- 199 kamui a-nitpo
カムイ ア・ニトポ
神 我・孫(娘)
神の孫娘よ。
- 200 hemanta tapne
ヘマンタ タフネ
何 これである
なにを
- 201 chishkar hawe
チシカラ ハウエ
泣く 声
泣いているのか。
- 202 iramutuiba
イラムトゥイバ
思いを破る
心も
- 203 okaibe ne ya
オカイベ ネ ヤ
あるもの 繋 疑問
破れるではないか。

- 204 ahun ushshiu
アフン ウッシウ
入る 召使い
家の中の召使と
- 205 soyun ushshiu utar
ソユン ウッシウ ウタラ
外にある 召使い たち
外の召使が
- 206 hemanta tapne
ヘマンタ タツネ
何 これである
何か変なことを
- 207 ye hawe okai
イエ ハウエ オカイ
言う声 ある
言っている
- 208 wa kusu
ワ クス
接続 根拠
ので
- 209 a-emina awa
ア・エミナ アワ
我・笑う 展開
笑ったまでのこと。
- 210 a-matnenitpo
ア・マトネニトポ
我・孫娘
我が孫娘よ、
- 211 ene ashkai
エネ アシカイ
このように 上手である
こんなに上手
- 212 ruwe an ko
ルウェ アン コ
跡 ある 条件
なのに、
- 213 nepkusu
ネプクス
なぜ
なぜ
- 214 a-emina p ne hawe
ア・エミナ プ ネ ハウエ
我・笑う もの 繋 声
我らが笑うものか。
- 215 oar oar somo a-emina
オアラ オアラ ソモ ア・エミナ
全く 全く 否定 我・笑う
少しも笑っては
- 216 ruwe ne ari
ルウェ ネ アリ
跡 繋 引用
いないのですよ。」と
- 217 itak kane
イタク カネ
言う 同時・音調
言いながら、
- 218 a-tureshibo
ア・トゥレシボ
我・妹
妹に
- 219 tu pirika kunip
トゥ ビリカ クニプ
二つの よい 形式名詞
なだめの言葉を
- 220 re pirika kunip
レ ビリカ クニプ
三つの よい 形式名詞
数々かけて、
- 221 ebakashnu chiki
エバカシヌ チキ
言い聞かせる 条件
教え諭したら、
- 222 a-tureshibo
ア・トゥレシボ
我・妹
妹は
- 223 noeisokor kunip
ノエイソコロ クニプ
まるで本当にする 形式名詞
それを真に受けた
- 224 konep ne kusu
コネプ ネ クス
何 繋 根拠
ものだから、
- 225 nube tum wa
ヌベ トウム ワ
涙 中 から
涙で濡れた
- 226 imasasa
イマササ
目を開ける
眼を開けて
- 227 keshto
ケシト
毎日
毎日
- 228 nei bukuru kar
ネ ブクル カラ
繋 布の袋 作る
袋溜めを作って、
- 229 ukoyomba
ウコヨムバ
全部縮まる
布をつっぱらすのに
- 230 koarikiki aine
コアリキキ アイネ
懸命におこなう 接続
精を出した。
- 231 tane ne kusu
タネ ネ クス
今 繋 根拠
今や時が巡り、
- 232 a-tureshibo
ア・トゥレシボ
我・妹
我が妹は
- 233 menoko shirka
メノコ シリカ
女 鞘
女の姿形が
- 234 awoshmare
アウオシマレ
中に入る
身に具わり、
- 235 shinotnumatbo
シノトヌマトボ
肌着の紐
肌着の紐を
- 236 rikoraye
リコライエ
高くずらす
胸高に結ぶようになった。
- 237 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 繋
神のような姿となり、
- 238 okutchi urar
オクッチ ウララ
たちこめる 霧
濃いもや
- 239 urar tumu
ウララ トウム
霧 中
に
- 240 yayomare
ヤヨマレ
己を入れる
包まれた。
- 241 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように 接続 だけ
どうにも
- 242 a-reka i ka
ア・レカ イ カ
我・ほめる 形式名詞 も
讃えようが
- 243 isam kane
イサム カネ
ない 音調
ないほどであった。
- 244 ene hetap ne
エネ ヘタップ ネ
このように これ 繋
あんなに
- 245 eaikap kusu
エアイカプ クス
できない 根拠
へたくそに
- 246 ikichi ko
イキチ コ
する 条件
縫っては
- 247 a-emina rusui
ア・エミナ ルスイ
我・笑う したい
おかしくて
- 248 humi okai rok
フミ オカイ ロク
気配 ある 完了
笑ってしまうような
- 249 kemeiki
ケメイキ
針仕事をする
運針であったのに、
- 250 ineapkusui
イネアプクス
何と
なんとまあ、
- 251 ashkai wa
アシカイ ワ
上手である 接続
上手に
- 252 ikichi nankora
イキチ ナンコラ
する だろうか
なったことか。
- 253 karkar kunip
カラカラ クニプ
刺繍する 形式名詞
刺繍で彩られた着物が
- 254 tu kamui nish ne
トゥ カムイ ニシ ネ
二つの 神 空 繋
二つの神雲となり、
- 255 re kamui nish ne
レ カムイ ニシ ネ
三つの 神 空 繋
三つの神雲となって
- 256 yayebumba
ヤイエブムバ
立ちのぼる
立ち昇った。

- 257 kurkashike
クルカシケ
上
我は刺繍を
- 258 a-uwambare
ア・ウワムバレ
我・調べる
子細に眺めて、
- 259 anramasu
アンラマス
まったく好ましい
その見事さに
- 260 a-uwesuye
ア・ウウエスイエ
我・思う
魂がゆすぶられた。
- 261 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんも
- 262 shiarsoun
シアソウン
炉の向かいの座で
炉の向かいの座で
- 263 tekkakibo
テッカキボ
かざした手
手の平を
- 264 rikunruke
リクンルケ
高くかざす
上へ下へと
- 265 raunruke kane
ラウンルケ カネ
低くかざす 同時・音調
揺すり礼拝して
- 266 ene itak i
エネ イタキ
このように言う 形式名詞
こう言った。
- 267 ene hetapne
エネ ヘタパネ
このように このように
「以前は
- 268 teeta
テエタ
以前
あれほど
- 269 a-matnenitbo
ア・マトネニトボ
我・孫娘
上手
- 270 ashkai ruwe
アシカイ ルウエ
上手である 跡
だった
- 271 okai awa
オカイ アワ
ある 展開
のに、
- 272 tane aikap
タネ アイカフ
今 左手
今はへたくそだ
- 273 ruwe okai ari
ルウエ オカイ アリ
跡 ある 引用
な」と
- 274 hawash chiki
ハワシ チキ
言われる 条件
言ったが、
- 275 a-tureshobo
ア・トゥレシボ
我・妹
妹は
- 276 ashba kisar
アシバ キサラ
聞こえない 耳
聞こえない
- 277 itutanure
イトウタヌレ
人に向ける
ふりをして、
- 278 senne bonno
センネ ボンノ
否定 少し
少しも
- 279 ekottanu
エコトタヌ
関わる
気にとめていない
- 280 shiran chiki
シラン チキ
有様である 条件
様子なので、
- 281 rauki mina
ラウキ ミナ
密かな 笑う
我らは
- 282 rauki sapse
ラウキ サパセ
密かな 笑う
密かに
- 283 a-uwesuye
ア・ウウエスイエ
我・思う
腹を抱えていた。
- 284 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
妹は
- 285 a-tureshobo
ア・トゥレシボ
我・妹
早や
- 286 usa shuke
ウサ シュケ
譲歩 炊事する
調理も、
- 287 usa shitchashnure
ウサ シトチヤシヌレ
譲歩 あたりを片付ける
掃除も
- 288 shino eashkai
シノ エアシカイ
まことに できる
上手にこなせるようになった。
- 289 keshto an ko
ケシト アン コ
毎日 ある 条件
毎日
- 290 a-tureshobo
ア・トゥレシボ
我・妹
妹は
- 291 pirika shuke
ピリカ シュケ
よい 炊事する
おいしい料理を
- 292 koyairikta-
コヤイリクタ・
おのれより高く
自分の頭より
- 293 ante kane
アンテ カネ
あらしめる 同時・音調
高く
- 294 shikankitai
シカンキタイ
己の頭上
掲げ
- 295 eimekani
エイメカニ
配膳する
持って
- 296 i-koibuni ranke
イ・コイブニ ランケ
我・食事を出す hanpuku
配膳した。
- 297 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 繫 譲歩
我も
- 298 ikorka nuye
イコロカ スイエ
宝器 彫り刻む
宝刀の柄や鞘に刻紋を施し、
- 299 tomika nuye
トミカ スイエ
宝器の表面 彫り刻む
宝物の器の表面に彫刻するのに
- 300 a-kokipshirechiu
ア・コキパシレチウ
我・額を床に刺す
一心不乱であった。
- 301 tu kamui noka
トゥ カムイ ノカ
二つの 神 形
神々しい形象を
- 302 re kamui noka
レ カムイ ノカ
三つの 神 形
数々
- 303 a-uwatore
ア・ウワトレ
我・連ねる
連ねた。
- 304 yaikota
ヤイコタ
己で
一人で
- 305 a-kar be ne koroka
ア・カラ ベ ネ コロカ
我・するもの 繫 逆接
作ったものながら、
- 306 anramasu
アンラマス
まったく好ましい
その全き好ましさに
- 307 a-uwesuye
ア・ウウエスイエ
我・思う
我が心は揺曳した。

第2章 両親とエトロバの親族、いいなずけ

- 308 rabokita
ラボキタ
間に
ゆくりなくも

- 309 inu-an ko
イヌ・アン コ
聞く・我 条件
耳にしたことは、
- 310 tuima kane
トゥイマ カネ
遠い 同時・音調
遠くの
- 311 Etorbaunkuru
エトロバウングル
エトロバ彦
エトロバ彦は、
- 312 tu irwak ne wa
トゥ イリワク ネ ワ
二つの兄弟 繋 接続
二人の男きようだいと
- 313 shine turesh ne
シネ トウレシ ネ
一つの妹 繋
妹が一人であって、
- 314 kiyannekuru
キヤンネクル
長男
兄は
- 315 a-borse katu
ア・ボロセ カトゥ
よばれる 様子
人呼んで
- 316 Nikambikoro kuru
ニカムビコロ クル
ニカンビコロ 人
ニカンビコロ人、*5
- 317 akihi ne yakka
アキヒ ネ ヤッカ
弟 繋 譲歩
弟とともに
- 318 koro shiretok
コロ シレトク
持つ 美貌
その面魂、
- 319 kon rametok
コン ラメトク
持つ 勇者
その器量は
- 320 kamui ot ta ka
カムイ オトタ カ
神 所 場所 も
神の世界にも
- 321 ainu ot ta ka
アイヌ オトタ カ
人間 所 場所 も
人間の世界にも
- 322 eturbak be
エトゥルバク ベ
並ぶ もの
及ぶものが
- 323 shinen ka isam
シネン カイ イサム
一人 も ない
いない
- 324 ari okai bahau
アリ オカイ バハウ
引用 ある 噂
といううわさが
- 325 a-nu kane okai
ア・ヌ カネ オカイ
我・聞く 同時・音調 ある
聞こえて
- 326 an awa
アン アワ
ある 展開
きたが、
- 327 shine an to ta
シネ アン ト タ
一つのある日 場所
ある日、
- 328 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 329 nepka ye rusui
ネッカ イエルスイ
何か 言う したい
何か言いたい
- 330 noine kane
ノイネ カネ
らしく 同時・音調
ことが
- 331 okai rok i ne
オカイ ロキネ
ある 完了 形式名詞 繋
あるのか、
- 332 rebousat
レボウサト
沖の燃え炭
沖の燃え炭を
- 333 ya oraiba
ヤ オライバ
疑問 移す
陸に寄せ、
- 334 yaousat
ヤオウサト
陸の燃え炭
陸の燃え炭を
- 335 reporaiba
レポライバ
沖へやる
沖に寄せ、*6
- 336 tu utur sama
トゥ ウトゥル サマ
二つの間 そば
灰ならしで立てた
- 337 re utur sama
レ ウトゥル サマ
三つの間 そば
数々の条を
- 338 okke^{*7} kane
オッケ カネ
突き刺す 同時・音調
突き刺したり
- 339 naiba kane
ナイバ カネ
筋をつける 同時・音調
また条をつけたりしながら
- 340 ene itak i
エネ イタキ
このように言う 形式名詞
言うことには、
- 341 koninkarkusu
コニンカルクス
(語り掛けの合図)
「もしもし、
- 342 a-reshu nitpo
ア・レシュ ニトポ
我・育てる 柄
我が育ての孫、
- 343 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 繋 ある もの
神なる人
- 344 newa
ネワ
と
と
- 345 a-matnenitpo
ア・マトネニトポ
我・孫娘
孫娘よ、
- 346 tanebo konna
タネボ コンナ
今 は
今こそ
- 347 shinrit ubashkuma
シンリト ウバシクマ
出自 言い伝え
おまえたちの先祖の
- 348 a-ye wa
ア・イエ ワ
我・言う 接続
物語を
- 349 echi-nure-an
エチ・ヌレ・アン
汝ら・聞かせる・我
聴かせ
- 350 kusune na
クスネ ナ
意志 (訴え)
よう。
- 351 pirikano nu wa
ピリカノ ヌ ワ
良く 聞く 接続
しっかりと
- 352 i-kore yan
イ・コレ ヤン
我・与える 命令
聴いてほしい。
- 353 tan a-koro kotan
タン ア・コロ コタン
この我・もつ 村
この村は
- 354 reikoro katu
レコロ カトゥ
名のる 様子
その名を
- 355 Otasam ne wa
オタサム ネ ワ
オタサム 繋 接続
オタサムといって、
- 356 teeta kane
テエタ カネ
以前 音調
昔、
- 357 a-poho
ア・ポホ
我・子
我には息子が
- 358 yayirwaki koro
ヤイリワキ コロ
兄弟がいない 持つ
一人、

*5 以下、NikambiはNekambiと綴られることもある。その都度、原綴りのままとする。

*6 アイヌは炉を海にたとえる。

*7 原綴りのままとする。

- 359 shine turesh ne
シネ トウレン ネ
一つの妹 繫
妹一人
- 360 ne wa okai
ネ ワ オカイ
繫 接続 ある
とともに
- 361 ruwe ne
ルウェ ネ
跡 繫
住んでいた。
- 362 a-poho koro
ア・ポホ コロ
我・子 持つ
我が息子は
- 363 shiretok
シレトク
美貌
容貌、
- 364 kon rametok
コン ラメトク
持つ 勇者
胆力ともに
- 365 ainu ot ta ka
アイヌ オトタ カ
人間 所 場所 も
人間世界にも
- 366 kamui ot ta ka
カムイ オトタ カ
神 所 場所 も
神の世界にも
- 367 ebetturashi p
エベトウラシ ッ
匹敵する もの
並ぶべき者が
- 368 shinen ka isam
シネン カ イサム
一人 も ない
いなかった。
- 369 nei asuruhu
ネ アスルフ
繫 噂
その噂が
- 370 tu moshiri kama
トゥ モシリ カマ
二つの 国土 越える
多くの
- 371 re moshiri kama
レ モシリ カマ
三つの 国土 越える
国々を越えて、
- 372 kamui asun ne
カムイ アスン ネ
神 噂 繫
名声高く
- 373 chihobunire
チホブニレ
起きる
広がった。
- 374 rabokita
ラボキタ
間に
おりしも
- 375 kanto ot ta
カント オトタ
天 所 場所
天界では
- 376 horkeu kamui
ホロケウ カムイ
狼 神
狼神は
- 377 tu irwak ne wa
トゥ イリワク ネ ワ
二つの 兄弟 繫 接続
二人兄弟で、
- 378 tu turesh ne wa
トゥ トウレン ネ ワ
二つの 妹 繫 接続
また二人の姉妹があつて、
- 379 iyotta pom menoko
イヨッタ ポム メノコ
最も 小さい 女
その妹が
- 380 a-poho kon rametok
ア・ポホ コン ラメトク
我・子 持つ 勇者
我が息子の力量、
- 381 koro bawetok
コロ バウエトク
持つ 雄弁
弁の才、
- 382 koro shiretok
コロ シレトク
持つ 美貌
容貌に
- 383 koyairam-
コヤイラム・
己の気持ち
心が浮き上がるほど
- 384 hotari kusu
ホタリ クス
尻を上げる 根拠
惚れきってしまった。
- 385 yubutari
ユブタリ
兄たち
兄たちと
- 386 saha
サハ
姉
姉に
- 387 ekoramkoro ko
エゴラムコロ コ
相談する 条件
結婚の許しを乞うが、
- 388 a-kokobankar aiike
ア・ココバンカラ アイケ
拒否される すると
許しが得られなかった。
- 389 rayeshinu
ライエシヌ
死に際の悶え
死のうとして*8
- 390 somo ibeno
ソモ イベノ
否定 食べて
何も食べずに
- 391 chishkohemuimuye
チシコヘムイムイェ
泣いて臥せる
泣いて頭を掻きむしった。
- 392 kamui utara
カムイ ウタラ
神 たち
神々は
- 393 shino eramusarak
シノ エラムサラク
まことに いましましい
大変心配した。
- 394 tambe kusu
タムベ クス
これ 根拠
そこで
- 395 ramuoshmaba
ラムオシマバ
承認する
結婚を許した。
- 396 kamui menoko
カムイ メノコ
神 女
神の娘は
- 397 chise tura
チセ トウラ
家 ともに
家ごと
- 398 ikot tura
イコト トウラ
宝物 ともに
宝物とともに
- 399 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサムの村に
- 400 oran wa
オラン ワ
降りる 接続
降りて
- a-poho tura 我が息子と
- 401 utomnukar
ウトムヌカラ
結婚する
結婚した。
- 402 shino uwepirika
シノ ウエピリカ
まことに 幸せに暮らす
二人はとても仲良く、
- 403 shiasuruashte
シアスルアシテ
名高い
その評判が
- 404 ruwe ne awa
ルウェ ネ アワ
跡 繫 展開
立たたけれど、
- 405 tuima okai be
トゥイマ オカイ ベ
遠い ある もの
遠くにいる者たち、
- 406 hankeokai be
ハンケオカイ ベ
近くにいる もの
近くにいる者たちは
- 407 a-poho ukokeshke
ア・ポホ ウコケシケ
我・子 皆が妬む
皆して我が息子をそねみ、
- 408 ukoebokpa kusu
ウコエボクパ クス
皆で嫉む 根拠
嫉んだので
- 409 attumunchi
アトウムンチ
激しい戦闘
一つのいくさ、

*8 この解釈は未詳。あるいは ray-e-shinu「死ぬために道う」か。あるいは raye は reye「膝行する」の誤記か。

- 410 anrorumbe
アンロムベ
激しい戦い
一つの戦いを
- 411 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサムの村に
- 412 oyapte kusu
オヤapte クス
上陸させる 根拠
海から仕掛けるため
- 413 etokooikiba
エトコオイキバ
準備する
戦いの準備をしていた。
- 414 a-more kotan
ア・モレ コタン
治められる 村
我が鎮める
- 415 Otasam ne kusu
オタサム ネ クス
オタサム 繫 根拠
オタサムであるから、
- 416 a-poho umurek hene
ア・ポホ ウムレク ヘネ
我・子 夫婦 も
息子夫婦も
- 417 aokai umurek hene
アオカイ ウムレク ヘネ
我 夫婦 も
我が夫婦も
- 418 tu rur ekari
トゥ ルル エカリ
二つの 海水 回る
二つの波を越え
- 419 re rur ekari
レ ルル エカリ
三つの 海水 回る
三つの波を越えて
- 420 tumunchi batek
トゥムンチ バテク
戦争 のみ
いくさばかりの、
- 421 rorumbe batek
ロルムベ バテク
戦闘 のみ
殺し合いばかりの
- 422 eritne shikup
エリトネ シクフ
つらい 成長する
辛い生活を
- 423 a-ki i ta
ア・キ イ タ
我・する 形式名詞 場所
送っていたとき、
- 424 a-poho kon rorumbe
ア・ポホ コン ロルムベ
我・子 持つ 戦闘
我が息子の征戦が
- 425 tuima kane
トゥイマ カネ
遠い 音調
遠く、
- 426 Etorba kotan
エトロバ コタン
(地名) 村
(共に戦う) エトロバ村に
- 427 kush i ta
クシ タ
通る 形式名詞 場所
伸びたとき、
- 428 Etorbaunkuru
エトロバウングル
エトロバ彦
エトロバ彦は
- 429 kamui rametok
カムイ ラメトク
神 勇者
神なる勇者で、
- 430 Tono irenka
トノ イレンカ
殿 法令・掟
殿 (和人) の法令にも
- 431 kamui irenka
カムイ イレンカ
神 法令・掟
神のしきたりにも従い、
- 432 eyaikotanka-
エヤイコタンカ・
己の村
それでおのれの村を
- 433 more kunip
モレ クニフ
治める 形式名詞
鎮めていたの
- 434 konep ne kusu
コネフ ネ クス
何 繫 根拠
だが、
- 435 tumunchi niukesh
トゥムンチ ニウケシ
戦争 しかねる
いくさに飽き、
- 436 rorumbe niukesh
ロルムベ ニウケシ
戦闘 しかねる
戦いに倦んだ
- 437 a-poho tura
ア・ポホ トウラ
我・子 ともに
我が息子と
- 438 shine tumunchi
シネ トゥムンチ
一つの 戦争
同じいくさ、
- 439 shine rorumbe
シネ ロルムベ
一つの 戦闘
一つの戦いに
- 440 euarkamkashi
エウアラカムカシ
互の肌
苦労を
- 441 otasashke rok i ne
オタサシケ ロキ ネ
苦労を分かちあう 完了 形式名詞 繫
共にしたが、
- 442 tumunchi utur
トゥムンチ ウトゥル
戦争 間
いくさの合間
- 443 eshini i ta
エシニ イ タ
休む 形式名詞 場所
休息をとったとき、
- 444 tumunchi ukoheboki
トゥムンチ ウコヘボキ
戦争 戦の礼
いくさの礼、
- 445 rorumbe ukoheboki
ロルムベ ウコヘボキ
戦闘 戦の礼
同盟の挨拶を
- 446 an kusu
アン クス
ある 根拠
しようと、
- 447 Otasamummat
オタサムムマト
オタサム姫
我が娘の
- 448 a-matnepo
ア・マトネポ
我・娘
オタサム姫が
- 449 kamuikorbe
カムイコロベ
神授の宝物
宝物を
- 450 okkeu kashi
オクケウ カシ
首 上
首から
- 451 a-epirikare wa
ア・エビリカレ ワ
飾りつけられる 接続
下げさせられ、
- 452 Etorba kotan
エトロバ コタン
(地名) 村
エトロバ村に
- 453 eitomnukar wa
エイトムヌカラ ワ
嫁ぐ 接続
嫁いだ。
- 454 oro ta okkayo tumbish
オロ タ オッカヨ トウムビシ
所 場所 若者 二人
その間から男が二人、
- 455 menoko shinen
メノコ シネン
女 一人
女が一人
- 456 ukosapte ruwe ne
ウコサapte ルウェ ネ
産む 跡 繫
生れた。
- 457 nejokai utara
ネオカイ ウタラ
その たち
これらの人々は、
- 458 tapne
タッネ
これである
それこそ
- 459 tan asuruhu
タン アスルフ
この 噂
非常な評判が
- 460 ash hawe ne
アシ ハウェ ネ
立つ 声 繫
立ったようだ。
- 461 eebakita
エエバキタ
次に
さらに、
- 462 kamui menoko
カムイ メノコ
神 女
神の女 (狼神の妹)

- 463 orowano
オロワノ
始点
から
- 464 tun echi-ne wa
トゥン エチ・ネ ワ
二人 汝ら・である 接続
おまえたち
- 465 echi-shiko ruwe ne
エチ・シコ ルウェ ネ
汝ら・生まれる 跡 繋
二人が生れた。
- 466 a-poho umurek hene
ア・ポホ ウムレク ヘネ
我・子 夫婦 も
わが息子夫婦（息子と狼神の妹）も
- 467 Etorba un
エトロバ ウン
（地名）ある
エトロバの
- 468 a-karku umurek
ア・カルク ウムレク
我・甥 夫婦
甥夫婦（オタサム姫とエトロバ彦）
- 469 utara hene
ウタラ ヘネ
たち も
たちも
- 470 mashkino
マシキノ
あまりに
余りに
- 471 ainu moshiri ta
アイヌ モシリ タ
人間 国土 場所
人間の国で
- 472 a-ukoebokba
ア・ウコエボクバ
呪われる
憎まれ、
- 473 hotashnu batek
ホタシヌ バテク
びくびくする のみ
憂いばかり、
- 474 inkush batek ki wa
インクシ バテク キ ワ
危険な予感がする のみ する 接続
不安ばかりの
- 475 ramubekamam
ラムベカマム
悲しい思いをする
苦勞が絶えなかった。
- 476 tambe kusu
タムベ クス
これ 根拠
そこで、
- 477 kamui ot ta
カムイ オト タ
神 所 場所
神の国に
- 478 baye wa
バイエ ワ
行く 接続
行って、
- 479 sonno ukor
ソノン ウコロ
真に 結婚
本当の結婚、
- 480 shino ukoro
シノ ウコロ
まことに 結婚する
全き結婚を
- 481 ki kusu
キ クス
する 根拠
するために
- 482 naa uben rok i ne
ナア ウベン ロキ ネ
まだ若い 完了 形式名詞 繋
まだ若かったが
- 483 uwesamanno
ウウエサマンノ
いっしょに
一緒に
- 484 kamui or un
カムイ オルン
神 所 ある
神のもとに
- 485 baye wa isam
バイエ ワ イサム
行く 接続 ない
昇って
- 486 ruwe ne
ルウェ ネ
跡 繋
しまった。
- 487 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 繋 譲歩
我も
- 488 tunashno
トゥナシノ
早く
速やかに
- 489 Kamui or un
カムイ オルン
神 所 方向
神のもとに
- 490 oman-an kuni
オマン・アン クニ
行く・我 必然
行きたいと
- 491 a-ramu a koroka
ア・ラム ア コロカ
我・思う 完了 逆接
思っていたが、
- 492 mashkino
マシキノ
あまりに
余りにも
- 493 echi-nokan kashba
エチ・ノカン カシバ
汝ら・幼い 甚だしい
おまえたちが
- 494 echi-tuyashkarap-an usa
エチ・トゥヤシカラフ・アン ウサ
汝ら・憐れむ・我 譲歩
憐れに思われた。
- 495 rametok a-ne kusu
ラメトク ア・ネ クス
勇者 我 繋 根拠
我は心猛き者であるから、
- 496 tane tambe bakno
タネ タムベ バクノ
今 これ まで
おまえたちがこれほど
- 497 echi-rupne bakno
エチ・ルッネ バクノ
汝ら・大きくなる まで
成長するまでに
- 498 echi-reshba-an kusu
エチ・レシバ・アン クス
汝ら・育てる・我 根拠
育てられて、
- 499 shino nubetne-an
シノ スベトネ・アン
まことに 喜ぶ・我
まことに喜んで
- 500 ruwe ne
ルウェ ネ
跡 繋
いる。
- 501 eebakita
エエバキタ
次に
これから
- 502 chihoppaitak
チホップアイタク
遺言
遺言を
- 503 ene okai i
エネ オカイ イ
このように ある 形式名詞
述べるから聞きなさい。
- 504 a-nitpo tono
ア・ニトポ トノ
我・孫（娘）殿
我が孫よ、おまえは
- 505 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
（地名）ある 女
エトロバ姫、
- 506 a-matnenitpo
ア・マトネニトポ
我・孫娘
我が孫娘の
- 507 oma yarbe
オマ ヤラベ
ある ぼろ布
入ったむつきの
- 508 yarbe emko
ヤラベ エムコ
ぼろ布 半分
半分で
- 509 e-oreshu-an
エ・オレシユ・アン
汝・育てられる
育てられた（生まれたときからの許嫁だった）。
- 510 e-buikotuye p
エ・ブイコトウイエ フ
汝・食べる もの
おまえの食べた物を
- 511 buikotuye
ブイコトウイエ
食べる
エトロバ姫も食べ、
- 512 buikotuye p
ブイコトウイエ フ
食べる もの
エトロバ姫が食べた物も
- 513 e-buikotuye ruwe ne
エ・ブイコトウイエ ルウェ ネ
汝・食べる 跡 繋
おまえが食べたのだ。
- 514 Etorbaunkuru
エトロバウンクル
エトロバ彦
我が年少の孫である
- 515 poniune a-nitpo
ポニウネ ア・ニトポ
年下の 我・孫（娘）
エトロバ彦は

- 516 a-matnenitpo
ア・マトネニトポ
我・孫娘
我が孫娘（主人公の妹）を
- 517 oma yarbe
オマ ヤラベ
ある ぼろ布
いれたむつき
- 518 yarbe emko
ヤラベ エムコ
ぼろ布 半分
半分で
- 519 a-ereshu ruwe ne
ア・エレシュ ルウェ ネ
育てられる 跡 繫
育てられたのだ。
- 520 shine utat ta
シネ ウタタ
一つの たち 場所
同じ一族である。
- 521 tapne kane
タプネ カネ
これである 音調
このような
- 522 ikkewe an kusu
イクケウエ アンクス
元 ある 根拠
次第で
- 523 utomnukar kunip
ウトムヌカラ クニップ
結婚する 形式名詞
おまえたちは
- 524 echi-ne ruwe taban
エチ・ネ ルウェ タバン
汝ら・である 跡 この
結ばれるのだ。
- 525 pirikano utarpa buri
ピリカノ ウタラバ プリ
良く 首領 行い
よく首領の習わし、
- 526 katkemat buri
カトケマト プリ
婦人 行い
淑女の習わしを
- 527 uwesamanno
ウエサマンノ
いっしょに
ともに
- 528 echi-eashkai kusune
エチ・エアシカイ クスネ
汝ら・できる 意志
身に備える
- 529 ruwe taban
ルウェ タバン
跡 この
ことができるようにしなさい。
- 530 okake ta
オカケ タ
あと 場所
後で、
- 531 pon tonoto boka
ボン トノト ボカ
小さい 酒 だけ
いかかさ酒を
- 532 a-shikupka wa
ア・シクッカ ワ
我・醸す 接続
醸し、
- 533 a-utari utara
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 たち
我が一族を
- 534 obittano
オビッタノ
皆
すべて
- 535 a-tak kusune
ア・タック クスネ
我・招く 意志
招待しよう。
- 536 nei etoko ta
ネ エトコ タ
繫 前方・先 場所
その前に
- 537 a-nitpo tono
ア・ニトポ トノ
我・孫（娘） 殿
孫よ、
- 538 hoshkino
ホシキノ
先に
まずは
- 539 Etorba un
エトロバ ウン
(地名) 方向
エトロバの
- 540 e-utari utar
エ・ウタリ ウタラ
汝・親族 たち
おまえの一族を
- 541 hotanukar
ホタヌカラ
訪問する
見舞っては
- 542 kunak ramu yan
クナック ラム ヤン
引用 思う 命令
どうだ。
- 543 pirikakuru anakne
ピリカクル アナクネ
良き人 は
良き人が
- 544 ohonno unukar
オホンノ ウヌカラ
しばらく 会見
長く
- 545 somokino anakne
ソモキノ アナクネ
しないで は
会わないでいると、
- 546 tu utur sama
トゥ ウトゥル サマ
二つの 間 そば
いろいろな
- 547 re utur sama
レ ウトゥル サマ
三つの 間 そば
ところから
- 548 wen kamui
ウエン カムイ
悪い 神
魔物が
- 549 ohosari p ne na
オホサリ ヲ ネ ナ
振り返る もの 繫 (訴え)
振り返るものだ。]
- 550 ari
アリ
引用
と
- 551 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 552 tanebo konna
タネボ コンナ
今 は
今こそ
- 553 i-bashkuma
イ・バシクマ
我・物語る
我に語り終えた。
- 554 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く 心
我は驚いて
- 555 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
しまった。
- 556 oroyachiki
オロヤチキ
驚いたことに
たまげた、
- 557 tapne kane
タプネ カネ
これである 音調
こんな
- 558 senne wenno
センネ ウエンノ
否定 悪く
全き
- 559 shinrit koro be
シンリット コロ ベ
出自 持つ もの
先祖をもつ
- 560 a-ne rokokai ko
ア・ネ ロコカイ コ
我・繫 判明 条件
我らであったのに、
- 561 inunukashki
イヌヌカシキ
可哀想に
あわれ、
- 562 nekona shikop
ネコナ シコップ
どのように 生れる
いったい
- 563 nekona barop tapne
ネコナ バロップ タプネ
どのように 生れる これである
どんな巡りあわせか、
- 564 a-koro ainu kamui
ア・コロ アイヌ カムイ
我・もつ 人間 神
父も
- 565 a-koro totto newa
ア・コロ トット ネワ
我・もつ 母 と
母も
- 566 a-ukokeshke
ア・ウコケシケ
皆に妬まれる
皆にやっかまれ、
- 567 a-ukoebokba kusu
ア・ウコエボッカ クス
呪われる 根拠
皆にいじめられ、
- 568 a-nukar boka
ア・ヌカラ ボカ
我・見る だけ
我が見ぬうち

- 569 somoki no
ソモキ ノ
しない 接続
に
- 570 kamui or un
カムイ オルン
神 所 方向
神のもとに
- 571 baye wa isam
バイエ ワ イサム
行く 接続 ない
旅立たれて
- 572 haweokai chiki
ハウエオカイ チキ
言う 条件
しまった、という話に
- 573 tu chish keutum ne
トゥ チシ ケウトウム ネ
二つの 泣く 心 繋
悲しみ嘆く
- 574 re chish keutum ne
レ チシ ケウトウム ネ
三つの 泣く 心 繋
心を
- 575 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
抱いた。
- 576 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さん、
- 577 inunukashki
イヌヌカシキ
可哀想に
かわいそうに。
- 578 ene onne
エネ オンネ
このように 老いる
こんなに
- 579 ruwe am be
ルウエ アム ベ
跡 あるもの
お歳を召しているのに、
- 580 ponram orwano
ポンラム オロワノ
幼少 始点
幼いときから
- 581 chituyashkarap
チトゥヤシカラパ
憐れむこと
我らを
- 582 i-y-ekarkar kusu
イ・イエカラカラ クス
我・する 根拠
憐れみ、
- 583 pirika chireshba
ピリカ チレシバ
よい 育てられる
よき育みを
- 584 uwesamanno
ウエサマンノ
いっしょに
ともに
- 585 i-y-ekarkar ruwe
イ・イエカラカラ ルウエ
我・する 跡
我らに授けて
- 586 okai chiki
オカイ チキ
ある 条件
くれたと思うと、
- 587 a-shiksut wano
ア・シクスト ワノ
我・目元 から
目元に
- 588 ekobuyise kane
エコブユイセ カネ
湿る 音調
涙があふれ、
- 589 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんに
- 590 a-koyairaike
ア・コヤイライケ
我感謝する
感謝の念を覚えた。
- 591 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹
- 592 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繋 接続 繋 譲歩
も
- 593 i-echutkonno
イ・エチユトコンノ
我・異なって
我と異なる
- 594 yainu p ne wa
ヤイヌ ヲ ネ ワ
考えるもの 繋 接続
思いを
- 595 ne yakne
ネ ヤクネ
繋 条件
している
- 596 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである 逆接
とは思われず、
- 597 i-nepkoro kane
イ・ネッコロ カネ
我・ように 同時
我と同じ
- 598 yainu p ne kusu
ヤイヌ ヲ ネ クス
考えるもの 繋 根拠
考えであって、
- 599 shisembir un wa
シセムビリ ウン ワ
己の後ろ 方向 から
後ろを
- 600 shikiriba ko
シキリバ コ
振り向く 条件
向いて
- 601 shinankabiru
シナンカビル
己の顔を拭う
顔をぬぐっていた。
- 602 eebakita
エエバキタ
次に
それからまた、
- 603 konep anun i
コネッ アヌニ
何 よその 形式名詞
ほかの
- 604 konep oya be
コネッ オヤ ベ
何 別のもの
誰であろうとも
- 605 asuruha ashba hawe
アスルハ アシバ ハウエ
噂 聞こえない 声
評判の
- 606 ne yakka
ネ ヤッカ
繋 譲歩
高い者であれば
- 607 tapne ene
タッネ エネ
これである このように
我はやはり
- 608 a-erayap
ア・エラヤッ
我・感心する
賛嘆し、
- 609 nishpa kateomare
ニシパ カテオマレ
長者 慕う
長者の徳を慕い、
- 610 utarpa kateomare
ウタラパ カテオマレ
首領 慕う
首領を崇めるように
- 611 a-ki humi
ア・キ フミ
我・する 気配
したで
- 612 okai rok awa
オカイ ロク アワ
ある 完了 展開
あろうが、
- 613 utarsak kunip
ウタラサク クニッ
一族がいない 形式名詞
親族のいない
- 614 a-basak kunip
ア・バサク クニッ
我・親族がいない 形式名詞
身寄りのいない
- 615 a-ne ruwe ne kuni
ア・ネ ルウエ ネ クニ
我・繋 跡 繋 必然
我らと
- 616 a-ramu awa
ア・ラム アワ
我・思う 展開
思っていたが、
- 617 konep tapteta
コネッ タップタ
何 (強調)
なぜか知らないが
- 618 tantebota
タンテボタ
たった今
今こそ
- 619 irwak hene
イリワッ ヘネ
兄弟 も
同族とはいえ
- 620 senne otobar
センネ オトバラ
否定 普通である
並みならぬ者が
- 621 a-kor hawe usa
ア・コロ ハウエ ウサ
我・もつ 声 譲歩
いて、

- 622 nep tap reihei
ネッ タッ レヘイ
何 これ 名前
その名は
- 623 mat ne wa
マト ネ ワ
女 繫 接続
女であって、
- 624 matkoshikup hene
マトコシクッ ヘネ
女とともに成長する も
女とともに成長している
- 625 a-ki hawe
ア・キ ハウエ
我・する 声
我で
- 626 okai chiki
オガイ チキ
ある 条件
あるとこのこと、
- 627 ibashterambo
イバシテラムボ
我・気付く心
何か気づく
- 628 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
思いがして、
- 629 a-eyaisembir-
ア・エヤイセムビリ・
我・己の陰
心密かに
- 630 omina kane
オミナ カネ
笑う 音調
喜んだ。
- 631 shine an to ta
シネ アン ト タ
一つのある日 場所
ある日
- 632 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんが
- 633 shioshmak oiki kane
シオシマク オイキ カネ
己の後ろ まさぐる 同時
後ろを探って
- 634 chitarbe sapte hine
チタッベ サッテ ヒネ
ござ 出す 接続
ござを出した。
- 635 iyoikir ka wa
イヨイキリ カ ワ
宝列 上 から
宝列の上から
- 636 kani tombi
カニ トムビ
黄金 光
金のトンビ、
- 637 shikerok tombi
シケロク トムビ
眼で座る 光
目で座るトンビを*9
- 638 eurokte
エウロクテ
止まる
出して並べた。
- 639 kani tum wa
カニ トウム ワ
黄金 中 から
金の中から
- 640 a-busu apkoro okai
ア・ブス アッコロ オカイ
人々・押し出す ように ある
取り出されたような
- 641 ikoro
イコロ
宝物
宝物、
- 642 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
神々しい宝物の
- 643 kamui nubeki
カムイ ヌベキ
神 光
輝きが
- 644 chise upsoroho
チセ ウッソロホ
家 内部
家の中に
- 645 eemakkemakke kane
エエマクケマクケ カネ
光る 音調
輝いた。
- 646 nei chitarbe
ネ チタッベ
繫 ござ
出したござの
- 647 sama omare
サマ オマレ
そば 置く
傍らにそれを置いた。
- 648 shina shina kane
シナ シナ カネ
縛る 縛る 同時
くるくる縛って
- 649 hoka etok ne
ホカ エトク ネ
炬 前方・先 繫
炬の上座に
- 650 eantekar
エアンテカラ
に置く
置いた。
- 651 taporowa
タポロワ
それから
それから
- 652 ene itak i*10
エネ イタキ
このように言う 形式名詞
こう言った。
- 653 koninkarkusu
コニンカラス
(語り掛けの合図)
「もしもし、
- 654 a-nitpo tono
ア・ニトポ トノ
我・孫(娘) 殿
我が孫よ、
- 655 tanto shino
タント シノ
今日 まことに
今日はまったく
- 656 shiri pirika kusu
シリ ビリカ クス
様子 よい 根拠
日和が良いので
- 657 Etorba un
エトロバ ウン
(地名) ある
エトロバへ赴いて
- 658 a-utari utara
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 たち
我が親族を
- 659 hotanukar wa
ホタヌカラ ワ
訪問する 接続
訪問して
- 660 i-kore kunak
イ・コレ クナク
我・与える 引用
みて
- 661 ramu yan
ラム ヤン
思う 命令
ください。
- 662 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 繫 接続
我も
- 663 oar tane
オアラ タネ
全く 今
すっかり
- 664 onne-an kasui
オンネ・アン カスイ
老いる・我 甚だしい
年老いてしまった。
- 665 orotunashno
オロトウナシノ
一刻も早く
一刻も早く
- 666 a-utari utar
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 たち
我が一族を
- 667 a-nukar rusui
ア・ヌカールスуй
我・見る したい
見たいものだ。
- 668 ukor kusune
ウコロ クスネ
結婚 意志
おまえたちは結婚するのだ。
- 669 utara hetak a-ukore wa
ウタラ ヘタク ア・ウコレ ワ
たち さあ 我・結婚させる 接続
みなを早く結婚させ、
- 670 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサムの村の
- 671 ebenkirechiu
エバンキレチウ
川上を治める
川下と
- 672 ebankirechiu i
エバンキレチウ イ
川下を治める 形式名詞
川上を治めさせ、

*9 shikerok の意味、未詳。shikeroshi (目で立つ) は「見つめる」の意。また、トンビは「発光体」のことらしい。

*10 原綴りは itakki。

- 673 a-eraman
ア・エラムン
我・知る
それを確かめ
- 674 a-eramushinne yakne
ア・エラムシンネ ヤクネ
我・心落ち着く 条件
安心できたら、
- 675 ramushinne-an wa
ラムシンネ・アン ワ
我安心する 接続
心やすく
- 676 kamui or un
カムイ オルン
神 所 方向
我も神のもとへ
- 677 oman-an rusui
オマナン ルスイ
行く・我 したい
帰れ
- 678 ruwe taban na
ルウェ タバン ナ
跡 この (訴え)
よう。
- 679 apkash tuika ta ne yakka
アプカシ トウイカ タ ネ ヤッカ
歩く 上 場所 繋 譲歩
歩きながらでも
- 680 utarpa anakne
ウタラバ アナクネ
首領 は
首領とは
- 681 kashkamui koro wa
カシカムイ コロ ワ
守り神 持つ 接続
守り神を
- 682 sermaka iyo wa
セレマカ イヨ ワ
背後 入れる 接続
背負って
- 683 apkash be ne
アプカシ ベ ネ
歩く もの 繋
歩く者である。
- 684 tambe kusu
タムベ クス
これ 根拠
それゆえ、
- 685 kani tombi
カニ トムビ
黄金 光
金のトンビ、
- 686 shikerok tombi
シケロク トムビ
眼で座る 光
眼で座るトンビ、
- 687 kamui orwano
カムイ オロワノ
神 始点
神のもとから、
- 688 kanto orwano
カント オロワノ
天 始点
天から
- 689 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサムの村の
- 690 bentapkaishi
ベンタプカシ
頂き
頂に
- 691 a-oranke
ア・オランケ
降ろされる
降ろされたもの、
- 692 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
この神の宝を
- 693 apkash kashkamui ne
アプカシ カシカムイ ネ
歩く 守り神 繋
歩く守り神として
- 694 e-kore-an na
エ・コレ・アン ナ
汝・与える・我 (訴え)
おまえに授ける。
- 695 taban kamuikorobe
タブン カムイコロベ
この 宝物
この神の宝を
- 696 e-koro ko anakne
エ・コロ コ アナクネ
汝・持つ 条件 は
保持したら
- 697 apkash tuika ta
アプカシ トウイカ タ
歩く 上 場所
岐路
- 698 nep hokamba p
ネプ ホカムバ プ
何 難しい もの
どんな困難に
- 699 e-koekari yakka
エ・コエカリ ヤッカ
汝・出会う しかし
遭おうとも
- 700 ponnoka
ボンノカ
少しも
少しの
- 701 e-shitoma p ka isam
エ・シトマ プ カ イサム
汝・恐れる もの も ない
恐ろしい目に
- 702 ruwe taban ari
ルウェ タバン アリ
跡 この 引用
あうことは
- 703 hawean chiki
ハウエアン チキ
言う 条件
ない。」と言った。
- 704 pirika itak ne
ピリカ イタク ネ
よい 言う 繋
良い教えを
- 705 a-nu p ne koroka
ア・ヌ プ ネ コロカ
我・聞く もの 繋 逆接
聞いたけれど
- 706 orhemkusu
オロヘムクス
いっただいどうして
なぜ我は
- 707 yainu-an nankora
ヤイヌ・アン ナンコラ
考える・我 だろうか
戸惑いを覚えたのだろうか。
- 708 oar Etorba kotan un
オアラ エトロバ コタン ウン
全く (地名) 村 方向
エトロバの村へ
- 709 oman-an kuni
オマン・アン クニ
行く・我 必然
行くのが
- 710 a-ekatubase koroka
ア・エカトウバセ コロカ
我・気が重い 逆接
気が進まなかった。
- 711 inunukashiki
イヌヌカシキ
可哀想に
かわいそうに、
- 712 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 713 teeta wano
テエタ ワノ
以前 から
以前から
- 714 eichibachiba
エイチバチバ
望む
待ち望んでいた
- 715 haweam be usa
ハウエアム ベ ウサ
言う もの 譲歩
と言い、
- 716 i-sermakkore kane
イ・セレマクコレ カネ
我・後ろで支える 接続
後ろ盾となり
- 717 e-i-koorsutke^{*11}
エ・イ・コオロステケ
汝・我・励ます
励ます
- 718 hawe am be
ハウエアム ベ
声 ある もの
とのこと。
- 719 somo a-nu yakne
ソモ ア・ヌ ヤクネ
否定 我・聞く 条件
もし従わなければ
- 720 wen nankoro
ウエン ナンコロ
悪い だろう
悪かろう。
- 721 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんが
- 722 an kush tapne
アンクシ タプネ
ある 接続 これである
いたおかげで
- 723 nishpa shikup
ニシパ シクフ
長者 成長する
長者の養育、

*11 e-は不要と思われる。i-koorsutke とみなして解釈する。

- 724 utarpa shikup
ウタロバ シクupp
首領 成長する
首領の受けるはぐくみを
- 725 a-ki awa
ア・キ アワ
我・する 展開
我は受けたのだから、
- 726 pirika renkabi
ピリカ レンカピ
よい 意思
お爺さんの心からの望みを
- 727 a-haita yakne
ア・ハイタ ヤクネ
我・欠く 条件
果たさなければ、
- 728 kamui orwano
カムイ オロワノ
神 始点
神から
- 729 chiarbanakte
チアロバナクテ
ひどく罰せられる
罰せ
- 730 a-i-y-ekarkar
ア・イ・イエカラカラ
我・される
られる
- 731 nankor ne ari
ナンコロ ネ アリ
だろう 繫 引用
だろうと、
- 732 yainu-an kusu
ヤイヌ・アン クス
考える・我 根拠
我は思案した。
- 733 amset ka ta
アムセト カ タ
寝台 も 場所
我は寝台の上に
- 734 chirikibuni-an
チリキブニ・アン
起き上がる・我
立ち上がった。
- 735 kani kosonte
カニ コソント
黄金 小袖
金の小袖を
- 736 a-shitommuye
ア・シトムムイェ
巻き付ける
体に巻きつけ、
- 737 uwokkanikut
ウウオッカニクト
金のベルト
留め金の付いた帯を
- 738 a-tumamkosaye
ア・トゥマムコサイエ
我・胸に巻く
胸に巻き、
- 739 kamui ranke tam
カムイ ランケ タム
神 下ろす 刀
神授の太刀を
- 740 a-kutbokechiu
ア・クトボケチウ
我・帯に差す
帯にさし、
- 741 kani pon kasa
カニ ボン カサ
黄金 小さい 笠
金の小兜の
- 742 kasa rantubep
カサ ラントゥベpp
笠 垂れた紐
垂れた紐を
- 743 an-eyainotkirkan-
アネヤイノトキリカン・
我・己の顎に
顎に
- 744 yuppa kane
ユッパ カネ
縮める 音調
縮めた。
- 745 mashikin teta
マシキン テタ
ますます ここで
ますます
- 746 pirika-an kotomne
ピリカ・アン コトムネ
美しくある らしい
わが身が凜々しくなり、
- 747 i-bishkanike
イ・ビシカニケ
我・周囲
我が周りに
- 748 kamui imeru
カムイ イメル
神 光
神の光が
- 749 eshimaka
エシマカ
輝く
輝いた。
- 750 okutchi urar
オクトチ ウララ
たちこめる 霧
濃いかすみの
- 751 urar tumu
ウララ トウム
霧 中
中に
- 752 a-yayomare
ア・ヤヨマレ
我・みずから入れる
入り、
- 753 rorunso ka ta
ロルンソ カ タ
上座 上 場所
上座を
- 754 renne kema
レンネ ケマ
だるい 足
静かな足取りで
- 755 a-tuimaturi
ア・トゥイマトゥリ
我・遠く伸ばす
大股に歩いた。
- 756 a-tumbamaikan-
ア・トゥムバマイカン・
我・鏝の音
我が鏝のたてる音が
- 757 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
さわやかに響いた。
- 758 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 759 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
我が身を
- 760 uwoambare
ウウォアムバレ
しげしげと探る
しげしげと探るように見て、
- 761 i-tukarikepo
イ・トゥカリケポ
我・手前
我の手前に
- 762 koshikerana-
コシケラナ・
目を下に
目を
- 763 atte kane
アトテ カネ
たたせる 音調
落とした。
- 764 a-nitpo tono
ア・ニトポ トノ
我・孫(娘) 殿
「孫よ、
- 765 enesomun
エネソムン
はたして
果たして
- 766 e-an kuni
エ・アン クニ
汝・ある 必然
思っていた
- 767 a-ramu i ne kusu
ア・ラム イ ネ クス
我・思う 形式名詞 繫 根拠
とおりに
- 768 epirika ruwe an
エピリカ ルウェ アン
よい 跡 ある
立派になった。
- 769 teeta kane
テエタ カネ
以前 音調
昔、
- 770 e-kor oainu
エ・コロ オアイヌ
汝・持つ 人
おまえの父が
- 771 ene an a i
エネ アン ア イ
このように ある 完了 形式名詞
したことは
- 772 ponnoka e-hoppa
ボンノカ エ・ホッパ
少しも 汝・捨て去る
少しもおまえを捨てて去った
- 773 ruwe isam
ルウェ イサム
跡 ない
ということではないのだ。
- 774 ene okai be
エネ オカイ ベ
このように ある もの
こんな立派な者が
- 775 ainu ne kusu
アイヌ ネ クス
人間 繫 根拠
人間ゆえに
- 776 toikaoterke
トイカオテレケ
地上を踏む
地上に生れた

- 777 shiri okai
シリ オカイ
様子 ある
のか。
- 778 a-ye rok okai
ア・イエ ロク オカイ
言われる 完了 ある
いわゆる
- 779 chinomikamui
チノミカムイ
祭られる神
祭られる神が
- 780 toikaoterke yakne
トイカオテレケ ヤクネ
地上を踏む 条件
この世に生れる
- 781 a-koenemba p
ア・コエネムバ
似つかわしい もの
さながら
- 782 ne ruwe ne ari
ネ ルウェ ネ アリ
繫 跡 繫 引用
だ。」と
- 783 itak kane
イタク カネ
言う 同時・音調
言って
- 784 i-reka kashba
イ・レカ カシバ
我・ほめる 甚だしい
我を褒めたたえ、
- 785 otu henkuror
オトゥ ヘンクソロ
二つの うなずくこと
二度のうなずき、
- 786 ore henkuror
オレ ヘンクソロ
三つの うなずくこと
三度のうなずきを
- 787 i-koanukar
イ・コアヌカラ
我・置く
我に返した。
- 788 okkeukurkan-
オクケウクルカン・
首の骨
首の骨も
- 789 isam kane
イサム カネ
ない 音調
なくなるほどであった。
- 790 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 791 ene itak i
エネ イタクイ
このように 言う 形式名詞
こう言った。
- 792 tuimaapcash
トゥイマアツカシ
遠くから歩いて来る
「遠くへと
- 793 apcash tuika ta
アツカシ トウイカ タ
歩く 上 場所
歩むさなか
- 794 boo nishpa buri
ボオ ニシパ ブリ
なおさら 長者 行い
勇者の風采、
- 795 utarpa buri
ウタラバ ブリ
首領 行い
首領の習いが
- 796 a-eashkai ko^{*12}
ア・エアシカイ コ
我・できる 条件
できるなら、
- 797 boo kamui
ボオ カムイ
なおさら 神
ますます神が
- 798 iramyé p
イラムイエフ
感謝する もの
褒めたたえ
- 799 tapokai na
タポカイ ナ
これである (訴え)
る。
- 800 neita ka
ネタ カ
繫 も
どこか
- 801 kotan rake ta
コタン ラケ タ
村 下方 場所
村の岸辺で
- 802 inau ebumba
イナウ エブムバ
木幣 頭を上げる
イナウを捧げ、
- 803 sake ebumba
サケ エブムバ
酒 頭を上げる
酒を捧げている
- 804 utar okai
ウタラ オカイ
たち ある
人たちがいる
- 805 noine ne chiki
ノイネ ネ チキ
らしく 繫 条件
ようなら、
- 806 a-okere bakno
ア・オケレ バクノ
我・終わる まで
その祭りが済むまで
- 807 tere wa
テレ ワ
待つ 接続
待って、
- 808 itekki kotchake
イテッキ コトチャケ
決して 前
決してその前を
- 809 e-kush kotomno
エ・クシ コトムノ
汝・横切る ように
横切っては
- 810 an na ari hemem
アン ナ アリ ヘMEM
ある (訴え) 引用 も
いけない。」と
- 811 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 812 i-bakashnu kane
イ・バカシヌ カネ
我・教える 同時・音調
教え諭した。
- 813 nei kamuikorobe
ネ カムイコロベ
繫 宝物
宝物を
- 814 oma chitarbe
オマ チタラベ
ある ござ
包んだごぞを
- 815 a-eshiyarbok-
ア・エシヤラボク・
我・脇の下
我は脇に
- 816 amba kane
アムバ カネ
持つ 音調
下げた。
- 817 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は
- 818 sancha ot ta
サンチャ オト タ
口元 所 場所
微笑ん
- 819 mina kane
ミナ カネ
笑う 同時・音調
で、
- 820 tunashno
トゥナシノ
早く
早く帰って
- 821 hoshihi-an kuni
ホシビ・アン クニ
戻る・我 必然
くるようにと
- 822 yeba chiki
イエバ チキ
言う 条件
繰り返し言った。
- 823 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 繫 譲歩
我も
- 824 a-sancha ka ta
ア・サンチャ カ タ
我・口元 上 場所
唇を
- 825 mina kane
ミナ カネ
笑う 同時・音調
ほこらばせて
- 826 otu henkuror
オトゥ ヘンクソロ
二つの うなずくこと
多くの
- 827 ore henkuror
オレ ヘンクソロ
三つの うなずくこと
うなずきを

*12 a-eashkai は e-eashkai の誤りであろう。

- 828 a-koanukar
ア・コアヌカ
我・置く
返した。
- 829 tunashno
トゥナシノ
早く
「早く
- 830 hoshibi-an kush ki na
ホシビ・アン クシ キ ナ
戻る・我 接続 する(訴え)
帰るよ。
- 831 pirikano a-koro ekashi
ピリカノ ア・コロ エカシ
良く 我・もつ 老人
お爺さんを
- 832 eyam wa i-kore
エヤム ワ イ・コレ
体を大切に する から 我・与える
大切にしてくれ。」
- 833 ari itak-an kane
アリ イタク・アン カネ
引用 言う・我 同時・音調
と言って、
- 834 soiwasamwa
ソイワサムワ
家の外へ
外に
- 835 a-oshiraye
ア・オシライエ
我・移動する
出た。
- 844 kani chashi
カニ チャシ
黄金 チャシ
金の柵が
- 845 uworeroshki
ウウオレロシキ
重なってそびえる
並び立ち、
- 846 upsor a-i-ereshu ruwe
ウツソロ ア・イ・エレシユ ルウエ
内部 我・?で育てられる 跡
その中で我は
- 847 ne rokokai
ネ ロコカイ
繫 判明
育てられていたのだ。
- 848 usa huihuike
ウサ フイフイケ
譲歩 隔々
どこもかしこも
- 849 a-ewak i
ア・エワク イ
我・住む 形式名詞
我が住いを囲む
- 850 soike sama
ソイケ サマ
家の外 そば
自然は
- 851 a-eramasu
ア・エラマス
我・好ましく思う
好ましく、
- 852 a-erayap kashpa kane
ア・エラヤップ カシパ カネ
我・感心する 甚だしい 同時・音調
驚くほどだ。
- 853 tapkop ka wa
タッコフ カ ワ
小山 上 から
小山の上から
- 854 ebisun san ru
エビスン サン ル
浜へ くだる 道
浜へ出る道は
- 855 otu ru shittok
オトゥ ル シトトク
二つの 道 肘
うねうねと
- 856 ore ru shittok
オレ ル シトトク
三つの 道 肘
肘を張ったように
- 857 kaiba kane
カイバ カネ
折る 音調
折れ曲がって
- 858 shiran chiki
シラン チキ
有様である 条件
いて、
- 859 kiroro kurka
キロロ クルカ
広い路 上
我はその広い道を
- 860 an-i-y-esanke
アニ・イエサンケ
我・出る・下りる
降りていった。
- 861 otu teksam
オトゥ テッサム
二つの すぐそば
折れ曲がり坂を
- 862 a-i-y-esanke
ア・イ・イエサンケ
我・出て行く
降りて行った。
- 863 atui so kurka
アトゥイ ソ クルカ
海 平面上
海の表は
- 864 maknatara
マクナタラ
輝いている
輝いて
- 865 pirika neto
ピリカ ネット
よい 風
美しい風が
- 866 chishireanu
チシレアヌ
おかれる
広がっていた。
- 867 neto kot chikap
ネット コト チカフ
風 持つ 鳥
風に棲む
- 868 neto kot tori
ネット コト トリ
風 持つ 鳥
鳥たちが
- 869 raribe hawe
ラリベ ハウエ
潜って餌をあさる 声
潜り漁る声
- 870 bebunitara
ベブニタラ
騒がしい
響いていた。
- 871 anramasu
アンラマス
まったく好ましい
なんと
- 872 a-uwesuye
ア・ウエスイエ
我・思う
すばらしい。
- 873 orowano
オロワノ
始点
それから、
- 874 atui teksam
アトゥイ テッサム
海 すぐそば
浜辺を
- 875 a-urekushte
ア・ウレクシテ
我・通る
歩いた。
- 876 earmoisam un
エアラモイサム ウン
入り江の向こう岸 方向
入り江の向こう岸へ
- 877 oman-an
オマン・アン
行く・我
行った。
- 878 bashno karip
バシノ カリフ
よく走る 投げ輪
良く回る輪の
- 879 a-shikobayar
ア・シコバヤル
我・見せかける
ように速やかに

第3章 旅立ちと淫乱のペケンヌップ姫

- 880 oman-an aine aine
オマン・アン アイネ アイネ
行く・我 接続 接続
進んで行くと、
- 881 inehunak ta
イネフナク タ
どこかへ 場所
どこに
- 882 oman-an awa
オマン・アン アワ
行く・我 展開
行きついたものか、
- 883 konep kotani
コネフ コタニ
何 村
何という
- 884 ne nankora
ネ ナンコラ
繫 だろうか
村なのか、
- 885 inne kotan
インネ コタン
大勢である 村
人の多い
- 886 kotan kurkashi
コタン クルカシ
村 上
村が
- 887 teshnatara
テシナタラ
平らかである
平らかに広がっていた。
- 888 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんが
- 889 ye i korachi
イエ イ コラチ
言う 形式名詞 ように
言ったように、
- 890 kotan rake ta
コタン ラケ タ
村 下方 場所
村の浜手で
- 891 herebashi wa
ヘレバシ ワ
沖へ から
沖に向かって
- 892 inau ebumba p
イナウ エブムバ フ
木幣 頭を上げる もの
イナウを捧げる
- 893 ne noine
ネ ノイネ
繫 らしく
者たちらしく、
- 894 sanke hunki
サンケ フンキ
浜手の 砂丘
浜手の砂丘の
- 895 kotchake ta
コトチャケ タ
前 場所
前で
- 896 inne utar
インネ ウタラ
大勢である たち
多くの人々が
- 897 ikueshiyuk kane
イクエシユク カネ
酒宴の礼装をする 同時・音調
酒宴の礼装をして
- 898 inau ebumba
イナウ エブムバ
木幣 頭を上げる
イナウを上げ、
- 899 sake ebumba
サケ エブムバ
酒 頭を上げる
酒を捧げて
- 900 koro okai shiriki
コロ オカイ シリキ
doozi ある 見える
いた。
- 901 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんが
- 902 ye i korachi
イエ イ コラチ
言う 形式名詞 ように
言ったとおり
- 903 horkaika
ホロカイカ
逆に跨ぐ
逆さまに跨ぐように*13
- 904 an-echararse
アネチャララセ
我・流れ下る
砂丘を滑り降り、
- 905 ota tuika ta
オタ トウイカ タ
砂 上 場所
砂浜に
- 906 amakirbo
アマキリボ
あぐら
膝を折って
- 907 a-uweokte
ア・ウウエオクテ
我・互いを引つ掛ける
あぐらをかいて
- 908 oribak-an kane an-an
オリバク・アン カネ アナン
畏まる・我 同時・音調 いる・我
慎んで、
- 909 inau ebumba p
イナウ エブムバ フ
木幣 頭を上げる もの
イナウを上げる者の
- 910 okerba wa
オケレバ ワ
終える 接続
儀式が済み、
- 911 hemakarba kuni
ヘマカラバ クニ
立ち去る 必然
立ち去るのを
- 912 a-tere wa an-an awa
ア・テレ ワ アナン アワ
我・待つ 接続 いる・我 展開
待っていた。
- 913 tane a-okere kotom no
タネ ア・オケレ コトム ノ
今 我・終わる ようである 接続
儀式が終わったと
- 914 iramu-an awa
イラム・アン アワ
思う・我 展開
思われるとき、
- 915 kanakankunip
カナカンクニフ
何者か
何者かが
- 916 i-tuisam ta
イ・トウイサム タ
我・傍 場所
我がそばに
- 917 chishiruture
チシルトゥレ
入る
すり寄ってきた。
- 918 inkar-an awa
インカラ・アン アワ
見る・我 展開
見れば
- 919 a-uitek nishpa
ア・ウイテク ニシパ
我・用いる 長者
使いに出された長者で
- 920 ne kotomno
ネ コトムノ
繫 ように
あるらしく、
- 921 sonko ibor
ソンコ イボロ
伝言 顔色
伝令を務める顔立が
- 922 eibottumu-
エイボトゥム・
顔色
際立って
- 923 shinnai kane okai
シンナイ カネ オカイ
違った 同時・音調 ある
優れている
- 924 rametok
ラメトク
勇者
勇士が
- 925 i-tukarike ta
イ・トウカリケ タ
我・手前 場所
私の向かいに
- 926 amakirbo
アマキリボ
あぐら
あぐらを
- 927 uweokte
ウウエオクテ
かけ合わせる
かいて
- 928 naani tu sui
ナアニ トウ スイ
大方 二つの 再び
いくども
- 929 naani re sui
ナアニ レ スイ
大方 三つの 回
いくども手を擦り合わせた。
- 930 i-kohebuni boka
イ・コヘブニ ボカ
我・頭を上げる だけ
我に顔を上げることさえ

*13 この語の解釈は仮のもの。

- 931 yaikoniukesh kane
ヤイコニウケシ カネ
己に欲しない 同時・音調
差し控えつつ、
- 932 ouse a-urari or un
オウセ ア・ウラリ オルン
ただ(だけ)我・もや 所 方向
ただ我を包むもやに向かって
- 933 otu sanashke
オトゥ サナシケ
二つの手
いくども
- 934 ore sanashke
オレ サナシケ
三つの手
手を
- 935 ukaenoye kane
ウカエノイエ カネ
擦り合わせる 同時・音調
擦り合わせて礼拝し、
- 936 sonko ye hawe
ソンコ イエ ハウエ
伝言 言う声
次のような
- 937 ene okai i
エネ オカイ
このようにある 形式名詞
伝言を述べた。
- 938 tan a-koro kotan
タン ア・コロ コタン
この我・もつ 村
「この我が村の
- 939 reikoro katu
レコロ カトゥ
名のる 様子
名は、
- 940 Pekennup ne wa
ペケンヌツプ ネ ワ
(地名) 繋 接続
ペケンヌツプで、
- 941 kotan koro nishpa
コタン コロ ニシパ
村 持つ 長者
村の首領、
- 942 a-hekote nishpa
ア・ヘコテ ニシパ
我・連れ添う 長者
主である首領が
- 943 i-uitek hawe
イ・ウイテック ハウエ
我・使いに出す 声
我を使いとして
- 944 ene okai i
エネ オカイ
このようにある 形式名詞
こういいました。
- 945 a-kor buri
ア・コロ ブリ
我・もつ 行い
『我らの流儀に
- 946 ene okai i
エネ オカイ
このようにある 形式名詞
したがっての
- 947 ne kusu
ネ クス
繋 根拠
ことで、
- 948 pon tonotopo
ボン トノトポ
小さい 酒
いささかの酒を
- 949 a-shikupka wa
ア・シクツカ ワ
我・醸す 接続
醸し、
- 950 tanekuran
タネクラン
今夜
今晚は
- 951 a-ku kusune
ア・ク クスネ
我・飲む 意志
酒宴を催すつもりだったが、
- 952 nei etoko ta
ネ エトコ タ
繋 前方・先 場所
それに先立ち、
- 953 hoshkino
ホシキノ
先に
まず、
- 954 atui so ka ta
アトウイ ソ カ タ
海 平面上 場所
海の表と
- 955 masar ka ta
マサラ カ タ
砂丘 上 場所
砂丘の上の草わらに
- 956 horarba kamui
ホララバ カムイ
居る 神
住まう神に
- 957 a-koinauebumba
ア・コイナウエブムバ
我・イナウを捧げる
イナウを捧げ、
- 958 a-kosakeebunmba^{*14} wa
ア・コサケエブムバ ワ
我・酒を捧げる 接続
酒を捧げ、
- 959 a-eramushinne ko
ア・エラムシンネ コ
我・心落ち着く 条件
心が休まったら
- 960 orowa chise ot ta
オロワ チセ オト タ
始点 家 所 場所
家に入り
- 961 nushiromano
ヌシロマノ
穏やかに
穏やかに
- 962 kamuinomi-an
カムイノミ・アン
神に祈る・我
神祭りを
- 963 kusune awa
クスネ アワ
意志 展開
しようとしていたら、
- 964 rabokita
ラボキタ
間に
ゆくりなく
- 965 ne wa tapne
ネ ワ タツネ
繋 接続 これである
も
- 966 kamui hetap ne
カムイ ヘタツ ネ
神 これ 繋
神だか
- 967 ainu hetap ne
アイヌ ヘタツ ネ
人間 これ 繋
人間だか^が
- 968 bayekai noine
バイエカイ ノイネ
行き来する らしく
訪れたらしく
- 969 iramu-an
イラム・アン
思う・我
思われた。
- 970 irayapka
イラヤツカ
人を感じさせる
驚いたことに、
- 971 kamui buri
カムイ ブリ
神 行い
神の習わし
- 972 nishpa buri
ニシパ ブリ
長者 行い
首領の習いが
- 973 eashkai kusu
エアシカイ クス
できる 根拠
できる人らしい。
- 974 wen-an shiri
ウェン・アン シリ
悪い・我 様子
我は
- 975 otui-an shiri
オトウイ・アン シリ
女のようなである・我 様子
みすばらしく、
- 976 a-netobake
ア・ネトバケ
我・身体
我が身は
- 977 a-i-koramu shiri
ア・イ・コラム シリ
我・心に掛けられる 様子
大切に
- 978 somone yakka
ソモネ ヤッカ
ではない 譲歩
育てられたわけでも
- 979 kamui somun
カムイ ソムン
神 もしかして
よもや神として
- 980 a-i-koramu kusu
ア・イ・コラム クス
我・心に掛けられる 根拠
育てられたわけでもないが、
- 981 a-koro inau
ア・コロ イナウ
我・もつ 木幣
我がイナウを

*14 原綴りは asakeebumba。

- 982 ebuni kotchake
エブニ コトチャケ
頭を上げる 前
捧げている前を
- 983 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 繫 あるもの
神の人が
- 984 kush eoribak kusu
クシ エオリバク クス
通る 恐れ懐む 根拠
横切るのを憚っておられる。
- 985 orsetakko
オロセタッコ
長い間
長く
- 986 untere ruwe
ウンテレ ルウエ
待つ 跡
待たしたら
- 987 sonno a-eshiyoro
ソンノ ア・エシヨロ
真に 我・申し訳なく思う
まったく申し訳ない。
- 988 kotan kusu
コタン クス
村 根拠
村の名によって、
- 989 moshiri kusu
モシリ クス
国土 根拠
国の名によって
- 990 ambe tapne
アムベ タプネ
あること これである
人となりか
- 991 amkiri ne na
アムキリ ネ ナ
知っている 繫 (訴え)
分かるといもの。
- 992 nep kotan wano
ネフ コタン ワノ
何 村 から
どこの村から来て
- 993 neun oman kusu
ネウン オマン クス
どこに行く 根拠
どこへ向かう
- 994 bayekai kamui
バイエカイ カムイ
行き来する 神
旅の神
- 995 ne ruwe taan
ネ ルウエ タアン
繫 跡 この
なのか、
- 996 kamuiamkiri-an rusui na
カムイアムキリ・アン ルスイ ナ
神の知遇を得る・我 したい (訴え)
神の知遇を得たいもの。
- 997 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 繫 あるもの
神なる人よ
- 998 mkoro kotani
ゴロ コタニ
持つ 村
どこの村の者か
- 999 reko wa i-nure
レコ ワ イ・ヌレ
名乗る 接続 我・聞かせる
名乗って
- 1000 kunak ramu yan
クナク ラム ヤン
引用 思う 命令
「ください。」
- 1001 ari hawash chiki
アリ ハワシ チキ
引用 言われる 条件
と尋ねられたので、
- 1002 itak etoko
イタク エトコ
言葉 前方・先
返す言葉に先立ち、
- 1003 a-eshimushisika
ア・エシムシシイカ
我・咳払いする
咳払いして、
- 1004 tapne kane
タプネ カネ
これである 音調
「かくかくしかじかの次第で
- 1005 Otasam um be
オタサム ウム ベ
オタサム あるもの
我は
- 1006 a-ne wa
ア・ネ ワ
我・繫 接続
オタサムに住まうものであるが、
- 1007 a-utari a-hotanukar kusu
ア・ウタリ ア・ホタヌカラ クス
我・人々 我・尋ねる 根拠
一族を訪れるため
- 1008 ratchi apkash
ラトチ アッカシ
穏やかな 歩く
緩やかな歩みを
- 1009 a-ki awa
ア・キ アワ
我・する 展開
していたところ、
- 1010 koekarino
コエカリノ
巡り合わせて
イナウを捧げる
- 1011 inau ebumba an
イナウ エブムバ アン
木幣 頭を上げる ある
催しに
- 1012 shiri a-nukar
シリ ア・ヌカラ
様子 我・見る
行きあった。
- 1013 nei kotchake
ネ コトチャケ
繫 前
その前を
- 1014 a-kush wa
ア・クシ ワ
我・通る 接続
通過
- 1015 shirakkari
シラッカリ
通り過ぎる
するもの
- 1016 an-eoribak kusu
アネオリバク クス
我・恐れ懐む 根拠
恐れ多いので
- 1017 teta
テタ
ここで
ここに
- 1018 enean-an i ne
エネアナニ ネ
我・こうしている 形式名詞 繫
「こうしているのです。」
- 1019 ari itak-an awa
アリ イタク・アン アワ
引用 言う・我 展開
と我が言うのと、
- 1020 sonko koro be
ソンコ コロ ベ
伝言 持つもの
伝令は
- 1021 pirika sonko ne
ピリカ ソンコ ネ
よい 伝言 繫
よい伝言を
- 1022 ehoshihi
エホシビ
帰る
帰って戻っていった。
- 1023 shirutara
シルタラ
しばらくして
しばらくして
- 1024 sui ek wa
スイ エク ワ
再び 来る 接続
再びやってきて
- 1025 ene itak i
エネ イタキ
このように 言う 形式名詞
こう言った。
- 1026 ebosokusu
エボソクス
なるほど
「なるほど、
- 1027 shiran ruwe
シラン ルウエ
有様である 跡
そういう次第なら
- 1028 a-erayap humi
ア・エラヤフ フミ
我・感心する 気配
驚くべき
- 1029 okai awa
オカイ アワ
ある 展開
ことです。
- 1030 soonno boka
ソオンノ ボカ
本当に だけ
まこと、
- 1031 heru asuruhu
ヘル アスルフ
ただの 噂
ただ噂だけを
- 1032 a-nu yakka
ア・ヌ ヤッカ
我・聞く 譲歩
聞いても
- 1033 ene hetapne
エネ ヘタプネ
このように このように
実に
- 1034 a-eoribak be
ア・エオリバク ベ
我・恐れかしこまるもの
恐れ多いのですが、

- 1035 tapne
タツネ
これである
このような
- 1036 Otasam un kuru
オタサム ウンクル
オタサム ある人
オタサム彦なる
- 1037 kamui rametok
カムイ ラメトク
神 勇者
神の勇者
- 1038 ne awa
ネ アワ
繫 展開
が
- 1039 pirika kunine
ピリカ クニネ
よい ように
我を喜ばせるため
- 1040 a-koro tonoto
ア・コロ トノト
我・もつ 酒
我が酒を
- 1041 koekari wa
コエカリ ワ
出会う 接続
受けて
- 1042 ene hawash i taan
エネ ハワシ タアン
このように言われる 形式名詞 この
くれるというのですか。
- 1043 oribak tura
オリバツ トウラ
畏まる とともに
畏れ多いこと
- 1044 ikikorokaiki
イキコロカイキ
しかし
ですが、
- 1045 keke hetak
ケケ ヘタツ
さあ さあ
さあ、
- 1046 a-koro tonoto
ア・コロ トノト
我・もつ 酒
我が醸した
- 1047 tonoto teksam
トノト テクサム
酒 すぐそば
酒のそばに
- 1048 koshireba wa
コシレバ ワ
到着する 接続
やって
- 1049 i-kore kunak
イ・コレ クナク
我・与える 引用
くるよう
- 1050 ramu yan
ラム ヤン
思う 命令
心をお決めください。
- 1051 tantewano
タンテワノ
これから
さっそく
- 1052 nishpaamkiri-an
ニシパアムキリ・アン
首領の知遇を得る
長者どうしの会見、
- 1053 utarpaamkiri-an
ウタラバアムキリ・アン
首領と知り合いになる・我
首領の近づきを
- 1054 rusui na ari
ルスイ ナ アリ
したい (訴え) 引用
したいものです。」と
- 1055 hawash chiki
ハワシ チキ
言われる 条件
述べた。
- 1056 iyairaikere
イヤイライケレ
ありがとう
「ありがたい。
- 1057 ene okai
エネ オカイ
このようにある
このような
- 1058 pirika sonko
ピリカ ソンコ
よい 伝言
よきお誘いを
- 1059 a-kama yakne
ア・カマ ヤクネ
我・乗り越える 条件
お断りするなら
- 1060 chikoshiyante
チコシヤンテ
怒り罵る
ご機嫌を
- 1061 a-i-y-ekarkar kuni
ア・イ・イエカッカクニ
我・される 必然
損なってしまう。』
- 1062 a-ramu kusu
ア・ラム クス
我・思う 根拠
と思ひ、
- 1063 sonkokoro be
ソンココロ ベ
音信を伝えるもの
伝令の
- 1064 itak etoko
イタク エトコ
言葉 前方・先
言葉の先に
- 1065 a-ehobuni
ア・エホブニ
我・立ち上がる
飛び乗って
- 1066 setur kashike
セトウル カシケ
背 上
伝令の背に
- 1067 a-yairarire
ア・ヤイラリレ
我・みずからを押しつける
載るようにして、
- 1068 hemakarba-an
ヘマカッパ・アン
浜から戻る・我
浜を後にした。
- 1069 kotan noshki ta
コタン ノシキ タ
村 真中 場所
村の中央には
- 1070 tam boro chise
タム ボロ チセ
この大きい家
広大な家がある、
- 1071 moshin ru kunne
モシン ルクンネ
島 跡 ように
島ほどの大きさで
- 1072 meunatarata
メウナタラ
きらびやかである
目にも鮮やかだった。
- 1073 soikehe ne
ソイケヘ ネ
家の外側 繫
家の周囲も
- 1074 shino pirika ruwe
シノ ビリカ ルウエ
まことによい 跡
実に見事で
- 1075 a-erayap kane
ア・エラヤッ カネ
我・感心する 同時・音調
驚き入った。
- 1076 a-koro chitarbe
ア・コロ チタラベ
我・もつ ござ
我が手に持つござを
- 1077 chise soike ta
チセ ソイケ タ
家 家の外 場所
家のそばの
- 1078 sakiri etu ta
サキリ エトウ タ
竿 嘴 場所
竿の先に
- 1079 a-ratkire
ア・ラトキレ
我・つり下げる
下げた。
- 1080 orowa
オロワ
始点
それから
- 1081 mosem tuyor
モセム トウヨロ
玄関納屋 中
下屋の中に
- 1082 a-eshikuru
ア・エシキル
我・回る
目を向けた。
- 1083 taban chikutkesh
タバン チクトケン
この 咳払い
大きな咳払いを
- 1084 a-maknaraye
ア・マクナライエ
我・家の中へ送る
響かせた。
- 1085 chiokanimai-
チオカニマイ・
金の響き
金の響きが
- 1086 kotba kane
コトバ カネ
つける 音調
それに続いた。
- 1087 ratki aba
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
こもを

- 1088 a-kotekturi
ア・コテットウリ
我・手を伸ばす
手で上げて
- 1089 a-omausuyere
ア・オマウスイエレ
我・そよがせる
風のように中に入った。
- 1090 mintar ka ta
ミンタラカ タ
土間 上 場所
土間の上に
- 1091 imeru tura
イメル トウラ
光 ともに
光と
- 1092 urar tura
ウララ トウラ
霧 ともに
もやとともに
- 1093 a-rutkosanu
ア・ルトコサヌ
我・押し入る
足を踏み入れた。
- 1094 tam boro chise
タム ボロ チセ
この 大きい 家
大きな家の
- 1095 upsoroho
ウソロホ
内部
中には
- 1096 a-erayap
ア・エラヤッ
我・感心する
驚くほど
- 1097 inne utara
インネ ウタラ
大勢である たち
大勢の人々が
- 1098 euranrari
エウランラリ
いっぱいいる
ぎっしり座っていた。
- 1099 tanne chikupso
タンネ チクッソ
長い 酒宴の座
酒宴の長い座が
- 1100 chishiturire
チシトゥリレ
伸びる
延びていた。
- 1101 hoka etok ne
ホカ エトク ネ
炬 前方・先 繫
炬の上手の席が
- 1102 sara kane shir an
サラ カネ シラン
姿を現す 同時・音調 様子 ある
空いていた。
- 1103 harkiso beka
ハッキソ ベカ
左座 で
左座をとおって
- 1104 a-tumbamaikan-
ア・トゥムバマイカン・
我・鐸の音
鐸の音を
- 1105 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
チリンと響かせて
- 1106 hoka etok ne
ホカ エトク ネ
炬 前方・先 繫
炬の上手に
- 1107 an-ehorari
アネホラリ
我・居る
腰を下ろした。
- 1108 shiso sam ta
シソ サム タ
右座 そば 場所
右座に
- 1109 a-ye manu
ア・イエ マヌ
言われる という
人呼んで
- 1110 Pekennupunkuru
ペケンヌプンクル
(人名)
ペケンヌップ彦が
- 1111 urar imeru kusu
ウララ イメル クス
霧 光 根拠
もやの光で
- 1112 a-nukar boka
ア・ヌカラ ボカ
我・見る だけ
見失なう
- 1113 ewen kane
エウエン カネ
できない 同時・音調
ほど
- 1114 ikueshiyuk be
イクエシユク ベ
酒宴の礼装をする もの
酒宴の盛装に包まれて、
- 1115 mashkin teta
マシキン テタ
ますます ここで
ますます
- 1116 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように 接続 だけ
なんと言っても
- 1117 a-reka i ka isam be
ア・レカ イ カ イサム ベ
我・ほめる 形式名詞 も ない もの
言葉に尽くせない美しい者が
- 1118 ehorari
エホラリ
居る
座っていた。
- 1119 uturke ta
ウトウルケ タ
下座 場所
その間に
- 1120 sennekasui
センネカスイ
まさか
思いも
- 1121 shiran kuni
シラン クニ
有様である 必然
よらない
- 1122 a-ramu rok i
ア・ラム ロキ
我・思う 完了 形式名詞
ことに、
- 1123 pom menoko
ポム メノコ
小さい 女
小娘の
- 1124 noyabi tanne
ノヤビ タンネ
顎 長い
顎の長いのが
- 1125 noyap hontomo
ノヤッ ホントモ
顎 途中
顎の途中で
- 1126 bebeshotop
ベベシオトッ
直毛の髪
直毛の髪を
- 1127 chikoetuye
チコエトウイエ
切り揃える
切り揃えて
- 1128 esantusaush be
エサムトウサウシ ベ
両脇に刀飾りが付く もの
両脇の髪が
- 1129 etusarachichi
エトウサラチチ
刀飾りが垂れさがる
垂れていた。
- 1130 inumbe ka ta
イヌムベ カ タ
妒縁 上 場所
妒縁に
- 1131 ane osor
アネ オソロ
細い 尻
細い腰を
- 1132 eaea
エアエア
座る
載せていた。
- 1133 a-an i moire
ア・アニ モイレ
座る・我 形式名詞 遅い
我が座るや、
- 1134 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
私の姿を
- 1135 uwambare
ウワムバレ
見て調べる
じろじろ見て
- 1136 tu urar ikkeu
トゥ ウララ イクケウ
二つの 霧 腰
私の二つのもやの根元、
- 1137 re urar ikkeu
レ ウララ イクケウ
三つの 霧 腰
三つのもやの根元を
- 1138 i-kocharikar
イ・コチヤリカラ
我・払う
払った。
- 1139 katu ne kane
カトゥ ネ カネ
様子 繫 音調
型どおりに
- 1140 i-erayap be
イ・エラヤッ ベ
我・感心する もの
驚く

- 1141 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
繫 接続 繫 条件
ならば
- 1142 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである 逆接
ありそうなことだが、
- 1143 kosanchakata-
コサンチャカカタ・
口元で
小娘は口元に
- 1144 mina kane
ミナ カネ
笑う 同時・音調
笑いを浮かべている。
- 1145 i-nukar i nani
イ・ヌカラ イ ナニ
我・見る 形式名詞 すぐに
我を見るとすぐに
- 1146 otu shikinram
オトゥ シキンラム
二つの 淫の心
激しい
- 1147 ore shikinram
オレ シキンラム
三つの 淫の心
欲情を
- 1148 i-koanukar
イ・コアヌカラ
我・置く
覚えたらしい。
- 1149 inkan ne wa
インカン ネ ワ
見る 繫 接続
我は
- 1150 a-ki p ne koroka
ア・キ ッ ネ コロカ
我・するもの 繫 逆接
それを見ただけで
- 1151 irushka keutum
イルシカ ケウトウム
怒る 心
怒りと
- 1152 shiyante keutumu
シヤンテ ケウトウム
怒る 心
腹立ちを
- 1153 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
覚えた。
- 1154 Pekennupunkuru
ペケンヌプンクル
(人名)
ペケンヌップ彦は、
- 1155 tekrikikur-
テクリキクル・
手を高々と
手を高々と
- 1156 buni kane
ブニ カネ
上げる 同時・音調
上げて
- 1157 tu pirika itak
トゥ ビリカ イタク
二つの よい 言葉
美しい言葉を
- 1158 re pirika itak^{*15}
レ ビリカ イタク
三つの よい 言葉
次々と
- 1159 ye kane
イエ カネ
言う 同時・音調
並べ、
- 1160 ramno rino
ラムノ リノ
低い土地で 高く
手を上へ
- 1161 i-erankarap
イ・エランカラッ
我・挨拶する
下へと揺すり、
- 1162 i-koonkami
イ・コオンカミ
我・拝礼する
我を礼拝した。
- 1163 itasa bakno
イタサ バクノ
返す まで
これに対して
- 1164 a-erankarap
ア・エランカラッ
我・挨拶する
我も挨拶した。
- 1165 okake an ko
オカケ アン コ
あと ある 条件
そのあと、
- 1166 shintoko oshmak
シントコ オシマク
ほかい 陰
シントコのかげで
- 1167 a-i-y-eainukoro
ア・イ・イエアイヌコロ
我・もてなされる
もてなしを受けた。
- 1168 shisak tonoto
シサク トノト
またとない 酒
類いない酒を
- 1169 a-ukoante
ア・ウコアンテ
我・ととのえる
酌み交わした。
- 1170 tanebo konna
タネボ コンナ
今 は
今初めて
- 1171 tonoto ari
トノト アリ
酒 引用
酒という
- 1172 a-ye p a-ku wa
ア・イエ ッ ア・ク ワ
言われるもの 我・飲む 接続
ものを我は飲んだ。
- 1173 ineapkus
イネアックス
何と
なんと
- 1174 kera pirika
ケラ ビリカ
味 よい
おいしく
- 1175 a-etumashnu wa
ア・エトゥマシヌ ワ
我・元気になる 接続
元気がわいて
- 1176 humash nankora
フマシ ナンコラ
気配がする だろうか
きたことか。
- 1177 sonno a-sambe ba wa
ソンノ ア・サムベ バ ワ
真に 我・心臓 頭 から
実に我が心臓の端から
- 1178 a-sambe kesh wa
ア・サムベ ケシ ワ
我・心臓 末端 から
端まで
- 1179 koshituriri
コシトゥリリ
のびのびとする
伸びやかになった。
- 1180 sonno a-esambe shituri^{*16}
ソンノ ア・エサムベ シトゥリ
真に 我・心臓 伸びる
実に心臓が伸びる思いであった。
- 1181 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
醜い女、
- 1182 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女は
- 1183 chikupso utur
チクッソ ウトゥル
酒宴の座 間
酒宴の座に
- 1184 erututke
エルトゥツケ
足を運ぶ
足を運び、
- 1185 ani pontari
アニ ポンタリ
手に持つ 酒差し
片口を
- 1186 amba kane
アマバ カネ
持つ 同時・音調
手にして
- 1187 iyomare
イヨマレ
酒を注ぐ
酌をして回った。
- 1188 nei utur beka
ネ ウトゥル ベカ
繫 間 で
その間
- 1189 ne yakka
ネ ヤッカ
繫 譲歩
も
- 1190 otu shikinram
オトゥ シキンラム
二つの 淫の心
我に対して

*15 itak を補う。

*16 原綴りは a-esambesh turi。

- 1191 ore shikinram
オレ シキンラム
三つの淫の心
盛んに
- 1192 i-koanukara
イ・コアヌカラ
我・置く
色目を使った。
- 1193 kipnekoroka
キツネコロカ
しかし
しかし
- 1194 a-semkottanu
ア・セムコトタヌ
我・関わらない
我は少しも相手にしなかった。
- 1195 ineapkusu
イネアックス
何と
なんとまあ、
- 1196 Pekennupunkuru
ペケンヌブンクル
(人名)
ペケンヌップ彦は
- 1197 i-kateomare
イ・カテオマレ
我・慕う
我を敬愛し、
- 1198 i-koitak rui wa
イ・コイタク ルイ ワ
我・話す 激しい 接続
言葉を尽くして
- 1199 hawash nankora
ハワシ ナンコラ
言われる だろうか
もてなしてくれたことか。
- 1200 shino ramoshi wano
シノ ラモシ ワノ
まことに心の底から
心の底からの
- 1201 i-koitak
イ・コイタク
我・話す
語り口、
- 1202 tu mina itak
トゥ ミナ イタク
二つの笑う言葉
多くの楽しい
- 1203 re mina itak
レ ミナ イタク
三つの笑う言葉
話を
- 1204 i-tasare
イ・タサレ
我・返す
我に向けてくれた。
- 1205 rabokita
ラボキタ
間に
その間、
- 1206 shirum menoko
シルム メノコ
汚い女
醜い女、
- 1207 wem menoko
ウエム メノコ
悪い女
悪い女の
- 1208 katkoro shiri
カトコロ シリ
振舞う様子
ふるまいを
- 1209 nenka nukar
ネンカ スカラ
誰か 見る
見た者がいた
- 1210 ruwe ne ya
ルウェ ネ ヤ
跡 繋 疑問
のか、
- 1211 oyamokte
オヤモクテ
不思議に思う
怪訝に思った者がいた
- 1212 ruwe ne ya
ルウェ ネ ヤ
跡 繋 疑問
のか
- 1213 a-erambetek
ア・エラムベテク
人々・知らない
我にはわからなかった。
- 1214 tane chikup noshki
タネ チクフ ノシキ
今 酒宴 真中
酒宴は
- 1215 chiomante kane
チオマンテ カネ
進行する 同時・音調
進み、
- 1216 inne utar
インネ ウタラ
大勢である人々
多くの人々が
- 1217 hemanta am be
ヘマンタ アム ベ
何か あるもの
何かを
- 1218 euminare
エウミナレ
皆で笑い合う
笑って
- 1219 wa kusu
ワ クス
接続 根拠
いるので、
- 1220 inkar-an awa
インカラ・アン アワ
見る・我 展開
目を向けると
- 1221 seennekasui
セエンネカスイ
少しも?しない
思いも
- 1222 inkar-an kuni
インカラ・アン クニ
見る・我 必然
よらない
- 1223 a-ramu a i
ア・ラム ア イ
我・思う 完了 形式名詞
ことに、
- 1224 Pekennupummat
ペケンヌプumat
(人名)
ペケンヌップ姫、
- 1225 shirum menoko
シルム メノコ
汚い女
あの醜い
- 1226 wem menoko
ウエム メノコ
悪い女
悪い女が、
- 1227 a-koro iyo chitarbe
ア・コロ イヨ チタラベ
我・もつものを入れる ござ
私の宝物を包んだござを
- 1228 oro a-shina i
オロ ア・シナイ
所 我・縛る 形式名詞
縛ったところで
- 1229 ureeokte wa
ウレエオクテ ワ
足に引っ掛ける 接続
足先に引っ掛けて
- 1230 harkiso beka
ハラキソ ベカ
左座 で
左座に
- 1231 ureenimba
ウレエニムバ
足先で引きずる
引きずり
- 1232 nimba koro ahun ko
ニムバ コロ アフン コ
引きずる 接続 入る 条件
引きずりして入ってくると、
- 1233 ne wa am be
ネ ワ アム ベ
繋 接続 あるもの
それを
- 1234 okkayo hene
オッカヨ ヘネ
若者 も
男たちも
- 1235 menoko hene
メノコ ヘネ
女 も
女たちも
- 1236 tan inne utara
タン インネ ウタラ
この大勢である人々
皆して
- 1237 euminare have
エウミナレ ハウエ
皆で笑い合う 声
おもしろがって
- 1238 ne rokokai
ネ ロコカイ
繋 判明
いるのだった。
- 1239 Pekennupunkuru
ペケンヌブンクル
(人名)
ペケンヌブ人
- 1240 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ カ
繋 接続 繋 譲歩
でさえ、
- 1241 chihosarire
チホサリレ
振り返る
振り向いて
- 1242 nei shirki
ネ シリキ
繋 そうする
その行為を
- 1243 nukar wa
ヌカラ ワ
見る 接続
見て、

- 1244 sonno ramoshi wano
ソノ ラモシ ワノ
真に 心の底 から
心の底から
- 1245 emina hawash chiki
エミナ ハワシ チキ
それを笑う 言われる 条件
愉快そうにしていた。
- 1246 sonno irushka keutum
ソノ イルシカ ケウトウム
真に 怒る 心
我はそれを見て
- 1247 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
怒りがこみあがった。
- 1248 chikibonewa
チキボネワ
もう少しで
今少しのところまで
- 1249 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
醜い
- 1250 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女を
- 1251 tu hum re hum ne
トゥ フム レ フム ネ
二つの 切れ端 三つの 切れ端 繋
バラバラに
- 1252 a-kar anke
ア・カラ アンケ
我・する しようとする
してやろうと
- 1253 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 逆接
思ったけれど、
- 1254 ratchi apkash
ラトチ アッカシ
穏やかな 歩く
穏やかな足取り、
- 1255 pirika apkash
ピリカ アッカシ
よい 歩く
優雅な足取りで
- 1256 a-ki awa
ア・キ アワ
我・する 展開
やって来た我が
- 1257 ainu a-tuye
アイヌ ア・トゥイエ
人間 我・切る
人を斬り、
- 1258 ainu a-raike yakne
アイヌ ア・ライケ ヤクネ
人間 我・殺す 条件
人を殺すのは
- 1259 wen kuni
ウエン クニ
悪い 必然
悪いことと
- 1260 a-ramu kusu
ア・ラム クス
我・思う 根拠
考え、
- 1261 yainita-an kane
ヤイニタ・アン カネ
我捜する・我 同時・音調
こらえて
- 1262 an-an awa
アナン アワ
いる・我 展開
いたが、
- 1263 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
宝物を
- 1264 oma chitarbe
オマ チタラベ
ある ござ
包んだござを
- 1265 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女が
- 1266 ureerutu ko
ウレエルトゥ コ
足ですって押す 条件
足先ですってしていると
- 1267 Pekennupunkuru
ペケンヌプンクル
(人名)
ペケンヌップ彦
- 1268 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繋 接続 繋 譲歩
も
- 1269 wen ruwe ne ari ka
ウエン ルウェ ネ アリ カ
悪い 跡 繋 引用 も
悪いこととさえも
- 1270 itak ka somokino
イタク カ ソモキノ
言う も しなないで
いさめもせず、
- 1271 eikasui kane
エイカスイ カネ
手伝う 同時・音調
加勢するように
- 1272 mina hawe
ミナ ハウエ
笑う 声
笑っている声を
- 1273 a-nu chiki
ア・ヌ チキ
我・聞く 条件
我は聞いて、
- 1274 sonno shiyante keutum
ソノ シヤンテ ケウトウム
真に 怒る 心
実に憤りと
- 1275 irushka keutum
イルシカ ケウトウム
怒る 心
怒りの情を
- 1276 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
抱いた。
- 1277 chikibonewa
チキボネワ
もう少しで
もう少しのところまで
- 1278 Pekennup un rup
ペケンヌプ ウン ルフ
(地名) ある 群れ
ペケンヌップ彦を
- 1279 oro a-tuye
オロ ア・トゥイエ
所 我・切る
斬り
- 1280 oro a-chari anke
オロ ア・チャリ アンケ
所 我・散らす しようとする
捨てようかと
- 1281 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 逆接
思ったが、
- 1282 Etorba kotan
エトロバ コタン
(地名) 村
エトロバの村に
- 1283 a-koshireba
ア・コシレバ
我・到着する
着く
- 1284 tukarike ta
トゥカリケ タ
その手前 場所
前に
- 1285 tametuye-an
タメトウイエ・アン
刀で斬る・我
刀を振るう
- 1286 somoki kuni
ソモキ クニ
しない 必然
まい、
- 1287 a-ramu kusu
ア・ラム クス
我・思う 根拠
と思い、
- 1288 sonno yupke rambo
ソノ ユッケ ラムボ
真に 強い 心
心を強く
- 1289 a-yaikore kane
ア・ヤイコレ カネ
我・もつ 同時・音調
して、
- 1290 a-matkosonu
ア・マトコソヌ
我・立ち上がる
すばやく立ち上がると
- 1291 inne kunip
インネ クニフ
大勢である 形式名詞
多くの者どもの
- 1292 enকাশike beka
エンカシケ ベカ
離れた上 で
頭上を飛び越え、
- 1293 harkisotta
ハラキソッタ
左座に
左座に
- 1294 a-teshkosanu
ア・テシコサヌ
我・すべてに行く
音もなく移り、
- 1295 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
醜く
- 1296 wen menoko
ウエン メノコ
悪い 女
悪い女を

- 1297 tanrikbeka
タンリッベカ
高く
高々と
- 1298 a-urectursere
ア・ウレエトウルセレ
我・蹴り飛ばす
蹴りあげて、
- 1299 a-kor chitarbe
ア・コロ チタラベ
我・もつ ござ
我がござを
- 1300 a-teksaikari
ア・テッサイカリ
我・捉える
奪い取ると
- 1301 soyoterke-an
ソヨテレケ・アン
外に飛び出す・私
家を出た。
- 1302 tane anakne
タネ アナクネ
今
今は
- 1303 beken nisat
ベケン ニサト
明るい 朝
明るい夜明けと
- 1304 kunne nisat
クンネ ニサト
暗い 朝
暗い夜明けが
- 1305 okutekari kane
オクテカリ カネ
交替する 音調
行き違い、
- 1306 shiran
シラン
有様である
夜が開け放たれようとしていた。
- 1307 orowano
オロワノ
始点
それから、
- 1308 terke-an kane
テレケ・アン カネ
跳ねる・我 音調
飛ぶように
- 1309 bash-an kane
バシ・アン カネ
走る・我 音調
走って
- 1310 ek-an aine
エク・アン アイネ
来る・我 接続
行った。
- 1311 hunak ta
フナク タ
どこ 場所
いずここにか
- 1312 ek-an ko
エク・アン コ
来る・我 条件
着くと、
- 1313 sui konep kotani
スイ コネッ コタニ
再び 何 村
また、どこの村で
- 1314 ne nankora
ネ ナンコラ
繋 だろうか
あろうか。
- 1315 inne kotan
インネ コタン
大勢である 村
大きな
- 1316 kotan kurkashi
コタン クルカシ
村 上
広々と広がる
- 1317 teshnatara
テシナタラ
平らかである
村があった。
- 1318 kotan rake ta
コタン ラケ タ
村 下方 場所
村の浜に
- 1319 sui inau ebumba p
スイ イナウ エブムバ ヲ
再び 木幣 頭を上げる もの
イナウを立て、
- 1320 sake ebumba p
サケ エブムバ ヲ
酒 頭を上げる もの
酒を捧げる者たちが
- 1321 inne toba
インネ トバ
大勢である 群れ
大勢
- 1322 chiutasare
チウタサレ
入り乱れる
行きかっていた。
- 1323 shirki chiki
シリキ チキ
そうする 条件
それを見て、
- 1324 sui hoshikino korachi
スイ ホシキノ コラチ
再び 初めに ように
また、先のように
- 1325 tuima shit ta
トゥイマ シト タ
遠い 場所 場所
離れたところで
- 1326 amakirbo
アマキリボ
あぐら
あぐらを
- 1327 a-uweokte kane
ア・ウウエオクテ カネ
我・互いを引っ掛ける 同時・音調
かいて
- 1328 an-an awa
アナン アワ
いる・我 展開
いると、
- 1329 sui sonko koro be
スイ ソンコ コロ ベ
再び 伝言 持つ もの
前と同じように伝令が
- 1330 ek hawe
エク ハウエ
来る 声
やってきて
- 1331 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
こう言った。
- 1332 a-hekote nishpa
ア・ヘコテ ニシパ
我・連れ添う 長者
「我らが仕える長者が
- 1333 i-uitek hawe
イ・ウイテク ハウエ
我・使いに出す 声
使いして
- 1334 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
こう言っています。
- 1335 a-koro kotan
ア・コロ コタン
我・もつ 村
我が村は
- 1336 rei koro katu
レイ コロ カトゥ
名 持つ 様子
その名を
- 1337 Kunashiri ne wa
クナシリ ネ ワ
(地名) 繋 接続
クナシリといい、
- 1338 Kunashiriunkuru
クナシリウンクル
(人名)
クナシリ彦には
- 1339 yayirwakikoro
ヤイリワキコロ
兄弟がいない
兄弟がなく、
- 1340 shine turesh ne wa
シネ トウレシ ネ ワ
一つの 妹 繋 接続
妹一人と
- 1341 okai-an ruwe ne
オカイ・アン ルウエ ネ
いる・我 跡 繋
住んでいます。
- 1342 shinrit buri
シンリト ブリ
出自 行い
先祖の遺風は
- 1343 ene okai i ne kusu
エネ オカイ ネ クス
このように ある 形式名詞 繋 根拠
かくかくの次第で、
- 1344 tanebo konna
タネボ コンナ
今
今では
- 1345 okkayo bakno
オッカヨ バクノ
若者 まで
成人した
- 1346 shikup-an kusu
シクフ・アン クス
育つ・我 根拠
男となったので、
- 1347 pon tonotobo a-kar wa
ポン トノトボ ア・カラ ワ
小さい 酒 我・する 接続
わずかの酒を醸し、
- 1348 inauebuni-an
イナウエブニ・アン
イナウを天に送る・我
イナウを上げ、

- 1349 sakeebuni-an awa
サケエブニ・アン アワ
酒を捧げる・我 展開
酒を捧げていました。
- 1350 koekarino
コエカリノ
巡り合わせて
あちらから、
- 1351 ne wa tapne
ネ ワ タプネ
繋 接続 これである
こちらへ
- 1352 kamui hetap ne
カムイ ヘタップ ネ
神 これ 繋
神なのか、
- 1353 ainu hetap ne
アイヌ ヘタップ ネ
人間 これ 繋
人なのか、見知らぬ人が
- 1354 bayekai wa
バイエカイ ワ
行き来する 接続
旅してきました。
- 1355 utarpa buri
ウタッパ ブリ
首領 行い
首領のたしなみ、
- 1356 kamui buri
カムイ ブリ
神 行い
神のたしなみが
- 1357 eashkai kusu
エアシカイ クス
できる 根拠
すばらしく、
- 1358 orsetakko
オロセタクコ
長い間
しばらく
- 1359 untere ruwe
ウンテレ ルウェ
待つ 跡
控えている様子、
- 1360 shino a-erayap ruwe ne
シノ ア・エラヤッ ルウェ ネ
まことに我・感心する 跡 繋
まことに驚くものがあります。
- 1361 moshiri kusu
モシリ クス
国土 根拠
国を知れば、
- 1362 kotan kusu
コタン クス
村 根拠
村を知れば
- 1363 am be tapne
アム ベ タプネ
あるもの これである
こそ
- 1364 uamkir ne na
ウアムキリ ネ ナ
知り合う 繋 (訴え)
人柄がわかるというものです。
- 1365 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 繋 あるもの
神なる人よ、
- 1366 koro kotani
コロ コタニ
持つ 村
村の名を
- 1367 reko wa i-nure wa
レコ ワ イ・ヌレ ワ
名乗る 接続 我・聞かせる 接続
告げて
- 1368 i-kore yan
イ・コレ ヤン
我・与える 命令
「ください。」
- 1369 ari hawash chiki
アリ ハワシ チキ
引用 言われる 条件
と言ったので、
- 1370 tapne kane
タップネ カネ
これである 音調
先祖は
- 1371 shinrit koro be
シンリトコロ ベ
出自 持つもの
かくかくしかじか、
- 1372 a-ne i a-ye awa
ア・ネ イ ア・イエ アワ
我・繋 形式名詞 我・言う 展開
と言うと、
- 1373 sonko koro be
ソンコ コロ ベ
伝言 持つもの
伝令は
- 1374 pirika sonko ne
ピリカ ソンコ ネ
よい 伝言 繋
そのよき伝えをもって
- 1375 ehoshihi
エホシビ
帰る
帰っていった。
- 1376 shirutasa
シルタサ
地面とぶつかる
折り返し
- 1377 sui arki hine
スイ アッキ ヒネ
再び来る 接続
やってきて、
- 1378 sui hoshkino korachi
スイ ホシキノ コラチ
再び先に ように
また、さっきのように
- 1379 itak-an
イタク・アン
言う・我
承諾して、つまらない
- 1380 yomne-am be ne kusu
ヨムネ・アム ベ ネ クス
懲りる・我もの 繋 根拠
思いをするのは懲りごりだから
- 1381 yayekataitak-an anke
ヤイエカタイタク・アン アンケ
断る・我(?) しようとする
誘いを断ろう*17
- 1382 yainu-an koroka
ヤイス・アン コロカ
考える・我 逆接
と思ったが、
- 1383 moteki
モテキ
幸いに
幸いに
- 1384 pirika keutum ari
ピリカ ケウトウム アリ
よい 心 引用
気持ちよく
- 1385 tu pirika sonko
トゥ ピリカ ソンコ
二つの よい 伝言
数々の
- 1386 re pirika sonko
レ ピリカ ソンコ
三つの よい 伝言
幸便を
- 1387 i-kokarire-an
イ・コカリレ・アン
我・(言葉)を 尽くされる
言葉を尽くして
- 1388 haweokai ko
ハウエオカイ コ
言う 条件
述べてくれたので
- 1389 kama
カマ
越える
失敬する
- 1390 yairenkakpire-an i ka
ヤイレンカピレ・アニ カ
自分の思うがままにする・我 形式名詞 も
のも
- 1391 a-eoribak kusu
ア・エオリバク クス
我・畏れかしこまる 根拠
濟まなく、
- 1392 sonkokor be
ソンココロ ベ
音信を伝えるもの
伝令の
- 1393 itak etoko
イタク エトコ
言葉 前方・先
言葉の先に
- 1394 a-ehobuni
ア・エホブニ
我・立ち上がる
載って、
- 1395 seturkashike
セトゥルカシケ
互いの背の上
背に
- 1396 a-yairarire
ア・ヤイラリレ
我・みずからを押しつける
続いて
- 1397 hemakarba-an wa
ヘマカッパ・アン ワ
浜から戻る・我 接続
浜から上がって行った。
- 1398 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 条件
見ると
- 1399 kotan noshki ta
コタン ノシキ タ
村 真中 場所
村の中央に

*17 この行の解釈は仮のもの。

- 1400 chibuni tapkop
チブニ タップコフ
盛り上がる 小山
盛り上がった小山が
- 1401 ash ruwe konna
アシ ルウェ コンナ
立つ 跡 は
高々と
- 1402 rikuninara
リクニナラ
そびえている
そびえていた。
- 1403 tapkop ka ta
タップコフ カ タ
小山 上 場所
小山の上
- 1404 tam boro chise
タム ボロ チセ
この 大きい 家
大きな家、
- 1405 tam boro chashi
タム ボロ チャシ
この 大きい チャシ
大きな柵が
- 1406 uworeroshki
ウウォレロシキ
重なってそびえる
重なって立っていた。
- 1407 soike sama
ソイケ サマ
家の外 そば
その周囲の
- 1408 a-tomte ruwe
ア・トムテ ルウェ
輝いている 跡
輝かしいさまは
- 1409 a-reka kashba
ア・レカ カシバ
我・ほめる 甚だしい
讃えようもなかった。
- 1410 taban chikutkesh
タババン チクトケシ
この 咳払い
大きな咳払いを
- 1411 a-maknaraye
ア・マクナライエ
我・家の中に送る
家の中に送り、
- 1412 ratki aba
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
垂れている 蓆を
- 1413 a-omasuyere
ア・オマウスイエレ
我・そよがせる
風になびかせて、
- 1414 imeru tura
イメル トウラ
光 とともに
光とともに、
- 1415 urar tura
ウララ トウラ
霧 とともに
もやとともに
- 1416 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上 場所
土間に
- 1417 a-rutkosanu
ア・ルトコサヌ
我・押し入る
入った。
- 1418 tam boro chise
タム ボロ チセ
この 大きい 家
大きな家の
- 1419 chise upsoro
チセ ウッソロ
家 内部
中
- 1420 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繫 接続 繫 譲歩
の
- 1421 a-tomte ruwe
ア・トムテ ルウェ
輝いている 跡
装飾も
- 1422 shino a-eramasu
シノ ア・エラマス
まことに 我・好ましく思う
非常に好ましかった。
- 1423 inne utara
インネ ウタラ
大勢である 人々
多くの人たちが
- 1424 chise euranrari
チセ エウランラリ
家 いっぱいいる
家に満ちていた。
- 1425 tanne chikupso
タンネ チクッソ
長い 酒宴の座
長々とした宴のむしろが
- 1426 chishiturire
チシトゥリレ
伸びる
伸びていた。
- 1427 hoka etok
ホカ エトク
炬 前方・先
炬の上座に
- 1428 sara kane
サラ カネ
姿を現す 音調
空席が
- 1429 shiran chiki
シラン チキ
有様である 条件
あったので、
- 1430 harkiso beka
ハラキソ ベカ
左座 で
左座をとおって
- 1431 renne kema
レンネ ケマ
だるい 足
疲れた足を
- 1432 a-moirerutu
ア・モイレルトウ
ゆっくりと動かされる
静かに運んだ。
- 1433 a-tumbamaikan-
ア・トゥムバマイカン・
我・鏝の音
我が鏝の鳴る音が
- 1434 tununinara
トゥヌニナラ
ほのかに響く
ほのかに響いた。
- 1435 oribak tura
オリバク トウラ
畏まる とともに
厳かに
- 1436 hokaetok ne
ホカエトク ネ
横座 繫
炬の先に
- 1437 an-ehohari
アネホハリ
我・座る
座を占めた。
- 1438 shiso sam ta
シソ サム タ
右座 そば 場所
右座に
- 1439 a-ye manu
ア・イエ マヌ
言われる という
人呼んで
- 1440 Kunashirunkuru
クナシルンクル
(人ナ)
クナシリ彦が
- 1441 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 繫
神のように
- 1442 rametok sone
ラメトク ソネ
勇者 らしく
勇者らしく
- 1443 imi ruwe
イミ ルウェ
着る 跡
装う
- 1444 shibopke ruwe
シボッケ ルウェ
着る物 跡
衣服に
- 1445 anno a-koerayap kane
アンノ ア・コエラヤッカネ
未詳 我・感嘆する 同時・音調
ただ驚くばかりであった。
- 1446 urar tumu
ウララ トウム
霧 中
もやに
- 1447 yayomare
ヤヨマレ
己を入れる
包まれていた。
- 1448 uturke ta
ウトウルケ タ
下座 場所
下座の
- 1449 pom menoko
ポム メノコ
小さい 女
娘が
- 1450 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように 接続 だけ
何ともいえないほど
- 1451 a-reka i ka isam
ア・レカ イ カ イサム
我・ほめる 形式名詞 も ない
美しい。
- 1452 chitomte reshu p
チトムテ レシユッ
輝いている 育てる もの
大切に育てられ

- 1453 **chiarreshu p**
チアラレシュ フ
大切に育てられるもの
全き養育を受けた
- 1454 **soné kusu**
ソネ クス
らしく 根拠
女らしく、
- 1455 **kisar kashike**
キサカ カシケ
耳 上
耳にも
- 1456 **rekut kashike**
レクト カシケ
首 上
首にも
- 1457 **kamui ninkari**
カムイ ニンカリ
神 耳飾り
神々しい耳輪、
- 1458 **kamui tamasai**
カムイ タマサイ
神 胸飾り
美しい玉飾りが
- 1459 **koikatara**
コイカタラ
つける
下げられていた。
- 1460 **monak pirika p**
モナク ピリカ フ
そうでなくてもよいもの
さらでだに美しいのに、
- 1461 **sui kamui inauru**
スイ カムイ イナウル
再び 神 冠
美しい
- 1462 **kani inauru**
カニ イナウル
黄金 冠
金の冠を
- 1463 **kimui rarire**
キムイ ラリレ
頭 押さえつける
頭に載せていた。
- 1464 **kamui nubeki**
カムイ ヌベキ
神 光
神々しい輝きが
- 1465 **nan bishkanike**
ナン ビシカニケ
顔 周囲
かんばせの周りに
- 1466 **komaknatara**
コマクナタラ
輝いている
照り映えていた。
- hodiau boo hene kotom ますます
1467 **irbe soné**
イリベ ソネ
兄弟姉妹 らしく
同族の者らしく
- 1468 **shine shikbui**
シネ シックバイ
一つの 目つき
兄と同じ眼差し、
- 1469 **shine rachiu**
シネ ラチウ
一つの 眉
変わらぬ眉のつくりを
- 1470 **ukoturba kane okai**
ウコトゥルバ カネ オカイ
長く伸ばし合う 同時・音調 ある
していた。
- 1471 **Kunashiriunkuru**
クナシリウンクル
(人名)
クナシリ彦は
- 1472 **i-kotekrikikuru-**
イ・コテリキクル・
我・手を高々と
我に向かって手を高々と
- 1473 **buni kane**
ブニ カネ
上げる 音調
上げて
- 1474 **tanebo konna**
タネボ コンナ
今 は
いまこそ
- 1475 **unukar itak**
ウヌカラ イタク
会見 言葉
会見の言葉を
- 1476 **tu pirika itak**
トゥ ピリカ イタク
二つの よい 言葉
巧みな言葉を
- 1477 **re pirika itak ari**
レ ピリカ イタク アリ
三つの よい 言葉 引用
かずかず、
- 1478 **i-koyaikurekarba**
イ・コヤイクレカラバ
我・語る
我に語った。
- 1479 **ineapkusú**
イネアプクス
何と
なんと
- 1480 **wayashnu wa**
ワヤシヌ ワ
賢い 接続
聡明な
- 1481 **hawash nankora**
ハワシ ナンコラ
言われる だろうか
もの言いだらう。
- 1482 **aokai ne yakka**
アオカイ ネ ヤッカ
我 繋 譲歩
我も
- 1483 **itasa rankarap**
イタサ ランカラフ
返す 挨拶
返礼の
- 1484 **yayiraike itak**
ヤイライケ イタク
感謝 言葉
感謝の言葉を
- 1485 **a-ki onkami-an**
ア・キ オンカミ・アン
我・する 拜礼する・我
述べ、礼拝した。
- 1486 **okakean ko**
オカケアン コ
終了する 条件
そのあと、
- 1487 **shintoko oshmake**
シントコ オシマケ
ほかい その背後
シントコの陰で
- 1488 **a-i-eainukoro**
ア・イ・エアイヌコロ
我・丁寧にもてなされる
我を歓迎する
- 1489 **pirika tonoto**
ピリカ トノト
よい 酒
うまい酒
- 1490 **kamui tonoto**
カムイ トノト
神 酒
神の酒を
- 1491 **a-ukoante**
ア・ウコアンテ
我・ととのえる
酌み交わした。
- 1492 **ineapkusú**
イネアプクス
何と
なんと
- 1493 **tonoto kamui**
トノト カムイ
酒 神
酒の神の
- 1494 **keran wa**
ケラン ワ
おいしい 接続
おいしい
- 1495 **humash nankora**
フマシ ナンコラ
気配がする だろうか
ことだろう。
- 1496 **sonno kera pirika**
ソノノ ケラ ピリカ
真に 味 よい
実においしかった。
- 1497 **rabokita**
ラボキタ
間に
おりしも
- 1498 **kanantano kane**
カナンタノ カネ
変に 音調
ふと不審に思っ
- 1499 **aba or un inkar-an**
アバ オルン インカラ・アン
籬戸 所 方向 見る・我
戸口へ目を向けようと
- 1500 **tambe kusu**
タムベ クス
これ 根拠
して
- 1501 **ainu oika**
アイヌ オイカ
人間 越える
人々の頭越しに
- 1502 **pirikano yayinkar-**
ピリカノ ヤインカラ・
良く 己の視力
じっと
- 1503 **pirikare-an wa**
ピリカレ・アン ワ
良くする・我 接続
目を凝らして
- 1504 **inkar-an a kusu**
インカラ・アン ア クス
見る・我 完了 根拠
みたところ、
- 1505 **seennenaksui**
セエンネナクスイ
よもや
まさか

- 1506 inkar-an kuni
インカラ・アン クニ
見る・我 必然
こんなことを目にしようとは
- 1507 a-ramu rok i
ア・ラム ロキ
我・思う 完了 形式名詞
思わなかったが、
- 1508 nea Pekennup um mat
ネア ペケンヌップ ウム マト
あの(地名) ある女
あのペケンヌップ姫、
- 1509 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
醜い女、
- 1510 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女が
- 1511 tuimabash be
トゥイマバシ ベ
遠く走る
遠くから駆けて
- 1512 konep ne kusu
コネップ ネ クス
何 繫 根拠
来たものだから、
- 1513 konubopbeta-
コヌボッベタ・
汗で
汗に
- 1514 rikan kane
リカン カネ
湿っている 音調
濡れて、
- 1515 ratki aba
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
戸の下がったむしろを
- 1516 kaishitapka
カイシタツカ
肩の上
肩の上に
- 1517 eterkere
エテレケレ
跳ね飛ばす
跳ね飛ばし、
- 1518 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上 場所
下屋に
- 1519 teshkosanu
テシコサヌ
音もなく立つ
滑るように入ってきた。
- 1520 ahun i moire
アフニ モイレ
入る 形式名詞 遅い
入るやいなや、
- 1521 tu utar kama
トゥ ウタラ カマ
二つの人々 越える
多くの
- 1522 re utar kama
レ ウタラ カマ
三つの人々 越える
人々に目もくれず、
- 1523 i-koyairiri
イ・コヤイリリ
我・背を伸ばす
背を伸ばして我を見つけた。
- 1524 an-an ruwe
アナン ルウェ
いる・我 跡
我が姿を
- 1525 nukar chiki
ヌカラ チキ
見る 条件
認めると、
- 1526 shino eramushinne kotomno
シノ エラムシンネ コトムノ
まことに安心する ように
安心し、
- 1527 harkisotta
ハラキソッタ
左座に
左座の
- 1528 inumbe ka ta
イヌムベ カ タ
炬縁 上 場所
炬縁木の上に
- 1529 ane osor
アネ オソロ
細い 尻
瘦せた尻を
- 1530 ea ea
エア エア
に座る に座る
載せた。
- 1531 tu utar kama
トゥ ウタラ カマ
二つの人々 越える
多くの
- 1532 re utar kama
レ ウタラ カマ
三つの人々 越える
人越しに
- 1533 i-koyairiri
イ・コヤイリリ
我・背を伸ばす
背を伸ばし、
- 1534 i-koyairamte
イ・コヤイラムテ
我・みずからの心
背を屈めて
- 1535 otu shikinram
オトゥ シキンラム
二つの 淫の心
我に対して
- 1536 ore shikinram
オレ シキンラム
三つの 淫の心
盛んに
- 1537 i-koanukar
イ・コアヌカ
我・置く
色目を使った。
- 1538 inkan ne wa
インカン ネ ワ
見る 繫 接続
我がしたことといえば、
- 1539 a-ki p ne koroka
ア・キ ッ ネ コロカ
我・するもの 繫 逆接
ただそれを見ただけであるが、
- 1540 keutum ot ta
ケウトウム オト タ
心 所 場所
あっけに
- 1541 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように 接続 だけ
とられて
- 1542 iki-an i ka
イキ・アニ カ
する・我 形式名詞 も
なすすべも
- 1543 isam kane
イサム カネ
ない 音調
なかった。
- 1544 sonno hetapne
ソンノ ヘタツネ
真に このように
こんなことがあるものか。
- 1545 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
醜い女、
- 1546 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女が
- 1547 hankeko i-noshba wa
ハンケコ イ・ノシバ ワ
遠く 我・追う 接続
遠くから我を追いかけて
- 1548 ek wa shiriki chiki
エック ワ シリキ チキ
来る 接続 見える 条件
やってきたのを見て、
- 1549 shiyoro keutumu
シヨロ ケウトウム
驚く 心
我は
- 1550 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
あきれてしまった。
- 1551 chikibonewa
チキボネワ
もう少しで
もう少しのところで
- 1552 a-matkosanu
ア・マトコサヌ
我・パツと立ち上がる
立ち上がり、
- 1553 a-toikoraike
ア・トイコライケ
我・惨殺する
ぶち殺し、
- 1554 a-toikotata anke
ア・トイコタタ アンケ
我・ひどく打つ しようとする
ぶち斬ってやろうかと
- 1555 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 逆接
思ったが、
- 1556 anun tonoto
アヌン トノト
よその 酒
よその人から
- 1557 ratchi tonoto
ラッチ トノト
穏やかな 酒
穏やかな酒に
- 1558 a-i-y-eahunke
ア・イ・イエアフンケ
我・招かれる
招かれて

- 1559 a-i-y-eainukoro
ア・イ・イエアイヌコロ
我・もてなされる
丁重に
- 1560 shiri okai ko
シリ オカイ コ
様子 ある 条件
もてなされているのに、
- 1561 kurkashike
クルカシケ
上
その上、
- 1562 a-kemrirotte kuni ka
ア・ケムリロトテ クニ カ
我・血を流す 必然 も
血の潮を流すのには
- 1563 a-eoribak hemem ki
ア・エオリバク ヘメモ キ
我・畏れかしこまる も する
躊躇した。
- 1564 anun Mataba
アヌン マタバ
よその女
よその女が
- 1565 nekone wenno
ネコネ ウェンノ
どのように 悪く
どんなに
- 1566 katkoro apkusu
カトコロ アックス
振舞う としても
ひどいふるまいに及んでも
- 1567 a-renkaine
ア・レンカイン
我・意志で
みずから
- 1568 a-tuye a-raike eaikap
ア・トゥイエ ア・ライケ エアイカプ
我・切る 我・殺す できない
手を下すことはできなかった。
- 1569 Pekennupunkuru
ペケンヌプンクル
(人名)
ペケンヌップ彦に
- 1570 tomo a-ekokanu ari
トモ ア・エコカヌ アリ
真ん中 我・委ねる 引用
任せるとも
- 1571 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 逆接
考えたが、
- 1572 Pekennupumbe hene
ペケンヌプムベ ヘネ
(人名) も
先のペケンヌップ人の
- 1573 katkoro ruwe
カトコロ ルウェ
振舞う 跡
ふるまいを
- 1574 a-eshikarun ko
ア・エシカルン コ
我・思い出す 条件
思い出すと、
- 1575 irushka keutum
イルシカ ケウトウム
怒る 心
怒りが
- 1576 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
こみあがってきた。
- 1577 inne utara
インネ ウタラ
大勢である 人々
皆は
- 1578 shino iyoyamokte kunip
シノ イヨヤモクテ クニフ
まことに 不思議に思う 形式名詞
不審に
- 1579 konep ne kusu
コネフ ネ クス
何 繫 根拠
思つて
- 1580 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女に
- 1581 kurkashike
クルカシケ
上
目を向けて
- 1582 shikomarbare
シコマラバレ
見つめる
いた。
- 1583 aokai batek
アオカイ バテク
我 のみ
我ばかりが
- 1584 senne ponno
センネ ポンノ
否定 少し
少しも
- 1585 a-ekottanu
ア・エコトタヌ
我・関わる
気にとめなかった。
- 1586 Kunashirunkuru
クナシルンクル
(人名)
高貴な人、
- 1587 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 繫 ある もの
クナシリ彦は、
- 1588 shino i-kateomare p
シノ イ・カテオマレ プ
まことに 我・慕う もの
我を敬愛しているの
- 1589 ne kusu
ネ クス
繫 根拠
であるから、
- 1590 tu mina itak
トゥ ミナ イタク
二つの 笑う 言葉
楽しい数々の
- 1591 re mina itak
レ ミナ イタク
三つの 笑う 言葉
言葉を
- 1592 i-tasare
イ・タサレ
我・返す
掛けてくれて、
- 1593 i-koitakrui
イ・コイタクルイ
我・しきりに話す
饒舌だった。
- 1594 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 繫 譲歩
我も
- 1595 itasabakno
イタサバクノ
返礼までに
これに応じて
- 1596 tu mina itak
トゥ ミナ イタク
二つの 笑う 言葉
数々の
- 1597 re mina itak
レ ミナ イタク
三つの 笑う 言葉
楽しい話を
- 1598 a-itasare
ア・イタサレ
我・返す
返した。
- 1599 inauru koro mat
イナウル コロ マト
冠 持つ 女
冠をつけた女 (クナシリ姫) が
- 1600 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 繫
美しい
- 1601 okai wa
オカイ ワ
ある 接続
所作で
- 1602 anipontari
アニポンタリ
酒を注ぐ器
片口を
- 1603 amba kane
アムバ カネ
持つ 同時・音調
手にとり、
- 1604 chikup so utur
チクッ ソ ウトゥル
酒宴 平面 間
酒宴の座を
- 1605 erututke
エルトゥトケ
足を運ぶ
まわり、
- 1606 iyomare
イヨマレ
酒を注ぐ
酌をした。
- 1607 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
醜く
- 1608 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女は
- 1609 katkoro shiri
カトコロ シリ
振舞う 様子
それが面白くなく
- 1610 shino eramusarak be
シノ エラムサラク ベ
まことに いまいますい もの
いらいらしているもの
- 1611 ne kusu
ネ クス
繫 根拠
だから、

- 1612 neino katkoro ruwe
ネノ カトコロ ルウエ
繫 振舞う 跡
仕草から
- 1613 a-koeraman kane
ア・コエラマン カネ
我・知る 音調
その思いが我にはわかった。
- 1614 tane eashiri
タネ エアシリ
今 強調
ここで
- 1615 shinot pirika
シノト ビリカ
遊び よい
遊興の
- 1616 rimse hene
リムセ ヘネ
踊る も
踊り
- 1617 hechiri hene
ヘチリ ヘネ
踊り も
歌う
- 1618 shino pirika
シノ ビリカ
まことに よい
声が美しかった。
- 1619 nishpa utar
ニシパ ウタラ
長者 人々
長者たち、
- 1620 utarpa utar
ウタラバ ウタラ
首領 人々
首領たちは、
- 1621 uwosakarba
ウウオサカラバ
交代する
代わる
- 1622 uwosakarba
ウウオサカラバ
交代する
代わりに
- 1623 chihobumbare wa
チホブムバレ
起さる 接続
立ち上がって
- 1624 rorunso ka ta
ロルンソ カタ
上座 上 場所
上座で
- 1625 otu tapkar ru
オトゥ タツカラ ル
二つの 足踏みする 舞踏 跡
ともに
- 1626 ore tapkar ru
オレ タツカラ ル
三つの 足踏みする 舞踏 跡
足を踏みしめ
- 1627 uturare
ウトウラレ
交互に続ける
躍った。
- 1628 setur kashike
セトゥル カシケ
背 上
その後ろで
- 1629 katkemat moyono
カトケマト モヨノ
婦人 少なく
大勢の*18婦人たちが
- 1630 ehorippa
エホリッパ
跳躍する
踊った。
- 1631 ineapkusku
イネアックス
何と
なんとまあ、
- 1632 utarpa utar
ウタラバ ウタラ
首領 たち
首領たち、
- 1633 rametok utar
ラメトク ウタラ
勇者 たち
勇者たちの
- 1634 kuchi ashkai wa
クチ アシカイ ワ
喉 上手である 接続
喉に巧みで、
- 1635 baro ashkai wa
バロ アシカイ ワ
口 上手である 接続
口に巧みな
- 1636 hawash nankora
ハワシ ナンコラ
言われる だろうか
ことだろう。
- 1637 anramasu
アンラマス
まったく好ましい
好ましい思いを
- 1638 a-uwesuye
ア・ウエスイエ
我・思う
胸に揺すった。
- 1639 ene shiriki i
エネ シリキ イ
このように 見える 形式名詞
人々の踊りを見て、
- 1640 a-ikoisamba
ア・イコイサムバ
我・まねる
我もまねようと
- 1641 chirikibuni-an
チリキブニ・アン
起き上がる・我
立ち上がり、
- 1642 rorunso ka ta
ロルンソ カタ
上座 上 場所
上座で
- 1643 otu tapkar ru
オトゥ タツカラ ル
二つの 足踏みする 舞踏 跡
舞踏の
- 1644 ore tapkar ru
オレ タツカラ ル
三つの 足踏みする 舞踏 跡
足踏みを数々
- 1645 a-uturare
ア・ウトウラレ
我・
重ねた。
- 1646 a-ki chikup hau
ア・キ チクプ ハウ
我・する 酒宴 声
我がなす宴の音が
- 1647 a-eraunkuchi
ア・エラウンクチ
我・喉奥深く
喉の奥から
- 1648 kamuinoeye
カムイノイエ
美しくねじる
響いた。
- 1649 a-esambarkashi
ア・エサムバラカシ
我・口の上
我が口元が
- 1650 kamui riwak ne
カムイ リワク ネ
神 帰る 繫
天に昇る神となって
- 1651 uwetunise
ウウエトウスイセ
美しく響く
響いた。
- 1652 chikup soba ta
チクプ ソバ タ
酒宴 上座 場所
酒宴の上手から
- 1653 chikup sokesh ta
チクプ ソケシ タ
酒宴 座の下手 場所
下手へかけて
- 1654 utarpa utar
ウタラバ ウタラ
首領 たち
首領たち、
- 1655 rametok utar
ラメトク ウタラ
勇者 たち
勇士たちが
- 1656 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
我が姿に
- 1657 shikomarba
シコマラバ
目を向ける
目を向けていた。
- 1658 ir hetche hau
イリ ヘトチェ ハウ
一連の 合いの手を入れる 声
一斉にどよむ掛け声、
- 1659 ir humse hau
イリ フムセ ハウ
一連の 声を出す 声
一斉にするうなずきが
- 1660 ukoturba
ウコトウルバ
長く伸ばし合う
響き渡った。
- 1661 harkisotta
ハラキソッタ
左座に
左座では
- 1662 matutar utar
マトウタラ ウタラ
女達 たち
女たち

*18 moyono は senne moyono と言われることもある。

- 1663 ne yakka
ネ ヤッカ
繫 譲歩
も、
- 1664 kurkashike
クルカシケ
上
女の座一面が
- 1665 rapkosamba
ラッコサムバ
静まる
静まり返って
- 1666 shineikinne
シネキンネ
一斉に
皆が
- 1667 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
我が姿に
- 1668 shikomarba
シコマラバ
目を向ける
目を向けていた。
- 1669 katu ne kane
カトゥ ネ カネ
様子 繫 同時・音調
型どおりに
- 1670 i-erayap kunip
イ・エラヤッ クニップ
我・感心する 形式名詞
我に感心するの
- 1671 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
繫 接続 繫 条件
ならば
- 1672 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである 逆接
ありそうなことだか、
- 1673 inne kunip
インネ クニップ
大勢である 形式名詞
多くの者たちが
- 1674 i-tukarikebo
イ・トゥカリケボ
我・前
尊い者を見たように
- 1675 koshikerana-
コシケラナ・
目を下に
我的手前に目を
- 1676 rapte kane
ラッテ カネ
下ろす 音調
伏せていた。
- 1677 rabokita
ラボキタ
間に
おりしも、
- 1678 inumbe ka ta
イヌムベ カ タ
焔縁 上 場所
焔縁木に
- 1679 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
醜い
- 1680 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女が
- 1681 ubakitara
ウバキタラ
相変わらず
相変わらず
- 1682 neunka
ネウンカ
どこに
我から
- 1683 i-oyake un
イ・オヤケ ウン
我・よそ 方向
他へ
- 1684 ponnoka inkar ka
ボンノカ インカラ カ
少しも 見る も
目をそらせる
- 1685 somokino
ソモキノ
しないで
こともなく、
- 1686 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
我を見すえて
- 1687 shikomare
シコマレ
見つめる
いた。
- 1688 otu shikinram
オトゥ シキンラム
二つの 淫の心
激しい恋心、
- 1689 ore shikinram
オレ シキンラム
三つの 淫の心
強い欲望を
- 1690 i-koanukar
イ・コアヌカ
我・置く
向けていた。
- 1691 kipnekoroka
キッネコロカ
しかし
しかし、
- 1692 ponnoka or un
ボンノカ オルン
少しも 所 方向
我は
- 1693 inkar boka
インカラ ボカ
見る だけ
少しもそれに
- 1694 hosari boka
ホザリ ボカ
振り向く だけ
目を向けることは
- 1695 somo a-ki
ソモ ア・キ
否定 我・する
なかった。
- 1696 a-semkottanu awa
ア・セムコッタヌ アワ
我・関わらない 展開
少しも構わないでいたところ、
- 1697 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
醜い
- 1698 toi menoko
トイ メノコ
土 女
腐れ女は
- 1699 seennekasui
セエンネカスイ
少しも?しない
まさか
- 1700 katkoro kuni
カトコロ クニ
振舞う 必然
そんなことをするとは
- 1701 a-ramu rok i
ア・ラム ロキ
我・思う 完了 形式名詞
思いもしなかったが、
- 1702 matkosanu
マトコサヌ
さっと立ち上がる
立ち上がり、
- 1703 i-oshmake ta ek wa
イ・オシマケ タ エック ワ
我の・背後 場所 来る 接続
私の後ろに来て
- 1704 i-oshmake wa
イ・オシマケ ワ
我の・背後 から
後ろから
- 1705 i-kohokaba
イ・コホカバ
我・尻を押し付ける
尻の押し付けと
- 1706 i-kohotesu
イ・コホテス
我・尻を引く
尻を引くことを
- 1707 koanutushtek
コアヌトゥシテック
競う
交互に繰り返した。
- 1708 inkan ne wa
インカン ネ ワ
見る 繫 接続
それを
- 1709 a-ki p ne koroka
ア・キ ッ ネ コロカ
我・する もの 繫 逆接
見ただけで
- 1710 tane tane
タネ タネ
今 今
今こそ
- 1711 a-tuye anke
ア・トゥイエ アンケ
我・切る しようとする
斬り捨てて
- 1712 a-raike anke
ア・ライケ アンケ
我・殺す しようとする
やりたくなった。
- 1713 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 逆接
そう思ったけれど、
- 1714 utarpa utar
ウタラバ ウタラ
首領 たち
首領たち、
- 1715 rametok utar
ラメトク ウタラ
勇者 たち
勇士たちの

- 1716 tomo a-ekokanu kusu
トモ ア・エコカヌ クス
真ん中 我・伺う 根拠
気持ちを付度して
- 1717 an-eramne
アネラムネ
我・よく考える
よくよく
- 1718 an-eyaikeutum-
アネヤイケウトウム・
我・己の気持ち
我が気持ちを
- 1719 kishna kane
キシナ カネ
抑える 音調
抑えた。
- 1720 inne utar
インネ ウタラ
大勢である たち
多くの者たちは
- 1721 homatba kunip
ホマトバ クニプ
驚く 形式名詞
驚き、
- 1722 konep ne kusu
コネプ ネ クス
何 繫 根拠
そのため
- 1723 arobittano
アロビトタノ
すべて
皆そろって
- 1724 okkeu ka wa
オッケウ カ ワ
首 上 から
首
- 1725 chininarbare
チニナラバレ
首をうなだれる
うなだれた。
- 1726 matutar ka ta
マトウタラ カ タ
女達 上 場所
女たち
- 1727 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繫 接続 繫 譲歩
も
- 1728 inne kunip
インネ クニプ
大勢である 形式名詞
多くのものは、
- 1729 katune kane
カトゥネ カネ
姿をとる 同時・音調
あたりまえに
- 1730 yaikataikap kunip
ヤイカタイカプ クニプ
気の毒に思う 形式名詞
気の毒がる
- 1731 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
繫 接続 繫 条件
のならば
- 1732 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである 逆接
もつともだが、
- 1733 inne utar
インネ ウタラ
大勢である 人々
多くのものは
- 1734 hebokiki wa okai
ヘボキキ ワ オカイ
頭を下げる 接続 ある
首を垂れていた。
- 1735 yayikush keutum
ヤイクシ ケウトウム
恥ずかしい 心
我は恥ずかしさと
- 1736 irushka keutum
イルシカ ケウトウム
怒る 心
怒りを
- 1737 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
覚えた。
- 1738 rabokita
ラボキタ
間に
そのとき、
- 1739 Kunashiriunkuru
クナシリウンクル
(人名)
クナシリ彦は
- 1740 ibor kor ruwe
イボロ コロ ルウエ
顔色 持つ 跡
穏やかな
- 1741 pirika rok be
ピリカ ロク ベ
よい 完了 もの
顔色を変え、
- 1742 tumamrikur-
トウマムリキクル・
胸を高く
上半身を
- 1743 buni kane
ブニ カネ
上げる 同時・音調
立てて、
- 1744 koro wem buri
コロ ウエム プリ
持つ 悪い 行い
激しい怒りを
- 1745 enantuikashi
エナントウイカシ
顔面
面に
- 1746 chibarsere
チバラセレ
広がる
現した。
- 1747 achikara ta
アチカラ タ
いやなことだ これ
「無礼
- 1748 ayakanna ta
アヤカンナ タ
ろくでもないことだ これ
この上もない。
- 1749 Otasamumbe
オタサムムベ
オタサムの者
オタサムの
- 1750 utarpa hetap
ウタラバ ヘタップ
首領 これ
首領として、
- 1751 nishpa ne
ニシパ ネ
長者 繫
長者として
- 1752 a-koro kamuinomi
ア・コロ カムイノミ
我・もつ 神を祭る
我が祭りに
- 1753 koekarino
コエカリノ
巡り合わせて
やって
- 1754 bayekai shiri
バイエカイ シリ
行き来する 様子
きた
- 1755 okai wa kusu
オカイ ワ クス
ある 接続 根拠
ので、
- 1756 konep wem buri
コネプ ウエム プリ
何 悪い 行い
こちらはなんの悪気も
- 1757 koisamno
コイサムノ
無く
なく、
- 1758 a-koro tonoto
ア・コロ トノト
我・もつ 酒
我が醸した酒に
- 1759 teksama eahunke
テッサマ エアフンケ
すぐそば 入れる
招いて
- 1760 a-eainukoro awa
ア・エアイヌコロ アワ
我・敬う 展開
もてなしているのに、
- 1761 chikosomokur-
チコソモクル・
否定
無礼な
- 1762 yaikatanu
ヤイカタヌ
畏れはばかる
ことだ。
- 1763 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繫 接続 繫 譲歩
それでも
- 1764 orsaureko
オロサウレコ
とんでもなく
ただごとでないことを
- 1765 kamui turanno
カムイ トウランノ
神 とともに
神とともに
- 1766 i-y-ekarkar shiri
イ・イエカラカラ シリ
我・する 様子
我にして
- 1767 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
いるでは
- 1768 tambe ne ya
タムベ ネ ヤ
これ 繫 疑問
ないか。

- 1769 taban menoko
タバン メノコ
この女
おまえはこの女
- 1770 ne wa ek be
ネ ワ エク ベ
繋 接続 来る もの
とやって来た
- 1771 ne ruwe taan
ネ ルウエ タアン
繋 跡 この
のだ。
- 1772 e-antemachi
エ・アンテマチ
汝の妻
おまえの妻、
- 1773 e-sokarmachi
エ・ソカマチ
汝・傍に仕える妻
おまえに仕える妻
- 1774 ne ruwe he an
ネ ルウエ ヘ アン
繋 跡 疑問 ある
なのか。
- 1775 e-tura wa e-ek menoko
エ・トゥラ ワ エ・エク メノコ
汝・連れる 接続 汝・来る 女
おまえは、連れてきた女を
- 1776 neita ka e-nuina wa
ネタ カ エ・ヌイナ ワ
繋 も 汝・隠す 接続
どこかに隠し
- 1777 e-ante
エ・アンテ
汝・嫁ぐ
置いた。
- 1778 orowa a-koro tonoto
オロワ ア・コロ トノト
始点 我・もつ 酒
我が酒に
- 1779 tonoto teksam
トノト テクサム
酒 すぐそば
おまえが
- 1780 e-koahun i
エ・コアフニ
汝・入る 形式名詞
招かれたのが
- 1781 eraman wa
エラマン ワ
分かる 接続
分かって、
- 1782 kush tashi
クシ タシ
hicuzen 強調
それで女は
- 1783 e-oshi ek wa
エ・オシ エク ワ
汝・後ろから 来る 接続
おまえの後からやってきた。
- 1784 eshiri ahun i wano
エシリ アフニ ワノ
先程 入る 形式名詞 から
先ほどからの
- 1785 katkoro shiri
カトコロ シリ
振舞う 様子
言語道断のふるまいを
- 1786 sonno a-rushka
ソンノ ア・ルシカ
真に 我・怒る
我は怒り、
- 1787 tane a-raike
タネ ア・ライケ
今 我・殺す
もう少しのところで
- 1788 tane a-tuye anke
タネ ア・トゥイエ アンケ
今 我・切る しようとする
斬り捨てようと
- 1789 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 逆接
考えたが、
- 1790 e-tom a-kokanu
エ・トム ア・コカヌ
汝・間 我・聴く
おまえの釈明を聞いてやろう。
- 1791 shine itak hene
シネ イタク ヘネ
一つの言葉 も
一言でも、
- 1792 tapne tapne
タップネ タップネ
これである これである
あれ
- 1793 ne ari hene
ネ アリ ヘネ
繋 引用 も
これ、
- 1794 wen ruwe ne
ウエン ルウエ ネ
悪い 跡 繋
悪かったとか
- 1795 pirika ruwe ne
ピリカ ルウエ ネ
よい 跡 繋
良かった
- 1796 ari hene
アリ ヘネ
引用 も
とか
- 1797 e-itak kuni
エ・イタク クニ
汝・言う 必然
おまえが言うはずと
- 1798 keutum ot ta
ケウトウム オト タ
心 所 場所
胸の内
- 1799 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 逆接
考えていたが、
- 1800 oar nepka somo e-ye
オアラ ネツカ ソモ エ・イエ
全く 何か 否定 汝・言う
おまえは何も言わなかった。
- 1801 Otasam un rup
オタサム ウン ルフ
オタサム ある 群れ
オタサムの者たちの
- 1802 koro buri ene okai i
コロ ブリ エネ オカイ
持つ 行い このようにある 形式名詞
なすことといえ
- 1803 ne ruwe he an
ネ ルウエ ヘ アン
繋 跡 疑問 ある
そんなことか。
- 1804 inkar kamui
インカラ カムイ
見る 神
見守る神に
- 1805 a-nubetnere kusu am be
ア・ヌベトネレ クス アム ベ
我・喜ばせる 根拠 ある もの
喜んでもらうのが
- 1806 tapkar ne awa
タップカラ ネ アワ
足踏みする 舞踏 繋 展開
踏舞の趣旨であるのに
- 1807 ishibipka
イシキビツカ
目をびくびくさせる
我が目を驚かすような
- 1808 chikoyayikire
チコヤイキレ
侮辱
侮辱を
- 1809 e-i-y-ekarkar shiri
エ・イ・イエカラカラ シリ
汝・我・する 様子
おまえは我にする
- 1810 ene ani taan
エネ アニ タアン
このように 手に持つ この
のか。
- 1811 tane anakne
タネ アナツネ
今 は
今、
- 1812 kamui turanno
カムイ トウランノ
神 ともに
我にも神にも
- 1813 katu chiwente
カトゥ チウエンテ
姿 痛めつけられる
無礼を
- 1814 e-i-y-ekarkar kusu
エ・イ・イエカラカラ クス
汝・我・する 根拠
働いたのだから
- 1815 shinen e-ne wa
シネン エ・ネ ワ
一人 汝・である 接続
一人おまえを
- 1816 e-raike-an yakka
エ・ライケ・アン ヤッカ
汝・殺す・我 譲歩
殺しても
- 1817 oar haita kusu
オアラ ハイタ クス
全く 欠く 根拠
飽き足りない。
- 1818 Otasam kotan un
オタサム コタン ウン
オタサム 村 方向
オタサム村へ
- 1819 attumunchi
アトウムンチ
激しい戦闘
ひといくさ、
- 1820 anrorumbe
アンロルムベ
激しい戦い
ひと戦いを
- 1821 a-omante kusune na
ア・オマンテ クスネ ナ
我・行かせる 意志 (訴え)
送るつもりだ。

- 1822 nekona ne ya
ネコナ ネ ヤ
どのように 繫 疑問
どうだ、
- 1823 neino ko
ネノ コ
繫 条件
それは、
- 1824 pirika ruwe he an
ピリカ ルウェ ヘ アン
よい 跡 疑問 ある
いいことか、
- 1825 wen ruwe he an
ウェン ルウェ ヘ アン
悪い 跡 疑問 ある
悪いことか。
- 1826 inani ne yakka
イナニ ネ ヤッカ
どちら 繫 譲歩
いずれにせよ、
- 1827 e-ne ne yakne
エ・ネ ネ ヤクネ
汝・である 繫 条件
そうならば、
- 1828 pirika i ye yan
ピリカ イ イェ ヤン
よい 形式名詞 言う 命令
いい返事をしろ。
- 1829 taban menoko
タバン メノコ
この 女
この女は
- 1830 nepkusu
ネックス
なぜ
なぜ
- 1831 ene katkoro i taan
エネ カトコロ イ タアン
このように 振舞う 形式名詞 この
そんなふるまいをするのか。
- 1832 ene e-ikire i he an
エネ エ・イキレ イ ヘ アン
このように 汝・させる 形式名詞 疑問 ある
おまえがさせたのか。
- 1833 a-nu rusui na
ア・ヌ ルスイ ナ
我・聞く したい (訴え)
聞きたいものだ。
- 1834 hetak itak yan
ヘタク イタク ヤン
さあ 言う 命令
さあ、答えよ。]
- 1835 ari itak kane
アリ イタク カネ
引用 言う 同時・音調
と言って、
- 1836 irushka rui be
イルシカ ルイ ベ
怒る 激しいもの
腹立ちを
- 1837 konep ne kusu
コネッ ネ クス
何 繫 根拠
露わにし
- 1838 shiemush nipka
シエムシ ニツカ
己の刀 柄 (つか)
太刀の柄を
- 1839 rarirari
ラリラリ
押さえつける
握り、
- 1840 i-koshiyante
イ・コシヤンテ
我・怒る
我に怒りを向けた。
- 1841 ohaine kane ari
オハイネ カネ アリ
なるほど 音調 引用
怒りはもつともと
- 1842 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 逆接
思ったけれど、
- 1843 Kunashiriunkuru
クナシリウンクル
(人名)
クナシリ彦の
- 1844 irushka i
イルシカ イ
怒る 形式名詞
怒り、
- 1845 shiyante i
シヤンテ イ
怒る 形式名詞
腹立ちを
- 1846 a-kohaukere ka
ア・コハウケレ カ
我・なだめる も
なだめることも
- 1847 somoki koroka
ソモキ コロカ
しない 逆接
できないが、
- 1848 irushka kuruka
イルシカ クルカ
怒る 上
怒り、
- 1849 shiyante kuruka
シヤンテ クルカ
怒る 上
腹立ちを
- 1850 naa ratchitaraka
ナア ラチタラカ
まだ 静める
もつと静め
- 1851 okaibe ne wa
オカイベ ネ ワ
あるもの 繫 接続
られないのか。
- 1852 hemanta
ヘマンタ
何
この悪い女が、
- 1853 wem menoko ne wa
ウェム メノコ ネ ワ
悪い 女 繫 接続
何者であって
- 1854 ek be ne ya
エッ ベ ネ ヤ
来るもの 繫 疑問
やって来たのか。
- 1855 naa somo
ナア ソモ
まだ 否定
まだ
- 1856 shinrit koro i ka
シンリト コロ イ カ
出自 持つ 形式名詞 も
女の出自も
- 1857 eraman kane
エラマン カネ
分かる 同時・音調
知りもせず、
- 1858 kotan turanno
コタン トゥランノ
村 ともに
村ごと
- 1859 irawe hawe
イラウエ ハウエ
減ぼす 声
減ぼすという。
- 1860 keutum ot ta
ケウトウム オト タ
心 所 場所
我が胸の中で
- 1861 eashka shiyante
エアシカ シヤンテ
顔る 怒る
ほんとうに怒りと
- 1862 irushka keutum
イルシカ ケウトウム
怒る 心
腹立ちの気持ちか
- 1863 a-yaikore koroka
ア・ヤイコレ コロカ
我・もつ 逆接
こみあげてきたが、
- 1864 kankapka beka
カンカッパ ベカ
顔の皮の上 で
顔にだけ
- 1865 tu mina itak
トゥ ミナ イタク
二つの 笑う 言葉
笑みを浮かべて
- 1866 re mina itak
レ ミナ イタク
三つの 笑う 言葉
言葉を
- 1867 a-itasare
ア・イタサレ
我・返す
返した。
- 1868 koninkarkusu
コニンカルクス
(語り掛けの合図)
「もしもし、
- 1869 Kunashiriunkuru
クナシリウンクル
(人名)
クナシリ彦よ、
- 1870 e-ye i korachi
エ・イエ イ コラチ
汝・言う 形式名詞 ように
おまえが言う
- 1871 ne ruwe ne
ネ ルウェ ネ
繫 跡 繫
とおりにだ。
- 1872 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 繫 譲歩
我も
- 1873 taban menoko
タバン メノコ
この 女
この女を
- 1874 otu sui an ta
オトウ スイ アン タ
二つの 回 ある これ
二度、

- 1875 ore sui an ta
オレ スイ アン タ
三つの回 ある これ
三度と
- 1876 a-tuye anke
ア・トゥイエ アンケ
我・切る しようとする
斬って
- 1877 a-raike anke
ア・ライケ アンケ
我・殺す しようとする
殺そうと
- 1878 yainu-an a koroka
ヤイヌ・アン ア コロカ
考える・我 完了 逆接
考えたが
- 1879 ratchi apkash
ラッチ アッカシ
穏やかな 歩く
穏やかな歩み、
- 1880 pirika apkash
ピリカ アッカシ
よい 歩く
美しい歩みを
- 1881 a-ki awa
ア・キ アワ
我・する 展開
して
- 1882 Etorba kotan
エトロバ コタン
(地名) 村
エトロバ村を
- 1883 naa somo a-koshireba
ナア ソモ ア・コシレバ
まだ 否定 我・到着する
目指している
- 1884 wa kusu
ワ クス
接続 根拠
ので、
- 1885 yainita-an ruwe ne
ヤイニタ・アン ルウェ ネ
我慢する・我 跡 繋
こらえているのです。
- 1886 nishpa mataba
ニシパ マタバ
長者 女
長者の女、
- 1887 utarpa mataba
ウタラパ マタバ
首領 女
首領の女を
- 1888 a-renkaine
ア・レンカイン
我・意志で
我の恣意では
- 1889 a-tuye a-raike eaikap
ア・トゥイエ ア・ライケ エアイカプ
我・切る 我・殺す できない
殺せない
- 1890 ruwe ne kusu
ルウェ ネ クス
跡 繋 根拠
のです。
- 1891 hoshibi-an i ta
ホシビ・アニ タ
戻る・我 形式名詞 場所
帰りには、
- 1892 irenka koro kunip
イレンカ コロ クニプ
法令・掟 持つ 形式名詞
我に裁きの権能が
- 1893 a-ne ruwe taban
ア・ネ ルウェ タバン
我・繋 跡 この
具わります。
- 1894 taban kamuikorobe
タバン カムイコロベ
この 宝物
この宝物
- 1895 anakne
アナクネ
は
は
- 1896 kamui or wano
カムイ オロ ワノ
神 所 から
神のもことから、
- 1897 kanto or wano
カント オロ ワノ
天 所 から
天から
- 1898 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサム村の
- 1899 bentapkashi
ベンタッカシ
頂き
頂に
- 1900 a-oranke p ne
ア・オランケ ヲ ネ
降ろされる もの 繋
降ろされた
- 1901 ruwe ne taban
ルウェ ネ タバン
跡 繋 この
ものです。
- 1902 kamuikorobe ari
カムイコロベ アリ
宝物 で
この宝物で
- 1903 ouse irukai
オウセ イルカイ
ただ (だけ) しばらくの間
ほんのしばし
- 1904 yaikikkar-an rusui
ヤイキッカラ・アン ルスイ
自らを守る・我 したい
自分の身を守りたい。
- 1905 Utarba anakne
ウタラバ アナクネ
首領 は
首領よ、
- 1906 rametok anakne
ラメトク アナクネ
勇者 は
勇士よ、
- 1907 nekona irushka yakka
ネコナ イルシカ ヤッカ
どのように 怒る 譲歩
どれほど腹立たしくても
- 1908 ikoro ari
イコロ アリ
宝物 で
この宝物で
- 1909 yaitomoitak ko
ヤイトモイタク コ
心をなだめる 条件
心をなだめるなら、
- 1910 boo kamui or bakno
ボオ カムイ オロ バクノ
なおさら 神 所 まで
ますます神のところまで
- 1911 asuruash be ne na
アスルアシ ベ ネ ナ
有名になる もの 繋 (訴え)
評判が立ちます。
- 1912 hoshibi-an bakno
ホシビ・アン バクノ
戻る・我 まで
戻るまで
- 1913 tambe shikkashima wa
タムベ シッカシマ ワ
これ 見守る 接続
これをしっかりと仕舞って
- 1914 i-kore kunak
イ・コレ クナク
我・与える 引用
置いて
- 1915 ramu yan ari
ラム ヤン アリ
思う 命令 引用
「ください。」と
- 1916 itak-an kane
イタク・アン カネ
言う・我 同時・音調
言いながら、
- 1917 a-koro chitarbe
ア・コロ チタラベ
我・もつ ござ
ござを
- 1918 Kunashiriunkuru
クナシリウンクル
(人名)
クナシリ彦の
- 1919 temkoroho ta
テムコロホ タ
両腕の中 場所
両腕に
- 1920 a-ante awa
ア・アンテ アワ
我・あらしむ 展開
預けると
- 1921 bitabita maka
ビタバタ マカ
ほどく 開ける
クナシリ彦は紐をほどいて開けた。
- 1922 chise upgoro
チセ ウッゴロ
家 内部
家の中が
- 1923 makke makke
マッケ マッケ
明るくなる 明るくなる
明るくなった。
- 1924 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
中の宝物に
- 1925 inne utara
インネ ウタラ
大勢である 人々
多くの人々が
- 1926 koshikraiba
コシクライバ
目撃する
目を向けた。
- 1927 katu ne kane
カトゥ ネ カネ
様子 繋 同時・音調
あたりまえに

- 1928 homatpa kunip
ホマトバ クニフ
驚く 形式名詞
驚く
- 1929 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
繋 接続 繋 条件
ならば
- 1930 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである 逆接
さもありません。
- 1931 inne utar
インネ ウタラ
大勢である 人々
多くの人々が
- 1932 ir humse hau
イリ フムセ ハウ
一連の 声を出す 声
感に堪えぬ声を
- 1933 ukoturba
ウコトゥルバ
長く伸ばし合う
あげた。
- 1934 Kunashirunkur
クナシルンクル
(人名)
クナシリ彦は
- 1935 ene hetapne
エネ ヘタプネ
このように このように
あれほど
- 1936 irushka hawe
イルシカ ハウエ
怒る 声
怒りの声を
- 1937 okai awa
オカイ アワ
ある 展開
あげていたのに、
- 1938 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
宝物に
- 1939 koshikraiba p
コシクライバ ヲ
目撃する もの
目を向けて
- 1940 ikkeu noshki
イクケウ ノシキ
腰 真中
腰のまん中を
- 1941 komkosanu
コムコサヌ
素早く曲がる
屈め、
- 1942 shietuuina
シエトゥウイナ
鼻を押さえる
鼻を抑え
- 1943 shibaruina
シバルイナ
己の口を抑える
口を抑えて
- 1944 tu wan onkami
トゥ ワン オンカミ
二つの 十の 礼拝
幾度も
- 1945 re wan onkami
レ ワン オンカミ
三つの 十の 礼拝
幾度も
- 1946 arukakushte
アルカクシテ
重ねる
礼拝を繰り返した。
- 1947 ikor hene
イコロ ヘネ
宝物 も
宝物にも
- 1948 aokai hene
アオカイ ヘネ
我 も
我にも
- 1949 i-koonkami
イ・コオンカミ
我・拝礼する
礼拝を繰り返した。
- 1950 kurkashike
クルカシケ
上
そうしながら、
- 1951 itak omare
イタク オマレ
言葉 置く
語る
- 1952 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
ことには、
- 1953 ebosokusu
エボソクス
なるほど
「なるほど、
- 1954 tu kotan kama
トゥ コタン カマ
二つの 村 越える
二つの村、
- 1955 re kotan kama
レ コタン カマ
三つの 村 越える
三つの村を越えて
- 1956 asuruash be
アスルアシ ベ
有名になる もの
遠くまで令名を馳せる
- 1957 Otasamu un kamui
オタサム ウン カムイ
地名 ある 神
オタサムの神で
- 1958 ne okai be
ネ オカイ ベ
繋 ある もの
ある
- 1959 ne wa ta
ネ ワ タ
繋 場所 これ
からこそ、
- 1960 konep ainu koro be
コネフ アイヌ コロ ベ
何 人間 持つ もの
なんという宝物を持つ者で
- 1961 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
ある
- 1962 taan ari
タアン アリ
この 引用
のか。」と
- 1963 hawash chiki
ハワシ チキ
言われる 条件
言ったので、
- 1964 rauki mina
ラウキ ミナ
密かな 笑う
密かな笑い、
- 1965 rauki sapse
ラウキ サフセ
密かな 笑う
密かな嘲笑を
- 1966 a-uwesuye
ア・ウエスイエ
我・思う
胸に浮かべた。
- 1967 inauru koro mat
イナウル コロ マト
冠 持つ 女
冠をかぶった女は
- 1968 Katune kane
カトゥネ カネ
姿をとる 同時・音調
あたりまえに
- 1969 yaikatui kap be
ヤイカトゥイカフ ベ
気の毒に思う もの
気の毒がる者で
- 1970 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
繋 接続 繋 条件
あれば
- 1971 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである 逆接
あたりまえだが、
- 1972 shisembirun wa
シセムビルン ワ
己の後ろへ 接続
後ろに
- 1973 shikirba ko
シキリバ コ
振り向く 条件
振り向いて
- 1974 yainubebirba
ヤイヌベビリバ
涙をぬぐう
涙をぬぐって
- 1975 kotom ne a-ramu
コトム ネ ア・ラム
ようである 繋 我・思う
いるらしい。
- 1976 tap a-nukar tek
タフ ア・ヌカラ テク
これ 我・見る ちよっとする
それをちらりと見て
- 1977 soyoterke-an
ソヨテレケ・アン
外に飛び出す・私
我は表に出た。
- 1978 orowano sui
オロワノ スイ
始点 再び
それから、
- 1979 kunnei beka
クンネ ベカ
闇 中
闇の中を
- 1980 bashno karip
バシノ カリフ
よく走る 投げ輪
よく走る輪の

- 1981 a-shikobayar
ア・シコバヤラ
我・見せかける
ように、
- 1982 oman-an aine
オマナン アイネ
行く・我 接続
進んだ。
- 1983 tane shiri beker
タネ シリ ベケル
今 様子 明るい
はや、夜は明けた。
- 1984 oman-an aine aine
オマナン アイネ アイネ
行く・我 接続 接続
どんどん進んで行くと、
- 1985 tanebo konna
タネボ コンナ
今 は
今こそ
- 1986 a-ye rokokai
ア・イエ ロコカイ
言われる 判明
いわゆる
- 1987 Etorba kotan
エトロバ コタン
(地名) 村
エトロバ村
- 1988 a-nekotomka p
ア・ネコトムカ プ
らしく思われる もの
らしき *19
- 1989 tam boro kotan
タム ボロ コタン
この 大きい 村
大きな村が
- 1990 i-koyairiki-
イ・コヤイリキ・
我・自ら高く
迫って
- 1991 bumba kane
ブムバ カネ
上げる 音調
きた。
- 1992 kotan noshki ta
コタン ノシキ タ
村 真中 場所
村の中央に
- 1993 chibuni tapkop
チブニ タップコフ
盛り上がる 小山
盛り上がった小山が
- 1994 chiekantoor-
チエカントオロ・
天
天に
- 1995 suiba kane
スイバ カネ
揺する 音調
そびえていた。
- 1996 tapkop ka ta
タップコフ カ タ
小山 上 場所
小山の上に
- 1997 tam boro chashi
タム ボロ チャシ
この 大きい チャシ
大きな柵と
- 1998 tam boro chise
タム ボロ チセ
この 大きい 家
大きな家とが
- 1999 uworeroshki
ウウオレロシキ
重なってそびえる
重なるように建っていた。
- 2000 iyainumare
イヤイヌマレ
驚いた
驚いた。
- 2001 Pekennup chashi
ペケンヌプ チャシ
(地名) チャシ
ペケンヌプの柵も
- 2002 Kunashiri chashi
クナシリ チャシ
(地名) チャシ
クナシリの柵も
- 2003 pirika ruwe
ピリカ ルウエ
よい 跡
その美しさ、
- 2004 a-tomte ruwe
ア・トムテ ルウエ
輝いている 跡
神々しさに
- 2005 a-erayap humi
ア・エラヤフ フミ
我・感心する 気配
賛嘆の
- 2006 okai awa
オカイ アワ
ある 展開
念が起こったけれど、
- 2007 konep ne rok wa
コネプ ネ ロク ワ
何 繋 完了 接続
これは
- 2008 shir an nankora
シラン ナンコラ
様子 ある だろうか
何としたことか。
- 2009 tap eashiri
タップ エアシリ
これ 強調
これこそ本当に
- 2010 kamui ewaki
カムイ エワキ
神 住まい
神の住いを
- 2011 chiekasure
チエカスレ
凌ぐ
凌いでいた。
- 2012 chise soinake
チセ ソイナケ
家 家の外
家の周りも、
- 2013 chashi soinake
チャシ ソイナケ
チャシ 家の外
柵の周りも
- 2014 a-tomte ruwe
ア・トムテ ルウエ
輝いている 跡
そのきらびやかさで
- 2015 huihuinawano
フイフイナワノ
隅々まで
どこもかしこも
- 2016 a-koerayap.
ア・コエラヤフ.
我・感嘆する
驚くものがあった。
- 2017 a-un chisehe
ア・ウン チセヘ
我・いる 家
我が家、
- 2018 a-ewak shiroro
ア・エワク シロロ
我・住む 場所
我が住いの
- 2019 pirika ruwe
ピリカ ルウエ
よい 跡
美しさに
- 2020 neike huike
ネケ フイケ
どこに 隅
一つも
- 2021 hoppa ruwe
ホッパ ルウエ
残す 跡
遜色が
- 2022 oarar isam
オアララ イサム
全く ない
なかった。
- 2023 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く 心
驚異の気持ち
- 2024 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
抱いた。
- 2025 chise sam ka ta
チセ サム カ タ
家 そば 上 場所
家のそばを
- 2026 moire apkash
モイレ アッカシ
遅い 歩く
ゆったりとした足取りで
- 2027 a-koyaikurka-
ア・コヤイクルカ・
我・我が上
進み
- 2028 oma kane
オマ カネ
ある 同時・音調
行くと、
- 2029 a-tumba humi
ア・トゥムバ フミ
我・鏝 音
鏝の鳴る音が
- 2030 tununitara *20
トゥヌニタラ
美しい音が響く
チリンと響いた。

*19 この行の解釈はユ研 p. に従う。

- 2031 mosem tuyor
モセム トウヨロ
玄閣納屋 中
入り口の納屋に
- 2032 an-oshikuru
アノシキル
我・回る
回った。
- 2033 ikor hura
イコロ フラ
宝物 匂い
宝物の
- 2034 tomi hura
トミ フラ
財宝 匂い
匂いが
- 2035 rui rera ne
ルイ レラ ネ
激しい 風 繫
強い風となって
- 2036 i-emaknakur-
イ・エマクナクル・
我・奥
我を
- 2037 raiba kane
ライバ カネ
移動させる 同時・音調
たじたとさせた。
- 2038 ratki aba
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
垂れさがった
- 2039 a-kotekturi
ア・コテクトゥリ
我・手を伸ばす
こもを引き上げた。
- 2040 a-omausuyere
ア・オマウスイエレ
我・そよがせる
風のように入り込んだ。
- 2041 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上 場所
土間に
- 2042 imeru tura
イメル トウラ
光 とともに
光とともに
- 2043 urar tura
ウララ トウラ
霧 とともに
もやとともに
- 2044 a-rutkosanu
ア・ルトゴサヌ
我・押し入る
すっと入った。
- 2045 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 条件
みれば、
- 2046 tam boro chise
タム ボロ チセ
この 大きい 家
大きな家の
- 2047 amanemboki
アマネムボキ
梁の下
棟木の下に
- 2048 chiibiyere
チイビイエレ
すきまなく
隙間なく
- 2049 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
宝物が
- 2050 eekirtek kane
エエキリテク カネ
並ぶ 同時
並んでいた。
- 2051 kani so kurka
カニ ソ クルカ
黄金 平面 土
金のござが
- 2052 koteshnatara
コテシナタラ
平らに伸びる
平らに敷かれていた。
- 2053 kani inumbe
カニ イヌムベ
黄金 焔縁
金の焔縁の
- 2054 baye ruwe^{*21} konna
バイエ ルウエ コンナ
行く 跡 は
伸びゆくさまは
- 2055 tonnatara
トンナタラ
光っている
光り輝くよう。
- 2056 shiso sam ta
シソ サム タ
右座 そば 場所
右座には
- 2057 okutchi urar
オクトチ ウララ
たちこめる 霧
濃いもやの
- 2058 pon urar tapkop
ポン ウララ タプコフ
小さい 霧 小山
小山が
- 2059 ehorari
エホラリ
居る
座っていた。
- 2060 uturke ta
ウトウルケ タ
下座 場所
下座にも
- 2061 sui okutchi urar
スイ オクトチ ウララ
再び たちこめる 霧
またもや濃いもやが
- 2062 pon urar tapkop
ポン ウララ タプコフ
小さい 霧 小山
小山が
- 2063 ehorari kane
エホラリ カネ
居る 音調
座っていた。
- 2064 ororun am be
オロルン アム ベ
上座に ある もの
上座にある
- 2065 urar tumu
ウララ トウム
霧 中
もやの中を
- 2066 a-shikechari
ア・シケチャリ
我・目で散らす
手で払い
- 2067 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 条件
見ると、
- 2068 a-ye manu
ア・イエ マヌ
言われる という
人呼んで
- 2069 Etorbaunkuru
エトロバウンクル
エトロバ彦
エトロバ彦、
- 2070 Nekambikorokuru
ネカムビココクル
(人名)
ネカンビココ彦、
- 2071 ireshu yubi
イレシュ ユビ
育ての 兄
育ての兄
- 2072 a-nekotomka p
ア・ネコトムカ プ
らしく思われる もの
らしいのが
- 2073 kani kosonte
カニ コソント
黄金 小袖
金の小袖を
- 2074 arutomechiu
アルトメチウ
身にまとう
まどっていた。
- 2075 uwok kani kut
ウウオク カニ クト
引っかけりあう 黄金 帯
留め金のついた帯を
- 2076 tumamkosaiba
トゥマムコサイバ
胴に巻く
胴に巻いていた。
- 2077 kani pon kasa
カニ ボン カサ
黄金 小さい 笠
金の小さい兜の
- 2078 kasa rantubep
カサ ラントゥベフ
笠 垂れた紐
兜の垂れ紐を
- 2079 yaikoyubu
ヤイコユブ
締める
締めていた。
- 2080 kasa kepsam ta
カサ ケツサム タ
笠 端 場所
兜の縁に
- 2081 nan nubeki
ナン スベキ
顔 光
かんばせの輝きが

*20 原綴りは tunitara。

*21 原綴りは baye ruwe。

- 2082 maknatara
マツナタラ
輝いている
照り映えていた。
- 2083 beure tukkap
ベウレ トウクカプ
若い 髭
若々しい髭で
- 2084 ebakurkashi-
エバクルカシ・
頭上
口のまわりが
- 2085 kurun kane
クルン カネ
陰になる 同時
黒々としている。
- 2086 kamui ranke tam
カムイ ランケ タム
神 下ろす 刀
神授の太刀を
- 2087 kutbokechuu kane
クトボケチウ カネ
帯に差す 音調
帯びに差している。
- 2088 uturke ta am be
ウトウルケ タ アム ベ
下座 場所 ある もの
下座にいる者の
- 2089 tu urar ikkeu
トゥ ウララ イッケウ
二つの 霧 元
二つのもやの根元、
- 2090 re urar ikkeu
レ ウララ イッケウ
三つの 霧 元
三つのもやの根元を
- 2091 a-kocharikar
ア・コチャリカラ
我・散らす
我は払った。
- 2092 naani tu sui
ナアニ トウ スイ
大方 二つの 回
幾度も、
- 2093 naani re sui
ナアニ レ スイ
大方 三つの 回
幾度も払って
- 2094 ainu kat ne
アイヌ カト ネ
人間 姿 繫
ようやく人の姿を
- 2095 a-kar eaikap
ア・カラ エアイカプ
我・する できない
現わせた。
- 2096 iyainumare
イヤイヌマレ
驚いた
何と美しい。
- 2097 a-ye rokokai
ア・イエ ロコカイ
言われる 判明
人呼んで
- 2098 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
(地名) ある 女
エトロバ姫、
- 2099 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我がいいなずけである
- 2100 pom menoko
ポム メノコ
小さい 女
娘は、
- 2101 chitomtereshu p
チトムテレシユ プ
美しく育てられる もの
大切に育てられ、
- 2102 chiarareshu p
チアラレシユ プ
大切に育てられる もの
最高の養いを受けた者
- 2103 konep ne kusu
コネプ ネ クス
何 繫 根拠
であるから、
- 2104 kamui chikirbe
カムイ チキリベ
神 刺繍衣
輝かしい
- 2105 kani chikirbe
カニ チキリベ
黄金 刺繍衣
金の刺繍衣を
- 2106 arutomechuu
アルトメチウ
身にまとう
身にまとひ、
- 2107 rektu kashike
レクト カシケ
首 上
首のまわりに、
- 2108 kisar kashike
キサラ カシケ
耳 上
耳に
- 2109 kamui ninkari
カムイ ニンカリ
神 耳飾り
高貴な耳輪、
- 2110 kamui tamasai
カムイ タマサイ
神 胸飾り
玉飾りを
- 2111 koikatara
コイカタラ
つける
下げていた。
- 2112 kamui otobi
カムイ オトビ
神 髪
神々しい髪は
- 2113 sarambe kunne
サラムベ クンネ
絹 ように
絹のように
- 2114 ekimuikashi-
エキムイカシ・
頭の上
頭を
- 2115 chiesurure
チエスルレ
覆う
覆っていた。
- 2116 otop etoko
オトプ エトコ
髪 前方・先
髪の毛の先には
- 2117 chioimeru-
チオイメル・
光り
光りの玉が
- 2118 kotpa kane
コトパ カネ
結び付ける 音調
付いていた。
- 2119 reuboki ta
レウボキ タ
下 場所
その下に
- 2120 kamui sannanu
カムイ サンナヌ
神 顔
神々しいかんばせが
- 2121 sukushtoi*²² kunne
スクシトイ クンネ
陽光 ように
日の光のように
- 2122 komaknatara
コマツナタラ
輝いている
輝いていた。
- 2123 ikittukari
イキトウカリ
宝の手前
宝列の手前に
- 2124 kani amset
カニ アムセト
黄金 寝台
金の寝台、
- 2125 chituyeamset
チトウイエアムセト
切られた寝台
板づくりの寝台が
- 2126 chishiturire
チシトゥリレ
伸びる
伸びていた。
- 2127 amset ka ta
アムセト カ タ
寝台 上 場所
寝台の上には
- 2128 okutchi urar
オクトチ ウララ
たちこめる 霧
濃いもや、
- 2129 pon urar tapkop
ボン ウララ タップコフ
小さい 霧 小山
もやの小山が
- 2130 chishireanu
チシレアヌ
おかれる
立っていた。
- 2131 tu urar ikkeu
トゥ ウララ イッケウ
二つの 霧 元
もやの二つのもと、
- 2132 re urar ikkeu
レ ウララ イッケウ
三つの 霧 元
三つのもとを

*²² shikushtoi と書かれることもある。

- 2133 a-kocharikar
ア・コチャリカラ
我・私のける
我は払った。
- 2134 kipnekoroka
キツネコロカ
しかし
しかし
- 2135 naani tu sui
ナアニ トウ スイ
大方 二つの 回
繰り返し
- 2136 naani re sui
ナアニ レ スイ
大方 三つの 回
試みても
- 2137 ainu kat ne
アイヌ カト ネ
人間 姿 繫
人間の姿を頼むことが
- 2138 a-kar eaikap
ア・カラ エアイカプ
我・する できない
できなかった。
- 2139 hushkotoiwano
フシコトイワノ
ずっと
しばらく
- 2140 a-kar aineno
ア・カラ アイネノ
我・する 接続
やり続けているうちに、
- 2141 a-ye manu
ア・イエ マヌ
言われる という
人呼んで
- 2142 Etorbaunkuru
エトロバウンクル
エトロバ彦
エトロバ彦、
- 2143 pon a-kor yubi
ポン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
我が小兄（従弟）であった。
- 2144 naa boro kuru
ナア ボロ クル
まだ 大きい 人
もっと 齢を重ねて
- 2145 hetapne
ヘタプネ
このように
いるからこそ
- 2146 asuruash hawe
アスルアシ ハウエ
有名になる 声
名が世に
- 2147 okai kuni
オカイ クニ
ある 必然
流れていると
- 2148 a-ramu rok wa
ア・ラム ロク ワ
我・思う 完了 接続
思っていたが、
- 2149 tamba ne wa
タムバ ネ ワ
今年 繫 接続
今年になって
- 2150 ponno i-turkasuno
ボンノ イ・トゥルカスノ
少し 我・以上
少し我より
- 2151 chishikupka
チシクツカ
成長する
年長にすぎなく
- 2152 noine a-ramu
ノイネ ア・ラム
らしく 我・思う
思える
- 2153 hekachi okkaipo
ヘカチ オッカイポ
子供 男の子
男の児が
- 2154 imi-an ruwe
イミ・アン ルウエ
着る・我 跡
私の装い、
- 2155 imut-an ruwe
イムト・アン ルウエ
腰に差す・我 跡
また私の刀を佩くさまを
- 2156 horkasuye
ホロカスイエ
真似る
すっかりまねたように
- 2157 kani kosonte
カニ コゾンテ
黄金 小袖
金の小袖を
- 2158 nina imi ne
ニナ イミ ネ
たき木を集める 着物 繫
普段着のように
- 2159 arutomechiu
アルトメチウ
身にまとう
身にまとい、
- 2160 uwokkanikut
ウウオッカニクト
金のベルト
留め金のついた帯を
- 2161 tumamkosaiba
トゥマムコサイバ
胴に巻く
胴に巻いて、
- 2162 kamui ranke tam
カムイ ランケ タム
神 下ろす 刀
神授の太刀を
- 2163 kutbokechiu
クトボケチウ
帯に差す
帯に差し、
- 2164 kani pon kasa
カニ ポン カサ
黄金 小さい 笠
金の兜の
- 2165 kasa rantubep
カサ ラントゥベツ
笠 垂れた紐
下げ緒を
- 2166 yaikoyubu
ヤイコユブ
縮める
縮めていた。
- 2167 kasa kepsam ta
カサ ケツサム タ
笠 端 場所
兜の端に
- 2168 kamui sannanu
カムイ サンナヌ
神 顔
神々しい顔が
- 2169 rikomachup ne
リコマチュエ ネ
高く昇った日 繫
南天の日の光のように
- 2170 inantasare
イナントサレ
顔を交わせる
輝いていた。
- 2171 sonno kamui shirine
ソンノ カムイ シリネ
真に 神 姿で
まことに神のようで
- 2172 okai wa
オカイ ワ
ある 接続
あって、
- 2173 kebushbenuye
ケブシベヌイエ
刀の鞘を彫る
鞘の
- 2174 shirikanuye
シリカヌイエ
鞘彫り
表面の彫刻に
- 2175 kokipshiri-
コキツシリ
額が床を
余念
- 2176 echiu koro
エチウ コロ
突く 同時
なく
- 2177 okai humi ash kunip
オカイ フミ アシ クニツ
ある 気配 立つ 形式名詞
いるようだった。
- 2178 oyamokteba
オヤモクテバ
不思議に思う
何か不審に思うと
- 2179 shineikinne
シネキンネ
一斉に
同時に
- 2180 mintar ka un
ミンタラ カ ウン
土間 上 方向
土間にいる我に
- 2181 i-kohosarba
イ・コホサラバ
我・振り返る
顔を向け、
- 2182 a-urari shikeshitaiki p
ア・ウラリ シケシタイキ ヲ
我・もや 目撃する もの
我を目で捉えた。
- 2183 konep kamuye
コネツ カムイエ
何 神
何とも言えず立派な神、
- 2184 konep bitoho
コネツ ビトホ
何 人
立派な神人を
- 2185 koshikraiba kunip
コシクライバ クニツ
目撃する 形式名詞
目撃したかのように

- 2186 shineikinne
シネキンネ
一斉に
直ちに
- 2187 i-tukaribebo
イ・トゥカリケボ
我・前
我が手前に
- 2188 koshikerana-
コシケラナ・
目を下に
目をふせて、
- 2189 rapte kane
ラッテ カネ
下ろす 音調
目を落とした。
- 2190 amset ka ta
アムセト カ タ
寝台 上 場所
寝台の上から
- 2191 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は我を包む
- 2192 tu urar ikkeu
トゥ ウララ イッケウ
二つの 霧 元
二つのもやの元、
- 2193 re urar ikkeu
レ ウララ イッケウ
三つの 霧 元
三つのもやの元を
- 2194 i-kocharikar
イ・コチャリカラ
我・払う
払いのけようと
- 2195 naani tu sui
ナアニ トウ スイ
大方 二つの 回
何度も何度も
- 2196 naani re sui
ナアニ レ スイ
大方 三つの 回
試みたが、
- 2197 ainu kat ne
アイヌ カト ネ
人間 姿 繫
我が姿を
- 2198 i-kare aikap
イ・カレ アイカッ
我・する 左手
顕わすことができなかつたが、
- 2199 hushkotoiwano
フシコトイワノ
ずっと
しばらく
- 2200 i-kourarchari aine
イ・コウラチャリ アイネ
我・霧を散らす 接続
我がもやを払っているうちに
- 2201 i-koshikraye
イ・コシライエ
我・目で気が付く
我を認めた。
- 2202 kanibor ka ta
カニボロ カ タ
顔色 上 場所
するとみるみる
- 2203 koraikosanu
コライコサヌ
青ざめる
顔が青ざめた。
- 2204 huihuinawano
フイフイナワノ
隅々まで
我を隅々まで
- 2205 i-uwambare
イ・ウワムバレ
我・調べる
目で探った。
- 2206 orhemkusu
オロヘムクス
いっただいどうして
なぜ
- 2207 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
そんなに
- 2208 ikichi nankora
イキチ ナンコラ
する だろうか
探るのだろう、
- 2209 i-ekot ibor
イ・エコト イボロ
我・死ぬ 顔色
我を殺害しようという様相が
- 2210 eibottumu-
エイボトトウム・
顔色
顔に
- 2211 koniunatara
コノウナタラ
こわばらせている
強く出ている。
- 2212 i-nukar shir kan
イ・ヌカラ シリ カン
我・見る 様子は
我を見るのが
- 2213 niwen niwen
ニウエン ニウエン
猛々しい 猛々しい
きつく激しかった。
- 2214 i-nukar boka
イ・ヌカラ ボカ
我・見る だけ
我を見るのも
- 2215 etoranne p ne kusu
エトランネ ヲ ネ クス
嫌がる もの 繫 根拠
厭わしそうで
- 2216 i-ekobi
イ・エコビ
我・別れる
我のいない方に
- 2217 shisok shisok kane
シソク シソク カネ
顎をしゃくる 顎をしゃくる 同時
顎をしゃくり
- 2218 shikirba
シキリバ
振り向く
身をそむけて
- 2219 i-hoseno okai wa
イ・エホセノ オカイ ワ
我・無視する ある 接続
我を無視して
- 2220 monraike koro okai
モンライケ コロ オカイ
働く 同時 ある
仕事を続けていた。
- 2221 ineapkusu
イネアックス
何と
なんとも
- 2222 a-eramuka-
ア・エラムカ・
我・思い
わが胸も
- 2223 uhaibaba wa
ウハイババ ワ
乱れる 接続
乱れた
- 2224 humash nankora
フマシ ナンコラ
気配がする だろうか
ような気分になった。
- 2225 a-semiborkan-
ア・セミボロカン・
我・顔色
我が常の顔色も
- 2226 toine kane
トイネ カネ
土のようになる 同時
悪くなつたが、
- 2227 oribak tura
オリバク トウラ
畏まる とともに
我は恭しく
- 2228 hokaetok ne
ホカエトク ネ
横座 繫
炉の上に
- 2229 an-ehorari
アネホラリ
我・居る
座を占めた。
- 2230 iki-an chiki
イキ・アン チキ
する・我 条件
すると、
- 2231 Nekambikorokuru
ネカムビコロクル
(人名)
育ての兄の
- 2232 ireshuyubi
イレシユユビ
育ての兄
ネカンビコロ彦は
- 2233 katune kane
カトウネ カネ
姿をとる 同時
あたりまえに
- 2234 yaikataikap be
ヤイカタイカッベ
気の毒に思う もの
気の毒に思う
- 2235 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
繫 接続 繫 条件
どころか、
- 2236 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである 逆接
心を痛めて、
- 2237 i-tukaribo
イ・トゥカリボ
我・前
我的手前に
- 2238 kohebokiki
コヘボキキ
頭を下げる
頭をくり返し下げていた。

- 2239 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は
- 2240 oribak rui be
オリバク ルイ ベ
畏まる 激しいもの
強く緊張している
- 2241 konep ne kusu
コネパ ネ クス
何 繫 根拠
ものだから、
- 2242 otop chinki
オトパ チンキ
髪 髻
髪のを
- 2243 eshitchiure wa
エシトチウレ ワ
頭を下げる 接続
席の上にまで垂らし
- 2244 hebuni ruwe ka isam
ヘブニ ルウエ カ イサム
顔を上げる 跡 も ない
顔を上げることもなかった。
- 2245 ireshu yubi
イレシュ ユビ
育ての 兄
育ての兄は
- 2246 yupke rambo
ユパケ ラムボ
強い 心
強く
- 2247 yaikorbare
ヤイコロバレ
持つ
心を保ち、
- 2248 a-sankokkasaba
ア・サンコッカサバ
我・膝頭
我が膝頭に
- 2249 kotekturi
コテクトウリ
手を伸ばす
手を伸ばし、
- 2250 i-koruiruye kane
イ・コルイルイェ カネ
我・撫でる 同時
さすりながら
- 2251 itak ne manu p
イタク ネ マヌ ヲ
言葉 繫 というもの
言葉というものを
- 2252 ehautumkonna-
エハウトゥムコンナ・
声
声に
- 2253 tununinara
トゥヌニナラ
ほのかに響く
響かせた。
- 2254 Otasam un
オタサム ウン
オタサム ある
「オタサムに住む
- 2255 a-aktonoke
ア・アットノケ
我・弟君
我が弟よ、
- 2256 moshiri koro kamui
モシリ コロ カムイ
国土 持つ 神
国を統べる神よ。
- 2257 hoshkino
ホシキノ
先に
まずは
- 2258 chiyaikohunara
チヤイコフナラ
自ら探す
一人で尋ね歩いて
- 2259 i-y-ekarkar shiri
イ・イエカラカラ シリ
我・する 様子
来たことに
- 2260 iyairaikere
イヤイライケレ
ありがとう
感謝する。
- 2261 ashkai uturu
アシカイ ウトウル
できる 間
できることなら、
- 2262 tapne hoshikino
タプネ ホシキノ
これである 初めに
こちらが先に出向いて、
- 2263 a-koro ekashi hene
ア・コロ エカシ ヘネ
我・もつ 老人 も
我が祖父にも、
- 2264 a-aktonoke hemem
ア・アットノケ ヘメム
我・弟君 も
我が弟（ヒーロー）にも、
- 2265 a-tureshipo hene
ア・トゥレシポ ヘネ
我・妹 も
我が妹（ヒーローの妹）にも
- 2266 a-nukar rusui kusu
ア・ヌカール スイクス
我・見る したい 根拠
会いに
- 2267 baye-an kuni
バイエ・アン クニ
行く・我 必然
オタサムへ出かけようと
- 2268 a-ramu koroka
ア・ラム コロカ
我・思う 逆接
思ったが、
- 2269 nep tap turbak
ネパ タプ トウルバク
何 これ 届く
比較を絶して
- 2270 a-emontabi wa
ア・エモンタビ ワ
我・忙しい 接続
忙しく、
- 2271 a-kashkasu aine
ア・カシカス アイネ
我・無為に見過ごす 接続
遅れに遅れているうちに、
- 2272 a-aktonoke
ア・アットノケ
我・弟君
我が弟の方が
- 2273 hoshikino
ホシキノ
初めに
先に
- 2274 chikotoichari
チコトイチヤリ
土を扱う
土を蹴って
- 2275 i-y-ekarkar shiri okai
イ・イエカラカラ シリ オカイ
我・する 様子 ある
やって来てくれた。
- 2276 ainu ka tashii
アイヌ カ タシイ
人間 も (強調)
人間だからこそ
- 2277 ainu kat ne okai ko
アイヌ カト ネ オカイ コ
人間 姿 繫 ある 条件
人間の姿をしているからこそ
- 2278 a-musa ka
ア・ムサ カ
我・撫ぜさする も
直接撫ぜさすり、
- 2279 eashkai be ne wa
エアシカイ ベ ネ ワ
できる もの 繫 接続
会見できるのであって、
- 2280 ene okai be
エネ オカイ ベ
このように ある もの
こういう人は
- 2281 ainu ne kusu
アイヌ ネ クス
人間 繫 根拠
人間だから
- 2282 toikaoterke wa
トイカオテレケ ワ
地上を踏む 接続
この地に生れ、
- 2283 bayekai i okai
バイエカイ イ オカイ
行き来する 形式名詞 ある
旅をするのだけど
- 2284 tap eashiri
タプ エアシリ
これ 強調
まさしく
- 2285 chinomikamui
チノミカムイ
祭られる神
我らが拝む神が
- 2286 toikaoterke yakne
トイカオテレケ ヤクネ
地上を踏む 条件
この地上に降り立ったならば、
- 2287 a-koenemba p ne
ア・コエネムバ フ ネ
似つかわしい もの 繫
人間とは思われぬ姿で
- 2288 ruwe ne ari
ルウエ ネ アリ
跡 繫 引用
あろう。」と
- 2289 hawash chiki
ハワシ チキ
言われる 条件
言うのを聞くと
- 2290 ibashte rambo
イバシテ ラムボ
気付く 心
ハット気づく
- 2291 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
ところがあった。

- 2292 temkoro noshki
テムコロ ノシキ
腕で抱える 真中
我は育ての兄の両腕の間に
- 2293 a-osabaturiri
ア・オサバトゥリリ
我・頭を差し出す
頭を差し
- 2294 iki-an chiki
イキ・アン チキ
する・我 条件
伸べると、
- 2295 eramubobashkosanu
エラムボバシコサヌ
すぐに心相らぐ
すぐに心相らぎ、
- 2296 kasa reubok un
カサ レウボク ウン
笠 下 方向
兜の内にある
- 2297 a-kimuikashi
ア・キムイカシ
我・頭上
我の頭に
- 2298 kotekturi
コテクトゥリ
手を伸ばす
手を入れて
- 2299 i-ruiruye
イ・ルイルイェ
我・さする
我をさすった。
- 2300 a-santek kashi
ア・サンテックカシ
我・手 上
我の手の上を
- 2301 i-koruiruye yakka
イ・コルイルイェ ヤッカ
我・撫でる 譲歩
すってくれたが
- 2302 chituyeamset ka ta
チトゥイェアムセト カ タ
切られた寝台 上 場所
板づくりの寝台の上で
- 2303 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は
- 2304 hosaribentok
ホサリベントク
振り向く
振り向くことも
- 2305 hekirubentok
ヘキルベントク
頭を回す
頭をまわすことも
- 2306 eyaiunkeshke wa okai
エヤイウンケシケ ワ オカイ
みずからおこなわない 接続 ある
うとましそうにしていた。
- 2307 ireshu yubi
イレシュ ユビ
育ての 兄
育ての兄は
- 2308 ene itak i
エネ イタキ
このように 言う 形式名詞
こう言った。
- 2309 hokure a-tureshipo
ホクレ ア・トゥレシポ
早く 我・妹
「さあ、妹よ、
- 2310 pon e-koro yubi
ボン エ・コロ ユビ
小さい 汝・持つ 兄
おまえのちい兄さんに
- 2311 barooshuke kunak
バロオシユケ クナク
食べさせる 引用
何か作って
- 2312 ramu yan ari
ラム ヤン アリ
思う 命令 引用
食べさせなさい。」
- 2313 hawash chiki
ハワシ チキ
言われる 条件
それを聞くと
- 2314 ineapkus
イネアプクス
何と
これほど素直に
- 2315 uitaknu ya
ウイタクヌ ヤ
言うことを聞く 疑問
言うことを聞くものか、
- 2316 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
妹(いいなずけ)は
- 2317 itak etoko
イタク エトコ
言葉 前方・先
言われるとすぐ
- 2318 ehobuni
エホブニ
起き上がる
立ち上がり、
- 2319 ututta oman
ウトウトタ オマン
間に 行く
下座に行き、
- 2320 monak pirika
モナク ビリカ
そうでなくても よい
そんなことをしなくても
- 2321 ruwe okai be
ルウェ オカイ ベ
跡 ある もの
十分立派な娘なのに、
- 2322 sui otu bechirbe
スイ オトゥ ベチリベ
再び 二つの 水滴
しずくを
- 2323 ore betchirbe
オレ ベトチリベ
三つの 水滴
パラパラト掛け
- 2324 yaikarbare
ヤイカラバレ
清める
手を清め、
- 2325 pirika pon shu
ビリカ ボン シュ
よい 小さい 鍋
よい小鍋の
- 2326 komsutnawano
コムストナワノ
鍋耳の方から
つるを掛ける耳の方から
- 2327 obekarbare
オベカラバレ
水をかけて洗う
鍋底へと清め、
- 2328 oro wakka o wa
オロ ワッカ オ ワ
所 水 入れる 接続
中に水を入れ、
- 2329 hoka tuika
ホカ トウイカ
炬 上
炬の火へユラユラと
- 2330 eterkere
エテレケレ
跳ねとばす
掛けた。
- 2331 umso birikep
ウムソ ビリケブ
蓄えられた 脱穀した穀物
貯えられている脱穀した米を
- 2332 shuwonnawa
シュウォンナワ
鍋の中
鍋の中へ
- 2333 echobobo
エチヨボボ
注ぎ入れる
注ぎ入れた。
- 2334 pirika pom meshi
ビリカ ポム メシ
よい 小さい 飯
良きご飯を少々
- 2335 yaikokarkar wa
ヤイコカラカラ ワ
一人でこしらえる 接続
一人で作り、
- 2336 pon shu
ボン シュ
小さい 鍋
その小鍋を
- 2337 rikoraiba awa
リコライバ アワ
高く掲げる 展開
高く上げると
- 2338 rabokita
ラボキタ
間に
おりしも
- 2339 chise sam ka ta
チセ サム カ タ
家 そば 上 場所
家のそばに
- 2340 kanakankunip
カナカンクニフ
誰か
誰かが
- 2341 hoyubu hum konna
ホユブ フム コンナ
走る 音 は
走る音が
- 2342 taknatara
タクナタラ
小刻みに続く
タツタツと聞こえた。
- 2343 mosem tuyor
モセム トウヨロ
玄関納屋 中
入り口の納屋に
- 2344 oshikuru
オシキル
回る
入ってきた。

- 2345 senne heyoki
センネ ヘヨキ
否定 畏れ憚る
憚ることなく
- 2346 ratki aba
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
垂れさがった戸の蓆を
- 2347 kaishitapka
カイシタツカ
肩の上
肩で
- 2348 eterkere
エテレケレ
跳ねとばす
跳ね飛ばし
- 2349 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上 場所
土間に
- 2350 rutkosanu p
ルトコサヌ フ
サッと入る もの
押し入った。
- 2351 a-nukar kusu
ア・ヌカラ クス
我・見る 根拠
見ると
- 2352 somokaun sui
ソモカウン スイ
よもや 再び
まさかまた
- 2353 inkar-an kuni
インカラ・アン クニ
見る・我 必然
見ることもあるまいと
- 2354 a-ramu rok i
ア・ラム ロキ
我・思う 完了 形式名詞
思っていた
- 2355 Pekennupummat
ペケンヌプムマト
(人名)
ペケンヌプ姫、
- 2356 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
醜い女、
- 2357 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女が
- 2358 tuima bash be
トゥイマ バシ ベ
遠い 走る もの
遠くから駆けて
- 2359 konep ne kusu
コネッ ネ クス
何 繋 根拠
来たものだから、
- 2360 shinki ibor
シンキ イボロ
疲れる 顔色
疲れ切った表情で
- 2361 eibottumu
エイボトトゥム
顔付きをする
顔たちが
- 2362 shinnai kane
シンナイ カネ
違った 音調
変わっていた。
- 2363 konubopbeta-
コヌボペタ・
汗で
汗で
- 2364 rikan kane
リカン カネ
湿っている 同時
濡れていた。
- 2365 esamtusaush be
エサムトゥサウシ ベ
両脇に刀飾りが付くもの
両脇の髪が
- 2366 kotusarachi kane
コトウサラチ カネ
房のように垂れる 同時
房になって垂れていた。
- 2367 an-an ruwe
アナン ルウエ
いる・我 跡
我がいるのを
- 2368 nukar chiki
ヌカラ チキ
見る 条件
見て、
- 2369 sancha ot ta
サンチャ オト タ
口元 所 場所
口に
- 2370 mina kane
ミナ カネ
笑う 同時
笑いを浮かべた。
- 2371 shiksei asam
シクセイ アサム
眼窩 底
目のくぼみが
- 2372 beot kane
ベオト カネ
水が多い 音調
汗をたたえていた。
- 2373 a-eramuka-
ア・エラムカ・
我・思い
我は
- 2374 kittararke
キッタララケ
怖れる
気分が悪くなった。
- 2375 nani i-tuisama ta
ナニ イ・トゥイサマ タ
すぐに 我・側 場所
女はまっすぐに我の傍らに
- 2376 arki hine
アラキ ヒネ
来る 接続
来て
- 2377 a-kirkeukashi
ア・キリケウカシ
我・膝の上
我の膝の上に
- 2378 eoma kane
エオマ カネ
頭を入れる 同時
頭を載せて、
- 2379 otu shikinram
オトゥ シキンラム
二つの 淫の心
多大の
- 2380 ore shikinram
オレ シキンラム
三つの 淫の心
淫の情を
- 2381 i-koanukar
イ・コアヌカラ
我・置く
我に投げかけた。
- 2382 chikibo ne wa
チキボ ネ ワ
行為 繋 接続
もう少しのところまで
- 2383 tu hum
トゥ フム
二つの 切れ端
斬り刻んで
- 2384 re hum ne
レ フム ネ
三つの 切れ端 繋
バラバラに
- 2385 a-kar anke
ア・カラ アンケ
我・する しようとする
してやるどころだった。
- 2386 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 逆接
そう思ったが、
- 2387 an-eramne
アネラムネ
我・よく考える
心を
- 2388 an-eyaikeutum-
アネガイケウトウム・
我・己の気持ち
静め
- 2389 oshitchiure
オシチチュレ
落ちつける
なだめ、落ち着かせて、
- 2390 seenne ponno
セエンネ ポンノ
否定 少し
少しも
- 2391 an-ekottanu an-an
アネコトタヌ アナン
我・関わる いる・我
構わずにいた。
- 2392 Nekambikorokuru
ネカムビコロクル
(人名)
育ての兄の
- 2393 ireshu yubi hene
イレシュ ユビ ヘネ
育ての 兄 も
ネカンビコロ彦も
- 2394 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹 (いいなずけ) も
- 2395 tanebo konna
タネボ コンナ
今 は
今こそ
- 2396 nukar be ne kusu
ヌカラ ベ ネ クス
見る もの 繋 根拠
そんな醜態を見たものだから、
- 2397 katune kane
カトゥネ カネ
姿をとる 同時
型どおりに

- 2398 eoshserke p
エオシセレケ フ
驚く もの
驚くの
- 2399 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
繋 接続 繋 条件
なら
- 2400 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである 逆接
あたりまえ、それどころか
- 2401 shino iyokunurba p
シノ イヨクスルバ フ
まことに 驚く もの
あっけにとられたもの
- 2402 konep ne kusu
コネプ ネ クス
何 繋 根拠
だから、
- 2403 inkan ruwe konna
インカン ルウェ コンナ
見る 跡 は
目を
- 2404 chainatara
チャイナタラ
目を見開いている
剥いていた。
- 2405 arkehe ta
アッケヘ タ
半分 場所
しかし、心の半分では
- 2406 shino i-koyaikataikap
シノ イ・コヤイカタイカフ
まことに 我・気の毒に思う
我を気の毒に
- 2407 noine okai
ノイネ オカイ
らしく ある
思っているようだった。
- 2408 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
醜く
- 2409 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
性悪な女が
- 2410 neita bakno
ネタ バクノ
繋 まで
いつまでも
- 2411 katu chiwente
カトゥ チウエンテ
様子 痛めつけられる
あさましいふるまいを
- 2412 i-y-ekarkar shiri
イ・イエカラカラ シリ
我・する 様子
我になす
- 2413 okai chiki
オカイ チキ
ある 条件
のなら、
- 2414 nekona shino
ネコナ シノ
どのように まことに
どう
- 2415 a-kar chiki
ア・カラ チキ
我・する 条件
どうすれば
- 2416 pirika kunip
ピリカ クニフ
よい 形式名詞
よいのか。
- 2417 katkoro shiri
カトコロ シリ
振舞う 様子
そのふるまいを
- 2418 a-nukar chiki
ア・ヌカラ チキ
我・見る 条件
見て、
- 2419 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように 接続 だけ
どうにも
- 2420 iki-an i ka
イキ・アニ カ
する・我 形式名詞 も
しようが
- 2421 isam kane
イサム カネ
ない 音調
なかった。
- 2422 hetak ta usa
ヘタク タ ウサ
さあ これ 譲歩
一刻も早く
- 2423 hoshibi-an yakne
ホシビ・アン ヤクネ
戻る・我 条件
ペケンヌブ村に戻って、
- 2424 Pekennup um be
ペケンヌプ ウム ベ
(地名) ある もの
ペケンヌップの者に怒りを
- 2425 a-koshiyante
ア・コシヤンテ
腹を立てさせられる
ぶちまけ、
- 2426 yayebasuiba-an kuni
ヤイエバスイバ・アン クニ
己について口を振るう・我 必然
我が口を振るわせてやろうと
- 2427 keutum ot ta
ケウトウム オト タ
心 所 場所
心の中で
- 2428 a-ehumse kane an-an
ア・エフムセ カネ アナン
我・うなずく 同時 いる・我
意気込んでうなっていた。
- 2433 sanasapte
サナサプテ
取り出す
出して
- 2434 uworeroshki
ウウオレロシキ
重なってそびえる
並びたて、
- 2435 pirika meshi
ピリカ メシ
よい 飯
うまいめしの
- 2436 raisonabi
ライソナビ
高盛の腕
高盛を
- 2437 shikankitai
シカンキタイ
己の頭上
頭の上に
- 2438 eimekani
エイメガニ
配膳する
掲げて
- 2439 oribak tura
オリバクトゥラ
畏まる ともに
憤み深く
- 2440 i-koibuni
イ・コイブニ
我・食事を出す
我に差し出した。
- 2441 keshto tonoto batek
ケシト トノト バテク
毎日 酒 のみ
毎日酒ばかり
- 2442 a-i-kure p ne kusu
ア・イ・クレ フ ネ クス
我・飲まされる もの 繋 根拠
飲まされていたので、
- 2443 ibebomashkin
イベボマシキン
腹がすく
空腹を感じて
- 2444 a-ekot noine
ア・エコト ノイネ
我・死ぬ らしく
死ぬかと
- 2445 yainu-am be
ヤイヌ・アム ベ
考える・我 もの
思っていた
- 2446 ne kusu
ネ クス
繋 根拠
ので、
- 2447 yairenka ne
ヤイレンカ ネ
得意の喜び 繋
喝采をあげる思いで
- 2448 boro sonabi
ボロ ソナビ
大きい 高盛の腕
大きな飯盛りを
- 2449 a-uina hine
ア・ウイナ ヒネ
我・取る 接続
受け取り、

第6章 水銀の槍

- 2450 a-rikunruke
ア・リクンルケ
我・高くさしあげる
上げ下げ
- 2451 a-raunruke
ア・ラウンルケ
我・低くかざす
して
- 2452 a-koonkami
ア・コオンカミ
我・拝礼する
礼拝、感謝した。
- 2453 taporwa
タポロワ
それから
それから
- 2454 shikotcha ta
シコトチャケ タ
己の前 場所
自分の前に
- 2455 a-ante wa
ア・アンテ ワ
我・あらしむ 接続
腕を置いて、
- 2456 tanebo basui
タネボ バスイ
今 箸
今しも箸を
- 2457 a-ebuni kusu
ア・エブニ クス
我・頭を上げる 根拠
取り上げようと
- 2458 iki-an rabokita
イキ・アン ラボキタ
する・我 間に
したとき
- 2459 arekushkonna
アレクシコンナ
突然
突然、
- 2460 ikit tukari
イキト トウカリ
列 手前
宝列の手前の
- 2461 amset kashi
アムセト カシ
寝台 上
寝台の上に
- 2462 batkosanu
バトコサヌ
跳ねとばす
我が小兄^{*23}が素早く立ち上がり、
- 2463 itak ne manu p
イタク ネ マヌ プ
言葉 繫 というもの
言葉の中でも
- 2464 tan arka itak
タン アッカ イタク
この 痛い 言葉
激しく痛い言葉を、
- 2465 beure itak
ベウレ イタク
若い 言葉
若造の過激な言葉を、
- 2466 i-otke shinne
イ・オトケ シンネ
我・突く のように
我を衝き、
- 2467 ituye shinne
イトウイエ シンネ
人を斬る のように
我を斬るかのよう
- 2468 ene okai i
エネ オカイ イ
このようにある 形式名詞
我に浴びせた。
- 2469 achikara ta
アチカラ タ
いやなことだ これ
「失礼千万、
- 2470 ayakanna ta
アヤカンナ タ
ろくでもないことだ これ
無礼極まりない。
- 2471 Otasam um be
オタサム ウム ベ
オタサム あるもの
オタサム彦とは
- 2472 koneikehuike
コネケフイクエ
どこまで
どこかで
- 2473 a-yairakbare p
ア・ヤイラクバレ プ
我・血筋を引くもの
我らは親族の関係になった
- 2474 ne wa kusu
ネ ワ クス
繫 接続 根拠
が、
- 2475 konep kar kusu
コネプ カラ クス
何 する 根拠
何をしようと
- 2476 a-un chisehe
ア・ウン チセヘ
我・いる 家
我が家に
- 2477 koahun
コアフン
入る
入って
- 2478 shiri okai wa
シリ オカイ ワ
様子 ある 接続
来て、
- 2479 katkoro ruwe
カトコロ ルウエ
振舞う 跡
そんなふるまいを
- 2480 okaibe ne ya
オカイベ ネ ヤ
あるもの 繫 疑問
するの
- 2481 Otasam um be
オタサム ウム ベ
オタサム あるもの
オタサム彦の来た
- 2482 ru turashi
ルトウラシ
道 沿って
道をたどってやってきた
- 2483 Pekennup um mat
ペケンヌプ ウム マト
(地名) ある 女
ペケンヌプ姫は
- 2484 batek shiretok
バテック シレトック
のみ 美貌
第一の美人、
- 2485 batek teketok
バテック テケトック
のみ 手先が器用だ
比べる者のない働き者であるが、
- 2486 koochiubashte
コオチウバシテ
淫心を走らせる
色を想い、
- 2487 kokininbashte
コキニンバシテ
淫乱を走らす
淫らな情を抱き、
- 2488 hon batek
ホン バテック
腹 のみ
孕みもせず、
- 2489 po batek
ポ バテック
子 のみ
子ももうけもせず
- 2490 usakka koro
ウサッカ コロ
二人して持たない 同時
二人戯れて
- 2491 uweterke koro
ウウェテレケ コロ
跳ねる合う 同時
腰を振りながら
- 2492 arki ari
アッキ アリ
来る 引用
やって来ると
- 2493 inu-an koroka
イヌ・アン コロカ
聞く・我 逆接
耳にしていたが、
- 2494 ouse itak hetapne
オウセ イタク ヘタプネ
ただ(だけ) 言葉 このように
ただの話、
- 2495 bahau hetapne
バハウ ヘタプネ
噂 このように
つまらない噂も
- 2496 okai kuni
オカイ クニ
ある 必然
あるものだと
- 2497 a-ramu awa
ア・ラム アワ
我・思う 展開
思っていたが、
- 2498 soonnoboka
ソオンノボカ
まことに
本当に
- 2499 konep eshikibip be
コネプ エシキビプ ベ
何 目を疑うもの
なんということ。目を疑う。
- 2500 tapne ainu ne wa
タプネ アイヌ ネ ワ
これである 人間 繫 接続
こんなのが人か。

*23 エトロバ彦。

- 2501 inkar kamui
インカ ヲカムイ
見る 神
ものを見る神の
- 2502 shiksama ta
シッサマ タ
目の傍ら 場所
目を盗んで、
- 2503 Otasam um be
オタサム ウム ベ
オタサム あるもの
オタサム彦との
- 2504 ochiutushtekka
オチウトウシテッカ
淫にふける
淫らな情に憑りつかれ、
- 2505 kinintushtekka
キニントウシテッカ
淫にふける
淫ら事にふけている。
- 2506 kamui turanno
カムイ トウランノ
神 ともに
神とともに
- 2507 i-koyayikire
イ・コヤイキレ
我・に対してする
我をも欺いている。
- 2508 chikosomokur-
チコンモクル・
否定
無礼、
- 2509 yaikatanu
ヤイカタン
畏れはばかる
非礼
- 2510 i-y-ekarkar ruwe
イ・イエカッカ ルウエ
我・する 跡
とは、
- 2511 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
これが
- 2512 tambe ne ya
タムベ ネ ヤ
これ 繫 疑問
そうか。
- 2513 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹*24 は、
- 2514 shirika sak be
シリカ サク ベ
表面 欠くもの
不細工で
- 2515 nanka sak be
ナンカ サク ベ
顔面 欠くもの
不器量で、
- 2516 sachibokash be
サチボカシ ベ
乾いて醜い もの
醜女で
- 2517 ne manu kusu
ネ マス クス
繫 という 根拠
あるそうだから、
- 2518 yaibokashte
ヤイボカシテ
自らを貶める
自らを
- 2519 shirine ko
シリネ コ
姿で 条件
低めているのに、
- 2520 nep kusu
ネプ クス
何 根拠
なぜ
- 2521 antemachi
アンテマチ
妻
自分の
- 2522 sokar machi
ソカラ マチ
ごぞを作る 妻
妻*25 が
- 2523 shuye p
シュイエ プ
煮る もの
調理したものを
- 2524 hoshkino
ホシキノ
先に
最初に
- 2525 somo e no
ソモ エ ノ
否定 食べる 接続
食べないで、
- 2526 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹が
- 2527 shuye aep
シュイエ アエプ
煮る 食物
作ったものを
- 2528 e kusu ene iki i
エ クス エネ イキ イ
食べる 根拠 このように する 形式名詞
食べようと
- 2529 tambe ne ya
タムベ ネ ヤ
これ 繫 疑問
するの。
- 2530 ikanebeka
イカネベカ
決して
決して
- 2531 shine not hene
シネ ノト ヘネ
一つの 一口分 も
一口でも
- 2532 a-tureshipo shuye p
ア・トゥレシポ シュイエ プ
我・妹 煮る もの
我が妹が調理したものを
- 2533 e kotom an na
エ コトム アン ナ
食べる ようである ある (訴え)
食べて結婚を承諾してはならない。
- 2534 shiknu ihoma p
シクス イホマ プ
生きている 恐れる もの
生きるのを恐れ、
- 2535 tusa ihoma p
トゥサ イホマ プ
快復する 恐れる もの
蘇生を恐れる者が
- 2536 katkoro shiri
カトコロ シリ
振舞う 様子
することとは、
- 2537 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
こういう
- 2538 tambe ne ya
タムベ ネ ヤ
これ 繫 疑問
ことか。」
- 2539 ari hawash yak
アリ ハワシ ヤク
引用 言われる と
と言ったと
- 2540 a-ramu
ア・ラム
我・思う
思うや、
- 2541 matke humi
マトケ フミ
起き上がる 音
小兄*26 はパツと
- 2542 shiukosanu
シウコサヌ
さつと音がする
立ち上がった。
- 2543 hontomota
ホントモタ
途中で
その間、
- 2544 nep a-ekambak ka
ネプ ア・エカムバク カ
何 我・警戒する も
我は何の警戒も
- 2545 somokino
ソモキノ
しないで
せずにいたが、
- 2546 arekushkonna
アレクシコンナ
突然
突然、
- 2547 i-oshimake wa
イ・オシマケ ワ
我・後ろ から
私の後ろから、
- 2548 seenneka humash kuni
セエンネカ フマシ クニ
(否定の強調) 気配がする 必然
まったくこんなことになろうとは
- 2549 a-ramu a i
ア・ラム ア イ
我・思う 完了 形式名詞
思いもなかったのに、

*24 いいなずけのエトロバ姫

*25 淫乱のベケンヌップ姫

*26 エトロバ彦

- 2550 a-pon seturuhu
ア・ボン セトゥルフ
我・小さい 背中
我が小さな背中が
- 2551 raikosanu
ライコサヌ
くらむ
激しく痛み、
- 2552 i-shirikootke-an
イ・シリコオトケ・アン
我・激しく突かれる
激しく突かれた。
- 2553 a-ponbenramu ta
ア・ボンベンラム タ
我・小さな胸 場所
我が小さな胸に
- 2554 rukani bara op
ルカニ バラ オフ
毒の 幅広い 槍
水銀色の幅広いの槍が、
- 2555 kani bara op
カニ バラ オフ
黄金 幅広い 槍
金の幅広いの
- 2556 esoikosanu
エソイコサヌ
先端が外に出る
飛び出た。
- 2557 otu kam nochi
オトゥ カム ノチ
二つの 肉 断片
そのため、おびただしい
- 2558 ore kam nochi
オレ カム ノチ
三つの 肉 断片
肉の断片が
- 2559 koenchararke^{*27}
コエンチャラッケ
角立つ
飛び出した。
- 2560 rukani koishum
ルカニ コイシユム
毒の 泡
水銀の泡が
- 2561 bara op bishkani
バラ オフ ビシカニ
幅広い 槍 周囲
槍の周りに
- 2562 koebututke
コエブトゥツケ
沸騰する
ふつふつとわき、
- 2563 konepkeukata^{*28}
コネツケウカタ
(無意味な句)
コネツケウカタ
- 2564 tanebo konna
タネボ コンナ
今 は
今こそ
- 2565 arka kunip
アッカ クニフ
痛い 形式名詞
痛みというものを
- 2566 a-yaiamkire
ア・ヤイアムキレ
我・知る
知った。
- 2567 a-penreraru^{*29}
ア・ペンレラル
胸
我が胸が
- 2568 tatkararse
タトカララセ
権皮が巻き込む
権の皮が巻き付く
- 2569 ekannayukar
エカンナユカラ
ようである
ように痛み、
- 2570 a-arkakemi
ア・アラクケミ
我・痛い血
痛々しい血が
- 2571 i-oshmake wa
イ・オシマケ ワ
我の・背後 から
我が後ろからも
- 2572 i-kotchake wa
イ・コトチャケ ワ
我・前 から
前からも
- 2573 tunnai sone
トゥンナイ ソネ
滝 らしく
滝のように流れた。
- 2574 Nikambikorokuru
ニカムビコロクル
(人名)
ニカンビコロ彦、
- 2575 ireshu yubi
イレシュ ユビ
育ての 兄
育ての兄、
- 2576 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我がいいなずけは、
- 2577 makan inkar be
マカン インカラ ベ
どのように見る もの
何を見たのか、
- 2578 ireshu yubi
イレシュ ユビ
育ての 兄
育ての兄の
- 2579 matrimimse
マトリミムセ
女の叫び声
危急を告げる女の声で
- 2580 ehautumkonna-
エハウトゥムコンナ・
声
喉を
- 2581 kotushusatki
コトゥシュサトキ
ブルブル震える
震わせた。
- 2582 niwen ne ki kushne p
ニウエン ネ キ クシネ ヲ
猛々しい 繫 する 必然・意志 もの
威嚇の声をあげようにも
- 2583 chish ne oman
チシ ネ オマン
泣く 繫 行く
泣き声となり、
- 2584 itak ne ki kushne p
イタク ネ キ クシネ ヲ
言葉 繫 する 必然・意志 もの
ものを言おうとしても
- 2585 chish ne oman
チシ ネ オマン
泣く 繫 行く
泣き声になってしまう。
- 2586 chirikibuni
チリキブニ
起き上がる
ニカンビコロ彦は立ち上がり、
- 2587 nichitakne op
ニチ タクネ オフ
柄 短い 槍
柄の短い槍を
- 2588 ram kuwa ne
ラム クワ ネ
低い 杖 繫
低い杖として
- 2589 eyaitete
エヤイテテ
己を支える
衝き、
- 2590 horibi kushne ko
ホリビ クシネ コ
踊り跳ねる 必然・意志 条件
飛び跳ねようとする、
- 2591 chinkeu kashi
チンケウ カシ
下肢 上
足が
- 2592 korewanrewan
コレワンレワン
(未詳)
ふらついた。^{*30}
- 2593 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
いいなずけは、
- 2594 niwen rimimse
ニウエン リミムセ
猛々しい 泣き叫ぶ
男のような威嚇の叫びをあげて
- 2595 eraunkuchi-
エラウンクチ・
喉
喉頭の
- 2596 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
鳴り響かせた。
- 2597 inkan ne wa
インカン ネ ワ
見る 繫 接続
我がしたことといえば、

*27 原綴りは koeu chararke。

*28 次に続くべき konepkashita が省略されている。

*29 原綴りは a-punreraru。

*30 この行は仮の訳。

- 2598 a-ki p ne koroka
ア・キ ヲ ネ コロカ
我・するもの 繫 逆接
ただ見ただけにすぎないが、
- 2599 turushno nepkoro
トゥルシノ ネッコロ
気が違つて ように
我は気が狂つたように激しく
- 2600 a-ne yaikeutum-
ア・ネ ヤイケウトム・
我・繫 己の心
心が
- 2601 koshitnatara
コシトナタラ
心が苦しい
乱れ
- 2602 turushinara
トゥルシナラ
混濁する
狂つた。
- 2603 iyunin ka ta
イユニン カ タ
苦痛 上 場所
苦痛をこらえて、
- 2604 bokishir ka ta
ボキシリ カ タ
下肢 上 場所
足に力を入れて
- 2605 a-matke humi
ア・マトケ フミ
我・起る音
我が起き上がる音が
- 2606 shiukosanu
シウコサヌ
さつと音がする
さつと鳴って
- 2607 a-matkosanu
ア・マトコサヌ
我・パツと立ち上がる
我は飛び起きた。
- 2608 amset ka un
アムセト カ ウン
寝台 上 方向
寝台の上へ
- 2609 Etorba um be
エトロバ ウム ベ
(地名) あるもの
エトロバのやつ
- 2610 kasa reubok un
カサ レウボク ウン
笠 下 ある
兜の下にある
- 2611 kimui ush be
キムイ ウシ ベ
頭 あるもの
頭のとっぺんに付いているものを^{*31}
- 2612 a-tekkonoye
ア・テッコノイエ
我・つかむ
手でつかみ、
- 2613 a-shikoetaye
ア・シコエタイエ
我・引き寄せる
頭を引きずりだした。
- 2614 kurkashike
クルカシケ
上
そうしながら
- 2615 tan arka itak
タン アッカ イタク
この 痛い 言葉
きつい言葉を我は言った。
- 2616 konebeta
コネベタ
(感嘆)
「なんとまあ、
- 2617 Etorba um be
エトロバ ウム ベ
(地名) あるもの
エトロバのやつ、
- 2618 a-ponashbeket^{*32}
ア・ポナシベケト
我・小指
わが小指にも、
- 2619 a-ponurebet
ア・ポヌレベト
我・足の小指
わが足の小指にも
- 2620 a-bokashbare p
ア・ボカシバレ ヲ
及ばない もの
及ばない者よ、
- 2621 koneptapteta
コネプタプテタ
何ということ
一体、何を
- 2622 e-ye hawe an a
エ・イエ ハウエ アン ア
汝・言う声 ある 疑問
言うのか。
- 2623 tu sui ye yan
トゥ スイ イエ ヤン
二つの 回 言う 命令
何度でも、
- 2624 re sui ye yan
レ スイ イエ ヤン
三つの 回 言う 命令
いくらでも言ってみろ。
- 2625 a-nu kusune na
ア・ヌ クスネ ナ
我・聞く 意志 (訴え)
聞いてやる。
- 2626 irushka kurka
イルシカ クルカ
怒る 上
怒りにかられ、
- 2627 shiyante kurka
シヤンテ クルカ
怒る 上
臆恚にまみれ、
- 2628 ene ne p
エネ ネ ヲ
このように 繫 もの
そんなことを
- 2629 okai katu
オカイ カトゥ
ある 様子
するとは。
- 2630 naa ratchitara
ナア ラッチタラ
まだ 穏やかである
もつと落ち着いて
- 2631 pirikano nu wa
ピリカノ ス ワ
良く 聞く 接続
よく聴いて
- 2632 sonno ikkewehe
ソンノ イッケウエヘ
真に 腰
本当の訳を
- 2633 eraman
エラマン
分かる
知って、
- 2634 orowano
オロワノ
始点
それから
- 2635 utasaroshki hene
ウタサロシキ ヘネ
相共に立つ もの
決闘するにせよ、
- 2636 shiyante hene
シヤンテ ヘネ
怒る もの
臆恚なり
- 2637 irushka hene
イルシカ ヘネ
怒る もの
怒りなりに
- 2638 ki wa ne yakne
キ ワ ネ ヤクネ
する 接続 繫 条件
かられたとしたら、
- 2639 utarpa buri
ウタツバ ブリ
首領 行い
首領の習い、
- 2640 rametok buri
ラメトク ブリ
勇者 行い
勇者の風
- 2641 ne nankor be
ネ ナンコロ ベ
繫 だろう もの
であったものを。
- 2642 koneita tapne
コネタ タフネ
どこに これである
一体全体、わかりもせずに、
- 2643 Pekennup um mat
ペケンヌプ ウム マト
(地名) ある 女
我がペケンヌップ姫に
- 2644 a-koochiubashte
ア・コオチウバシテ
我・淫らな想いをかける
淫らな行い、
- 2645 a-kokininbashte wa
ア・コキニンバシテ ワ
我・淫らな想いをかける 接続
卑猥な想いをかけて、
- 2646 hon batek
ホン バテク
腹 のみ
孕ませと、
- 2647 po batek
ポ バテク
子 のみ
児をなすことを

*31 エトロバ彦の髪の中のことであろう。

*32 ashbeket は原綴りのまま。

- 2648 a-sakka wa
ア・サッカ ワ
我・欠かしめる 接続
せずに、
- 2649 uweterke-an wa kusu
ウウエテレケ・アン ワ クス
跳ね合う・我ら 接続 根拠
さかり狂って
- 2650 sonno ene iki-an
ソンノ エネ イキ・アン
真に このように する・我
いると
- 2651 kuni e-ramu
クニ エ・ラム
必然 汝・思う
おまえは思った。
- 2652 sonno e-eraman
ソンノ エ・エラマン
真に 汝・知る
それがおまえの理解し得た
- 2653 orushbe ne
オルシベ ネ
話 繋
筋書き
- 2654 ruwe he an
ルウエ ヘ アン
跡 疑問 ある
なのか。
- 2655 konep ikkewe
コネプ イッケウエ
何 元
そんなまで
- 2656 eonebare
エオネバレ
ために
どうして
- 2657 rametok buri
ラメトク ブリ
勇者 行い
勇者の風、
- 2658 utarpa buri
ウタラバ ブリ
首領 行い
首領の風が
- 2659 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
吹かせ
- 2660 ne ruwe he an
ネ ルウエ ヘ アン
繋 跡 疑問 ある
られるのか。
- 2661 nep ekambak
ネプ エカムバク
何 警戒する
無思慮
- 2662 somoki no
ソモキ ノ
しない 接続
にも
- 2663 i-nisapushka
イ・ニサプシカ
我・襲撃をかける
我を不意打ちし、
- 2664 tap korachi
タップ コラチ
これように
このように
- 2665 i-oshmake wa
イ・オシマケ ワ
我の・背後 から
我が背後から
- 2666 e-i-otke
エ・イ・オトケ
汝・我・衝く
衝いた。
- 2667 hushkotoiwano
フシコトイワノ
ずっと
昔から、
- 2668 kamui ubashkuma
カムイ ウバシクマ
神 言い伝え
神から伝わる話、
- 2669 shinrit ubashkuma
シンリト ウバシクマ
出自 言い伝え
先祖から伝わる話が
- 2670 okai be tapne
オカイ ベ タプネ
ある もの これである
あって、
- 2671 rukani ekot be anakne
ルガニ エコト ベ アナクネ
毒の 死ぬ ものは
水銀で死んだ者は、
- 2672 kamui hene
カムイ ヘネ
神 も
神でも、
- 2673 ainu hene
アイヌ ヘネ
人間 も
人間でも、
- 2674 nekona shisak rametok
ネコナ シサク ラメトク
どのように またとない 勇者
どんな比類なき勇者
- 2675 ne yakka
ネ ヤッカ
繋 譲歩
であろうが、
- 2676 yaikachipba^{*33}
ヤイカチッパ
生き返る
生き返られる
- 2677 eaikap be ne ari
エアイカッベ ネ アリ
できない もの 繋 引用
ものではない、と
- 2678 tap hawash awa
タップ ハワシ アワ
これ 言われる 展開
言われているが、
- 2679 e-erambetek wa kusu
エ・エラムベテック ワ クス
汝・ 接続 根拠
おまえはそれを知らずに、
- 2680 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今まさに、なんと
いう
- 2681 chishirunraike
チシルンライケ
凄い殺害
凄い殺害を
- 2682 e-i-y-ekarkar shiri
エ・イ・イエカラカラ シリ
汝・我・する 様子
試みた
- 2683 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
もの
- 2684 tambe ne ya
タムベ ネ ヤ
これ 繋 疑問
か。
- 2685 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう
- 2686 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサム村から
- 2687 chiramatsakka
チラマトサッカ
魂が失われる
魂をなくすることを
- 2688 e-ekarkar
エ・エカラカラ
汝・する
おまえは
- 2689 shiri ne an ko
シリ ネ アン コ
様子 繋 ある 条件
なした。
- 2690 pirika p rai ne yakne
ピリカッ ライ ネ ヤクネ
よい もの 死ぬ 繋 条件
死こそ善きこと、というのなら、
- 2691 chitoikoraike
チトイコライケ
殺害
おまえを
- 2692 e-ekarkar-an kusune
エ・エカラカラ・アン クスネ
汝・する・我 意志
ぶち殺してやる。
- 2693 Etorba kotan
エトロバ コタン
(地名) 村
エトロバ村
- 2694 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繋 接続 繋 譲歩
であろうとも
- 2695 a-anrauechiu
ア・アンラウエチウ
我・完全に減ぼす
我は減ぼして
- 2696 kusune na
クスネ ナ
意志 (訴え)
やる。
- 2697 eraman ari
エラマン アリ
分かる 引用
「覚えている。」と
- 2698 itak-an kane
イタク・アン カネ
言う・我 同時
いいながら、

*33 原綴りは yakka chipba。

- 2699 Etorba um be
エトロバ ウム ベ
(地名) あるもの
我はエトロバ彦に
- 2700 humse tura
フムセ トウラ
声を出す ともに
うなり声をあげて、
- 2701 oman inumbe
オマン イヌムベ
行く 炬縁
伸びる炬縁木の
- 2702 inumbe hontom
イヌムベ ホントム
炬縁 途中
真ん中で
- 2703 an-ekik humi
アネキク フミ
たたきつけられる 音
腕の先を
- 2704 a-emonetoko-
ア・エモネトコ・
我・手の先
ブンといわせて
- 2705 rimkosanu
リムコサヌ
ドスンと鳴る
打ちすえた。
- 2706 nittek kewe
ニトテク ケウエ
硬い 身体
固い体(死骸)が
- 2707 chikususuye
チクススイエ
転がる
転がった。
- 2708 a-kon ram konna
ア・コン ラム コンナ
我・もつ 心 は
我が心は
- 2709 yaunataru
ヤウナタラ
怒る
怒りに満ち満ちていた。
- 2710 benram^{*34} kashi
ベンラム カシ
胸 上
その胸に
- 2711 a-kokkaechiu
ア・コッカエチウ
我・ひざまずく
我は膝をついて
- 2712 okkeu ka ta
オクケウ カ タ
首 上 場所
首の骨を
- 2713 satni kaye
サトニ カイエ
枯れ木 折る
枯れ木を折るように
- 2714 a-koekarkar
ア・コエカラカ
我・する
へし折った。
- 2715 rui rui abe
ルイ ルイ アベ
激しい 激しい 火
燃え盛る
- 2716 hoka noshkike
ホカ ノシキケ
炬 真中
火の中に
- 2717 kitaina wano
キタイナ ワノ
頂き から
頭から
- 2718 an-eboiwoye
アネボイボイエ
我・混ぜる
くべた。
- 2719 uhui hum konna
ウホイ フム コンナ
燃える 音 は
燃える音が
- 2720 bakrototke
バクروتトケ
火が弾ける
ブスブスとした。
- 2721 hoka noshki wa
ホカ ノシキ ワ
炬 真中 から
燃える火のさなかから
- 2722 kamui inotoor
カムイ イノトオロ
神 霊
神の死霊が
- 2723 hobuni humi
ホブニ フミ
起き上がる 音
天に昇る音が
- 2724 keurototke
ケウロトトケ
響く
ゴーゴーとした。
- 2725 Pekennup um mat
ペケンヌップ ウム マト
(地名) ある 女
ペケンヌップ姫は、
- 2726 homatu rui be
ホマトウル ルイ ベ
驚く 激しいもの
驚いて
- 2727 hottur ka ta
ホトトル カ タ
前額 上 場所
額の生え際が
- 2728 kotususatki
コトウスサトキ
ブルブル震える
ブルブル震えていた。
- 2729 woroma kombu
ウォロマ コムブ
水に長く漬かった 昆布
水につかった昆布のように
- 2730 shikobayar
シコバヤラ
さながらである
色を失っていた。
- 2731 wen kinra ne
ウエン キンラ ネ
悪い 狂気 繫
我には狂気じみた
- 2732 i-kohetari
イ・コヘタリ
我・頭を上げる
怒りが沸き起こった。
- 2733 a-teksaikari
ア・テッサイカリ
我・捉える
我は手を伸ばしてペケンヌップ姫を
- 2734 okkeu ka ta
オクケウ カ タ
首 上 場所
捉え、首を
- 2735 satni kaye
サトニ カイエ
枯れ木 折る
乾いた木を折るように
- 2736 a-koekarkar
ア・コエカラカ
我・する
へし折った。
- 2737 hoka kuttom
ホカ クトトム
炬 中
炬のまん中に
- 2738 an-eshitaiki
アネシタイキ
我・投げ棄てる
投げ込んだ。
- 2739 uhui hum konna
ウホイ フム コンナ
燃える 音 は
それが燃えはげず
- 2740 bakrototke
バクروتトケ
火が弾ける
音がバチバチとした。
- 2741 rabokita
ラボキタ
間に
そうしているあいだ、
- 2742 Nikambikorokuru
ニカムビコロクル
(人名)
ニカンビコロ彦は、
- 2743 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今や、
- 2744 chish ekot anke
チシ エコト アンケ
泣く 死ぬ しようとする
泣き死にしそうになった。
- 2745 ubakitara
ウバキタラ
相変わらず
あいかわらず
- 2746 niwen ne ki
ニウエン ネ キ
猛々しい 繫 する
威嚇のうなりを
- 2747 kusune p
クスネ ヲ
意志 もの
あげようとしても
- 2748 chish ne oman
チシ ネ オマン
泣く 繫 行く
それが悲鳴になってしまった。
- 2749 itak ne ki
イタク ネ キ
言葉 繫 する
言葉に出そうと

*34 原綴りは ben ran。

- 2750 kusune p
クスネ プ
意志 もの
しても、
- 2751 chish ne oman
チシ ネ オマン
泣く 繋 行く
それが泣き声になってしまった。
- 2752 horibi kushne ko
ホリビ クシネ コ
踊り跳ねる 必然・意志 条件
飛び跳ねようとしても
- 2753 chinkeukashi
チンケウカシ
足元
足元が
- 2754 korewanrewan kane
コレワンレワン カネ
(未詳) 音調
震えていた。*35
- 2755 a-nukar tek
ア・ヌカラ テク
我・見る ちよっとする
我はそれを見ると
- 2756 soyoterke-an
ソヨテレケ・アン
外に飛び出す・私
家の外に飛び出た。
- 2757 oyoyobota
オヨヨボタ
感嘆
忌々しい。
- 2758 Etorba um be
エトロバ ウム ベ
(地名) あるもの
エトロバ彦は、
- 2759 arwen itak
アラウエン イタク
ひどい 言葉
荒々しい憎しみの言葉を
- 2760 chikosomokur-
チコンモクル・
否定
失礼
- 2761 yaikatanu
ヤイカタン
畏れはばかる
千万にも
- 2762 i-y-ekarkar
イ・イエカラカラ
我・する
我に投げかけた。
- 2763 kashikobakta
カシコバクタ
その上に
その上さらに
- 2764 chiraike ne yakka
チライケ ネ ヤッカ
殺される 繋 譲歩
殺害にしても
- 2765 semkatune
セムカトゥネ
並でなく
並みでない殺しを
- 2766 i-y-ekarkar
イ・イエカラカラ
我・する
我になした
- 2767 ruwe okai chiki
ルウェ オカイ チキ
跡 ある 条件
のだから、
- 2768 yayoshkor keutum
ヤヨシコロ ケウトウム
悔しい 心
我は口惜しくて
- 2769 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
たまらなかった。
- 2770 kotanba wano
コタンバ ワノ
村の上端 から
村の上から
- 2771 a-bukrototo
ア・ブクロトト
我・拍動させる
我は荒らした。
- 2772 wenkimak hau
ウェンキマク ハウ
大変驚く 声
慌てふためく声が
- 2773 utomshitaiki
ウトムシタイキ
かちあう
交錯した。
- 2774 anisapushkap
アニサブシカプ
急襲
突然の襲撃を
- 2775 konep ne kusu
コネプ ネ クス
何 繋 根拠
受けたものだから、
- 2776 Mat tek amba p
マト テク アムバ プ
女 手 持つ もの
妻の手を取る者、
- 2777 po tek amba p
ポ テク アムバ プ
子 手 持つ もの
子供の手を取る者が
- 2778 aruterkere
アルテレケレ
跳ね回る
逃げ惑った。
- 2779 okkai hokokse hau
オッカイ ホコクセ ハウ
男 叫び声を出す 声
危急を告げる男の喉ならし、
- 2780 menoko rimimse hau
メノコ リミムセ ハウ
女 泣き叫ぶ 声
女の裏声が
- 2781 uwobuk kane
ウウォブク カネ
連続して音が響く 同時
断続して入り混じり
- 2782 bebunitara
ベブニタラ
騒がしい
響いた。
- 2783 kotan ba un wa
コタン バ ウン ワ
村 頭 ある から
村の上でも
- 2784 kotan kes un wa
コタン ケスン ワ
村 末端へ から
村の下でも
- 2785 tu hayok sash hum
トゥ ハヨク サシ フム
二つの 武装する 噪音を立てる 音
鎧を身に着ける
- 2786 re hayok sash hum
レ ハヨク サシ フム
三つの 武装する 噪音を立てる 音
ガチャガチャという音が
- 2787 otukitara
オトウキタラ
金属音が生じる
盛んに聞こえた。
- 2788 neita am be
ネタ アム ベ
繋 ある もの
どこのどいつが
- 2789 koiki kunip
コイキ クニフ
攻撃する 形式名詞
攻めようとしているのか、
- 2790 kikir basushke
キキリ バスシケ
虫 湧く
虫が湧くかのように
- 2791 ekannayukar
エカンナユカラ
ようである
騒いでいた。
- 2792 orowano
オロワノ
始点
それから、
- 2793 inne kunip
インネ クニフ
大勢である 形式名詞
おびたいたい者どもが
- 2794 a-etametoko-
ア・エタメトコ・
我・太刀先
我が太刀の先で
- 2795 sennatara
センナタラ
斬る音が響く
音を立てて斬られた。
- 2796 tu kamui rai hum
トゥ カムイ ライ フム
二つの 神 死ぬ 音
どこでも
- 2797 re kamui rai hum
レ カムイ ライ フム
三つの 神 死ぬ 音
かしこでも神の死にゆく音が
- 2798 arukesure
アルケスレ
続く
絶え間なく続いた。
- 2799 kamui nishka un
カムイ ニシカ ウン
神 上空 方向
神の空の上から
- 2800 kanakankunip
カナカンクニフ
何者か
誰かが

*35 この行の解釈は取りあえずのもの。rewan 未詳。

- 2801 menoko kutor
メノコ クトロ
女 喉
女の喉から出る
- 2802 chish hau ne ya
チシ ハウ ネ ヤ
泣く 声 繫 疑問
泣き声だろうか、
- 2803 shinotcha ne ya
シノトチャ ネ ヤ
歌の節 繫 疑問
想いを述べる言葉であろうか、
- 2804 kamui riwak ne
カムイ リワク ネ
神 帰る 繫
昇天する神のように
- 2805 uwetunuisse
ウエトウスイセ
美しく響く
美しく声を響かせた。
- 2806 kani kachō
カニ カ ch オ
黄金 太鼓
金の太鼓が
- 2807 a-kik hum konna
ア・キッ フム コンナ
我・叩く 音 は
ドン、ドンと
- 2808 nainatara
ナイナタラ
太鼓の音が響く
打ち鳴らされた。
- 2809 mayunitara
マユニタラ
響く
リン、リンと打ち鳴らされた。
- 2810 terke tuika ta
テレケ トウイカ タ
跳ねる 上 場所
戦いのさなか
- 2811 ikikorokaiki
イキコロカイキ
しかし
であったけれど、
- 2812 a-nu kane
ア・ヌ カネ
我・聞く 同時
我はそれを耳にしなから、
- 2813 kunne hene
ケンネ ヘネ
夜 も
夜も、
- 2814 tokap hene
トカプ ヘネ
昼 も
昼も、
- 2815 taban tumunchi
タバト ウムンチ
この 戦争
このおおいくさ、
- 2816 shirush wembe ne
シルシ ウェムベ ネ
ひどい 悪いもの 繫
ひどい禍事に
- 2817 a-yaikoashi aine
ア・ヤイコアシ アイネ
我・立ち向かう 接続
一人で立ち向っているうちに、
- 2818 seta kikiri
セタ キキリ
犬 虫
犬にたかる虫も
- 2819 toi kikiri
トイ キキリ
土 虫
地べたに群がる虫も
- 2820 a-kokerkeri
ア・コケレケリ
削られる
残らず殺戮した。
- 2821 tumunchi oka
トゥムンチ オカ
戦争 あと
いくさのあと、
- 2822 rorumbe oka
ロルムベ オカ
戦闘 あと
殺戮のあとは
- 2823 chakkosanu
チャッコサヌ
静まり返る
静まり返った。
- 2824 Etorba kotan
エトロバ コタン
(地名) 村
エトロバ村の
- 2825 wentoikantoi
ウェントイカントイ
墓地の表土
墓場の地べたが
- 2826 a-kokirukar
ア・コキルカラ
我・ひっくり返す
ひっくり返っていた。
- 2827 tap orowa
タップ オロワ
これ 始点
我はそれを見て、
- 2828 chep shikiru
チェプ シキル
魚 振り向く
魚が身を
- 2829 a-shikobayar
ア・シコバヤラ
我・見せかける
翻すように
- 2830 kamui nishka
カムイ ニシカ
神 上空
神の空へと
- 2831 a-korikoshma
ア・コリコシマ
我・飛び上がる
昇り
- 2832 ek-an humi
エック・アン フミ
来る・我 音
進み行く音が
- 2833 keurototke
ケウロトトケ
響く
ゴーゴーと響いた。
- 2834 a-koshireba
ア・コシレバ
我・到着する
到着した。
- 2837 kotan enkashi
コタン エンカシ
村 離れた上
村の上空を
- 2838 an-eshisuye
アネシスイエ
我・旋回する
旋回し、
- 2839 tan arka itak
タン アッカ イタク
この 痛い 言葉
激しい痛言を、
- 2840 ituye shinne
イトウイエ シンネ
人を斬る のように
ものを斬るように、
- 2841 iotke shin ne
イオトケ シン ネ
人を刺す 様子 繫
ものを刺すように
- 2842 hotuye itak
ホトウイエ イタク
呼ぶ 言葉
叫びの言葉を
- 2843 a-ki hawe
ア・キ ハウエ
我・する 声
次のように
- 2844 ene okai i
エネ オカイ
このように ある 形式名詞
語った。
- 2845 koninkarkusu
コンインカルクス
(語り掛けの合図)
「さてこそ
- 2846 Kunashirumbe
クナシルムベ
(人名)
クナシリ人よ、
- 2847 itak-an chiki
イタク・アン チキ
言う・我 条件
我の言うことを
- 2848 pirikano nu
ピリカノ ヌ
良く 聞く
よく聞け。
- 2849 apkash tuika ta
アッカシ トウイカ タ
歩く 上 場所
歩いて旅するさなか、
- 2850 e-kor tonoto
エ・コロ トノト
汝・持つ 酒
おまえが我を酒に
- 2851 tonoto teksam
トノト テッサム
酒 すぐそば
招いて
- 2852 e-i-ainukoro i
エ・イ・アイヌコロ イ
汝・我・もてなす 形式名詞
もてなしてくれたことに

第7章 クナシリ彦への復讐

- 2853 shino a-eyairaike
シノ ア・エヤイライケ
まことに我・感謝する
我は深く感謝した
- 2854 koroka
コロカ
逆接
けれど、
- 2855 Pekennup um mat
ペケンヌプ ウム マト
(地名) ある女
ペケンヌップ姫が
- 2856 ki buri an kusu
キ ブリ アンクス
する 行い ある 根拠
ああいふふるまいをしたため、
- 2857 chikoyayebasuibā^{*36}
チコヤイエバスイバ
口を挿する
おまえは口を振って
- 2858 chikoshiyante
チコシヤンテ
怒り罵る
我に
- 2859 e-i-y-ekarkar itak
エ・イ・イエカラカ イタク
汝・我・する 言葉
怒りの言葉を投げかけたが、
- 2860 itak ikkewe
イタク イッケウエ
言葉 元
その言葉の趣旨に
- 2861 shino a-rushka
シノ ア・ルシカ
まことに我・怒る
我は怒った。
- 2862 hunabakunsui
フナバクンスイ
幸いに
幸いにも、
- 2863 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
宝物を
- 2864 sermak ne
セマク ネ
背後 繋
背にして
- 2865 a-kor wa
ア・コロ ワ
我・もつ a 接続
持って
- 2866 apkash-an kushkeraibo
アツカシ・アン クシケライボ
歩く・我 おかげで
歩いていたおかげで、
- 2867 ari yaikikkar-an kusu
アリ ヤイキツカラ・アンクス
それで 自らを守る・我 根拠
それでもって自らを防げたので
- 2868 e-i-saurere
エ・イ・サウレレ
汝・我・赦す
おまえが我を赦さない
- 2869 somo wa ne yakne
ソモ ワ ネ ヤクネ
否定 接続 繋 条件
つもりなら、
- 2870 e-ye i korachi
エ・イエ イ コラチ
汝・言う 形式名詞 ように
おまえが言ったとおり、
- 2871 Otasam kotan un
オタサム コタン ウン
オタサム 村 方向
オタサム村へ
- 2872 attumunchi
アトウムンチ
激しい戦闘
強いいくさ、
- 2873 anrorumbe
アンロルムベ
激しい戦い
激しい戦いを
- 2874 e-omante nankoro
エ・オマンテ ナンコロ
汝・送る だろう
おまえは仕掛けることになるだろう。
- 2875 Pekennupummat
ペケンヌプムマト
(人名)
ペケンヌップ姫が
- 2876 ouse shinnenbebo
オウセ シネンネボ
ただ (だけ) 一人
ただ一人で
- 2877 koro wem buri
コロ ウェム ブリ
持つ 悪い 行い
いただいた淫らな想いということが、
- 2878 e-eraman nankoro be
エ・エラマン ナンコロ ベ
汝・知る だろう もの
おまえには分かったであろうに、
- 2879 ponnoka
ボンノカ
少しも
少しも
- 2880 e-i-y-eramoben ka
エ・イ・イエラムボケン カ
汝・我・憐れむ も
私の気持ちを
- 2881 somokino
ソモキノ
しないで
察せず、
- 2882 chiraike rusui
チライケ ルスイ
殺される したい
殺意を
- 2883 kotan turanno
コタン トウランノ
村 とともに
村にまで及ぼす
- 2884 ki hawe
キ ハウエ
する 声
と言うのを聞き、
- 2885 sonno shiyante-an
ソンノ シヤンテ・アン
真に 怒る・我
本当に我は怒った。
- 2886 kamui turanno
カムイ トウランノ
神 とともに
神に対してのみならず、
- 2887 chikosomokur-
チコソモクル・
否定
恐れ憚らない
- 2888 yaikatanu
ヤイカタヌ
畏れはばかる
失礼を
- 2889 e-i-y-ekarkar
エ・イ・イエカラカ
汝・我・する
我になした。
- 2890 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 2891 ramma tashi
ラムマ タシ
いつも 強調
いつだって
- 2892 a-i-y-ekeshke p
ア・イ・イエケシケ ヲ
我・妬まれる もの
人に嫉まれる
- 2893 Otasam kotan ne kusu
オタサム コタン ネ クス
オタサム 村 繋 根拠
オタサム村だから、
- 2894 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 2895 a-yaikesure
ア・ヤイケスレ
我・去る
村を去るつもりだ。
- 2896 etoko ta
エトコ タ
前方・先 場所
その前に
- 2897 pon yayattasa
ボン ヤヤッタサ
小さい 交換する
いささかの
- 2898 a-ki shiri
ア・キ シリ
我・する 様子
お返しを
- 2899 taban na
タバナン
この (訴え)
しておこう。
- 2900 eraman ari
エラマン アリ
分かる 引用
覚悟しろ。」と
- 2901 itak-an kane
イタク・アン カネ
言う・我 同時
言うのと、
- 2902 kotanba wano
コタンバ ワノ
村の上端 から
村の上から
- 2903 a-bakrototo
ア・バクロットト
我・攻撃する
荒らしまわり、

*36 原綴りは chikoyaiba suiba

- 2904 a-batubatu
ア・バトゥバトゥ
我・跳ね飛ばす
あらゆるものを跳ね飛ばした。
- 2905 kotan kurka
コタン クルカ
村 上
村一面に
- 2906 haushitaiki
ハウシタイキ
騒ぎ声があたつ
声があがり、
- 2907 tan inne kunip
タン インネ クニプ
この大勢である **形式名詞**
凄く多くの者たちが
- 2908 utomtaterke
ウトムタテケ
ぶつかり合う
ぶつかり合い、逃げ惑っている。
- 2909 nekon ne hawe tap ne
ネコン ネ ハウエ タプ ネ
どのように **繋** 声 **これ** **繋**
「どうしたことか、
- 2910 iyoshserkere
イヨシセケレ
恐るべきことだ
驚くべきことでは
- 2911 okai be ne ya
オカイ ベ ネ ヤ
あるもの **繋** **疑問**
ないか。
- 2912 hushkotoiwano
フシコトイワノ
ずっと
昔から、
- 2913 a-more kotan
ア・モレ コタン
治められる村
我が鎮めてきた村こそ
- 2914 Kunashiri ne awa
クナシリ ネ アワ
(地名) **繋** **展開**
クナシリであるのに、
- 2915 Pekennupummat
ペケンヌプムマト
(人名)
ペケンヌップ姫、
- 2916 shirum menoko
シルム メノコ
汚い女
非道な女、
- 2917 wem menoko
ウエム メノコ
悪い女
悪女、
- 2918 ochiutushtekka p
オチウトウシテッカ プ
淫にふけるもの
妖婦、
- 2919 kinintushtekka p
キニントウシテッカ プ
淫にふけるもの
さかりのついた女の
- 2920 wen renkabi
ウエン レンカピ
悪い意思
淫らな想いの
- 2921 an a kusu
アン ア クス
ある **完了** **根拠**
ために、
- 2922 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今や
- 2923 kotan turanno
コタン トウランノ
村 ともに
我が村とともに
- 2924 rai ne manu p
ライ ネ マヌ プ
死ぬ **繋** というもの
減びるよう
- 2925 a-ki kusu
ア・キ クス
我・する **根拠**
に、
- 2926 ene hawash i
エネ ハワシ
このように 言われる **形式名詞**
そう
- 2927 ta an ari
タ アン アリ
これ ある **引用**
言うのだな。」と
- 2928 inne kunip
インネ クニプ
大勢である **形式名詞**
大勢の者たちが
- 2929 uhauroise
ウハウタロイセ
声が騒がしい
騒いでいた。
- 2930 rabokita
ラボキタ
間に
そのさなか、
- 2931 kotan noshi
コタン ノシキ
村 真中
村の中央に
- 2932 haushitaiki
ハウシタイキ
騒ぎ声があたつ
声があがった。
- 2933 Kunashirumbe
クナシルムベ
(人名)
クナシリ人は
- 2934 homatu rui be
ホマトウ ルイ ベ
驚く 激しいもの
あわて
- 2935 konep ne kusu
コネプ ネ クス
何 **繋** **根拠**
ふためき、
- 2936 utar sermaka
ウタラ セレマカ
人々 背後
手下たちの後ろを
- 2937 chiebashte
チエバシテ
走る
走り、
- 2938 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
我が動静を
- 2939 uwambare
ウワムバレ
見て調べる
探っていた。
- 2940 katu ne kane
カトゥ ネ カネ
様子 **繋** **同時**
型どおりに
- 2941 an-an ruwe
アナン ルウエ
いる・我 跡
私の有様に
- 2942 ehomatu p
エホマトウ プ
慌てるもの
驚く
- 2943 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
繋 **接続** **繋** **条件**
ならば、
- 2944 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである **逆接**
あつてもおかしくないが、
- 2945 inkan ruwe konna
インカン ルウエ コンナ
見る 跡 は
目を見開いて
- 2946 chainatara
チャイナタラ
目を見開いている
ギョロギョロさせている。
- 2947 usainetapsui
ウサイネタプスイ
(呼びかけ)
「これはまた、
- 2948 shiran ruwe
シラン ルウエ
有様である 跡
そんなことが
- 2949 okaibe ne ya
オカイベ ネ ヤ
あるもの **繋** **疑問**
あるものか。
- 2950 ene okai be
エネ オカイ ベ
このように あるもの
こんなやつが
- 2951 neike
ネケ
どこに
どこに
- 2952 sambe o wa
サムベ オ ワ
心臓 ある **接続**
心臓がついていて、
- 2953 tapne orsaureko
タップネ オロサウレコ
これである とんでもなく
そんな尋常でないことを
- 2954 hawokai hawe
ハウオカイ ハウエ
言う 声
口にし、
- 2955 shimoiba shiri
シモイバ シリ
働き 様子
駆けずり回る
- 2956 okai be ne ya
オカイ ベ ネ ヤ
あるもの **繋** **疑問**
のか。

- 2957 koninkarkusu
コニンカルクス
(語り掛けの合図)
もしもし、
- 2958 Otasamunkuru
オタサムウンクル
オタサム彦
オタサム彦
- 2959 kamui rametok
カムイ ラメトク
神 勇者
神なる勇者よ、
- 2960 keke hetak
ケケ ヘタク
さあ さあ
さあ、速やかに
- 2961 shittek kunak
シトテック クナク
落ち着く 引用
心を静めて
- 2962 ramu yan
ラム ヤン
思う 命令
ください。
- 2963 wen kusu am be ka
ウェン クス アム ベ カ
悪い 根拠 あるものも
おまえから災いを払うため
- 2964 e-ebotara-an wa
エ・エボタラ・アン ワ
我・汝を占う 接続
まじなって
- 2965 inkar-an kusune na
インカラ・アン クスネ ナ
見る・我 意志 (訴え)
みてあげよう。
- 2966 sonno aokai anakne
ソンノ アオカイ アナクネ
真に 我 は
実に我は
- 2967 ponram orwano
ボンラム オロワノ
幼少 始点
幼かった頃から
- 2968 ponnoka
ボンノカ
少しも
少しも
- 2969 Otasam un
オタサム ウン
オタサム ある
オタサムの
- 2970 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 繫 あるもの
神なる人を
- 2971 wenno a-ramu ka
ウェンノ ア・ラム カ
悪く 我・思うも
悪く思った
- 2972 somo ki awa
ソモ キ アワ
否定 する 展開
ことはなかったのに、
- 2973 Pekennup um mat
ペケンヌプ ウム マト
(地名) ある女
ペケンヌップ姫、
- 2974 arwem bito
アラウエム ビト
極悪の人
まがまがしい神人、
- 2975 arwen kamui
アラウエン カムイ
ひどい 神
極悪の神の
- 2976 wen renkabi an kusu
ウェン レンカビ アン クス
悪い 意思 ある 根拠
淫らな想いに怒って、
- 2977 e-koyayebasuiba
エ・コヤイエバスイバ
汝・口を動かす
我はおまえに口を振るって
- 2978 shiyante itak
シヤンテ イタク
怒る 言葉
瞋恚の言葉を
- 2979 sonno wenno
ソンノ ウェンノ
真に 悪く
汚らしく
- 2980 a-ye awan
ア・イエ アワン
我・言う のだった
ぶちまけたのだ。
- 2981 e-okake ta
エ・オカケ タ
汝・後 場所
おまえが去ったあと、
- 2982 shino a-eyayoka-
シノ ア・エヤヨカ・
まことに 我・己の後
まことに反省し、
- 2983 bashte wa
バシテ ワ
走らせる 接続
気づくところがあって、
- 2984 ehoshibi i ta
エホシビ イ タ
帰る 形式名詞 場所
おまえが戻ってきたとき
- 2985 e-koyayababu-an
エ・コヤヤバブ・アン
汝・謝罪する・我
おまえに謝罪し、
- 2986 ratchi irenka
ラトチ イレンカ
穏やかな 意図
おだやかな心組みを
- 2987 a-kon rusui awa
ア・コン ルスイ アワ
我・もつ したい 展開
保っていたいものと考えていたが、
- 2988 nekona e-an
ネコナ エ・アン
どのようにに 汝・ある
おまえは
- 2989 ruwe taan
ルウェ タアン
跡 この
どうしたことか。
- 2990 shittek^{*37} kunak
シトテック クナク
落ち着く 引用
心静めて
- 2991 ramu yan ari
ラム ヤン アリ
思う 命令 引用
考えてくれ。」と
- 2992 hawashi koroka
ハワシ コロカ
言う 逆接
クナシリ人は言ったけれど、
- 2993 a-semkottanu
ア・セムコトタヌ
我・関わらない
われは一切相手にしなかった。
- 2994 tap i-tuisam ta
タプ イ・トウイサム タ
これ 我・傍 場所
すると私のすぐ傍らに
- 2995 kanakan kunip
カナカン クニフ
どういふ 形式名詞
何者かが
- 2996 chitursere
チトウルセレ
ポタッと落ちる
滑るように近づいてきた。
- 2997 inkar-an awa
インカラ・アン アワ
見る・我 展開
見れば
- 2998 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
(地名) ある女
クナシリ姫、
- 2999 inauru koro mat
イナウル コロ マト
冠 持つ 女
冠をかぶった女で、
- 3000 hushkotoiwano
フシコトイワノ
ずっと
ずっと先から
- 3001 chish be ne kusu
チシ ベ ネ クス
泣くもの 繫 根拠
泣いていたものだから、
- 3002 nube kush i
ヌベ クシ
涙 通る 形式名詞
流れる涙のため
- 3003 kousamtuiba
コウサムトウイバ
両頬がただれる
両頬がただれていた。
- 3004 shikrap emko
シクラブ エムコ
まつげ 半分
まつ毛が半分しか
- 3005 kootukukke
コオトウククケ
末端が出る
立って
- 3006 kane okai wa
カネ オカイ ワ
音調 ある 接続
いなかった。
- 3007 kutsam konna
クトサム コンナ
喉元 は
クナシリ姫は喉を

*37 原綴りは shittek。

- 3008 tununinara
トゥヌニナラ
ほのかに響く
震わせて
- 3009 ene okai i
エネ オカイ
このようにある **形式名詞**
こう言った。
- 3010 koninkarkusu
コニンカルクス
(語り掛けの合図)
「もしもし、
- 3011 Otasam kor kamui
オタサム コロ カムイ
オタサム 持つ 神
オタサムを統べる神よ、
- 3012 keke hetak
ケケ ヘタク
さあ さあ
一時も早く
- 3013 shittek kunak
シトテック クナク
落ち着く **引用**
心静めようと
- 3014 ramu yan
ラム ヤン
思う **命令**
思ってください。
- 3015 tambe reikor
タムベ レコロ
これ 名前をもつ
これではまるで
- 3016 tumunchi kinra
トゥムンチ キンラ
戦争 狂気
おまえは殺戮の狂気、
- 3017 wembe kinra
ウエムベ キンラ
悪いもの 狂気
禍々しい狂気の
- 3018 e-eyaitushtekka
エ・エヤイトウシテッカ
汝・
金縛りに
- 3019 shiri taban na
シリ タバン ナ
様子 この (訴え)
なっています。
- 3020 sonno am be
ソンノ アム ベ
真にあるもの
実のところ、
- 3021 ireshu yubi hene
イレシユ ユビ ヘネ
育ての兄 も
育ての兄 (クナシリ彦) も
- 3022 aokai hene
アオカイ ヘネ
我 も
妾も
- 3023 konep wen keutum
コネプ ウエン ケウトウム
何 悪い 心
悪い気持ちは
- 3024 a-kor ruwe ka
ア・コロ ルウェ カ
我・もつ 跡 も
少しも
- 3025 somone
ソモネ
ではない
持っていません。
- 3026 iresu yubi
イレス ユビ
育てる 兄
育ての兄が
- 3027 ki a itak
キ ア イタク
する **完了** 言葉
なした言葉が
- 3028 shino wen a yakka
シノ ウエン ア ヤッカ
まことに 悪い **完了** 譲歩
とても悪かったとしても、
- 3029 sonno yayokabashte i
ソンノ ヤヨカバシテ イ
真に 我に戻る **形式名詞**
育ての兄が深く反省していることが
- 3030 aokai ne yak
アオカイ ネ ヤク
我 繫 と
妾にも
- 3031 a-eraman
ア・エラマン
我・知る
分かる
- 3032 ruwe ne kusu
ルウェ ネ クス
跡 繫 根拠
のです。だから、
- 3033 tusare wa
トゥサレ ワ
赦す 接続
赦してやって
- 3034 honnere wa
ホンネレ ワ
緩める 接続
楽な気持ちにさせて
- 3035 i-kore kunak
イ・コレ クナク
我・与える **引用**
やって
- 3036 ramu yan
ラム ヤン
思う **命令**
ください。
- 3037 a-un chise ta
ア・ウン チセ タ
我・いる 家 場所
妾たちの家に
- 3038 irukai shini wa
イルカイ シニ ワ
しばらくの間 休む 接続
しばらく休んで
- 3039 i-kore kunak
イ・コレ クナク
我・与える **引用**
ください。
- 3040 ramu yan
ラム ヤン
思う **命令**
そうなさい。
- 3041 wen kusu am be ka
ウエン クス アム ベ カ
悪い 根拠 あるものも
負傷したところも、
- 3042 kamuinishuk-an
カムイニシユク・アン
神を招く・我
神を呼んで
- 3043 chikeutusare
チケウトウサレ
蘇生する
癒して
- 3044 e-ekarkar-an
エ・エカカカラ・アン
汝・する・我
あげ
- 3045 kusune na
クスネ ナ
意志 (訴え)
ましょう。
- 3046 a-yaikomore p
ア・ヤイコモレ プ
我・一人で治めるもの
妾たちが鎮めてきた
- 3047 shinrit kotan
シンリト コタン
出自 村
先祖からの村、
- 3048 totto kotan ne wa
トット コタン ネ ワ
母 村 繫 接続
母なる村でしたが、
- 3049 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は
- 3050 arshitteke
アッシテケ
かけら
一かけらも
- 3051 e-koisamka kusu
エ・コイサムカ クス
汝・減らす 根拠
残らないように
- 3052 ene e-iki i ta an
エネ エ・イキ イ タ アン
このように 汝・する **形式名詞** これ ある
しておしまいです。
- 3053 kamui rametok
カムイ ラメトク
神 勇者
神のような勇者よ、
- 3054 shittek wa
シトテック ワ
落ち着く 接続
心を静め
- 3055 i-kore ari
イ・コレ アリ
我・与える **引用**
たまえ。」と
- 3056 itak kane
イタク カネ
言う 同時
言いながら
- 3057 i-kobak un wa
イ・コバク ウン ワ
我・方向へ 方向 方向
我の方へ
- 3058 arki
アラキ
来る
近づいてきた。
- 3059 inu ne wa
イヌ ネ ワ
聞く 繫 接続
それを
- 3060 a-ki p ne koroka
ア・キ プ ネ コロカ
我・するもの 繫 逆接
聞いただけで
- 3061 turush kinra ne
トゥルシ キンラ ネ
激しい 狂気 繫
狂気じみた激しい怒りが

- 3062 i-kohetari
イ・コヘタリ
我・頭を上げる
我が心中で頭をもたげた。
- 3063 koneptapteta
コネツタツタ
何ということ
一体、何を
- 3064 Kunashirumbe
クナシルムベ
(人名)
クナシリ人
- 3065 utarorke
ウタロロケ
たち
どもが
- 3066 ye hawe
イエ ハウエ
言う 声
言う
- 3067 okai ya
オカイ ヤ
ある 疑問
のか。
- 3068 shiknu-an kuni hene
シクヌ・アン クニ ヘネ
生きている・我 必然 も
生き延びようなどと
- 3069 a-ramu wa kusu
ア・ラム ワ クス
我・思う 接続 根拠
我が思っていると思いで、
- 3070 chikeutusare
チケウトウサレ
蘇生する
私の怪我を手当
- 3071 i-y-ekarkar rusui hawe
イ・イエカラカラ ルスイ ハウエ
我・する したい 声
したいと
- 3072 okai chiki
オカイ チキ
ある 条件
言うのだから、
- 3073 turush kinra ne
トゥルシ キンラ ネ
激しい 狂気 繫
激しい怒りが
- 3074 i-kohetari
イ・コヘタリ
我・頭を上げる
こみあがってきた。
- 3075 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
汚い女、
- 3076 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
よこしまな女(クナシリ姫)に
- 3077 yupke tamkur
ユツケ タムクル
強い 太刀影
激しく
- 3078 a-koterkere awa
ア・コテレケレ アワ
我・とばす 展開
太刀を浴びせたところ、
- 3079 inne kunip
インネ クニツ
大勢である 形式名詞
多くの
- 3080 utar bokishir
ウタラ ボキシリ
人々 下肢
者どもの足の下に
- 3081 korauoshma
コラウオシマ
下方へ入る
潜りこんだ。
- 3082 a-orauki kuni
ア・オラウキ クニ
我・逃す 必然
我は逃がさぬように
- 3083 wen turaisam
ウエン トウライサム
悪い 未詳
懸命に
- 3084 an-i-y-ekote
アニ・イエコテ
我・結びつけられる
なった。
- 3085 a-otamkote
ア・オタムコテ
我・斬りつける
打ち損じた
- 3086 a-ehaitakar be
ア・エハイタカラ ベ
我・打ち損じる もの
我が太刀によって
- 3087 inne kunip
インネ クニツ
大勢である 形式名詞
多くの者どもが
- 3088 a-etametoko-
ア・エタメトコ
我・太刀先
その剣先に
- 3089 sennatara
センナタラ
斬る音が響く
かかった。
- 3090 orowano an-oinkar i^{*38}
オロワノ アノインガラ イ
始点 我・見る 形式名詞
やがて我が見るものが
- 3091 tup ne oman
トゥツ ネ オマン
二つ 繫 行く
二つになり、
- 3092 rep ne oman
レツ ネ オマン
沖 繫 行く
三つになっていった。
- 3093 semkorachi.
セムコラチ.
まるで(する)ように
ようだ。^{*39}
- 3094 taban tumunchi
タバタン トウムンチ
この 戦争
忘我の中、この戦いに
- 3095 a-yaikoashi
ア・ヤイコアシ
我・立ち向かう
我は立ち向かった。
- 3096 kunne hene
クンネ ヘネ
夜 も
夜となく
- 3097 tokap hene
トカフ ヘネ
昼 も
昼となく戦い、
- 3098 an-ekonramu-
アネコンラム
我・持つ心
我が心は
- 3099 koshinatara
コシナタラ
心が苦しい
もうろうとしてきた。
- 3100 hunakbakita
フナツバキタ
あるとき
いつの間にか
- 3101 seta kikiri
セタ キキリ
犬 虫
犬にたかる虫、
- 3102 toi kikiri
トイ キキリ
土 虫
地を這う虫にいたるまで、
- 3103 a-kokerkeri
ア・コケレケリ
削られる
ことごとく殺戮していた。
- 3104 rorambe oka
ロラムベ オカ
戦闘 あと
いくさが終わりに、
- 3105 tumunchi oka
トウムンチ オカ
戦争 あと
戦闘が済むと
- 3106 chakkosanu
チャッコサヌ
静まり返る
あたりは静まり返った。
- 3107 Kunashiri kotan
クナシリ コタン
(地名) 村
クナシリ村の
- 3108 wentoikantoi
ウエントイカントイ
墓地の表土
墓地の表土を
- 3109 a-kokirukar
ア・コキルカラ
我・ひっくり返す
我はひっくり返した。
- 3110 tap orowa
タップ オロワ
これ 始点
それから、
- 3111 kamui nishka
カムイ ニシカ
神 上空
神の空に

*38 原綴りは onoinkari

*39 気が遠くなった。

- 3112 a-korikoshma
ア・コリコシマ
我・飛び上がる
我は昇り
- 3113 ek-an humi
エック・アン フミ
来る・我 気配
来た。音をたてて
- 3114 an-ekisarshut-
アネキサラシユト・
我・耳の根元
我が耳もとで
- 3115 maukururu
マウクルル
風が渦巻く
風が巻いた。
- 3116 Pekennup kotan
ペケンヌップ コタン
(地名) 村
ペケンヌップ村に
- 3117 a-koshireba
ア・コシレバ
我・到着する
到着した。
- 3118 kotan enkashi
コタン エンカシ
村 離れた上
我は村の上空を
- 3119 an-eshisuye
アネシスイエ
我・旋回する
旋回して、
- 3120 tan arka itak
タン アッカ イタク
この 痛い 言葉
激しい言葉を
- 3121 an-ebarsere
アネバラセレ
我・とばす
次のように
- 3122 hawe ene okai i
ハウエ エネ オカイ
声 このように ある 形式名詞
翻すように吐いた。
- 3123 koninkarkusu
コニンカルクス
(語り掛の合図)
「さてさて、
- 3124 Pekennup um be
ペケンヌップ ウム ベ
(地名) あるもの
ペケンヌップ彦よ、
- 3125 konep ikkewehe
コネプ イッケウエヘ
何 腰
なんのいわれが
- 3126 eonebare
エオネバレ
ために
あつて、
- 3127 e-wentureshi
エ・ウエントウレシ
汝・悪い妹
おまえの悪しき妹、
- 3128 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
汚い妹、
- 3129 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い妹、
- 3130 ochiu eterke p
オチウ エテレケ プ
姦通 跳ね回るもの
淫らごとに跳ね回る者、
- 3131 kinin eterke p
キニン エテレケ プ
淫乱 跳ね回るもの
淫欲にかられた者が
- 3132 chikosomokur-
チゴソモクル・
否定
失礼
- 3133 yaikatanu
ヤイカタン
畏れはばかる
千萬なことを
- 3134 i-y-ekarkar ko
イ・イエカラカラ コ
我・する 条件
我に仕掛けたのに、
- 3135 kosomotashnu
コソモタシヌ
いさめない
おまえはいさめも
- 3136 e-ki oman ikiri
エ・キ オマン イキリ
汝・する 行く 列
しなかった。
- 3137 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今こそ
- 3138 a-i-y-ekeshke p
ア・イ・イエケンケ プ
我・生まれるもの
ねたまれるのは
- 3139 Otasam kotan ne kusu
オタサム コタン ネ クス
オタサム 村 繫 根拠
オタサム村であるから、
- 3140 a-yaikesure
ア・ヤイケスレ
我・去る
ここを去る
- 3141 nei etoko ta
ネ エトコ タ
繫 前方・先 場所
前に
- 3142 pon yayattasa
ボン ヤヤッタサ
小さい 交換する
いささかのお返しを
- 3143 a-ki shiri taban na
ア・キ シリ タバン ナ
我・する 様子 この (訴え)
してやる。
- 3144 eraman ari
エラマン アリ
分かる 引用
覚悟しろ。」と
- 3145 itak-an kane
イタク・アン カネ
言う・我 同時
我は言った。
- 3146 kotan ba wano
コタン バ ワノ
村 上 から
村の上手から
- 3147 a-bakrototo
ア・バクロトト
我・攻撃する
我は攻撃した。
- 3148 isenramkusu
イセンラムクス
いつものように
いつものように
- 3149 a-nisapushka p
ア・ニサブシカ プ
不意打ちにされるもの
急襲した
- 3150 konep ne kusu
コネプ ネ クス
何 繫 根拠
ものだから、
- 3151 tane eashiri
タネ エアシリ
今 強調
今はもう、
- 3152 kotan utur
コタン ウトウル
村 間
村の間で
- 3153 hau shitaiki
ハウ シタイキ
声 振り上げる
叫喚が走り、
- 3154 kotan noshki
コタン ノシキ
村 真中
村の中央にも
- 3155 hau shitaiki
ハウ シタイキ
声 振り上げる
声があがり、
- 3156 tan inne kunip
タン インネ クニプ
この 大勢である 形式名詞
非常に多くの者たちが
- 3157 ukata terke
ウカタ テレケ
互いの上で 跳ねる
押し合いへし合い逃げ惑った。
- 3158 rabokita
ラボキタ
間に
すると
- 3159 sui inauru koro mat
スイ イナウル コロ マト
再び 冠 持つ 女
再び、冠をかぶった女(クナシリ姫)が
- 3160 tuimabash be
トウイマバシ ベ
遠く走るもの
遠くから走って来た
- 3161 konep ne kusu
コネプ ネ クス
何 繫 根拠
ものだから、
- 3162 konubopbeta-
コヌボフベタ・
汗で
汗で顔を
- 3163 rikan kane
リカン カネ
湿っている 同時
濡らして

第8章 ペケンヌップ彦への復讐

- 3164 i-tuisama ta
イ・トゥイサマ タ
我・側 場所
私のすぐそばに
- 3165 teshkosanu
テシコサヌ
音もなく立つ
音もなく立った。
- 3166 koinkar kusu
コインカラス
見守る 根拠
「もしもし、
- 3167 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 繫 あるもの
神なる人よ、
- 3168 tap korachi
タッ コラチ
これのように
こんなに
- 3169 neita bakno
ネタ バクノ
繫 まで
いつまでも
- 3170 tumunchi batek
トゥムンチ バテッ
戦争 のみ
いくさばかり、
- 3171 rorumbe batek
ロルムベ バテッ
戦闘 のみ
戦いばかりに
- 3172 eyaiturashte wa
エヤイトウラシテ ワ
従事する 接続
従っては、
- 3173 boo e-netobake
ボオ エ・ネトバケ
なおさら 汝・からだ
ますますお体に
- 3174 wen koro an na
ウエン コロ アン ナ
悪い 同時 ある(訴え)
障ります。
- 3175 hetak Otasam kotan
ヘタッ オタサム コタン
さあ オタサム 村
早くオタサム村、
- 3176 e-koro kotan
エ・コロ コタン
汝・持つ 村
あなたの村に
- 3177 kohekomo kunak
コヘコモ クナッ
戻る 引用
お戻り
- 3178 ramu yan
ラム ヤン
思う 命令
なさい。
- 3179 Pekennup kotan
ペケンヌップ コタン
(地名) 村
ペケンヌップ村に
- 3180 oma tumunchi anakne
オマ トゥムンチ アナクネ
ある 戦争 は
起こったいくさには、
- 3181 aokai shinen
アオカイ シネン
我 一人
妾が一人
- 3182 a-ne wa
ア・ネ ワ
我・繫 接続
で
- 3183 a-yaikoashi
ア・ヤイコアシ
我・立ち向かう
向かい
- 3184 kusune na ari
クスネ ナ アリ
意志 (訴え) 引用
ます。」と
- 3185 hawash chiki
ハワシ チキ
言われる 条件
言った。
- 3186 turush kinra ne
トゥルシ キンラ ネ
激しい 狂気 繫
激しい怒りが
- 3187 i-kohetari
イ・コヘタリ
我・頭を上げる
こみあがってきた。
- 3188 konewano sui
コネワノ スイ
どうして 回
どうしてまた、
- 3189 chikeutusare
チケウトウサレ
蘇生する
我を
- 3190 i-y-ekarkar kusu am be
イ・イエカラカラス アム ベ
我・する 根拠 あるもの
介抱しようとする者が
- 3191 Kunashirummat
クナシルムマト
(人名)
クナシリ姫で
- 3192 ne wa kusu
ネ ワ クス
繫 接続 根拠
あるのか、それが
- 3193 i-ramshitnere
イ・ラムシトネレ
我・苛々させる
我を苛々させる。
- 3194 otu sui an ta
オトウスイ アン タ
二つの 回 ある これ
二度も
- 3195 ore sui an ta
オレ スイ アン タ
三つの 回 ある 場所
三度も
- 3196 katkoro hawe
カトコロ ハウエ
振舞う 声
そんなことを
- 3197 okai chiki
オカイ チキ
ある 条件
言うので、
- 3198 wen kinra ne
ウエン キンラ ネ
悪い 狂気 繫
気違いじみた怒りが
- 3199 i-kohetari
イ・コヘタリ
我・頭を上げる
こみあがった。
- 3200 yupke tamkuru
ユッケ タムクル
強い 太刀影
激しい太刀影を
- 3201 a-koterkere
ア・コテレケレ
我・とばす
女のほうへ走らせた。
- 3202 a-ki wa rui be
ア・キ ワ ルイ ベ
我・する 接続 激しいもの
我が激しい刀の
- 3203 eembe notak
エエムベ ノタク
刀 刃
鋭い刃が
- 3204 beken rera ne
ベケン レラ ネ
明るい 風 繫
透明な風となつて
- 3205 echararse
エチャララセ
滑り落ちる
流れた。
- 3206 rabokita
ラボキタ
間に
そのとき、
- 3207 Pekennup um be
ペケンヌップ ウム ベ
(地名) あるもの
ペケンヌップ彦が
- 3208 aribawekur-
アリバウエクル・
口
大声を
- 3209 tenke kane
テンケ カネ
声をあげる 音調
あげて手下に命じた。
- 3210 achikara ta
アチカラ タ
いやなことだ これ
「この腐れ外道の
- 3211 ayakanna ta
アヤカンナ タ
ろくでもないことだ これ
罰当たりめ。
- 3212 Otasam um be
オタサム ウム ベ
オタサム あるもの
オタサム彦が
- 3213 isambe hetap
イサムベ ヘタッ
その心 これ
いなければ
- 3214 shukup kuru
シュクップ クル
成長する 人
若い者と
- 3215 nokan kuru
ノカン クル
小さい 人
幼い者とが
- 3216 uoshikote
ウオシコテ
惚れあう
惚れあえた

- 3217 ne wa kusu
ネ ワ クス
繋 接続 根拠
のに。
- 3218 inunukashki
イヌヌカシキ
可哀想に
可愛そうに
- 3219 a-tureshobo
ア・トゥレシボ
我・妹
我が妹 (ベケンヌプ姫)
- 3220 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繋 接続 繋 譲歩
も
- 3221 shukup matkachi
シュクッ マトカチ
成長する 少女
成長した女兒、
- 3222 shukup menoko
シュクッ メノコ
成長する 女
若い女で
- 3223 ne kusu
ネ クス
繋 根拠
あるから、
- 3224 sambe renkai ne
サムベ レンカイ ネ
心臓 自由意志 繋
想いのおもむくまま、
- 3225 Otasam um be
オタサム ウム ベ
オタサム あるもの
オタサム彦に
- 3226 oshikote ko
オシコテ コ
惚れる 条件
心を寄せてしまい、
- 3227 yaibokashte
ヤイボカシテ
自らを貶める
自らを貶めてへりくだった。
- 3228 kashikobakta
カシコバクタ
その上に
それなのに
- 3229 a-tureshobo
ア・トゥレシボ
我・妹
妹のような
- 3230 ene an kamui
エネ アン カムイ
このようにある 神
たぐいまれな神、
- 3231 ene an bito
エネ アン ビト
このようにある 人
あれほどの神人、
- 3232 pirika shiri
ピリカ シリ
よい 様子
美しい人を
- 3233 chiraike kaiki
チライケ カイキ
殺される も
殺すにしても
- 3234 semkatune
セムカトゥネ
並でなく
無残極まりなく
- 3235 e-karkar ko
エ・カラカラ コ
汝・する 条件
おまえはすると、
- 3236 kashike un sui
カシケ ウン スイ
上 方向 再び
その上さらに
- 3237 hushkotoiwano
フシコトイワノ
ずっと
昔から
- 3238 a-yaikomore p
ア・ヤイコモレ プ
我・一人で治める もの
我が鎮めてきた
- 3239 tapne totto kotan
タップネ トット コタン
これである 母 村
この母なる村、
- 3240 sinrit kotan
シンリット コタン
先祖 村
先祖からの村が
- 3241 Pekennup ne awa
ベケンヌプ ネ アワ
(地名) 繋 展開
ベケンヌップであるのに、
- 3242 i-kowente shiri
イ・コウエンテ シリ
我・害する 様子
我らを害するとは
- 3243 ene okai
エネ オカイ
このように ある
こんなこと
- 3244 tambe ne ya
タムベ ネ ヤ
これ 繋 疑問
なのか。
- 3245 nekona hene
ネコナ ヘネ
どのようににも
どのように
- 3246 katkoro kunip
カトコロ クニップ
振舞う 形式名詞
ふるまう
- 3247 e-ne a p kusu
エ・ネ ア プ クス
汝・である 完了もの 根拠
おまえであろうとも、
- 3248 poon shiknubo
ポオン シクヌボ
本の少しの 生存
ほんの少しの生き延び、
- 3249 poon tusabo
ポオン トゥサボ
本の少しの 回復
ほんのかすかな蘇生しか
- 3250 e-ki nankor wa
エ・キ ナンコロ ワ
汝・する だろう 接続
できないであろう。
- 3251 hokure hokure
ホクレ ホクレ
早く 早く
早く、早く
- 3252 a-utaribo
ア・ウタリボ
我・一族
我が一族の
- 3253 utarorke
ウタロロケ
たち
者らよ、
- 3254 ruino moimoike yan
ルイノ モイモイケ ヤン
甚だしく 動く 命令
よく動け、
- 3255 ruino shichari yan
ルイノ シチャリ ヤン
甚だしく 奮戦する 命令
よく奮戦しろ。
- 3256 Otasam um be
オタサム ウム ベ
オタサム あるもの
オタサム彦は
- 3257 ouse shinen
オウセ シネン
ただ (だけ) 一人
たった一人
- 3258 taban na
タバナ ナ
この (訴え)
ではないか。
- 3259 tunash tuye yan
トゥナシ トウイエ ヤン
素早い 斬る 命令
速やかに斬って
- 3260 tunashi raike yan
トゥナシ ライケ ヤン
速く 殺す 命令
殺してしまえ。]
- 3261 ari hawash chiki
アリ ハワシ チキ
引用 言われる 条件
と言うと、
- 3262 tan inne kunip
タン インネ クニップ
この 大勢である 形式名詞
ものすごい数の者が
- 3263 uwohumse-
ウウオフムセ・
力み声
気合の声を
- 3264 echiu kane
エチウ カネ
突く 音調
かけあった。
- 3265 tu hayok sash hum
トゥ ハヨク サシ フム
二つの 武装する 噪音を立てる 音
武装する
- 3266 re hayok sash hum
レ ハヨク サシ フム
三つの 武装する 噪音を立てる 音
音が数多く
- 3267 aru otukitara
アル オトゥキタラ
(未詳) 金属音が生じる
ガチャガチャと鳴った。
- 3268 iyainumare
イヤイヌマレ
驚いた
なんとも驚いた。
- 3269 hoshkino am be
ホシキノ アム ベ
先に あるもの
初めに攻撃してきた者どもは、

- 3270 poombebo ne
ポオムベボ ネ
ほんの幼い児 繫
ほんの子供の寄せ集めで、
- 3271 neita am be
ネタ アム ベ
繫 あるもの
一体、誰を
- 3272 koiki kunip
コイキ クニッ
攻撃する 形式名詞
撃とうと
- 3273 ne nankora
ネ ナンコラ
繫 だろうか
いうのか。
- 3274 tu ainu ikir
トゥ アイヌ イキリ
二つの人間 列
それがおびたらしい
- 3275 re ainu ikir
レ アイヌ イキリ
三つの人間 列
軍団となって
- 3276 arusoshkamu
アルソシカム
重なる
打ち重なり攻めてきた。
- 3277 kikir bashushke
キキリ バシユシケ
虫 (虫が) わく
虫が湧くのと
- 3278 ekannayukar
エカンナユカラ
ようである
違いがない。
- 3279 num teksama
ヌム テッサマ
集団 すぐそば
群れのすぐそばを
- 3280 an-i-y-ebashte
アニ・イエバシテ
我・走らせる
我は駆けた。
- 3281 inauru kor mat
イナウル コロ マト
冠 持つ 女
冠をかぶる女は
- 3282 i-teksam orke
イ・テッサム オロケ
我・傍 所
我がそばで、我に味方して
- 3283 etamani
エタマニ
斬りつける
太刀を振るった。
- 3284 inne kunip
インネ クニッ
大勢である 形式名詞
多くの兵からなる
- 3285 op kor numi
オプ コロ スミ
槍 持つ 群れ
槍を持つ軍団は
- 3286 eane num ne
エアネ ヌム ネ
細い 集団 繫
細い隊列で
- 3287 i-koyaisana-
イ・コヤイサナ・
我・己を前に
我にかかって
- 3288 sapte kane
サッテ カネ
出す 同時
きた。
- 3289 emush koro numi
エムシ コロ スミ
刀 持つ 群れ
太刀を持つ軍団は
- 3290 barase p kunne
バラセ ヲ クンネ
翻る もの ように
炎のように
- 3291 i-koyaisana-
イ・コヤイサナ・
我・己を前に
我にかかって
- 3292 sapte kane
サッテ カネ
出す 同時
きた。
- 3293 a-opkotata
ア・オッコタタ
我・槍と一緒に叩く
我は槍もろとも打ち叩き、
- 3294 a-opkokaiba
ア・オッコカイバ
我・槍と一緒に折る
槍もろともへし折った。
- 3295 a-emushkotata
ア・エムシコタタ
我・太刀ごとうち叩く
太刀もろとも打ちすえた。
- 3296 konep a-tuye wa
コネプ ア・トゥイエ ワ
何 我・切る 接続
我は何を斬り、
- 3297 konep a-raike wa
コネプ ア・ライケ ワ
何 我・殺す 接続
誰を殺しているのか、
- 3298 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
(地名) ある 女
クナシリ姫、
- 3299 inauru koro mat
イナウル コロ マト
冠 持つ 女
冠をかぶる女の
- 3300 heru tamkuri
ヘル タムクリ
ただの 太刀影
ただ太刀影が
- 3301 chishikayere
チシカイエレ
光が屈折する
閃いて、
- 3302 an-oinkar i
アノインカライ
我・見る 形式名詞
我は
- 3303 tup ne oman
トゥッ ネ オマン
二つ 繫 行く
もうろうとなり、
- 3304 rep ne oman
レップ ネ オマン
三つ 繫 行く
目が定まらなくなった。
- 3305 makanneko
マカンネコ
あるときには
ときおり
- 3306 yainuturainu*40
ヤイヌトゥライヌ
意識が薄れる
気が遠くなった。
- 3307 inne kunip
インネ クニッ
大勢である 形式名詞
大勢が
- 3308 i-koyaisana-
イ・コヤイサナ・
我・己を前に
我に襲い
- 3309 sapte ko
サッテ コ
出す 条件
かかってくると、
- 3310 inauru koro mat
イナウル コロ マト
冠 持つ 女
冠をかぶった女は、
- 3311 i-kikkar kusu
イ・キッカラ クス
我・守る 根拠
我を守るために
- 3312 i-bishkanike
イ・ビシカニケ
我・周囲
私の周りで
- 3313 etamani
エタマニ
斬りつける
刀は振り回していた。
- 3314 a-koyaishikarun
ア・コヤイシカルン
我・気が付く
我は意識が回復すると、
- 3315 wen kinra ne
ウェン キンラ ネ
悪い 狂気 繫
狂おしい怒りが
- 3316 i-kohetari
イ・コヘタリ
我・頭を上げる
こみあがった。
- 3317 ramma tashi
ラムマ タシ
いつも 強調
いつでも
- 3318 tumunchi hontom
トゥムンチ ホントム
戦争 途中
いくさの
- 3319 rorumbé hontom
ロルムベ ホントム
戦闘 途中
庭で
- 3320 a-etui kusu
ア・エトゥイ クス
我・死ぬ 根拠
斬られ、

*40 -anを補う必要があると思う。yainuturainu-an「我は気が遠くなった」

- 3321 a-erai kusu
ア・エライ クス
我・死ぬ 根拠
死ぬ
- 3322 an-an ko
アナン コ
いる・我 条件
覚悟はできていた
- 3323 hetak tunashno
ヘタク トウナシノ
さあ 早く
早く、さっさと
- 3324 i-raike-an yakne
イ・ライケ・アン ヤクネ
我・殺される 条件
殺してくれたら
- 3325 pirika noine am be
ピリカ ノイネ アム ベ
よい らしく ある もの
良いのに、
- 3326 konewano
コネワノ
どうして
なぜか我と同じ
- 3327 a-yairakbare p
ア・ヤイラクバレ プ
我・血筋を引く もの
血筋を引く者、
- 3328 i-yairakbare p
イ・ヤイラクバレ プ
我・血筋を引く もの
我に似た者である
- 3329 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
(地名) ある 女
クナシリ姫で
- 3330 ne wa kusu
ネ ワ クス
繋 接続 根拠
あるからか、
- 3331 neita bakno
ネタ バクノ
繋 まで
いつ
- 3332 ne yakka
ネ ヤッカ
繋 譲歩
までも
- 3333 i-kakewe shiri
イ・カケウエ シリ
我・味方する 様子
我に味方してくれる
- 3334 okai chiki
オカイ チキ
ある 条件
ため、
- 3335 yupke tamkur
ユブケ タムクル
強い 太刀影
我が太刀を激しく
- 3336 a-koterkere
ア・コテレケレ
我・とばす
振るう
- 3337 iki-an chiki
イキ・アン チキ
する・我 条件
と、(ベケンヌプの者たちは)
- 3338 bise yak shiri
ビセ ヤク シリ
浮き袋と 様子
鹿の膀胱がつぶれる
- 3339 shikobayar
シコバヤラ
さながらである
かのようにたわいもない。
- 3340 hentomo ta sui
ヘントモ タ スイ
あるとき 場所 再び
そのさなか、見れば
- 3341 tumi ne kunip
トゥミ ネ クニプ
戦い 繋 形式名詞
争いのため
- 3342 kokurkakonna-
コクルカコンナ・
頭の上
クナシリ姫の髪が
- 3343 charke kane
チャッケ カネ
散らばる 同時
乱れていた。
- 3344 ari an ko
アリ アン コ
引用 ある 条件
とここまで
- 3345 oyak ta terke
オヤク タ テレケ
よそ 場所 跳ねる
よそに飛ぶ。^{*41}
- 3353 arobittano
アロビッタノ
すべて
ことごとく
- 3354 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんが
- 3355 eubashkuma wa
エウバシクマ ワ
物語る 接続
物語って
- 3356 i-nure-an
イ・ヌレ・アン
我・聴かせられる
話してくれた。
- 3357 arkehe ta
アッケヘ タ
半分 場所
半分は
- 3358 chish-an
チシ・アン
泣く・我
泣きながら、
- 3359 arkehe ta
アッケヘ タ
半分 場所
半分は
- 3360 nubetne-an kane
ヌベトネ・アン カネ
喜ぶ・我 同時
喜びながら
- 3361 yaishirit ka
ヤイシリト カ
己の先祖 も
自分の先祖についても
- 3362 yaiutar ka
ヤイウタラ カ
己の一族 も
親族についても
- 3363 a-eraman
ア・エラマン
我・知る
知った。
- 3364 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
わたしのちい兄さん (オタサム彦)
- 3365 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繋 接続 繋 譲歩
も
- 3366 somo i-echutkonno
ソモ イ・エチユトコンノ
否定 我・異なって
私と変わらぬ
- 3367 yainu kotomno
ヤイヌ コトムノ
考える ように
考えであると
- 3368 a-ramu kane
ア・ラム カネ
我・思う 同時
思っ
- 3369 okai-an awa
オカイ・アン アワ
いる・我 展開
いると、

第2段 オタサム姫の語り

第9章 傷つきながら戦う兄を透視する

*41 以下、自叙がオタサム彦からその妹に変わる。

- 3370 shine an to ta
シネ アン ト タ
一つの ある 日 場所
ある日、
- 3371 tapne tapne
タップネ タップネ
これである これである
お爺さんが
- 3372 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
色々教え諭して
- 3373 hawean koro
ハウエアン コロ
言う 同時
ちい兄さんを旅出させた。
- 3374 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
お爺さんは、ちい兄さんの
- 3375 apkash sermaka
アプカシ セレマカ
歩く 背後
歩く後ろに
- 3376 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
お守りの宝物を
- 3377 omare kane
オマレ カネ
置く 同時
付けて、
- 3378 Etorba kotan un
エトロバ コタン ウン
(地名) 村 方向
エトロバ村へ、
- 3379 a-utari or un
ア・ウタリ オルン
我・人々 所 方向
親族の元へ
- 3380 shinewere
シネウエレ
訪問させる
遊びにやった。
- 3381 a-pon a-kor yubi
ア・ボン ア・コロ ユビ
我・小さい 我・もつ 兄
ちい兄さんは
- 3382 orhemkusu
オロヘムクス
いったいどうして
どうした
- 3383 okai nankora
オカイ ナンコラ
ある だろうか
訳なのだろう、
- 3384 oar oman
オアラ オマン
全く 行く
行くのも
- 3385 etoranne kotom
エトランネ コトム
嫌がる ようである
もの憂く、渋っていた。
- 3386 a-ramu kane
ア・ラム カネ
我・思う 同時
そう私には思われた。
- 3387 tunashno
トゥナシノ
早く
早く
- 3388 hoshibi kunak
ホシビ クナク
帰る 引用
帰るようと
- 3389 ye koro oman awa
イエ コロ オマン アワ
言う 同時 行く 展開
送り出したが、
- 3390 keshto hoshibi
ケシト ホシビ
毎日 帰る
日々待っても、戻る
- 3391 ruwe ka isam
ルウェ カ イサム
跡 も ない
気配がなかった。
- 3392 otu wan keshto
オトゥ ワン ケシト
二つの 十の 毎日
毎日毎日
- 3393 ore wan keshto
オレ ワン ケシト
三つの 十の 毎日
二つの十日、三つの十日
- 3394 a-tere
ア・テレ
我・待つ
待って
- 3395 a-ekahunara*42 yakka
ア・エカフナラ ヤッカ
我・(未詳) 譲歩
も
- 3396 oar somo ek
オアラ ソモ エク
全く 否定 来る
まるで戻って来なかった。
- 3397 tomota ne wa
トモタ ネ ワ
途中で 繋 接続
時として
- 3398 nisomap keutum
ニソマップ ケウトウム
心配する 心
心寂しく
- 3399 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
思った。
- 3400 monak oman
モナク オマン
そうでなくても 行く
それでも行くのが
- 3401 ekatubase ruwe
エカトゥバセ ルウェ
嫌がる 跡
やむをえぬことだった、と
- 3402 keutum ot ta
ケウトウム オト タ
心 所 場所
心の中で
- 3403 a-eyaiko-
ア・エヤイコ・
我：自ら
一人
- 3404 uyebeker kane
ウイエベケレ カネ
物語る 同時
とつおいつ
- 3405 yainu awa
ヤイヌ アワ
考える 展開
考えたが、
- 3406 sone makan
ソネ マカン
らしく どのように
なんとか、
- 3407 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
ちい兄さんの
- 3408 apkash tuika ta
アプカシ トウイカ タ
歩く 上 場所
歩む間に
- 3409 somonep
ソモネップ
Eng. nothing
何事も
- 3410 erannak no
エランナク ノ
気にかける 接続
わずらいなく、
- 3411 utarihi teksama
ウタリヒ テッサマ
人々 すぐそば
親族の元に
- 3412 koshireba koroka
コシレバ コロカ
到着する 逆接
無事到着したとしても
- 3413 hetapne
ヘタップネ
このように
こう
- 3414 hoshippa moire
ホシッパ モイレ
帰る 遅い
戻ってくるのが遅い
- 3415 ruwe okai chiki
ルウェ オカイ チキ
跡 ある 条件
ので、
- 3416 kunne hene
クンネ ヘネ
夜 も
夜も
- 3417 tokap hene
トカプ ヘネ
昼 も
昼も
- 3418 nisomap*43 batek
ニソマップ バテック
心配する のみ
心配し、
- 3419 hotashnu batek
ホタシヌ バテック
びくびくする のみ
不安に思っばかり

*42 ekahunara 未詳。hunara「探す」。ka「糸」、eka「(糸を)よる」という語はある。あるいは「それで糸を探す」という意味の語か。

*43 原綴りは nisobap。

- 3420 a-ki kane
ア・キ カネ
我・する 音調
であった。
- 3421 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 3422 inunukashki
イヌヌカシキ
可哀想に
お気の毒に
- 3423 onne tuika ta
オンネ トウイカ タ
老いる上 場所
老いの深まるうちに
- 3424 anihi ne yakka
アニヒ ネ ヤッカ
彼 繫 譲歩
自らも
- 3425 shino nisomap rui be
シノ ニソマッ ルイ ベ
まことに心配する 激しいもの
なかなか案じて
- 3426 konep ne kusu
コネッ ネ クス
何 繫 根拠
いるものだから、
- 3427 keshto an ko
ケシト アン コ
毎日 ある 条件
毎日
- 3428 nekon ne ruwe
ネコン ネ ルウェ
どのように 繫 跡
「どうしたことか。
- 3429 tapne sone
タッネ ソネ
これである らしく
これでは、
- 3430 makan a-nitpo tono
マカン ア・ニトポ トノ
どのように 我・孫(娘) 殿
どれほど我が孫が
- 3431 abunno ratchitara
アブノ ラトチタラ
静かに 穏やかである
穏やかに
- 3432 konep ebetchiu
コネッ エベチウ
何 川に転落する
何の事故にも
- 3433 koisamno
コイサムノ
無く
遭うことなく、
- 3434 apkash koroka
アッカシ コロカ
歩く 逆接
歩いたとしても、
- 3435 hetapne
ヘタッネ
このように
これでは
- 3436 or mashkino
オロ マシキノ
所 あまりに
余りにも
- 3437 hoshibi moire kashba
ホシビ モイレ カシバ
帰る 遅い 甚だしい
帰りが遅すぎる
- 3438 ruwe okaibe ne ya
ルウェ オカイベ ネ ヤ
跡 あるもの 繫 疑問
ではないか。
- 3439 i-keshke p batek
イ・ケシケッ バテッ
我・嫉む もののみ
我らを嫉む者ばかり、
- 3440 i-nonchip batek
イ・ノンチッ バテッ
我・魂を愚弄する のみ
我らの魂をいたぶる者ばかりが
- 3441 hushkotoiwano
フシコトイワノ
ずっと
以前から、
- 3442 uwatte wa kusu
ウワテ ワ クス
集まる 接続 根拠
虫のようにたかっているため
- 3443 tapne
タッネ
これである
だからこそ、
- 3444 kamuikorobe hemem
カムイコロベ ヘム
宝物 も
宝物(トンビ)などを
- 3445 kashkamui ne
カシカムイ ネ
守り神 繫
お守りとして
- 3446 a-kore kane
ア・コレ カネ
我・与える 同時
与えて
- 3447 a-apkashte awa
ア・アッカシテ アワ
我・歩かせる 展開
行かせたが、
- 3448 nekon ne ruwe taan
ネコン ネ ルウェ タアン
どのように 繫 跡 この
どうしたことか。
- 3449 orkikita
オロキキタ
やむを得ないなら
いっそのこと、
- 3450 itekika
イテキカ
(否定)
送りださない
- 3451 a-omante a yakne
ア・オマンテ ア ヤクネ
我・行かせる 座る 条件
ほうが
- 3452 pirika noine am be
ピリカ ノイネ アム ベ
よい らしく あるもの
良かったようだ。」
- 3453 ari yayashish hawe
アリ ヤヤシシ ハウエ
引用 くやしがる 声
と悔やむ嘆きの声を
- 3454 kari kane
カリ カネ
回る 音調
あげていた。
- 3455 makan ne ko
マカン ネ コ
どのように 繫 条件
ある時は
- 3456 tu kishnu nube
トゥ キッシュ ヌベ
二つの 僅かな 涙
めそめそと
- 3457 re kishnu nube
レ キッシュ ヌベ
三つの 僅かな 涙
涙を
- 3458 yaikorapte
ヤイコラッテ
一人で流す
流し、
- 3459 tu okne itak
トゥ オクネ イタク
二つの 悲しむ 言葉
嘆き悲しむ
- 3460 re okne itak
レ オクネ イタク
三つの 悲しむ 言葉
言葉を
- 3461 utasare
ウタサレ
交換しあう
繰り返した。
- 3462 shiriki chiki
シリキ チキ
見える 条件
それを見て、
- 3463 hawash chiki
ハワシ チキ
言われる 条件
それを聞いて
- 3464 konepkeukata
コネッケウカタ
(無意味な句)
コネッケウカタ
- 3465 konepkashita
コネッカシタ
(無意味な句)
コネッパカシタ
- 3466 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
私のお爺さんが
- 3467 tane ene ruwe am be
タネ エネ ルウェ アム ベ
今 このように 跡 あるもの
ちい兄さんが戻らないことで
- 3468 keshto hembara bakno
ケシト ヘムバラ バクノ
毎日 いつ まで
毎日、いつまでも独り言して
- 3469 ene wen yaikouyebeker
エネ ウェン ヤイコウイェベケル
このように 悪い 一人思いわずらう
自責の念に苦しみ、
- 3470 eyairamshitnere shiri
エヤイラムシトネレ シリ
心を腐らせる 様子
心を腐らせている姿を
- 3471 sonno chietuyashkarap
ソンノ チエトウヤシカラッ
真に 可愛く思う
私は
- 3472 a-ekarkar
ア・エカラカラ
我・する
憐れんだ。

- 3473 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 繫 譲歩
私も
- 3474 keshto an ko
ケシト アン コ
毎日 ある 条件
毎日
- 3475 tu beken nube
トゥ ベケン スベ
二つの 明るい 涙
透きとおった涙を
- 3476 re beken nube
レ ベケン スベ
三つの 明るい 涙
ポロポロ
- 3477 a-yaikoranke
ア・ヤイコランケ
我・みずから流す
こぼした。
- 3478 kunne an ko
クンネ アン コ
夜 ある 条件
日が暮れると、
- 3479 mokoro boka
モコロ ボカ
眠る だけ
眠るのも
- 3480 an-etoranne
アネトランネ
我・いやがる
疎ましく、
- 3481 sotki ka ta
ソトキ カ タ
寝床 上 場所
寝床で
- 3482 a-yainubeko-
ア・ヤイヌベコ・
我・自らの涙
涙を
- 3483 shiru kane
シル カネ
こする 同時
こすっていた。
- 3484 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さん
- 3485 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
繫 接続 繫 譲歩
も、
- 3486 nei no keshto
ネ ノ ケシト
繫 接続 毎日
同じように毎日
- 3487 yayeramushitne shiri
ヤイエラムシトネ シリ
気を腐らせる 様子
気を腐らせている。その姿を
- 3488 sonno an-erambekon kane
ソンノ アネラムベコン カネ
真に 我・憐れむ 同時
私は実に気の毒にももって
- 3489 an-an awa
アナン アワ
いる・我 展開
いた。
- 3490 chapter
チャプテレ
章
章9 透視してちい兄さんの戦いを見る
- 3491 shine an to ta
シネ アン ト タ
一つのある日 場所
ある日、
- 3492 tu onuman i be
トゥ オヌマニ ベ
二つの タベ 形式名詞 もの
二つの夕食、
- 3493 re onuman i be
レ オヌマニ ベ
三つの タベ 形式名詞 もの
三つの夕食*44 が
- 3494 ibe ruwoka
イベ ルウォカ
食事する 跡
すんで、その後が
- 3495 chiobashbare
チオバシバレ
過ぎさせる
片付くと、
- 3496 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 3497 hotke i moire
ホトケ イ モイレ
寝る 形式名詞 遅い
横になるや
- 3498 etorotanne-
エトロタンネ・
いびきを長く
いびきを
- 3499 suiiba kane
スイバ カネ
揺する 音調
長々とかいた。
- 3500 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 繫 譲歩
私も
- 3501 hotke ekasu
ホトケ エカス
寝る 越える
眠けに耐えられず
- 3502 pirika mokoro
ピリカ モコロ
よい 眠る
よい眠り、
- 3503 torse mokor
トロセ モコロ
寝息を立てる 眠る
健やかな寝息が
- 3504 i-annoyekar
イ・アンノイエカラ
我・全く捻られる
私に絡みついた。
- 3505 a-einkar shiki
ア・エインカラ シキ
我・?で見る 目
目が
- 3506 chinomaka
チノマカ
広く開く
ぱっちり開いた。
- 3507 rorunburai
ロリンブライ
神窓
神窓に
- 3508 burai ot be
ブライ オト ベ
窓 所 もの
下がるこもを
- 3509 sepka utur
セツカ ウトゥル
簾の隙間 間
透かし
- 3510 a-shikbosore
ア・シクボソレ
我・目を通す
見た。
- 3511 a-koro ekashi ashi
ア・コロ エカシ アシ
我・もつ 老人 立てる
お爺さんが立てた
- 3512 taban boro nusa
タバン ボロ ヌサ
この 大きい 祭壇
とても大きな
- 3513 nusa tap kashi
ヌサ タッ カシ
祭壇 これ上
幣棚の頂に
- 3514 a-shikkoteshu
ア・シッコテシユ
我・
視線を伸ばすと
- 3515 nusa bake wa
ヌサ バケ ワ
祭壇 先頭 から
その東端に
- 3516 urar ruika
ウララ ルイカ
霧 橋
もやの橋が
- 3517 chishiturire
チシトゥリレ
伸びる
伸びていた。
- 3518 neita bakno
ネタ バクノ
繫 まで
どこまで伸びるのか、
- 3519 taban urar ruika
タバン ウララ ルイカ
この 霧 橋
大きなもやの橋は
- 3520 kanto rabok
カント ラボク
天 間
天の間に
- 3521 chiteshure
チテシユレ
反る
反って
- 3522 shituri ruwe
シトゥリ ルウエ
伸びる 跡
伸び
- 3523 oman ruwe
オマン ルウエ
行く 跡
行く、その

*44 この行の訳は仮のもの。

- 3524 nubekihi
ヌベキヒ
輝き
光が
- 3525 kenash so kurka
ケナシ ソ クルカ
木原 平面上
川岸の林の上を
- 3526 eemaknatara
エエマツナタラ
輝いている
明るくした。
- 3527 ruika kurka
ルイカ クルカ
橋 上
橋の上を
- 3528 neita bakno
ネタ バクノ
繫 まで
どこまでも
- 3529 a-shikkoteshu
ア・シッコテシュ
我・
目でたどって
- 3530 inkar-an aine
インカラ・アン アイネ
見る・我 接続
いくと、
- 3531 konep kotani
コネッ コタニ
何 村
なんという村
- 3532 ne nankora
ネ ナンゴラ
繫 だろうか
なのか、
- 3533 inne kotan
インネ コタン
大勢である 村
大きな村、
- 3534 pirika kotan
ピリカ コタン
よい 村
美しい村があって、
- 3535 kotan kurkashi
コタン クルカシ
村 上
それが
- 3536 koteshnatara
コテシナタラ
平らになっている
平らに広がっていた。
- 3537 hontomo ta
ホントモ タ
途中 場所
そうこうするうち、
- 3538 kotan noshkike
コタン ノシキケ
村 真中
村の中央に
- 3539 batkosanu
バトコサヌ
跳ねとばす
爆音がして、
- 3540 kanakankunip
カナカンクニッ
何者か
何者か、
- 3541 semorborono
セモロボロノ
さして大きくない
さして大きくない、
- 3542 pon urar tapkop
ボン ウララ タッコッ
小さい 霧 小山
人を包むささやかな霧の小山、
- 3543 wen kem urar
ウェン ケム ウララ
悪い 針 霧
不吉な血煙が
- 3544 koekomomse p
コエコモムセ ヲ
かぶさる もの
蔽いかぶさった人が
- 3545 chiterkere^{*45}
チテレケレ
跳ぶ
走っていた。
- 3546 taban kotan
タバン コタン
この 村
その村は、
- 3547 nekon ne^{*46} shiri ne
ネコン ネ シリ ネ
どのように 繫 様子 繫
いったい、
- 3548 nankora
ナンゴラ
だろうか
どうなっているのか。
- 3549 chibatubatu
チバトゥバトゥ
吹きあがる
ものが跳ね上がり、
- 3550 chicharichari
チチャリチャリ
散らばる
散らばっていた。
- 3551 shirush tumunchi
シルシ トウムンチ
ひどい 戦争
激しい戦、
- 3552 shirush rorumbe
シルシ ロルムベ
ひどい 戦闘
猛烈な戦闘が
- 3553 ukohetuku
ウコヘトゥク
共に起こる
次々と巻き起こった。
- 3554 saure rametok
サウレ ラメトク
軽輩の 勇者
他愛もない勇者が
- 3555 utaroroshma p
ウタロシマ ヲ
軍勢に立ち向かう もの
軍勢に
- 3556 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
繫 接続 繫 条件
立ち向かっているならば
- 3557 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである 逆接
さしたることもないあろうが、
- 3558 shino rametok
シノ ラメトク
まことに 勇者
真の勇者が
- 3559 utaroroshma p
ウタロシマ ヲ
軍勢に立ち向かう もの
戦いに
- 3560 konep ne kusu
コネッ ネ クス
何 繫 根拠
挑んでいるものだから、
- 3561 kanto rabok
カント ラボク
天 間
天の間が
- 3562 koturimimse
コトゥリミムセ
響き渡る
どよめいた。
- 3563 tan inne kunip
タン インネ クニッ
この 大勢である 形式名詞
非常に多くのものが、
- 3564 ukata moyoike kane
ウカタ モヨイケ カネ
互いの上で うごめく 音調
上になり下になり動めいていた。
- 3565 utat teksama
ウタト テックスア
人々 すぐそば
その者どものそばに
- 3566 kanakankunip
カナカンクニッ
何者か
何者かが
- 3567 wen kem urar
ウェン ケム ウララ
悪い 針 霧
血のもやに
- 3568 koekomomse p
コエコモムセ ヲ
かぶさる もの
おおわれている。その
- 3569 tu urar ikkeu
トゥ ウララ イッケウ
二つの 霧 元
二つのもやの元を、
- 3570 re urar ikkeu
レ ウララ イッケウ
三つの 霧 元
三つのもやの元を
- 3571 a-kocharikar aine
ア・コチャリカラ アイネ
我・払いのける 接続
私は払いのけて
- 3572 inkar-an awa
インカラ・アン アワ
見る・我 展開
見ると、
- 3573 a-shiketoko
ア・シケトコ
我・目先
目が

*45 末尾の-re は後で書き加えられたもの。

*46 nekon ne の原綴りは konne。ne-を補う。

- 3574 raikosanu
ライコサヌ
くらむ
くらんだ。
- 3575 somokaun sui
ソモカウン スイ
よもや 再び
よもやまた
- 3576 inkar-an kuni
インカラ・アン クニ
見る・我 必然
目にしようとは
- 3577 a-ramu rok i
ア・ラム ロキ
我・思う 完了 形式名詞
思わなかった
- 3578 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
ちい兄さんの
- 3579 mi kosonte
ミ コソンテ
着る 小袖
身につけている小袖が
- 3580 eitumamor-
エイトウマモロ・
胴
着崩れ、
- 3581 noiba kane
ノイバ カネ
ねじる 音調
よれよれになっていた。
- 3582 kam nubeki
カム スベキ
肉 光
肌の輝きが
- 3583 shikushtoi kunne
シクシトイ クンネ
よく晴れた日和 ように
日の光のように
- 3584 komaknatara
コマクナタラ
輝いている
あたりを差していた。
- 3585 pon benram ka ta
ボン ベンラム カタ
小さい 胸 上 場所
小さな胸⁴⁷の上に
- 3586 kani bara op
カニ バラ オプ
黄金 幅広い 槍
金の広刃の槍、
- 3587 rukani bara op
ルカニ バラ オプ
毒の 幅広い 槍
水銀の広刃の槍の
- 3588 etuhu etuk
エトゥフ エトゥク
先端 突き出す
穂先が突き出していた。
- 3589 ruwe konna
ルウェ コンナ
跡 は
その刃は
- 3590 tonnatara
トンナタラ
輝く
金属の輝きであった。
- 3591 op etoko
オプ エトコ
槍 前方・先
その先には
- 3592 otu kam not
オトゥ カム ノト
二つの 肉 一口分
二つの肉の塊、
- 3593 ore kam not
オレ カム ノト
三つの 肉 一口分
三つの肉の塊が
- 3594 chikotaktaku
チコタクタク
張り付いている
張り付いていた。
- 3595 bara op bishkanike
バラ オプ ビシカニケ
幅広い 槍 周囲
広刃の槍の周りは、
- 3596 rukani koishum
ルカニ コイシュム
毒の 泡
水銀の泡が
- 3597 koebarse
コエバラッセ
翻る
まわり、
- 3598 koebuyuse
コエブユイセ
湿る
湿っていた。
- 3599 seturu ta
セトゥル タ
背中 場所
背中に (突き出た)
- 3600 bara op
バラ オプ
幅広い 槍
広刃の槍 (の柄) は
- 3601 chioarkaye kane
チオアラカイエ カネ
すっかり折れる 音調
ポッキリと折れていて、
- 3602 oshmake wa
オシマケ ワ
その背後 から
ちい兄さんの後ろからも
- 3603 kotchake wa
コトチャケ ワ
前 から
前からも
- 3604 arka kemi
アラカ ケミ
痛い 血
痛々しい血が
- 3605 tunnai sone
トゥンナイ ソネ
滝 らしく
滝のように流れていた。
- 3606 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
ちい兄さんの
- 3607 ibottum konna
イボトトム コンナ
顔色 は
顔色は
- 3608 koshumnatara
コシユムナタラ
萎れている
萎れきっているが、
- 3609 kipnekoroaka
キップネコロカ
しかし
しかし
- 3610 rametok sone
ラメトク ソネ
勇者 らしく
勇者らしく
- 3611 rametok ibor
ラメトク イボロ
勇者 顔色
その気品が
- 3612 eibottumu-
エイボトトム・
顔色
顔色の中に
- 3613 shinnai kane
シンナイ カネ
違った 音調
際立ってみえた。
- 3614 einkarkunip
エインカラクニップ
目
その眼は
- 3615 tu pon nochiu ne
トゥ ボン ノチウ ネ
二つの 小さい 星 繫
二つの小さな星のように
- 3616 uweutuisam-
ウウエウトウイサム・
等間隔に
並びあって
- 3617 ante kane
アンテ カネ
あらしめる 音調
いた。
- 3618 irushka rui be
イルシカ ルイ ベ
怒る 激しいもの
激しい怒りの
- 3619 konep ne kusu
コネップ ネ クス
何 繫 根拠
ため、
- 3620 einkarshiki
エインカラシキ
目
眼に
- 3621 kokemritoshma
コケムリトシマ
血管が走る
血管が走っていた。
- 3622 konepkeukata
コネップケウカタ
(無意味な句)
コネップケウカタ
- 3623 konepkashita
コネップカシタ
(無意味な句)
コネップカシタ
- 3624 ene okai be
エネ オカイ ベ
このように ある もの
そんな姿のちい兄さんの

⁴⁷ 少年の胸。ちい兄さんは少年である。

- 3625 neike sambe o wa
ネケ サムベ オ フ
どこに心臓 ある 接続
どこに心臓があるのか、
- 3626 tap ne
タペ ネ
これ 繋
これほどの
- 3627 tan inne kunip
タン インネ クニフ
この 大勢である 形式名詞
大勢の者の中に、
- 3628 kotametaye
コタメタイエ
刀を抜く
刃を抜き、
- 3629 wen kem urar
ウェン ケム ウララ
悪い 針 霧
濛々とした血の煙を
- 3630 shiokote
シオコテ
後ろに引く
後ろに引いて
- 3631 oro oshma i
オロ オシマ イ
所 ぶつかる 形式名詞
突入すると、
- 3632 pon toi bakno
ボン トイ バクノ
小さい 土 まで
大小
- 3633 boro toi bakno
ボロ トイ バクノ
大きい 土 まで
さまざまな土くれの大きさに
- 3634 nanke nanke kane
ナンケ ナンケ カネ
刈る 刈る 音調
襲いかかる者を薙ぎ払った。
- 3635 aine aine
アイネ アイネ
接続 接続
薙ぎ払っているうちに
- 3636 konep kotani
コネフ コタニ
何 村
どこの村なのか、
- 3637 wentoikantoi
ウェントイカントイ
墓地の表土
掘り返された畑の土のように
- 3638 kokirukar
コキルカラ
ひっくり返す
掻きまわした。
- 3639 taban tumunchi
タバト トウムンチ
この 戦争
この闘争が
- 3640 tumunchi oka
トウムンチ オカ
戦争 あと
終了して
- 3641 chakkosanu
チャッコサヌ
静まり返る
あたりは静まり返った。
- 3642 yak a-ramu
ヤク ア・ラム
と 我・思う
闘争の終了を我は知った。
- 3643 kamui nishka
カムイ ニシカ
神 上空
ちい兄さんが大空に
- 3644 korikoshma
コリコシマ
飛び上がる
すばやく立ち昇り、
- 3645 ek hum konna
エック フム コンナ
来る 音 は
帰って行く音が
- 3646 keurototke
ケウロトトケ
響く
ごうごうと響いた。
- 3647 inehunak ta
イネフナック タ
どこかへ 場所
どこかであろうか、
- 3648 sui inne kotan
スイ インネ コタン
再び 大勢である 村
再び大きな村が見えて、
- 3649 kotan kurka
コタン クルカ
村 上
村の表は穏やかに
- 3650 koteshnatara
コテシナタラ
平らになっている
広がっていた。
- 3651 nekon nekon ne
ネコン ネコン ネ
どのように どのように 繋
どうしてどうして、なんのなんの
- 3652 aine sui
アイネ スイ
接続 再び
そうこうするうち再び
- 3653 nei ta am be
ネ タ アム ベ
繋 場所 あるもの
そこにいる者が
- 3654 koiki kunip
コイキ クニフ
攻撃する 形式名詞
戦いを挑んで
- 3655 kikir basushke
キキリ バスシケ
虫 湧く
虫の湧く
- 3656 ekannayukar
エカンナユカラ
ようである
ように現れた。
- 3657 num teksama
ヌム テックスアマ
集団 すぐそば
その集団に対して、
- 3658 sui
スイ
再び
再び
- 3659 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
ちい兄さんは
- 3660 etamani
エタマニ
斬りつける
刀を取った。
- 3661 kanakankunip
カナカンクニフ
何者か
何者かが
- 3662 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
ちい兄さんの
- 3663 bishkanike
ビシカニケ
周囲
周りを
- 3664 choyubu
エホユブ
走る
走った。
- 3665 tu urar ikkeu
トゥ ウララ イッケウ
二つの 霧 元
その者を包む
- 3666 re urar ikkeu
レ ウララ イッケウ
三つの 霧 元
多くのもやの元を
- 3667 a-kocharikar
ア・コチャリカラ
我・払いのける
我は払いのけた。
- 3668 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 条件
見れば、
- 3669 iyainumare
イヤイヌマレ
驚いた
驚いたことに
- 3670 ne kotan koro be
ネ コタン コロ ベ
繋 村 持つもの
どの村を統べる者なのか、
- 3671 ne moshiri koro be
ネ モシリ コロ ベ
繋 国土 持つもの
いずれの国を統べる者
- 3672 okai nankora
オカイ ナンコラ
ある だろうか
なのか、
- 3673 pom menoko
ポム メノコ
小さい 女
娘であって、
- 3674 tamba teta
タムバ テタ
今年 ここで
ようやく今年、
- 3675 i-turkasuno
イ・トゥルカスノ
我・以上
我より少しばかり
- 3676 chishikupka
チシクプカ
成長する
年かさ
- 3677 kotomno a-ramu
コトムノ ア・ラム
ように 我・思う
思われる。

- 3678 pom menoko okai
ポム メノコ オカイ
小さい女 ある
こんなに美しい娘がいるの
- 3679 nankora
ナンコラ
だろうか
だろうか。
- 3680 kani chikirbe
カニ チキリベ
黄金 刺繍衣
金の刺繍衣、
- 3681 kamui chikirbe
カムイ チキリベ
神 刺繍衣
神の刺繍衣を
- 3682 arutomechiu
アルトメチウ
身にまとう
身にまとい、
- 3683 huihuinawano
ファイイナワノ
隅々まで
どこもかしこも
- 3684 a-erayap
ア・エラヤッ
我・感心する
驚くべき
- 3685 kamui shiri ne okai be
カムイ シリ ネ オカイ ベ
神 様子 繫 ある もの
神々しいなりの者が
- 3686 konepba shino
コネツバ シノ
何か まことに
何を
- 3687 okihi ki
オキヒ キ
悲しみ(?) する
悲しみ
- 3688 eimokir kunip
エイモキリ クニア
嘆く 形式名詞
嘆いて
- 3689 okai nankora
オカイ ナンコラ
ある だろうか
いるのか、
- 3690 kurka konna
クルカ コンナ
上 は
身に心の
- 3691 koshitnatar
コシタタラ
心が苦しい
悩みを漂わせていた。
- 3692 hushkotoiwano
フシコトイワノ
ずっと
しばらく
- 3693 chish be ne kusu
チシ ベ ネ クス
泣く もの 繫 根拠
泣いていたので、
- 3694 shikrap emko
シクラッ エムコ
まつげ 半分
まつげの半分しか
- 3695 koetukukke
コエトウクケ
突き出る
立って
- 3696 kane okai be
カネ オカイ ベ
同時・音調 ある もの
いない
- 3697 ne koroka
ネ コロカ
繫 逆接
けれど、
- 3698 enewaboka
エネワボカ
どうにも
どうにも
- 3699 a-reka i ka
ア・レカ イ カ
我・ほめる 形式名詞 も
- 3700 isam kane
イサム カネ
ない 音調
ない美しさであった。
- 3701 pon a-kor yubi oro wa
ボン ア・コロ ユビ オロワ
小さい我・もつ 兄 所 から
ちい兄さんに
- 3702 a-tuimanoshba
ア・トゥイマノシバ
遠くから追いかけられる
遠くから、
- 3703 a-hankenoshba
ア・ハンケンノシバ
近くに追って追いかけられる
近くから追いかけている。
- 3704 uturu an ko
ウトウル アン コ
間 ある 条件
その間、
- 3705 orowano sui
オロワノ スイ
始点 再び
またもや
- 3706 taban tumunchi
タバン トゥムンチ
この 戦争
激しい戦いが
- 3707 ukohetuku
ウコヘトウク
共に起こる
一斉に始まった。
- 3708 oroneambe
オロネアムベ
はなはだしく
争う音が
- 3709 koturimimse
コトゥリミムセ
響き渡る
響き渡った。
- 3710 aine aine sui
アイネ アイネ スイ
接続 接続 再び
そうこうするうち、再び
- 3711 taban kotan
タバン コタン
この 村
大きな村の
- 3712 wentoikantoi
ウェントイカントイ
墓地の表土
地面が
- 3713 a-kokirukar
ア・コキルカラ
我・ひっくり返す
ひっくり返された。
- 3714 tumunchi oka
トゥムンチ オカ
戦争 あと
戦いがやみ、
- 3715 rorumbe oka
ロルムベ オカ
戦闘 あと
いくさが終わり
- 3716 chakkosanu
チャッコサヌ
静まり返る
静まり返った
- 3717 kotom iramu-an
コトム イラム・アン
ようである 思われる
らしい。
- 3718 imakake ta
イマカケ タ
その後 場所
そのあと、
- 3719 sui pon a-kor yubi
スイ ボン ア・コロ ユビ
再び 小さい我・もつ 兄
再びちい兄さんの
- 3720 kamui nishka
カムイ ニシカ
神 上空
大空に
- 3721 korikoshma
コリコシマ
飛び上がる
ボンと昇り
- 3722 ek hum konna
エック フム コンナ
来る 音 は
来る音が
- 3723 keurototke
ケウロトトケ
響く
響いた。
- 3724 hunak ta sui
フナック タ スイ
どこ 場所 再び
どこか再び
- 3725 inne kotan
インネ コタン
大勢である 村
大きな村の
- 3726 kotan kurka
コタン クルカ
村 上
上が
- 3727 koteshtnatar
コテシタタラ
平らになっている
凪いだように穏やか広がっていた。
- 3728 kotan enkashi
コタン エンカシ
村 離れた上
村の上空を
- 3729 eshisuye yak
エシスイエ ヤク
旋回する と
ちい兄さんが旋回しているように
- 3730 a-ramu
ア・ラム
我・思う
思われた
- 3731 sui taban tumunchi
スイ タバン トゥムンチ
再び この 戦争
再び大きな争いが

- 3732 ukohobuni
ウコホブニ
皆立ち上がる
出来した。
- 3733 hoshki am be
ホシキ アム ベ
先に あるもの
初めに襲ってきた者は
- 3734 poombebo ne
ポオムベボ ネ
ほんの幼い児 繫
ほんの幼い者であった。
- 3735 tan inne utar
タン インネ ウタラ
この大勢である人々
多くの者どもが
- 3736 arusoshkamu
アルソシカム
重なる
重なるように襲ってきて、
- 3737 kikir basushke
キキリ バスシケ
虫 湧く
虫の湧き、
- 3738 koenununke
コエヌヌンケ
みなぎる
あたりにみなぎる
- 3739 semkorachi
セムコラチ
まるで(する)ように
ようになった。
- 3740 utat teksama
ウタト テッサマ
たち すぐそば
者どものすぐ目の前を
- 3741 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
ちい兄さんは
- 3742 chiebashte
チエバシテ
走る
走り、
- 3743 nei samake ta
ネ サマケ タ
繫 そば 場所
そのそばを
- 3744 sui nea pom menoko
スイ ネア ポム メノコ
再びあの小さい女
再びあの娘が
- 3745 chiebashte
チエバシテ
走る
走った。
- 3746 monak pirika p
モナク ピリカ プ
そうでなくてもよいもの
さらでだに美しい娘は
- 3747 sui kani inauru
スイ カニ イナウル
再び黄金 冠
再び金のイナウの冠、
- 3748 kamui inauru
カムイ イナウル
神 冠
神の冠を
- 3749 kimui rarire
キムイ ラリレ
頭 押さえつける
頭に載せて、
- 3750 tambe boo
タムベ ボオ
これ なおさら
それですます
- 3751 eoya nanka
エオヤ ナンカ
異なる 顔面
際立った容貌、
- 3752 eoya shirika
エオヤ シリカ
異なる 表面
人と異なる姿と
- 3753 iyeunu
イイエウヌ
つく
なり、
- 3754 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
ちい兄さんを助けるため、
- 3755 teksama etamani
テッサマ エタamani
すぐそば 斬りつける
そばで刀を振るった。
- 3756 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
ちい兄さんは
- 3757 makanneko
マカンネコ
あるときには
ときに
- 3758 shuat bakno
シュアト バクノ
鍋の弦 まで
鍋の弦ほどに
- 3759 yainuturainu
ヤイヌトゥライヌ
意識が薄れる
もうろうとして、
- 3760 yainittekka kane
ヤイニトテッカ カネ
硬直する 同時
立ちすくんだ。
- 3761 okai ko
オカイ コ
ある 条件
すると、
- 3762 inne kunip
インネ クニッ
大勢である 形式名詞
大勢の者どもが
- 3763 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
ちい兄さんを
- 3764 ukootke
ウコオトケ
皆で突く
衝き、
- 3765 ukotauki
ウコタウキ
皆で斬る
斬ろうと
- 3766 kusune ko
クスネ コ
意志 条件
した。すると
- 3767 inauru koro mat
イナウル コロ マト
冠 持つ 女
イナウの冠をかぶる女は
- 3768 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
ちい兄さんの
- 3769 bishkanike
ビシカニケ
周囲
まわりで
- 3770 etamani
エタamani
斬りつける
刀を振るい、それを妨げた。
- 3771 or un
オルン
所 ある
すると
- 3772 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
ちい兄さんは、
- 3773 yaishikarun ko
ヤイシカルン コ
覚醒する 条件
意識がもどり、
- 3774 cha hebita
チャ ヘビタ
切る 跳ね返る
小枝が跳ね返る
- 3775 shikobayar
シコバヤラ
さながらである
ように
- 3776 inauru koro mat
イナウル コロ マト
冠 持つ 女
イナウの冠の女
- 3777 yupke tam kur
ユッケ タム クル
強い 刀 影
激しい太刀を
- 3778 koterkere
コテレケレ
とばす
浴びせた。
- 3779 haita haita
ハイタ ハイタ
欠く 欠く
太刀はねらいをはずした。
- 3780 otamkote kane
オタムコテ カネ
斬りつける (程度)
兄は太刀を持って
- 3781 toikonoshba
トイコノシバ
激しく追う
激しく追いかけた。
- 3782 ehaita kar be
エハイタ カラ ベ
欠く するもの
ねらいをはずした者、
- 3783 inne kunip
インネ クニッ
大勢である すべきもの
大勢の者を
- 3784 oro tuye
オロ トウイエ
場所 斬る
斬り

- 3785 oro chari
オロ チャリ
場所 散らす
散らした。
- 3786 tu kamui rai hum
トゥ カムイ ライ フム
二つの 神 死ぬ 音
神の死ぬ音が
- 3787 re kamui rai hum
レ カムイ ライ フム
三つの 神 死ぬ 音
何度も
- 3788 arukesure
アルケスレ
続く
鳴り続けた。
- 3789 inkan ne wa
インカン ネ ワ
見る (繫辞類) (接続)
私は見た
- 3790 a-ki p ne koroka
ア・キ ヲ ネ コロカ
我・するもの (繫辞類) (逆接)
だけで
- 3791 an-esambewen
アネサムベウエン
我・心臓が悪い
気持ちが悪くなった。
- 3792 yuppo ohai
ユッポ オハイ
兄 (感嘆)
兄さんよ、と
- 3793 a-raikotenke
ア・ライコテンケ
我・泣き叫ぶ
私は泣き叫んだ。
- 3794 pon a-kor yubi
ポン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
小兄を
- 3795 a-eshikari bokor
ア・エシカリ ボコロ
我・捉える かのよう
抱きかかえたように
- 3796 yainu-an awa
ヤイヌ・アン アワ
考える・我 (展開)
思ったら、
- 3797 a-kurka konna
ア・クルカ コンナ
我・身体 こそ
私の身体は
- 3798 charkosanu
チャッコサヌ
はじける
急に軽くなった。
- 3799 tarap-an humi
タラッ・アン フミ
夢を見る・我 気配
私は眠って
- 3800 mokor-an humi
モコロ・アン フミ
眠る・我ら 気配
夢を見て
- 3801 ne awan
ネ アワン
(繫辞類) のだった
いたのだった。
- 3802 aenununbe
アエヌヌンベ
枕
私は枕を
- 3803 tan rok beka
タン ロック ベカ
この (完了) で
寝床で
- 3804 a-taritari
ア・タリタリ
我・上下させる
持ち上げて
- 3805 a-koyaishikarun
ア・コヤイシカルン
我・気が付く
目覚めたのだった。
- 3806 eirbakno
エイリバクノ
それとともに
それと同時に
- 3807 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
私のお爺さんは
- 3808 sotki ka ta
ソトキ カ タ
寝床 上 (場所)
寝床の上で
- 3809 kimumbe ottom
キムムベ オットム
山の獣 力(?)
山の熊のような力で
- 3810 shikaikire
シカイキレ
伸びをする
伸びをして
- 3811 chihetarire
チヘタリレ
起き上がる
起き上がった
- 3812 taban hokokse
タバン ホコクセ
この 叫び声を出す
そして、叫び声を
- 3813 yaikosantek-
ヤイコサンテック・
自らの腕
出し
- 3814 turi kane
トゥリ カネ
伸ばす (程度)
ながら
- 3815 chirikibuni
チリキブニ
起き上がる
立ちあがった。
- 3816 tarap hetap ne
タラッ ヘタッ ネ
夢見る これ (繫辞類)
「夢であるのか、
- 3817 mokor hetap ne
モコロ ヘタッ ネ
眠る これ (繫辞類)
眠りであるのか、
- 3818 koneptapteta
コネツタツタ
何ということ
何としたことか。
- 3819 a-ki humi
ア・キ フミ
我・する 気配
我のすることは
- 3820 iyoshserkere
イヨシセレケレ
恐るべきことだ
まさしく
- 3821 okai be ne ya
オカイ ベ ネ ヤ
あるもの (繫辞類) (疑問)
このようであるのか。
- 3822 soonno boka
ソオンノ ボカ
本当に さえ
まことに、
- 3823 a-nitpotono
ア・ニトポトノ
我・孫
私の孫が
- 3824 apkash tuika ta
アッカシ トウイカ タ
歩く 上 (場所)
歩んでいく途中で
- 3825 hokamba p
ホカムバ ヲ
難しいもの
困難が
- 3826 an a noine
アン ア ノイネ
ある 完らしく
あるように
- 3827 iramu-an
イラム・アン
思われる
思う。
- 3828 tane
タネ
今
今、
- 3829 tan tewano
タン テワノ
この これから
これから
- 3830 a-utari
ア・ウタリ
我・人々
我の一族、
- 3831 shino
シノ
まことに
まことの
- 3832 rametok batek
ラメトク バテック
勇者 のみ
勇者ばかりを、
- 3833 a-nishuk wa
ア・ニシユク ワ
我・招く (接続)
我は頼りにして
- 3834 a-nitpotono
ア・ニトポトノ
我・孫
孫を
- 3835 kashi a-obiuki wa
カシ ア・オビウキ ワ
上 我・助ける (接続)
助け出し、
- 3836 tunashno
トゥナシノ
早く
早く
- 3837 chikeutusare
チケウトウサレ
蘇生する
蘇生させたい

- 3838 a-ekarkar
ア・エカラカラ
我・する
と
- 3839 kusu ne na
クス ネ ナ
(理由・目的) (繋辞類) ゴ
思う。
- 3840 a-matnenitpo
ア・マトネニトポ
我・女の孫
我が孫娘よ、
- 3841 pirikano
ピリカノ
良く
しっかりと
- 3842 kamui ewak i
カムイ エワク イ
神 住む ところ
神の住まいを
- 3843 ebunkine wa
エブンキネ ワ
守る (接続)
守って
- 3844 i-kore yan
イ・コレ ヤン
我・与える (命令)
くれ。]
- 3845 ari hawokai
アリ ハウオカイ
(引用) 言う
お爺さんはこのように言い、
- 3846 kani tumi eshiyuk
カニ トウミ エシユク
黄金 戦い 盛装する
金の戦いの装束を身につけた。
- 3847 shirki chiki
シリキ チキ
そうする (条件)
そして、
- 3848 a-matkosanu
ア・マトコサヌ
我・バツと立ち上がる
私は跳び起きた。
- 3849 koninkar kusu
コニンカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 3850 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さん、
- 3851 shittek kunak
シトテク クナク
落ち着く (引用)
落ち着いて
- 3852 ramu yan
ラム ヤン
思う (命令)
ください。
- 3853 a-kor ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 3854 mashkino
マシキノ
あまりに
あまりにも
- 3855 e-onne kasui
エ・オンネ カスイ
汝・大きくなる 甚だしい
年老いています。
- 3856 oar oar
オアラ オアラ
全く 全く
私は
- 3857 e-eyam-an na
エ・エヤム・アン ナ
汝・大事にされる ゴ
とても心配です。
- 3858 iyaikipte kuni
イヤイクテ クニ
あぶない ように
危険
- 3859 a-ramu na
ア・ラム ナ
我・思う ゴ
です。
- 3860 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんが
- 3861 kamui ewak i
カムイ エワク イ
神 住む ところ
神の住まいを
- 3862 ebunkine wa
エブンキネ ワ
守る (接続)
守って
- 3863 i-kore
イ・コレ
我・与える
ください。
- 3864 menoko ainu
メノコ アイヌ
女 人間
私は女
- 3865 a-ne a yakka
ア・ネ ア ヤッカ
我・(繋辞類) 完了 (譲歩)
ですが、
- 3866 aokai
アオカイ
我
私か
- 3867 pon a-kor yubi
ポン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄の
- 3868 kashi chiobash
カシ チオバシ
上 走る
救出に
- 3869 a-ekarkar
ア・エカラカラ
我・する
向い
- 3870 kusu ne na
クス ネ ナ
(理由・目的) (繋辞類) ゴ
ます。]
- 3871 ari itak-an chiki
アリ イタク・アン チキ
(引用) 言う・我 (条件)
私がかう言うど、
- 3872 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 3873 okkeu kurkan
オクケウ クルカン
首 上
頸の骨も
- 3874 isam kane
イサム カネ
無い (程度)
折れるほど、
- 3875 otu henkuror
オトゥ ヘンクロロ
二つの うなづくこと
うなづきを
- 3876 ore henkuror
オレ ヘンクロロ
三つの うなづくこと
私に何度も
- 3877 i-koanukar kane
イ・コアヌカラ カネ
我・置く (程度)
繰り返した。
- 3878 ene itak i
エネ イタク イ
このように 言う こと
そしてこう言った。
- 3879 pirika pirika
ピリカ ピリカ
よい よい
「よくわかった。
- 3880 itekki ka
イテッキ カ
決して も
私のことは
- 3881 i-enisomap yan
イ・エニソマヤン
我・心配する (命令)
心配するな。
- 3882 teeta kane
テエタ カネ
以前 (程度)
昔は
- 3883 tumi ot ta
トウミ オトタ
戦い 所 (場所)
戦いにおいて、
- 3884 moimoike ot ta
モイモイケ オトタ
動く 所 (場所)
戦闘において、
- 3885 i-ebak be
イ・エバク ベ
我と同等にもの
我に匹敵するものは
- 3886 shinen ka isam
シネン カイサム
一人 も いない
一人もいなかった
- 3887 ruwe ne
ルウエ ネ
様子 (繋辞類)
のだ。
- 3888 tane ne yakka
タネ ネ ヤッカ
今 (繋辞類) (譲歩)
今でも、
- 3889 tumi kor anakne
トウミ コロ アナクネ
戦い 持つは
戦いにおいては
- 3890 uben kuru
ウベン クル
若い 人
若い者を

- 3891 kasuno
カスノ
以上
しのぐほど、
- 3892 tum moimoike
トゥム モイモイケ
二人 動く
二人分の働き、
- 3893 ren moimoike
レン モイモイケ
三人 動く
三人分の働きが
- 3894 a-ki kuni
ア・キ クニ
我・する ように
できるように
- 3895 a-ramu na
ア・ラム ナ
我・思う ぞ
思う。
- 3896 eani
エアニ
汝
お前が
- 3897 kamui ewak i
カムイ エワク イ
神 住む ところ
神の住まいを
- 3898 ebunkine wa
エブンキネ ワ
守る (接続)
守り
- 3899 i-kore
イ・コレ
我・与える
なさい。
- 3900 katkemat anakne
カトケマト アナクネ
婦人 は
婦人というもの、
- 3901 nishpa anakne
ニシパ アナクネ
長者 は
長者というものは、
- 3902 uitaknu p tap
ウイタクヌ プ タップ
言うことを聞くもの これ
言うことを聞くもの
- 3903 okai na
オカイ ナ
ある ぞ
だぞ。」
- 3904 ari hawash chiki
アリ ハワシ チキ
(引用) 言われる (条件)
お爺さんがこう言うと、
- 3905 ohaine kane
オハイン カネ
なるほど (程度)
なるほど、
- 3906 ari yainu-an kusu
アリ ヤイヌ・アン クス
(引用) 考える・我 (理由・目的)
と私は思い
- 3907 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
おじいさんの
- 3908 ye p a-nu wa
イエ ヲ ア・ヌ ワ
言うもの 我・聞く (接続)
言うことを聞いて
- 3909 yairatchire-an wa
ヤイラトチレ・アン ワ
穏やかにする・我 (接続)
みずからをなだめる
- 3910 an-an
アナン
いる・我
ことにした。
- 3911 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 3912 humse tura
フムセ トウラ
声を出すとともに
気合いの声とともに、
- 3913 tumi eshiyuk
トゥミ エシユク
戦い 盛装する
戦いの装束を身につけた。
- 3914 kani kosonte
カニ コソソテ
黄金 小袖
金の小袖、
- 3915 kosonte tum
コソソテ トウム
小袖 中
小袖の中で
- 3916 ourebuni
オウレブニ
足で持ち上げる
足を上げ (?),
- 3917 uwok kani kut
ウウオク カニ クト
引っかかりあう 黄金 帯
金の帯を
- 3918 tumamkosaiba
トゥマムコサイバ
胴に巻く
胴に巻いた。
- 3919 kamui ranke tam
カムイ ランケ タム
神 下ろす 刀
そして、神受の太刀、
- 3920 shirikatanne-
シリカタンネ・
柄が長く
鞘が長く
- 3921 tehsba kane
テ h シバ カネ
反らす (程度)
反っている
- 3922 okai be
オカイ ベ
ある もの
太刀を
- 3923 kut bok echiu
クト ボク エチウ
帯 下 治める
帯に差した。
- 3924 kani pon kasa
カニ ポン カサ
黄金 小さい 笠
金の兜、
- 3925 kasa rantubep
カサ ラントゥベッ
笠 垂れた紐
その兜の帯を
- 3926 yaikoyubu
ヤイコユブ
縮める
強く縮めた。
- 3927 iyainumare
イヤイヌマレ
驚いた
驚いたことに、
- 3928 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんが
- 3929 shiyuk ko
シユク コ
装う (条件)
装束を身につけると、
- 3930 boo hene
ボオ ヘネ
なおさら も
ますます
- 3931 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 (繫辞類)
神の如き
- 3932 okai wa
オカイ ワ
ある (接続)
様子である。
- 3933 barshut oma p
バッシュウト オマ プ
長押 ある もの
お爺さんは長押にある槍を
- 3934 raekatta
ラエカッタ
引き降ろす
下ろした。
- 3935 op kebushe
オッケブシベ
槍 鞘
槍の鞘を
- 3936 koeturserere
コエトゥルセルレ
落とす
打ち払い、
- 3937 ram kuwa ne
ラム クワ ネ
低い 杖 (繫辞類)
短い杖として
- 3938 eyaitete
エヤイテテ
己を支える
みずからを支えた。
- 3939 tu pirika kuni p
トゥ ビリカ クニ プ
二つのよい ようにもの
そして、良い言葉を
- 3940 re pirika kuni p
レ ビリカ クニ プ
三つのよい ようにもの
私に何度も
- 3941 i-ebakashnu koro
イ・エバカシヌ コロ
我・教える (同時)
言い聞かせ、
- 3942 chisoinaraye
チソイナライエ
外へ出る
外へ出た。
- 3943 yaikotamba
ヤイコタムバ
自らの村の上手
お爺さんは村の上手へ、

- 3944 yaikotankesh
ヤイコタンケシ
自らの村の下手
村の下手へと
- 3945 hawotuire
ハウオトウイレ
呼ぶ
声を
- 3946 ibawetenke
イバウエテンケ
声を上げる
張り上げ、
- 3947 haweash
ハウエアシ
言う
呼びかけた。
- 3948 kotam ba un wa
コタム バウン ワ
村 上 (方向) (起点)
村の上手から、
- 3949 kotan kesh un wa
コタン ケシ ウン ワ
村 末端 (方向) (起点)
村の下手から、
- 3950 tu hayok sash hum
トゥ ハヨク サシ フム
二つの 武装する 喚音を立てる 音
戦いの装束を身につける 音が
- 3951 re hayok sash hum
レ ハヨク サシ フム
三つの 武装する 喚音を立てる 音
何度も
- 3952 otukitara
オトゥキタラ
生じる
響いた。
- 3953 humash aine
フマシ アイネ
音がする (接続)
そして、
- 3954 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 3955 inne utara
インネ ウタラ
大勢である 村人
大勢の者たちと
- 3956 eotoba-
エオトバ・
列
長い列と
- 3957 tanne wa
タンネ ワ
長い (接続)
なり、
- 3958 toop
トオプ
ずっと遠く
ずっと
- 3959 baye hau konna
バイエ ハウ コンナ
行く 声こそ
遠くへ行く音が
- 3960 roise kane
ロイセ カネ
騒ぐ (程度)
鳴り響いた。
- 3961 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は
- 3962 toikoshiribeker
トイコシリベケレ
激しく夜が明ける
すっかり明るくなった。
- 3963 konepkeukata
コネプケウカタ
何ということか
コネップケウカタ、
- 3964 konepkashita
コネプカシタ
何としたことか
コネップカシタ、
- 3965 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
小兄は
- 3966 nei ta shiknu
ネイ タ シクヌ
(疑問詞) (場所) 生きている
如何なる延命
- 3967 nei ta tusa
ネイ タ トゥサ
(疑問詞) (場所) 快復する
如何なる蘇生をしているのか。
- 3968 tarap hetap ne
タラップ ヘタップ ネ
夢見る これ (繫辞類)
夢であるのか、
- 3969 mokor hetap ne
モコロ ヘタップ ネ
眠る これ (繫辞類)
眠りであるのか、
- 3970 senne saure
センネ サウレ
(否定) たやすい
只事ではないと
- 3971 a-ki humi
ア・キ フミ
我・する 気配
感じたことを
- 3972 a-eshikarun ko
ア・エシカルン コ
我・思い出す (条件)
私は思い出したが、
- 3973 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように (接続) さえ
どう
- 3974 iki-an i
イキ・アニ
する・我 こと
することも
- 3975 isam kane
イサム カネ
無い (程度)
できない。
- 3976 tutko bakno
トゥトコ バクノ
二日 まで
二日間、
- 3977 chish turanno
チシ トゥランノ
泣く ともに
泣きながら
- 3978 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんを
- 3979 a-enisomap kasui
ア・エニソマップ カスイ
我・心配する 甚だしい
心配した。
- 3980 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
小兄を
- 3981 iramshikta
イラムシクタ
心の眼に
思い出す
- 3982 chikarire a boka
チカリレ ア ボカ
回す 完了 さえ
ことも、
- 3983 hotke boka
ホトケ ボカ
寝る さえ
寝ることも
- 3984 a-eaikap
ア・エアイカプ
我・出来ない
できず、
- 3985 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように (接続) さえ
私はどのように
- 3986 iki-an i ka
イキ・アニ カ
する・我 ことも
すればよいのか
- 3987 an-erambetek
アネラムベテック
人々・知らない
わからない。
- 3988 a-kon ram konna
ア・コン ラム コンナ
我・もつ 心 こそ
私の心は
- 3989 yaunatarara
ヤウナタラ
怒る
怒りに満ちた。
- 3990 tumieshiyuk-an
トゥミエシユク・アン
武装する・我
私は戦いの装束を身につけた。
- 3991 pon seppa um be
ボン セフパ ウム ベ
小さい 鏢 あるもの
そして、鏢のある小刀を
- 3992 a-upsorekatta
ア・ウフソレカッタ
我・中に仕舞う
懐に入れ、
- 3993 soyoterke-an
ソヨテレケ・アン
外に飛び出す・私
外へ出た。
- 3994 soyun yakura
ソユン ヤクラ
外にある 櫓
私は外の櫓、
- 3995 yakura ka wa
ヤクラ カワ
櫓 上 (起点)
その櫓の上から
- 3996 kamui nishka
カムイ ニシカ
神 上空
天空へ

- 3997 a-korikoshma
ア・コリコシマ
我・飛び上がる
飛び上った。
- 3998 hauke rera
ハウケ レラ
弱い 風
弱い風、
- 3999 rera etoko
レラ エトコ
風 前方
その風の先に
- 4000 an-i-y-ekoshne-
アニ・イエコシネ・
我・軽々と
私は軽々と
- 4001 buni kane
ブニ カネ
上げる(程度)
吹き上げられた。
- 4002 inehunak un
イネフナク ウン
どこかへ (方向)
どこかへ
- 4003 kamuimaubashte-an humi
カムイマウバシテ・アン フミ
神風を走らせる・我 音
神風が私を運ぶ音が
- 4004 an-ekisarshut-
アネキサシシュト・
我・耳の先
耳元で
- 4005 maukururu
マウクルル
風が渦巻く
鳴った。
- 4006 oman-an aine
オマン・アン アイネ
行く・我 (接続)
私は進んで行き、
- 4007 inehunak ta
イネフナク タ
どこかへ (場所)
どこかへ
- 4008 oman-an awa
オマン・アン アワ
行く・我 (展開)
進んでいくと、
- 4009 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 4010 konepkashita
コネツカシタ
何としたことか
コネツカシタ、
- 4011 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
私のお爺さん、
- 4012 onne ekashi
オンネ エカシ
老いる 老人
年老いた人が
- 4013 utar ehoshki
ウタラ エホシキ
人々 先に
人々の先頭に立ち、
- 4014 hokokse koro
ホコクセ コロ
叫び声を出す(同時)
声を出しながら
- 4015 ota teksam ta
オタ テッサム タ
砂 すぐそば(場所)
まだ砂浜の側を
- 4016 naa
ナア
まだ
進んで
- 4017 baye kor okai
バイエ コロ オカイ
行く(同時) ある
いる。
- 4018 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く 心
私は
- 4019 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 4020 ene ne kuni
エネ ネ クニ
このように(繋辞類) ように
このようになると
- 4021 a-ramu kusu
ア・ラム クス
我・思う(理由・目的)
私が思ったので、
- 4022 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんは
- 4023 a-shiurere ko
ア・シウレレ コ
留守番させる(条件)
私が留守番させようとする、
- 4024 koban i ne kusu
コバニ ネ クス
嫌がる こと(繋辞類) (理由・目的)
拒絶したのか。
- 4025 oar
オアラ
全く
ひどく
- 4026 shinki noine
シンキ ノイネ
疲れる らしく
疲れているらしく、
- 4027 katun ruwe
カトゥン ルウエ
形をとる 様子
その姿、
- 4028 apkash ruwe
アツカシ ルウエ
歩く 様子
歩く様子を
- 4029 a-nukar chiki
ア・ヌカラ チキ
我・見る(条件)
見ると、
- 4030 chikibokaun
チキボカウン
もう少しで
もう少しで
- 4031 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
「お爺さん」
- 4032 ari itak-an kane
アリ イタク・アン カネ
(引用) 言う・我 (程度)
と言って
- 4033 a-eshikari anke
ア・エシカリ アンケ
我・抱える しようとする
抱きかかえそうに
- 4034 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我(逆接)
なった。しかし、
- 4035 neino
ネノ
ように
そのように
- 4036 iki-an wa
イキ・アン ワ
する・我(接続)
した
- 4037 ne yakne
ネ ヤクネ
(繋辞類)(条件)
ならば、
- 4038 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんに
- 4039 a-yainikoroshmare
ア・ヤイニコロシマレ
我・自ら恥じる
屈辱を
- 4040 hemem ki
ヘMEM キ
も する
与え、
- 4041 a-koitakkashi
ア・コイタッカシ
我・言葉に逆らう
言い付けに背く
- 4042 hemem ki kuni
ヘMEM キ クニ
も する ように
ことを
- 4043 a-niukesh kusu
ア・ニウケシ クス
我・しかねる(理由・目的)
恐れ、
- 4044 nube tura
ヌベ トウラ
涙 ともに
私は涙とともに、
- 4045 oyake beka
オヤケ ベカ
よそ で
他の場所へ
- 4046 kamuimaubashte-an
カムイマウバシテ・アン
神風を走らせる・我
神風に運ばれて進んで行った。
- 4047 oman-an aine aine
オマン・アン アイネ アイネ
行く・我(接続)(接続)
進んで行き、
- 4048 hunak ta
フナク タ
どこ(場所)
どこかへ
- 4049 oman-an ko
オマン・アン コ
行く・我(条件)
進んで行く、

- 4050 tumunchi kan hum
トウムンチ カン フム
戦争 上 音
戦いの音、
- 4051 rorumbe kan hum
ロルムベ カン フム
戦闘 上 音
戦闘の音が
- 4052 otukitara
オトウキタラ
生じる
響き渡り
- 4053 moshiri kuttom
モシリ クトム
国土 中
国土が
- 4054 koturimimse
コトゥリミムセ
響き渡る
激しく鳴り響いた。
- 4055 tane
タネ
今
さらに
- 4056 a-koehanke wa
ア・コエハンケ ワ
我・近づく (接続)
戦場の近くまで来て、
- 4057 kamui nishka
カムイ ニシカ
神 上空
天空の雲に
- 4058 a-ounoun kane
ア・オウノウン カネ
我・乗る (程度)
乗って
- 4059 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
見ると、
- 4060 nei ta okai be
ネ タ オカイ ベ
(疑問詞) (場所) ある もの
どこの者を
- 4061 koiki kuni p
コイキ クニ ヲ
攻撃する はずの もの
攻撃しているの
- 4062 ne nankor a
ネ ナンゴラ
(繋辞類) だろう か
だろうか。
- 4063 tan inne kuni p
タン インネ クニ ヲ
この 大勢である ようにもの
大勢の者たちは
- 4064 kikir basushke
キキリ バスシケ
虫 湧く
虫の湧くかの
- 4065 ekannayukar
エカンナユカラ
ようである
ようである。
- 4066 enkashike
エンカシケ
離れた上
その上空は
- 4067 tumunchi urar
トウムンチ ウララ
戦争 霧
戦いの霧、
- 4068 rorumbe urar
ロルムベ ウララ
戦闘 霧
戦闘の霧が
- 4069 kuttek nish ne
クトテク ニシ ネ
黒い 雲 (繋辞類)
暗い雲、
- 4070 buyatek nish ne
ブヤテク ニシ ネ
もやもやとする 雲 (繋辞類)
濃い雲となって
- 4071 koekapkamu
コエカプカム
頭に皮被さる
覆っている。
- 4072 utat teksam ta
ウタト テクサム タ
たち すぐそば (場所)
人々の側で、
- 4073 seenne ka sui
セエンネ カ スイ
(否定) も 再び
まさか
- 4074 inkar-an kuni
インカラ・アン クニ
見る・我 ように
私が見るとは
- 4075 a-ramu rok i
ア・ラム ロキ
我・思う (完了) ところ
思わなかったが、
- 4076 tarap hetap ne
タラフ ヘタフ ネ
夢見る これ (繋辞類)
夢であるのか、
- 4077 mokor hetap ne
モコロ ヘタフ ネ
眠る これ (繋辞類)
眠りであるのかと
- 4078 a-ki humi
ア・キ フミ
我・する 気配
思っ
- 4079 ne kuni
ネ クニ
(繋辞類) ように
いたの
- 4080 a-ramu awa
ア・ラム アワ
我・思う (展開)
だが、
- 4081 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄がいる。
- 4082 mi kosonte
ミ コソンテ
着る 小袖
着ている小袖は
- 4083 okemtanine
オケムタナイネ
血が流れる
血に染まり、
- 4084 eitumamor-
エイトウマモロ・
身体
よれよれに
- 4085 noiba kane
ノイバ カネ
ねじる (程度)
ねじれている。
- 4086 pon reraruhu ta
ボン レラルフ タ
小さい 胸 (場所)
小さな胸に、
- 4087 soonno boka
ソオンノ ボカ
本当に さえ
本当に、
- 4088 rukani bara op
ルカニ バラ オフ
毒の 幅広い 槍
猛毒の幅広い槍の
- 4089 etuhu
エトウフ
先端
先端、
- 4090 otu kam nochi
オトゥ カム ノチ
二つの 肉 断片
数多くの
- 4091 ore kam nochi
オレ カム ノチ
三つの 肉 断片
肉片が
- 4092 chikotaktaku
チコタタタク
くつつく
貼り付いている。
- 4093 etuk ruwe konna
エトウク ルウェ コンナ
突き出す 様子こそ
それが突き出る様子は
- 4094 tonnatara
トンナタラ
光っている
光り輝いている。
- 4095 bishkanike
ビシカニケ
周囲
その周囲では
- 4096 rukani koishum
ルカニ コイシユム
猛毒 海水の泡
猛毒の泡が
- 4097 koebuyuse
コエブユイセ
湿る
噴き出している。
- 4098 oshmake ta
オシマケ タ
その背後 (場所)
その背後で、
- 4099 taban bara op
タババン バラ オフ
この 幅広い 槍
幅広の槍が
- 4100 chioarkaye
チオアラカイエ
全く折れる
折れており、
- 4101 op emko
オフ エムコ
槍 半分
槍の半分は
- 4102 eush kane
エウシ カネ
顔を付ける (程度)
突き刺さっている。

- 4103 kotchake wa
コトチャケ ワ
前 (起点)
前から
- 4104 oshmake wa
オシマケ ワ
その背後 (起点)
背後から、
- 4105 arka kemi
アッカ ケミ
痛い 血
流れる血は
- 4106 tunnai sone
トゥンナイ ソネ
沢 らしく
沢の流れのようである。
- 4107 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 4108 rayiboro oma
ライボロ オマ
死相 ある
死相が浮かんでいる。
- 4109 hushkotoi wano
フシコトイ ワノ
以前 から
長い間、
- 4110 somo ibe kuni p
ソモ イベ クニ プ
(否定) 食事する はずのもの
何も口にして
- 4111 kone p ne kusu
コネ プ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
おらず、
- 4112 sattek shiri
サトテック シリ
やせた 様子
痩せ細っている。
- 4113 tek ne koro be
テック ネ コロ ベ
手 (繫辞類) 持つもの
手は
- 4114 chiyaku ki ne
チヤク キ ネ
潰される する (繫辞類)
つぶされ、
- 4115 chikin ne kor be
チキン ネ コロ ベ
脚 (繫辞類) 持つもの
足は
- 4116 chiyasa ki ne
チヤサ キ ネ
裂かれる する (繫辞類)
裂かれており、
- 4117 nam bone ka
ナム ボネ カ
顔 骨 も
頬の骨は
- 4118 chikotarara
チコタララ
突き出す
突き出し、
- 4119 shiksei asam
シクセイ アサム
眼窩 底
眼の窪みは
- 4120 kokurototke
コクロトトケ
黒々となっている
暗く淀んでいる。
- 4121 ene okai be
エネ オカイ ベ
このように あるもの
このような者が
- 4122 koneike huike
コネケ フイケ
どこ 隅
どこに
- 4123 sambe o wa
サムベ オ ワ
心臓 ある (接続)
心臓を持ち、
- 4124 tapne
タップネ
これである
このように
- 4125 tumi ne kuni p
トゥミ ネ クニ プ
戦い (繫辞類) はずのもの
戦いに
- 4126 kokurkakkonna-
コクルカコンナ・
頭の上
集中している
- 4127 charke hawe
チャック ハウエ
散らばる 声
というのか。
- 4128 oro kush i
オロ クシ
場所 通る ところ
通り抜けるところは
- 4129 chituri sone
チトゥリ ソネ
伸びる らしく
広げられた敷物のように、
- 4130 chirabi sone
チラビ ソネ
散らばる らしく
散らばった敷物のように
- 4131 chirabirabi
チラビラビ
散らばる
乱れ散る。
- 4132 teksama ta
テッサマ タ
すぐそば (場所)
その側に、
- 4133 soonno boka
ソオンノ ボカ
本当に さえ
まさしく、
- 4134 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女、
- 4135 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 (繫辞類)
神の如く
- 4136 pirika ruwe
ピリカ ルウエ
よい 様子
美しい
- 4137 okai be
オカイ ベ
あるもの
者がいる。
- 4138 pon seppa um be
ボン セッパ ウム ベ
小さい 鑢 あるもの
鑢のある小刀で
- 4139 enaisamkonna-
エナイサムコンナ・
顔の横
顔の側が
- 4140 hermam kane
ヘルマム カネ
光る (程度)
光り輝いている。
- 4141 tumi ne kuni p
トゥミ ネ クニ プ
戦い (繫辞類) はずのもの
戦いに
- 4142 eyaimonbok-
エヤイモンボク・
自らの腕の下
腕を
- 4143 tushmak kane
トゥシマク カネ
競う (程度)
ふるっている。
- 4144 hushkotoi wano
フシコトイ ワノ
以前 から
長い間
- 4145 chish be ne kusu
チシ ベ ネ クス
泣くもの (繫辞類) (理由・目的)
泣いており、
- 4146 shikrap emko
シクラブ エムコ
まつげ 半分
まつげが半分しか
- 4147 koetukukke p
コエトゥククケ プ
突き出る もの
出ていない。
- 4148 iki korkaiki
イキ コロカイキ
する (逆接)
そうではあるが、
- 4149 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように (接続) さえ
どのように
- 4150 a-reka i ka
ア・レカ イ カ
我・ほめる ことも
褒めたたえることも
- 4151 isam kane
イサム カネ
無い (程度)
できないほど美しい
- 4152 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は
- 4153 makanne ko
マカンネ コ
あるときに (条件)
あるときには、
- 4154 chiashtushtekka
チアシトゥシテッカ
沈黙して立つ
突っ立って、
- 4155 chiashrubushka
チアシルブシカ
凍りついたように立ちつくす
凍ったように立ちつくし、

- 4156 yainittekka
ヤイニテッカ
硬直する
硬直している。
- 4157 shu at bakno
シュアト バクノ
鍋 たつまで
鍋が煮立つほどの間、
- 4158 shu at kashuno
シュアト カシュノ
鍋 たつ越えて
しばらくの間、
- 4159 okai
オカイ
ある
そうしている。
- 4160 yainuturainu wa
ヤイヌトゥライヌワ
自ら迷う (接続)
兄が気を失って
- 4161 okai chiki
オカイ チキ
ある (条件)
いると、
- 4162 inne kuni p
インネ クニ プ
大勢である ようにもの
大勢の敵方は
- 4163 ukoorshutke
ウコオロシユトケ
皆で励ます
奮い立つ。
- 4164 hokure hokure
ホクレ ホクレ
早く 早く
「さあ早く、
- 4165 Otasam um be
オタサム ウム ベ
オタサム あるもの
オタサム彦を
- 4166 tunash tuye yan
トゥナシ トウエイ ヤン
早い 斬る (命令)
斬りなさい、
- 4167 tunash raikē yan
トゥナシ ライケ ヤン
早い 殺す (命令)
殺しなさい。」
- 4168 ari hawash ko
アリ ハワシ コ
(引用) 言われる (条件)
そのように言われると、
- 4169 inne kuni p
インネ クニ プ
大勢である ようにもの
大勢の敵方は
- 4170 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄に
- 4171 koyaisana-
コヤイサナ・
自らの前
向って
- 4172 sapte kane
サッテ カネ
出す (程度)
行く。
- 4173 a-ukootke
ア・ウコオトケ
我・共に突く
兄は一斉に突かれ
- 4174 a-ukotauki
ア・ウコタウキ
我・共に斬る
斬られる。
- 4175 bishkanike
ビシカニケ
周囲
その周囲で
- 4176 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女が
- 4177 etamani
エタマニ
斬りつける
刀をふるった
- 4178 or un
オルン
所 (方向)
ところ、
- 4179 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は
- 4180 or un
オルン
所 (方向)
そのときに、
- 4181 yaishikarun
ヤイシカルン
覚醒する
意識を取り戻した。
- 4182 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
そして、イナウ冠の女に
- 4183 otamkote
オタムコテ
斬りつける
斬りかかり、
- 4184 toikonoshba ranke
トイコノシバ ランケ
激しく追う (反復)
何度も激しく追いかけた。
- 4185 inkan ne wa
インカン ネ ワ
見る (繫辞類) (接続)
私は見た
- 4186 a-ki p ne koroka
ア・キ プ ネ コロカ
我・するもの (繫辞類) (逆接)
だけではあるが、
- 4187 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く 心
すっかり
- 4188 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 4189 sonno sonno
ソンノ ソンノ
真に 真に
まことに、
- 4190 tarap ot ta
タラップ オトタ
夢見る 所 (場所)
夢で、
- 4191 mokor ot ta
モコロ オトタ
眠る 所 (場所)
眠りで
- 4192 inkar-an a i
インカラ・アン ア イ
見る・我 完了 こと
見たことと
- 4193 ukorachi ne
ウコラチ ネ
同じように (繫辞類)
同じである。
- 4194 sonno hetap ne
ソンノ ヘタッ ネ
真に これ (繫辞類)
本当に驚いた。
- 4195 iyoserkere
イヨセレケレ
恐るべきことだ
驚愕した。
- 4196 shiran ruwe
シラン ルウェ
有様である 様子
このような有様
- 4197 shiriki chiki
シリキ チキ
有様である (条件)
であるとは。
- 4198 koneptapteta
コネッパッテタ
何ということ
コネッブケウカタ、
- 4199 tumunchi moto
トゥムンチ モト
戦争 理由
いかなる戦いの原因、
- 4200 rorumbē ikkeu
ロルムベ イッケウ
戦闘 元
戦闘の理由が
- 4201 ne wa
ネ ワ
(繫辞類) (接続)
あつて、
- 4202 tumi ne yakka
トゥミ ネ ヤッカ
戦い、 (繫辞類) (譲歩)
戦うにしても、
- 4203 orsaureko
オロサウレコ
とんでもなく
只事ではないことに、
- 4204 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は
- 4205 kohobumba shiri
コホブムバ シリ
立ち上がる 様子
立ち向っているのか。
- 4206 eebaki ta
エエバキ タ
次 (場所)
その次に、
- 4207 nei un katkemat
ネ ウン カトケマト
(疑問詞) ある 婦人
どこの婦人であろうか、
- 4208 iyairaikere
イヤイライケレ
ありがたい
有難いことだ。

- 4209 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
小兄を
- 4210 kashi obiki shiri
カシ オビキ シリ
上 赴く 様子
救出しようと
- 4211 okai ko
オカイ コ
ある (条件)
しても、
- 4212 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
小兄は
- 4213 tumunchi kinra
トゥムンチ キンラ
戦争 狂気
戦いの狂気、
- 4214 rorambe kinra
ロルムベ キンラ
戦闘 狂気
戦闘の狂気に
- 4215 eyaitushtekka kusu
エヤイトウシテッカ クス
沈黙する (理由・目的)
取り憑かれているので、
- 4216 katkoro shiri
カトコロ シリ
振舞う 様子
このような有様
- 4217 okai chiki
オカイ チキ
ある (条件)
であるのかと、
- 4218 sonno
ソノン
真に
まことに、
- 4219 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く 心
私は
- 4220 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 4221 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 4222 konepkashita
コネツカシタ
何としたことか
コネツケウカタ、
- 4223 wen-an shiri
ウェン・アン シリ
悪い・我 様子
私は貧しい女、
- 4224 otui-an shiri
オトウイ・アン シリ
女のような・我 様子
下らぬ女であるが、
- 4225 pirika shikup
ピリカ シクッ
よい 成長する
立派な成長、
- 4226 ratchi shikup
ラッチ シクッ
穏やかな 成長する
穏やかな成長を
- 4227 a-ki
ア・キ
我・する
遂げてきた。
- 4228 ponno ka
ボンノ カ
少し も
少しも、
- 4229 iyunin ari
イユニン アリ
苦痛を感じる (引用)
病気と
- 4230 a-ye p
ア・イエッ
言われるもの
いうもの、
- 4231 arka ari
アラカ アリ
痛い (引用)
痛みと
- 4232 a-ye p
ア・イエッ
言われるもの
いうものを
- 4233 a-eramishkare awa
ア・エラミシカレ アワ
我・知らない (展開)
知らなかったが、
- 4234 inunukashki
イヌヌカシキ
可哀想に
可哀想に、
- 4235 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
小兄が
- 4236 a-koiki ruwe
ア・コイキ ルウエ
攻撃される 様子
攻撃され、
- 4237 a-tasara
ア・タサラ
我・痛む
痛み
- 4238 iyunin ruwe
イユニン ルウエ
苦痛を感じる 様子
苦しんでいる
- 4239 okai chiki
オカイ チキ
ある (条件)
のに、
- 4240 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように (接続) さえ
どう
- 4241 iki-an i ka
イキ・アニ カ
する・我 ことも
することも
- 4242 isam kane
イサム カネ
無い (程度)
できない。
- 4243 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
私は小兄の
- 4244 teksama ta
テックスマ タ
すぐそば (場所)
側へ
- 4245 horaochiwe-an
ホラオチウエ・アン
下へ降りる・我
降りた。
- 4246 yuppo ohai
ユッポ オハイ
兄 (感嘆)
「兄さん。」と
- 4247 a-raikotenke
ア・ライコテンケ
我・泣き叫ぶ
私は泣き叫んだ。
- 4248 a-eshikari awa
ア・エシカリ アワ
我・捉える (展開)
私が抱きかかえると
- 4249 i-koshikraiba
イ・コシクライバ
我・見る
兄は私を見た。
- 4250 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 4251 rai kuru shik tum
ライクル シク トウム
死ぬ人 目中
死人の目つきで
- 4252 kokemritoshma*48
コケムリトシマ
血管が出る
血管が走っている。
- 4253 rai kuru ibor
ライクル イボロ
死ぬ人 顔色
死人の顔色、
- 4254 rai kuru mimtum
ライクル ミムトウム
死ぬ人 肌
死人の血色を
- 4255 iyeunu
イイエヌ
つく
している。
- 4256 temka konna
テムカ コンナ
快復させる こそ
そして、手元が
- 4257 barkosanu
バラコサヌ
光る
さっと鳴り、
- 4258 yupke tam kur
ユッケ タム クル
強い 刀 影
激しい太刀を
- 4259 i-koterkere
イ・コテレケレ
我・とばす
私に浴びせた。

*48 komemrit と書かれているがこのように解釈する。

- 4260 anrai boka
アンライ ボカ
ひどく死ぬ さえ
私は死ぬ
- 4261 a-yaikoniukesh
ア・ヤイコニウケシ
我・しかねる
訳にはいかない。
- 4262 inne utar
インネ ウタラ
大勢である 人々
大勢の
- 4263 utat tumuke
ウタト トウムケ
たち 中
敵方の中へ
- 4264 a-korawoshma
ア・コラウオシマ
我・に突進する
私は隠れた。
- 4265 iki-an awa
イキ・アン アワ
する・我 (展開)
すると、
- 4266 i-otamkote
イ・オタムコテ
我・斬る
兄は私に斬りかかり、
- 4267 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
私の上へ
- 4268 kamukamu
カムカム
何度も覆う
覆いかぶさり、
- 4269 i-toikonoshba
イ・トイコノシバ
我・激しく追う
私を激しく追ってきた。
- 4270 utar kesh ta
ウタラ ケシ タ
人々 末端 (場所)
人々の端の方へ
- 4271 soyoshma-an
ソヨシマ・アン
外へ出る・我
私は抜け出した。
- 4272 i-oshi
イ・オシ
我・後
兄は私の後から
- 4273 soyoterke
ソヨテレケ
外へ飛び出す
抜け出した。
- 4274 tane tane
タネ タネ
今 今
今は、
- 4275 i-tuye anke
イ・トゥイエ アンケ
我・切る しようとする
私は斬られそうである。
- 4276 orhetobo sui
オロヘトボ スイ
もと来た方へ 再び
再び、
- 4277 utar bokishir
ウタラ ボキシリ
人々 下肢
私は人々の下手へ
- 4278 a-korawoshma
ア・コラウオシマ
我・に突進する
隠れた。
- 4279 i-otamkote
イ・オタムコテ
我・斬る
兄は私を斬ろうとして
- 4280 i-ehaitakar be
イ・エハイタカラ ベ
我・欠く もの
ねらいを外し、
- 4281 inne kunip
インネ クニプ
大勢である すべきもの
大勢の人々、
- 4282 tu kamui rai hum
トゥ カムイ ライ フム
二つの 神 死ぬ 音
神々の死ぬ音が
- 4283 re kamui rai hum
レ カムイ ライ フム
三つの 神 死ぬ 音
何度も
- 4284 arukesure
アルケスレ
続く
続いた。
- 4285 utar ba ta
ウタラ バ タ
人々 上 (場所) これ
私は人々の上手へ
- 4286 soyoterke-an
ソヨテレケ・アン
外に飛び出す・私
抜け出し、
- 4287 utar kesh ta
ウタラ ケシ タ
人々 末端 (場所)
人々の下手へ
- 4288 soyoterke-an
ソヨテレケ・アン
外に飛び出す・私
抜け出した。
- 4289 neino
ネノ
ように
同じように、
- 4290 nei ta bakno
ネイ タ バクノ
(疑問詞) (場所) まで
いつまで
- 4291 ne yakka
ネ ヤッカ
(繋辞類) (譲歩)
も、
- 4292 pon a-kor yubi
ポン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は
- 4293 i-otamkote
イ・オタムコテ
我・斬る
私に斬りかかり、
- 4294 chikibonewa
チキボネワ
もう少しで
もう少しで
- 4295 i-tuye anke
イ・トゥイエ アンケ
我・切る しようとする
私は斬られそうになった。
- 4296 hetobo hetobo
ヘトボ ヘトボ
逆に 逆に
再びまた、
- 4297 tuno iwan sui
トゥノ イワン スイ
二つの 六つの 回
二十回、
- 4298 reno iwan sui
レノ イワン スイ
三つの 六つの 回
三十回と
- 4299 kira-an a kira-an a
キラ・アン ア キラ・アン ア
逃げる・我 完了 逃げる・我 完了
私は逃げ、
- 4300 nei ebittano
ネイ エビタノ
(疑問詞) 一面中
その周辺一帯の
- 4301 inne kuni p
インネ クニ プ
大勢である ようにも の
大勢の敵方は
- 4302 a-ukotata
ア・ウコタタ
我：共に叩く
斬り
- 4303 a-ukotuye
ア・ウコトツイエ
我：共に切る
捨てられた。
- 4304 aine aine
アイネ アイネ
(接続) (接続)
そして、
- 4305 ene hetap ne
エネ ヘタップ ネ
このように これ (繋辞類)
驚いたことに、
- 4306 inne ruwe
インネ ルウエ
大勢である 様子
大勢であった
- 4307 okai rok be
オカイ ロク ベ
ある (完了) もの
敵方は、
- 4308 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
もう
- 4309 moyo utar ne
モヨ ウタラ ネ
わずかの 人々 (繋辞類)
少数の集団に
- 4310 a-kar kane
ア・カラ カネ
我・する (程度)
なった。
- 4311 inauru kor mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女は
- 4312 terke tuika ta
テレケ トウイカ タ
跳ねる 上 (場所)
跳躍しながら

- 4313 i-bishkanike
イ・ビシカニケ
我・周囲
私の周囲で
- 4314 etamani
エタマニ
斬りつける
刀をふるった。
- 4315 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は
- 4316 nei ta bakno
ネイ タ バクノ
(疑問詞) (場所) まで
いつまでも、
- 4317 aokai batek
アオカイ バテク
我 のみ
私だけを
- 4318 i-eyaipirika-
イ・エヤイピリカ・
我・自ら良く
狙って
- 4319 shitotokere
シトトケレ
追う
追いかけてくる。
- 4320 i-orauki kuni i
イ・オラウキ クニ イ
我・捉えそこなう ように こと
私を逃がすことは
- 4321 niukesh be
ニウケシ ベ
しかねる もの
できないと
- 4322 kone p ne kusu
コネ プ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
思っているのです、
- 4323 ponno ka
ボンノ カ
少し も
少しも、
- 4324 i-oyake un
イ・オヤケ ウン
我・よそ (方向)
他所を
- 4325 inkar ka
インカラ カ
見る も
見ようと
- 4326 somo ki no
ソモ キ ノ
(否定) する (接続)
せずに、
- 4327 humse tura
フムセ トウラ
声を出す とともに
気合いの声とともに
- 4328 i-otamkote
イ・オタムコテ
我・斬る
私に斬りかかる。
- 4329 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は
- 4330 inne kunip
インネ クニプ
大勢である すべきもの
大勢の敵方を

- 4331 seta kikiri
セタ キキリ
犬 虫
犬にたかる虫、
- 4332 toi kikiri
トイ キキリ
土 虫
下らぬ虫まで
- 4333 a-kokerkeri ア・コケレケリ
我・削る
削り取った。

第10章 オタサム村へ帰る

- 4334 tumunchi oka
トゥムンチ オカ
戦争 あと
戦いの後、
- 4335 rorumbe oka
ロルムベ オカ
戦闘 あと
戦闘の後が
- 4336 chakkosanu
チャッコサヌ
静まり返る
静まり返った。
- 4337 terke tuika ta
テレケ トウイカ タ
跳ねる 上 (場所)
跳躍しながら
- 4338 itak-an hawe
イタク・アン ハウエ
言う・我 声
私はこのように
- 4339 ene okai i
エネ オカイ
このように ある こと
言った。
- 4340 koninkar kusu
コンインカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 4341 nei un katkemat
ネイ ウン カトケマト
(疑問詞) ある 婦人
どこの婦人でしょうか。
- 4342 orsetakko
オロセタクコ
長い間
長い間、
- 4343 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄を
- 4344 kashi obiki
カシ オビキ
上 赴く
助け出して
- 4345 ekarkar noine
エカラカラ ノイネ
する らしく
くださったように
- 4346 iramu-an
イラム・アン
思われる
思います。
- 4347 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は、

- 4348 ratchitara
ラトチタラ
穏やかである
穏やかに
- 4349 ukoitak boka
ウコイタク ボカ
語り合う さえ
話し合うことも
- 4350 an-emontabi
アネモンタビ
我・忙しい
忙しくてできません。
- 4351 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は
- 4352 tumunchi kinra
トゥムンチ キンラ
戦争 狂気
戦いの狂気、
- 4353 wem be kinra
ウェム ベ キンラ
悪い もの 狂気
悪事の狂気に
- 4354 eyaitushtekka shiri
エヤイトウシテッカ シリ
沈黙する 様子
取り憑かれています。
- 4355 nekona a-kar wa
ネコナ ア・カラ ワ
どのように 我・する (接続)
どのようにしたら、
- 4356 ratchi kuni p
ラトチ クニ プ
穏やかな ようにもの
穏やかになるの
- 4357 ne shiri ta an
ネ シリ タ アン
(繫辞類) 様子 これある
でしょうか。
- 4358 taban tewano
タブン テワノ
この これから
私たちはこれから
- 4359 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサム村、
- 4360 a-kotani un
ア・コタニ ウン
我・村 (方向)
私の村へ
- 4361 kira-an
キラ・アン
逃げる・我
逃げ
- 4362 kusu ne na
クス ネ ナ
(理由・目的) (繫辞類) ぞ
ましょう。
- 4363 a-unihi ta
ア・ウニヒ タ
我・家 (場所)
私の家へ
- 4364 baye-an wa
バイエ・アン ワ
行く・我 (接続)
着いた
- 4365 ne chiki
ネ チキ
(繫辞類) (条件)
ならば、

- 4366 **somo un**
ソモ ウン
(否定) (方向)
もしかして、
- 4367 **kamui renkai ne**
カムイ レンカイ ネ
神 意志 (繫辞類)
神の意向で
- 4368 **pon a-kor yubi**
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄を
- 4369 **yairatchire**
ヤイラトチレ
みずからを落ち着ける
穏やかにできるかも
- 4370 **eashkai i ta**
エアシカイ イ タ
できる とき (場所)
しれません。そのときに、
- 4371 **ukoitak**
ウコイタク
語り合う
話し合いが
- 4372 **a-eashkai**
ア・エアシカイ
我・できる
できる
- 4373 **nankon na**
ナンコン ナ
だろう ぞ
でしょう。
- 4374 **hetak i-tura wa**
ヘタク イ・トゥラ ワ
さあ 我・連れる (接続)
さあ、私について
- 4375 **i-kore kunak**
イ・コレ クナク
我・与える (引用)
来て
- 4376 **ramu yan ari**
ラム ヤン アリ
思う (命令) (引用)
「ください。」と
- 4377 **itak-an kane**
イタク・アン カネ
言う・我 (程度)
私は言った。
- 4378 **terke-an wa**
テレケ・アン ワ
跳ねる・我 (接続)
私は跳躍して
- 4379 **orhetobo**
オロヘトボ
もと来た方へ
再びまた、
- 4380 **Otasam kotan**
オタサム コタン
オタサム 村
オタサム村の
- 4381 **kobake un wa**
コバケ ウン ワ
方向 (方向) (起点)
方向へ
- 4382 **hoyubu-an**
ホユブ・アン
走る・我
飛んでいった。
- 4383 **pon a-koro yubi**
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は
- 4384 **hosari bentok**
ホサリ ベントク
振り向く 途端
振り向きも
- 4385 **hekiru bentok**
ヘキル ベントク
振り向く 途端
見向きも
- 4386 **i-eniukeshte**
イ・エニウケシテ
我・嫌がる
しない。
- 4387 **orowano**
オロワノ
(始点)
それから、
- 4388 **ruino terke-an**
ルイノ テレケ・アン
甚だしく 跳ねる・我
私は激しく跳躍し、
- 4389 **toikoterke-an kane**
トイコテレケ・アン カネ
激しく跳ねる・我 (程度)
飛び跳ねた。
- 4390 **ek yakka**
エク ヤッカ
来る (讓歩)
近づいてきても、
- 4391 **pon a-kor yubi**
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄は
- 4392 **i-ka**
イ・カ
我・上
私の上を
- 4393 **kamukamu kane**
カムカム カネ
何度も覆う (程度)
覆うように
- 4394 **arki-an awa**
アッキ・アン アワ
来る・我 (展開)
やって来た。すると、
- 4395 **konepkeukata**
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 4396 **konepkashita**
コネツカシタ
何としたことか
コネツカシタ、
- 4397 **a-kor ekashi**
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
私のお爺さんが
- 4398 **naa**
ナア
まだ
まだ、
- 4399 **ota teksam ta**
オタ テッサム タ
砂 すぐそば (場所)
砂浜の側で
- 4400 **utar ehoshki**
ウタラ エホシキ
人々 先に
人々の先頭に立っていた。
- 4401 **inne utar**
インネ ウタラ
大勢である 人々
大勢の人々は
- 4402 **eotoba-**
エオトバ・
列
長い列を
- 4403 **tanne kane**
タンネ カネ
長い (程度)
つくり、
- 4404 **hokokse koro**
ホコクセ コロ
叫び声を出す (同時)
声を出しながら
- 4405 **arki koro okai**
アッキ コロ オカイ
来る (同時) ある
やって来た。
- 4406 **shiyoro keutum**
シヨロ ケウトウム
驚く 心
私は
- 4407 **a-yaikore**
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 4408 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今は、
- 4409 **iyaiwenukare-am be**
イヤイウエヌカレ・アム ベ
どうしようもない・我 もの
私はどうしようも
- 4410 **ko ne p ne kusu**
コ ネ ヲ ネ クス
(条件) (繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
無いので、
- 4411 **a-koro ekashi**
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さんの
- 4412 **eotoba-**
エオトバ・
列
後ろで
- 4413 **tanne**
タンネ
長い
長い列をつくる
- 4414 **inne utar**
インネ ウタラ
大勢である 人々
大勢の人々、
- 4415 **utat tumuke**
ウタト トムケ
たち 中
その人々の中へ
- 4416 **a-orawoshma wa**
ア・オラウオシマ ワ
我・下に入る (接続)
隠れた。そして、
- 4417 **utarkeshte**
ウタラケシテ
(未詳)
(未詳)
- 4418 **soyoshma-an awa**
ソヨシマ・アン アワ
外へ出る・我 (展開)
抜け出すと、

- 4419 tanebo konna
タネボ コンナ
今こそ
まさしく、
- 4420 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
私の上は
- 4421 koshkosanu
コシコサヌ
急に軽くなる
急に軽くなった。
- 4422 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 4423 konepkashita
コネツカシタ
何としたことか
コネツツカシタ、
- 4424 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
私のお爺さんは
- 4425 utat turanno
ウタト トウランノ
たち ともに
人々とともに、
- 4426 a-toikoronnū
ア・トイコロヌ
我・惨殺する
ひどく殺された
- 4427 humash
フマシ
気配がする
様子である。
- 4428 orowano
オロワノ
(始点)
それから、
- 4429 terke-an kane
テレケ・アン カネ
跳ねる・我 (程度)
私は飛び跳ねて
- 4430 bash-an kane
バシ・アン カネ
走る・我 (程度)
走って行き、
- 4431 ek-an aine
エック・アン アイネ
来る・我 (接続)
ようやく
- 4432 a-un chise ta
ア・ウン チセ タ
我・いる 家 (場所)
家へ
- 4433 rawoshma-an
ラウオシマ・アン
下に入る・我
到着した。
- 4434 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 4435 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
お爺さん
- 4436 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
も、
- 4437 pirika shiri
ピリカ シリ
よい 様子
立派な様子を
- 4438 a-i-y-ekeshke wa
ア・イ・イエケシケ ワ
我・ひどい仕打ちをうける (接続)
酷くされて
- 4439 isam ko
イサム コ
死ぬ (条件)
亡くなった。そして、
- 4440 wen-an shiri
ウェン・アン シリ
悪い・我 様子
私は貧しい女、
- 4441 otui-an shiri
オトウイ・アン シリ
女のような・我 様子
下らぬ女であり、
- 4442 konep a-kar kusu
コネツ ア・カラ クス
何 我・する (理由・目的)
どうすればよいのか。
- 4443 a-ki p tap ne
ア・キ プ タプ ネ
我・するもの これ (繫辞類)
生きていて
- 4444 shiknu ne ya
シックス ネ ヤ
生きている (繫辞類) (疑問)
よいのか。
- 4445 orkikita
オロキキタ
やむを得ないなら
いっそのこと、
- 4446 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄の
- 4447 mut chimut tam
ムト チムト タム
差す 佩く 刀
太刀の
- 4448 notak kurkashi
ノタク クルカシ
刃 上
刃の上で
- 4449 a-etui yakne
ア・エトウイ ヤクネ
我・死ぬ (条件)
斬られたならば、
- 4450 tam be boka
タム ベ ボカ
このもの さえ
その方が
- 4451 anrai orwa
アンライ オロワ
ひどく死ぬ (始点)
死んでから
- 4452 pirika itukap ne
ピリカ イトゥカプ ネ
よい 幽霊 (繫辞類)
立派な霊魂として
- 4453 a-koro nesh ki ne
ア・コロ ネシ キ ネ
我・もつ こそ する (繫辞類)
いられたのだ。
- 4454 ari yainu-an kusu
アリ ヤイス・アン クス
(引用) 考える・我 (理由・目的)
私はそう思い、
- 4455 shisosam ta
シソサム タ
右座 (場所)
右座の
- 4456 shirush tuntu ne
シルシ トウトウネ
留まる 柱 (繫辞類)
柱へ
- 4457 a-yaishitchiure
ア・ヤイシトチウレ
我・自らぶつかる
身体をぶつけた。
- 4458 a-chishhaukonna
ア・チシハウコンナ
我・泣く声
私の泣き声
- 4459 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響き渡った。
- 4460 an-an awa
アナン アワ
いる・我 (展開)
私がそうしていると、
- 4461 ponno shirantek ko
ボンノ シランテック コ
少し 時がたつ (条件)
しばらくして、
- 4462 chise sam ka ta
チセ サム カ タ
家 そば 上 (場所)
家の側の上で
- 4463 ainu apkash hum
アイヌ アッカシ フム
人間 歩く 音
人間の歩く音が
- 4464 tunash tunash
トゥナシ トゥナシ
早い 早い
颯爽と鳴った。
- 4465 mosem tuyor
モセム トウヨロ
玄関納屋 中
そして、玄関納屋の方へ
- 4466 oshikiru
オシキル
回る
まわり、
- 4467 ratki aba
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
簾戸を
- 4468 shikantapkurka
シカントップクルカ
自らの肩の上
肩の上へ
- 4469 eshitaiki
エシタイキ
振り上げる
跳ね上げた。
- 4470 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上 (場所)
土間の上へ

- 4471 rutkosanu p
ルトコサヌ フ
サッと入る もの
入って来た者を
- 4472 a-nukar kusu
ア・ヌカヲクス
我・見る (理由・目的)
私が見ると、
- 4473 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄であった。
- 4474 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 4475 sonno rai kusu
ソノノ ライクス
真に 死ぬ (理由・目的)
死にそうな
- 4476 shin ne okai wa
シン ネ オカイ ワ
様子 (繋辞類) ある (接続)
様子であり、
- 4477 harkiso beka
ハッキソ ベカ
左座 で
左座へ
- 4478 niwen chini kan
ニウエン チニ カン
猛々しい 脚 上
荒々しい足取りで
- 4479 tuima turi
トゥイマ トウリ
遠い 伸ばす
歩み、
- 4480 hoka etok ta
ホカ エトク タ
炉 前方 (場所)
炉の手前へ
- 4481 arki hine
アッキ ヒネ
来る (接続)
やって来た。そして、
- 4482 tumashnu kusu
トゥマシヌ クス
元気になる (理由・目的)
元気であるから
- 4483 katkoro shiri
カトコロ シリ
振舞う 様子
そのようにすると
- 4484 okai rok be
オカイ ロク ベ
ある (完了) もの
思ったのに、
- 4485 upshinobo
ウッシノボ
うつ伏せになる
うつ伏せに
- 4486 shirikamu
シリカム
伏せてある
倒れて、
- 4487 nani nittek kewe
ナニ ニトテック ケウエ
すぐに 硬い 身体
硬直した身体を
- 4488 chishiturire
チシトゥリレ
伸びる
横たえた。
- 4489 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に、
- 4490 kanak an kuni p
カナク アン クニ プ
誰 ある ようにもの
何者かが、
- 4491 ratki aba ush be
ラトキ アバ ウシ ベ
垂れ下がった 簾戸 ある もの
簾戸を
- 4492 obunbuni^{*49}
オブンブニ
持ち上げる
跳ね上げて
- 4493 tonchikamani
トンチカマニ
入り口の敷居
敷居を
- 4494 yayoikare
ヤヨイカレ
またぐ
またぎ、
- 4495 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上 (場所)
土間の上に
- 4496 reyerere^{*50} p
レイエレイエ プ
這う もの
這いながら入って来た。
- 4497 a-nukar kusu
ア・ヌカヲクス
我・見る (理由・目的)
私が見ると、
- 4498 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女であった。
- 4499 tuima bashte
トゥイマ バシテ
遠い 走らせる
長く走ってきた
- 4500 kone p ne kusu
コネ プ ネ クス
であるもの (繋辞類) (理由・目的)
らしく、
- 4501 konubopbeta-
コヌボッベタ・
汗で
顔に汗が
- 4502 rikan kane
リカン カネ
湿っている (程度)
出ている。
- 4503 katu ne kane
カトゥネ カネ
かたち (繋辞類) (程度)
あたりまえに
- 4504 oribak kuni p
オリバク クニ プ
畏まる ようにもの
畏まるもの
- 4505 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
(繋辞類) (接続) (繋辞類) (条件)
であるならば
- 4506 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである (逆接)
さもあるうが、
- 4507 kurka konna
クルカ コンナ
上こそ
表情が
- 4508 uyanitara
ウヤニタラ
もじもじしている
硬くなっている。
- 4509 otu chish wem be
オトゥ チシ ウエム ベ
二つの 泣く 悪い もの
そして、悲しみの涙を
- 4510 ore chish wem be
オレ チシ ウエム ベ
三つの 泣く 悪い もの
何度も
- 4511 yayekote kane
ヤイエコテ カネ
自分に結びつける (程度)
流した。
- 4512 yuppo ari
ユッポ アリ
兄 (引用)
兄さん、と
- 4513 itak kane
イタク カネ
言う (程度)
言った。
- 4514 pon a-kor yubi hekota
ボン ア・コロ ユビ ヘコタ
小さい 我・もつ 兄 向かう
小兄の方へ
- 4515 shikiru-an ko
シキル・アン コ
振り向く・我 (条件)
私が振り向くと
- 4516 rukani hura
ルカニ フラ
毒の 匂い
猛毒の匂い、
- 4517 wen hura
ウエン フラ
悪い 匂い
良くない匂いが
- 4518 rui rera ne
ルイ レラ ネ
激しい 風 (繋辞類)
激しい風となって
- 4519 i-emaknakur-
イ・エマクナクル・
我・奥
私を奥へ
- 4520 raiba kane
ライバ カネ
移動させる (程度)
追いやった。

*49 この語の前に yayo と書かれているが線で抹消されている。

*50 reyerere と書かれているが仮にこのように解釈する。

- 4521 tane tane
タネ タネ
今 今
もはや
- 4522 a-sambe
ア・サムベ
我・心臓
私の心臓が
- 4523 ru wa
ル ワ
溶ける(接続)
溶けて
- 4524 isam-an anke
イサム・アン アンケ
死ぬ・我 しようとする
無くなり、
- 4525 rai-an anke
ライ・アン アンケ
死ぬ・我 しようとする
死んでしまうかと
- 4526 yainu-an
ヤイヌ・アン
考える・我
思った、
- 4527 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に、
- 4528 kamui nishka un
カムイ ニシカ ウン
神 上空 (方向)
天空で
- 4529 inenep humi
イネネフ ミ
何 音
何かの音、
- 4530 inenep hawe
イネネフ ハウエ
何 声
何かの音が
- 4531 an-ekisarbui-
アネキサッブイ・
我・耳穴
私の耳穴に
- 4532 chikurure
チクルレ
入る
届いた。
- 4533 tam be kusu
タム ベ クス
このもの(理由・目的)
そこで、
- 4534 kisattarara-an
キサッタララ・アン
耳を寄せる・我
耳を澄まし、
- 4535 kisaruheubare-an
キサルヘウバレ・アン
耳を傾ける・我
耳を傾けて
- 4536 ikokanu-an wa
イコカヌ・アン ワ
聞く・我 (接続)
注意して
- 4537 inu-an awa
イヌ・アン アワ
聞く・我 (展開)
いと、
- 4538 nekon ne hawe
ネコン ネ ハウエ
どのように(繫辞類) 声
何の声
- 4539 ne nankor a
ネ ナンコラ
(繫辞類) だろ う か
であるのだろうか。
- 4540 shinotcha ne ya
シノトチャ ネ ヤ
歌の節 (繫辞類) (疑問)
歌声であるのか、
- 4541 chish hau ne ya
チシ ハウ ネ ヤ
泣く 声 (繫辞類) (疑問)
泣き声であるのか、
- 4542 menoko kutor
メノコ クトロ
女 喉
女の咽喉、
- 4543 beure kutor
ベウレ クトロ
若い 喉
若々しい咽喉の
- 4544 ehautumkonna-
エハウトムコンナ・
声の中心
声が
- 4545 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
鳴り響いている、
- 4546 koeirbakno
コエイリバクノ
それと同時に
それと同時に、
- 4547 hemanta kani
ヘマンタ カニ
何 黄金
何かの金属が
- 4548 a-kik hum konna
ア・キク フム コンナ
叩かれる 音 こそ
叩かれる音、
- 4549 oroneambe
オロネアムベ
はなはだしく
その音が
- 4550 nainatara
ナイナタラ
鳴る
美しく
- 4551 mayunitara
マユニタラ
響く
鳴った。
- 4552 uwobuk hawe
ウウォブク ハウエ
混じり合う(?) 声
聞こえてくる声は
- 4553 kamui riwak ne
カムイ リワク ネ
神 帰る (繫辞類)
帰天する神のように
- 4554 uwetunuisse
ウウェトゥヌイセ
美しく響く
響き渡る。
- 4555 uweebaki un
ウウェエバキ ウン
次々に (方向)
次第に、
- 4556 an-ewak shiror
アネワク シロロ
我・住む 場所
私の住まいへ
- 4557 koehanke aine
コエハンケ アイネ
近い (接続)
近づいてきて、
- 4558 soyun yakura
ソユン ヤクラ
外にある 槽
外の槽、
- 4559 yakura kurka
ヤクラ クルカ
槽 上
その槽の上へ
- 4560 chieranke
チエランケ
降りる
降りた。
- 4561 kanak an kuni p
カナク アン クニ ヲ
誰 あるようにもの
何者かが、
- 4562 chise sam ka ta
チセ サム カ タ
家 そば 上(場所)
家の側の上で
- 4563 apkash humi
アッカシ フミ
歩く 音
歩く音がした。
- 4564 upsor ikor
ウッソロ イコロ
内部 宝物
懐中の宝物が
- 4565 kotununatki
コトウヌナトキ
鳴る
鳴り響いた。
- 4566 mosem tuyor
モセム トウヨロ
玄関納屋 中
そして、玄関納屋の方へ
- 4567 oshikuru
オシキル
回る
まわり、
- 4568 omkeomke kane
オムケオムケ カネ
何度も咳をする(程度)
咳払いをしながら、
- 4569 ratki aba
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
簾戸を
- 4570 omausuyere
オマウスイエレ
そよがせる
風でそよがせた。
- 4571 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上(場所)
土間の上に
- 4572 kanak an kuni p
カナク アン クニ ヲ
誰 あるようにもの
何者かが
- 4573 imeru tura
イメル トウラ
光 とともに
光とともに

- 4574 rutkosanu p
ルトコサヌ フ
サッと入るもの
入ってきた。
- 4575 a-nukar a kusu
ア・ヌカラ ア クス
我・見る 完了(理由・目的)
私が見ると、
- 4576 okutchi urar
オクトチ ウララ
たちこめる 霧
濃い霧、
- 4577 pon urar tapkop
ボン ウララ タップ
小さい霧 小山
小さな霧の小山があり、
- 4578 urar tumu
ウララ トウム
霧 中
霧の中は
- 4579 kamui imeru
カムイ イメル
神 光
神光で
- 4580 eshimaka
エシマカ
輝く
輝いている。
- 4581 tu urar ikkeu
トゥ ウララ イッケウ
二つの霧 元
霧の中心を
- 4582 re urar ikkeu
レ ウララ イッケウ
三つの霧 元
何度も
- 4583 a-kocharikar
ア・コチャリカラ
我・散らす
目で散らして
- 4584 ki p ne koroka
キ フ ネ コロカ
するもの(繫辞類) (逆接)
見ようとしたが、
- 4585 naani tu sui
ナアニ トウ スイ
まさに二つの回
何度
- 4586 naani re sui
ナアニ レ スイ
まさに三つの回
そうしても、
- 4587 ainu kat ne
アイヌ カト ネ
人間 姿(繫辞類)
人間の姿を
- 4588 a-kar eaikap
ア・カラ エアイカフ
我・する できない
見定めることができない。
- 4589 hushkotoi wano
フシコトイ ワノ
以前 から
長い間
- 4590 a-kar aine
ア・カラ アイネ
我・する(接続)
そうしていると、
- 4591 urar tum ta
ウララ トウム タ
霧 中(場所)
霧の中で
- 4592 a-shiketoko
ア・シケトコ
我・目先
私の目の前が
- 4593 raikosanu
ライコサヌ
くらむ
急に暗くなった。
- 4594 pom menoko
ポム メノコ
小さい女
若い女であり、
- 4595 tam ba ne wa
タム バ ネ ワ
この年(繫辞類) (接続)
今年あたりに
- 4596 i-sam korachi
イ・サム コラチ
我・傍ら ように
私によく似て、
- 4597 ponno
ボンノ
少し
少し
- 4598 i-turkasuno
イ・トゥルカスノ
我・以上
私を越えて
- 4599 chishikupka
チシクッカ
成長する
成長した
- 4600 kotomno
コトムノ
ように
ように
- 4601 a-ramu p
ア・ラム フ
我・思うもの
思われる女である。
- 4602 chitomtereshu p
チトムテレシュ フ
美しく育てられるもの
大事に育てられた者、
- 4603 chiarareshu p
チアラレシュ フ
立派に養育されるもの
美しく育てられた者
- 4604 sone kusu
ソネ クス
らしく(理由・目的)
であるらしく、
- 4605 kamui chikirbe
カムイ チキリベ
神 刺繡衣
神の刺繡衣、
- 4606 kani chikirbe
カニ チキリベ
黄金 刺繡衣
金の刺繡衣を
- 4607 arutomechiu
アルトメチウ
身にまとう
身にまとっている。
- 4608 imi-an ruwe
イミ・アン ルウエ
着る・我 様子
私が着ているものと
- 4609 horkasuye
ホロカスイエ
真似る
そっくりである。
- 4610 kisar kashike
キサラ カシケ
耳 上
耳の上で
- 4611 kamui ninkari
カムイ ニンカリ
神 耳飾り
神の耳飾りが
- 4612 kotonnatara
コトナタラ
輝く
輝いている。
- 4613 rektu kashike
レクト カシケ
首 上
頸の上には
- 4614 kamui tamasai
カムイ タマサイ
神 胸飾り
神の首飾りを
- 4615 koikatara
コイカタラ
つける
つけており、
- 4616 kamui nubeki
カムイ ヌベキ
神 光
神光で
- 4617 komaknatara
コマクナタラ
輝いている
輝いている。
- 4618 kamui otobi
カムイ オトビ
神 髪
神々しい髪は
- 4619 sarambe ka ne
サラムベ カ ネ
絹 糸(繫辞類)
絹の糸のように
- 4620 ekimuikashi
エキムイカシ
頭上
頭上を
- 4621 chiesurure
チエスルレ
覆う
覆っている。
- 4622 otop etoko
オトフ エトコ
髪 前方
髪の毛の先端は
- 4623 chioimeru-
チオイメル・
光・
光り
- 4624 kotba kane
コトバ カネ
つける(程度)
輝いている。
- 4625 reuboki ta
レウボキ タ
下(場所)
その下には
- 4626 kamui sannanu
カムイ サンナヌ
神 顔
神々しい顔が

- 4627 shikush toi kunne
シクシ トイ クンネ
日差し 土 ように
太陽のように
- 4628 komaknatara
コマクナタラ
輝いている
輝いている。
- 4629 hushkotoi wano
フシコトイ ワノ
以前 から
長い間
- 4630 chish be ne kusu
チシ ベ ネ クス
泣くもの(繫辞類) (理由・目的)
泣いており、
- 4631 shikrap emko
シクラップ エムコ
まつげ 半分
まつげが半分しか
- 4632 koetukukke kane
コエトウクケ カネ
突き出る (程度)
出て
- 4633 okai be
オガイ ベ
あるもの
いない
- 4634 ne koroka
ネ コロカ
(繫辞類) (逆接)
のだが、
- 4635 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように(接続) さえ
どのように褒めることも
- 4636 a-reka i ka
ア・レカ イ カ
我・ほめる ことも
できないほど
- 4637 oarar isam
オアララ イサム
全く 無い
美しい。
- 4638 nubur be sone
ヌブル ベ ソネ
霊力あるものらしく
霊力に優れた者であるらしく、
- 4639 nubur ibor
ヌブル イボロ
霊ある 顔色
霊力を秘めた表情で
- 4640 eibottumu-
エイボトトウム・
顔色
顔色が
- 4641 shinnaï kane
シンナイ カネ
違った(程度)
異彩を放っている。
- 4642 kani kacho
カニ カチヨ
黄金 太鼓
そして、金の太鼓を
- 4643 eshiyarbok-
エシヤラボク・
自らの脇
脇に
- 4644 amba kane
アムバ カネ
持つ(程度)
抱えている。
- 4645 kamui nubeki
カムイ ヌベキ
神 光
神光が
- 4646 chise upsoro
チセ ウッソロ
家 内部
家の中で
- 4647 eemakke kane
エエマクケ カネ
明るい(程度)
明るく輝いている。
- 4648 a-ye manu
ア・イエ マヌ
言われるという
人々が噂する
- 4649 etoroba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある女
エトロバ姫
- 4650 pon a-kor sapo
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
小姉
- 4651 nei katu
ネ カトゥ
(疑問詞) かたち
であることが
- 4652 a-noeraman
ア・ノエラマン
我・よくわかる
私にはよく分かった。
- 4653 kani kacho
カニ カチヨ
黄金 太鼓
姉は金の太鼓を
- 4654 harkisotta
ハラキソッタ
左座に
左座にある
- 4655 a-sotki kakenchai
ア・ソトキ カケンチャイ
我・寝床 掛け竿
寝床の掛け竿の
- 4656 atba ne ektekar
アトバ ネ エクテカラ
先頭(繫辞類) 来させる
先端に掛けた。
- 4657 tap orowa
タップ オロワ
これ(始点)
それから、
- 4658 i-kohosari
イ・コホサリ
我・振り向く
私の方へ身体を向け、
- 4659 ene itak i
エネ イタキ
このように言う こと
このように言った。
- 4660 koninkar kusu
コニンカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 4661 Otasam um mat
オタサム ウム マト
オタサム ある女
オタサム姫、
- 4662 a-tureshipo newa
ア・トゥレシポ ネワ
我・妹 と
私の妹と
- 4663 Kunashir un mat
クナシリ ウン マト
クナシリ ある女
クナシリ姫、
- 4664 kamui katkemat
カムイ カトケマト
神 婦人
神である婦人よ、
- 4665 itak-an chiki
イタク・アン チキ
言う・我 (条件)
話しますから
- 4666 pirikano nu wa
ピリカノ ヌ ワ
良く 聞く(接続)
よく聞いて
- 4667 i-kore yan
イ・コレ ヤン
我・与える(命令)
ください。
- 4668 aokai anakne
アオカイ アナクネ
我 は
私は
- 4669 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある女
エトロバの女
- 4670 a-ne ruwe ne
ア・ネ ルウェ ネ
我・(繫辞類) 様子(繫辞類)
です。
- 4671 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 4672 konepkashita
コネツカシタ
何としたことか
コネツカシタ、
- 4673 moire tunash
モイレ トウナシ
遅い 早い
遅かれ早かれ、
- 4674 iki yakkaiki
イキ ヤッカイキ
する(譲歩)
いずれにせよ、
- 4675 pirika unukar
ピリカ ウヌカラ
よい 会見
良い会見、
- 4676 ratchi unukar
ラッチ ウヌカラ
穏やかな 会見
穏やかな会見を
- 4677 a-ki kuni batek
ア・キ クニ バテク
我・する ようにのみ
することばかりを
- 4678 a-ramu wa
ア・ラム ワ
我・思う(接続)
私は待ち
- 4679 a-chibachiba kane
ア・チバチバ カネ
我・望む(程度)
望んで

- 4680 an-an awa
アナン アワ
いる・我(展開)
いたのですが、
- 4681 arwen kamui
アラウエン カムイ
ひどい 神
極悪の神、
- 4682 arwen bito
アラウエン ビト
ひどい 人
性悪の神の
- 4683 kar wem buri
カラ ウェム ブリ
する 悪い 行い
悪いおこない、
- 4684 kar irara
カラ イララ
する 悪戯する
悪戯が
- 4685 oikkeune kusu
オイッケウネ クス
原因である (理由・目的)
原因で、
- 4686 uwesamanno
ウウエサマンノ
いっしょに
一緒に
- 4687 chirainep oshke
チライネフ オシケ
死ぬ 中
死の縁へ
- 4688 a-i-y-ekarkar
ア・イ・イエカラカラ
我・される
追い込まれた
- 4689 ruwe okai yakka
ルウェ オカイ ヤッカ
様子 ある (譏歩)
のです。そして、
- 4690 Otasam un kuru
オタサム ウン クル
オタサム ある 人
オタサム彦、
- 4691 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
小兄は
- 4692 inunukashki
イヌヌカシキ
可哀想に
可哀想に
- 4693 a-koiki ruwe
ア・コイキ ルウェ
攻撃される 様子
攻撃を受けたのです。
- 4694 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は、
- 4695 kamui ramachi
カムイ ラマチ
神 魂
神の魂も
- 4696 a-obosore noine
ア・オボソレ ノイネ
我・通させる らしく
抜け出してしまうように
- 4697 iramu-an
イラム・アン
思われる
思います。
- 4698 ikkewe ta
イクケウエ タ
元 (場所)
私たちは正しい
- 4699 a-kor epirika p
ア・コロ エピリカ ヲ
我・もつ よい もの
理由を持っているの
- 4700 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
です。
- 4701 menoko ainu
メノコ アイヌ
女 人間
女では
- 4702 a-ne yakka
ア・ネ ヤッカ
我・(繫辞類) (譏歩)
あつても、
- 4703 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
小兄を
- 4704 a-konicharba wa
ア・コニチャラバ ワ
我・治療する (接続)
治療して
- 4705 a-ebotara wa
ア・エボタラ ワ
我・魔払いをする (接続)
魔払いをして
- 4706 inkar-an kusu ne
インカラ・アン クス ネ
見る・我 (理由・目的) (繫辞類)
みましょう。
- 4707 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 4708 a-kohosari
ア・コホサリ
我・顔を向ける
私たちが頼りにする
- 4709 a-enishte kuni
ア・エニシテ クニ
頼りにされる ように
心強い
- 4710 okkayo
オッカヨ
男
男は
- 4711 shinen ka
シネン カ
一人 も
人も
- 4712 isam kusu
イサム クス
いない (理由・目的)
いませから、
- 4713 aokai
アオカイ
我
私たちが
- 4714 ikonicharba-an wa
イコニチャラバ・アン ワ
治療する・我 (接続)
治療をして
- 4715 inkar-an kusu ne
インカラ・アン クス ネ
見る・我 (理由・目的) (繫辞類)
みましょう。
- 4716 hushkotoi wano
フシコトイ ワノ
以前 から
長い間、
- 4717 rukani ekot be
ルカニ エコト ベ
毒 死ぬ もの
猛毒で死んだ者
- 4718 anakne
アナクネ
は
は、
- 4719 kamui hene
カムイ ヘネ
神 も
神でも
- 4720 ainu hene
アイヌ ヘネ
人間 も
人間でも、
- 4721 yaikachipba
ヤイカチッパ
蘇る
蘇生することが
- 4722 eaikap be ne
エアイカッ ベ ネ
できない もの (繫辞類)
できないのだと
- 4723 ari hawash awa
アリ ハワシ アワ
(引用) 言われる (展開)
言われていますが、
- 4724 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
小兄は
- 4725 shisak rametok
シサク ラメトク
またとない 勇者
またとない勇者です。
- 4726 rukani ekot ruwe
ルカニ エコト ルウェ
毒の 死ぬ 様子
猛毒で死ぬのは
- 4727 inunukashki
イヌヌカシキ
可哀想に
可哀想です。
- 4728 nani ekot wa
ナニ エコト ワ
すぐに死ぬ (接続)
すぐに死んで
- 4729 ne a yakne
ネ ア ヤクネ
(繫辞類) 完了 (条件)
しまったら、
- 4730 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサムの村は
- 4731 chiramatsakka
チラマツサッカ
意気消沈する
意気消沈
- 4732 a-ekarkar
ア・エカラカラ
我・する
することに

- 4733 ruwe ne
ルウェ ネ
様子 (繫辞類)
なります。
- 4734 nei ta bakno
ネイ タ バクノ
(疑問詞) (場所) まで
いつまで
- 4735 ne yakka
ネ ヤッカ
(繫辞類) (譲歩)
も、
- 4736 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄の
- 4737 kamui ramachi
カムイ ラマチ
神 魂
神の魂が
- 4738 a-i-kohoshibire
ア・イ・コホシビレ
我に返される
戻ることが
- 4739 somo ki ko
ソモ キ コ
(否定) する (条件)
無けれ
- 4740 anakne
アナクネ
は
ば、
- 4741 menoko ainu
メノコ アイヌ
女 人間
私たちは女
- 4742 a-ne a yakka
ア・ネ ア ヤッカ
我・(繫辞類) 完了 (譲歩)
ですが、
- 4743 kanto or bakno
カント オロ バクノ
天 所 まで
天空まで、
- 4744 kamui or bakno
カムイ オロ バクノ
神 所 まで
神々のところまで
- 4745 chorauki-an wa
チョラウキ・アン ワ
攻撃する・我 (接続)
攻撃をしかけて、
- 4746 kamui moshiri
カムイ モシリ
神 国土
神々の世界を
- 4747 wen toi kan toi
ウエン トイ カントイ
悪い 土 上 土
表土とともに
- 4748 a-kokirukar
ア・コキルカラ
我・ひっくり返す
荒らして
- 4749 kusu ne
クス ネ
(理由・目的) (繫辞類)
やりましょう。
- 4750 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
わたしが小兄を
- 4751 a-konicharba
ア・コニチャラバ
我・治癒する
治癒
- 4752 kusu ne na
クス ネ ナ
(理由・目的) (繫辞類) ぞ
します。
- 4753 tun ne wa
トゥン ネ ワ
二人 (繫辞類) (接続)
二人で
- 4754 i-sermak ush wa
イ・セレマク ウシ ワ
我・背後 ある (接続)
私の背後について
- 4755 i-kore kunak
イ・コレ クナク
我・与える (引用)
くれ
- 4756 ramu yan
ラム ヤン
思う (命令)
ませんか。
- 4757 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄が
- 4758 shiknu tusa
シクヌ トウサ
生きている 快復する
蘇生し、
- 4759 urenkare
ウレンカレ
生き返る
生き返ったのが
- 4760 a-eraman ko
ア・エラマン コ
我・知る (条件)
分かったら、
- 4761 orowa eashiri
オロワ エアシリ
(始点) それこそ
それから
- 4762 uwekap-an
ウエカフ・アン
挨拶する・我
挨拶を交わし
- 4763 kusu ne na
クス ネ ナ
(理由・目的) (繫辞類) ぞ
ましよう。」
- 4764 ari itak kane
アリ イタク カネ
(引用) 言う (程度)
エトロバ姫はこう言って、
- 4765 yaikokutkoro-^{*51}
ヤイコクトコロ・
自らの帯
みずからの帯を
- 4766 bitabita
ビタバタ
ほどく
ほどいた。
- 4767 ear kabar be
エアラ カバラ ベ
ただ一つ 薄い もの
薄い衣を
- 4768 yaikonoye
ヤイコノイエ
身にまとう
身にまとい、
- 4769 kamui chibanup
カムイ チバナフ
神 冠り物
神の鉢巻を
- 4770 erurikiraiba kane
エルリキライバ カネ
高く上げる (程度)
ねじり上げた。
- 4771 humse tura
フムセ トウラ
声を出す とともに
そして、気合いの声とともに
- 4772 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄の
- 4773 banikkeukashi
バニッケウカシ
上の腰の上
腰の上へ
- 4774 kokkaechiu
コッカエチウ
膝をつく
膝をつき、
- 4775 kai op emko
カイ オッフ エムコ
折れる 槍 半分
折れた槍の半分を
- 4776 yupke kishma
ユッケ キシマ
強い 抱える
強く握った。
- 4777 shikomeumewe
シコメウムエ
自ら揺する
そして、槍を揺すり
- 4778 shikoetaye
シコエタイエ
自ら引き寄せる
引き抜いた。
- 4779 niwen rimimse
ニウエン リミムセ
猛々しい 泣き叫ぶ
激しい叫び声で
- 4780 a-ehautumkonna
ア・エハウトゥムコンナ
我・音色
私の咽喉が
- 4781 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響いた。
- 4782 i-seturkashi
イ・セトゥルカシ
我・背中
私の背後で
- 4783 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女は

*51 yaikokut kutkoro と書かれているがこのように解釈する。

- 4784 niwen rimimse
ニウエン リミムセ
猛々しい泣き叫ぶ
激しい叫び声で
- 4785 ehautumkonna-
エハウトゥムコンナ
声の中心
咽喉を
- 4786 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響かせ、
- 4787 niwen horippa
ニウエン ホリッパ
猛々しい行進する
激しい足踏みをした。
- 4788 a-utapkurka-
ア・ウタツクルカ
我・両肩の上
私は肩を
- 4789 rari kane
ラリ カネ
押さえる(程度)
並べた。
- 4790 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバある女
エトロバ姫、
- 4791 pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい我・もつ姉
小姉の
- 4792 tu sermak kashi
トゥ セレマク カシ
二つの背後 上
背後で
- 4793 re sermak kashi
レ セレマク カシ
三つの背後 上
何度も
- 4794 an-ehorippa
アネホリッパ
我・踊る
私たちは足踏みをして
- 4795 arukosantek
アルコサンテック
互いの手
腕を
- 4796 a-turba kane
ア・トゥルバ カネ
我・伸ばす(程度)
伸ばした。
- 4797 taban bara op
タババン バラ オプ
この 幅広い槍
幅広いの槍には
- 4798 okembesh shiri
オケムベシ シリ
血が滴る 様子
血が滴り、
- 4799 rorum burai kari
ロルム ブライ カリ
上座の窓 から
神窓から
- 4800 soi omare
ソイ オマレ
家の外 置く
外へ飛び散った。
- 4801 rukani hura
ルカニ フラ
毒の 匂い
猛毒の匂い、
- 4802 wen huraha
ウェン フラハ
悪い の匂い
良くない匂いが
- 4803 i-emaknakur-
イ・エマクナクル
我・奥
私たちを奥へ
- 4804 raiba kane
ライバ カネ
移動させる(程度)
追いやった。
- 4805 tane
タネ
今
今は、
- 4806 sambewen-an anke
サムベウエン・アン アンケ
心臓が悪い・我 しようとする
心臓が悪くなりそう
- 4807 humash kane
フマシ カネ
心配がする(程度)
気分である。
- 4808 ineap kusu
イネアプクス
何と(理由・目的)
何と
- 4809 pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい我・もつ姉
小姉は
- 4810 sambe kor wa
サムベ コロ ワ
心臓 持つ(接続)
心臓が強い
- 4811 ikichi nankor a
イキチ ナンコラ
する だろう か
ことか。
- 4812 pon a-kor yubi oro
ボン ア・コロ ユビ オロ
小さい我・もつ兄 場所
小兄は
- 4813 bara op ari
バラ オプ アリ
幅広い 槍 で
幅広いの槍で
- 4814 a-kushnaotke
ア・クシナオトケ
我・激しく突く
突き刺された。
- 4815 a-bushi i wa
ア・ブシ イ ワ
刺される ところ(起点)
突き刺されたところから、
- 4816 rukani koishum
ルカニ コイシユム
毒の 海水の泡
猛毒の泡が
- 4817 bututke ko
ブトゥツケ コ
ふくれ出る(条件)
出てくると、
- 4818 oro bar kotukka
オロ バラ コトゥッカ
場所 口 くつつける
そこに口をつけて、
- 4819 shikonun
シコヌン
吸い取る
吸い出した。
- 4820 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
小兄は
- 4821 kira ranke
キラ ランケ
逃げる(反復)
何度も逃げようとした。
- 4822 kotchake wa
コトチャケ ワ
前(起点)
前から、
- 4823 oshmake wa
オシマケ ワ
その背後(起点)
背後から、
- 4824 rukani koishum
ルカニ コイシユム
毒の 海水の泡
猛毒の泡、
- 4825 rukani behe
ルカニ ベヘ
毒の 水
猛毒の水を
- 4826 shikonun aine
シコヌン アイネ
吸い取る(接続)
姉は吸い出し、
- 4827 satke
サツケ
乾かす
乾燥させた。
- 4828 tap orowa
タップ オロワ
これ(始点)
それから、
- 4829 kani kacho
カニ カチョ
黄金 太鼓
金の太鼓を
- 4830 rapte
ラッテ
下ろす
取り出し、
- 4831 eshiyarbok-
エシヤラボク
自らの脇
脇に
- 4832 amba kane
アマバ カネ
持つ(程度)
抱えた。
- 4833 baror konna
バロロ コンナ
口 こそ
そして、口元が
- 4834 shiunatarata
シウナタラ
音が鳴る
鳴った。
- 4835 nei korachi
ネイ コラチ
(繫辞類) 同時に
それと同時に、
- 4836 baror ka wa
バロロ カ ワ
口 上(起点)
口元から

- 4837 tu binu hushsa
トゥ ビヌ フシサ
二つの かすかな 息吹き
かすかな魔払いの音が
- 4838 re binu hushsa
レ ビヌ フシサ
三つの かすかな 息吹き
何度も
- 4839 chisoinaraiba
チソイナライバ
外へ出る
聞こえ、
- 4840 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄の
- 4841 kurkashike
クルカシケ
表面
上へ
- 4842 chiekarbare
チエカラバレ
取り囲む
降り注いだ。
- 4843 tumi tuika ta
トゥミ トウイカ タ
戦い 上 (場所)
戦いの最中に負った
- 4844 tu tanne biri
トゥ タンネ ビリ
二つの 長い おこない
深い傷、
- 4845 re tanne biri
レ タンネ ビリ
三つの 長い おこない
数多くの傷の
- 4846 kurkashike
クルカシケ
表面
上に、
- 4847 kurkashike
クルカシケ
表面
その傷の上に、
- 4848 hushsa echiu
フシサ エチウ
息吹き 刺す
魔払いの音が突き刺さった。
- 4849 nei korachi
ネイ コラチ
(繫辞類) 同時に
同じように、
- 4850 tu takne tam bir
トゥ タクネ タム ビリ
二つの 短い 刀 傷
浅い刀傷、
- 4851 re tanne tam bir
レ タンネ タム ビリ
三つの 長い 刀 傷
数多くの刀傷が
- 4852 hesaochiuba
ヘサオチウバ
前へ出る
前へ出て、
- 4853 homakochiuba
ホマコチウバ
奥の方から来る
背後へ出て、
- 4854 tuk wa baye
トゥク ワ バイエ
生える (接続) 行く
突き出していった。
- 4855 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄の
- 4856 mi kosonte
ミ コソソテ
着る 小袖
着ていた小袖の
- 4857 otu sash bechi
オトゥ サシ ベチ
二つの 喚音を立てる 裂けた布
裂けた布、
- 4858 ore sash bechi
オレ サシ ベチ
三つの 喚音を立てる 裂けた布
数多くの布、
- 4859 bishkanike
ビシカニケ
周囲
周囲に
- 4860 eerachitke
エエラチトケ
ぶらさがる
垂れ下がって
- 4861 rok be hene
ロク ベ ヘネ
(完了) もの も
いたものは、
- 4862 obittano
オビトタノ
皆
すべて
- 4863 hoshkino
ホシキノ
先に
前
- 4864 kasuno
カスノ
以上
よりも
- 4865 pirikano
ピリカノ
良く
立派に
- 4866 kokarkar
コカラカラ
作用する
なった。
- 4867 tap orowa
タッ オロワ
これ (始点)
それから、姉は
- 4868 hoka etok ne
ホカ エトク ネ
炬 前方 (繫辞類)
兄を炬の前へ
- 4869 eturikar^{*52}
エトゥリカラ
伸ばす
寝かせ、
- 4870 shitemkurkashi
シテムクルカシ
自らの手の上」
腕の中に
- 4871 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄を
- 4872 eomare kane
エオマレ カネ
抱える (程度)
抱えた。
- 4873 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄、
- 4874 anrai bito
アンライ ビト
ひどく死ぬ 人
死人、
- 4875 rayibor oma p
ライボロ オマ フ
死相 あるもの
死相を浮かべた者は
- 4876 mashkinteta
マシキンテタ
ますます
まささく、
- 4877 ainu hetab an
アイヌ ヘタパン
人間 これ ある
人間であるのか。
- 4878 arikinne
アリキンネ
まったく
まったく、
- 4879 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 (繫辞類)
神の如き様子である。
- 4880 kurkashike
クルカシケ
表面
その周囲は
- 4881 tu ok kamui kur
トゥ オク カムイ クル
二つの 嘆き 神 影
悲しみの影で
- 4882 re ok kamui kuru
レ オク カムイ クル
三つの 嘆き 神 影
幾重にも
- 4883 koerachike
コエラチケ
垂れ下がる
覆われている。
- 4884 orowano
オロワノ
(始点)
それから、
- 4885 pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
小姉は
- 4886 ki shinotcha
キ シノトチャ
する 歌の節
歌を歌い、
- 4887 eraunkuchi-
エラウンクチ・
下の咽喉
咽喉を

*52 eturu kar と表記されているがこのように解釈する。

- 4888 **kamuinoeye**
カムイノイエ
美しくねじる
美しくねじらせた。
- 4889 **esambar kashi**
エサムバラ カシ
口 上
その口元は
- 4890 **kamui riwak ne**
カムイ リワカ ネ
神 帰る (繫辞類)
帰天する神のように
- 4891 **tununitara**
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響いた。
- 4892 **kani kacho**
カニ カチヨ
黄金 太鼓
金の太鼓の
- 4893 **kurkashi**
クルカシ
上
表面を、
- 4894 **kani pon repni ari**
カニ ボン レフニ アリ
黄金 小さい 拍子木で
金の小さな撥で
- 4895 **erep hum konna**
エレフ フム コンナ
拍子をとる 音 こそ
拍子をとりながら叩く音が
- 4896 **tununitara**
トゥヌニタラ
美しい音が響く
鳴り響いた。
- 4897 **ineap kusu**
イネアックス
何と (理由・目的)
何と
- 4898 **kuchi ashkai wa**
クチ アシカイ ワ
喉 上手である (接続)
咽喉が良く
- 4899 **baro ashkai wa**
バロ アシカイ ワ
口 上手である (接続)
声が美しい
- 4900 **hawash nankor a**
ハワシ ナンコラ
言われる だろう か
ことか。
- 4901 **kani kacho**
カニ カチヨ
黄金 太鼓
金の太鼓の
- 4902 **humi ki**
フミ キ
音 する
音が鳴ると
- 4903 **turanno**
トゥランノ
ともに
ともに、
- 4904 **uwobuk hawe**
ウウォブク ハウエ
混じり合う (?) 声
聞こえてくる声を
- 4905 **anramasu**
アンラマス
まったく好ましい
私は好ましく
- 4906 **a-uwesuiba**
ア・ウウエスイバ
我・思う
思った。
- 4907 **sonno hetap ne**
ソンノ ヘタッネ
真に これ (繫辞類)
まことのことであろうか。
- 4908 **pon a-kor sapo**
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
小姉は
- 4909 **ituren hetap ne**
イトゥレン ヘタッネ
憑く これ (繫辞類)
憑き神のためなのか。
- 4910 **koneptapteta**
コネツツツタ
何ということ
コネツツケウカタ、
- 4911 **ki shiri**
キ シリ
する 様子
そのおこないは
- 4912 **okkai rametok**
オッカイ ラメトク
男 勇者
男の勇者を
- 4913 **chiekasure**
チエカスレ
凌ぐ
しのいでいる。
- 4914 **a-shitoma**
ア・シトマ
恐ろしい
私が恐ろしく思い、
- 4915 **ouse huraha**
オウセ フラハ
ただ (だけ) の匂い
匂いだけ
- 4916 **batek ne yakka**
バテック ネ ヤッカ
のみ (繫辞類) (譲歩)
でも
- 4917 **a-ekot anke**
ア・エコト アンケ
我・死ぬ しようとする
死にそうな
- 4918 **yainu-an**
ヤイヌ・アン
考える・我
気分に
- 4919 **humi okai be**
フミ オカイ ベ
気配 ある もの
なったのが、
- 4920 **tapne**
タッネ
これである
この
- 4921 **rukani ne awa**
ルガニ ネ アワ
毒の (繫辞類) (展開)
猛毒なのに。しかし、
- 4922 **ikonicharba hene**
イコニチャッパ ヘネ
治療する も
治療することも
- 4923 **orsaureko**
オロサウレコ
とんでもなく
並々ならぬ
- 4924 **ki shiri**
キ シリ
する 様子
様子である。
- 4925 **kashike un sui**
カシケ ウン スイ
上 ある 再び
その上にまた、
- 4926 **ituren koro kuni p**
イトゥレン コロ クニ プ
憑く 持つ ようにもの
憑き神の力を持つ者
- 4927 **ne p ne kusu**
ネ ッ ネ クス
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 4928 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今は、
- 4929 **pon a-kor yubi**
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
小兄を
- 4930 **chikeutusare**
チケウトウサレ
蘇生する
蘇生させることが
- 4931 **eashkai kotomno**
エアシカイ コトムノ
できる ように
できたように
- 4932 **iramu-an**
イラム・アン
思われる
思われた。
- 4933 **shiyoro keutum**
シヨロ ケウトウム
驚く 心
私は
- 4934 **a-yaikore**
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 4935 **Kunashiri um mat**
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ姫、
- 4936 **inauru koro mat**
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女
- 4937 **ne wa ne yakka**
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
も、
- 4938 **katu ne kane**
カトゥネ カネ
かたち (繫辞類) (程度)
あたりまえに
- 4939 **eshiyoro kuni p**
エシヨロ クニ プ
驚く はずのもの
驚くもの
- 4940 **ne wa ne yakne**
ネ ワ ネ ヤクネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
であるならば、

- 4941 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである (逆接)
さもあろうが、
- 4942 shino
シノ
まことに
まことに
- 4943 iyokunure p
イヨクヌレ プ
驚く もの
驚いたもの
- 4944 kone p ne kusu
コネ プ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
であるらしく、
- 4945 neino
ネノ
ように
それが
- 4946 a-koeraman kane
ア・コエラマン カネ
我・知る (程度)
私にはよく分かった。
- 4947 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 4948 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
小兄は
- 4949 uweebaki ta
ウウエエバキ タ
次々に (場所)
次第に
- 4950 shiknu kur
シクヌ クル
生きている 人
生者の
- 4951 mim tum
ミム トウム
身 中
血色に
- 4952 iyeunu
イイエウス
つく
なってきた。
- 4953 eashka
エアシカ
ほんとうに
まさしく、
- 4954 a-eyaikobuntek
ア・エヤイコブンテク
我・喜ぶ
私は喜んだ。
- 4955 ene hetap ne
エネ ヘタップ ネ
このように これ (繫辞類)
とても驚いた。
- 4956 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
小兄を
- 4957 a-oshkor kusu
ア・オシコロ クス
我・惜しむ (理由・目的)
私は惜しみ、
- 4958 shiknu-an anak
シクヌ・アン アナク
生きている・我は
私も生きて
- 4959 somo ki kuni
ソモ キ クニ
(否定) する ように
いないだろうと
- 4960 a-ramu awa
ア・ラム アワ
我・思う (疑問)
思っていたのだが、
- 4961 sone p he an
ソネ プ ヘ アン
らしくもの (疑問) ある
まことのことなのか。
- 4962 ambe he an
アムベ ヘ アン
あること (疑問) ある
事実なのか。
- 4963 pon a-koro sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい我・もつ 姉
小姉が
- 4964 an kushkeraibo
アン クシケライボ
ある おかげで
いたおかげで、
- 4965 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 4966 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
小兄に
- 4967 a-nukar
ア・ヌカ
我・見る
会うことが
- 4968 eashkai kusu
エアシカイ クス
できる (理由・目的)
できるのだ。
- 4969 shiriki chiki
シリキ チキ
有様である (条件)
そこで、
- 4970 chish turanno
チシ トウランノ
泣く ともに
私は泣きながら
- 4971 nubetne-an chiki
ヌベトネ・アン チキ
喜ぶ・我 (条件)
喜んだ。すると、
- 4972 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女
- 4973 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
も、
- 4974 i-nepkoro kane
イ・ネッコロ カネ
我・ように (程度)
私と同じように
- 4975 yainu p ne kusu
ヤイヌ プ ネ クス
考えるもの (繫辞類) (理由・目的)
思ったものらしく、
- 4976 nube tum wa
ヌベ トウム ワ
涙 中 (起点)
泣きながら
- 4977 imasasa
イマササ
目を開く
目を開けた。
- 4978 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
そして、小兄の
- 4979 kurkashike
クルカシケ
表面
上を
- 4980 oribak tura
オリバク トウラ
畏まる ともに
畏まりながら
- 4981 uwambare kane
ウワムバレ カネ
見て調べる (程度)
見回した。
- 4982 tane eashiri
タネ エアシリ
今 それこそ
今は、
- 4983 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ 兄
小兄も
- 4984 pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい我・もつ 姉
小姉も
- 4985 pirika ruwe
ピリカ ルウエ
よい 様子
元気な様子である。
- 4986 sonno
ソンノ
真に
まことに、
- 4987 tap eashiri
タップ エアシリ
これ それこそ
まさしく、
- 4988 ukotom nanka
ウコトム ナンカ
ふさわしい 顔面
似つかわしい顔つき、
- 4989 ukotom shirika
ウコトム シリカ
ふさわしい 表面
似つかわしい容貌
- 4990 ne ruwe
ネ ルウエ
(繫辞類) 様子
であると、
- 4991 keutum ot ta
ケウトウム オト タ
心 所 (場所)
心の中で
- 4992 an-eyaikiror-
アネヤイキロー・
我・自らの力
私は
- 4993 ante kane
アンテ カネ
あらしめる (程度)
喜んだ。

4994 ari an ko
アリ アンコ
(引用) ある(条件)
ここで、

4995 oyak ta terke
オヤッタ テレケ
よそ(場所) 跳ねる
話は他所へ飛ぶ。

第3段 オタサム彦の語り

第11章 オタサム彦にたいする女 たちの治療と介護

4996 mokor hetap ne
モコロ ヘタッネ
眠る これ(繫辞類)
眠りであるのか、

4997 rai hetap ne
ライ ヘタッネ
死ぬ これ(繫辞類)
死であるのか、

4998 a-ki humi
ア・キ フミ
我・する 気配
私にはわからない。

4999 setakno hetap
セタクノ ヘタッ
短時間に これ
長い間、

5000 irukai hetap ne
イルカイ ヘタッネ
しばらくの間 これ(繫辞類)
暫くの間、

5001 a-ki humi
ア・キ フミ
我・する 気配
私は意識が無く、

5002 an-ekonramu-
アネコンラム・
我・心
私の心は

5003 turush kane
トゥルシ カネ
激しい(程度)
狂ったように、

5004 tanak kane
タナク カネ
うつらうつらする(程度)
朦朧としていた。

5005 inenep hawe
イネネフ ハウエ
何 声
何かの声、

5006 inenep humi
イネネフ フミ
何 音
何かの音が

5007 tu utur sama
トゥ ウトゥル サマ
二つの間 そば
何度も

5008 re utur sama
レ ウトゥル サマ
三つの間 そば
何度も聞こえ、

5009 koyaymososa
コヤイモソサ
自ら起こす
我は起きようと

5010 a-ki kush ne ko
ア・キ クシ ネ コ
我・する ように(繫辞類)(条件)
すると、

5011 tu takar so ne
トゥ タカラ ソ ネ
二つの夢 平面(繫辞類)
夢の中へ

5012 re takar so ne
レ タカラ ソ ネ
三つの夢 平面(繫辞類)
何度も

5013 a-uweomante
ア・ウウエオマンテ
我・送る
入り込んだ。

5014 tuno iwan sui
トゥノ イワン スイ
二つの六つの回
何度となく、

5015 reno iwan sui
レノ イワン スイ
三つの六つの回
幾度となく、

5016 ne aine
ネ アイネ
(繫辞類)(接続)
そのようであった。そして、

5017 hunak bak i ta
フナク バク イ タ
どこ までとき(場所)
いつしか

5018 inu-an ko
イヌ・アン コ
聞く・我(条件)
私が聞く、

5019 kanak an kuni p
カナク アン クニ プ
誰 ある ようにもの
何者かが

5020 ki shinotcha
キ シノトチャ
する 歌の節
歌う歌が

5021 kamui riwak ne
カムイ リワク ネ
神 帰る(繫辞類)
帰天する神のように

5022 uwetunuiise
ウウエトウスイセ
美しく響く
美しく響いていた。

5023 hemanta kani
ヘマンタ カニ
何 黄金
何かの金属の

5024 kurkashike
クルカシケ
表面
表面が

5025 a-kik hum konna
ア・キク フム コンナ
叩かれる音こそ
叩かれる音が

5026 nainatarata
ナイナタラ
鳴る
美しく

5027 mayunitara
マユニタラ
響く
鳴っていた。

5028 or un
オルン
所(方向)
そのときに

5029 a-yaishikarun
ア・ヤイシカルン
我・正気に返る
私は目覚めた。

5030 shikmakaka-an
シクマカカ・アン
目を開く・我
目を開いて

5031 inkar-an awa
インカラ・アン アワ
見る・我(展開)
見ると、

5032 seenne ka sui
セエンネ カ スイ
(否定)も再び
よもやまた、

5033 an-an kuni
アナン クニ
いる・我 ように
そのようであるとは

5034 a-ramu rok i
ア・ラム ロキ
我・思う(完了)こと
思わなかったが、

5035 an-neike
アン・ネケ
我・どこに
私のどこに

5036 tapne biro
タッネ ビロ
これである 傷がつく
傷があり、

5037 chiwente rokwa
チウエンテ ロクワ
痛めつけられる(完了)+(接続)
痛めつけられて

5038 an-an nankor a
アナン ナンコラ
いる・我 だろう か
いるというのだろうか。

5039 teeta kamka
テエタ カムカ
以前 皮膚
前と同じ身体に

5040 a-i-y-eunu
ア・イ・イエウス
我・あらしめる
戻っている。

5041 imi orunno
イミ オルunno
着物(不明)
着物も

5042 shibopke turanno
シボッケ トゥランノ
着る物 ともに
装束も、

5043 pirikano
ピリカノ
良く
美しく

5044 a-i-kokarkar
ア・イ・コカラカラ
我・もてなされる
なっている。

- 5045 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある 女
エトロバ姫、
- 5046 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹の
- 5047 annan orke
アンナン オロケ
顔面 所
顔の側で
- 5048 a-oshikmaka
ア・オシマカ
我・目覚める
私は目覚めた。
- 5049 isenram kusu
イセンラム クス
通常 (理由・目的)
妹はいつものように、
- 5050 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 (繫辞類)
神の如き姿、
- 5051 bito shiri ne
ビト シリ ネ
人 様子 (繫辞類)
貴人の姿であり、
- 5052 ear kabarbe
エアラ カバarbe
ただ一つ 薄造りの物
薄い衣を
- 5053 yaikonoiba
ヤイコノイバ
自ら振じる
ねじって着ている。
- 5054 kamui chibanup
カムイ チバヌp
神 冠り物
神の鉢巻を
- 5055 erikirai^{*53} kane
エリキライバ カネ
高く上げる (程度)
高々と締め、
- 5056 kani kacho
カニ カチョ
黄金 太鼓
金の太鼓、
- 5057 kamui koro be
カムイ コロ ベ
神 持つ もの
神宝で
- 5058 enaisamkonna-
エナイサムコンナ・
顔の横
顔の側が
- 5059 hermam kane
ヘレママ カネ
光る (程度)
光っている。
- 5060 kani pon repni
カニ ボン レpニ
黄金 小さい 拍子木
金の小さな撥で
- 5061 kacho kurkashike
カチョ クルカシケ
太鼓 表面
太鼓の表面を
- 5062 erep humi
エレp フミ
拍子をとる 音
叩く音
- 5063 ne rokokai
ネ ロコカイ
(繫辞類) (判明)
であったのだ。
- 5064 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く 心
我は
- 5065 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 5066 abe tuisam
アベ トウイサム
火 すぐ側
我は火の側で
- 5067 a-kohebuni
ア・コヘブニ
我・頭を上げる
起き上がった。
- 5068 hushkotoi wano
フシコトイ ワノ
以前 から
長い間、
- 5069 sono ibe-an be
ソモ イベ・アン ベ
(否定) 食事する・我もの
何も食べていなかったもの
- 5070 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 5071 sonno sattek-an
ソンノ サトテク・アン
真に 痩せる・我
我はまことに痩せ細っている。
- 5072 a-montumkonna-
ア・モントゥムコンナ・
我・腕の力
腕の力も
- 5073 koshumnatarata
コシユムナタラ
萎れている
萎えている。
- 5074 tane tane
タネ タネ
今 今
今は
- 5075 sambewen-an anke
サムベウエン・アン アンケ
心臓が悪い・我 しようとする
心臓が悪くなりそうな
- 5076 yainu-an kane
ヤイヌ・アン カネ
考える・我 (程度)
気分である。
- 5077 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある 女
エトロバ姫、
- 5078 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は、
- 5079 kusuri o pon shu
クスリ オ ボン シュ
薬 ある 小さい 鍋
薬の入った小鍋を
- 5080 hoka tuika
ホカ トウイカ
炉 上
炉に
- 5081 eterkere
エテレケレ
跳ねとばす
掛けた。
- 5082 bopte wa
ボpテ ワ
煮る (接続)
それを沸かして
- 5083 itanki oro
イタンキ オロ
御椀 場所
お椀に
- 5084 o wa
オ ワ
入れる (接続)
入れ、
- 5085 oribak tura
オリバク トゥラ
畏まる ともに
畏まりながら
- 5086 i-kure ko
イ・クレ コ
我・飲ませる (条件)
我に飲ませた。すると、
- 5087 tu kunnu mawe
トゥ クヌ マウエ
二つの 薬効がある 風
薬効のある気を
- 5088 re kunnu mawe
レ クヌ マウエ
三つの 薬効がある 風
何度も
- 5089 a-onnarukba
ア・オンナルクバ
我・飲み込む
我は飲み込んだ。
- 5090 pirika kusuri
ピリカ クスリ
よい 薬
良い薬で、
- 5091 a-sambe bake
ア・サムベ バケ
我・心臓 先頭
我は心臓の上手から
- 5092 a-sambe kese
ア・サムベ ケセ
我・心臓 末端
下手まで、
- 5093 koshituriri
コシトゥリリ
のびのびとする
伸び伸びした気になった。
- 5094 sonno
ソンノ
真に
まことに、
- 5095 an-esambeshhuri
アネサムベシトゥリ
我・心臓が伸びる
私は気持ちが落ち着いた。

*53 eruki raiba と書かれているがこのように解釈する。

- 5096 **usa atkochi**
ウサ アトコチ
(譲歩) 尾びれ
妹は魚の尾びれや
- 5097 **usa notarap**
ウサ ノタラフ
(譲歩) 鰓
鰓を
- 5098 **sanasapte wa**
サナサッテ ワ
取り出す (接続)
取り出し、
- 5099 **bopte wa**
ボッテ ワ
煮る (接続)
煮て、
- 5100 **sui nei rurihi**
スイ ネ ルリヒ
再び (繋辞類) 汁
その汁を
- 5101 **i-nire**
イ・ニレ
我・吸らせる
我に吸わせた。
- 5102 **inkar-an ko**
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
我が見ると、
- 5103 **a-koro ekashi**
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
祖父は
- 5104 **neun oman**
ネウン オマン
どこに行く
どこへ行った
- 5105 **ruwe ne**
ルウェ ネ
様子 (繋辞類)
ので
- 5106 **nankor a**
ナンコラ
だろう か
あろうか。
- 5107 **oarr isam**
オアラ イサム
全く いない
まったく姿が見えない。
- 5108 **chiseta turesh**
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹は
- 5109 **shiso sam ta**
シソ サム タ
右座 そば (場所)
右座の側で
- 5110 **tane**
タネ
今
今は
- 5111 **chish ekot anke**
チシ エコト アンケ
泣く 死ぬ しようとする
泣き倒れそうにしている。
- 5112 **otu chish wem be**
オトゥ チシ ウェム ベ
二つの 泣く 悪い もの
悲しみの涙を
- 5113 **ore chish wem be**
オレ チシ ウェム ベ
三つの 泣く 悪い もの
何度も
- 5114 **yayekote**
ヤイエコテ
自分に結びつける
流している。
- 5115 **oharkisoun**
オハラクソウン
左座から
左座には
- 5116 **seenne ka sui**
セエンネ カ スイ
(否定) も 再び
よもやまた、
- 5117 **shiran kuni**
シラン クニ
有様である ように
そのようなことがあるとは
- 5118 **a-ramu a i**
ア・ラム ア イ
我・思う 完了 こと
思わなかったが、
- 5119 **Kunashir um mat**
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ姫が
- 5120 **isenram kusu**
イセンラム クス
通常 (理由・目的)
いつものように、
- 5121 **kamui shiri ne**
カムイ シリ ネ
神 様子 (繋辞類)
神の如き姿で
- 5122 **okai wa**
オガイ ワ
ある (接続)
おり、
- 5123 **kurka konna**
クルカ コンナ
上こそ
その表情は
- 5124 **uyanitara**
ウヤニタラ
もじもじしている
暗く沈んでいる。
- 5125 **hushkotoi wano**
フシコトイ ワノ
以前 から
長い間、
- 5126 **somo ibe p**
ソモ イベ フ
(否定) 食事するもの
何も食べなかったもの
- 5127 **ne kusu**
ネ クス
(繋辞類) (理由・目的)
であるので、
- 5128 **sattek shiri**
サトテク シリ
やせた 様子
痩せ細り、
- 5129 **shino shinki p**
シノ シンキ フ
まことに 疲れる もの
まことに疲れて
- 5130 **ne kusu**
ネ クス
(繋辞類) (理由・目的)
いる。
- 5131 **neino**
ネノ
ように
それが
- 5132 **a-koeraman kane**
ア・コエラマン カネ
我・知る (程度)
我にはよく分かった。
- 5133 **Etorba um mat**
エトロバ ウム マト
エトロバ ある 女
エトロバ姫、
- 5134 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹
- 5135 **ne wa ne yakka**
ネ ワ ネ ヤッカ
(繋辞類) (接続) (繋辞類) (譲歩)
も、
- 5136 **keshto**
ケシト
毎日
毎日
- 5137 **somo ibe p**
ソモ イベ フ
(否定) 食事するもの
何も食べていないもの
- 5138 **ne kotomno**
ネ コトムノ
(繋辞類) ように
であるように
- 5139 **a-ramu**
ア・ラム
我・思う
思われる。
- 5140 **shino shinki p**
シノ シンキ フ
まことに 疲れる もの
そして、ひどく疲れている
- 5141 **nenno**
ネノ
ように
ように
- 5142 **a-ramu**
ア・ラム
我・思う
我は思った。
- 5143 **chiseta turesh**
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹、
- 5144 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹
- 5145 **ne wa ne yakka**
ネ ワ ネ ヤッカ
(繋辞類) (接続) (繋辞類) (譲歩)
も、
- 5146 **oar oar**
オアラ オアラ
全く 全く
まったく
- 5147 **shinki p ne noine**
シンキ フ ネ ノイネ
疲れる もの (繋辞類) らしく
疲れている
- 5148 **katkoro ruwe**
カトコロ ルウェ
振舞う 様子
様子である

- 5149 **okai koroka**
オカイ コロカ
ある (逆接)
が、
- 5150 **itak boka**
イタク ボカ
言葉 さえ
声をかけることも
- 5151 **a-nukuri**
ア・ヌクリ
我・嫌う
できない。
- 5152 **a-okkeuka wa**
ア・オッケウカ ワ
我・頭の上 (起点)
我は頭の上から
- 5153 **chininarbare kane**
チニナラバレ カネ
うつむく (程度)
うつむいて、
- 5154 **shineanibo**
シネアニボ
一個所
一個所を
- 5155 **a-shikomare**
ア・シコマレ
我・目をやる
見つめた。
- 5156 **chiseta turesh**
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹、
- 5157 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は
- 5158 **chirikibuni**
チリキブニ
起き上がる
立ち上がって、
- 5159 **utut ta oman**
ウトウト タ オマン
火尻座 (場所) 行く
下座へ行った。
- 5160 **otu betchirbe**
オトゥ ベトチリベ
二つの 水滴
水滴を
- 5161 **ore betchirbe**
オレ ベトチリベ
三つの 水滴
何度か
- 5162 **yaikarbare**
ヤイカラバレ
清める
使い、
- 5163 **pirika shuke**
ピリカ シュケ
よい 炊事する
良い煮炊きを
- 5164 **koyairikta-**
コヤイリクタ・
おのれより高く
かいがいしく
- 5165 **ante kane**
アンテ カネ
あらしめる (程度)
おこなった。
- 5166 **shu chi wa**
シュチ ワ
鍋 煮える (接続)
鍋が煮えると、
- 5167 **raisonabi**
ライソナビ
高盛の椀
高盛りの飯を
- 5168 **shikankitai-**
シカンキタイ・
みずからの頭の上
みずからの上に
- 5169 **eimekani**
エイメカニ
御膳をもつ
乗せて、
- 5170 **oribak tura**
オリバツ トウラ
畏まる ともに
畏まりながら
- 5171 **i-koibuni**
イ・コイブニ
我・食事を出す
我に差し出した。
- 5172 **a-uina wa**
ア・ウイナ ワ
我・取る (接続)
我はそれを受け取って
- 5173 **a-rikunruke**
ア・リクンルケ
我・高くさしあげる
高くかざし、
- 5174 **a-raunruke**
ア・ラウンルケ
我・低くかざす
低くかざし、
- 5175 **a-koonkami**
ア・コオンカミ
我・拝礼する
拝礼した。
- 5176 **ibebo mashkin**
イベボ マシキン
食物 ますます
空腹で
- 5177 **an-ekot anke**
アネコト アンケ
我・死ぬ しようとする
倒れそうに
- 5178 **yainu-am be**
ヤイヌ・アム ベ
考える・我 もの
思っていた
- 5179 **ne kusu**
ネ クス
(繋辞類) (理由・目的)
ので、
- 5180 **ibe-an**
イベ・アン
食事する・我
我は食事をした。
- 5181 **moire ibe**
モイレ イベ
遅い 食事する
ゆっくりとした食事を
- 5182 **a-koyaikurka-**
ア・コヤイクルカ・
我・我が上
我はみずから
- 5183 **oma kane**
オマ カネ
ある (程度)
おこなった。
- 5184 **a-tureshutari**
ア・トゥレシユタリ
我・妹たち
我が妹たち、
- 5185 **inauru kor mat**
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女は
- 5186 **ren ne wa**
レン ネ ワ
三人 (繋辞類) (接続)
三人で
- 5187 **ibeba**
イベバ
食べる
食事をした。
- 5188 **nep ka**
ネッ カ
何も
我が何も
- 5189 **somo a-ye p**
ソモ ア・イエッ
(否定) 我・言うもの
言わないもの
- 5190 **ne kusu**
ネ クス
(繋辞類) (理由・目的)
であるから、
- 5191 **obittano**
オビトタノ
皆
一人残らず、
- 5192 **oribak rui be**
オリバツ ルイ ベ
畏まる 激しいもの
ひどく畏まって
- 5193 **kone p ne kusu**
コネ ッ ネ クス
であるもの (繋辞類) (理由・目的)
おり、
- 5194 **tash kush kuni**
タシ クシ クニ
息 通る すべきこと
息をすところ、
- 5195 **mau kush kuni**
マウ クシ クニ
風 通る すべきこと
呼吸をすところも
- 5196 **yaikoseshke**
ヤイコセシケ
息をつめる
みずから塞いでいる。
- 5197 **nep ka**
ネッ カ
何も
何も
- 5198 **somo ye no**
ソモ イェ ノ
(否定) 言う (接続)
言わずに
- 5199 **ouse ibe**
オウセ イベ
ただ (だけ) 食事する
ただ食事だけを
- 5200 **koro okai**
コロ オカイ
(同時) ある
している。
- 5201 **ibe ruwoka**
イベ ルウオカ
食事する 後
そして、食事が

- 5202 **chiobashbare**
チオバシバレ
過ぎさせる
終わった。
- 5203 **a-santekehe**
ア・サンテケヘ
我・腕
私の腕と
- 5204 **a-sanchikiri**
ア・サンチキリ
我・足
足は
- 5205 **konitturine**
コニトウリネ
筋が張る
筋が張っている。
- 5206 **a-riterite**
ア・リテリテ
我・揉む
我はそれを揉みほぐした。
- 5207 **tap orowa**
タップ オロワ
これ(始点)
それから、
- 5208 **chirikibuni-an**
チリキブニ・アン
起き上がる・我
我は立ち上がった。
- 5209 **chituye amset**
チトウイエ アムセト
切れた 寝台
仕切られた寝台、
- 5210 **amset kurka**
アムセト クルカ
寝台 上
その寝台の上へ
- 5211 **an-erikin**
アネリキン
我・上がる
上がり、
- 5212 **shiraraye-an**
シラライエ・アン
着替える
身を横たえた。
- 5213 **pirika sotki**
ピリカ ソトキ
よい 寝床
そして、良い寝床、
- 5214 **sotki upsor**
ソトキ ウップソ
寝床 内部
その寝床の中へ
- 5215 **a-oahun**
ア・オアフン
我・入る
入った。
- 5216 **harkisotta**
ハッキソッタ
左座に
左座では、
- 5217 **Etorba um mat**
エトロバ ウム マト
エトロバある女
エトロバ姫、
- 5218 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹と
- 5219 **Kunashiri um mat**
クナシリ ウム マト
クナシリ ある女
クナシリ姫が
- 5220 **pirika sotki**
ピリカ ソトキ
よい 寝床
良い寝床を
- 5221 **yaikokarkarba wa**
ヤイコカラカラバ ワ
自ら用意する (接続)
みずから用意して
- 5222 **hotke**
ホトケ
寝る
横になった。
- 5223 **shisotta**
シソッタ
右座に
右座では、
- 5224 **kakenchai chorbok ta**
カケンチャイ チョロボク タ
掛け竿 下 (場所)
掛け竿の下の
- 5225 **mukru kurka**
ムクル クルカ
枕 上
枕の上で、
- 5226 **chiseta turesh**
チセタ トウレシ
家の妹
家の妹、
- 5227 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹が
- 5228 **ehotke**
エホトケ
寝る
横になった。
- 5229 **tanepo konna**
タネポ コンナ
たった今こそ
今はもう、
- 5230 **mokonno**
モコンノ
よく眠る
よく眠った。
- 5231 **sotki ka ta**
ソトキ カ タ
寝床 上 (場所)
寝床の上で、
- 5232 **hotke kosonte**
ホトケ コソント
寝る 小袖
夜着の
- 5233 **chinki ka ta**
チンキ カ タ
裾 上 (場所)
裾の上で、
- 5234 **a-urekonoye**
ア・ウレコノイエ
我・足で捻る
我は足をねじり
- 5235 **kotbar ka ta**
コトバラ カ タ
襟元 上 (場所)
袖口を
- 5236 **an-ebatchiure**
アネバチウレ
我・夜具をかぶる
被った。
- 5237 **orowano**
オロワノ
(始点)
それから、
- 5238 **a-yaikotuima-**
ア・ヤイコトウイマ・
我・自ら遠く
我は様々なことを
- 5239 **shiramsuiba**
シラムスイバ
考える
回想した。
- 5240 **a-koro ekashi**
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
祖父は
- 5241 **tapne tapne**
タップネ タップネ
これである これである
そのように
- 5242 **i-bashkuma**
イ・バシクマ
我・言い論ず
教え論した。
- 5243 **orowa sui**
オロワ スイ
(始点) 再び
それからまた、
- 5244 **tapne tapne**
タップネ タップネ
これである これである
そのように、
- 5245 **hawean kor**
ハウエアン コロ
言う (同時)
言い、
- 5246 **Etorba ta okai**
エトロバ タ オカイ
エトロバ(場所)
エトロバにいる
- 5247 **a-utarihi**
ア・ウタリヒ
我・人々
一族を
- 5248 **i-hotanukare**
イ・ホタヌカレ
我・訪問させる
訪問させた。
- 5249 **a-ekatubase koro**
ア・エカトゥバセ コロ
我・気が進まない(同時)
我は気が進まずに
- 5250 **oman-an i ta**
オマン・アニ タ
行く・我 とき(場所)
行くと、
- 5251 **apkash tuika ta**
アッカシ トウイカ タ
歩く 上 (場所)
道中で、
- 5252 **shiriki katu**
シリキ カトゥ
有様である かたち
事件があった。
- 5253 **Etorba kotan**
エトロバ コタン
エトロバ村
エトロバの村に
- 5254 **a-koshireba wa**
ア・コシレバ ワ
我・到着する (接続)
到着して

- 5255 i-kar-an katu
イ・カラ・アン カトゥ
我・される かたち
我は酷い目に遭った。
- 5256 Etorba um be
エトロバ ウム ベ
エトロバ あるもの
エトロバ彦を
- 5257 a-toikoraikae
ア・トイコライケ
我・惨殺する
我は惨殺した。
- 5258 Pekennup um mat
ペケンヌップ ウム マト
ペケンヌップ ある女
ペケンヌップ姫、
- 5259 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
貧しい女、
- 5260 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
下らぬ女を
- 5261 a-toikoraikae i hene
ア・トイコライケ イ ヘネ
我・惨殺する ことも
我は惨殺した。そして、
- 5262 Nikambi koro kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 5263 ireshu yubi
イレシュ ユビ
養育 兄
育ての兄は
- 5264 katchak kashba
カトチャック カシバ
臆病な 甚だしい
意気地なしで、
- 5265 sambe hauke kashba
サムベ ハウケ カシバ
心臓 弱いなる 甚だしい
心が弱かった。
- 5266 shiri okai i
シリ オカイ イ
様子 ある こと
我はそれを
- 5267 a-nukar koro
ア・ヌカラ コロ
我・見る (同時)
見て
- 5268 soine-an wa
ソイネ・アン ワ
外出する・我 (接続)
外に出ると、
- 5269 Etorba kotan
エトロバ コタン
エトロバ 村
エトロバの村を
- 5270 a-wente i bakno
ア・ウエンテ イ バクノ
我・悪くすることまで
破壊したことまでを
- 5271 takar korachi
タカラ コラチ
夢 ように
夢のように
- 5272 a-eshikarun
ア・エシカルン
我・思い出す
思い出した。
- 5273 koroka
コロカ
(逆接)
しかし、
- 5274 nei imakake
ネ イマカケ
(繋辞類) 後
その後は
- 5275 oar oar
オアラ オアラ
全く 全く
まったく、
- 5276 ne bakno
ネ バクノ
(繋辞類) まで
いつまで
- 5277 yaikoshiramse-an yakka
ヤイコシラムセ・アン ヤッカ
考える・我 (譲歩)
努力しても
- 5278 ene iramu-an i ka
エネ イラム・アニ カ
このように 思われる ことも
思い出すことが
- 5279 isam
イサム
無い
できない。
- 5280 nekona shino
ネコナ シノ
どのように まことに
どのように
- 5281 iki-an aine
イキ・アン アイネ
する・我 (接続)
して
- 5282 a-un chisehe
ア・ウン チセヘ
我・いる 家
我は家へ
- 5283 a-koshireba
ア・コシレバ
我・到着する
到着したのか。
- 5284 nekona shino
ネコナ シノ
どのように まことに
どのように
- 5285 iki-an aine
イキ・アン アイネ
する・我 (接続)
して
- 5286 i-shiknure-an ruwe
イ・シクヌレ・アン ルウェ
我・生かされる 様子
我は生き返ったのか。
- 5287 nen tap ora
ネン タップ オラ
誰 これ (始点)
誰が
- 5288 i-konicharba
イ・コニチャラバ
我・治療する
我を治療した
- 5289 ruwe okai
ルウェ オカイ
様子 ある
のか。
- 5290 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ姫、
- 5291 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女は
- 5292 nekon iki wa
ネコン イキ ワ
どのように する (接続)
どのようにして
- 5293 a-un chise ta
ア・ウン チセ タ
我・いる 家 (場所)
我が家に
- 5294 arki wa an
アラキ ワ アン
来る (接続) ある
来ている
- 5295 ruwe ta an
ルウェ タ アン
様子 これ ある
のか。
- 5296 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹、
- 5297 a-tureshipo hene
ア・トゥレシポ ヘネ
我・妹 も
我が妹も、
- 5298 hemanta tapne
ヘマンタ タツネ
何 これである
なぜのように
- 5299 ormashkino
オロマシキノ
ますます
あまりにも
- 5300 eshinki kashba
エシンキ カシバ
疲れる 甚だしい
疲れている
- 5301 ruwe okai
ルウェ オカイ
様子 ある
のか。
- 5302 eebaki ta
エエバキ タ
次 (場所)
その次に、
- 5303 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
私の祖父、
- 5304 onne ekashi
オンネ エカシ
老いる 老人
年老いた人は
- 5305 koneun tapne
コネウン タツネ
どこへ これである
どこへ
- 5306 oman wa
オマン ワ
行く (接続)
行った
- 5307 shiran chiki
シラン チキ
有様である (条件)
のかと、
- 5308 oar oar
オアラ オアラ
全く 全く
我はとても

- 5309 iyoyamokte-an
イヨヤモクテ・アン
不思議に思う・我
不思議に思った。
- 5310 hetak ta usa
ヘタク タ ウサ
さあ これ (譲歩)
早く、
- 5311 nisatta an wa
ニサッタ アン ワ
明日 ある (接続)
明日になったら、
- 5312 ponno hene
ボンノ ヘネ
少し も
少しでも
- 5313 tumashnu-an wa
トゥマシヌ・アン ワ
元気になる・我 (接続)
快復
- 5314 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
して、
- 5315 ainu orushbe
アイヌ オルシベ
人間 話
人々の話を
- 5316 pirikano
ピリカノ
良く
よく
- 5317 a-nu okai
ア・ヌ オカイ
我・聞く ある
聞きたい
- 5318 ari yainu-an kane
アリ ヤイヌ・アン カネ
(引用) 考える・我 (程度)
と思い、
- 5319 mokor bokaiki
モコロ ボカイキ
眠る でも
我は眠ることも
- 5320 an-etoranne
アネトランネ
我・いやがる
できなかった。
- 5321 an-an awa
アナン アワ
いる・我 (展開)
すると、
- 5322 seenne ka sui
セエンネ カ スイ
(否定) も 再び
よもや、
- 5323 mokor-an kuni
モコロ・アン クニ
眠る・我ら ように
我が眠るとは
- 5324 a-ramu awa
ア・ラム アワ
我・思う (展開)
思わなかったが、
- 5325 pirika mokoro
ピリカ モコロ
よい 眠る
良い眠り
- 5326 torse mokor
トロセ モコロ
寝息を立てる 眠る
深い眠りが
- 5327 i-annoyekar
イ・アンノイエカラ
我・全く捻られる
我に絡みついた。
- 5328 a-einkar shiki
ア・エインカラ シキ
我・～で見る 目
我が目は
- 5329 chinomaka
チノマカ
広く開く
ぱつと開き、
- 5330 rorumburai ot be
ロルムブライ オト ベ
神窓 所 もの
神窓の覆い、
- 5331 sepka utur
セツカ ウトゥル
簾の隙間 間
その隙間から
- 5332 a-shikbosore
ア・シッボソレ
我・目を通す
目を通して
- 5333 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
見ると、
- 5334 a-ashi nusa
ア・アシ ヌサ
我・建てる 幣柵
立ち並んだ幣柵、
- 5335 nusa tapka wa
ヌサ タツカ ワ
幣柵 頂き (起点)
その幣柵の上から
- 5336 urar ruika
ウララ ルイカ
霧 橋
霧の橋が
- 5337 chishituri
チシトゥリレ
伸びる
伸びており、
- 5338 kamui nishka
カムイ ニシカ
神 上空
天空まで
- 5339 chieshituri
チエシトゥリ
伸びている
届いている。
- 5340 kurkashike
クルカシケ
表面
その表面は
- 5341 nei ta bakno
ネイ タ バクノ
(疑問詞) (場所) まで
どこまでも
- 5342 komaknatara
コマクナタラ
輝いている
明るく輝いている。
- 5343 ruika kurka
ルイカ クルカ
橋 上
橋の上に
- 5344 a-shikomare
ア・シコマレ
我・目をやる
目を向けて
- 5345 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
見ると、
- 5346 toop
トオフ
ずっと遠く
ずっと
- 5347 kanto kotor wa
カント コトロ ワ
天 平面 (起点)
天空の間から、
- 5348 ruika kurka
ルイカ クルカ
橋 上
橋の上を
- 5349 kanak an kuni p
カナク アン クニ ヲ
誰 ある ようにもの
何者かが、
- 5350 bashno karip
バシノ カリフ
よく走る 投げ輪
回転する輪の
- 5351 shikobayar
シコバヤラ
さながらである
ように、
- 5352 ran shiri konna
ラン シリ コンナ
下がる 様子こそ
さつと降りて
- 5353 ramamatki
ラママトキ
さつと進む
きた。
- 5354 ran aine
ラン アイネ
下がる (接続)
降りてきて、
- 5355 tane
タネ
今
今は
- 5356 nusa bake
ヌサ バケ
幣柵 先頭
幣柵の上手に
- 5357 koehanke kane
コエハンケ カネ
近い (程度)
近づいた。
- 5358 ruika kurka
ルイカ クルカ
橋 上
橋の上に
- 5359 pon urar tapkop
ボン ウララ タフコフ
小さい 霧 小山
小さな霧の小山が
- 5360 chieashi
チエアシ
立つ
現れた。

- 5361 shiran chiki
シラン チキ
有様である(条件)
そこで、
- 5362 tu urar ikkeu
トゥ ウララ イッケウ
二つの霧元
我は霧の中心を
- 5363 re urar ikkeu
レ ウララ イッケウ
三つの霧元
何度も
- 5364 a-kocharikar
ア・コチャリカラ
我・散らす
目で散らして
- 5365 ki p ne koroka
キ プ ネ コロカ
するもの(繫辞類)(逆接)
みだが、
- 5366 naani tu sui
ナアニトゥ スイ
まさに二つの回
何度
- 5367 naani re sui
ナアニレ スイ
まさに三つの回
そのようにしても、
- 5368 ainu kat ne
アイヌ カトネ
人間姿(繫辞類)
人間の姿を
- 5369 a-kar eaikap
ア・カラ エアイカフ
我・するできない
見定めることができない。
- 5370 hushkotoi wano
フシコトイ ワノ
以前から
長い間
- 5371 a-kar aine
ア・カラ アイネ
我・する(接続)
そのようにしていると、
- 5372 urar tum ta
ウララ トウム タ
霧中(場所)
霧の中で
- 5373 a-shiketoko
ア・シケトコ
我・目先
目の前が
- 5374 raikosanu
ライコサヌ
くらむ
急に暗くなった。
- 5375 boro shikup mat
ボロ シクッ マト
大きい成長する女
成長した婦人
- 5376 okai nankor a
オカイ ナンコラ
あるだろうか
であろうか。
- 5377 kani chikirbe
カニ チキリベ
黄金刺繍衣
金の刺繍衣、
- 5378 kamui chikirbe
カムイ チキリベ
神刺繍衣
神の刺繍衣を
- 5379 nena imi ne
ネナ イミネ
(未詳)着物(繫辞類)
無造作に
- 5380 arutomechiu
アルトメチウ
身にまとう
着ている。
- 5381 imi shirika ta
イミ シリカ タ
着物表面(場所)
着物の表面には
- 5382 horkeu kebur
ホロケウ ケブル
狼毛の無い皮
狼の毛の無い皮、
- 5383 kani kebur
カニ ケブル
黄金毛の無い皮
金の毛皮がついている。
- 5384 kotbar ka ta
コトバラ カ タ
襟元上(場所)
袖口にも、
- 5385 chinki ka ta
チンキ カ タ
裾上(場所)
裾にも、
- 5386 sep birankani
セップ ビランカニ
幅広い平金
幅広い平金が
- 5387 chiokarbare
チオカラバレ
取り囲まれる
取り付けられている。
- 5388 birankani kashi
ビランカニ カシ
平金上
平金の表面は
- 5389 tu kani shiriki
トゥ カニ シリキ
二つの黄金模様
金の模様で
- 5390 re kani shiriki
レ カニ シリキ
三つの黄金模様
隙間なく
- 5391 chietomte p
チエトムテ プ
輝いているもの
飾られており、
- 5392 imikanere
イミカネレ
上に着る
それを上着にしている。
- 5393 sarambe kut
サラムベ クト
絹帯
絹の帯を
- 5394 etumamko-
エトゥマムコ・
胴体
胴に
- 5395 saiba kane
サイバ カネ
巻く(程度)
撒いている。
- 5396 attapkashi
アトタッカシ
片方の肩の上
片方の肩には
- 5397 shikush rayochi
シクシ ラヨチ
日差し虹
日光の虹が
- 5398 chieomare
チエオマレ
入る
かかり、
- 5399 attapkashi
アトタッカシ
片方の肩の上
もう片方の肩には
- 5400 ekai rayochi
エカイ ラヨチ
端の折れた虹
頭の折れた虹が
- 5401 chieomare
チエオマレ
入る
かかっている。
- 5402 kimuikashi ta
キムイカシ タ
頭上(場所)
二つの虹は頭上で
- 5403 unottasare
ウノトタサレ
喉を交又させる
交差している。
- 5404 kamui otobihhi
カムイ オトビヒ
神髪
神髪は
- 5405 sarambe kunne
サラムベ クンネ
絹ように
絹のように
- 5406 ekimuikashi
エキムイカシ
頭上
頭上を
- 5407 chiesurure
チエスルレ
覆う
覆っている。
- 5408 reuboki ta
レウボキ タ
下(場所)
その下で、
- 5409 kamui sannanu
カムイ サンナヌ
神顔
神々しい顔が
- 5410 rik oma chup ne
リク オマ チュプネ
高所ある日(繫辞類)
太陽のように
- 5411 i-nantasare
イ・ナンダサレ
我・返す
我に照り返す。
- 5412 nubur be sone
ヌブル ベ ソネ
霊力があるものらしく
霊力に優れた者らしく、
- 5413 nubutchannoye
ヌブトチャンノイエ
シャーマンの額
霊力を

- 5414 eshirutomta-
エシルトムタ・
自らの身体の中
身体の中に
- 5415 nuina kane
ヌイナ カネ
隠す (程度)
隠している。
- 5416 sara turem be
サラ トウレム ベ
姿を現す 悪く もの
姿を現している憑き神は
- 5417 kabap sai kunne
カバパ サイ クンネ
蝙蝠 輪 ように
蝙蝠の群のように
- 5418 esermakkashi-
エセルマッカシ・
背後
背後で
- 5419 earutasa
エアルタサ
交又する
飛び交っている。
- 5420 mukke turem be
ムッケ トウレム ベ
姿を隠す 悪く もの
姿を隠している憑き神は
- 5421 nochiu kiyai ne
ノチウ キヤイ ネ
星 光 (繫辞類)
星のきらめきのように
- 5422 esermakkashi-
エセルマッカシ・
背後
背後で
- 5423 ekiyaioma
エキヤイオマ
またたく
輝いている。
- 5424 monak pirika p sui
モナク ビリカ ヲ スイ
そうでなくても よい もの 再び
そうでなくとも美しいのに、
- 5425 bashatur konna
バシエトウル コンナ
口の周囲こそ
口のまわりの刺青が
- 5426 komaknatara
コマクナタラ
輝いている
美しく輝いている。
- 5427 kamui chibanup
カムイ チバナブ
神 冠り物
神の鉢巻を
- 5428 erurikikur-
エルリキクル・
高く
ねじり上げ
- 5429 raiba kane
ライバ カネ
移動させる (程度)
て
- 5430 okai wa
オカイ ワ
ある (接続)
おり、
- 5431 kamui ne kusu
カムイ ネ クス
神 (繫辞類) (理由・目的)
神であるから、
- 5432 kamui ibor
カムイ イボロ
神 顔色
神の顔色
- 5433 annoyekar
アンノイエカラ
からみつく
である。
- 5434 ene an kamui
エネ アン カムイ
このように ある 神
このような神、
- 5435 ene an bito
エネ アン ビト
このように ある 人
このような貴人が、
- 5436 koneptapteta
コネツタツタ
何ということ
コネツケウカタ、
- 5437 okihi ki wa
オキヒ キ ワ
悲しみする (接続)
悲しんで、
- 5438 eimokir
エイモキリ
嘆く
嘆き
- 5439 eshirikirap wa
エシリキラフ
心配する (接続)
心配して
- 5440 okai nankor a
オカイ ナンコラ
ある だろう か
いるのだろうか。
- 5441 tu ok ne ibor
トゥ オク ネ イボロ
二つの 嘆き (繫辞類) 顔色
悲しみの表情を
- 5442 re ok ne ibor
レ オク ネ イボロ
三つの 嘆き (繫辞類) 顔色
幾重にも
- 5443 enuratkire
エヌラトキレ
顔に浮かべる
浮かべている。
- 5444 kurka konna
クルカ コンナ
上こそ
心が
- 5445 shitnatara
シトナタラ
心がつれる
乱れている
- 5446 semkorachi
セムコラチ
まるで (する) ように
かのようなである。
- 5447 hushkotoi wano
フシコトイ ワノ
以前から
長い間
- 5448 chish be ne kusu
チシ ベ ネ クス
泣く もの (繫辞類) (理由・目的)
泣いており、
- 5449 shikrap emko
シクラフ エムコ
まつげ 半分
まつげが半分しか
- 5450 kootukukke kane
コオトウクッケ カネ
末端が出る (程度)
出ていない。
- 5451 ki p ne koroka
キ ヲ ネ コロカ
するもの (繫辞類) (逆接)
そうではあるが、
- 5452 kusu ne wa
クス ネ ワ
(理由・目的) (繫辞類) (接続)
そのことで
- 5453 ponno ka
ボンノ カ
少しも
少しも
- 5454 kohaita ruwe ka
コハイタ ルウェ カ
欠く 様子 も
美しさが損なわれる
- 5455 isam
イサム
無い
ことは無い。
- 5456 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 (繫辞類)
神の如き姿で
- 5457 okai be
オカイ ベ
あるもの
いる者は
- 5458 i-hekota
イ・ヘコタ
我・向かって
我の方へ
- 5459 shikirba
シキリバ
振り向く
振り向いた。
- 5460 ene an kamui
エネ アン カムイ
このように ある 神
このような神、
- 5461 ene am bito
エネ アム ビト
このように ある 人
このような貴人が
- 5462 hem shiehose
ヘム シエホセ
(否定) 自分をさしおく
みずからを差し置いて
- 5463 nep erayap kuni p
ネフ エラヤフ クニ ヲ
何 感心する ようにもの
何に感嘆するもの
- 5464 iki nankor a
イキ ナンコラ
する だろう か
であろうか。
- 5465 tu urar ikkeu
トゥ ウララ イッケウ
二つの 霧 元
霧の中心を
- 5466 re urar ikkeu
レ ウララ イッケウ
三つの 霧 元
何度も

- 5467 **i-kocharikar**
イ・コチャリカラ
我・私
私に対して散らした。
- 5468 **naani tu sui**
ナアニ トウ スイ
まさに二つの回
何度
- 5469 **naani re sui**
ナアニ レ スイ
まさに三つの回
そのようにしても、
- 5470 **ainu kat ne**
アイヌ カト ネ
人間 姿 (繫辞類)
人間の姿として
- 5471 **i-kar eaikap**
イ・カラ エアイカプ
我・する できない
我を見る ことができない。
- 5472 **hushkotoi wano**
フシコトイ ワノ
以前 から
長い間、
- 5473 **i-kar aine**
イ・カラ アイネ
我・する (接続)
そのようにして、
- 5474 **i-koshikraiba p**
イ・コシクライバ
我・見る もの
我を見定めると、
- 5475 **kan ibor ka ta**
カン イボロ カ タ
上 顔色 上 (場所)
表情が
- 5476 **koraisamba**
コライコサムバ
蒼ざめる
急に暗くなり、
- 5477 **i-tukaribo**
イ・トゥカリボ
我・前
我的手前へ
- 5478 **koshikerana-**
コシケラナ
目を下に
視線を
- 5479 **atte kane**
アトテ カネ
たたせる (程度)
落とした。
- 5480 **huihuina wano**
フイフイナ ワノ
隅々 から
隅々まで
- 5481 **i-erayap noine**
イ・エラヤップ ノイネ
我・感心する らしく
我に感心した
- 5482 **ikichi**
イキチ
する
ようである。
- 5483 **tap orowa**
タップ オロワ
これ (始点)
それから、
- 5484 **ranke nube**
ランケ スベ
下ろす 涙
涙が
- 5485 **apto shin ne**
アプト シン ネ
雨 様子 (繫辞類)
雨のように、
- 5486 **sannan kashi**
サンナン カシ
顔 上
顔の上から
- 5487 **echararse kane**
エチャララセ カネ
滑り落ちる (程度)
流れ出た。
- 5488 **kut sam konna**
クト サム コンナ
咽喉 そば こそ
そして、咽喉が
- 5489 **uwetunui**
ウウエトゥヌイセ
美しく響く
美しく響き、
- 5490 **itak hawe**
イタク ハウエ
言う 声
言うことは
- 5491 **ene okai i**
エネ オカイ
このように ある こと
このようであった。
- 5492 **koninkar kusu**
コンインカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 5493 **a-potonoke**
ア・ポトノケ
我・息子
私の息子よ、
- 5494 **itak-an chiki**
イタク・アン チキ
言う・我 (条件)
話しますから
- 5495 **pirikano nu yan**
ピリカノ ス ヤン
良く 聞く (命令)
良く聞きなさい。
- 5496 **aokai anakne**
アオカイ アナクネ
我 は
私は
- 5497 **e-kot totto**
エ・コト トトト
汝・持つ 母
あなたの母
- 5498 **a-ne ruwe ne**
ア・ネ ルウエ ネ
我・(繫辞類) 様子 (繫辞類)
なのです。
- 5499 **echi-koro ekashi**
エチ・コロ エカシ
汝ら・持つ 老人
あなたたちの祖父が
- 5500 **echi-bashkuma wa**
エチ・バシクマ ワ
汝ら・言い諭す (接続)
言い諭し、
- 5501 **echi-nure**
エチ・ヌレ
汝ら・聞かせる
聞かせた
- 5502 **korachi**
コラチ
ように
ように、
- 5503 **kamui a-ne wa**
カムイ ア・ネ ワ
神 我・(繫辞類) (接続)
私は神であり、
- 5504 **kanto ot ta**
カント オト タ
天 所 (場所)
天空に
- 5505 **an-an**
アナ
いる・我
います。
- 5506 **kamui anakne**
カムイ アナクネ
神 は
神は
- 5507 **nisap hosarba p**
ニサップ ホサラバ プ
急に 振り向くもの
急に振り向くもの
- 5508 **somo ne kusu**
ソモ ネ クス
(否定) (繫辞類) (理由・目的)
ではないので、
- 5509 **ramma korachi**
ラムマ コラチ
いつも ように
いつものように、
- 5510 **nep ka somo**
ネップ カ ソモ
何も (否定)
何も
- 5511 **echi-eranak no**
エチ・エラナック ノ
汝ら・気に入らない (接続)
心配することなく、
- 5512 **echi-okai**
エチ・オカイ
汝ら・いる
あなたたちがいる
- 5513 **ruwe ne kuni**
ルウエ ネ クニ
様子 (繫辞類) ように
ものと
- 5514 **batek a-ramu wa**
バテック ア・ラム ワ
のみ 我・思う (接続)
思っ
- 5515 **okai-an awa**
オカイ・アン アワ
いる・我 (展開)
いましたが、
- 5516 **oroyachiki**
オロヤチキ
驚いたことに
意外にも、
- 5517 **boro hokamba p**
ボロ ホカムバ プ
大きい 難しい もの
大変な出来事が
- 5518 **an awan**
アン アワン
ある のだった
あったのです。
- 5519 **sonno**
ソンノ
真に
本当に、

- 5520 kanto ari
カント アリ
天 (引用)
天空と
- 5521 hauash yakka
ハウアシ ヤッカ
言われる (譲歩)
いっても、
- 5522 shine p batek
シネ プ バテク
一つのもののみ
一つでは
- 5523 am be somo ne
アム ベ ソモ ネ
あるもの(否定) (繫辞類)
ないのです。
- 5524 ranke kanto
ランケ カント
下の天
下方の天空、
- 5525 rikun kanto
リクン カント
上にある天
上方の天空、
- 5526 shinish kanto
シニシ カント
大きな雲天
雲間の天空が
- 5527 ukata ukata
ウカタ ウカタ
重なって重なって
重なる
- 5528 korachi
コラチ
ように
ように、
- 5529 kamui moshiri
カムイ モシリ
神 国土
神々の世界が
- 5530 okai ruwe
オカイ ルウエ
ある様子
あるの
- 5531 ne awa
ネ アワ
(繫辞類) (展開)
です。しかし、
- 5532 arekushkonna
アレクシコンナ
突然
突然、
- 5533 Etorba un kuru
エトロバ ウンクル
エトロバある人
エトロバ彦、
- 5534 pon e-kor yubi
ポン エ・コロ ユビ
小さい汝・持つ兄
あなたの小兄が
- 5535 kamui moshiri
カムイ モシリ
神 国土
神々の世界、
- 5536 moshiri
モシリ
国土
その世界を
- 5537 koatchorauki
コアトチヨラウキ
向かう
攻撃してきました。
- 5538 ranke kanto hene
ランケ カント ヘネ
下の天も
下方の天空も、
- 5539 shinish kanto hene
シニシ カント ヘネ
大きな雲天も
雲間の天空も、
- 5540 wen toi kan toi
ウエン トイ カン トイ
悪い土上土
表土とともに
- 5541 kokiru kusu
コキル クス
荒らす (理由・目的)
ひっくり返そうと
- 5542 eshiramikiyar
エシラミキヤラ
乱暴をする
子供じみた乱暴をして、
- 5543 shikishmayar
シキシマヤラ
慌てさせる
皆を慌てさせたのです。
- 5544 tam be kusu
タム ベ クス
このもの(理由・目的)
そこで、
- 5545 shinubur
シヌブル
神威強い
霊力の強い
- 5546 kamui hene
カムイ ヘネ
神も
神も、
- 5547 shiban
シバン
神威弱い
弱い
- 5548 kamui hene
カムイ ヘネ
神も
神も、
- 5549 shine ikin ne
シネ イキン ネ
一つの列 (繫辞類)
一斉に、
- 5550 shino
シノ
まことに
大いに
- 5551 uhomatbare
ウホマトバレ
皆で驚く
慌てたのです。
- 5552 kamui anakne
カムイ アナクネ
神は
神は
- 5553 nubur ot ta
ヌブル オトタ
霊力がある所 (場所)
霊力に
- 5554 eikaum be
エイカウム ベ
勝るもの
勝るもの
- 5555 ne koroka
ネ コロカ
(繫辞類) (逆接)
ですが、
- 5556 rametok ot ta
ラメトク オトタ
勇者所 (場所)
勇気においては、
- 5557 shimoiba ot ta
シモイバ オトタ
働き所 (場所)
奮戦においては、
- 5558 nekon ne yakka
ネコン ネ ヤッカ
どのように(繫辞類) (譲歩)
どうしても
- 5559 ainu rametok
アイヌ ラメトク
人間 勇者
人間の勇者が、
- 5560 okkayo hene
オッカヨ ヘネ
男も
男でも
- 5561 menoko hene
メノコ ヘネ
女も
女でも
- 5562 eikaum be
エイカウム ベ
勝るもの
勝るもの
- 5563 ne ari
ネ アリ
(繫辞類) (引用)
であると、
- 5564 kamui ot ta
カムイ オトタ
神所 (場所)
神々の間では
- 5565 hawash be ne
ハウシ ベ ネ
言われるもの(繫辞類)
言われているのです。
- 5566 neiam be anakne
ネアム ベ アナクネ
そのものは
それは
- 5567 sonno ambe ne
ソンノ アムベ ネ
真にあること(繫辞類)
本当です。
- 5568 aokai
アオカイ
我
私は
- 5569 ainu ot ta
アイヌ オトタ
人間所(場所)
人間のところへ
- 5570 itomnukar-an kusu
イトムヌカラ・アン クス
結婚する・我 (理由・目的)
嫁ぐために、
- 5571 ponram orwano
ポンラム オロワノ
幼少 (始点)
幼少の頃から、
- 5572 menoko bakno
メノコ バクノ
女まで
成人するまで、
- 5573 shikup-an bakno
シクフ・アン バクノ
育つ・我まで
成長するまで、

- 5574 kamui tumunchi hene
カムイ トゥムンチ ヘネ
神 戦争 も
神の戦いにも
- 5575 ainu tumunchi hene
アイヌ トゥムンチ ヘネ
人間 戦争 も
人間の戦いにも、
- 5576 shino
シノ
まことに
まことに
- 5577 yupke ike
ユケ イケ
強い こと
激しい戦いにも
- 5578 a-i-y-eutanne p
ア・イ・イェウタンネ プ
我・混ざる もの
加わったの
- 5579 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
です。
- 5580 ainu okkayo hene
アイヌ オッカヨ ヘネ
人間 男 も
人間の男にも、
- 5581 menoko utar hene
メノコ ウタラ ヘネ
女 人々 も
人間の女にも、
- 5582 usa rametok
ウサ ラメトク
(譲歩) 勇者
その勇気にも、
- 5583 usa ituren shiri
ウサ イトゥレン シリ
(譲歩) 悪く 様子
その憑き神の力にも、
- 5584 sonno
ソノノ
真に
本当に
- 5585 a-ikoraniukesh be
ア・イコラニウケシ ベ
我・嫌がる もの
私たちは敵わないもの
- 5586 ne awa
ネ アワ
(繫辞類) (展開)
なのです。そして、
- 5587 Etorba un kuru
エトロバ ウンクル
エトロバ ある 人
エトロバ彦、
- 5588 pon e-kor yubi
ポン エ・コロ ユビ
小さい 汝・持つ 兄
あなたの小兄は
- 5589 sonno
ソノノ
真に
本当に、
- 5590 turesh turanno
トゥレシ トウランノ
妹 とともに
その妹とともに、
- 5591 ponno burihi
ボンノ プリヒ
少し その行い
少しも手が
- 5592 a-eanasap be
ア・エアナサッ ベ
人々・持てあますもの
付けられないもの
- 5593 ne awa
ネ アワ
(繫辞類) (展開)
なのです。そして、
- 5594 annisapno
アンニサッノ
急に
急に
- 5595 kamui kotan
カムイ コタン
神 村
神々の村へ
- 5596 koatchorauki p
コアトチヨラウキ プ
向かう もの
攻め寄せてきたもの
- 5597 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
ですから、
- 5598 sonno
ソノノ
真に
本当に、
- 5599 a-obittano
ア・オビトタノ
我・全て
神々は一人残らず、
- 5600 yayeramishkare-an
ヤイエラミシカレ・アン
知らない・我
みずからを見失う
- 5601 bakno
バクノ
まで
ほど
- 5602 homatba-an wa
ホマトバ・アン ワ
慌てる・我 (接続)
慌てました。そして、
- 5603 tanebo konna
タネボ コンナ
今 こそ
今は
- 5604 ainu kotan
アイヌ コタン
人間 村
人間の村、
- 5605 Otasam hene
オタサム ヘネ
オタサム も
オタサムへでも
- 5606 Etorba hene
エトロバ ヘネ
エトロバ も
エトロバへでも
- 5607 a-kohosarba awa
ア・コホサラバ アワ
我・振り向く (展開)
振り向いたところ、
- 5608 eashka
エアシカ
ほんとうに
まさしく、
- 5609 hokamba
ホカムバ
難しい
困難な
- 5610 wen orushbe
ウェン オルシベ
悪い 話
悪い出来事が
- 5611 ukohetuku
ウコヘトウク
共に起こる
起こって
- 5612 awan kusu
アワン クス
のだった(理由・目的)
いたのです。そこで、
- 5613 shiriki p
シリキ プ
有様であるもの
その出来事、
- 5614 tumunchi ikkeu
トゥムンチ イッケウ
戦争 元
戦いの原因、
- 5615 wem be ikkeu
ウェム ベ イッケウ
悪い もの 元
悪事の原因を
- 5616 a-hunara awa
ア・フナラ アワ
我・探す (展開)
探しました。すると、
- 5617 oroyachiki
オロヤチキ
驚いたことに
意外なことでした。

第13章 母が教えてくれた雷神の娘の企み

- 5618 ranke kanto ot ta
ランケ カント オトタ
下の 天 所 (場所)
下方の天空にいる
- 5619 kanna kamui
カンナ カムイ
上 神
雷神は
- 5620 iwan irwak
イワン イリワク
六つの 兄弟
六人の兄弟
- 5621 ne wa
ネ ワ
(繫辞類) (接続)
であり、
- 5622 iwan turesh
イワン トウレシ
六つの 妹
六人の姉妹
- 5623 ne wa
ネ ワ
(繫辞類) (接続)
である
- 5624 okai ruwe ne
オカイ ルウェ ネ
ある 様子 (繫辞類)
のです。
- 5625 iyotta
イヨッタ
最も
その最も

- 5626 **poniune menoko**
ポニウネ メノコ
年下の女
年若い女には、
- 5627 **ebak nubur mat**
エバクヌブル マト
並ぶ 霊力がある女
霊力において匹敵する女が
- 5628 **isam be**
イサム ベ
いないもの
いないもの
- 5629 **ne kusu**
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
です。そこで、
- 5630 **kamui ot ta**
カムイ オトタ
神 所 (場所)
神々の間で
- 5631 **yaikotomka p**
ヤイコトムカ フ
ふさわしい もの
ふさわしい連れ合いを
- 5632 **hunara koroka**
フナラ コロカ
探す (逆接)
探しましたが、
- 5633 **oar sambe**
オアラ サムベ
全く 心臓
心から
- 5634 **ramuoshma p**
ラムオシマ フ
同意する もの
納得できる相手は
- 5635 **shinen ka isam**
シネン カ イサム
一人 も いない
一人もいませんでした。
- 5636 **tam be kusu**
タム ベ クス
この もの (理由・目的)
そこで、
- 5637 **ainu moshiri**
アイヌ モシリ
人間 国土
人間の世界、
- 5638 **moshiri kurkashi**
モシリ クルクASHI
国土 上
その世界の一部を
- 5639 **uwambare**
ウワムバレ
見て調べる
調べて、
- 5640 **yaikotomka p**
ヤイコトムカ フ
ふさわしい もの
ふさわしい相手を
- 5641 **hunara yakka**
フナラ ヤッカ
探す (譲歩)
探しましたが、
- 5642 **isam aine**
イサム アイネ
いない (接続)
なかなか見つからず、
- 5643 **e-nukar**
エ・ヌカラ
汝・見る
最後にあなたを発見
- 5644 **ruwe ne**
ルウェ ネ
様子 (繫辞類)
したのです。
- 5645 **tap eashiri**
タップ エアシリ
これ それこそ
まさに、
- 5646 **shiretok tura**
シレトク トウラ
美貌 ともに
その容貌、
- 5647 **rametok tura**
ラメトク トウラ
勇者 ともに
その勇氣、
- 5648 **bawetok tura**
バウエトク トウラ
雄弁 ともに
その雄弁さ、
- 5649 **e-keutumu**
エ・ケウトムム
汝・心
あなたの心が
- 5650 **pirika ruwe hene**
ピリカ ルウェ ヘネ
よい 様子 も
美しいことを
- 5651 **kushnanukar be**
クシナヌカラ ベ
見通す もの
見抜いたもの
- 5652 **kone p ne kusu**
コネ フ ネ クス
である もの (繫辞類) (理由・目的)
ですから、
- 5653 **sonno**
ソンノ
真に
本当に、
- 5654 **keutum oshi wano**
ケウトム オシ ワノ
心 中 から
心の底から、
- 5655 **eani batek**
エアニ バテク
汝 のみ
あなただけに
- 5656 **ear**
エアラ
ただ一つ
激しく
- 5657 **katetokomare**
カテトコマレ
惚れる
惚れこみました。
- 5658 **tap eashiri**
タップ エアシリ
これ それこそ
まさに
- 5659 **eyaikotomka**
エヤイコトムカ
自らふさわしい
似つかわしいと
- 5660 **e-oshikote**
エ・オシコテ
汝・惚れる
惚れたのです。
- 5661 **nekona boka^{*54}**
ネコナ ボカ
どのように さえ
どうにか
- 5662 **iki-an wa**
イキ・アン ワ
する・我 (接続)
して、
- 5663 **e-raike rusui**
エ・ライケ ルスイ
汝・殺す (欲求)
あなたを殺したいと思いました。
- 5664 **e-raike wa**
エ・ライケ ワ
汝・殺す (接続)
あなたを殺して、
- 5665 **e-ramachi**
エ・ラマチ
汝・魂
あなたの魂を
- 5666 **uk wa**
ウク ワ
取る (接続)
奪い、
- 5667 **kanto ot ta**
カント オトタ
天 所 (場所)
天空で
- 5668 **e-hekote kuni**
エ・ヘコテ クニ
汝・連れ添う ように
連れ添うことを
- 5669 **shino shino**
シノ シノ
まことに まことに
強く
- 5670 **chibachiba koroka**
チバチバ コロカ
望む (逆接)
望んだのです。しかし、
- 5671 **e-raike kuni i**
エ・ライケ クニ イ
汝・殺す ように こと
あなたを殺すことは
- 5672 **shino hokamba**
シノ ホカムバ
まことに 難しい
とても難しかったのです。
- 5673 **shisak nubur mat**
シサクヌブル マト
またとない 霊力がある女
類稀な霊力を持つ女
- 5674 **ne kusu**
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
ですから、
- 5675 **kanto ot ta hene**
カント オトタ ヘネ
天 所 (場所) も
天空にも
- 5676 **nubur kamui**
ヌブルカムイ
霊力がある 神
霊力のある神が

*54 nekonoboka と書かれているがこのように解釈する。

- 5677 uwatte awa
ウワトテ アワ
集まる (展開)
集まっているのですが、
- 5678 obittano
オビトタノ
皆
一人残らず、
- 5679 shik etoko
シク エトコ
目 前方
目の前を
- 5680 urar otte
ウラヲ オトテ
霧 あらしめる
霧で覆い、
- 5681 seshke ruwe ne
セシケ ルウエ ネ
閉じる 様子 (繫辞類)
塞いだのです。
- 5682 yaikota
ヤイコタ
自分で
みずから、
- 5683 yubutari hene
ユブタリ ヘネ
兄たち も
兄たちにも、
- 5684 saha utar hene
サハ ウタラ ヘネ
姉 人々 も
姉たちにも、
- 5685 arukorachi
アルコラチ
同じく
同じことをしました。
- 5686 ainu moshiri
アイヌ モシリ
人間 国土
人間の世界、
- 5687 moshiri so ka ta
モシリ ソ カ タ
国土 平面上 (場所)
その世界の上に
- 5688 orarba kamui
オラバ カムイ
居る 神
いる神々、
- 5689 shinubur
シヌブル
神威強い
霊力の強い
- 5690 kamui hene
カムイ ヘネ
神 も
神も、
- 5691 shiban
シバン
神威弱い
弱い
- 5692 kamui hene
カムイ ヘネ
神 も
神も、
- 5693 obittano
オビトタノ
皆
一人残らず、
- 5694 shik etoko
シク エトコ
目 前方
目の前を
- 5695 urar otte
ウラヲ オトテ
霧 あらしめる
霧で覆い、
- 5696 seshke
セシケ
閉じる
塞ぎました。
- 5697 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある 女
エトロバ姫、
- 5698 e-tureshipo
エ・トゥレシポ
汝・妹
あなたの妹は
- 5699 shisak nubur mat
シサクヌブル マト
またとない 霊力がある 女
類稀な霊力を持つ女
- 5700 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
ですが、
- 5701 shik etoko
シク エトコ
目 前方
目の前を
- 5702 toikoseshke
トイコセシケ
強く閉める
塞がれ、
- 5703 urar otte
ウラヲ オトテ
霧 あらしめる
霧で覆われました。
- 5704 orowa
オロワ
(始点)
それから雷神の娘は、
- 5705 Otasam chashi
オタサム チャシ
オタサム チャシ
オタサムの館へ
- 5706 chioranke hine
チオランケ ヒネ
降りる (接続)
降り立って、
- 5707 e-ewak ushike
エ・エワク ウシケ
汝・住む ところ
あなたの住まい、
- 5708 e-enkashike
エ・エンカシケ
汝・上
あなたの上空の
- 5709 etubok kashi ta
エトゥボク カシ タ
煙出しの窓 上 (場所)
天窓の上に
- 5710 ran wa
ラン ワ
下がる (接続)
降りました。そして、
- 5711 kunne hene
クンネ ヘネ
夜 も
夜も
- 5712 tokap hene
トカプ ヘネ
昼 も
昼も、
- 5713 kanna kanna
カンナ カンナ
再び 再び
何度となく
- 5714 ran wa
ラン ワ
下がる (接続)
降りて来て、
- 5715 e-or un batek
エ・オルン バテク
汝・場所 (方向) のみ
あなたばかりを
- 5716 inkar
インカラ
見る
見ていたのです。
- 5717 e-pirka ruwe
エ・ピリカ ルウエ
汝・良い 様子
あなたの美しい様子に
- 5718 sonno
ソンノ
真に
とても
- 5719 eyaikiroro-
エヤイキロロ・
自らの喜び
満足
- 5720 ante koro
アンテ コロ
あらしめる (同時)
して、
- 5721 e-shikeshikkashima wa
エ・シケシクカシマ ワ
汝・見張る (接続)
あなたを見張って
- 5722 batek an awan
バテク アン アワン
のみ ある のだった
いたのです。
- 5723 nekon e-kar ko
ネコン エ・カラ コ
どのように 汝・する (条件)
どうすれば
- 5724 e-raike
エ・ライケ
汝・殺す
あなたを殺すことが
- 5725 eashkai be
エアシカイ ベ
できる もの
できるだろうか
- 5726 an ari
アン アリ
ある (引用)
と
- 5727 keshto ramma
ケシト ラムマ
毎日 いつも
毎日いつも
- 5728 yaikoshiramse
ヤイコシラムセ
考える
考えて
- 5729 koro an
コロ アン
持 (同時) ある
いたのです。
- 5730 sermaka yupke p
セレマカ ユプケ プ
背後 強い もの
あなたは守護神の力が強いもの

- 5731 e-ne kusu
エ・ネ クス
汝・である (理由・目的)
ですから、
- 5732 tane tane
タネ タネ
今 今
今はもう、
- 5733 kamui hosarba
カムイ ホサッパ
神 振り向く
神々が振り向き
- 5734 anke shiriki
アンケ シリキ
しようとする 有様である
そうになりました。
- 5735 tam be kusu
タム ベ クス
このもの (理由・目的)
そこで、
- 5736 e-raike kuni i
エ・ライケ クニ イ
汝・殺す ようにこと
あなたを殺すことが
- 5737 oar oar
オアラ オアラ
全く 全く
まったく
- 5738 emonkoaikap koro
エモンコアイカプ コロ
できない (同時)
出来ませんでした。すると、
- 5739 anraboki ta
アンラボキ タ
真下 (場所)
その間に、
- 5740 e-koro ekashi
エ・コロ エカシ
汝・持つ 老人
あなたの祖父が
- 5741 tapne tapne
タップネ タップネ
これである これである
あのような次第で、
- 5742 echi-bashkuma
エチ・バシクマ
汝ら・言い論ず
あなたたちに言い論しました。
- 5743 orowa
オロワ
(始点)
それから、
- 5744 Etorba kotan un
エトロバ コタン ウン
エトロバ 村 (方向)
エトロバ村へ
- 5745 e-omante
エ・オマンテ
汝・行かせる
あなたが行きました。
- 5746 neiam be
ネアム ベ
そのもの
そのことを
- 5747 shino
シノ
まことに
まことに、
- 5748 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘は
- 5749 enubetne
エヌベトネ
喜ぶ
喜んだ
- 5750 ruwe ne
ルウェ ネ
様子 (繫辞類)
のです。
- 5751 e-apkash
エ・アッカシ
汝・歩く
あなたの道中
- 5752 tuika ta
トゥイカ タ
上 (場所)
に、
- 5753 tapne kane
タップネ カネ
これである (程度)
あのような
- 5754 irara-an wa
イララ・アン ワ
からかう・我 (接続)
悪戯をして、
- 5755 tumunchi moto
トゥムンチ モト
戦争 理由
戦いの原因を
- 5756 a-kar wa
ア・カラ ワ
我・する (接続)
つくりました。
- 5757 ne yakne
ネ ヤクネ
(繫辞類) (条件)
そうすれば、
- 5758 e-ramukoshne
エ・ラムコシネ
汝・心が軽くなる
あなたが軽はずみで
- 5759 e-irushka wa
エ・イルシカ ワ
汝・怒る (接続)
怒り、
- 5760 echi-ukoiki wa
エチ・ウコイキ ワ
汝ら・争う (接続)
あなたたちの争いが
- 5761 ne yakne
ネ ヤクネ
(繫辞類) (条件)
生じれば、
- 5762 oro ta
オロ タ
場所 (場所)
そのときに、
- 5763 ikoashkai
イコアシカイ
出来る
それに
- 5764 koshirerekor wa
コシレレコロ ワ
かこつける (接続)
かこつけて、
- 5765 e-raike
エ・ライケ
汝・殺す
あなたを殺すことが
- 5766 eashkai ari
エアシカイ アリ
できる (引用)
できると
- 5767 yainu kusu
ヤイヌ クス
考える (理由・目的)
考えたのです。そこで、
- 5768 shirum menoko
シルム メノコ
貧しい 女
貧しい女、
- 5769 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
下らぬ女は、
- 5770 renkaïne
レンカイネ
意志に従う
その意向で、
- 5771 Pekennup un utar hene
ペケンヌップ ウン ウタラ ヘネ
ベケンヌップ ある人々 も
ベケンヌップの人々も、
- 5772 Kunashir un utar hene
クナシリ ウン ウタラ ヘネ
クナシリ ある人々 も
クナシリの人々も、
- 5773 obittano
オビタノ
皆
一人残らず
- 5774 katu a-kar wa
カトゥ ア・カラ ワ
かたち される (接続)
騙されて
- 5775 sake kar ruwe ne
サケ カル ルウェ ネ
酒 作る 様子 (繫辞類)
酒を醸したのです。
- 5776 obittano
オビタノ
皆
一人残らず、
- 5777 ponno ka
ボンノ カ
少し も
少しも
- 5778 wen keutum
ウェン ケウトウム
悪い 心
悪い心を
- 5779 korba p somo ne
コロバ プ ソモ ネ
持つ もの (否定) (繫辞類)
持っていませんでした。
- 5780 kamui irenka
カムイ イレンカ
神 意図
神の意向、
- 5781 tono irenka
トノ イレンカ
殿 意図
貴人の意向で、
- 5782 eyaikotankamore
エヤイコタンカモレ
自ら村の上を治める
村の上を治めていた
- 5783 nishpa utar
ニシパ ウタラ
長者 人々
長者たち、

- 5784 utarpa utar
ウタラバ ウタラ
首領 人々
頭領たち
- 5785 ne ruwe ne
ネ ルウェ ネ
(繫辞類) 様子 (繫辞類)
なのです。
- 5786 Pekennup um mat hene
ペケンヌプ ウム マト ヘネ
ペケンヌップ ある女も
ペケンヌップ姫も、
- 5787 nep noyabi tanne
ネパ ノヤビ タンネ
何 頬 長い
頬の長い
- 5788 sachibokash mat
サチボカシ マト
醜い 女
痩せた醜い女
- 5789 ne ka
ネ カ
(繫辞類) も
では
- 5790 somo ki koroka
ソモ キ コロカ
(否定) する (逆接)
ないのです。しかし、
- 5791 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘が
- 5792 ene irara i
エネ イララ イ
このように 悪戯すること
そのように悪戯を
- 5793 ne ruwe ne
ネ ルウェ ネ
(繫辞類) 様子 (繫辞類)
したのです。
- 5794 sonno
ソンノ
真に
本当は
- 5795 shiretok tura
シレトク トウラ
美貌 ともに
美しく、
- 5796 teketok tura
テケトク トウラ
手先が器用だ ともに
器用で、
- 5797 asuruas be
アスルアシ ベ
噂が立つ もの
名高い者
- 5798 ne koroka
ネ コロカ
(繫辞類) (逆接)
なのですが、
- 5799 ene
エネ
このように
そのように
- 5800 katu chiwente
カトゥ チウエンテ
かたち 痛めつけられる
姿をゆがめられ
- 5801 a-ekarkar
ア・エカッカ
される
ました。
- 5802 wem be neino
ウエム ベ ネノ
悪い もの ように
悪者であるように、
- 5803 eani hemem
エアニ ヘメム
汝 も
あなたも
- 5804 Kunashir un utar hene
クナシリ ウン ウタラ ヘネ
クナシリ ある人々も
クナシリの人々も、
- 5805 Etorba un
エトロバ ウン
エトロバ ある
エトロバの
- 5806 e-utari hemem
エ・ウタリ ヘメム
汝・人々 も
人々も
- 5807 batek wenno
バテク ウエンノ
のみ 悪く
悪意を持って
- 5808 nukar ruwe ne
ヌカラ ルウェ ネ
見る 様子 (繫辞類)
見たのです。
- 5809 Pekennup um mat
ペケンヌプ ウム マト
ペケンヌップ ある女
ペケンヌップ姫が
- 5810 e-shikehe
エ・シケヘ
汝・荷物
あなたの荷物を
- 5811 ureeokte wa
ウレエオクテ ワ
足で掛ける (接続)
足で掛け、
- 5812 nimba wa
ニムバ ワ
引きずる (接続)
引きずりながら
- 5813 ahun i hemem
アフニ ヘメム
入る こと も
入ったことも、
- 5814 inne utar
インネ ウタラ
大勢である 人々
大勢の人々と
- 5815 turanno
トゥランノ
ともに
ともに、
- 5816 Pekennup un kuru
ペケンヌプ ウン クル
ペケンヌップ ある人
ペケンヌップ彦を
- 5817 euminare i hene
エウミナレ イ ヘネ
皆で笑い合う こと も
笑わせたことも、
- 5818 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘が
- 5819 renkaine
レンカイン
意志に従う
その意向で
- 5820 ene shiriki i
エネ シリキ イ
このように 有様である こと
したこと
- 5821 hawash i ne
ハワシ ネ
言われる こと (繫辞類)
なのです。
- 5822 nei ta
ネイ タ
(疑問詞) (場所)
いつ、
- 5823 e-irushka wa
エ・イルシカ ワ
汝・怒る (接続)
あなたが怒って
- 5824 echi-ukoiki kuni
エチ・ウコイキ クニ
汝ら・争う ように
争いを始めるかと
- 5825 batek ramu wa
バテク ラム ワ
のみ 思う (接続)
思い、
- 5826 sonno emina
ソンノ エミナ
真に それを笑う
まことに笑いを
- 5827 rusui a koroka
ルスイ ア コロカ
(欲求) 完了 (逆接)
堪えていました。しかし、
- 5828 nei ta bakno
ネイ タ バクノ
(疑問詞) (場所)
いつまで
- 5829 ne yakka
ネ ヤッカ
(繫辞類) (譲歩)
たっても、
- 5830 sermaka yupke p
セレマカ ユツケ プ
背後 強い もの
あなたは守護神の力が強く、
- 5831 ramuan kuni p
ラムアン クニ プ
だろうと思う ように もの
頭が良いもの
- 5832 e-ne kusu
エ・ネ クス
汝・である (理由・目的)
ですから、
- 5833 keutum ot ta
ケウトウム オト タ
心 所 (場所)
心の中で
- 5834 e-irushka a yakka
エ・イルシカ ア ヤッカ
汝・怒る 完了 (譲歩)
怒りを覚えても、
- 5835 Etorba kotan
エトロバ コタン
エトロバ 村
あなたはエトロバ村へ
- 5836 e-koshireba
エ・コシレバ
汝・着く
行きました。
- 5837 tukarike ta
トゥカリケ タ
その手前 (場所)
その前に、

- 5838 **ainu e-tuye**
アイヌ エ・トウイェ
人間 汝・切る
人間を斬ること、
- 5839 **ainu e-raike**
アイヌ エ・ライケ
人間 汝・殺す
殺すことは
- 5840 **e-eikap ari**
エ・エアイカッアリ
汝・出来ない (引用)
できないと、
- 5841 **sonno**
ソンノ
真に
あなたはまことに
- 5842 **ratchi irenka**
ラトチ イレンカ
穏やかな 意図
穏やかな意志、
- 5843 **pirika irenka**
ピリカ イレンカ
よい 意図
良い意志を
- 5844 **e-kor wa**
エ・コロワ
汝・持つ (接続)
持っていました。そして、
- 5845 **Kunashiri kotan ot ta**
クナシリ コタン オトタ
クナシリ 村 所 (場所)
クナシリ村に
- 5846 **e-oman i ta**
エ・オマニタ
汝・行く とき (場所)
行ったときに、
- 5847 **sui tapne tapne**
スイ タプネ タプネ
再び これである これである
またあのような
- 5848 **shiriki wa**
シリキ ワ
有様である (接続)
出来事がありました。
- 5849 **wem menoko**
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女
- 5850 **shirum menoko**
シルム メノコ
貧しい 女
下らぬ女の
- 5851 **renkaine**
レンカイン
意志に従う
意向で、
- 5852 **Kunashir un kuru**
クナシリ ウン クル
クナシリ ある 人
クナシリ彦は
- 5853 **wenno**
ウエンノ
悪く
大いに
- 5854 **ekoshiyante**
エコシヤンテ
怒る
腹を立てました。
- 5855 **e-koyaibasuiba i ta**
エ・コヤイバスイバ イ タ
汝・口を挿する こと (場所)
あなたは口をふるって、
- 5856 **tam be ot ta**
タム ベ オトタ
このもの 所 (場所)
そのことに
- 5857 **anakne**
アナクネ
は
は、
- 5858 **sonno**
ソンノ
真に
まことに
- 5859 **e-irushka wa**
エ・イルシカワ
汝・怒る (接続)
あなたも怒り、
- 5860 **boro ukoiki**
ボロ ウコイキ
大きい 相争う
大きな争いに
- 5861 **echi-ki kuni**
エチ・キ クニ
汝ら・する ように
なるだろうと、
- 5862 **ehumse**
エフムセ
声を出す
勢い込んで
- 5863 **e-koashkai wa**
エ・コアシカイワ
汝・出来る (接続)
あなたを
- 5864 **e-raike kuni**
エ・ライケ クニ
汝・殺す ように
殺すことができると
- 5865 **emina rusui**
エミナ ルスイ
それを笑う (欲求)
笑いを堪えていました。
- 5866 **nei ta bakno**
ネイ タ バクノ
(疑問詞) (場所) まで
そして、いつまで
- 5867 **ne yakka**
ネ ヤッカ
(繫辞類) (譲歩)
も、
- 5868 **e-oshi oman wa**
エ・オシ オマンワ
汝・後から 行く (接続)
あなたの後を追いかけて
- 5869 **etubok ot ta**
エトウボク オトタ
煙出しの窓 所 (場所)
天窓に
- 5870 **an kane**
アン カネ
ある (程度)
おり、
- 5871 **e-or un batek**
エ・オルン バテク
汝・場所 (方向) のみ
あなたの方ばかり
- 5872 **inkar kane**
インカラ カネ
見る (程度)
見ていたのです。
- 5873 **ene an irara**
エネ アン イララ
このように ある 悪戯する
そのような悪戯を
- 5874 **koro aine^{*55}**
コロ アイネ
持つ (接続)
して、
- 5875 **tambota anakne**
タムボタ アナクネ
今回 は
今度こそは
- 5876 **ari shino**
アリ シノ
(引用) まことに
と、
- 5877 **shiyuppa kane**
シユッパ カネ
締める (程度)
身を引き締めて
- 5878 **e-eyoko kane**
エ・エヨコ カネ
汝・狙う (程度)
待ち構えていました。
- 5879 **inkar wa**
インカラワ
見る (接続)
しかし、見て
- 5880 **an awa**
アン アワ
ある (展開)
いると、
- 5881 **sui bawetok**
スイ バウエトク
再び 雄弁
あなたは雄弁
- 5882 **e-ne kusu**
エ・ネ クス
汝・である (理由・目的)
であるので、
- 5883 **e-yairamshiborore**
エ・ヤイラムシビロレ
汝・我慢する
我慢して、
- 5884 **e-yainita**
エ・ヤイニタ
汝・耐える
堪えることが
- 5885 **eashkai kusu**
エアシカイ クス
できる (理由・目的)
できました。
- 5886 **Otasam chashi**
オタサム チャシ
オタサム チャシ
あなたはオタサムの館、
- 5887 **kamui ewak i**
カムイ エワクイ
神 住む ところ
神の住まいの
- 5888 **bentapkashi**
ベンタッカシ
頂き
上流へ

*55 anine と書かれているがこのように解釈する。

- 5889 a-oranke
ア・オランケ
下ろされる
降ろされた
- 5890 base
バセ
重い
尊い
- 5891 kamui kor be ari
カムイ コロ ベ アリ
神 持つ もの で
神宝で、
- 5892 e-yaikikkar
エ・ヤイキタカラ
汝・自ら防ぐ
みずからを守っています。
- 5893 tam be kusu
タム ベ クス
この もの (理由・目的)
そこで、
- 5894 sui tumunchi
スイ トゥムンチ
再び 戦争
再び戦いが
- 5895 isam no
イサム ノ
無い (接続)
起こらないように、
- 5896 rorumbe
ロルムベ
戦闘
戦闘が
- 5897 isam no
イサム ノ
無い (接続)
起こらないようにm
- 5898 Kunashiri kotan wano
クナシリ コタン ワノ
クナシリ 村 から
クナシリ村まで
- 5899 e-soine
エ・ソイネ
汝・外出する
あなたは出かけました。
- 5900 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
再び 神 女
雷神の娘は
- 5901 shino
シノ
まことに
まことに
- 5902 iyokunure
イヨクヌレ
驚く
驚き、
- 5903 ramusarak
ラムサラク
心配する
心配しました。
- 5904 irushka koro sui
イルシカ コロ スイ
怒る (同時) 再び
怒りながらまた、
- 5905 Etorba bakno
エトロバ バクノ
エトロバまで
エトロバまで
- 5906 e-kotuk kane
エ・コトウク カネ
汝・くつつく (程度)
あなたにくつついて
- 5907 oman wa
オマン ワ
行く (接続)
行き、
- 5908 tapne irara
タプネ イララ
これである 悪戯する
あのような悪戯をしました。
- 5909 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバある 女
エトロバ姫、
- 5910 e-tureshipo
エ・トゥレシポ
汝・妹
あなたの妹が
- 5911 shuye
シュイエ
煮る
煮た
- 5912 pirika aep
ピリカ アエプ
よい 食物
良い料理、
- 5913 keran aep
ケラン アエプ
おいしい 食物
美味しい料理を
- 5914 hoshkino
ホシキノ
先に
先に
- 5915 e-e kuni
エ・エ クニ
汝・食べる ように
あなたが食べるのを
- 5916 niukesh kusu
ニウケシ クス
しかねる (理由・目的)
嫌がり、
- 5917 pon e-kor yubi
ポン エ・コロ ユビ
小さい 汝・持つ 兄
あなたの小兄を
- 5918 katuhu kar wa
カトウフ カラ ワ
かたち する (接続)
騙しました。そして、
- 5919 rukani ibeop
ルカニ イベオプ
毒の 槍
猛毒の槍、
- 5920 bara op ari
バラ オプアリ
幅広い 槍 で
幅広いの槍で
- 5921 e-nisapushka-an
エ・ニサブシカ・アン
汝・不意打ちする・我
あなたはいきなり攻撃され、
- 5922 shine not boka
シネ ノト ボカ
一つの 一口分 さえ
一口も
- 5923 pirika aep
ピリカ アエプ
よい 食物
良い料理を
- 5924 somo e-e no
ソモ エ・エ ノ
(否定) 汝・食べる (接続)
口にすることなく、
- 5925 e-oshmake wa
エ・オシマケ ワ
汝・背後 (起点)
背後から
- 5926 e-shirikootke-an
エ・シリコオトケ・アン
汝・激しく突く・我
突き刺されたのです。
- 5927 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘は
- 5928 ouse ainu
オウセ アイヌ
ただの 人間
ただの人間、
- 5929 atanan ainu
アタナン アイヌ
ただの 人間
あたりまえの人間
- 5930 bito utar
ビト ウタラ
人 人々
たち
- 5931 ari yainu
アリ ヤイヌ
(引用) 考える
と考えると、
- 5932 anihi bakno
アニヒ バクノ
彼 まで
自身より
- 5933 nubur be
ヌブル ベ
霊力がある もの
霊力の強い者は
- 5934 shinep ka
シネプ カ
一つ も
一人も
- 5935 isam ari
イサム アリ
いない (引用)
いないと
- 5936 yayomonnure
ヤヨモンヌレ
自慢する
自惚れ、
- 5937 yairikta-
ヤイリクタ・
自らの上
まわりを見下して
- 5938 ante kane
アンテ カネ
あらしめる (程度)
いたのです。
- 5939 isaureramu p
イサウレラム プ
容易である もの
容易なこと
- 5940 ne kusu
ネ クス
(繋辞類) (理由・目的)
だと思い、
- 5941 Etorba kotan bakno
エトロバ コタン バクノ
エトロバ村 まで
エトロバ村まで

- 5942 oman wa
オマン ワ
行く (接続)
行って、
- 5943 orsaureko
オロサウレコ
とんでもなく
只事ではない
- 5944 irara
イララ
悪戯する
悪戯をしました。
- 5945 tambota
タムボタ
今回
今度こそ
- 5946 anakne
アナクネ
は
はと、
- 5947 shino
シノ
まことに
まことに
- 5948 yaikobuntek
ヤイコブンテック
うれしが
喜びました。
- 5949 rukani ekot be
ルカニ エコトベ
毒の 死ぬもの
猛毒で死んだ者
- 5950 anakne
アナクネ
は
は、
- 5951 nei bakno
ネイ バクノ
(疑問詞) まで
いつまでも、
- 5952 kamui hene
カムイ ヘネ
神 も
神でも、
- 5953 matne kamui hene
マトネ カムイ ヘネ
雌の 神 も
女神でも、
- 5954 ebak rametok
エバク ラメトク
並ぶ 勇者
それに抗う勇者は
- 5955 isamba p
イサムパッ
いないもの
いないもの
- 5956 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繋辞類) (接続) (繋辞類) (譲歩)
であり、
- 5957 yaikachippa
ヤイカチッパ
自ら蘇生する
蘇生
- 5958 eaikap be ne i
エアイカッベネイ
できないもの (繋辞類) こと
できないものであると
- 5959 eramam be
エラマムベ
知るもの
知って
- 5960 ne kusu
ネ クス
(繋辞類) (理由・目的)
いたのです。
- 5961 atanan ainu
アタナン アイヌ
ただの 人間
あなたはただの人間
- 5962 e-ne kusu
エ・ネ クス
汝・である (理由・目的)
ですから、
- 5963 nani
ナニ
すぐに
すぐに
- 5964 e-rai kuni batek
エ・ライ クニ バテック
汝・死ぬ ようにのみ
死ぬと
- 5965 ramu wa
ラム ワ
思う (接続)
思い、
- 5966 nani
ナニ
すぐに
あなたがすぐに
- 5967 e-rai yakne
エ・ライ ヤクネ
汝・死ぬ (条件)
死んだら、
- 5968 e-ramachi
エ・ラマチ
汝・魂
あなたの魂を
- 5969 uk kuni batek
ウク クニ バテック
取る すべきことのみ
奪うことばかりを
- 5970 ramu awa
ラム アワ
思う (展開)
考えていました。しかし、
- 5971 seenne ka sui
セエンネ カ スイ
(否定) も 再び
よもやまた、
- 5972 e-iki kuni
エ・イキ クニ
汝・する ように
あなたがそうするとは
- 5973 ramu rok i
ラム ロキ イ
思う (完了) こと
思わなかったのでしょうか。
- 5974 pon e-kor yubi
ポン エ・コロ ユビ
小さい 汝・持つ 兄
あなたの小兄は
- 5975 rai ne yakka
ライ ネ ヤッカ
死ぬ (繋辞類) (譲歩)
死ぬにしても
- 5976 semkatune
セムカトゥネ
並でなく
只事ではない
- 5977 e-ekarkar
エ・エカラカラ
汝・する
様子にされました。
- 5978 Pekennup um mat hemem
ペケンヌップ ウム マト ヘメモ
ペケンヌップ ある 女 も
ペケンヌップ 姫も
- 5979 arukorachi
アルコラチ
同じく
同じように、
- 5980 rai ne yakka
ライ ネ ヤッカ
死ぬ (繋辞類) (譲歩)
死ぬにしても
- 5981 semkatune
セムカトゥネ
並でなく
只事ではない様子に
- 5982 e-ekarkar shiri
エ・エカラカラ シリ
汝・する ように
されました。
- 5983 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘は
- 5984 shino
シノ
まことに
まことに
- 5985 ehomatu wa
エホマトウワ
慌てる (接続)
慌てて、
- 5986 eashka
エアシカ
ほんとうに
まさに
- 5987 yaikouyebeker
ヤイコウイエベケル
自ら考える
考え直しました。
- 5988 kamui
カムイ
神
神々が
- 5989 hosarba kuni
ホサロッパ クニ
振り向く ように
振り向くであろうと
- 5990 ramu wa
ラム ワ
思う (接続)
思い、
- 5991 shino
シノ
まことに
まことに
- 5992 ishitoma yakka
イシトマ ヤッカ
恐ろしい気がする (譲歩)
怖れたのです。しかし、
- 5993 nei choroboki ta
ネ チョロボキ タ
(繋辞類) 下 (場所)
その結果、
- 5994 e-orauki kuni
エ・オラウキ クニ
汝・逃す ように
あなたを逃がすことを

- 5995 niukesh be
ニウケシ ベ
しかねるもの
嫌に
- 5996 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
思い、
- 5997 nekom bokka
ネコム ボカ
どのように さえ
どうにか
- 5998 ne wa
ネ ワ
(繫辞類) (接続)
して、
- 5999 e-kishma
エ・キシマ
汝・つかむ
あなたを捕えようと
- 6000 rusui kusu
ルスイ クス
(欲求) (理由・目的)
しました。
- 6001 e-oshi
エ・オシ
汝・後から
あなたの背後で
- 6002 e-haitahaita
エ・ハイタハイタ
汝・狙いを外す
ねらいを外し、
- 6003 e-haibahaiba
エ・ハイバハイバ
汝・狙いを外す
あなたを逃しました。
- 6004 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に、
- 6005 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある女
エトロバ姫、
- 6006 e-tureshipo
エ・トゥレシポ
汝・妹
あなたの妹は
- 6007 shino
シノ
まことに
まことに
- 6008 homatu wa
ホマトウ ワ
驚く (接続)
慌てて、
- 6009 hushkotoi ta
フシコトイ タ
以前 (場所)
大昔に、
- 6010 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサム村、
- 6011 kamui ewak i
カムイ エワク イ
神 住む ところ
神の住まいの
- 6012 bentapkaishi
ベンタツカシ
頂き
上流へ
- 6013 kanto oro wano
カント オロ ワノ
天 場所 から
天空から、
- 6014 kamui oro wano
カムイ オロ ワノ
神 場所 から
神々のところから
- 6015 a-orapte
ア・オラッテ
降ろされる
降ろされた
- 6016 kamui koro be ot ta
カムイ コロ ベ オトタ
神 持つ もの 所 (場所)
神宝の中の
- 6017 kani kacho
カニ カチョ
黄金 太鼓
金の太鼓を取り出しました。
- 6018 menoko
メノコ
女
女の
- 6019 enubur be
エヌブル ベ
それで呪術するもの
霊力を強くするもの
- 6020 ne ruwe ne
ネ ルウェ ネ
(繫辞類) 様子 (繫辞類)
なのです。
- 6021 e-koro unarbe
エ・コロ ウナラベ
汝・持つ 伯母
あなたの伯母が
- 6022 Etorba kotan
エトロバ コタン
エトロバ 村
エトロバ村に
- 6023 koitomnukar i ta
コイトムヌカラ イ タ
結婚する とき (場所)
嫁いだときに、
- 6024 okkeu kashi
オクケウ カシ
首 上
頸の上を
- 6025 a-epirikare p
ア・エピリカレ プ
で飾りつけられるもの
美しく飾っていたもの
- 6026 ne ruwe ne
ネ ルウェ ネ
(繫辞類) 様子 (繫辞類)
なのです。
- 6027 tam be kusu
タム ベ クス
このもの (理由・目的)
そこで、
- 6028 nei kani kacho
ネ カニ カチョ
(繫辞類) 黄金 太鼓
その金の太鼓、
- 6029 kamui koro be
カムイ コロ ベ
神 持つ もの
神宝に
- 6030 e-tureshipo
エ・トゥレシポ
汝・妹
あなたの妹は
- 6031 sermaka
セレマカ
背後
背後を
- 6032 a-koshikkashima wa
ア・コシッカシマ ワ
見張られる (接続)
守られ、
- 6033 sui Otasam kotan
スイ オタサム コタン
再び オタサム 村
またオタサム村へ
- 6034 koitomnukar
コイトムヌカラ
結婚する
嫁ぐ
- 6035 kusu ne
クス ネ
(理由・目的) (繫辞類)
ことになる
- 6036 ruwe ne
ルウェ ネ
様子 (繫辞類)
のです。
- 6037 neiam be
ネアム ベ
そのもの
それを
- 6038 sanke wa
サンケ ワ
出す (接続)
取り出して、
- 6039 eshiyarbok-
エシヤラボク・
自らの脇
腕に抱えて
- 6040 ani wa soine
アニ ワ ソイネ
手に持つ (接続) 外出する
外に出ました。
- 6041 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に、
- 6042 eashiri
エアシリ
それこそ
まさしく、
- 6043 shik etoko
シク エトコ
目 前方
目の前の
- 6044 urar hechawe
ウララ ヘチャウエ
霧 弾ける
霧が消えました。
- 6045 tanebo konna
タネボ コンナ
今 こそ
今こそは、
- 6046 wem be ikkeu
ウエム ベ イクケウ
悪い もの 元
悪事の原因、
- 6047 tumunchi ikkeu
トゥムンチ イクケウ
戦争 元
戦いの原因が
- 6048 tapne tapne ne i
タツネ タツネ ネ イ
これである これである (繫辞類) こと
このような次第であることが

- 6049 eraman
エラマン
知る
知れ渡りました。
- 6050 shino
シノ
まことに
神々はまことに
- 6051 iyokunure wa
イヨクヌレ ワ
驚く (接続)
驚いて、
- 6052 orhabunno
オロハブンノ
極めて静かに
密かに
- 6053 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘の
- 6054 oka kuirā
オカ クイラ
あと 隠れて近付く
後を追いました。
- 6055 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘
- 6056 ne yakka
ネ ヤッカ
(繫辞類) (譲歩)
も、
- 6057 shisak nubur mat
シサク ヌブル マト
またとない 霊力がある 女
類稀な霊力のある女
- 6058 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
ですから、
- 6059 tu shinish utur
トゥ シニシ ウトウル
二つの 大きな雲 間
雲間を
- 6060 re shinish utur
レ シニシ ウトウル
三つの 大きな雲 間
何度も
- 6061 echararse
エチャラッセ
滑り落ちる
滑り抜けました。
- 6062 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に、
- 6063 e-shurkubashte wa
エ・シユルクバシテ ワ
汝・毒が回る (接続)
あなたは毒にやられ、
- 6064 Etorba kotan
エトロバ コタン
エトロバ村
エトロバ村を
- 6065 e-toikowente
エ・トイコウエンテ
汝・激しく壊す
ひどく破壊しました。
- 6066 wen toi kan toi
ウェン トイ カン トイ
悪い 土 上 土
表土とともに
- 6067 e-kokirukar
エ・コキルカラ
汝・引っ繰り返す
引っくり返しました。
- 6068 orowa
オロワ
(始点)
それから、
- 6069 e-ek wa
エ・エック ワ
汝・来る (接続)
あなたは
- 6070 Kunashiri kotan
クナシリ コタン
クナシリ 村
クナシリ村を
- 6071 e-wente
エ・ウェンテ
汝・壊す
破壊しました。
- 6072 Kunashir un kuru
クナシリ ウン クル
クナシリ ある 人
クナシリ彦は
- 6073 yayokabashte wa
ヤヨカバシテ ワ
我に返る (接続)
我に返り、
- 6074 tumunchi niukesh
トゥムンチ ニウケシ
戦争 しかねる
戦いを嫌がり、
- 6075 rorumbe niukesh
ロルムベ ニウケシ
戦闘 しかねる
戦闘を嫌がりました。
- 6076 turesh turanno
トゥレシ トウランノ
妹 とともに
妹とともに、
- 6077 ki p ne koroka
キ ッ ネ コロカ
するもの (繫辞類) (逆接)
そうしたのですが、
- 6078 tumunchi kinra
トゥムンチ キンラ
戦争 狂気
あなたは戦いの狂気、
- 6079 wem be kinra
ウエム ベ キンラ
悪い もの 狂気
悪事の狂気に
- 6080 e-eyaitushtekka
エ・エヤイトウシテッカ
汝・自らを沈黙させる
取り憑かれました。
- 6081 kashike un
カシケ ウン
上 (方向)
その上に、
- 6082 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘は
- 6083 a-noshba koro
ア・ノシバ コロ
我・追う (同時)
追われて
- 6084 shiran yakka
シラン ヤッカ
有様である (譲歩)
いても、
- 6085 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に
- 6086 ramma
ラムマ
いつも
いつも
- 6087 ikatkara koro
イカトカラ コロ
だます (同時)
人を騙して
- 6088 kira
キラ
逃げる
逃げていました。
- 6089 nekon boka
ネコン ボカ
どのように さえ
どうにか
- 6090 ne wa
ネ ワ
(繫辞類) (接続)
して、
- 6091 tunashno
トゥナシノ
早く
早く
- 6092 e-rai kuni
エ・ライ クニ
汝・死ぬ ように
あなたが死ぬことを
- 6093 chibachiba koroka
チバチバ コロカ
望む (逆接)
望んでいたのですが、
- 6094 sui Kunashir um mat
スイ クナシリ ウム マト
再び クナシリ ある 女
クナシリ姫、
- 6095 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女は
- 6096 sonno
ソンノ
真に
まことに
- 6097 keutum^{*56} pirika p
ケウトウム ピリカ ヲ
心 よい もの
心が良い者
- 6098 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
であるので、
- 6099 ikkewe wem be
イクケウエ ウエム ベ
元 悪い もの
理由の正しくない事に

*56 keutu と書かれているがこのように解釈する。:

- 6100 eikurka-
エイクルカ・
上
加担
- 6101 tamomare kuni
タモマレ クニ
刀を向ける ように
することを
- 6102 niukesh kusu
ニウケシ クス
しかねる (理由・目的)
嫌がり、
- 6103 e-ka obiuki wa
エ・カ オビウキ ワ
汝・上 助ける (接続)
あなたを助けたのです。そして、
- 6104 e-ekot kush ne p
エ・エコト クシ ネ プ
汝・死ぬ ように (繫辞類) もの
あなたが死にそうなとき、
- 6105 tapne tapne
タプネ タプネ
これである これである
あのようなことを
- 6106 tumi tuika ta
トゥミ トウイカ タ
戦い 上 (場所)
戦いの最中に
- 6107 a-kar i unno
ア・カライ ウンノ
される こと (不明)
されたのです。
- 6108 Pekennup kotan hene
ペケンヌッ コタン ヘネ
ペケンヌッ村 も
ペケンヌッ村を
- 6109 e-toikowente
エ・トイコウエンテ
汝・激しく壊す
あなたはひどく破壊しました。
- 6110 e-koro ekashi
エ・コロ エカシ
汝・持つ 老人
あなたの祖父
- 6111 ne yakka
ネ ヤッカ
(繫辞類) (譲歩)
も、
- 6112 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹も
- 6113 tapne ikichi i
タプネ イキチ イ
これである する こと
あのようにしたの
- 6114 ne yakka
ネ ヤッカ
(繫辞類) (譲歩)
ですが、
- 6115 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘が
- 6116 kar be ne
カラ ベ ネ
するもの (繫辞類)
したことなのです。
- 6117 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に
- 6118 kamui obitta
カムイ オビッタ
神 皆
神々は一人残らず、
- 6119 hosarba
ホサッパ
振り向く
振り向きました。
- 6120 kanto oro wa
カント オロ ワ
天 場所 (起点)
天空から、
- 6121 nubur be at be
ヌブル ベ アト ベ
霊力があるもの たつもの
霊力の強い者
- 6122 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
ですから、
- 6123 wem menoko
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女、
- 6124 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
下らぬ女は
- 6125 a-atnayere
ア・アトナイエレ
我・縄をかける
縄をかけられました。
- 6126 ante uk wa
アンテ ウク ワ
あらしめる 取る (接続)
捕えられ、
- 6127 a-tuntukoshina wa
ア・トゥントウコシナ ワ
柱に縛られる (接続)
柱に縛り付けられて
- 6128 a-banakte
ア・バナクテ
罰を受ける
罰せられ、
- 6129 a-bakashnu koro
ア・バカシヌ コロ
こらしめられる (同時)
懲らしめられ
- 6130 shiran ruwe ne
シラン ルウエ ネ
有様である 様子 (繫辞類)
しました。
- 6131 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に、
- 6132 e-rai wa
エ・ライ ワ
汝・死ぬ (接続)
あなたは死に、
- 6133 sonno am be
ソノン アム ベ
真に あるもの
まことに、
- 6134 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバある 女
エトロバ姫は
- 6135 kamui moshiri
カムイ モシリ
神 国土
神々の世界へ
- 6136 koatchorauki
コアトチョラウキ
向かう
攻め寄せ
- 6137 kusu ne koroka
クス ネ コロカ
(理由・目的) (繫辞類) (逆接)
ようとしたのですが、
- 6138 ituren koro be
イトウレン コロ ベ
愚く 持つもの
愚き神の力が強く、
- 6139 okkai rametok
オッカイ ラメトク
男 勇者
男の勇者を
- 6140 an-ekasure p
アネカスレ プ
凌ぐ もの
凌ぐ者
- 6141 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
ですから、
- 6142 hoshkino
ホシキノ
先に
先に
- 6143 e-ka obash wa
エ・カ オバシ ワ
汝・上 走る (接続)
あなたの元へ行き、
- 6144 kamui utar
カムイ ウタラ
神 人々
神々
- 6145 obitta
オビッタ
皆
すべてが
- 6146 hosarba kuni i
ホサッパ クニ イ
振り向く ように こと
振り向くようにと
- 6147 ye koro
イエ コロ
言う (同時)
言いながら、
- 6148 e-konicharba
エ・コニチャッパ
汝・癒される
あなたを治療し、
- 6149 chikeutusare
チケウトウサレ
蘇生する
救出
- 6150 e-ekarkar
エ・エカラカラ
汝・する
した
- 6151 ki ruwe ne
キ ルウエ ネ
する 様子 (繫辞類)
のです。
- 6152 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に、
- 6153 kanto ot ta
カント オト タ
天 所 (場所)
天空には、

- 6154 pon e-kor yubi
ボン エ・コロ ユビ
小さい 汝・持つ 兄
あなたの小兄が
- 6155 shikishmayar
シキシマヤラ
自らつかまえさせる
やって来ました。
- 6156 Etorba kotan
エトロバ コタン
エトロバ 村
エトロバ村、
- 6157 Kunashiri kotan
クナシリ コタン
クナシリ 村
クナシリ村、
- 6158 Pekennup kotan
ペケンヌッ コタン
ペケンヌッ 村
ペケンヌッ村の
- 6159 shine ainu ka
シネ アイヌ カ
一つの人間も
一人の人間も
- 6160 haita
ハイタ
欠く
欠ける
- 6161 somo ki no
ソモ キ ノ
(否定) する (接続)
ことなく、
- 6162 kotan
コタン
村
村を
- 6163 a-kokarkar kuni
ア・コカカカ クニ
される ように
元に戻すように。
- 6164 Otasam un
オタサム ウン
オタサム ある
オタサムの
- 6165 a-utari
ア・ウタリ
我・人々
一族で
- 6166 a-ronnu ike
ア・ロンヌ イケ
殺される こと
殺されたものを
- 6167 obittano
オビッタノ
皆
一人残らず
- 6168 a-hoshippare
ア・ホシッパレ
我・帰す
元に戻さ
- 6169 somo ki ko
ソモ キ コ
(否定) する (条件)
なけれ
- 6170 anakne
アナクネ
は
ば、
- 6171 kamui moshiri
カムイ モシリ
神 国土
神々の世界が
- 6172 a-chupkokiru
ア・チュプコキル
我・太陽とともにひっくり返す。
太陽とともに引っくり返る
- 6173 kusu ne ari
クス ネ アリ
(理由・目的) (繫辞類) (引用)
ことになる、という
- 6174 hawean koro
ハウエアン コロ
言う (同時)
伝言が
- 6175 kanna kamui utara
カンナ カムイ ウタラ
上 神 たち
雷神たちに
- 6176 itak ehokushte
イタク エホクシテ
言葉 引っ繰り返す
伝えられました。
- 6177 kanna kamui utara
カンナ カムイ ウタラ
上 神 たち
雷神たちは
- 6178 shino
シノ
まことに
まことに
- 6179 yayababu
ヤヤバブ
詫びを言う
後悔しました。
- 6180 sonno
ソノン
真に
まことに、
- 6181 kamui ukohawash i
カムイ ウコハワシ
神 皆で話す こと
神々の話は
- 6182 yupke
ユッケ
強い
激しいものでした。
- 6183 shirikun kanto ot ta
シリクン カント オトタ
最も上にある 天 所 (場所)
上天には、
- 6184 ainu kar kamui
アイヌ カラ カムイ
人間 作る 神
人間をつくる神、
- 6185 umurek kamui
ウムレク カムイ
夫婦 神
夫婦の神が
- 6186 an ruwe ne
アン ルウェ ネ
ある 様子 (繫辞類)
いるのです。
- 6187 inne kamui utar
インネ カムイ ウタラ
大勢である 神 人々
大勢の神々
- 6188 oro wa
オロ ワ
場所 (起点)
から
- 6189 a-koramkor wa
ア・コラムコロ ワ
相談される (接続)
相談されて、
- 6190 ainu kar kuni
アイヌ カラ クニ
人間 作る ように
人間をつくることを
- 6191 ramuoshma wa
ラムオシマ ワ
同意する (接続)
承諾しました。そして、
- 6192 e-wente
エ・ウェンテ
汝・壊す
あなたが壊した
- 6193 re kotan utar
レ コタン ウタラ
三つの村 人々
三つの村の人々を
- 6194 oma i neino
オマ イ ネノ
ある ことように
元通りに、
- 6195 atbake ta
アトバケ タ
先頭 (場所)
以前
- 6196 kasuno^{*57} pirikano
カスノ ビリカノ
以上 良く
よりも立派に、
- 6197 shinen ka haita
シネン カ ハイタ
一人 も 欠く
一人も
- 6198 somo ki no
ソモ キ ノ
(否定) する (接続)
残さずに、
- 6199 chise tura
チセ トウラ
家 とともに
家とともに、
- 6200 ikot tura
イコト トウラ
宝物 とともに
宝物とともに、
- 6201 aep tura
アエットゥラ
食物 とともに
食物とともに戻しました。
- 6202 nep nuburi hene
ネッ スブリ ヘネ
何 山 も
如何なる山も、
- 6203 bet hene^{*58}
ベト ヘネ
川 も
川も、
- 6204 nitai hene
ニタイ ヘネ
林 も
林も、

*57 kusu no と書かれているがこのように解釈する。

*58 ne と書かれているがこのように解釈する。

- 6205 **chikoikip hene**
チコイキップ ヘネ
獲物 も
獣も、
- 6206 **obittano**
オビトタノ
皆
余すことなく、
- 6207 **a-eashirikar**
ア・エアシリカラ
我・新しく作る
新しくつくり
- 6208 **okere**
オケレ
(完了)
終えました。
- 6209 **kamui anakne**
カムイ アナクネ
神 は
神が
- 6210 **kara eaikap be**
カラ エアイカッベ
作る できない もの
つくりえないものは
- 6211 **shinep ka isam**
シネッ カ イサム
一つ も 無い
一つもない
- 6212 **be ne kusu**
ベ ネ クス
もの(繫辞類) (理由・目的)
のですから、
- 6213 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 6214 **e-wente p**
エ・ウエンテッ
汝・壊す もの
あなたが壊したものは
- 6215 **obittano**
オビトタノ
皆
すべて、
- 6216 **kamui**
カムイ
神
神々が
- 6217 **unisuk-an wa**
ウニスック・アン ワ
互いに頼る・我(接続)
助け合い、
- 6218 **a-eashirikar**
ア・エアシリカラ
我・新しく作る
新しくつくり
- 6219 **okere ruwe ne**
オケレ ルウェネ
(完了) 様子(繫辞類)
直されました。
- 6220 **Otasam wa**
オタサム ワ
オタサム(起点)
オタサムで
- 6221 **a-ronnu utar**
ア・ロンヌ ウタラ
殺される 人々
殺された人々
- 6222 **ne wa ne yakka**
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
も、
- 6223 **obittano**
オビトタノ
皆
一人残らず、
- 6224 **tuima ramachi**
トゥイマ ラマチ
遠い 魂
遠くの魂、
- 6225 **hanke ramachi**
ハンケ ラマチ
近い 魂
近くの魂を
- 6226 **a-konoshbakar wa**
ア・コノシバカラ ワ
我・追いかける(接続)
追いかけて
- 6227 **a-shiknure wa**
ア・シクヌレ ワ
我・生き返らせる(接続)
生き返らせ、
- 6228 **hoshippa**
ホシッパ
帰る
村に帰し
- 6229 **okere**
オケレ
(完了)
ました。
- 6230 **e-koro ekashi**
エ・コロ エカシ
汝・持つ 老人
あなたの祖父
- 6231 **anakne**
アナクネ
は
は、
- 6232 **a-hoshibire yakka**
ア・ホシビレ ヤッカ
我・帰す(譲歩)
帰そうとしても
- 6233 **oar koban**
オアラ コバン
全く 嫌がる
拒絶しました。
- 6234 **ramma^{*59} tashi**
ラムマ タシ
いつも(強調)
『いつも、
- 6235 **tunashno**
トゥナシノ
早く
早く
- 6236 **kamui or un**
カムイ オルン
神 所(方向)
神のところへ
- 6237 **ek-an kuni**
エック・アン クニ
来る・我 ように
行きたいと
- 6238 **a-ramu kusu**
ア・ラム クス
我・思う(理由・目的)
思っていた。
- 6239 **a-nitbo utara**
ア・ニトボ ウタラ
我・孫 たち
我が孫たちに
- 6240 **hoshkino**
ホシキノ
先に
先に
- 6241 **unukar**
ウヌカラ
会見
再会し、
- 6242 **orowa**
オロワ
(始点)
それから、
- 6243 **pon tonoto boka**
ボン トノト ボカ
小さい 酒 さえ
少しの酒を
- 6244 **a-kar wa**
ア・カラ ワ
我・する(接続)
醸して、
- 6245 **inau tura**
イナウ トウラ
木幣 とともに
イナウとともに
- 6246 **a-ehobuni kuni**
ア・エホブニ クニ
我・起き上がる ように
我は立ち去る
- 6247 **a-ramu kusu**
ア・ラム クス
我・思う(理由・目的)
つもりだ。
- 6248 **ene**
エネ
このように
このような
- 6249 **irenkasanke-an i**
イレンカサンケ・アニ
意志を示す・我(こと)
意志が下された
- 6250 **ne awa**
ネ アワ
(繫辞類) (展開)
が、
- 6251 **arwen kamui**
アラウエン カムイ
ひどい 神
極悪の神
- 6252 **arwen bito**
アラウエン ビト
ひどい 人
性悪の神が
- 6253 **i-keshke hetap**
イ・ケシケ ヘタッ
我・嫉む これ
我を悩ませた。
- 6254 **neptapteta**
ネッタッテタ
何ということか
あろうことか、
- 6255 **orsaureko**
オロサウレコ
とんでもなく
只事ではないことを

*59 rama と書かれているがこのように解釈する。

- 6256 ki shiri
キ シリ
する 様子
したの
- 6257 okai yakka
オカイ ヤッカ
ある (譲歩)
だ。しかし、
- 6258 a-nitboho utari
ア・ニトボホ ウタリ
我・孫 たち
我が孫たちが
- 6259 ramuratki no
ラムラトキ ノ
気配りする (接続)
気配りをして
- 6260 okai wa
オカイ ワ
ある (接続)
暮らし、
- 6261 kamui ewak i
カムイ エワク イ
神 住む ところ
神の住まいの
- 6262 benkir echiu
ベンキリ エチウ
上流 治める
上流を治め、
- 6263 bankir echiu ko
バンキリ エチウ コ
下流 治める (条件)
下流を治めるなら
- 6264 anakne
アナクネ
は
ば、
- 6265 bakno am be
バックノ アム ベ
まで あるもの
それに勝るものは
- 6266 isam ruwe ne
イサム ルウェ ネ
無い 様子 (繋辞類)
ない。』
- 6267 ari itak koro
アリ イタク コロ
(引用) 言う (同時)
そう言って、
- 6268 somo hoshibi
ソモ ホシビ
(否定) 帰る
帰りませんでした。
- 6269 tewano
テワノ
これから
これからは
- 6270 kamui ot ta
カムイ オト タ
神 所 (場所)
神のところに
- 6271 an kusu ne
アネク ス ネ
ある (理由・目的) (繋辞類)
いることに
- 6272 ruwe ne
ルウェ ネ
様子 (繋辞類)
なります。
- 6273 eebaki ta
エエバキ タ
次 (場所)
その次に、
- 6274 pon e-koro yubi
ポン エ・コロ ユビ
小さい 汝・持つ 兄
あなたの小兄
- 6275 ne yakka
ネ ヤッカ
(繋辞類) (譲歩)
も、
- 6276 mashkino
マシキノ
あまりに
あまりに
- 6277 a-raike katu
ア・ライケ カトゥ
我・殺す かたち
殺され方が
- 6278 wen wa kusu
ウェン ワ クス
悪い (接続) (理由・目的)
酷かったので、
- 6279 yayekatuwen
ヤイエカトゥウェン
自ら恥じる
きまりがわるく、
- 6280 yainikoroshma kusu
ヤイニコロシマ クス
恥ずかしい (理由・目的)
恥しく思い、
- 6281 kanna sui
カンナ スイ
再び 再び
『再び
- 6282 ainu moshiri un
アイヌ モシリ ウン
人間 国土 (方向)
人間の世界へは
- 6283 somo hoshibi
ソモ ホシビ
(否定) 帰る
帰りません。』
- 6284 ari itak
アリ イタク
(引用) 言う
と言いました。
- 6285 shinish kanto koro
シニシ カント コロ
大きな雲 天 持つ
上天の
- 6286 sonno
ソノノ
真に
まことに
- 6287 base kamui
バセ カムイ
重い 神
尊い神の
- 6288 iyotta
イヨッタ
最も
最も
- 6289 pon matne p ari
ポン マトネ プ アリ
小さい 雌の もので
幼い娘が
- 6290 tomo a-oiatak awa
トモ ア・オイタク アワ
真中 話される (展開)
仲裁すると、
- 6291 shino
シノ
まことに
まことに
- 6292 nubetne wa
ヌベトネ ワ
喜ぶ (接続)
喜びました。そして、
- 6293 utashba bakno
ウタシバ バクノ
互いに まで
お互いに、
- 6294 shino
シノ
まことに
まことに
- 6295 uramuoshma
ウラムオシマ
互いに承知する
理解し合い、
- 6296 uwekatarotke wa
ウエカタロトケ ワ
仲がいい (接続)
仲良くなり、
- 6297 umurek ne
ウムレク ネ
夫婦 (繋辞類)
夫婦となりました。
- 6298 kushkeraibo
クシケライボ
おかげで
そのおかげで、
- 6299 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は
- 6300 toikoramu-
トイコラム・
激しく思う
とても
- 6301 oshitchiu
オシチウ
落ち着く
落ち着き、
- 6302 ramuhoraraise
ラムホラライセ
穏やかである
穏やかになり
- 6303 ruwe ne
ルウェ ネ
様子 (繋辞類)
ました。
- 6304 eebaki ta
エエバキ タ
次 (場所)
その次に、
- 6305 kanna kamui utar
カンナ カムイ ウタラ
上 神 人々
雷神たちは、
- 6306 shine tureshihi
シネ トウレシヒ
一つの 妹
一人の娘の
- 6307 uhaita buri
ウハイタ ブリ
釣り合いのとれない 行い
愚かなおこない
- 6308 an kusu
アネク ス
ある (理由・目的)
のために、
- 6309 kamui hene
カムイ ヘネ
神 も
神も

- 6310 **ainu hene**
アイヌ ヘネ
人間 も
人間も
- 6311 **uhomatbare**
ウホマトバレ
皆で驚く
慌てさせ、
- 6312 **a-wente**
ア・ウエンテ
我・悪くする
酷い目にあわせたのです。
- 6313 **tam be kusu**
タム ベ クス
このもの(理由・目的)
そこで、
- 6314 **nep eiyokamkir ka**
ネフ エイヨカムキリ カ
何 知っている も
何も知らない
- 6315 **somo ki no**
ソモ キ ノ
(否定) する(接続)
ものなの
- 6316 **okai be**
オカイ ベ
ある もの
ですが、
- 6317 **arobbittano**
アロビトタノ
すべて
一人残らず、
- 6318 **naani ka**
ナアニ カ
まさにも
もう少しで
- 6319 **teine bokna moshiri**
テイネ ボクナ モシリ
湿った下方の 国土
湿った下方の世界へ
- 6320 **a-kokirba**
ア・コキリバ
我・振り向く
追いやられる
- 6321 **a koroka**
ア コロカ
完了(逆接)
ところでしたが、
- 6322 **kamui**
カムイ
神
神々の
- 6323 **ukohawash i**
ウコハワシ
皆で話す こと
相談が
- 6324 **yupke aine**
ユプケ アイネ
強い(接続)
激しく、
- 6325 **obittano**
オビトタノ
皆
一人残らず
- 6326 **a-tusare**
ア・トゥサレ
我・蘇生させる
蘇生され、
- 6327 **a-honnere**
ア・ホンネレ
我・許す
許されました。
- 6328 **kamui ot ta hene**
カムイ オトタ ヘネ
神 所(場所) も
神のところでも、
- 6329 **matne^{*60} kamui ot ta**
マトネ カムイ オトタ
雌の 神 所(場所)
女神のところでも、
- 6330 **ainu ot ta hene**
アイヌ オトタ ヘネ
人間 所(場所) も
人間のところでも、
- 6331 **uoshikotba**
ウオシコトバ
互いに惚れる
人を好きになり、
- 6332 **uoshikote**
ウオシコテ
互いに惚れる
惚れこみ、
- 6333 **ochiu ari**
オチウ アリ
姦通(引用)
乱心、
- 6334 **kinin ari**
キニン アリ
淫乱(引用)
淫心と
- 6335 **a-borse p**
ア・ボロセ ヲ
よばれる もの
いうもの
- 6336 **anakne**
アナクネ
は
は
- 6337 **somo**
ソモ
(否定)
異なる
- 6338 **uwechutkonno**
ウウエチユトコンノ
異なる
ものではない
- 6339 **am be**
アム ベ
ある もの
の
- 6340 **ne koroka**
ネ コロカ
(繫辞類)(逆接)
です。しかし、
- 6341 **kanna kamui**
カンナ カムイ
上 神
雷神の
- 6342 **kot tureshi**
コト トウレシ
持つ 妹
妹が
- 6343 **eoshikote katu**
エオシコテ カトゥ
惚れる かたち
惚れこむ様子は
- 6344 **sonno**
ソンノ
真に
まことに
- 6345 **wen a kusu**
ウエン ア クス
悪い 完了(理由・目的)
良くなかった。
- 6346 **oman ikiri**
オマン イキリ
行く 列
そのために、
- 6347 **otumioshma**
オトウミオシマ
戦いが生じる
戦いが始まった
- 6348 **ki a yakka**
キ ア ヤッカ
する 完了(譲歩)
のですが、
- 6349 **kamui eramboke**
カムイ エラムボケン
神 憐れむ
神の憐れみが
- 6350 **okai**
オカイ
ある
あった
- 6351 **kushkeraibo**
クシケライボ
おかげで
おかげで、
- 6352 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今はもう、
- 6353 **pirika kunine**
ピリカ クニネ
よい ように
何もかも
- 6354 **nep ne yakka**
ネフ ネ ヤッカ
何(繫辞類)(譲歩)
良くなって、
- 6355 **a-eramushinne**
ア・エラムシンネ
我・心落ち着く
私は安心
- 6356 **ruwe ne**
ルウェネ
様子(繫辞類)
しました。
- 6357 **a-matnepo**
ア・マトネポ
我・娘
私の娘が
- 6358 **iyotta**
イヨッタ
最も
一番
- 6359 **a-eramboke koroka**
ア・エラムボケン コロカ
我・憐れむ(逆接)
可哀想ですが、
- 6360 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今はもう、

*60 mtne と書かれているがこのように解釈する。

- 6361 ene a-kar i
エネ ア・カラ イ
このように我・すること
何をすることも
- 6362 ene a-ye i
エネ ア・イエ イ
このように我・言うこと
何を言うことも
- 6363 isam ruwe ne
イサム ルウェ ネ
無い 様子 (繫辞類)
できません。
- 6364 shinta ka wano
シンタ カワノ
揺りかご上 から
揺り籠の上から、
- 6365 yarbe ka wano
ヤラベ カワノ
おしめ上 から
襦の上から
- 6366 a-ukoresbha p
ア・ウコレシバ ヲ
我・共に育てるもの
一緒に育てたもの
- 6367 ne rokwa
ネ ロクワ
(繫辞類) (完了) + (接続)
ですが。
- 6368 tapne kane
タップネ カネ
これである (程度)
このような
- 6369 ne yakka
ネ ヤッカ
(繫辞類) (譲歩)
次第で
- 6370 utarpa
ウタラパ
首領
あなたは頭領に
- 6371 e-ne na
エ・ネ ナ
汝・であるぞ
なつたのです。
- 6372 rametok
ラメトク
勇者
あなたは勇者
- 6373 e-ne na
エ・ネ ナ
汝・であるぞ
です。
- 6374 pirika kunine
ピリカ クニネ
よい ように
良いように、
- 6375 e-tureshipo
エ・トゥレシポ
汝・妹
あなたの妹を
- 6376 mumbekare
ムムベカレ
大切に
世話してください。
- 6377 yaikoomap wa
ヤイコオマ ヲ
自ら愛する (接続)
可愛がって、
- 6378 wen kur boka
ウェン クル ボカ
悪い 人 さえ
良くない人であっても
- 6379 hekote kunine
ヘコテ クニネ
連れ添う ように
連れ添うように
- 6380 kar wa
カラ ワ
する (接続)
して
- 6381 kore kunak
コレ クナク
与える (引用)
くだ
- 6382 ramu yan
ラム ヤン
思う (命令)
さい。
- 6383 tapne tapne
タップネ タップネ
これである これである
このように、
- 6384 tumunchi ikkeu
トゥムンチ イッケウ
戦争 元
戦いの理由、
- 6385 rorumbe ikkeu
ロルムベ イッケウ
戦闘 元
戦闘の理由が
- 6386 okai katu hene
オカイ カトゥ ヘネ
ある かたちも
あったことも、
- 6387 kanto ot ta
カント オッタ
天 所 (場所)
天空は
- 6388 tapne tapne
タップネ タップネ
これである これである
このような次第で
- 6389 nei katu
ネ カトゥ
(繫辞類) かたち
あったこと、
- 6390 okai katu
オカイ カトゥ
ある かたち
そのことを
- 6391 obittano
オビタノ
皆
すべて、
- 6392 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある 女
エトロバ姫、
- 6393 e-tureshipo batek
エ・トゥレシポ バテク
汝・妹 のみ
あなたの妹だけが
- 6394 arobittano
アロビタノ
すべて
残らず
- 6395 kushnanukara
クシナスカラ
見通す
見通し、
- 6396 ramnukare wa
ラムヌカレ ワ
巫覡する (接続)
理解して
- 6397 an ruwe ne
アン ルウェ ネ
ある 様子 (繫辞類)
います。
- 6398 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ姫、
- 6399 inauru koro mat newa
イナウル コロ マト ネワ
イナウの冠 持つ 女 と
イナウ冠の女と
- 6400 a-matnepo batek
ア・マトネポ バテク
我・娘 のみ
私の娘は
- 6401 tapne tapne
タップネ タップネ
これである これである
このような次第
- 6402 nei katu
ネ カトゥ
(繫辞類) かたち
であることを
- 6403 ponno ka
ボンノ カ
少し も
少しも
- 6404 erambetek
エラムベテク
知らない
知らない
- 6405 ruwe ne
ルウェ ネ
様子 (繫辞類)
のです。
- 6406 tam be kusu
タム ベ クス
この もの (理由・目的)
そこで、
- 6407 tan anchikar ta
タン アンチカラ タ
この 晩 (場所)
今晚、
- 6408 tapne kane ne i
タップネ カネ ネ イ
これである (程度) (繫辞類) こと
このような次第を、
- 6409 tarap ot ta
タラフ オッタ
夢見る 所 (場所)
夢で
- 6410 obittano
オビタノ
皆
残らず
- 6411 nure*61 ruwe ne
ヌレ ルウェ ネ
聞かせる 様子 (繫辞類)
伝えました。

*61 a-nure という形式が期待されるが原文のままとする。

- 6412 **tan tewano**
タン テワノ
このこれから
これからは、
- 6413 **tunashno**
トゥナシノ
早く
早く
- 6414 **boronno boronno**
ボロンノ ボロンノ
たくさん たくさん
沢山の
- 6415 **ibe wa**
イベ ワ
食事する (接続)
食事をとり、
- 6416 **tumashnu yan**
トゥマシヌ ヤン
元気になる (命令)
元気になりなさい。
- 6417 **nei ta bakno**
ネイ タ バクノ
(疑問詞) (場所) まで
いつまでも、
- 6418 **pirika irenka**
ピリカ イレンカ
よい 意図
良い意志、
- 6419 **ratchi irenka**
ラトチ イレンカ
穏やかな 意図
穏やかな意志、
- 6420 **kamui irenka**
カムイ イレンカ
神 意図
神の意志を
- 6421 **koro wa**
コロ ワ
持つ (接続)
持って
- 6422 **e-utari**
エ・ウタリ
汝・人々
一族を
- 6423 **yaikoomap wa**
ヤイコオマップ ワ
自ら愛する (接続)
大切にしなさい。そして、
- 6424 **Otasam kotan**
オタサム コタン
オタサム 村
オタサムの村、
- 6425 **Otasam chashi**
オタサム チャシ
オタサム チャシ
オタサムの館、
- 6426 **kamui ewak i**
カムイ エワク イ
神 住む ところ
神の住まいの
- 6427 **e-benkirechiu**
エ・ベンキレチウ
汝・上流を治める
上流を治め、
- 6428 **e-bankirechiu**
エ・バンキレチウ
汝・下流を治める
下流を治め
- 6429 **ki kusu ne**
キ クス ネ
する (理由・目的) (繫辞類)
て
- 6430 **ruwe tab an**
ルウェ タバン
様子 これ ある
ください。
- 6431 **tapne ne katu**
タップネ ネ カトゥ
これである (繫辞類) かたち
これまでの次第は、
- 6432 **obittano**
オビトタノ
皆
残らず、
- 6433 **Etorba un**
エトロボ ウン
エトロボ ある
エトロボの
- 6434 **boro e-yubi**
ボロ エ・ユビ
大きい 汝・兄
あなたの大兄、
- 6435 **Nikambi koro kuru hene**
ニカムビ コロ クル ヘネ
ニカンビ 持つ 人 も
ニカンビコロ彦にも、
- 6436 **Kunashiri un kuru hene**
クナシリ ウン クル ヘネ
クナシリ ある 人 も
クナシリ彦にも、
- 6437 **Pekennup un kuru hene**
ペケンヌップ ウン クル ヘネ
ペケンヌップ ある 人 も
ペケンヌップ彦にも、
- 6438 **shine ikin ne**
シネ イキン ネ
一つの 列 (繫辞類)
一斉に、
- 6439 **tapne tapne**
タップネ タップネ
これである これである
これまでの
- 6440 **nei katu**
ネ カトゥ
(繫辞類) かたち
経緯を
- 6441 **a-ewentarapka**
ア・エウエンタラッカ
我・夢を見せる
夢で伝える
- 6442 **kusu ne**
クス ネ
(理由・目的) (繫辞類)
つもり
- 6443 **ruwe ne**
ルウェ ネ
様子 (繫辞類)
です。
- 6444 **kanna kamui utar**
カンナ カムイ ウタラ
上 神 人々
雷神たちの
- 6445 **kot tureshi**
コト トウレシ
持つ 妹
その娘は
- 6446 **renkaine**
レンカイネ
意志に従う
神の意向で
- 6447 **a-kare kusu**
ア・カレ クス
我・つくらせる (理由・目的)
罰せられるので、
- 6448 **a-ekoshi awa**
ア・エコシ アワ
我・任せる (展開)
それに任せたら、
- 6449 **shirum menoko**
シルム メノコ
貧しい 女
下らぬ女、
- 6450 **wem menoko**
ウエム メノコ
悪い 女
悪い女は
- 6451 **tu sui chiraike**
トゥ スイ チライケ
二つの 回 殺される
何度も
- 6452 **re sui chiraike**
レ スイ チライケ
三つの 回 殺される
殺され
- 6453 **a-ekarkar**
ア・エカカラ
される
ました。
- 6454 **a-toikokoiki**
ア・トイココイキ
激しく攻撃される
折檻され、
- 6455 **a-toikobanakte**
ア・トイコバナクテ
我・激しく罰する
処罰されました。
- 6456 **kanna somo**
カンナ ソモ
再び (否定)
再び、
- 6457 **neino**
ネノ
ように
人間のところで
- 6458 **ainu or un**
アイヌ オルン (方向)
人間 所
そのような
- 6459 **irara kuni**
イララ クニ
悪戯するように
悪戯をしないと
- 6460 **eese**
エエセ
承諾する
承諾し、
- 6461 **shino**
シノ
まことに
まことに
- 6462 **yayababu**
ヤヤバブ
詫びを言う
後悔して
- 6463 **yayunashke wa**
ヤユナシケ ワ
謝る (接続)
謝り、
- 6464 **a-honnere**
ア・ホンネレ
我・許す
許されました。
- 6465 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今はもう、

- 6466 kamui ot ta
カムイ オトタ
神 所 (場所)
神のところ
- 6467 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
でも、
- 6468 nep ka
ネフ カ
何 も
何も
- 6469 a-erannak be ka
ア・エランナク ベ カ
我・心配する もの も
心配することが
- 6470 isam ruwe
イサム ルウエ
無い 様子
なくなり
- 6471 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
ました。そこで、
- 6472 tam be
タム ベ
この もの
このことを
- 6473 obittano
オビトタノ
皆
一つ残らず、
- 6474 e-nure-an
エ・ヌレ・アン
汝・聞かせる・我
あなたに聞かせる
- 6475 hawe tab an na
ハウエ タバン ナ
声 これ ある ぞ
のです。
- 6476 tunashno
トゥナシノ
早く
早く
- 6477 tumashnu wa
トゥマシヌ ワ
元気になる (接続)
元気になって、
- 6478 pon tonoto boka
ボン トノト ボカ
小さい 酒 さえ
少しの酒でも
- 6479 shikupka wa
シクツカ ワ
成長させる (接続)
醸して、
- 6480 kanto or bakno
カント オロ バクノ
天 所 まで
天空まで
- 6481 inau turanno
イナウ トウランノ
木幣 とともに
イナウとともに
- 6482 ebuni ko
エブニ コ
頭を上げる (条件)
届けてください。
- 6483 anakne
アナクネ
は
そうすれば、
- 6484 sonno
ソンノ
真に
まことに
- 6485 kamui utara
カムイ ウタラ
神 たち
神々は
- 6486 enubetne
エヌベトネ
喜ぶ
喜ぶ
- 6487 kusu ne
クス ネ
(理由・目的) (繫辞類)
でしょう。
- 6488 tan tewano
タン テワノ
この これから
これからは、
- 6489 inne kamui utara
インネ カムイ ウタラ
大勢である 神 たち
大勢の神々が、
- 6490 ramma ramma
ラムマ ラムマ
いつも いつも
いつも
- 6491 ainu moshiri
アイヌ モシリ
人間 国土
人間の世界、
- 6492 moshiri so kurka
モシリ ソ クルカ
国土 平面上
その世界の一帯を
- 6493 shikomarba ko
シコマラバ コ
目を向ける (条件)
見張ります。
- 6494 anakne
アナクネ
は
そうすれば、
- 6495 shukup tuika ta
シュクツツ トウイカ タ
成長する 上 (場所)
生涯の間、
- 6496 konep ebetchiu
コネツ エベチウ
何 倒れる
何の困難も
- 6497 isam no
イサム ノ
無い (接続)
無く、
- 6498 teeta kane
テエタ カネ
以前 (程度)
以前の通りになります。
- 6499 hushkotoi ta
フシコトイ タ
以前 (場所)
大昔に、
- 6500 e-koro ainu
エ・コロ アイヌ
汝・持つ 父
あなたの父、
- 6501 kamui rametok
カムイ ラメトク
神 勇者
神である勇者が
- 6502 moshit tuika ta
モシト トウイカ タ
国土 上 (場所)
国土の一帯で
- 6503 shiasuruashte a i
シアスルアシテ ア イ
名高い 完了 こと
名高かった
- 6504 korachi
コラチ
ように
ように、
- 6505 eani ne yakka
エアニ ネ ヤッカ
汝 (繫辞類) (譲歩)
あなたも、
- 6506 nei ta bakno
ネイ タ バクノ
(疑問詞) (場所) まで
いつまで
- 6507 ne yakka
ネ ヤッカ
(繫辞類) (譲歩)
も、
- 6508 e-shiasuruashte
エ・シアスルアシテ
汝・名高い
名高い人で
- 6509 e-ki nankor na
エ・キ ナンコロ ナ
汝・する だろう ぞ
ありなさい。」
- 6510 ari itak kane
アリ イタク カネ
(引用) 言う (程度)
母はこのように言った。
- 6511 okkeu kurkan
オクケウ クルカン
首 上
そして、頸の骨も
- 6512 isam kane
イサム カネ
無い (程度)
折れるほど、
- 6513 otu henkuror
オトウ ヘンクロー
二つの うなづくこと
何度も
- 6514 ore henkuror
オレ ヘンクロー
三つの うなづくこと
うなづきを
- 6515 i-koanukar kane
イ・コアナカラ カネ
我・置く (程度)
繰り返した。
- 6516 naani tu sui
ナアニ トウ スイ
まさに 二つの 回
二度、
- 6517 naani re sui
ナアニ レ スイ
まさに 三つの 回
三度と
- 6518 i-ekobi wa
イ・エコビ ワ
我・背を向ける (接続)
我から離れて
- 6519 shikirba boka
シキリバ ボカ
振り向く さえ
向きを変えることも

- 6520 niukesh kane
ニウケシ カネ
しかねる (程度)
しかねる様子である。
- 6521 a-kot tutto
ア・コト トトト
我・持つ 母
母よ、
- 6522 ari itak-an kane
アリ イタク・アン カネ
(引用) 言う・我 (程度)
と我は言い、
- 6523 a-toikokishma
ア・トイコキシマ
我・強く抑える
強くつかみ、
- 6524 a-shikoetaye awa
ア・シコエタイエ アワ
我・引き寄せる (展開)
抱き寄せたと思ったら、
- 6525 aenunumbe
アエヌヌムベ
枕
枕を
- 6526 a-taritari
ア・タリタリ
我・上下させる
振り回しており、
- 6527 a-koyaiishikarun
ア・コヤイシカルン
我・気が付く
我は目が覚めた。
- 6528 a-kurka konna
ア・クルカ コンナ
我・身体こそ
私の心は激しく
- 6529 charke kane
チャラク カネ
散らばる (程度)
乱れた。
- 6530 tarap-an humi
タラア・アン フミ
夢を見る・我 気配
我は夢を見て
- 6531 mokor-an humi
モコロ・アン フミ
眠る・我ら 気配
眠っていた
- 6532 ne rokokai
ネ ロコガイ
(繫辞類) (判明)
のだった。
- 6533 ieirbakno sui
イエイリバクノ スイ
同時に 再び
それと同時に、
- 6534 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹は
- 6535 tutto ohai
トトト オハイ
母 (感嘆)
母さんよ、
- 6536 raikotenke
ライコテンケ
泣き叫ぶ
と泣き叫んだ。
- 6537 enunumbe
エヌヌムベ
枕
枕を
- 6538 taritari
タリタリ
何度も振る
振り回した。
- 6539 chish hau konna
チシ ハウ コンナ
泣く 声こそ
泣き声が
- 6540 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
鳴り響いた。
- 6541 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバある女
エトロバ姫、
- 6542 a-tureshipo newa
ア・トゥレシポ ネワ
我・妹 と
我が妹と
- 6543 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
クナシリ ある女
クナシリ姫、
- 6544 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女は
- 6545 otu chish wem be
オトゥ チシ ウエム ベ
二つの 泣く 悪い もの
悲しみの涙を
- 6546 ore chish wem be
オレ チシ ウエム ベ
三つの 泣く 悪い もの
幾度となく
- 6547 yayekote
ヤイエコテ
自分に結びつける
流して
- 6548 koro okai
コロ オカイ
(同時) ある
いる。
- 6549 inu hetap ne
イヌ ヘタア ネ
聞くこれ (繫辞類)
聞いただけでも、
- 6550 koneptapteta
コネプタプテタ
何ということ
コネプケウカタ、
- 6551 tuyitak ne ko
トゥイタク ネ コ
酷い話をする (繫辞類) (条件)
酷い話であり、
- 6552 a-kot tutto
ア・コト トトト
我・持つ 母
母
- 6553 ne yak ye p
ネ ヤク イエッ
(繫辞類) (条件) 言うもの
である人が
- 6554 i-nure hawe
イ・ヌレ ハウエ
我・聞かせる 声
我に聞かせたの
- 6555 okai chiki
オカイ チキ
ある (条件)
であるかと、
- 6556 tanto tori
タント トリ
今日 中
一日中、
- 6557 a-chimoshiriko-
ア・チモシリコ・
我・国土と共に
国土とともに揺らされる
- 6558 suiba kane
スイバ カネ
揺する (程度)
ように思った。
- 6559 konep nanka ne p
コネッ ナンカ ネ プ
何 顔面 (繫辞類) もの
如何なる顔つきの者、
- 6560 konep shirika ne p
コネッ シリカ ネ プ
何 表面 (繫辞類) もの
如何なる容姿の者が
- 6561 a-ne wa kusu
ア・ネ ワ クス
我・(繫辞類) (接続) (理由・目的)
我であるのか。
- 6562 kamui anakne
カムイ アナクネ
神 は
神は
- 6563 heru kamui ne
ヘル カムイ ネ
ただ 神 (繫辞類)
神と、
- 6564 ainu anakne
アイヌ アナクネ
人間 は
人間は
- 6565 heru ainu ne
ヘル アイヌ ネ
ただ 人間 (繫辞類)
人間と
- 6566 urameroshki p
ウラメロシキ プ
互いの心を立てる もの
結婚するもの
- 6567 ne nankor be
ネ ナンコロ ベ
(繫辞類) だろう もの
であるのに、
- 6568 oroyachiki
オロヤチキ
驚いたことに
意外にも、
- 6569 toi kanna kamui
トイ カンナ カムイ
土 上 神
極悪の雷神、
- 6570 wen kanna kamui
ウェン カンナ カムイ
悪い 上 神
性悪の雷神、
- 6571 shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
下らぬ女、

第14章 オタサム村での暮らし

- 6572 wen menoko
ウエン メノコ
悪い女
悪い女の
- 6573 wen renkabi
ウエン レンカビ
悪い故(ゆえ)
意向で
- 6574 okai rok kusu
オカイ ロク クス
ある(完了)(理由・目的)
あったのか。
- 6575 otusuianta
オトススイアンタ
二回
二度も
- 6576 oresuianta
オレススイアンタ
三回
三度も、
- 6577 a-more kotan
ア・モレ コタン
治められる村
我が治めていた村を
- 6578 a-wente hawe
ア・ウエンテ ハウエ
我・悪くする声
破壊され、
- 6579 orsaureko
オロサウレコ
とんでもなく
尋常ではないことを
- 6580 ki rokokai hawe
キ ロコカイ ハウエ
する(判明)声
されたのだと、
- 6581 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く心
我は
- 6582 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 6583 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 6584 konepkashita
コネツカシタ
何としたことか
コネツケウカタ、
- 6585 Etorba un kuru
エトロバ ウンクル
エトロバある人
エトロバ彦、
- 6586 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
我が小兄は
- 6587 yairamma hetap ne
ヤイラムマ ヘタツ ネ
いつもこれ(繫辞類)
心から
- 6588 chiemoninishte
チエモニニシテ
酷い仕打ちをする
我に手荒な扱いを
- 6589 i-y-ekarkar shiri
イ・イエカラカラ シリ
我・する様子
したの
- 6590 okai kuni
オカイ クニ
あるように
だと
- 6591 a-ramu kusu
ア・ラム クス
我・思う(理由・目的)
思い、
- 6592 mashkino
マシキノ
あまりに
あまりに
- 6593 yayomap-an
ヤヨマフ・アン
腹を立てる・我
腹立たしく
- 6594 kasui
カスイ
甚だしい
思い、
- 6595 yayoshkor-an
ヤヨシコロ・アン
後悔する・我
悔しく
- 6596 kasui
カスイ
甚だしい
思い、
- 6597 yaituyashkarap-an
ヤイトウヤシカラフ・アン
自ら愛する・我
自身を哀れに思った
- 6598 kasui
カスイ
甚だしい
のだ。
- 6599 tumunchi kinra
トゥムンチ キンラ
戦争 狂気
我は戦いの狂気、
- 6600 rorumbe kinra
ロルムベ キンラ
戦闘 狂気
戦闘の狂気に
- 6601 eyaitushtekka
エヤイトウシテッカ
沈黙する
取り憑かれた
- 6602 a-ki kusu
ア・キ クス
我・する(理由・目的)
ので、
- 6603 chiraike kaiki
チライケ カイキ
殺されるも
殺すにしても
- 6604 semkatune
セムカトゥネ
並でなく
並々ならぬことを
- 6605 a-ekarkar shiri
ア・エカラカラ シリ
我・する様子
したの
- 6606 okai awa
オカイ アワ
ある(展開)
だが、
- 6607 oroyachiki
オロヤチキ
驚いたことに
意外にも、
- 6608 tapne tapne
タップネ タップネ
これである これである
このような次第
- 6609 ne hawe
ネ ハウエ
(繫辞類)声
であったの
- 6610 okai chiki
オカイ チキ
ある(条件)
かと、
- 6611 irushka keutum
イルシカ ケウトウム
怒る心
我は怒りを
- 6612 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
覚えた。
- 6613 tane anakne
タネ アナクネ
今は
今は、
- 6614 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
我が小兄は
- 6615 yayekatuwen
ヤイエカトゥウエン
自ら恥じる
恥じている
- 6616 ne man
ネ マヌ
(繫辞類)という
という
- 6617 ki kusu
キ クス
する(理由・目的)
ので、
- 6618 ainu moshiri
アイヌ モシリ
人間 国土
人間の世界に
- 6619 kohekomo
コヘコモ
戻る
引き返すことも
- 6620 somo ki no
ソモ キ ノ
(否定)する(接続)
せずに、
- 6621 kamui ot ta
カムイ オトタ
神 所(場所)
神の世界に
- 6622 yairamkote hawe
ヤイラムコテ ハウエ
己の心をつなぎとめる声
滞在しているのか。
- 6623 aratteke ta
アラテケタ
片方(場所)
我は半ばは
- 6624 a-kotuwashi
ア・コトゥワシ
頼りにされる
満足し、

- 6625 aratteke ta
アラトテケ タ
片方 (場所)
半ばは
- 6626 a-eyairamboken kane
ア・エヤイラムボケン カネ
我・憐れむ (程度)
憐れに思った。
- 6627 ene an kamui
エネ アン カムイ
このようにある 神
このような神、
- 6628 ene am bito
エネ アム ビト
このようにある 人
このような貴人を
- 6629 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
もう、
- 6630 shukup tuika ta
シュクツァ トウイカ タ
成長する 上 (場所)
生涯の間、
- 6631 somo a-nukar
ソモ ア・ヌカラ
(否定) 我・見る
会うことが
- 6632 etokush hawe
エトクシ ハウエ
しようとする 声
できないの
- 6633 okai chiki
オカイ チキ
ある (条件)
かと、
- 6634 rametok rak be
ラメトク ラク ベ
勇者 末裔もの
我は勇者の末裔、
- 6635 utarpa rak be
ウタラバ ラク ベ
首領 末裔もの
頭領の末裔
- 6636 a-ne a koroka
ア・ネ ア コロカ
我・(繫辞類) 完了 (逆接)
であるが、
- 6637 sotki ka ta
ソトキ カ タ
寝床 上 (場所)
寝床の上で
- 6638 tu nubur nube
トゥ ヌブル ヌベ
二つの 濃い 涙
濃い涙を
- 6639 re nubur nube
レ ヌブル ヌベ
三つの 濃い 涙
幾度も
- 6640 a-yaikoranke
ア・ヤイコランケ
我・みずから流す
落とした。
- 6641 arwen kamui
アウエン カムイ
ひどい 神
極悪の神、
- 6642 kamui wen
カムイ ウエン
神 悪い
神の悪い
- 6643 renkap kusu
レンカプ クス
意志 (理由・目的)
意向により、
- 6644 Pekennup um mat
ペケンヌップ ウム マト
ペケンヌップ ある 女
ペケンヌップ姫
- 6645 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
も、
- 6646 katu chiwente
カトゥ チウエンテ
かたち 痛めつけられる
容姿を痛めつけられる
- 6647 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
にしても、
- 6648 semkatune
セムカトゥネ
並でなく
並々ならぬことを
- 6649 a-ekarkar shiri
ア・エカラカラ シリ
される 様子
されたのだ。
- 6650 emko sama
エムコ サマ
半分 そば
そのために、
- 6651 rai ne yakka
ライ ネ ヤッカ
死ぬ (繫辞類) (譲歩)
死ぬにしても
- 6652 semkatune
セムカトゥネ
並でなく
並々ならぬ
- 6653 a-ekarkar shiri
ア・エカラカラ シリ
される 様子
様子であったことを
- 6654 a-eshikarun chiki
ア・エシカルン チキ
我・思い出す (条件)
我は思い出し、
- 6655 ikemnu keutum
イクムヌ ケウトウム
憐れむ 心
憐れみと
- 6656 irushka keutum
イルシカ ケウトウム
怒る 心
怒りを
- 6657 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
覚えた。
- 6658 eebaki ta
エエバキ タ
次 (場所)
その次に、
- 6659 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 6660 konepkashita
コネツカシタ
何としたことか
コネツカシタ、
- 6661 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
我が祖父、
- 6662 onne ekashi
オンネ エカシ
老いる 老人
年老いた人は
- 6663 ponram or wano
ボンラム オロ ワノ
幼少 所 から
幼少の頃から
- 6664 i-reshba shiri
イ・レシバ シリ
我・育てる 様子
我を養育し、
- 6665 i-omap
イ・オマップ
我・可愛がる
可愛がって
- 6666 kashba shiri
カシバ シリ
甚だしい 様子
くれた。
- 6667 okai rok kusu
オカイ ロク クス
ある (完了) (理由・目的)
そこで、
- 6668 okkayo bakno
オッカヨ バクノ
男 まで
我は一人前の男に
- 6669 shikup-an wa
シクツァ・アン ワ
育つ・我 (接続)
成長
- 6670 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
したら、
- 6671 chironnup boka
チロンヌップ ボカ
狐 さえ
狐でも
- 6672 isepo boka
イセポ ボカ
兎 さえ
兎でも
- 6673 a-tomot wa
ア・トモト ワ
我・獲る (接続)
捕えて
- 6674 chihorkareshu
チホロカレシユ
孝養する
祖父を養い、
- 6675 a-nunuke
ア・ヌヌケ
我・大事にする
大事に
- 6676 kuni batek
クニ バテク
すべきことのみ
しようとはばかり
- 6677 a-ramu awa
ア・ラム アワ
我・思う (展開)
思っていた。しかし、

- 6678 arwen kamui
アヲウェン カムイ
ひどい 神
極悪の神、
- 6679 arwem bito^{*62}
アヲウェム ビト
極悪の 人
性悪の神の
- 6680 wen renkabi
ウェン レンカビ
悪い 故 (ゆえ)
悪い意向の
- 6681 okai kusu
オカイ クス
ある (理由・目的)
ために
- 6682 chiyaikookbare
チヤイコオッパレ
不孝をする
我は不孝なおこないを
- 6683 a-ekarkar rokokai
ア・エカッカラ ロコカイ
我・する (判明)
したのだ。
- 6684 tan tewano
タン テワノ
この これから
これからは
- 6685 somo a-nukar hawe
ソモ ア・ヌカラ ハウエ
(否定) 我・見る 声
会うことができないの
- 6686 okai chiki
オカイ チキ
ある (条件)
かと、
- 6687 sotki ka ta
ソトキ カ タ
寝床 上 (場所)
我は寝床の上で
- 6688 a-yainubeko-
ア・ヤイヌベコ・
我・自らの涙
みずから涙を
- 6689 shiru kane
シル カネ
こする (程度)
拭った。
- 6690 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように (接続) さえ
どう
- 6691 iki-an i ka
イキ・アニ カ
する・我 こと も
すること も
- 6692 isam kane
イサム カネ
無い (程度)
できない。
- 6693 oyoyobota
オヨヨボタ
(感嘆)
恐ろしいことだ。
- 6694 chikibokaun
チキボカウ
もう少しで
もう少しで、
- 6695 tan tewano
タン テワノ
この これから
これから
- 6696 kamui moshiri
カムイ モシリ
神 国土
神の世界へ
- 6697 a-koatchorauki
ア・コアトチョラウキ
我・向かう
攻め寄せて、
- 6698 shirum menoko
シルム メノコ
貧しい 女
下らぬ女、
- 6699 wem menoko
ウェム メノコ
悪い 女
悪い女を
- 6700 teine boknashir
テイネ ボクナシリ
湿った 冥府
湿った下方の世界へ
- 6701 a-kooterke anke
ア・コオテレケ アンケ
我・踏み落とすしようとする
蹴落としたいと
- 6702 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 (逆接)
思った。しかし、
- 6703 koneptapteta
コネップタプテタ
何ということ
コネップケウカタ、
- 6704 a-kor tutto
ア・コロ トトト
我・もつ 母
我が母が
- 6705 e-ibashkuma
エ・イバシクマ
汝・言い諭す
言い諭した
- 6706 hawe okai a wa
ハウエ オカイ ア ワ
声 ある 完了 (文終結)
のだ、
- 6707 ari yainu-an chiki
アリ ヤイヌ・アン チキ
(引用) 考える・我 (条件)
と考えると、
- 6708 sui an-eramne
スイ アネラムネ
再び 我・よく考える
我は考え直し、
- 6709 an-eyaikeutum-
アネヤイケウトム・
我・己の気持ち
心を
- 6710 oshitchiure
オシチウレ
落ちつける
落ち着けた。
- 6711 konepkeukata
コネップケウカタ
何ということか
コネップケウカタ、
- 6712 a-kot tutto
ア・コト トトト
我・持つ 母
我が母は
- 6713 kamui ne kusu
カムイ ネ クス
神 (繫辞類) (理由・目的)
神であるから
- 6714 nubur hawe
ヌブル ハウエ
霊力がある 声
霊力が強く、
- 6715 ituren koro hawe
イトウレン コロ ハウエ
愚く 持つ 声
愚き神の力が強いのか。
- 6716 a-keutumkashi-
ア・ケウトウムカシ・
我・心の上
我的心を
- 6717 chikushnanukar
チクシナヌカラ
貴き見通す
見通していた。
- 6718 nep ne yakka
ネッ ネ ヤッカ
何 (繫辞類) (譲歩)
何もかも
- 6719 arukorachi
アルコラチ
同じく
そのように
- 6720 yeba hawe
イエバ ハウエ
言う 声
言うので、
- 6721 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く 心
我は
- 6722 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 6723 naa naa
ナア ナア
まだ まだ
まだまだ、
- 6724 kamui a-koro tutto
カムイ ア・コロ トトト
神 我・もつ 母
神である母に
- 6725 a-nukar rusui
ア・ヌカラ ルスイ
我・見る (欲求)
会いたいものだ。
- 6726 nekona shiko p
ネコナ シコ プ
どのように 目がついている もの
如何なる生まれの者、
- 6727 nekona baro p
ネコナ バロ プ
どのように 口がついている もの
如何なる育ちの者が、
- 6728 tapne
タプネ
これである
私の

*62 arwembi と書かれているがこのように解釈する。

- 6729 a-kor ainu
ア・コロ アイヌ
我・もつ 父
父
- 6730 ne wa
ネ ワ
(繫辞類) (接続)
であるのか。
- 6731 eboso kusu
エボソ クス
突き抜ける (理由・目的)
なるほど、
- 6732 a-ekeshke kusu
ア・エケシケ クス
ねたまれる (理由・目的)
妬みを受けて、
- 6733 shukup turashi
シュクッ トウラシ
成長する 沿って
成長の途中で
- 6734 tumunchi batek
トゥムンチ バテク
戦争 のみ
戦いばかり、
- 6735 rorumbe batek
ロルムベ バテク
戦闘 のみ
戦闘ばかりの
- 6736 eritne shikup
エリトネ シクッ
つらい 成長する
つらい生涯を
- 6737 kiba rokine
キバ ロキネ
する したあげく
送り、
- 6738 naa
ナア
まだ
まだ
- 6739 nokan-an rokine
ノカン・アン ロキネ
幼い・我 したあげく
若いのに、
- 6740 i-hoppa kuni p
イ・ホッパ クニ ヲ
我・残す はずの もの
我を残して
- 6741 pirika ruwe
ピリカ ルウェ
よい 様子
良かったの
- 6742 okai chiki
オカイ チキ
ある (条件)
かと、
- 6743 sonno
ソンノ
真に
まことに
- 6744 chish-an koro
チシ・アン コロ
泣く・我 (同時)
我は泣きながら、
- 6745 tutko bakno
トゥトコ バクノ
二日 まで
二日間、
- 6746 rerko bakno
レレコ バクノ
三日 (日数) まで
三日間と
- 6747 hemuimuye-an
ヘムイムイェ・アン
ふさぎこむ・我
ふさぎ込んでいた。
- 6748 eirbakno
エイリバクノ
それとともに
それと同時に、
- 6749 a-tureshutari
ア・トゥレシュタリ
我・妹たち
我が妹たちも、
- 6750 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ 姫も、
- 6751 somo ibe no
ソモ イベ ノ
(否定) 食事する (接続)
何も食べずに
- 6752 hotke wa okai
ホトケ ワ オカイ
寝る (接続) ある
横になっていた。
- 6753 hembara bakno
ヘムバラ バクノ
いつ まで
いつまでも、
- 6754 tap korachi
タッ コラチ
これ ように
このように
- 6755 an-an apkusu
アナン アックス
いる・我 としても
していても、
- 6756 konep raka
コネッ ラカ
何 有益
何の実りが
- 6757 ne ya
ネ ヤ
(繫辞類) (疑問)
あろうか。
- 6758 kamui a-koro toto
カムイ ア・コロ トト
神 我・もつ 母
神である母の
- 6759 a-koitakkashi
ア・コイタッカシ
我・言葉に逆らう
言い付けに背く
- 6760 ukorachi ne
ウコラチ ネ
同じように (繫辞類)
ことになる
- 6761 ruwe ne ari
ルウェ ネ アリ
様子 (繫辞類) (引用)
のだと
- 6762 yainu-an chiki
ヤイヌ・アン チキ
考える・我 (条件)
我は思い、
- 6763 shinean to ta
シネアン ト タ
とある 日 (場所)
ある日に、
- 6764 hetemeroshki-an
ヘテメロシキ・アン
手をつけて起き上がる・我
手をつけて起き上がった。
- 6765 hobuni-an chiki
ホブニ・アン チキ
起き上がる・我 (条件)
我が起きると、
- 6766 a-tureshutari*⁶³
ア・トゥレシュタリ
我・妹たち
妹たちは
- 6767 eramubo-
エラムボ・
心
安堵
- 6768 hemesusuba
ヘメススバ
遡る
して、
- 6769 uhobumbare
ウホブムバレ
立ち上がる
一斉に起き上がり、
- 6770 ukasui wa
ウカスイ ワ
手伝い合う (接続)
互いを手伝って
- 6771 shuke
シュケ
炊事する
煮炊きをした。
- 6772 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹は
- 6773 shikankitai-
シカンキタイ・
みずからの頭の上
頭の上に
- 6774 eimekani
エイメカニ
御膳をもつ
食物を乗せ、
- 6775 keshto
ケシト
毎日
毎日、
- 6776 i-koibuni
イ・コイブニ
我・食事を出す
我に差し出した。
- 6777 a-tureshutari
ア・トゥレシュタリ
我・妹たち
我が妹たちは
- 6778 i-eoribak be
イ・エオリバク ベ
我・畏まる もの
我に畏まるもの
- 6779 kone p ne kusu
コネ ヲ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
であるから、

*⁶³ Aturesh utar と書かれているが仮にこのように解釈する。

- 6780 binuno
ビヌノ
密かに
密かに
- 6781 uchishkar
ウチシカラ
互いに泣く
泣き合い、
- 6782 uwekap
ウウエカフ
互いに挨拶する
互いに挨拶し、
- 6783 ukeuhumshuba
ウケウフムシユバ
互いに無事を祝う
互いの無事をねぎらった。
- 6784 keshto
ケシト
毎日
毎日、
- 6785 a-obittano
ア・オビタノ
我・全て
我々は
- 6786 boronno
ボロンノ
たくさん
沢山の
- 6787 ibe-an
イベ・アン
食事する・我
食事をとり、
- 6788 kironnu-an
キロンヌ・アン
元気である・我
元気になった。
- 6789 tane ne kusu
タネ ネ クス
今 (繫辞類) (理由・目的)
今はもう、
- 6790 teeta keutum
テエタ ケウトウム
以前 心
以前の心、
- 6791 teeta yainu
テエタ ヤイヌ
以前 考える
以前の精神を
- 6792 a-kor
ア・コロ
我・もつ
我は取り戻した。
- 6793 shino
シノ
まことに
まことに
- 6794 tumashnu-an
トゥマシヌ・アン
元気になる・我
元気になった。
- 6795 neino sui
ネノ スイ
ように 再び
それと同じく、
- 6796 a-tureshutari
ア・トゥレシユタリ
我・妹たち
我が妹たち
- 6797 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
も、
- 6798 shino
シノ
まことに
まことに、
- 6799 shine ikin ne
シネ イキン ネ
一つの列 (繫辞類)
揃って、
- 6800 ibot tum konna
イボト トウム コンナ
顔色 中こそ
顔色が
- 6801 koyuknatara
コユクナタラ
快復する
良くなった。
- 6802 obittano
オビタノ
皆
一人残らず
- 6803 tumashnu
トゥマシヌ
元気になる
元気になった。
- 6804 keshto an ko
ケシト アン コ
毎日 ある (条件)
我は毎日、
- 6805 kebushe nuye
ケブシベ ヌイエ
鞘 彫り刻む
刀の鞘を彫ること、
- 6806 shirika nuye
シリカ ヌイエ
表面 彫り刻む
その表面を彫ることに
- 6807 a-kokipshiri-
ア・コキッシリ・
我・額・
集中
- 6808 echiu
エチウ
突く
した。
- 6809 okutchi urar
オクトチ ウララ
たちこめる 霧
たちこめた霧、
- 6810 buyatek urar
ブヤテク ウララ
もやもやとする 霧
濃い霧を
- 6811 a-shiokarire
ア・シオカリレ
我・めぐらせる
我はめぐらせた。
- 6812 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹、
- 6813 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は、
- 6814 shut ketushi
シュト ケトゥシ
根元 長持ち
先祖伝来の物入れを
- 6815 tek kushbare wa
テック クシバレ ワ
手 通す (接続)
手で探り、
- 6816 sarambe sapte
サラムベ サッテ
絹 出す
絹を取り出した。
- 6817 keshto
ケシト
毎日
そして、毎日
- 6818 ren ne wa
レン ネ ワ
三人 (繫辞類) (接続)
三人で
- 6819 karkar^{*64} kuni p
カッカラ クニ プ
刺繍する ようなもの
刺繍に
- 6820 attom sama
アトム サマ
中 そば
脇目も
- 6821 yayomarba
ヤヨマッパ
自分を入れる
振らない。
- 6822 ikarkar wa
イカッカラ ワ
刺繍する (接続)
刺繍しているのを
- 6823 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
我が見ると、
- 6824 inkinebe
インキネベ
どちら
誰のものも、
- 6825 shiretok ot ta
シレトク オトタ
美貌 所 (場所)
美しさにおいて、
- 6826 ashkai ot ta
アシカイ オトタ
器用 所 (場所)
器用さにおいて、
- 6827 urabokkari wa
ウラボッカリ ワ
優劣がある (接続)
優劣が
- 6828 shiran nankor a
シラン ナンコラ
有様である だろう か
あるだろうか。
- 6829 karkar kuni p
カッカラ クニ プ
刺繍する ようなもの
刺繍したものは
- 6830 tu kamui nish ne
トゥ カムイ ニシ ネ
二つの 神 雲 (繫辞類)
神雲となって

*64 karka と書かれているがこのように解釈する。

- 6831 re kamui nish ne
レ カムイ ニシ ネ
三つの神雲 (繫辞類)
幾重にも
- 6832 yayebumba
ヤイエブムバ
立ちのぼる
立ち昇る。
- 6833 shiretok ot ta
シレトク オトタ
美貌 所 (場所)
美しさにおいて、
- 6834 ashkai ot ta
アシカイ オトタ
器用 所 (場所)
器用さにおいて、
- 6835 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある女
エトロバ姫、
- 6836 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は
- 6837 areikaun
アレカウン
全く勝る
勝っている。
- 6838 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 6839 konepkashita
コネカシタ
何としたことか
コネツケウカタ、
- 6840 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の妹
家の妹、
- 6841 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は
- 6842 makan yainu ko
マカン ヤイヌ コ
どのように考える (条件)
何を思うのか、
- 6843 tu beken nube
トゥ ベケン スベ
二つの明るい涙
澄んだ涙を
- 6844 re beken nube
レ ベケン スベ
三つの明るい涙
何度も
- 6845 yaikoranke
ヤイコランケ
一人で流す
落とした。
- 6846 nekon ne yakka
ネコン ネ ヤッカ
どのように (繫辞類) (譲歩)
どうしても、
- 6847 Etorba un kuru
エトロバ ウンクル
エトロバ ある人
エトロバ彦、
- 6848 pon a-kor yubi
ポン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
小兄を
- 6849 eshikarun
エシカルン
思い出す
思い出す
- 6850 shiri ne i
シリ ネ イ
様子 (繫辞類) こと
ことが
- 6851 a-eraman chiki
ア・エラマン チキ
我・知る (条件)
我には分かった。そして、
- 6852 inunukashki
イヌヌカシキ
可哀想に
可哀想に、
- 6853 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は
- 6854 shukup matkachi
シュクッ マトカチ
成長する 少女
成長した娘、
- 6855 shukup menoko
シュクッ メノコ
成長する 女
成長した女は、
- 6856 shukup sambe ka
シュクッ サムベ カ
成長する 心臓 上
若い心を
- 6857 yaikoshitnere
ヤイコシトネレ
自ら悩む
悩ませ、
- 6858 arorkeshne
アロロケシネ
ひそかに
密かに
- 6859 yaikeutum-
ヤイケウトウム・
自らの心
心を
- 6860 wente shiri
ウエンテ シリ
悪くする 様子
痛めている。
- 6861 chietuyashkarap
チエトウヤシカラッ
可愛がる
我は可哀想に
- 6862 a-ekarkar
ア・エカラカラ
我・する
思い、
- 6863 a-keutumkashi-
ア・ケウトウムカシ・
我・心の上
心の中で
- 6864 chishkot kane
チシコト カネ
泣く (程度)
泣きそうに
- 6865 yainu-an
ヤイヌ・アン
考える・我
思った。
- 6866 eebaki ta
エエバキ タ
次 (場所)
その次に、
- 6867 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある女
エトロバ姫、
- 6868 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹
- 6869 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
も、
- 6870 ituren hetap ne
イトウレン ヘタッ ネ
愚く これ (繫辞類)
愚き神の力のためか、
- 6871 rametok hetap ne
ラメトク ヘタッ ネ
勇者 これ (繫辞類)
勇者であるからなのか。
- 6872 koneptapteta
コネツタツタタ
何ということ
コネツケウカタ、
- 6873 ki kusu
キ クス
する (理由・目的)
するにしても
- 6874 orsaureko
オロサウレコ
とんでもなく
並々なることをして、
- 6875 chikeutusare
チケウトウサレ
蘇生する
我を蘇生
- 6876 i-y-ekarkar ruwe
イ・イエカラカラ ルウエ
我・する 様子
させたの
- 6877 okai yakka
オカイ ヤッカ
ある (譲歩)
だが、
- 6878 shine itak boka
シネ イタク ボカ
一つの言葉 さえ
我は一言も
- 6879 a-koyairaike boka
ア・コヤイライケ ボカ
我・感謝する さえ
感謝の言葉を
- 6880 somo ki kane
ソモ キ カネ
(否定) する (程度)
述べて
- 6881 an-an ruwe
アナン ルウエ
いる・我 様子
いない。
- 6882 tane anakne
タネ アナクネ
今は
今は、
- 6883 shino
シノ
まことに
まことに、

- 6884 a-eyayokunnure
ア・エヤヨクヌレ
我・自慢する
我は自身に驚いた。
- 6885 yepnu ainu
イエヌ アイヌ
無垢な 人間
我は無垢な人間、
- 6886 shikibip kuni p
シキビッ クニ プ
目をびくびくさせる ようにもの
人目を気にするもの
- 6887 a-ne p ne kusu
ア・ネ プ ネ クス
我・(繫辞類)もの(繫辞類) (理由・目的)
である。そこで、
- 6888 kunne hene
クンネ ヘネ
夜 も
夜も
- 6889 tokap hene
トカプ ヘネ
昼 も
昼も、
- 6890 tane tane
タネ タネ
今 今
今こそは
- 6891 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹を
- 6892 a-raukotabu
ア・ラウコタブ
我・捉える
つかまえて
- 6893 a-eshikari anke
ア・エシカリ アンケ
我・捉える しようとする
抱きしめようと
- 6894 yainu-an koroka
ヤイヌ・アン コロカ
考える・我 (逆接)
思ったが、
- 6895 yupke ram ne
ユッケ ラム ネ
強い 心 (繫辞類)
思い直し、
- 6896 an-eyaikcutum-
アネヤイケウトウム・
我・己の気持ち
気持ちを
- 6897 oshitchiure
オシチウレ
落ちつける
落ち着けて
- 6898 kane an-an
カネ アナン
(程度) いる・我
いた。
- 6899 a-tureshipo hene
ア・トゥレシポ ヘネ
我・妹
我が妹も、
- 6900 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ姫、
- 6901 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女も
- 6902 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は、
- 6903 koro kotan
コロ コタン
持つ 村
故郷の村が
- 6904 a-eashirikar kusu
ア・エアシリカラ クス
我・新しく作る (理由・目的)
新しくつくられたので、
- 6905 baye wa inkar
バイエ ワ インカラ
行く (接続) 見る
行って見たい
- 6906 rusui ruwe hene
ルスイ ルウェ ヘネ
(欲求) 様子 も
様子であることも、
- 6907 a-koeraman kane
ア・コエラマン カネ
我・知る (程度)
我には分かった。
- 6908 chitomkokanu
チトムココヌ
よく聞く
私の言うことを
- 6909 i-y-ekarkarba p^{*65}
イ・イエカラカラバ ヲ
我・する もの
良く聞くもの
- 6910 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 6911 renkaine
レンカイネ
意志に従う
その意向により、
- 6912 ene baye i ka
エネ バイエ イ カ
このように 行く ことも
このように行くことも
- 6913 erambetek wa
エラムベテック ワ
知らない (接続)
わからずに
- 6914 okai
オカイ
ある
いる。
- 6915 oribak rui be
オリバク ルイ ベ
畏まる 激しいもの
ひどく畏まっているもの
- 6916 kone p ne kusu
コネ プ ネ クス
であるもの(繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 6917 ouse binuno batek
オウセ ビヌノ バテック
ただ(だけ) 密かに のみ
ただ密かに
- 6918 ukoitak koro okai
ウコイタク コロ オカイ
語り合う (同時) ある
会話している。
- 6919 shinean to ta
シネアント タ
とある 日 (場所)
ある日、
- 6920 shino
シノ
まことに
まことに
- 6921 shiripirika
シリピリカ
天気が良い
天気良かった。
- 6922 tam be kusu
タム ベ クス
このもの(理由・目的)
そこで、
- 6923 amset ka ta
アムセト カ タ
寝台 上 (場所)
寝台の上で
- 6924 chirikibuni-an
チリキブニ・アン
起き上がる・我
我は立ち上がり、
- 6925 shibini-an
シビニ・アン
身支度する・我
身なりを整えた。
- 6926 tar ush ikayop
タラ ウシ イカヨフ
背負い縄 ある 矢筒
荷縄のついた矢筒を
- 6927 a-shiseturka-
ア・シセトルカ・
我・おのれの背
背中に
- 6928 eterkere
エテレケレ
跳ねとばす
掛けて、
- 6929 karimba un ku
カリムバ ウン ク
桜 ある 弓
桜皮の弓、
- 6930 ku num noshki
クヌム ノシキ
弓 粒 真中
その弓の真中を
- 6931 a-teksaikari
ア・テクサイカリ
我・つかむ
つかんだ。
- 6932 iki-an chiki
イキ・アン チキ
する・我 (条件)
そうすると、
- 6933 katu ne kane
カトゥネ カネ
かたち(繫辞類) (程度)
あたりまえに、
- 6934 a-tureshutan^{*66}
ア・トゥレシユタリ
我・妹たち
我が妹たちは

*65 Iyekarkabap と書かれているがこのように解釈する。

- 6935 eunubetnere p
エウヌベトネレ プ
喜ぶ もの
喜ぶもの
- 6936 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
であるならば、
- 6937 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである (逆接)
さもあるうが、
- 6938 ren ne wa
レン ネ ワ
三人 (繫辞類) (接続)
三人で
- 6939 utomohosarba
ウトモホサラバ
顔を見合わせる
顔を見合わせ、
- 6940 kosanchakata-
コサンチャカタ・
口元で
口元に
- 6941 mina kane
ミナ カネ
笑う (程度)
笑みを浮かべて
- 6942 ikichi
イキチ
する
いる。
- 6943 a-nukar kor
ア・ヌカッ コロ
我・見る (同時)
我はそれを見て、
- 6944 rikunsui kurka
リクンスイ クルカ
煙出しの穴 上
天窓から
- 6945 a-korikoshma
ア・コリコシマ
我・飛び上がる
飛び上がった。
- 6946 earhummeno
エアッフムネノ
ひと飛びに
一気に、
- 6947 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサム村の
- 6948 betkur etoko
ベトクル エトコ
川 前方
上流の奥へ
- 6949 a-kohumterkere
ア・コフムテレケレ
我・音を鳴らして飛ぶ
飛んで行った。
- 6950 tanebo konna
タネボ コンナ
今こそ
今こそは、
- 6951 a-koro iwor
ア・コロ イウオロ
我・もつ 奥地
我が奥地の
- 6952 iwor so kurka
イウオロ ソ クルカ
奥地 平面上
一帯を
- 6953 a-yaimakire
ア・ヤイマキレ
我・自ら理解する
見知った。
- 6954 kamui kara iwor
カムイ カラ イウオロ
神 作る 奥地
神がつくった奥地の
- 6955 pirika ruwe
ピリカ ルウエ
よい 様子
美しい様子を
- 6956 anramasu
アンラマス
まったく好ましい
我は好ましく
- 6957 a-uwesuye kane
ア・ウウエスイエ カネ
我・思う (程度)
思った。
- 6958 shino boro
シノ ボロ
まことに 大きい
我はまことに大きな
- 6959 shiyapka
シヤッパ
牡鹿
雄鹿を
- 6960 shumawe
シュマウエ
獲物
獲物に
- 6961 a-koro
ア・コロ
我・もつ
した。
- 6962 shino
シノ
まことに
我はひどく
- 6963 a-eyaikobuntek
ア・エヤイコブンテク
我・喜ぶ
嬉しく思った。
- 6964 iri-an wa
イリ・アン ワ
皮を剥ぐ (接続)
我は皮を剥いで
- 6965 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
見ると、
- 6966 ineap kusu
イネアックス
何と (理由・目的)
何と
- 6967 chikoikip kamui
チコイキッ カムイ
獲物 神
獣の神は
- 6968 haru koro wa
ハル コロ ワ
食物 持つ (接続)
肉や脂身のある
- 6969 shiran nankor a
シラン ナンコラ
有様である だろう か
ことか。
- 6970 sonno
ソンノ
真に
まことに
- 6971 kirbu tak ne
キリーブ タクネ
脂身 塊 (繫辞類)
脂身の塊である。
- 6972 nekona tapne
ネコナ タッネ
どのように これである
どうにかして、
- 6973 a-tureshipo utar
ア・トゥレシポ ウタラ
我・妹 人々
我が妹たちを
- 6974 eunubetnere
エウヌベトネレ
喜ぶ
喜ばせたい
- 6975 kuni p ta okai
クニ ッ タ オカイ
ようにもの これ ある
ものだ
- 6976 ari yainu-an chiki
アリ ヤイヌ・アン チキ
(引用) 考える・我 (条件)
と思い、
- 6977 an-eyaisembir-
アネヤイセムビリ・
我・自らの陰・
我は陰で
- 6978 omina kane
オミナ カネ
笑う (程度)
笑みを浮かべた。
- 6979 iriokere-an koro
イリオケレ・アン コロ
皮を剥ぎ終える (同時)
皮を剥ぎ終えると、
- 6980 niyeshike
ニイエシケ
荷物
我は荷造りを
- 6981 a-kar hine
ア・カラ ヒネ
我・する (接続)
して
- 6982 a-se wa
ア・セ ワ
我・背負う (接続)
背負い、
- 6983 bet besh rera
ベト ベシ レラ
川 沿う 風
川に沿って下る風を
- 6984 a-yaiturare
ア・ヤイトウラレ
我・自ら連れる
伴い、
- 6985 san-an hum konna
サン・アン フム コンナ
くだる・我 音 こそ
下って行く音が

*66 Aturesh utar と書かれているが仮にこのように解釈する。

- 6986 keurototke
ケウロトトケ
響く
響いた。
- 6987 a-un chise
ア・ウン チセ
我・いる 家
家の
- 6988 rorunburai
ロルンブライ
神窓
神窓、
- 6989 burai reubok ta
ブライ レウボク タ
窓 下 (場所)
その窓の下に
- 6990 boro yuk shike
ボロ ユク シケ
大きい 鹿 荷物
我が大きな鹿の肉を
- 6991 a-eyapkiri humi
ア・エヤッキリ フミ
我・投げる 音
投げ入れる音が
- 6992 rimkosanu
リムコサヌ
ドスンと鳴る
響いた。
- 6993 ene iramu-an a i
エネ イラム・アン ア イ
このように 思われる 完了 こと
我が思った
- 6994 korachi
コラチ
ように
通り、
- 6995 re pom menoko
レ ポム メノコ
三つの 小さい 女
三人の娘は
- 6996 ukomatkosamba
ウコマトコサムバ
互いに跳び起きる
さっと起き上がり、
- 6997 tek or um be
テク オロ ウム ベ
手 所 ある もの
手のひらを
- 6998 airuke
アイルケ
打つ
打って
- 6999 isoetapkar
イソエタッカラ
獲物の踏舞をする
狩猟の踏舞、
- 7000 isoerimse
イソエリムセ
獲物の踊りをする
狩猟の踊りをした。
- 7001 ononno ononno
オノンノ オノンノ
素晴らしい 素晴らしい
素晴らしい、
- 7002 ari
アリ
(引用)
と
- 7003 uhautaroise hawe
ウハウタロイセ ハウエ
声が騒がしい 声
騒ぐ声が
- 7004 chise upsoero
チセ ウッソロ
家 内部
家の中で
- 7005 bebunitara
ベブニタラ
騒がしい
響いた。
- 7006 rauki mina
ラウキ ミナ
密かに 笑う
密かな笑いを
- 7007 rauki^{*67}
ラウキ
密かに
(未詳)
- 7008 an-uwesuye
アヌウエスイエ
我・揺する
我は浮かべた。
- 7009 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹、
- 7010 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は、
- 7011 mina tura
ミナ トウラ
笑う ともに
笑みとともに、
- 7012 i-kokamahupte
イ・コカマフテ
我・肉を入れさせる
肉を運び入れた。
- 7013 ahun wa
アフン ワ
入る (接続)
運び入れて、
- 7014 huibe oro
フイベ オロ
肝臓 場所
我は肝臓に
- 7015 a-emushkushbare
ア・エムシクシバレ
我・刀を通して切る
刀を入れて切り分け、
- 7016 kamui huchi
カムイ フチ
神 祖母
火の神の
- 7017 baro a-iyushi
バロ ア・イユシ
口 我・つける
口につけた。
- 7018 tap orowa
タッ オロワ
これ (始点)
それから、
- 7019 boro sonabi
ボロ ソナビ
大きい 高盛の椀
大きな高盛りを
- 7020 yayoteknare
ヤヨテクナレ
みずから手を下す
みずからつくった。
- 7021 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある 女
そして、エトロバ姫、
- 7022 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹に
- 7023 a-kobuni
ア・コブニ
我・捧げる
差し出した。
- 7024 katu ne kane
カトゥ ネ カネ
かたち (繫辞類) (程度)
あたりまえに
- 7025 ehomatu
エホマトウ
慌てる
慌て、
- 7026 eoribak be
エオリバク ベ
畏れ懐む もの
畏まるもの
- 7027 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
であるならば、
- 7028 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである (接続)
さもあるうが、
- 7029 kurka konna
クルカ コンナ
上 こそ
表情が
- 7030 uyanitara
ウヤニタラ
もじもじしている
硬くなっている。
- 7031 oribak tura
オリバク トウラ
畏まる ともに
畏まりながら、
- 7032 boro sonabi
ボロ ソナビ
大きい 高盛の椀
大きな高盛りを
- 7033 uina wa
ウイナ ワ
手に取る (接続)
受け取り、
- 7034 rikunruke
リクンルケ
高くかざす
高くかざし、
- 7035 raunruke
ラウンルケ
低くかざす
低くかざし、
- 7036 koonkami
コオンカミ
拝礼する
拝礼した。

*67 rauki の後に続く語が欠如している。

- 7037 **kanna ruino**
カンナ ルイノ
再び 甚だしく
再び、
- 7038 **boro sonabi**
ボロ ソナビ
大きい 高盛の椀
大きな高盛りを
- 7039 **Kunashiri um mat**
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ姫、
- 7040 **inauru koro mat**
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女に
- 7041 **a-kobuni chiki**
ア・コブニ チキ
我・捧げる (条件)
差し出すと、
- 7042 **arukorachi**
アルコラチ
同じく
同じように、
- 7043 **oribak tura**
オリバツ トウラ
畏まる ともに
畏まりながら
- 7044 **uina wa**
ウイナ ワ
手に取る (接続)
受け取り、
- 7045 **rikunruke**
リクンルケ
高くかざす
高くかざし、
- 7046 **raunruke**
ラウンルケ
低くかざす
低くかざして
- 7047 **koonkami**
コオンカミ
拝礼する
拝礼した。
- 7048 **chiseta turesh**
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹、
- 7049 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹に
- 7050 **raisonabi**
ライソナビ
高盛の椀
我は高盛りを
- 7051 **a-kobunikar**
ア・コブニカラ
捧げ出される
差し出した。
- 7052 **sonno**
ソンノ
真に
まことに
- 7053 **nubetne koro**
ヌベトネ コロ
喜ぶ (同時)
喜びながら
- 7054 **uina wa**
ウイナ ワ
手に取る (接続)
受け取り、
- 7055 **rikunruke**
リクンルケ
高くかざす
高くかざし、
- 7056 **raunruke**
ラウンルケ
低くかざす
低くかざした。
- 7057 **orowano sui**
オロワノ スイ
(始点) 再び
それからまた、
- 7058 **yayoteknare**
ヤヨテクナレ
自ら手を下す
我はみずから
- 7059 **boro shu oro**
ボロ シュ オロ
大きい 鍋 場所
大きな鍋に
- 7060 **wakka a-o wa**
ワッカ ア・オ ワ
水 我・入れる (接続)
水を入れ、
- 7061 **hoka tuika**
ホカ トウイカ
炉 上
炉に
- 7062 **a-eterkere**
ア・エテレケレ
我・投げつける
掛けた。
- 7063 **kam biye i**
カム ビイエ イ
肉 脂がつく ところ
我はの脂身、
- 7064 **kirbu biye i**
キリーブ ビイエ イ
脂身 脂がつく ところ
脂身の良いところを
- 7065 **a-shuworotauki**
ア・シュウオロタウキ
我・鍋の中に切り落とす
鍋の中へ切って入れた。
- 7066 **yake ta**
ヤケ タ
陸の方 (場所)
炉の側で、
- 7067 **ren a-ne wa**
レン ア・ネ ワ
三人 我・(繫辞類) (接続)
三人で
- 7068 **huibe a-e**
フイベ ア・エ
肝臓 我・食べる
肝臓を食べた。
- 7069 **ineap kusu**
イネアックス
何と (理由・目的)
何と
- 7070 **kerapirika wa**
ケラ ビリカ ワ
味 よい (接続)
味が良い
- 7071 **humash nankor a**
フマシ ナンコラ
気配がする だろう か
ことか。
- 7072 **sonno keraan**
ソンノ ケラアン
真に 味がある
まことに美味しい。
- 7073 **re pon menoko**
レ ボン メノコ
三つの 小さい 女
三人の娘は
- 7074 **pirika huibe**
ピリカ フイベ
よい 肝臓
良い肝臓、
- 7075 **ashiri huibe**
アシリ フイベ
新しい 肝臓
新しい肝臓に
- 7076 **koohapse-**
コオハフセ・
舌鼓
舌鼓を
- 7077 **echiuba kane**
エチウバ カネ
刺す (程度)
打ち、
- 7078 **ibe-an**
イベ・アン
食事する・我
食事をした。
- 7079 **tane shu chi ko**
タネ シュ チ コ
今 鍋 煮える (条件)
鍋が煮立つと、
- 7080 **sui a-yanke wa**
スイ ア・ヤンケ ワ
再び 上陸させられる (接続)
我は鍋を降ろし、
- 7081 **boro nima**
ボロ ニマ
大きい 木盆
大きな木盆を
- 7082 **a-sanasanke**
ア・サナサンケ
我・出す
取り出した。
- 7083 **or un**
オルン
所 (方向)
その中へ
- 7084 **kamyapte-an**
カムヤッテ・アン
肉を入れる・我
肉を入れ、
- 7085 **kirbuyapte-an**
キリーブヤッテ・アン
脂身上げる・我
脂身を入れた。
- 7086 **sui rupne sonabi**
スイ ルプネ ソナビ
再び 大きい 高盛の椀
再び大きな高盛りを
- 7087 **eusa usa**
エウサ ウサ
それぞれ (譲歩)
それぞれに
- 7088 **a-kobumba**
ア・コブムバ
我・持ち上げる
差し出した。
- 7089 **sonno**
ソンノ
真に
娘たちはまことに

- 7090 uwenubetne
ウエヌベトネ
喜ぶ
喜んだ。
- 7091 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 7092 konepkashita
コネツカシタ
何としたことか
コネツケウカタ、
- 7093 i-keshke p
イ・ケシケツ
我・嫉む もの
我は妬まれ
- 7094 i-nonchi p
イ・ノンチツ
我・嫉む もの
嫉まれたもの
- 7095 renkap kusu
レンカプクス
意志 (理由・目的)
であるので、
- 7096 a-koro ekashi
ア・コロ エカシ
我・もつ 老人
我が祖父に
- 7097 a-pirikakoiki p
ア・ピリカコイキツ
我・捕獲する もの
良い獲物を
- 7098 shine not boka
シネ ノト ボカ
一つの 一口分 さえ
一口も
- 7099 somo a-ere no
ソモ ア・エレ ノ
(否定) 我・食べさせる (接続)
食べさせることができず、
- 7100 a-wenokbare i
ア・ウェノクバレイ
我・不孝をする こと
不孝をしたことを
- 7101 a-eshikarun chiki
ア・エシカルン チキ
我・思い出す (条件)
思い出し、
- 7102 tu ok keutum ne
トゥ オク ケウトウム ネ
二つの 嘆き心 (繫辞類)
何度も
- 7103 re ok keutum ne
レ オク ケウトウム ネ
三つの 嘆き心 (繫辞類)
悲しみの気持ちを
- 7104 a-yaikore kane
ア・ヤイコレ カネ
我・もつ (程度)
抱いた。
- 7105 ibe ruoka
イベ ルオカ
食事する 跡
そして、食事が
- 7106 chiobashbare
チオバシバレ
過ぎさせる
終わった。

- 7107 or i-shinire
オロ イ・シニレ
所 我・休ませる
我は休まされた。

第15章 一族を招待する

- 7108 koninkar kusu
コニンカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 7109 a-tureshutari^{*68}
ア・トゥレシユタリ
我・妹たち
我が妹たちよ、
- 7110 haru kesh boka
ハル ケシ ボカ
食物 末端 さえ
食物の残りでも
- 7111 okai chiki
オカイ チキ
ある (条件)
あるならば、
- 7112 rapte wa
ラツテ ワ
下ろす (接続)
取り出して、
- 7113 sake suiba yan
サケ スイバ ヤン
酒 醸す (命令)
酒を醸しなさい。
- 7114 tanebo boka
タネボ ボカ
今 さえ
今からでも、
- 7115 shinrit ewak i ta
シンリト エワク イ タ
出自 住む ところ (場所)
先祖の住むところへ
- 7116 pon kamuinomi boka
ボン カムイノミ ボカ
小さい 神へ祈る さえ
小さな祭祀でも
- 7117 a-ki kusu ne na
ア・キ クス ネ ナ
我・する (理由・目的) (繫辞類) ぞ
- 7118 a-utari utar
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 人々
我が一族、
- 7119 tuimano okai be
トゥイマノ オカイ ベ
遠く ある もの
遠くにいる者、
- 7120 hankeno okai be
ハンケノ オカイ ベ
近く ある もの
近くにいる者を
- 7121 obittano
オビッタノ
皆
残らず
- 7122 a-tak wa
ア・タク ワ
我・招く (接続)
招いて、

- 7123 uwenubetne-an^{*69}
ウエヌベトネ・アン
喜ぶ・我
互いに喜び
- 7124 kusu ne na
クス ネ ナ
(理由・目的) (繫辞類) ぞ
たいと思う。」
- 7125 ari itak-an awa
アリ イタク・アン アワ
(引用) 言う・我 (展開)
我がこう言う、
- 7126 re pon menoko utar
レ ポン メノコ ウタラ
三つの 小さい 女 人々
三人の娘たちは
- 7127 inu rok be
イヌ ロク ベ
聞く (完了) もの
それを聞いて
- 7128 utomohosarba
ウトモホサラバ
顔を見合わせる
顔を見合わせた。
- 7129 sonno
ソンノ
真に
まことに、
- 7130 ramoshi wano
ラモシ ワノ
心の底 から
心の底から
- 7131 eunubetnere p
エウヌベトネレツ
喜ぶ もの
喜ぶもの
- 7132 kone p ne kusu
コネ ツ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 7133 mina tura
ミナ トウラ
笑う ともに
笑みとともに
- 7134 ukosoyekarba
ウコソイエカラバ
外出する
外へ出た。
- 7135 yaikotamba ne
ヤイコタムバ ネ
自らの村の上手 (繫辞類)
村の上手へ、
- 7136 yaikotankesh
ヤイコタンケシ
自らの村の下手
村の下手へと、
- 7137 hawotuireba
ハウオトウイレバ
叫ぶ
声を出した。
- 7138 moyotek
モヨテク
少ない
選ばれた

*68 Aturesh utar と書かれているが仮にこのように解釈する。

*69 uwenube an と書かれているがこのように解釈する。

- 7139 nishpa utara
ニシパ ウタラ
長者 たち
長者たち、
- 7140 moyotek
モヨテッ
少ない
選ばれた
- 7141 katkemat utara
カトケマト ウタラ
婦人 たち
婦人たちが
- 7142 uwekarba
ウウエカラバ
集まる
集まった。
- 7143 iwan kutomap
イワン クトマップ
六つの 繩のかかったかます
六つのかますが
- 7144 a-ebukare
ア・エブイカレ
我・倉から出す
倉から取り出された。
- 7145 orowano
オロワノ
(始点)
それから、
- 7146 usa wakka ta
ウサ ワッカ タ
(讀歩) 水 汲む
水汲み
- 7147 usa
ウサ
(讀歩)
や、
- 7148 usa iyuta
ウサ イユタ
(讀歩) 白をつく
白つき、
- 7149 usa shuke
ウサ シュケ
(讀歩) 炊事する
煮炊きに
- 7150 eumombok-
エウモムボク・
腕の下
集中
- 7151 tushmak kane
トウシマク カネ
競う (程度)
した。
- 7152 inauni
イナウニ
木幣にする木
イナウにする木を
- 7153 tuiba p
トウイバ
切る もの
切る者は
- 7154 ekimun
エキムン
山へ
山へ
- 7155 terkeba kane
テレケバ カネ
跳ねる (程度)
駆けていった。
- 7156 konep a-teke
コネッ ア・テケ
何 我・手
我が手が
- 7157 kere wa
ケレ ワ
触れる (接続)
触れるものは、
- 7158 tapne
タッネ
これである
このように、
- 7159 irukai ne ko
イルカイ ネ コ
しばらくの間 (繫辞類) (条件)
しばらくすると、
- 7160 iwanshintoko
イワン シントコ
六つ の ほかい
六つの行器が
- 7161 ror a-oraiba
ロロ ア・オライバ
上座 据えられる
上座に置かれた。
- 7162 tutko rerko
トゥトコ レレコ
二日 三日 (日数)
二日、三日
- 7163 shiran ko
シラン コ
有様である (条件)
すると、
- 7164 kamui e rusui be
カムイ エ ルスイ ベ
神 食べる (欲求) もの
神が食べたいもの
- 7165 konep ne kusu
コネ ヲ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 7166 pirika tonoto
ピリカ トノト
よい 酒
良い酒、
- 7167 kamui tonoto
カムイ トノト
神 酒
神の酒の
- 7168 pirka hura mawe
ピリカ フラ マウエ
よい 匂い 風
良い匂いが
- 7169 chise upsoroho
チセ ウッソロホ
家 内部
家の中で
- 7170 eetushnatki
エエトウシナトキ
満ちる
満ちた。
- 7171 sui a-utari utar
スイ ア・ウタリ ウタラ
再び 我・人々 人々
我が一族は
- 7172 shiaworaiba
シアウォライバ
家の中に入る
家の中へ入った。
- 7173 orowano sui
オロワノ スイ
(始点) 再び
それからまた、
- 7174 inumba sash hum
イヌムバ サシ フム
濾す 雑音を立てる 音
酒を濾す音が
- 7175 uwobuk humi
ウウオブク フミ
混じり合う (?) 音
次々と鳴り
- 7176 kosashnatara
コサシナタラ
響く
響いた。
- 7177 inumba kuni p
イヌムバ クニ ヲ
濾す はずのもの
酒を濾す者は
- 7178 ukoichari-
ウコイチヤリ・
共に 筈
互いに 筈を
- 7179 bashte kane
バシテ カネ
走らせる (程度)
走らせた。
- 7180 anramasu
アンラマス
まったく好ましい
我はそれを好ましく
- 7181 a-uwesuye
ア・ウウエスイエ
我・思う
思った。
- 7182 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 (繫辞類) (讀歩)
我も
- 7183 chirikibuni-an
チリキブニ・アン
起き上がる・我
立ち上がり、
- 7184 inauke-an wa
イナウケ・アン ワ
木幣を削る・我 (接続)
イナウを削って
- 7185 inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
みると、
- 7186 ineap kusu
イネアッ クス
何と (理由・目的)
何と
- 7187 a-eashkai wa
ア・エアシカイ ワ
我・できる (接続)
上手である
- 7188 shiran nankor a
シラン ナンコラ
有様である だろう か
ことか。
- 7189 a-ke inau
ア・ケ イナウ
我・削る 木幣
我が削ったイナウは
- 7190 iyotta pirika^{*70}
イヨッタ ピリカ
最も よい
最も良い。

- 7191 tu kamui nish ne
トゥ カムイ ニシ ネ
二つの神 雲 (繫辞類)
神雲が
- 7192 re kamui nish ne
レ カムイ ニシ ネ
三つの神 雲 (繫辞類)
幾重にも
- 7193 yayebumba
ヤイエブムバ
立ちのぼる
立ち昇る。
- 7194 a-utari utar
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 人々
我が一族の人々は
- 7195 shietuina
シエトゥウイナ
鼻を押さえる
鼻を押さえ、
- 7196 shibaruina kane
シバルイナ カネ
自分の口を抑える (程度)
口を押さえ、
- 7197 ukoerayap
ウコエラヤッ
皆驚く
感嘆した。
- 7198 an-ewak ushike
アネワッ ウシケ
我・住む ところ
我が住まいの
- 7199 upsor orke
ウッソロ オロケ
内部 所
中は
- 7200 ashiri inau
アシリ イナウ
新しい 木幣
新しいイナウで
- 7201 a-etomtekar
ア・エトムテカラ
飾り立てられる
美しく飾られた。
- 7202 chise upsoroho
チセ ウッソロホ
家 内部
家の内部は
- 7203 retar imeru
レタラ イメル
白い 光
白い光で
- 7204 eshimaka
エシマカ
輝く
輝いている。
- 7205 kanto or un
カント オルン
天 所 (方向)
天空へ
- 7206 a-bumba kuni
ア・ブムバ クニ
我・持ち上げる ように
届けられるように
- 7207 inau
イナウ
木幣
我はイナウを
- 7208 yayoteknare
ヤヨテッナレ
みずから手を下す
みずからつくった。
- 7209 a-ke kuni p
ア・ケ クニ ヲ
我・削る ようにもの
我が削ったものは、
- 7210 iyoikir kurka
イヨイキリ クルカ
宝列 上
宝列の上、
- 7211 chise barka
チセ バッカ
家 火棚
屋根裏の下の
- 7212 boro ikiri
ボロ イキリ
大きい 列
大きな列に
- 7213 eush kane
エウシ カネ
顔をつける (程度)
届くほど
- 7214 a-kar
ア・カラ
我・する
である。
- 7215 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は、
- 7216 iku-an kuni
イク・アン クニ
酒を飲む・我 ように
酒を飲む
- 7217 korachi
コラチ
ように
ように、
- 7218 etoko
エトコ
前方
準備が
- 7219 a-oiki okere
ア・オイキ オケレ
我・炊事する (完了)
整った。
- 7220 chikup shiyuk
チクッ シユク
酒宴 装う
我は酒宴の礼装を
- 7221 a-uwechiure
ア・ウエチウレ
我・身に着ける
身にまとった。
- 7222 mashikinteta
マシキンテタ
ますます
ますます、
- 7223 a-netobake
ア・ネトバケ
我・身体
私の身体は
- 7224 somo a-nukara
ソモ ア・ヌカラ
(否定) 見られる
見えないようになり、
- 7225 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 (繫辞類)
神の如き様子
- 7226 an-an
アナン
いる・我
である。
- 7227 a-tureshutari
ア・トゥレシユタリ
我・妹たち
我が妹たちは、
- 7228 ren ne wa
レン ネ ワ
三人 (繫辞類) (接続)
三人で、
- 7229 chikup shiyuk
チクッ シユク
酒宴 装う
酒宴の礼装を
- 7230 uwechiureba
ウエチウレバ
身につける
身にまとった。
- 7231 iyainumare
イヤイヌマレ
驚いた
驚いたことに、
- 7232 mashkinteta
マシキンテタ
ますます
ますます、
- 7233 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 (繫辞類)
神の如き様子
- 7234 okai
オカイ
ある
である。
- 7235 sonko bawetok
ソンコ バウエトク
伝言 雄弁
我は雄弁者に
- 7236 a-uitek
ア・ウイテッ
我・用いる
言付けし、
- 7237 Etorba un kuru
エトロバ ウン クル
エトロバ ある 人
エトロバ彦、
- 7238 Nikambi koro kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 7239 boro a-yubi hemem
ボロ ア・ユビ ヘMEM
大きい 我・兄 も
我が大兄も、
- 7240 Kunashiri un kuru hemem
クナシリ ウン クル ヘMEM
クナシリ ある 人 も
クナシリ彦も、
- 7241 Pekennup un kuru
ペケンヌッ ウン クル
ペケンヌッ ある 人
ペケンヌッ彦も、

*70 prika と書かれているがこのように解釈する。

- 7242 turesh turanno
トゥレシ トウランノ
妹 ともに
妹とともに
- 7243 a-tak
ア・タク
我・招く
招いた。
- 7244 tanne sonko
タンネ ソンコ
長い 伝言
我は長い伝言を
- 7245 a-euitekkar
ア・エウイテッカ
我・使い立てする
届けた。
- 7246 sonko koro be
ソンコ コロ ベ
伝言 持つ もの
伝言を受けた者が
- 7247 moshit tapka ta
モシト タツカ タ
国土 頂き (場所)
国土の上で
- 7248 oman hum konna
オマン フム コンナ
行く 音 こそ
進んで行く音が
- 7249 keurototke
ケウロトトケ
響く
響いた。
- 7250 tane
タネ
今
今は
- 7251 shirionuman kane
シリオヌマン カネ
夕方になる (程度)
夕方になった。
- 7252 sonko koro be
ソンコ コロ ベ
伝言 持つ もの
伝言を受けた者が
- 7253 hoshibi wa
ホシビ ワ
帰る (接続)
戻ってきて、
- 7254 kamui ne okai be
カムイ ネ オカイ ベ
神 (繫辞類) ある もの
神である者は
- 7255 tane
タネ
今
今から
- 7256 arki kusu ne
アッキ クス ネ
来る (理由・目的) (繫辞類)
来るであろう
- 7257 ari haweokai
アリ ハウエオカイ
(引用) 言う
と言った。
- 7258 hontomo ta
ホントモ タ
途中 (場所)
その途中で、
- 7259 moshit tapka ta
モシト タツカ タ
国土 頂き (場所)
国土の上で、
- 7260 senne moyo no
センネ モヨ ノ
(否定) わずかの (接続)
数多くの
- 7261 kamui arki hum
カムイ アッキ フム
神 来る 音
神がやってくる音が
- 7262 keurototke
ケウロトトケ
響く
鳴り響いた。
- 7263 humash aine
フマシ アイネ
音がする (接続)
そして、
- 7264 uweomanno
ウウエオマンノ
次々と
次々と
- 7265 soyun yakura
ソユン ヤクラ
外にある 槽
外の槽、
- 7266 yakura ka un
ヤクラ カウン
槽 上 (方向)
槽の上に、
- 7267 kanak okai be
カナク オカイ ベ
誰 ある もの
何者かが
- 7268 chierapte
チエラプテ
落下する
降りてきた。
- 7269 chise sam ka ta
チセ サム カ タ
家 そば 上 (場所)
家の側の上で、
- 7270 kanak okai be
カナク オカイ ベ
誰 ある もの
何者かの
- 7271 tumba maikan
トゥムバ マイカン
鐃 音
鐃が鳴る音が
- 7272 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響いた。
- 7273 mosem tuyor
モセム トウヨロ
玄閼納屋 中
玄閼納屋の方へ
- 7274 eshikirba
エシキリバ
振り向く
まわり、
- 7275 uweomanno
ウウエオマンノ
次々と
次々と
- 7276 taban chikutkesh
タバ ン チクトケシ
この 咳払い
咳払いの音が
- 7277 chimaknaraiba
チマクナライバ
奥へ追いやる
家の奥まで届き、
- 7278 chiokanimai-
チオカニマイ・
金属の響き
美しく
- 7279 kotba kane
コトバ カネ
つける (程度)
響いた。
- 7280 ratki aba
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
簾戸を
- 7281 omausibare
オマウスイバレ
風をそよがせる
風でそよがせて、
- 7282 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上 (場所)
土間の上に、
- 7283 imeru tura
イメル トウラ
光 ともに
光とともに、
- 7284 urar tura
ウララ トウラ
霧 ともに
霧とともに、
- 7285 rutkosanu p
ルトコサヌ プ
サット入る もの
入ってきた者を
- 7286 a-nukar kusu
ア・ヌカラ クス
我・見る (理由・目的)
我は見た。
- 7287 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 7288 konepkashita
コネツカシタ
何としたことか
コネツカシタ、
- 7289 Nikambi koro kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 7290 boro a-yubi
ボロ ア・ユビ
大きい 我・兄
我が大兄であり、
- 7291 tane am pirika
タネ アム ビリカ
今 ある よい
今の美しさは
- 7292 shioarwenrui
シオアラウエンルイ
もの凄
もの凄。
- 7293 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 (繫辞類)
神の如き様子、
- 7294 ikueshiyuk be
イクエシユク ベ
酒宴の礼装をする もの
酒宴の礼装で

- 7295 **mashkinteta**
マシキンテタ
ますます
ますます、
- 7296 **ene wa boka**
エネ ワ ボカ
このように (接続) さえ
どのように
- 7297 **a-reka i ka**
ア・レカ イ カ
我・ほめる ことも
褒めることも
- 7298 **isam kane**
イサム カネ
無い (程度)
できないほど美しい。
- 7299 **shiworaiba**
シアウォライバ
家の中に入る
大兄は中へ入った。
- 7300 **setur kashike**
セトゥル カシケ
背 上
その背中の上には、
- 7301 **Kunashiri un kuru**
クナシリ ウンクル
クナシリ ある人
クナシリ彦がいた。
- 7302 **kamui rametok**
カムイ ラメトク
神 勇者
神である勇者、
- 7303 **kamui temkor**
カムイ テムコロ
神 腕で抱える
神の守護を
- 7304 **chionere p**
チオネレ プ
受ける もの
受けた者であり、
- 7305 **mashkinteta**
マシキンテタ
ますます
ますます、
- 7306 **ene wa boka**
エネ ワ ボカ
このように (接続) さえ
どのように
- 7307 **a-reka i ka**
ア・レカ イ カ
我・ほめる ことも
褒めることも
- 7308 **isam kane**
イサム カネ
無い (程度)
できないほど美しい。
- 7309 **ikueshiyuk kane**
イクエシユク カネ
酒宴の礼装をする (程度)
酒宴の礼装をしている。
- 7310 **setur kashike**
セトゥル カシケ
背 上
その背中の上には
- 7311 **yairarire p**
ヤイラリレ プ
いる もの
いる者を
- 7312 **a-nukar kusu**
ア・ヌカルクス
我・見る (理由・目的)
我は見た。
- 7313 **Pekennup un kuru**
ベケンヌプ ウンクル
ベケンヌップ ある人
ベケンヌップ彦である。
- 7314 **isenram kusu**
イセンラム クス
通常 (理由・目的)
いつものように、
- 7315 **kamui shiri ne**
カムイ シリネ
神 様子 (繫辞類)
神の如き様子である。
- 7316 **ikueshiyuk be**
イクエシユク ベ
酒宴の礼装をする もの
酒宴の礼装で、
- 7317 **mashkinteta**
マシキンテタ
ますます
ますます、
- 7318 **tane an pirika**
タネ アン ビリカ
今 ある よい
今の美しさは
- 7319 **shioarwenrui**
シオアヲウエンルイ
もの凄いの
もの凄いの。
- 7320 **rametok utar**
ラメトク ウタラ
勇者 人々
勇者たち、
- 7321 **utarpa utar**
ウタラパ ウタラ
首領 人々
頭領たちは
- 7322 **arutapkurka-**
アルタプクルカ・
互いの肩の上
肩を
- 7323 **rarba kane**
ララバ カネ
押す (程度)
並べている。
- 7324 **iyotta iyoshino**
イヨッタ イヨシノ
最も 最後に
一番最後に、
- 7325 **kanak an kuni p**
カナク アン クニ プ
誰 ある ように もの
何者かが
- 7326 **ratki aba**
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
簾戸を
- 7327 **obumbuni**
オブムブニ
裾を持ち上げる
持ち上げた。
- 7328 **tonchikamani**
トンチカマニ
入り口の敷居
敷居を
- 7329 **yayoikare p**
ヤヨイカレ プ
またぐ もの
またいだ者を
- 7330 **a-nukar kusu**
ア・ヌカルクス
我・見る (理由・目的)
我は見た。
- 7331 **pon urar tapkop**
ポン ウララ タップコフ
小さい 霧 小山
小さな霧の小山が
- 7332 **mintar ka ta**
ミンタラ カ タ
土間 上 (場所)
土間の上に
- 7333 **shinu kane**
シヌ カネ
膝行する (程度)
這い
- 7334 **reye kane**
レイエ カネ
這う (程度)
寄ってきた。
- 7335 **urar tumu**
ウララ トムム
霧 中
霧の中を
- 7336 **a-shikechhari**
ア・シケチャリ
我・目で散らす
我は目で散らして
- 7337 **inkar-an awa**
インカラ・アン アワ
見る・我 (展開)
見ると、
- 7338 **iyainumare**
イヤイヌマレ
驚いた
驚いたことに、
- 7339 **a-ye manu**
ア・イエ マヌ
言われる という
噂の
- 7340 **Pekennup um mat**
ベケンヌプ ウム マト
ベケンヌップ ある 女
ベケンヌップ姫である。
- 7341 **chitomtereshu p**
チトムテレシユ プ
美しく育てられる もの
美しく育てられた者、
- 7342 **chiarareshu p**
チアラレシユ プ
立派に養育される もの
大切に育てられた者
- 7343 **sone kusu**
ソネ クス
らしく (理由・目的)
であるらしく、
- 7344 **kamui chikirbe**
カムイ チキリベ
神 刺繍衣
神の刺繍衣、
- 7345 **kani chikirbe**
カニ チキリベ
黄金 刺繍衣
金の刺繍衣を
- 7346 **nina imi ne**
ニナ イミネ
(未詳) 着物 (繫辞類)
無造作に
- 7347 **arutomechiu***71
アルトメチウ
身にまとう
着ている。

- 7348 ikeshiyuk be
イクエシユク ベ
酒宴の礼装をするもの
酒宴の礼装を
- 7349 kone p ne kusu
コネ ッ ネ クス
であるもの(繫辞類)(理由・目的)
しており、
- 7350 kamui ninkari
カムイ ニンカリ
神 耳飾り
神の耳飾りで
- 7351 ebuishutkashi-
エブイシュトカシ
耳穴の上
耳穴の上
- 7352 tonnatara
トンナタラ
光っている
輝いている。
- 7353 kamui tamasai
カムイ タマサイ
神 胸飾り
神の首飾りを
- 7354 erekutkashike
エレクトカシケ
頭の上
頭の上に
- 7355 koikatara
コイカタラ
つける
つけている。
- 7356 kamui otobi
カムイ オトビ
神 髪
神髪は
- 7357 sarambe kunne
サラムベ クンネ
絹 ように
絹のように
- 7358 ekimuikashi
エキムイカシ
頭上
頭上を
- 7359 chiesurure
チエスルレ
覆う
覆っている。
- 7360 reuboki ta
レウボキ タ
下 (場所)
その下で、
- 7361 kamui sannanu
カムイ サンナス
神 顔
神々しい顔が
- 7362 shikushtoi kunne
シクシトイ クンネ
日の光 ように
太陽のように
- 7363 komaknatara
コマクナタラ
輝いている
照り輝いている。
- 7364 Pekennup un kuru
ペケンヌ ヲン クル
ペケンヌ ヲップ ある人
ペケンヌ ヲップ 彦と
- 7365 shikbui un ruwe
シクブイ ウン ルウェ
目つき ある様子
目つきから
- 7366 rachiu un ruwe
ラチウ ウン ルウェ
眉 ある様子
眉つきまで
- 7367 horkasuiba kane
ホロカスイバ カネ
ようである(程度)
似た
- 7368 okai be
オカイ ベ
あるもの
者である。
- 7369 somo nube sak
ソモ ヌベ サク
(否定) 涙 欠く
泣かずに、
- 7370 oribak rui be
オリバク ルイ ベ
畏まる 激しいもの
ひどく畏まるもの
- 7371 kone p ne kusu
コネ ッ ネ クス
であるもの(繫辞類)(理由・目的)
であるから、
- 7372 kurka konna
クルカ コンナ
上こそ
表情が
- 7373 uyanitara
ウヤニタラ
もじもじしている
硬くなっている。
- 7374 hebumba boka
ヘブムバ ボカ
顔を上げる さえ
顔を上げることも
- 7375 yaikoniukesh kane
ヤイコニウケシ カネ
自分に欲しない(程度)
できない。
- 7376 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く 心
我は
- 7377 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 7378 ene hetap ne
エネ ヘタッ ネ
このようにこれ(繫辞類)
これは驚いた、
- 7379 shiretok ante
シレトク アンテ
美貌 あらしめる
容貌の美しい
- 7380 ruwe okai be
ルウェ オカイ ベ
様子 あるもの
者であった
- 7381 hetap ne
ヘタッ ネ
これ(繫辞類)
のか。
- 7382 katu chiwente
カトゥ チウエンテ
かたち 痛めつけられる
容姿を痛めつけ
- 7383 a-ekarkar
ア・エカヲカヲ
される
られ、
- 7384 a-nukar hi
ア・ヌカヲ ヒ
我・見る こと
我が見る
- 7385 nep tap ki humi
ネッ タッ キ フミ
何 これする 気配
様子は
- 7386 okai rok awa
オカイ ロク アワ
ある(完了)(展開)
あのようであった
- 7387 shiran chiki
シラン チキ
有様である(条件)
のかと、
- 7388 boo hene
ボオ ヘネ
なおさら
ますます、
- 7389 kanna kamui menoko
カンナ カムイ メノコ
上 神 女
雷神の娘を
- 7390 a-ebokba wa
ア・エボクバ ワ
我：・嫉まれる(接続)
憎く思い、
- 7391 ene a-ye i ka
エネ ア・イエ イ カ
このように我・言うことも
どのように言うことも
- 7392 isam kane
イサム カネ
無い(程度)
できないように
- 7393 yainu-an kane
ヤイヌ・アン カネ
考える・我(程度)
思った。
- 7394 raboki ta
ラブキ タ
間(場所)
その間に、
- 7395 rametok utar
ラメトク ウタヲ
勇者 人々
勇者たちは
- 7396 rorunso ka ta
ロルンソ カ タ
上座 上(場所)
上座の上で
- 7397 i-hekota wa
イ・ヘゴタ ワ
我・向かって(起点)
我に向って
- 7398 niwen horippa
ニウエン ホリッパ
猛々しい 行進する
激しい踊りで

*71 この語の前に Eshiru tomta nuina と書かれているが、線で抹消されている。

- 7399 eutapkuruka-
エウタツクルカ・
互いの肩の上
肩を
- 7400 rarba kane
ラバ カネ
押す (程度)
並べた。
- 7401 arukosantek
アルコサンテツ
互いの手
腕を
- 7402 i-koturba kane
イ・コトウルバ カネ
我・伸ばす (程度)
我の方に伸ばし、
- 7403 niwen hokokse
ニウエン ホコクセ
猛々しい 叫び声を出す
激しい叫び声が
- 7404 ehautumkonna-
エハウトゥムコンナ・
声の中心
響き
- 7405 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
渡った。
- 7406 ene shiriki i
エネ シリキ イ
このように 有様である こと
それを
- 7407 a-ikoisamba
ア・イコイサムバ
我・真似る
真似て、
- 7408 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤッカ
我 (繫辞類) (譲歩)
我も
- 7409 niwen hokokse
ニウエン ホコクセ
猛々しい 叫び声を出す
激しい叫び声で
- 7410 a-eyaikosantek-
ア・エヤイコサンテツ・
我・自らの腕
腕を
- 7411 turi kane
トゥリ カネ
伸ばす (程度)
伸ばした。
- 7412 horibi-an chiki
ホリビ・アン チキ
踊る・我 (条件)
我が踊ると、
- 7413 a-tureshutari
ア・トゥレシュタリ
我・妹たち
我が妹たち、
- 7414 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ姫、
- 7415 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女と
- 7416 Pekennup um mat
ベケンヌツ ウム マト
ベケンヌツ ある 女
ベケンヌツ姫は
- 7417 uhobumbare
ウホブムバレ
立ち上がる
起き上がった。
- 7418 i-seturkashi-
イ・セトウルカシ・
我・背中
私の背中の上を
- 7419 rarba kane
ラバ カネ
押す (程度)
押さえ、
- 7420 homar rimimse
ホマラ リミムセ
かすんでいる 泣き叫ぶ
かすかな叫び声で
- 7421 koshinunkurka-
コシヌンクルカ・
口・上
上半身を
- 7422 rarba kane
ラバ カネ
押す (程度)
揺すり、
- 7423 ehautumkonna-
エハウトゥムコンナ・
声の中心
声が響き
- 7424 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
渡った。
- 7425 arukosantek-
アルコサンテツ・
互いの腕
そして、腕を
- 7426 turba kane
トゥルバ カネ
伸ばす (程度)
伸ばした。
- 7427 chikupso ka ta
チクプソ カタ
酒宴の座 上 (場所)
酒宴の座の上で
- 7428 rametok utar
ラメトク ウタラ
勇者 人々
勇者たち、
- 7429 utarpa utar
ウタラバ ウタラ
首領 人々
頭領たち、
- 7430 katkemat utar
カトケマト ウタラ
婦人 人々
婦人たちは
- 7431 arukosantek-
アルコサンテツ・
互いの腕
腕を
- 7432 turba kane
トゥルバ カネ
伸ばす (程度)
伸ばした。
- 7433 ir humse hau
イリ フムセ ハウ
一連の 声を出す 声
親族の気合いの声を
- 7434 i-koturba
イ・コトウルバ
我・伸ばす
我にかけた。
- 7435 rametok utar
ラメトク ウタラ
勇者 人々
勇者たちは
- 7436 i-opteshbare
イ・オプテシバレ
我・槍を反らす
我に槍を反らし、
- 7437 i-tamteshbare
イ・タムテシバレ
我・刀を反らす
刀を反らした。
- 7438 utashba bakno
ウタシバ バクノ
互いにお互い、
我らはお互いに、
- 7439 utamteshbare
ウタムテシバレ
互いに刀を反らす
刀を反らし、
- 7440 uopteshbare-an
ウオプテシバレ・アン
互いに槍を反らせる・我
槍を反らした。
- 7441 uraike bakno
ウライケ バクノ
戦場 まで
戦闘まで、
- 7442 uraike kasu no
ウライケ カス ノ
戦場 甚だしい (接続)
斬り合いを越えて、
- 7443 ukeuhumshu-an
ウケウフムシュ・アン
無事をねぎらう・我
我らは無事を祝った。
- 7444 okake an ko
オカケ アン コ
あと ある (条件)
それが終わると、
- 7445 nichu takne op
ニチ タクネ オプ
柄 短い 槍
我は柄の短い槍を
- 7446 ram kuwa ne
ラム クワ ネ
低い 杖 (繫辞類)
低い杖として
- 7447 an-eyaitete
アネヤイテテ
我・杖にする
身を支え、
- 7448 opsar kese
オツサラ ケセ
槍尻 末端
槍の柄の端に
- 7449 a-notomare
ア・ノトマレ
我・顎を乗せる
顎を乗せた。
- 7450 a-ki charanke
ア・キ チャランケ
我・する 弁論
我がする口上が
- 7451 kakkok hau ne
カクコク ハウ ネ
郭公 声 (繫辞類)
郭公の声のように

- 7452 ouse turse
オウセ トウルセ
ただ 落ちる
響き、
- 7453 a-eraunkuchi
ア・エラウンクチ
我・喉奥深く
咽喉が
- 7454 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
美しく鳴った。
- 7455 ainu obittano
アイヌ オビトタノ
人間 皆
人々は皆、
- 7456 anun hene
アヌン ヘネ
よそのも
他所の者も、
- 7457 aba hene
アバ ヘネ
親 も
親族も
- 7458 utar obittano
ウタヲ オビトタノ
人々 皆
一人残らず
- 7459 eramokai be
エラモカイ ベ
知る もの
知っているもの
- 7460 ne a yakka
ネ ア ヤッカ
(繫辞類) 完了 (譲歩)
であるが、
- 7461 tapne tapne
タプネ タプネ
これである これである
このような次第で
- 7462 shinrit koro kuni p
シンリト コロ クニ プ
出自 持つ はずのもの
先祖を持つ者、
- 7463 utar koro kuni p
ウタヲ コロ クニ プ
人々 持つ はずのもの
親族を持つ者が
- 7464 a-ne wa
ア・ネ ワ
我・(繫辞類) (接続)
我であった。そして、
- 7465 ene ene
エネ エネ
このように このように
このように、
- 7466 arwen kamui
アヲウェン カムイ
ひどい 神
極悪の神、
- 7467 arwen bito
アヲウェン ビト
ひどい 人
性悪の神が
- 7468 i-keshke kusu
イ・ケシケ クス
我・嫉む (理由・目的)
我を妬み、
- 7469 tapne kane
タプネ カネ
これである (程度)
あのように、
- 7470 apkash tuika ta
アッカシ トウイカ タ
歩く 上 (場所)
道中で
- 7471 ukokatkororo-an
ウコカトコロ・アン
互いに事件を起こす・我
事件が起きた。
- 7472 oman ikiri
オマン イキリ
行く 列
その経緯から、
- 7473 naanika
ナアニカ
まさに
もう少しで、
- 7474 taban ainu moshiri
タバン アイヌ モシリ
この人間 国土
この人間の世界から
- 7475 a-i-y-obosore
ア・イ・ヨボソレ
我・通させる
我は離れるところ
- 7476 a koroka
ア コロカ
完了 (逆接)
であったが、
- 7477 kamui irenka
カムイ イレンカ
神 意図
神の意向が
- 7478 pirika
ピリカ
よい
良い
- 7479 kushkeraibo
クシケライボ
おかげで
おかげで、
- 7480 tane
タネ
今
今は、
- 7481 ainu moshiri
アイヌ モシリ
人間 国土
人間の世界に
- 7482 a-kohekomo
ア・コヘコモ
我・引き返す
戻った。
- 7483 tan tewano
タン テワノ
この これから
これから、
- 7484 a-utari utara
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 たち
我が一族を
- 7485 a-tekkamure
ア・テッカムレ
我・手で覆う
守り、
- 7486 a-rakamure
ア・ラカムレ
我・面倒を見る
面倒を見て、
- 7487 a-yaikoshikkashima
ア・ヤイコシッカシマ
我・自ら守護する
みずから守護することが
- 7488 eashkai
エアシカイ
できる
できる
- 7489 ruwe ne kusu
ルウェ ネ クス
様子 (繫辞類) (理由・目的)
ので、
- 7490 kamui or un
カムイ オルン
神 所 (方向)
神々のところへ、
- 7491 kanto bakno
カント バクノ
天 まで
天空まで、
- 7492 yayiraike-an
ヤイライケ・アン
ありがたく思う・我
我は感謝し、
- 7493 inauebuni
イナウエブニ
イナウを捧げる
イナウを捧げ、
- 7494 sakeebuni-an
サケエブニ・アン
酒を捧げる・我
酒を捧げるのだ。
- 7495 ikir keseke ta
イキリ ケセケ タ
列 端の所 (場所)
列の端で、
- 7496 mak un ekash
マク ウン エカシ
奥 ある 先祖
昔の男性の先祖、
- 7497 sanke
サンケ
前方の
近い
- 7498 ekashi utar
エカシ ウタラ
先祖 人々
男性の先祖たち、
- 7499 mak un huchi
マク ウン フチ
奥 ある 祖母
昔の女性の先祖、
- 7500 sanke
サンケ
前方の
近い
- 7501 huchi utara
フチ ウタラ
祖母 たち
女性の先祖たちを
- 7502 a-koshinurappa wa
ア・コシヌラッパ ワ
我・祭る (接続)
我は供養して
- 7503 a-eramushinne
ア・エラムシンネ
我・心落ち着く
安心したい。
- 7504 orowa
オロワ
(始点)
それから、
- 7505 pirika iku
ピリカ イク
よい 酒を飲む
良い酒宴、

- 7506 **pirika ibe**
ピリカ イベ
よい 食事する
良い食事の
- 7507 **tuika ta**
トゥイカ タ
上 (場所)
最中に、
- 7508 **wem be hene**
ウエム ベ ヘネ
悪い ものも
悪いことも
- 7509 **pirika p hene**
ピリカ ヲ ヘネ
よい ものも
良いことも、
- 7510 **moiretara**
モイレタラ
遅い
ゆっくりと
- 7511 **ratchitara**
ラトチタラ
穏やかである
穏やかに
- 7512 **a-uweneusar wa**
ア・ウウェネウサラ ワ
我・話し合う (接続)
語り合い、
- 7513 **a-uwenubetnere**
ア・ウウェヌベトネレ
我・共に喜ぶ
喜び
- 7514 **rusui kuni**
ルスイ クニ
(欲求) ように
たいものだ、と
- 7515 **a-ye**
ア・イエ
我・言う
我は言った。
- 7516 **itasasa sui**
イタササ スイ
交替する 再び
その次に、
- 7517 **Etorba un kur**
エトロバ ウン クル
エトロバ ある 人
エトロバ彦と
- 7518 **Nikambi koro kuru**
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 7519 **boro a-yubi**
ボロ ア・ユビ
大きい 我・兄
我が大兄が
- 7520 **ki charanke**
キ チャランケ
する 弁論
述べる口上が
- 7521 **kakkok hau ne**
カクコク ハウ ネ
郭公 声 (繋辞類)
郭公の声のように響いた。
- 7522 **ineap kusu**
イネアッ クス
何と (理由・目的)
何と
- 7523 **bawetokkoro wa**
バウエトクコロ ワ
雄弁である (接続)
雄弁で
- 7524 **wayashnu wa**
ワヤシヌ ワ
賢い (接続)
賢明である
- 7525 **hawash nankor a**
ハワシ ナンコラ
言われる だろう か
ことか。
- 7526 **tane eashiri**
タネ エアシリ
今 それこそ
まさしく、
- 7527 **kamui hene**
カムイ ヘネ
神 も
神も
- 7528 **ainu hene**
アイヌ ヘネ
人間 も
人間も、
- 7529 **ramuoshma itak**
ラムオシマ イタク
同意する 言葉
納得する言葉が
- 7530 **ehautumkonna**
エハウトゥムコンナ
声の中
響き
- 7531 **tununitara**
トゥヌニタラ
美しい音が響く
渡った。
- 7532 **ene hetap ne**
エネ ヘタッ ネ
このように これ (繋辞類)
驚いたことに、
- 7533 **Etorba kotan ot ta**
エトロバ コタン オト タ
エトロバ 村 所 (場所)
エトロバ村で
- 7534 **katkoro shiri**
カトコロ シリ
振舞う 様子
起こったこと
- 7535 **okai wa kusu**
オカイ ワ クス
ある (接続) (理由・目的)
であるのか。
- 7536 **katchak kashba p**
カトチャク カシバ ヲ
臆病な 甚だしい もの
意気地無しの
- 7537 **irenka**
イレнка
意図
意志を
- 7538 **sak be hene**
サク ベ ヘネ
欠く ものも
持たぬ者も、
- 7539 **katkoro shiri**
カトコロ シリ
振舞う 様子
行動したこと
- 7540 **ne kuni batek**
ネ クニ バテク
(繋辞類) ように のみ
ばかりを
- 7541 **a-ramu kane**
ア・ラム カネ
我・思う (程度)
我は考えた。
- 7542 **tane bakno**
タネ バクノ
今 まで
今まで
- 7543 **an-an awa**
アナン アワ
いる・我 (展開)
我はいたが、
- 7544 **hawash chiki**
ハワシ チキ
言われる (条件)
言われて、
- 7545 **arobittano**
アロビタノ
すべて
すべて、
- 7546 **ikatkar be**
イカトカラ ベ
欺く もの
人を騙す者、
- 7547 **iwente kamui**
イウエンテ カムイ
それを悪くする 神
人を悪くする神が
- 7548 **irara**
イララ
悪戯する
悪戯をして、
- 7549 **ikatwente shiri**
イカトウエンテ シリ
姿を痛める 様子
人を悪くしたの
- 7550 **ne rokokai**
ネ ロコカイ
(繋辞類) (判明)
であった。
- 7551 **tanebo mashkin**
タネボ マシキン
今 ますます
今はますます、
- 7552 **shiyoro keutum**
シヨロ ケウトウム
驚く 心
我は
- 7553 **a-yaikore**
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 7554 **okake an ko**
オカケ アン コ
あと ある (条件)
それが終わると、
- 7555 **Kunashir un kuru**
クナシリ ウン クル
クナシリ ある 人
クナシリ彦、
- 7556 **shisak rametok**
シサク ラメトク
またとない 勇者
類稀な勇者が
- 7557 **sui ki charanke**
スイ キ チャランケ
再び する 弁論
述べる口上が
- 7558 **kakkok hau ne**
カクコク ハウ ネ
郭公 声 (繋辞類)
郭公の声のように
- 7559 **ouse turse**
オウセ トウルセ
ただ 落ちる
響いた。

- 7560 arukorachi
アルコラチ
同じく
同じように、
- 7561 usa ikeuhumshu*72
ウサ イケウフムシユ
(譲歩) 無事を祝う
無事をねぎらい、
- 7562 usa yayababu
ウサ ヤヤバブ
(譲歩) 詫びを言う
謝罪をし、
- 7563 usa yaikeuhumshu*73
ウサ ヤイケウフムシユ
(譲歩) 自ら無事を祝う
みずからの無事を喜び、
- 7564 tu pirika kuni p
トゥ ビリカ クニ ヲ
二つのよいはずのもの
良い言葉を
- 7565 re pirika kuni p
レ ビリカ クニ ヲ
三つのよいはずのもの
何度も
- 7566 echaranke
エチャランケ
口上を述べる
繰り返した。
- 7567 ehautumkonna-
エハウトゥムコンナ
声の中心
その声が
- 7568 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響いた。
- 7569 okake an ko
オカケ アン コ
あと ある(条件)
それが終わると、
- 7570 Pekennup un kuru
ペケンヌッ ウン クル
ペケンヌッある人
ペケンヌッ彦、
- 7571 shisak rametok
シサク ラメトク
またとない勇者
類稀な勇者の
- 7572 ki charanke
キ チャランケ
する弁論
述べる口上が
- 7573 kakkok hau ne
カクコク ハウ ネ
郭公 声 (繫辞類)
郭公の声のように
- 7574 ouse turse
オウセ トウルセ
ただ 落ちる
響いた。
- 7575 arukorachi
アルコラチ
同じく
同じように、
- 7576 yayiraike itak
ヤイライケ イタク
感謝する 言葉
感謝の言葉と
- 7577 yayababu itak
ヤヤバブ イタク
詫びを言う 言葉
謝罪の言葉、
- 7578 usa ikeuhumshu
ウサ イケウフムシユ
(譲歩) 無事を祝う
無事をねぎらう言葉、
- 7579 yaikeuhumshu kuni
ヤイケウフムシユ クニ
自ら無事を祝う ように
みずからの無事を喜ぶ言葉を
- 7580 tu bishkanike
トゥ ビシカニケ
二つの周囲
周囲に
- 7581 re bishkanike
レ ビシカニケ
三つの周囲
何度も
- 7582 koomommomo kane
コオモムモモ カネ
詳述する (程度)
詳しく述べ、
- 7583 ye wa okere
イエ ワ オケレ
言う(接続) (完了)
言い終えた。
- 7584 raboki ta
ラボキ タ
間 (場所)
その間に、
- 7585 Kotanra un kuru
コタンラ ウン クル
コタンラ ある人
コタンラ彦、
- 7586 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
我が小兄が
- 7587 turesh turanno
トゥレシ トウランノ
妹 とともに
妹とともに来た。
- 7588 kamui shiri ne
カムイ シリ ネ
神 様子 (繫辞類)
神の如き様子であり、
- 7589 pirika ruwe
ビリカ ルウエ
よい 様子
元気な様子
- 7590 okai wa
オカイ ワ
ある (接続)
である。そして、
- 7591 a-utari utara
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 たち
我が一族は
- 7592 okkai utara hene
オッカイ ウタラ ヘネ
男 たち も
男たちも、
- 7593 menoko utara hene
メノコ ウタラ ヘネ
女 たち も
女たちも、
- 7594 uinnere
ウインネレ
大勢である
大勢であり、
- 7595 pirika p batek
ビリカ ヲ バテク
よい もののみ
美しい者ばかり
- 7596 uatte yakka
ウアトテ ヤッカ
大勢集まる (譲歩)
集まっている。しかし、
- 7597 tumuke ta
トゥムケ タ
中 (場所)
その中で、
- 7598 Kotanra un kuru
コタンラ ウン クル
コタンラ ある人
コタンラ彦、
- 7599 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
我が小兄は
- 7600 turesh turanno
トゥレシ トウランノ
妹 とともに
妹とともに、
- 7601 shinnaï chikap ne
シンナイ チカッ ネ
違った鳥 (繫辞類)
異なる鳥のように、
- 7602 shinnaï tori ne
シンナイ トリ ネ
違った鳥 (繫辞類)
異彩を放つ鳥のように
- 7603 iyeutanne
イイエウタンネ
混じる
混ざっている。
- 7604 Kotanra un kuru
コタンラ ウン クル
コタンラ ある人
コタンラ彦、
- 7605 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい我・もつ兄
我が小兄は
- 7606 chirikibuni
チリキブニ
起き上がる
立ち上がり、
- 7607 iki charanke
イキ チャランケ
する弁論
述べる口上は
- 7608 kakkok hau ne
カクコク ハウ ネ
郭公 声 (繫辞類)
郭公の声のように
- 7609 ouse turse
オウセ トウルセ
ただ(だけ) 落ちる
響いた。

*72 Ikeuhushu と書かれているがこのように解釈する。

*73 yaikeuhushu と書かれているがこのように解釈する。

- 7610 **aba keuhumshu**
アバ ケウフムシユ
親 無事を祝う
親族の無事を祝い、
- 7611 **anun keuhumshu**
アヌン ケウフムシユ
よその 無事を祝う
他所の者の無事を祝い、
- 7612 **usa i-keshke p**
ウサ イ・ケシケッ
(譲歩) 我・嫉む もの
我が妬まれたこと、
- 7613 **usa i-nonchi p**
ウサ イ・ノンチッ
(譲歩) 我・嫉む もの
嫉まれたこと、
- 7614 **i-wente**
イ・ウエンテ
我・害をなす
傷つけられ
- 7615 **i-koiki**
イ・コイキ
我・攻める
攻撃されたことに
- 7616 **ukokimattek**
ウコキマトテッ
互いに慌てる
慌てた。
- 7617 **ukoyaiko-**
ウコヤイコ・
互いに自ら
よく
- 7618 **uyebekerba humi**
ウイェベケレバ フミ
考える 気配
考えても、
- 7619 **orsareko**
オロサウレコ
とんでもなく
只事では
- 7620 **okai rok awa**
オカイ ロク アワ
ある (完了) (展開)
なかったが、
- 7621 **tane anakne**
ダネ アナクネ
今 は
今は
- 7622 **kamui ramboken**
カムイ ラムボケン
神 憐れむ
神の憐れみが
- 7623 **yupke kusu**
ユッケ クス
強い (理由・目的)
強く、
- 7624 **nep ne yakka**
ネッ ネ ヤッカ
(繫辞類) (譲歩)
何事も
- 7625 **pirika kunine ne**
ピリカ クニネ ネ
よい ように (繫辞類)
良いようになった。
- 7626 **a-aktonoke**
ア・アットノケ
我・弟君
「我が弟君、
- 7627 **moshiri koro kamui**
モシリ コロ カムイ
国土 持つ 神
国土の神が
- 7628 **Otasam kotan**
オタサム コタン
オタサム 村
オタサム村で
- 7629 **kotusa**
コトウサ
蘇生する
蘇生した。
- 7630 **tam be sonno**
タム ベ ソンノ
このもの真に
それがよく
- 7631 **a-eraman**
ア・エラマン
我・知る
我には分かった
- 7632 **shin ne ruwe ne**
シン ネ ルウェ ネ
様子 (繫辞類) 様子 (繫辞類)
のだ。
- 7633 **eebaki ta**
エエバキ タ
次 (場所)
その次に、
- 7634 **aba sak kuni p**
アバ サク クニ プ
親 欠くはずのもの
親族のいない者、
- 7635 **utar sak kuni p**
ウタラ サク クニ プ
人々 欠くはずのもの
一族のいない者が
- 7636 **a-ne awa**
ア・ネ アワ
我・(繫辞類) (展開)
我であったが、
- 7637 **arwen kamui**
アラウエン カムイ
ひどい 神
極悪の神、
- 7638 **arwen bito**
アラウエン ビト
ひどい 人
性悪の神が
- 7639 **ikoiki**
イコイキ
攻める
攻撃し、
- 7640 **ikeshke**
イゲシケ
妬む
妬んだことを
- 7641 **a-eramusarak**
ア・エラムサラッ
我・気がかりだ
我は心配し、
- 7642 **a-rushka humi**
ア・ルシカ フミ
我・怒る 気配
怒りを覚えたの
- 7643 **okai yakka**
オカイ ヤッカ
ある (譲歩)
だ。しかし、
- 7644 **oman ikiri**
オマン イキリ
行く 列
その経緯により、
- 7645 **Kunashir un kuru**
クナシリ ウンクル
クナシリ ある 人
クナシリ彦、
- 7646 **kamui ne am be**
カムイ ネ アム ベ
神 (繫辞類) ある もの
神である者が
- 7647 **turesh turanno**
トゥレシ トウランノ
妹 ともに
妹とともに来て、
- 7648 **Pekennup un kuru**
ペケンヌッ ウンクル
ペケンヌッ ある 人
ペケンヌッ彦が
- 7649 **turesh turanno**
トゥレシ トウランノ
妹 ともに
妹とともに来て、
- 7650 **utarpa batek**
ウタラバ バテッ
首領 のみ
頭領ばかり、
- 7651 **rametok batek**
ラメトク バテッ
勇者 のみ
勇者ばかりと
- 7652 **a-amkiri shiri**
ア・アムキリ シリ
我・覚えがある 様子
我は知り合ったのだ。
- 7653 **tam be**
タム ベ
このもの
これが
- 7654 **oikkeu ne**
オイッケウ ネ
原因 (繫辞類)
理由となって、
- 7655 **tan tewano**
タン テワノ
この これから
これからは、
- 7656 **shine utar ne**
シネ ウタラ ネ
一つの 人々 (繫辞類)
同じ一族として、
- 7657 **shine irwak ne**
シネ イリワッ ネ
一つの 兄弟 (繫辞類)
親族として
- 7658 **ukar-an**
ウカラ・アン
互いにする・我
互いに結び付き、
- 7659 **uwebe-an**
ウウエベ・アン
親しくする・我
親しくすることが
- 7660 **eashkai**
エアシカイ
できる
できる。
- 7661 **uwenishte-an**
ウウエニシテ・アン
互いに強固になる
互いに強く結び付くことが
- 7662 **eashkai kusu**
エアシカイ クス
できる (理由・目的)
できたので、

- 7663 shino
シノ
まことに
まことに
- 7664 yayiraike-an
ヤイライケ・アン
ありがたく思う・我
我は感謝し、
- 7665 nubetne-an
ヌベトネ・アン
喜ぶ・我
嬉しく思う
- 7666 ruwe ne
ルウェネ
様子 (繫辞類)
のだ。』
- 7667 ari okai be
アリ オカイベ
(引用) あるもの
このようなこと、
- 7668 tu pirika kuni p
トゥ ピリカクニッ
二つのよいはずのもの
良い言葉を
- 7669 re pirika kuni p
レ ピリカクニッ
三つのよいはずのもの
何度も
- 7670 echaranke
エチャランケ
口上を述べる
繰り返した。
- 7671 inkinebe
インキネベ
どちら
誰もかも、
- 7672 rametok tura
ラメトク トウラ
勇者 とともに
勇敢で
- 7673 wayashnu
ワヤシヌ
賢い
賢明であり、
- 7674 pawetokkoro hawe
パウエトクコロ ハウエ
雄弁である 声
雄弁である。
- 7675 urabokkari wa
ウラボッカリ ワ
優劣がある (接続)
優劣がある
- 7676 hawash nankor a
ハワシ ナンコラ
言われる だろう か
だろうか。
- 7677 shiyoro keutum
シヨロ ケウトウム
驚く 心
我は
- 7678 a-yaikore
ア・ヤイコレ
我・もつ
驚いた。
- 7679 okake an ko
オカケ アンコ
あと ある (条件)
それが終わると、
- 7680 rorunso ka ta
ロルンソ カタ
上座 上 (場所)
上座の上で、
- 7681 Nikambi koro kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 7682 ireshu yubi
イレシュ ユビ
養育 兄
育ての兄は、
- 7683 akpo sambe
アクポ サムベ
弟 心臓
弟、心臓よ、
- 7684 ari itak kane
アリ イタク カネ
(引用) 言う (程度)
と云い、
- 7685 i-raukotabu
イ・ラウコタブ
我・つかむ
我を抱きしめた。
- 7686 pom be kishma
ポム ベ キシマ
小さいもの 抱える
幼児を抱くようなこと、
- 7687 hekachi kishma
ヘカチ キシマ
子供 抱える
子供を抱くようなことを
- 7688 i-y-ekarkar kane
イ・イエカカラ カネ
我・する (程度)
我にして、
- 7689 i-shikoruye
イ・シコルイエ
我・撫でる
強く抱きしめた。
- 7690 shisak rametok
シサク ラメトク
またとない 勇者
類稀な勇者は、
- 7691 i-kurkashike
イ・クルカシケ
我・上
我の上で
- 7692 tu nubur nube
トゥ スブル スベ
二つの 濃い 涙
濃い涙を
- 7693 re nubur nube
レ スブル スベ
三つの 濃い 涙
何度も
- 7694 eranke kane
エランケ カネ
落とす (程度)
流して
- 7695 i-ekap
イ・エカフ
我・挨拶する
挨拶した。
- 7696 yuppo ari
ユッポ アリ
兄 (引用)
兄よ、と
- 7697 itak-an kane
イタク・アン カネ
言う・我 (程度)
我も云い、
- 7698 santek kurka
サンテック クルカ
腕 上
腕を
- 7699 a-ukoruyekar
ア・ウコルイエカラ
我：共に撫でる
撫で合った。
- 7700 Kunashir un kuru
クナシリ ウンクル
クナシリ ある人
クナシリ彦と
- 7701 Pekennup un kuru
ペケンヌフ ウンクル
ペケンヌッフ ある人
ペケンヌッフ彦と
- 7702 Kotanra un kuru
コタンラ ウンクル
コタンラ ある人
コタンラ彦、
- 7703 pon a-kor yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
我が小兄は
- 7704 i-teksam orke
イ・テッサム オロケ
我・傍 所
私の傍らへ
- 7705 eshinushinuba
エシヌシヌバ
何度も這う
這い寄ってきた。
- 7706 utashba kane
ウタシバ カネ
互いに (程度)
我々はお互いに
- 7707 a-usantekkashi
ア・ウサンテッカシ
我・互いの腕の上
腕を
- 7708 a-ukoruyekar
ア・ウコルイエカラ
我：共に撫でる
撫で合い、
- 7709 uwekap-an
ウウエカフ・アン
挨拶する・我
挨拶をした。
- 7710 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹と
- 7711 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある 女
エトロバ姫と
- 7712 inauru kor mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女が、
- 7713 shinu kane
シヌ カネ
膝行する (程度)
這い
- 7714 reye kane
レイエ カネ
這う (程度)
寄りながら
- 7715 arki
アッキ
来る
やって来た。

- 7716 a-tureshutari
ア・トゥレシュタリ
我・妹たち
我が妹たちは
- 7717 Nikambi koro kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 7718 ireshu yubi
イレシュ ユビ
養育 兄
育ての兄と
- 7719 ukoekap
ウコエカフ
互いに挨拶する
挨拶をして、
- 7720 santek kashi
サンテック カシ
腕 上
腕と
- 7721 sankokkasapa*74
サンコッカサパ
膝頭
膝頭を
- 7722 koruiruiba
コルイルイバ
撫でる
撫でさすった。
- 7723 ireshu yubi
イレシュ ユビ
養育 兄
育ての兄は
- 7724 shibishkani un
シビシカニ ウン
自分の周り (方向)
みずからの周囲へ
- 7725 tureshpo ari
トゥレシポ アリ
妹 (引用)
妹よ、と
- 7726 itak kane
イタック カネ
言う (程度)
言い、
- 7727 a-tureshutarihi
ア・トゥレシュタリヒ
我・妹たち
我が妹たちの
- 7728 kimuikashike
キムイカシケ
頭上
頭上を
- 7729 koruiruiba kane
コルイルイバ カネ
撫でる (程度)
撫でさすった。
- 7730 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女の
- 7731 koro yubi tura
コロ ユビ トウラ
持つ 兄 とともに
兄とも
- 7732 uruiruiba
ウルイルイバ
互いに撫でさする
腕を撫で合い、
- 7733 uwepak
ウウエカフ
互いに挨拶する
挨拶をした。
- 7734 menoko ot ta
メノコ オト タ
女 所 (場所)
女たちも
- 7735 tanebo konna
タネボ コンナ
今 こそ
今は
- 7736 ukeuhumshuba
ウケウフムシュバ
互いに無事を祝う
互いの無事をねぎらった。
- 7737 Pekennup um mat hene
ペケンヌップ ウム マト ヘネ
ペケンヌップ ある 女 も
ペケンヌップ姫も
- 7738 kewe humshuba
ケウエ フムシュバ
身体 ねぎらう
無事をねぎらい、
- 7739 uchishkara
ウチシカラ
互いに泣く
一緒に泣いた。
- 7740 a-utari utar
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 人々
我が一族は
- 7741 itubeshnu
イトゥベシヌ
同情する
同情した。
- 7742 okake an ko
オカケ アン コ
あと ある (条件)
それが終わると、
- 7743 Nikambi koro kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦を
- 7744 oshiso sam ta
オシソ サム タ
右座 そば (場所)
右座の側の
- 7745 abe tuisam ne
アベ トウイサム ネ
火 すぐ側 (繫辞類)
火の傍らへ
- 7746 an-eainukoro
アネアイヌコロ
我・大事にする
我は座らせた。
- 7747shintoko oshmake
シントコ オシマケ
ほかい その背後
行器の背後で
- 7748 Kunashir un kuru
クナシリ ウン クル
クナシリ ある 人
クナシリ彦の
- 7749 pirika ashke
ピリカ アシケ
よい 手
美しい手を
- 7750 a-riknabuni
ア・リクナブニ
我・高くあげる
我は高く上げ、
- 7751 a-eainukoro
ア・エアイヌコロ
我・敬う
向いへ
- 7752 a-yaibekare
ア・ヤイベカレ
我・沿っていく
座らせた。
- 7753 Kunashir un kuru
クナシリ ウン クル
クナシリ ある 人
クナシリ彦の
- 7754 kirsamake
キリサマケ
側
傍らに、
- 7755 Kotanra un kuru
コタンラ ウン クル
コタンラ ある 人
コタンラ彦、
- 7756 pon a-kor yubi
ポン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
我が小兄を
- 7757 an-earekar
アネアレカラ
我・置く
座らせた。
- 7758 Pekennup un kuru
ペケンヌップ ウン クル
ペケンヌップ ある 人
ペケンヌップ彦を
- 7759 a-ubekaare
ア・ウベカアレ
我・正対させる
並んで座らせた。
- 7760 orowano
オロワノ
(始点)
それから、
- 7761 tanne chikupso
タンネ チクッソ
長い 酒宴の座
長い酒宴の座が
- 7762 chishiturire
チシトゥリレ
伸びる
伸ばされた。
- 7763 chikupso bake
チクッソ バケ
酒宴の座 先頭
酒宴の座の上手は
- 7764 homar kane
ホマラ カネ
かすんでいる (程度)
かすんでおり、
- 7765 chikupso kese
チクッソ ケセ
酒宴の座 末端
酒宴の座の下手は
- 7766 homar kane
ホマラ カネ
かすんでいる (程度)
かすんでいる。

*74 Sankokkasap と書かれているがこのように解釈する。

- 7767 orowano
オロワノ
(始点)
それから、
- 7768 kamui or bakno
カムイ オロ バクノ
神 所 まで
神々のところまで、
- 7769 kanto or bakno
カント オロ バクノ
天 所 まで
天空まで、
- 7770 inauebuni-an
イナウエブニ・アン
イナウを捧げる・我
イナウを捧げ、
- 7771 sakeebuni-an
サケエブニ・アン
酒を捧げる・我
酒を捧げた。
- 7772 kamuinomi-an wa
カムイノミ・アン ワ
神に祈る・我 (接続)
我々は神への祈りを
- 7773 a-okere
ア・オケレ
我・終わる
終えた。
- 7774 tuima kamui
トゥイマ カムイ
遠い 神
我々は遠くの神、
- 7775 hanke kamui
ハンケ カムイ
近い 神
近くの神に
- 7776 a-tukiebishte
ア・トゥキエビシテ
我・杯をささげる
杯を捧げ、
- 7777 a-okere
ア・オケレ
我・終わる
それを終えた。
- 7778 tap orowa
タップ オロワ
これ (始点)
それから、
- 7779 mak un ekashi utar
マク ウン エカシ ウタラ
奥 ある先祖 人々
遠い先祖たちを
- 7780 obittano
オビトタノ
皆
一人残らず
- 7781 a-koshinurapba
ア・コシヌラッパ
我・先祖を供養する
供養し、
- 7782 a-okere
ア・オケレ
我・終わる
それを終えた。
- 7783 sanke ekashi utar
サンケ エカシ ウタラ
方の先祖 人々
近い先祖たちを
- 7784 obittano
オビトタノ
皆
一人残らず
- 7785 a-koshinurappa
ア・コシヌラッパ
我・祭る
供養し、
- 7786 a-okere
ア・オケレ
我・終わる
それを終えた。
- 7787 a-eramushinne
ア・エラムシンネ
我・心落ち着く
我は安心した。
- 7788 tap orowa
タップ オロワ
これ (始点)
それから、
- 7789 pirika tonoto
ピリカ トノト
よい 酒
良い酒、
- 7790 kamui tonoto
カムイ トノト
神 酒
神の酒、
- 7791 tonoto
トノト
酒
その酒を
- 7792 a-ukoante
ア・ウコアンテ
我・ととのえる
酌み交わした。
- 7793 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹、
- 7794 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は
- 7795 chikupso utur
チクプソ ウトゥル
酒宴の座 間
酒宴の座の間を
- 7796 erututke
エルトゥツケ
行き来する
行き来し、
- 7797 iyomare
イヨマレ
酒を注ぐ
酒を注いだ。
- 7798 a-utari utar
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 人々
我が一族は
- 7799 shino
シノ
まことに
まことに
- 7800 nubetne wa
ヌベツネ ワ
喜ぶ (接続)
喜び、
- 7801 ki chikup hau
キ チクプ ハウ
する 酒宴 声
酒宴の声は
- 7802 kamui riwak ne
カムイ リワツ ネ
神 帰る (繫辞類)
帰天する神のように
- 7803 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響いた。
- 7804 mat utar ka ta
マト ウタラ カ タ
女 人々 上 (場所)
女たちの
- 7805 inne kuni p
インネ クニ プ
大勢である ようにもの
大勢で
- 7806 hechiri hawe
ヘチリ ハウエ
踊り 声
歌い踊る声、
- 7807 rimse hawe
リムセ ハウエ
踊る 声
踊る声
- 7808 bebunitara
ベブニタラ
騒がしい
響いた。
- 7809 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバ ある 女
エトロバ姫、
- 7810 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹と
- 7811 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女、
- 7812 Pekennup um mat
ペケンヌップ ウム マト
ペケンヌップ ある 女
ペケンヌップ姫は
- 7813 shinnai chikap ne
シンナイ チカッ ネ
違った 鳥 (繫辞類)
異なる鳥のように、
- 7814 shinnai tori ne
シンナイ トリ ネ
違った 鳥 (繫辞類)
異彩を放つ鳥のように
- 7815 hechir atba
ヘチリ アトバ
踊る 先頭
歌の始め、
- 7816 rimse atba
リムセ アトバ
踊る 先頭
踊りの始めを
- 7817 yuppa kane
ユッパ カネ
締める (程度)
仕切っている。
- 7818 uwenubetnepa
ウウエヌベツネパ
皆で喜ぶ
互いに喜んでいる。
- 7819 nishpa utar
ニシパ ウタラ
長者 人々
長者たち、

- 7820 utarpa utar
ウタラバ ウタラ
首領 人々
頭領たちは
- 7821 uwokarpa
ウウオカラバ
交替する
次々と
- 7822 uwokarba
ウウオカラバ
交替する
交替して、
- 7823 chiobumbare
チオブムバレ
起き上がる
起き上がり、
- 7824 otu tapkar ru
オトゥ タツカラ ル
二つの 踏舞をする 跡
踏舞を
- 7825 ore tapkar ru
オレ タツカラ ル
三つの 踏舞をする 跡
幾度も
- 7826 uturare
ウトウラレ
交互に続ける
繰り返し返した。
- 7827 hoshmake
ホシマケ
背後
その背後で
- 7828 katkemat utara
カトケマト ウタラ
婦人 たち
婦人たちが
- 7829 ehorippa
エホリッパ
跳躍する
踊った。
- 7830 shino
シノ
まことに
まことに、
- 7831 uwenubetne
ウウエヌベトネ
喜ぶ
互いに喜んでいる。
- 7832 an-eyaikiror-
アネヤイキロロ・
我・自らの力
我は嬉しく
- 7833 ante kane
アンテ カネ
あらしめる (程度)
思った。
- 7834 tane
タネ
今
今は
- 7835 chikup noshki
チクッ ノシキ
酒宴 真中
酒宴の真中に
- 7836 oman kane
オマン カネ
行く (程度)
なった。
- 7837 a-tukirikikur-
ア・トゥキリキクル・
我・杯を高く
我は杯を高く
- 7838 buni kane
ブニ カネ
上げる (程度)
上げ、
- 7839 Kunashir um mat
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ姫、
- 7840 inauru koro mat
イナウル コロ マト
イナウの冠 持つ 女
イナウ冠の女を
- 7841 a-hotuyekar
ア・ホトゥイエカラ
我・呼ぶ
呼んだ。
- 7842 a-kobakeshoro
ア・コバケシコロ
我・飲みさしを出す
我が飲みさしを渡すと、
- 7843 oribak rui be
オリバク ルイ ベ
畏まる 激しいもの
ひどく畏まっているもの
- 7844 kone p ne kusu
コネ ッ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 7845 shinu kane
シヌ カネ
膝行する (程度)
這い
- 7846 reye kane
レイエ カネ
這う (程度)
寄りながら
- 7847 arki wa
アッキ ワ
来る (接続)
やって来て、
- 7848 tuki kurbok
トゥキ クルボク
杯 下
杯の下で
- 7849 kohebokiki
コヘボキキ
頭を下げる
顔を上げ、
- 7850 tuki uina
トゥキ ウイナ
杯 手に取る
杯を受け取った。
- 7851 tuki kurka
トゥキ クルカ
杯 上
我は杯の表面を
- 7852 a-koruiruye
ア・コルイルイェ
我・撫でさする
撫でながら、
- 7853 itak-an hawe
イタク・アン ハウエ
言う・我 声
このように
- 7854 ene okai i
エネ オカイ イ
このように ある こと
言った。
- 7855 koninkar kusu
コニンカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 7856 Kunashiri um mat
クナシリ ウム マト
クナシリ ある 女
クナシリ姫、
- 7857 kamui katkemat
カムイ カトケマト
神 婦人
神である婦人、
- 7858 itak-an chiki
イタク・アン チキ
言う・我 (条件)
話すから
- 7859 pirikano nu yan
ピリカノ ヌ ヤン
良く 聞く (命令)
よく聞きなさい。
- 7860 arwen bito
アラウエン ビト
ひどい 人
極悪の神、
- 7861 arwen kamui
アラウエン カムイ
ひどい 神
性悪の神、
- 7862 kamui kar irara
カムイ カラ イララ
神 する 悪戯する
神のした悪戯が
- 7863 oman ikiri
オマン イキリ
行く 列
あつた。
- 7864 katkemat keutum
カトケマト ケウトウム
婦人 心
あなたは婦人の心、
- 7865 pirika keutum
ピリカ ケウトウム
よい 心
良い心を
- 7866 e-koro kusu
エ・コロ クス
汝・持つ (理由・目的)
持っているので、
- 7867 naani bak be
ナアニ バク ベ
まさに までもの
もう少しで
- 7868 a-i-y-ekarkar ko
ア・イ・イエカラカラ コ
我・される (条件)
我が死にそうになると、
- 7869 chikeutusare
チケウトウサレ
蘇生する
我を救出して
- 7870 e-i-y-ekarkar
エ・イ・イエカラカラ
汝・我・する
くれた。
- 7871 a-ekot kush ne p
ア・エコト クシ ネ プ
我・死ぬ ように (繫辞類) もの
我は死ぬところであったが、

第16章 婚姻

- 7872 e-i-kikkar kusu
エ・イ・キッカク ス
汝・我・防ぐ (理由・目的)
あなたが防いでくれた。
- 7873 tane
タネ
今
今、
- 7874 shiknu-an wa
シックス・アン ワ
生きている・我 (接続)
我は生き返って
- 7875 teta an-an
テタ アナン
ここにいる・我
ここにいる
- 7876 korachine
コラチネ
ように
ようで
- 7877 ruwe ne yakka
ルウェネ ヤッカ
様子 (繫辞類) (譲歩)
ある。しかし、
- 7878 wem be kinra
ウエムベ キンラ
悪いもの 狂気
我は悪事の狂気、
- 7879 tumunchi kinra
トゥムンチ キンラ
戦争 狂気
戦いの狂気に
- 7880 eyaitushtekka
エヤイトウシテッカ
沈黙する
取り憑かれ
- 7881 a-ki p ne kusu
ア・キ プ ネ クス
我・するもの (繫辞類) (理由・目的)
ており、
- 7882 eani ne yakka
エアニネ ヤッカ
汝 (繫辞類) (譲歩)
あなたも
- 7883 naanika
ナアニカ
まさに
もう少して
- 7884 e-raike-an yak
エ・ライケ・アン ヤク
汝・殺す・我 (条件)
殺すところ
- 7885 a-ye yakka
ア・イエ ヤッカ
言われる (譲歩)
であったそうだが、
- 7886 ramuan kuni p
ラムアン クニ プ
聡い ようなもの
あなたは賢明
- 7887 e-ne kusu
エ・ネ クス
汝・である (理由・目的)
であった。
- 7888 iyairaikere
イヤイライケレ
ありがとう
感謝する。
- 7889 a-un chise ta
ア・ウン チセ タ
我・いる家 (場所)
我が家へ
- 7890 e-ek wa
エ・エック ワ
汝・来る (接続)
来て、
- 7891 tane bakno
タネ バクノ
今 まで
今まで、
- 7892 humnanta
フムナンタ
一個所で
同じ場所
- 7893 shine ibe
シネ イベ
一つの 食事する
同じ食事を
- 7894 a-ki kane
ア・キ カネ
我・する (程度)
して、
- 7895 abunno
アブノ
静かに
穏やかに
- 7896 okai-an ruwe
オカイ・アン ルウェ
いる・我 様子
暮らしており、
- 7897 shino
シノ
まことに
まことに
- 7898 a-enubetne
ア・エヌベトネ
我・喜ぶ
我は嬉しい。
- 7899 mat sak ainu
マト サク アイヌ
女 欠く 人間
我は妻のいない人間
- 7900 a-ne a yakun
ア・ネ ア ヤクン
我・(繫辞類) 完了 (条件)
であるならば、
- 7901 shirika sak be
シリカ サク ベ
表面 欠くもの
容姿も悪く、
- 7902 nanka sak be
ナンカ サク ベ
顔面 欠くもの
容貌も悪い者
- 7903 a-ne a yakka
ア・ネ ア ヤッカ
我・(繫辞類) 完了 (譲歩)
ではあるが、
- 7904 shibaroshukere
シバロシユケレ
食事の世話をさせる
あなたに食事の世話を
- 7905 e-kire-an
エ・キレ・アン
汝・させる・我
して
- 7906 rusui ruwe
ルスイ ルウェ
(欲求) 様子
もらいたいと
- 7907 ne koroka
ネ コロカ
(繫辞類) (逆接)
思う。しかし、
- 7908 eeramat
エエラマト
(未詳)
(未詳)
- 7909 korachi
コラチ
ように
このように、
- 7910 shinta ka wano
シンタ カ ワノ
揺りかご上 から
揺り籠の上から、
- 7911 yarbe ka wano
ヤッベ カ ワノ
おしめ上 から
襟の上から
- 7912 a-kor shikup mat
ア・コロ シクッ マト
我・もつ 成長する 女
約束した妻が
- 7913 an kusu
アン クス
ある (理由・目的)
いるので、
- 7914 e-kor-an
エ・コロ・アン
汝・持つ・我
あなたを妻にすることは
- 7915 eaikap
エアイカッ
できない
できない
- 7916 ruwe ne na
ルウェネ ナ
様子 (繫辞類) ぞ
のだ。
- 7917 iteki wenno
イテキ ウェンノ
決して 悪く
決して 悪く
- 7918 iramu yan
イラム ヤン
思う (命令)
思うな。
- 7919 sonno am be
ソンノ アム ベ
真に あるもの
本当のところ、
- 7920 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹、
- 7921 a-tureshipo
ア・トウレシポ
我・妹
我が妹と
- 7922 Etorba un kuru
エトロバ ウン クル
エトロバある人
エトロパ彦は結ばれる。
- 7923 Nikambi kor kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ人
ニカンビコロ彦、
- 7924 a-yubihi
ア・ユビヒ
我・兄
我が兄の

- 7925 **chibaroshukere**
チバロシユケレ
世話をさせる
食事の世話を
- 7926 **a-kire ari**
ア・キレ アリ
我・させる (引用)
してもらおうと
- 7927 **yainu-an a koroka**
ヤイヌ・アン ア コロカ
考える・我 完了 (逆接)
考えたのだが、
- 7928 **sui yainu-an**
スイ ヤイヌ・アン
再び考える・我
改めて考えしてみた。
- 7929 **ushike un**
ウシケ ウン
ところ (方向)
その場所へ、
- 7930 **tapne ne yakne**
タッネ ネ ヤッネ
これである (繫辞類) (条件)
行くならば
- 7931 **iyotta pirika**
イヨッタ ビリカ
最も よい
一番良い
- 7932 **ari yainu-an na**
アリ ヤイヌ・アン ナ
(引用) 考える・我 ぞ
と思う。
- 7933 **Nikambi koro kuru**
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 7934 **a-yubi**
ア・ユビ
我・兄
我が兄の
- 7935 **chibaroshuke**
チバロシユケ
世話を
食事の世話を
- 7936 **e-karkar wa**
エ・カラカラ ワ
汝・する (接続)
して
- 7937 **i-kore kunak**
イ・コレ クナク
我・与える (引用)
くれ
- 7938 **ramu yan**
ラム ヤン
思う (命令)
ないか。
- 7939 **yakne**
ヤッネ
(条件)
そうすれば、
- 7940 **tan tewano**
タン テワノ
この これから
これからは、
- 7941 **sonno**
ソンノ
真に
まことに、
- 7942 **shine utar ne**
シネ ウタラネ
一つの人々 (繫辞類)
同じ一族として
- 7943 **okai-an eashkai**
オカイ・アン エアシカイ
いる・我 できる
暮らすことができる
- 7944 **ruwe ne na**
ルウェ ネ ナ
様子 (繫辞類) ぞ
のだ。」
- 7945 **ari itak-an awa**
アリ イタク・アン アワ
(引用) 言う・我 (展開)
我がこう言う、
- 7946 **katu ne kane**
カトゥ ネ カネ
かたち (繫辞類) (程度)
あたりまえに
- 7947 **enubetne kuni p**
エヌベトネ クニ プ
喜ぶ はずのもの
喜ぶもの
- 7948 **ne wa ne yakne**
ネ ワ ネ ヤッネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
であるならば、
- 7949 **kotom korokaiki**
コトム コロカイキ
ようである (逆接)
さもあろうが、
- 7950 **tuki uina**
トゥキ ウイナ
杯 手に取る
杯を受け取り、
- 7951 **rikunruke**
リクンルケ
高くかざす
高くかざし、
- 7952 **raunruke**
ラウンルケ
低くかざす
低くかざして
- 7953 **iyemetu**
イイエメトゥ
飲みさしを受ける
飲みさしを受け取り、
- 7954 **tuki ikorura**
トゥキ イコルラ
杯 運ぶ
杯を運んだ。
- 7955 **yaisembir-**
ヤイセムビリ・
自らの陰
物陰で笑みを
- 7956 **omina kane**
オミナ カネ
笑う (程度)
浮かべている。
- 7957 **Nikambi koro kuru**
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 7958 **a-kor yubi**
ア・コフ ユビ
我・もつ 兄
我が兄は
- 7959 **homatu rui be**
ホマトウルイ ベ
驚く 激しいもの
慌てたもの
- 7960 **kone p ne kusu**
コネ ヲ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 7961 **ikkeu noshki**
イクケウ ノシキ
腰 真中
腰の真中を
- 7962 **komkosanu**
コムコサヌ
すばやく屈む
折り曲げて、
- 7963 **mateonkami**
マテオンカミ
妻帯の拝礼をする
嫁取りの拝礼をした。
- 7964 **Kunashir un kuru**
クナシリ ウン クル
クナシリ ある 人
クナシリ彦
- 7965 **ne wa ne yakka**
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
も、
- 7966 **shino**
シノ
まことに
まことに
- 7967 **nubetne p**
ヌベトネ プ
喜ぶ もの
喜んで
- 7968 **ne kusu**
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
おり、
- 7969 **ramno rino**
ラムノ リノ
低く 高く
低く、高く、
- 7970 **i-koonkami**
イ・コオンカミ
我・拝礼する
我に拝礼し、
- 7971 **i-koyairaike**
イ・コヤイライケ
我・感謝する
感謝した。
- 7972 **aokai ne yakka**
アオカイ ネ ヤッカ
我 (繫辞類) (譲歩)
我も、
- 7973 **shino**
シノ
まことに
まことに
- 7974 **a-eramushinne**
ア・エラムシンネ
我・心落ち着く
安心した。
- 7975 **tap orowa**
タッ オロワ
これ (始点)
それから、
- 7976 **kannaruino**
カンナルイノ
再びまた
再び、
- 7977 **a-tukirikikur-**
ア・トゥキリキクル・
我・杯を高く
我は杯を高く

- 7978 **bumba kane**
ブムバ カネ
上げる (程度)
上げ、
- 7979 **chiseta turesh**
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹、
- 7980 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹を
- 7981 **a-hotuyekar**
ア・ホトウイェカラ
我・呼ぶ
呼んだ。
- 7982 **a-kobakeshoro**
ア・コバケシコロ
我・飲みさしを出す
我は飲みさしを渡した。
- 7983 **shinu kane**
シヌ カネ
膝行する (程度)
妹は這い
- 7984 **reye kane**
レイエ カネ
這う (程度)
寄りながら
- 7985 **arki wa**
アッキワ
来る (接続)
やって来て、
- 7986 **tuki uina**
トゥキ ウイナ
杯 手に取る
杯を受け取った。
- 7987 **tuki kurka**
トゥキ クルカ
杯 上
我は杯の表面を
- 7988 **a-koruye kane**
ア・コルイェ カネ
我・撫でる (程度)
撫でながら
- 7989 **itak-an hawe**
イタク・アン ハウエ
言う・我 声
このように
- 7990 **ene okai i**
エネ オカイ
このように ある こと
言った。
- 7991 **koninkar kusu**
コニンカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 7992 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹よ、
- 7993 **itak-an chiki**
イタク・アン チキ
言う・我 (条件)
話すから
- 7994 **pirikano nu yan**
ピリカノ ヌ ヤン
良く 聞く (命令)
よく聞きなさい。
- 7995 **shine utat ta**
シネ ウタトタ
一つの たち (場所)
同じ一族として、
- 7996 **shintā ka wano**
シンタ カ ワノ
揺りかご 上 から
あなたは揺り籠の上から、
- 7997 **hokukoshukup be**
ホクコシクツッ ベ
夫と共に成長する もの
夫とともに成長したもの
- 7998 **e-ne a koroka**
エ・ネ ア コロカ
汝・である 完了 (逆接)
であるが、
- 7999 **i-keshke p**
イ・ケシケッ
我・嫉む もの
我が妬まれ、
- 8000 **i-nonchi p**
イ・ノンチッ
我・嫉む もの
嫉まれた
- 8001 **renkap kusu**
レンカッフ クス
意志 (理由・目的)
ために、
- 8002 **echi-uwehaita yakka**
エチ・ウウエハイタ ヤッカ
汝ら・共に欠く (譲歩)
あなたたちは離れたが、
- 8003 **sui kamui renkai ne**
スイ カムイ レンカイ ネ
再び 神 意志 (繫辞類)
再び神の意向で、
- 8004 **tap eashiri**
タッフ エアシリ
これ それこそ
まさしく、
- 8005 **Kunashiri un kuru**
クナシリ ウン クル
クナシリ ある 人
クナシリ彦、
- 8006 **kamui ne am be**
カムイ ネ アム ベ
神 (繫辞類) ある もの
神である者と
- 8007 **e-kotom nanka**
エ・コトム ナンカ
汝にふさわしい 顔面
似つかわしい容貌、
- 8008 **e-kotom shirika**
エ・コトム シリカ
汝にふさわしい 表面
似つかわしい容姿
- 8009 **ne ruwe tab an na**
ネ ルウエ タバン ナ
(繫辞類) 様子 これ ある ぞ
である。
- 8010 **pirikano**
ピリカノ
良く
よく、
- 8011 **katkemat buri**
カトケマト ブリ
婦人 行い
婦人のおこない、
- 8012 **kamui buri**
カムイ ブリ
神 行い
神のおこないを
- 8013 **eashkai wa**
エアシカイ ワ
できる (接続)
して、
- 8014 **Kunashir un kuru**
クナシリ ウン クル
クナシリ ある 人
クナシリ彦、
- 8015 **kamui ne am be**
カムイ ネ アム ベ
神 (繫辞類) ある もの
神である者の
- 8016 **chibaroshuke**
チバロシユケ
世話をする
食事の世話を
- 8017 **e-ekarkar**
エ・エカラカラ
汝・する
する
- 8018 **kusu ne**
クス ネ
(理由・目的) (繫辞類)
ことに
- 8019 **ruwe tab an na**
ルウエ タバン ナ
様子 これ ある ぞ
「しなさい。」
- 8020 **ari itak-an awa**
アリ イタク・アン アワ
(引用) 言う・我 (展開)
我がこう言うのと、
- 8021 **katu ne kane**
カトウ ネ カネ
かたち (繫辞類) (程度)
あたりまえに
- 8022 **eyaikobuntek be**
エヤイコブンテック ベ
喜ぶ もの
喜ぶもの
- 8023 **ne wa ne yakne**
ネ ワ ネ ヤクネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
であるならば、
- 8024 **kotom korokaiki**
コトム コロカイキ
ようである (逆接)
さもあろうが、
- 8025 **yaisembir-**
ヤイセムビリ・
自らの陰
物陰で笑みを
- 8026 **omina kane**
オミナ カネ
笑う (程度)
浮かべている。
- 8027 **tuki uina**
トゥキ ウイナ
杯 手に取る
杯を受け取り、
- 8028 **rikunruke**
リクンルケ
高くかざす
高くかざし、
- 8029 **raunruke**
ラウンルケ
低くかざす
低くかざして
- 8030 **koonkami**
コオンガミ
拝礼する
拝礼し、

- 8031 iyemetu
イイエメトウ
飲みさしを受ける
飲みさしを受け取って
- 8032 tuki ikorura
トゥキ イコルラ
杯 運ぶ
杯を運んだ。
- 8033 Kunashiri un kuru
クナシリ ウンクル
クナシリ ある人
クナシリ彦、
- 8034 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 (繫辞類) あるもの
神である者は
- 8035 katu ne kane
カトゥ ネ カネ
かたち (繫辞類) (程度)
あたりまえに
- 8036 nubetne kuni p
ヌベトネ クニ ヲ
喜ぶ はずのもの
喜ぶ者
- 8037 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
であるならば、
- 8038 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである (逆接)
さもあろうが、
- 8039 ikkeu noshki
イクケウ ノシキ
腰 真中
腰の真中を
- 8040 komkosanu
コムコサヌ
すばやく屈む
折り曲げて、
- 8041 mateonkami
マテオンカミ
妻帯の拝礼をする
嫁取りの拝礼をした。
- 8042 tu wan onkami
トゥ ワン オンカミ
二つの十の礼拝
二十の拝礼、
- 8043 re wan onkami
レ ワン オンカミ
三つの十の礼拝
三十の拝礼を
- 8044 arukakushte
アルカクシテ
重ねる
繰り返した。
- 8045 an-eramushinne
アネラムシンネ
我・安心する
我は安心した。
- 8046 tap orowa sui
タップ オロワ スイ
これ (始点) 再び
それからまた、
- 8047 kannaruino
カンナルイノ
再びまた
再び、
- 8048 a-tukirikikur-
ア・トゥキリキクル・
我・杯を高く
我は杯を高く
- 8049 buni kane
ブニ カネ
上げる (程度)
上げ、
- 8050 Kotanra um mat
コタンラ ウム マト
コタンラ ある女
コタンラ姫、
- 8051 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹を
- 8052 a-hotuyekar
ア・ホトゥイェカラ
我・呼ぶ
呼んだ。
- 8053 a-kobakeshgoro
ア・コバケシゴロ
我・飲みさしを出す
我は飲みさしを渡した。
- 8054 shinu kane
シヌ カネ
膝行する (程度)
妹は這い
- 8055 reye kane
レイエ カネ
這う (程度)
寄りながら
- 8056 arki
アラキ
来る
やって来てた。
- 8057 oribak kuni p
オリバックニ ヲ
畏まる はずのもの
ひどく畏まっているもの
- 8058 kone p ne kusu
コネ ヲ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
であり、
- 8059 tuki kurbok
トゥキ クルボク
杯 下
杯の下で
- 8060 kohebokiki
コヘボキキ
頭を下げる
顔を上げ、
- 8061 tuki uina
トゥキ ウイナ
杯 手に取る
杯を受け取った。
- 8062 tuki kurka
トゥキ クルカ
杯 上
杯の表面を
- 8063 a-koruye kane
ア・コルイェ カネ
我・撫でる (程度)
我は撫でた。
- 8064 koninkar kusu
コンインカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 8065 Kotanra um mat
コタンラ ウム マト
コタンラ ある女
コタンラ姫、
- 8066 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹よ、
- 8067 e-eraman
エ・エラマン
汝・知る
あなたが知った
- 8068 korachi
コラチ
ように
ように、
- 8069 e-nu
エ・ヌ
汝・聞く
あなたが聞いた
- 8070 korachi
コラチ
ように
ように、
- 8071 tapne tapne kane
タップネ タップネ カネ
これである これである (程度)
あのような
- 8072 ikkewe am
イクケウエ アム
元 ある
原因があった
- 8073 be ne kusu
ベ ネ クス
もの (繫辞類) (理由・目的)
のだ。
- 8074 Pekennup un kuru
ペケンヌップ ウンクル
ペケンヌップ ある人
ペケンヌップ彦、
- 8075 kamui rametok
カムイ ラメトク
神 勇者
神である勇者は
- 8076 anun ne a yakka
アヌン ネ ア ヤッカ
よその (繫辞類) 完了 (譲歩)
他所者ではあるが、
- 8077 taban tewano
タバタン テワノ
この これから
これからは
- 8078 shine utar ne
シネ ウタラ ネ
一つの 人々 (繫辞類)
同じ一族として、
- 8079 shine irwak ne
シネ イリワク ネ
一つの 兄弟 (繫辞類)
親族として、
- 8080 okai-an wa
オカイ・アン ワ
いる・我 (接続)
暮らし、
- 8081 uwebe-an
ウウエベ・アン
親しくする・我
親しくする
- 8082 kusu ne
クス ネ
(理由・目的) (繫辞類)
つもりだ。
- 8083 ainu buri
アイヌ ブリ
人間 行い
人間のおこない、

- 8084 kamui buri
カムイ ブリ
神 行い
神のおこないは
- 8085 ene okai i
エネ オカイ
このようにある こと
このよう
- 8086 kone p ne kusu
コネ ッ ネ クス
であるもの(繫辞類)(理由・目的)
である。
- 8087 tane
タネ
今
今は
- 8088 uwesamanno
ウエサマンノ
いっしょに
我らはともに、
- 8089 yairamkotba-an
ヤイラムコトバ・アン
自ら心を結び付ける・我
心を通わせる
- 8090 ushike
ウシケ
ところ
ことが
- 8091 a-ba ruwe
ア・バ ルウエ
我・見つける 様子
できた
- 8092 ne kusu
ネ クス
(繫辞類)(理由・目的)
のだ。
- 8093 katkemat buri
カトケマト ブリ
婦人 行い
婦人のおこない、
- 8094 kamui buri
カムイ ブリ
神 行い
神のおこないを
- 8095 pirikano
ピリカノ
良く
よく
- 8096 eashkai wa
エアシカイ ワ
できる (接続)
して、
- 8097 Pekennup un kuru
ペケンヌッ ウン クル
ペケンヌッある 人
ペケンヌッ彦、
- 8098 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 (繫辞類) あるもの
神である者の
- 8099 chibaroshuke
チバロシユケ
世話をする
食事の世話を
- 8100 e-karkar wa
エ・カッカワ
汝・する (接続)
して
- 8101 i-kore kunak
イ・コレ クナク
我・与える(引用)
くれ
- 8102 ramu yan
ラム ヤン
思う(命令)
「ないか。」
- 8103 ari itak-an chiki
アリ イタク・アン チキ
(引用) 言う・我 (条件)
我がそう言う、
- 8104 sonno sonno
ソンノ ソンノ
真に 真に
まことに、
- 8105 keutum oshi wano
ケウトウム オシ ワノ
心 中 から
心の底から、
- 8106 ram oshi wano
ラム オシ ワノ
心 中 から
純粋な気持ちで
- 8107 enubetne kuni p
エヌベトネ クニ ッ
喜ぶ はずのもの
喜ぶもの
- 8108 kone p ne kusu
コネ ッ ネ クス
であるもの(繫辞類)(理由・目的)
であり、
- 8109 eyaisembir-
エヤイセムビリ・
自らの陰
物陰で笑みを
- 8110 omina kane
オミナ カネ
笑う(程度)
浮かべている。
- 8111 tuki uina
トゥキ ウイナ
杯 手に取る
杯を受け取り、
- 8112 rikunruke
リクンルケ
高くかざす
高くかざし、
- 8113 raunruke
ラウンルケ
低くかざす
低くかざして
- 8114 koonkami
コオンカミ
拝礼する
拝礼し、
- 8115 iyemetu
イイエメトゥ
飲みさしを受ける
飲みさしを受け取って
- 8116 tuki ikorura
トゥキ イコルラ
杯 運ぶ
杯を運んだ。
- 8117 Pekennup un kuru
ペケンヌッ ウン クル
ペケンヌッある 人
ペケンヌッ彦は
- 8118 eashka
エアシカ
ほんとうに
まさしく
- 8119 homatu rui be
ホマトウ ルイ ベ
驚く 激しいもの
慌てたもの、
- 8120 nubetne rui be
ヌベトネ ルイ ベ
喜ぶ 激しいもの
喜んだもの
- 8121 kone p ne kusu
コネ ッ ネ クス
であるもの(繫辞類)(理由・目的)
であるから、
- 8122 ikkeu noshki
イクケウ ノシキ
腰 真中
腰の真中を
- 8123 komkosamba
コムコサムバ
折り曲げる
折り曲げて、
- 8124 mateonkami
マテオンカミ
妻帯の拝礼をする
嫁取りの拝礼をした。
- 8125 an-eramushinne
アネラムシンネ
我・安心する
我は安心した。
- 8126 tap orowa sui
タップ オロワ スイ
これ(始点) 再び
それからまた、
- 8127 kannaruino
カンナルイノ
再びまた
再び、
- 8128 a-tukirikikur-
ア・トゥキリキクル・
我・杯を高く
我は杯を高く
- 8129 buni kane
ブニ カネ
上げる(程度)
上げ、
- 8130 Pekennup um mat
ペケンヌッ ウム マト
ペケンヌッある 女
ペケンヌッ姫を
- 8131 a-hotuyekar
ア・ホトウイエカラ
我・呼ぶ
呼んだ。
- 8132 a-kobakeshkor
ア・コバケシコロ
我・飲みさしを出す
我は飲みさしを渡した。
- 8133 konepkeukata
コネッケウカタ
何ということか
コネッケウカタ、
- 8134 konepkashita
コネッカシタ
何としたことか
コネッパシタ、
- 8135 katu ne kane
カトゥ ネ カネ
かたち(繫辞類)(程度)
あたりまえに
- 8136 i-eoribak be
イ・エオリバク ベ
我・畏まるもの
我に畏まるもの

- 8137 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
であるならば、
- 8138 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである(逆接)
さもあろうが、
- 8139 kurka konna
クルカ コンナ
上こそ
表情が
- 8140 uyanitara
ウヤニタラ
もじもじしている
硬くなっている。
- 8141 somo nube sak
ソモ ヌベ サク
(否定) 涙 欠く
泣かずに、
- 8142 shinu kane
シヌ カネ
膝行する(程度)
這い
- 8143 reye kane
レイエ カネ
這う(程度)
寄って
- 8144 arki wa
アッキ ワ
来る(接続)
来て、
- 8145 tuki kurbok
トゥキ クルボク
杯 下
杯の下で
- 8146 kohebokiki
コヘボキキ
頭を下げる
顔を上げ、
- 8147 tuki kurka
トゥキ クルカ
杯 上
杯を受け取った。
- 8148 a-koruiruye
ア・コイルイユエ
我・撫でさする
我は撫で
- 8149 kurkashike
クルカシケ
表面
ながら
- 8150 a-itakomare hawe
ア・イタコマレ ハウエ
我・言う 声
このように
- 8151 ene okai i
エネ オカイ
このようにある こと
言った。
- 8152 koninkar kusu
コンンカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 8153 Pekennup um mat
ペケンヌプ ウム マト
ペケンヌップある 女
ペケンヌップ姫、
- 8154 kamui katkemat
カムイ カトケマト
神 婦人
神の婦人よ、
- 8155 itak-an chiki
イタク・アン チキ
言う・我 (条件)
話すから
- 8156 pirikano nu yan
ピリカノ ス ヤン
良く 聞く(命令)
よく聞きなさい。
- 8157 konepkeukata
コネプケウカタ
何ということか
コネップケウカタ、
- 8158 konepkashita
コネップカシタ
何としたことか
コネップカシタ、
- 8159 atanan ainu
アタナン アイヌ
ただの 人間
我はただの人間で、
- 8160 nubur sak kunip
ヌブル サク クニプ
霊力がある 欠く すべきもの
霊力を欠き、
- 8161 tusu sak kuni p
トゥス サク クニ プ
霊能力 欠く はずのもの
巫術の力を欠く
- 8162 uwesamanno
ウエサマンノ
いっしょに
もので
- 8163 a-ki p ne kusu
ア・キ プ ネ クス
我・するもの(繫辞類) (理由・目的)
あるから、
- 8164 ene ash be ka
エネ アシ ベ カ
このように立つものも
このようなことも
- 8165 koikataraye
コイカタライエ
見過ごす
見逃していた
- 8166 a-ki p ne kusu
ア・キ プ ネ クス
我・するもの(繫辞類) (理由・目的)
のだ。
- 8167 arwen kamui
アラウエン カムイ
ひどい 神
極悪の神、
- 8168 arwem bito
アラウエム ビト
極悪の 人
性悪の神が
- 8169 kar be ari
カラ ベ アリ
するもので
したことで、
- 8170 tumunchi kinra
トゥムンチ キンラ
戦争 狂気
我は戦いの狂気、
- 8171 wem be kinra
ウエム ベ キンラ
悪いもの 狂気
悪事の狂気に
- 8172 eyaitushtekka
エヤイトウシテッカ
沈黙する
取り憑かれた
- 8173 a-ki kusu
ア・キ クス
我・する(理由・目的)
のだ。
- 8174 inunukashki
イヌヌカシキ
可哀想に
可哀想に、
- 8175 chiemoninishte
チエモニニシテ
酷い仕打ちをする
手荒なふるまいをされ、
- 8176 chiraike kaiki
チライケ カイキ
殺されるも
殺されるにしても
- 8177 semkatune
セムカトウネ
並でなく
並々ならぬことを
- 8178 e-ekarkar-an
エ・エカラカラ・アン
汝・される
された
- 8179 shiri okai awa
シリ オカイ アワ
様子 ある(展開)
のだ。しかし、
- 8180 kamui renkai ne
カムイ レンカイ ネ
神 意志 (繫辞類)
神の意向で、
- 8181 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は
- 8182 nep ne yakka
ネプ ネ ヤッカ
何(繫辞類) (譲歩)
何もかも、
- 8183 pirika kunine
ピリカ クニネ
よい ように
良くなったことを
- 8184 a-eraman
ア・エラマン
我・知る
我は知った。
- 8185 mat sak ainu
マト サク アイヌ
女 欠く 人間
我は妻のいない人間
- 8186 a-ne a yakun
ア・ネ ア ヤクン
我・(繫辞類) 完了(条件)
であれば、
- 8187 chibaroshuke
チバロシユケ
世話をする
食事の世話を
- 8188 e-i-y-ekarkar i
エ・イ・イエカラカラ イ
汝・我・する こと
してもらい
- 8189 a-kon
ア・コン
我・もつ
たいと

- 8190 rusui koroka
ルスイ コロカ
(欲求) (逆接)
思うのだが、
- 8191 mat koro ainu
マト コロ アイヌ
女 持つ 人間
我は妻のいる人間
- 8192 a-ne kusu
ア・ネ クス
我・(繫辞類) (理由・目的)
なのだ。
- 8193 e-tura an-an
エ・トゥラ アナン
汝・連れる いる・我
あなたといることは
- 8194 eaikap koroka
エアイカフ コロカ
できない (逆接)
できないが、
- 8195 Kotanra un kuru
コタンラ ウンクル
コタンラ ある 人
コタンラ彦、
- 8196 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
我が小兄
- 8197 tap eashiri
タフ エアシリ
これ それこそ
こそは、
- 8198 e-kotom nanka
エ・コトム ナンカ
汝にふさわしい 顔面
似つかわしい容貌、
- 8199 e-kotom shirika
エ・コトム シリカ
汝にふさわしい 表面
似つかわしい容姿
- 8200 ne ruwe ne
ネ ルウェ ネ
(繫辞類) 様子 (繫辞類)
である。
- 8201 chibaroshuke
チバロシユケ
世話をする
食事の世話を
- 8202 e-karkar wa
エ・カラカラ ワ
汝・する (接続)
して
- 8203 i-kore yakne
イ・コレ ヤクネ
我・与える (条件)
くれたら、
- 8204 shine kotan ta
シネ コタン タ
一つの 村 (場所)
同じ村で
- 8205 shine utar ne
シネ ウタラ ネ
一つの人々 (繫辞類)
同じ一族として、
- 8206 shine irwak ne
シネ イリワク ネ
一つの 兄弟 (繫辞類)
親族として
- 8207 uwebe-an
ウウェベ・アン
親しくする・我
親しく
- 8208 uwenishte-an
ウウェニシテ・アン
互いに強固になる
結び付くことができる。
- 8209 hembara ne yakka
ヘムバラ ネ ヤッカ
いつ (繫辞類) (譲歩)
いつまでも
- 8210 unukar
ウンカラ
会见
会えない
- 8211 rakashkar ka
ラカシカラ カ
できない も
わけでは
- 8212 somo ki na
ソモ キ ナ
(否定) する ぞ
ないのだ。
- 8213 katkemat buri
カトケマト ブリ
婦人 行い
婦人のおこない、
- 8214 kamui buri
カムイ ブリ
神 行い
神のおこないを
- 8215 pirikano
ピリカノ
良く
立派に
- 8216 e-eashkai
エ・エアシカイ
汝・上手にする
おこなって
- 8217 kusu ne
クス ネ
(理由・目的) (繫辞類)
くだ
- 8218 ruwe tab an
ルウェ タバン
様子 これ ある
さい。」
- 8219 ari itak-an chiki
アリ イタク・アン チキ
(引用) 言う・我 (条件)
我がこう言うのと、
- 8220 katu ne kane
カトウ ネ カネ
かたち (繫辞類) (程度)
あたりまえに
- 8221 enubetne kuni p
エヌベトネ クニ ヲ
喜ぶ はずの もの
喜ぶ者
- 8222 ne wa ne yakne
ネ ワ ネ ヤクネ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (条件)
であるならば、
- 8223 kotom korokaiki
コトム コロカイキ
ようである (逆接)
さもあろうが、
- 8224 shino
シノ
まことに
まことに、
- 8225 chish turanno
チシ トウランノ
泣く ともに
泣きながら
- 8226 nubetne ruwe
ヌベトネ ルウェ
喜ぶ 様子
喜ぶ様子が
- 8227 a-koeraman
ア・コエラマン
我・知る
我には分かった。
- 8228 tuki uina
トゥキ ウイナ
杯 手に取る
杯を受け取り、
- 8229 raunruke
ラウンルケ
低くかざす
低くかざし、
- 8230 rikunruke
リクンルケ
高くかざす
高くかざして
- 8231 koonkami
コオンカミ
拝礼する
拝礼し、
- 8232 iyemetu
イイエメトゥ
飲みさしを受ける
飲みさしを受け取った。
- 8233 tap orowa
タフ オロワ
これ (始点)
それから、
- 8234 tuki ikorura
トゥキ イコルラ
杯 運ぶ
杯を運んだ。
- 8235 Kotanra un kuru
コタンラ ウンクル
コタンラ ある 人
コタンラ彦、
- 8236 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
我が小兄は
- 8237 shino
シノ
まことに
まことに
- 8238 nubetne wa
ヌベトネ ワ
喜ぶ (接続)
喜び、
- 8239 ikkeu noshki
イクケウ ノシキ
腰 真中
腰の真中を
- 8240 komkosamba
コムコサムバ
折り曲げる
折り曲げて、
- 8241 mateonkami
マテオンカミ
妻帯の拝礼をする
嫁取りの拝礼をした。
- 8242 Pekennup un kuru
ペケンヌフ ウンクル
ペケンヌップ ある 人
ペケンヌップ彦、

- 8243 kamui ne am be
カムイ ネ アム ベ
神 (繫辞類) あるもの
神である者は
- 8244 shino
シノ
まことに
まことに
- 8245 nubetne wa
ヌベトネ ワ
喜ぶ (接続)
喜び、
- 8246 tu wan onkami
トゥ ワン オンカミ
二つの十の礼拝
二十の拝礼、
- 8247 re wan onkami
レ ワン オンカミ
三つの十の礼拝
三十の拝礼を
- 8248 arukakushte
アルカクシテ
重ねる
繰り返し、
- 8249 i-koonkami
イ・コオンカミ
我・拝礼する
我に拝礼した。
- 8250 shino
シノ
まことに
まことに
- 8251 a-eramushinne
ア・エラムシンネ
我・心落ち着く
我は安心した。
- 8252 tap orowa
タップ オロワ
これ(始点)
それから、
- 8253 iyotta iyoshino
イヨッタ イヨシノ
最も 最後に
一番最後に、
- 8254 Etorba um mat
エトロバ ウム マト
エトロバある女
我はエトロバ姫、
- 8255 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹を
- 8256 a-hotuyekar
ア・ホトゥイエカラ
我・呼ぶ
呼んだ。
- 8257 a-kobakeshkor
ア・コバケシコロ
我・飲みさしを出す
我は飲みさしを渡した。
- 8258 shinu kane
シヌ カネ
膝行する(程度)
這い
- 8259 reye kane
レイエ カネ
這う(程度)
寄りながら
- 8260 tap i-sam ta
タップ イ・サム タ
これ 我・傍ら(場所)
私の側に
- 8261 arki wa
アッキ ワ
来る(接続)
やって来て、
- 8262 tuki kurbok
トゥキ クルボク
杯 下
杯の下で
- 8263 kohebokiki
コヘボキキ
頭を下げる
顔を上げた。
- 8264 tap shisam un
タップ シサム ウン
これ 自分の側(方向)
すぐそばで
- 8265 a-nukar be
ア・ヌカラ ベ
我・見るもの
見ると、
- 8266 mashkin
マシキン
ますます
ますます、
- 8267 ainu hetab an
アイヌ ヘタブン
人間 これ ある
人間であるのか。
- 8268 tap eashiri
タップ エアシリ
これ それこそ
まさしく
- 8269 riwak kamui ne
リワク カムイ ネ
帰る 神 (繫辞類)
帰天する神、
- 8270 riwak bito ne
リワク ビト ネ
帰る 人 (繫辞類)
帰天する貴人のようである。
- 8271 chikibo ne wa
チキボ ネ ワ
行為 (繫辞類) (接続)
もう少しで、
- 8272 a-raukotabu
ア・ラウコタブ
我・捉える
つかまえて
- 8273 a-eshikari anke
ア・エシカリ アンケ
我・捉える しようとする
抱きしめようかと
- 8274 yainu-an kane
ヤイヌ・アン カネ
考える・我(程度)
我は思った。
- 8275 tuki kurka
トゥキ クルカ
杯 上
我は杯の表面を
- 8276 a-koruiruye kane
ア・コイルイユエ カネ
我・撫でさする(程度)
撫でた。
- 8277 koninkar kusu
コニンカラ クス
さて (理由・目的)
「さてさて、
- 8278 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹よ。
- 8279 konepkeukata
コネツケウカタ
何ということか
コネツケウカタ、
- 8280 konepkashita
コネツカシタ
何としたことか
コネツカシタ、
- 8281 pirika unukar
ピリカ ウスカラ
よい 会見
良い会見
- 8282 ratchi unukar
ラトチ ウスカラ
穏やかな 会見
穏やかな会見を
- 8283 a-ki kuni
ア・キ クニ
我・する ように
したいと
- 8284 a-ramu awa
ア・ラム アワ
我・思う(展開)
思っていたが、
- 8285 i-nonchi kamui
イ・ノンチ カムイ
我・嫉む 神
我を嫉む神、
- 8286 i-wente kamui
イ・ウエンテ カムイ
我・害をなす 神
我を悪くする神の
- 8287 wen renkabi
ウエン レンカビ
悪い 故(ゆえ)
良くない意向が
- 8288 okai kusu
オカイ クス
ある(理由・目的)
あったのだ。
- 8289 monak
モナク
そうでなくても
そうでなくとも
- 8290 a-rushka p
ア・ルシカ ヲ
我・怒るもの
腹立たしいのに、
- 8291 kashi kobak ta
カシ コバク タ
上 方向(場所)
その上に、
- 8292 naanihonka
ナアニホンカ
もう少しで
危うく
- 8293 ainu kotan
アイヌ コタン
人間 村
人間の村、
- 8294 Otasam kotan
オタサム コタン
オタサム 村
オタサム村が
- 8295 a-i-y-ekeshke ko
ア・イ・イエケシケ コ
我・ひどい仕打ちをうける(条件)
嫉まれるところであった。

- 8296 ituren koro be
イトゥレン コロ ベ
悪く 持つ もの
あなたは悪き神の力を持ち、
- 8297 okkayo rametok
オッカヨ ラメトク
男 勇者
男の勇者を
- 8298 chiekasure p
チエカスレ ヲ
凌ぐ もの
凌ぐ者
- 8299 e-ne kusu
エ・ネ クス
汝・である (理由・目的)
であるので、
- 8300 chikonicharba
チコニチャラバ
治癒する
我を治癒し、
- 8301 chikeutusare
チケウトゥサレ
蘇生する
蘇生
- 8302 e-i-y-ekarkar
エ・イ・イエカラカラ
汝・我・する
させた。
- 8303 kushkeraibo
クシケライボ
おかげで
そのおかげで、
- 8304 shiknu-an ruwe
シクヌ・アン ルウエ
生きている・我 様子
我は生きているの
- 8305 okai koroka
オカイ コロカ
ある (逆接)
だ。しかし、
- 8306 yepnu kuni p
イエヌ クニ ヲ
無垢な はずのもの
我は無垢な者、
- 8307 shikibip kuni p
シキビッ クニ ヲ
目をびくびくさせる はずのもの
人目を気にする者
- 8308 a-ne kusu
ア・ネ クス
我・(繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 8309 tane bakno
タネ バクノ
今 まで
今まで、
- 8310 aritak chinki
アリタク チンキ
言葉 裾
一言も
- 8311 e-ekarkar-an
エ・エカラカラ・アン
汝・する・我
声を掛けなかった
- 8312 somo ki a koroka
ソモ キ ア コロカ
(否定) する 完了 (逆接)
のだ。しかし、
- 8313 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今は、
- 8314 kamui ne yakka
カムイ ネ ヤッカ
神 (繫辞類) (譲歩)
神々も
- 8315 e-eraman wa
エ・エラマン ワ
汝・知る (接続)
理解して
- 8316 okai be ne kusu
オカイ ベ ネ クス
ある もの (繫辞類) (理由・目的)
いるので、
- 8317 umurek a-ne
ウムレク ア・ネ
夫婦 我・(繫辞類)
夫婦となつて
- 8318 Otasam chashi
オタサム チャシ
オタサム チャシ
オタサムの館、
- 8319 shinrit chise
シンリト チセ
出自 家
先祖の家の
- 8320 upsoroho
ウッソロホ
内部
中で
- 8321 e-ehorari
エ・エホラリ
汝・住む
暮らし、
- 8322 chibaroshuke
チバロシユケ
世話をする
食事の世話を
- 8323 e-i-y-ekarkar
エ・イ・イエカラカラ
汝・我・する
して
- 8324 chiomumbekare
チオムムベカレ
大切に
我を大切に
- 8325 e-i-y-ekarkar wa
エ・イ・イエカラカラ ワ
汝・我・する (接続)
して
- 8326 e-i-kore kush tap
エ・イ・コレ クシ タブ
汝・我・くれる ように これ
くれ
- 8327 shiran na
シラン ナ
有様である ぞ
ないか。
- 8328 katkemat buri
カトケマト ブリ
婦人 行い
婦人のおこない、
- 8329 kamui buri
カムイ ブリ
神 行い
神のおこないを
- 8330 e-eashkai kush tap
エ・エアシカイ クシ タブ
汝・上手にする ように これ
して
- 8331 shiran na
シラン ナ
有様である ぞ
ほしい。」
- 8332 ari itak-an chiki
アリ イタク・アン チキ
(引用) 言う・我 (条件)
我がこう言うのと、
- 8333 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は
- 8334 shino
シノ
まことに
まことに
- 8335 enubetne kuni p
エヌベトネ クニ ヲ
喜ぶ はずのもの
喜ぶもの
- 8336 kone p ne kusu
コネ ヲ ネ クス
であるもの (繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 8337 eyaisembir-
エヤイセムビリ・
自らの陰
物陰で笑みを
- 8338 omina kane
オミナ カネ
笑う (程度)
浮かべている。
- 8339 tuki uina
トゥキ ウイナ
杯 手に取る
杯を受け取り
- 8340 rikunruke
リクンルケ
高くかざす
高くかざし、
- 8341 raunruke
ラウンルケ
低くかざす
低くかざして
- 8342 koonkami
コオンガミ
拝礼する
拝礼し、
- 8343 tuki ikorura
トゥキ イコルラ
杯 運ぶ
杯を運んだ。
- 8344 Nikambi koro kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 8345 a-kor yubi
ア・コロ ユビ
我・もつ 兄
我が兄が
- 8346 iramye hau kan
イラムイエ ハウ カン
感謝する 声 上
感謝する声
- 8347 kari kane
カリ カネ
回る (程度)
響いた。
- 8348 a-aktonoke
ア・アクトノケ
我・弟君
「我が弟君、

- 8349 **sonno irenka**
ソノ イレンカ
真に 意図
まことに意志が
- 8350 **eashkai ari**
エアシカイ アリ
できる (引用)
良い。」と
- 8351 **haweokai kane**
ハウエオカイ カネ
言う (程度)
言った。
- 8352 **aokai ne yakka**
アオカイ ネ ヤッカ
我 (繫辞類) (譲歩)
我も、
- 8353 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今は
- 8354 **nep ne yakka**
ネプ ネ ヤッカ
何 (繫辞類) (譲歩)
何もかも
- 8355 **an-eraman shin ne**
アネラマン シン ネ
我・わかる 様子 (繫辞類)
理解した。
- 8356 **shino**
シノ
まことに
まことに
- 8357 **nubetne-an**^{*75}
ヌベトネ・アン
喜ぶ・我
我は喜んだ。
- 8358 **chirikibuni-an**
チリキブニ・アン
起き上がる・我
我は立ち上がり、
- 8359 **otu tapkar ru**
オトゥ タッカラ ル
二つの 踏舞をする 跡
踏舞を
- 8360 **ore tapkar ru**
オレ タッカラ ル
三つの 踏舞をする 跡
幾度も
- 8361 **a-utasare**
ア・ウタサレ
我ら・交換する
繰り返した。
- 8362 **a-ki chikup hau**
ア・キ チクプ ハウ
我・する 酒宴 声
我の酒宴の声は
- 8363 **kamui riwak ne**
カムイ リワク ネ
神 帰る (繫辞類)
帰天する神のように
- 8364 **uwetunuiise**
ウウエトウスイセ
美しく響く
響いた。
- 8365 **katkemat utar**
カトケマト ウタラ
婦人 人々
婦人たちは
- 8366 **chirikibumba**
チリキブムバ
立ち上がる
立ち上がり、
- 8367 **i-oshmak ush**
イ・オシマク ウシ
我・背後 ある
我の背後について
- 8368 **uhorippare**
ウホリッパレ
互いに踊る
踊った。
- 8369 **chikupso ba ta**
チクプソ バ タ
酒宴の座 上 (場所)
酒宴の座の上手で、
- 8370 **chikupso kesh ta**
チクプソ ケシ タ
酒宴の座 末端 (場所)
酒宴の座の下手で、
- 8371 **utarpa utar**
ウタラバ ウタラ
首領 人々
頭領たち、
- 8372 **rametok utar**
ラメトク ウタラ
勇者 人々
勇者たちが
- 8373 **arukosantek**
アルコサンテック
互いの手
我に腕を
- 8374 **i-koturba**
イ・コトウルバ
我・伸ばす
伸ばした。
- 8375 **ir hetche hau**
イリ ヘトチュエ ハウ
一連の 合いの手を入れる 声
親族の掛け声、
- 8376 **ir humse hau**
イリ フムセ ハウ
一連の 声を出す 声
親族の気合いの音が
- 8377 **ukoturba**
ウコトウルバ
長く伸ばし合う
響いた。
- 8378 **anramasu**
アンラマス
まったく好ましい
我は好ましく
- 8379 **a-uwesuye**
ア・ウウエスイエ
我・思う
思った。
- 8380 **Nikambi koro kuru**
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 8381 **a-koro yubi hemem**
ア・コロ ユビ ヘメモ
我・もつ 兄 も
我が兄も、
- 8382 **Kotanra un kuru**
コタンラ ウン クル
コタンラ ある 人
コタンラ彦、
- 8383 **pon a-kor yubi**
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
我が小兄も、
- 8384 **Kunashiri un kuru**
クナシリ ウン クル
クナシリ ある 人
クナシリ彦も、
- 8385 **Pekennup un kur hene**
ペケンヌプ ウン クル ヘネ
ペケンヌップ ある 人 も
ペケンヌップ彦も、
- 8386 **utarpa batek**
ウタラバ バテック
首領 のみ
頭領ばかり、
- 8387 **rametok batek**
ラメトク バテック
勇者 のみ
勇者ばかりが
- 8388 **shino**
シノ
まことに
まことに
- 8389 **nubetne p**
ヌベトネ プ
喜ぶ もの
喜ぶもの
- 8390 **neba kusu**
ネバ クス
である (理由・目的)
である。そこで、
- 8391 **ki chikup**
キ チクプ
する 酒宴
酒宴は
- 8392 **kamui riwak ne**
カムイ リワク ネ
神 帰る (繫辞類)
帰天する神のように
- 8393 **uwetunuiiseba**
ウウエトウスイセバ
響く
美しく響いた。
- 8394 **mat utar ka ta**
マト ウタラ カ タ
女 人々 上 (場所)
女たち、
- 8395 **katkemat utara**
カトケマト ウタラ
婦人 たち
婦人たち、
- 8396 **a-tureshi utara**
ア・トゥレシ ウタラ
我・妹 たち
我が妹たちが
- 8397 **hechiri hawe**
ヘチリ ハウエ
踊り 声
歌い踊る声、
- 8398 **rimse hawe**
リムセ ハウエ
踊る 声
踊る声が
- 8399 **uwobuk kane**
ウウオブク カネ
混じり合う (?) (程度)
次々に鳴った。

*75 この語の後に An と書かれているが誤記と判断する。

- 8400 oroneambe^{*76}
オロネアムベ
はなはだしく
その声か^カ
- 8401 bebunitara
ベブニタラ
騒がしい
響いた。
- 8402 eashka
エアシカ
ほんとうに
まさしく、
- 8403 shisak tonoto
シサク トノト
またとない酒
我らは類稀な酒、
- 8404 kamui tonoto
カムイ トノト
神 酒
神の酒を
- 8405 a-ukoante
ア・ウコアンテ
我・ととのえる
酌み交わした。
- 8406 a-utari utar
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 人々
我が一族は
- 8407 shino
シノ
まことに
まことに
- 8408 nubetne tura
ヌベトネ トウラ
喜ぶ とともに
喜び、
- 8409 tu wan onkami
トゥ ワン オンカミ
二つの 十の 礼拝
二十の拝礼、
- 8410 re wan onkami
レ ワン オンカミ
三つの 十の 礼拝
三十の拝礼を
- 8411 arukakushte
アルカクシテ
重ねる
繰り返した。
- 8412 shino
シノ
まことに
そして、まことに
- 8413 yayiraike koro
ヤイライケ コロ
感謝する (同時)
感謝しながら
- 8414 iwakba
イワッバ
帰る
帰った。
- 8415 okake ta
オカケ タ
あと (場所)
その後で、
- 8416 Kotanra un kuru
コタンラ ウンクル
コタンラ ある人
コタンラ彦は
- 8417 turesh turanno
トゥレシ トウランノ
妹 とともに
妹とともに、
- 8418 Kunashiri un kuru
クナシリ ウンクル
クナシリ ある人
クナシリ彦は
- 8419 turesh turanno
トゥレシ トウランノ
妹 とともに
妹とともに、
- 8420 Pekennup un kuru
ペケンヌップ ウンクル
ペケンヌップ ある人
ペケンヌップ彦は
- 8421 turesh turanno
トゥレシ トウランノ
妹 とともに
妹とともに、
- 8422 Nikambi kor kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ人
ニカンビコロ彦、
- 8423 a-kor yubi tura
ア・コロ ユビ トウラ
我・もつ 兄 とともに
我が兄とともに、
- 8424 sonno heru
ソンノ ヘル
真に ただ
まことに
- 8425 shine utan ne
シネ ウタン ネ
一つの人々 (繫辞類)
同じ一族となった。
- 8426 tutko kane
トゥトコ カネ
二日 (程度)
我らは二日、
- 8427 rerko bakno
レレコ バクノ
三日 (日数) まで
三日と、
- 8428 ashit chikoikip
アシト チコイキップ
新しい獲物
新しい獲物を
- 8429 a-e koro
ア・エ コロ
我・食べる (同時)
食べながら
- 8430 pirika tonoto
ピリカ トノト
よい 酒
良い酒、
- 8431 kamui tonoto
カムイ トノト
神 酒
神の酒を
- 8432 a-ku kane
ア・ク カネ
我・飲む (程度)
飲んだ。
- 8433 ibe tuika ta
イベ トウイカ タ
食事する上 (場所)
食事の最中に、
- 8434 sonno
ソンノ
真に
まことに、
- 8435 ram oshi wano
ラム オシ ワノ
心 中 から
心の底から、
- 8436 pirika p hene
ピリカ ヲ ヘネ
よい ものも
良いことも、
- 8437 wem be hene
ウエム ベ ヘネ
悪い ものも
悪いことも、
- 8438 a-uweneusar
ア・ウウェネウサッ
我・話し合う
話し合った。
- 8439 ineap kusu
イネアックス
何と (理由・目的)
何と、
- 8440 utarpa utar
ウタラ ヲ ウタラ
首領 人々
頭領たち、
- 8441 rametok utar
ラメトク ウタラ
勇者 人々
勇者たちは
- 8442 uwenuchattek
ウウェヌチャトデック
互いに喜ぶ
互いに喜び、
- 8443 uwekatarotke wa
ウウェカタロトケ ワ
仲がいい (接続)
互いに親しむ
- 8444 hawash nankor a
ハワシ ナンコラ
言われる だろう か
ことであろうか。
- 8445 eashka
エアシカ
ほんとうに
まさしく、
- 8446 arobittano
アロビタノ
すべて
一人残らず、
- 8447 tu mina itak
トゥ ミナ イタク
二つの 笑う 言葉
笑い話を
- 8448 re mina itak
レ ミナ イタク
三つの 笑う 言葉
何度も
- 8449 utashbare
ウタシバレ
交わし合う
繰り返した。
- 8450 nei korachi
ネ コラチ
(繫辞類) ように
それと同じように、

*76 orone と書かれているがこのように解釈する。

- 8451 menoko ot ta
メノコ オトタ
女 所 (場所)
女の方も
- 8452 shinnai ikin ne
シンナイ イキン ネ
違った 列 (繫辞類)
別の列で
- 8453 mina hawe
ミナ ハウエ
笑う 声
笑う声、
- 8454 itak hawe
イタク ハウエ
言う 声
話す声が
- 8455 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響いた。
- 8456 rokine
ロキネ
したあげく
そして、
- 8457 chiseta turesh
チセタ トウレシ
家の 妹
家の妹は
- 8458 shut ketushi
シュト ケトウシ
根元 長持ち
先祖伝来の物入れに
- 8459 usa mat koro be
ウサ マト コロ ベ
(譲歩) 女 持つ もの
女の持ち物、
- 8460 pirika p batek
ピリカ ヲ バテク
よい もののみ
良い物ばかりを
- 8461 eshikte wa
エシクテ ワ
一杯にする (接続)
入れて、
- 8462 boro shike
ボロ シケ
大きい 荷物
大きな荷物を
- 8463 kar hine
カラ ヒネ
作る (接続)
つくり、
- 8464 se wa
セ ワ
背負う (接続)
背負った。そして、
- 8465 Kunashiri un kuru tura
クナシリ ウン クル トウラ
クナシリ ある 人 ともに
クナシリ彦とともに、
- 8466 Nikambi koro kuru
ニカムビ コロ クル
ニカンビ 持つ 人
ニカンビコロ彦、
- 8467 a-koro yubi
ア・コロ ユビ
我・もつ 兄
我が兄を
- 8468 shirenba wa
シレンバ ワ
誘う (接続)
誘い、
- 8469 inauru koro mat tura
イナウル コロ マト トウラ
イナウの冠 持つ 女 ともに
イナウ冠の女と
- 8470 inen ne wa
イネン ネ ワ
四人 (繫辞類) (接続)
四人で
- 8471 tu wan onkami
トゥ ワン オンカミ
二つの 十の 礼拝
二十の拝礼、
- 8472 re wan onkami
レ ワン オンカミ
三つの 十の 礼拝
三十の拝礼を
- 8473 kiba
キバ
する
した。
- 8474 boronno
ボロンノ
たくさん
本当に
- 8475 yayiraykeba
ヤイライケバ
感謝する
感謝した。
- 8476 kanna sui
カンナ スイ
再び 再び
再びまた、
- 8477 tunashno
トゥナシノ
早く
早く
- 8478 unukar kuni p
ウヌカラ クニ ヲ
会見 はずのもの
再会する
- 8479 a-ne nankan na
ア・ネ ナンコン ナ
我・(繫辞類) だろう ぞ
つもりだ、
- 8480 ari haweokai koro
アリ ハウエオカイ コロ
(引用) 言う (同時)
と言いながら、
- 8481 too
トオ
ずっと速くへ
ずっと
- 8482 Kunashiri un
クナシリ ウン
クナシリ (方向)
クナシリへ
- 8483 uweutanne wa
ウウエウタンネ ワ
仲間になる (接続)
一緒になって
- 8484 baye wa isam
バイエ ワ イサム
行く (接続) いない
去って行った。
- 8485 Kotanra un kuru
コタンラ ウン クル
コタンラ ある 人
コタンラ彦
- 8486 pon a-kor yubi
ポン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
我が小兄は、
- 8487 Pekennup un kuru
ペケンヌッ ウン クル
ペケンヌッ ある 人
ペケンヌッ彦を
- 8488 yaikoshiren
ヤイコシレン
自ら誘う
みずから誘い、
- 8489 arukorachi
アルコラチ
同じく
同じように、
- 8490 tu wan onkami
トゥ ワン オンカミ
二つの 十の 礼拝
二十の拝礼、
- 8491 re wan onkami
レ ワン オンカミ
三つの 十の 礼拝
三十の拝礼を
- 8492 kiba
キバ
する
した。
- 8493 shino shino
シノ シノ
まことに まことに
本当に
- 8494 yayiraikeba
ヤイライケバ
感謝する
感謝した。
- 8495 tunashno sui
トゥナシノ スイ
早く 再び
早くまた、
- 8496 pirika unukar
ピリカ ウヌカラ
よい 会見
良い再会を
- 8497 a-ki kusu ne
ア・キ クス ネ
我・する (理由・目的) (繫辞類)
するつもりだ、
- 8498 ari haweokai koro
アリ ハウエオカイ コロ
(引用) 言う (同時)
と言いながら、
- 8499 sui inen ne wa
スイ イネン ネ ワ
再び 四人 (繫辞類) (接続)
また四人で、
- 8500 too
トオ
ずっと速くへ
ずっと
- 8501 Kotanra un
コタンラ ウン
コタンラ (方向)
コタンラへ
- 8502 baye wa isam
バイエ ワ イサム
行く (接続) いない
去って行った。

第17章 初夜

- 8503 okake ta
オカケ タ
あと (場所)
その後で、

- 8504 Etorba um mat tura
エトロボ ウム マト トウラ
エトロボある女 ともに
我はエトロボ姫と
- 8505 ouse tun
オウセ トウン
ただ(だけ) 二人
ただ二人に
- 8506 a-ne wa
ア・ネ ワ
我・(繫辞類) (接続)
なって
- 8507 okai-an kane
オカイ・アン カネ
いる・我 (程度)
いた。
- 8508 tanebo konna
タネボ コンナ
今こそ
今こそは、
- 8509 oainusak no
オアイヌサク ノ
誰もいない (接続)
人がおらず、
- 8510 sama shik sak no
サマ シク サク ノ
そば 目 欠く (接続)
人目もなく、
- 8511 okai-am be
オカイ・アム ベ
いる・我 もの
いるもの
- 8512 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
であるから、
- 8513 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹を
- 8514 a-raukotabu
ア・ラウコタブ
我・捉える
つかまえて、
- 8515 a-eshikari
ア・エシカリ
我・捉える
抱きしめた。
- 8516 oshiso un wa
オシソ ウン ワ
右座 (方向) (起点)
右座の
- 8517 abe teksam ta
アベ テクサム タ
火 すぐそば(場所)
火の傍らで、
- 8518 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹を
- 8519 a-shietemkoro-
ア・シエテムコロ
我・腕の中
我は腕の中に
- 8520 nere kane
ネレ カネ
にする(程度)
抱えた。
- 8521 tumashnu kusu
トゥマシヌ クス
元気になる (理由・目的)
我は元気であり、
- 8522 iki kuni p
イキ クニ プ
する はずのもの
そうしたもの
- 8523 a-ne a koroka
ア・ネ ア コロカ
我・(繫辞類) 完了(逆接)
であるが、
- 8524 shum kina ne
シユム キナ ネ
枯れる草 (繫辞類)
萎れた草のように
- 8525 an-oikosanu
アノイコサヌ
我・もたれる
寄りかかった。
- 8526 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
そして、我が妹の
- 8527 kurkashike
クルカシケ
表面
上で
- 8528 a-onoyoise
ア・オノヨイセ
我・泣く
泣いた。
- 8529 tureshipo ari
トゥレシポ アリ
妹 (引用)
妹よ、
- 8530 sambe ari
サムベ アリ
心臓 (引用)
心臓よ、と
- 8531 itak-an kane
イタク・アン カネ
言う・我 (程度)
我は言い、
- 8532 otu sui konna
オトゥスイ コンナ
二つの回 こそ
二度、
- 8533 ore sui konna
オレ スイ コンナ
三つの回 こそ
三度と
- 8534 a-shikoruye
ア・シコルイエ
我・撫でる
抱きしめた。
- 8535 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹
- 8536 ne wa ne yakka
ネ ワ ネ ヤッカ
(繫辞類) (接続) (繫辞類) (譲歩)
も、
- 8537 tumashnu kusu
トゥマシヌ クス
元気になる (理由・目的)
元気であるから
- 8538 ikichi rok be
イキチ ロク ベ
する (完了) もの
そのようにしたのだが、
- 8539 shum kina ne
シユム キナ ネ
枯れる草 (繫辞類)
萎れた草のように
- 8540 a-temkorkashi
ア・テムコロカシ
我・何度も採む
我が腕の上で
- 8541 an-oyoise^{*77}
アノヨイセ
我・泣く
泣いた(?)。
- 8542 chish hau konna
チシ ハウ コンナ
泣く 声 こそ
泣き声が
- 8543 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響いた。
- 8544 yuppo ohai
ユッポ オハイ
兄 (感嘆)
兄さんよ、
- 8545 raikotenke
ライコテンケ
泣き叫ぶ
と泣き叫んだ。
- 8546 a-chinki kese
ア・チンキ ケセ
我・着物の裾 末端
そして、私の裾を
- 8547 oukoraiba
オウコライバ
裾をたぐり寄せる
つかみ、
- 8548 a-santekebo
ア・サンテケボ
我・腕
私の腕と
- 8549 a-sankokkasaba
ア・サンコッカサバ
我・膝頭
膝頭を
- 8550 i-koruiruye
イ・コルイルイエ
我・撫でる
撫でさすった。
- 8551 shiriki chiki
シリキ チキ
有様である(条件)
そうすると、
- 8552 hekachi kishma
ヘカチ キシマ
子供 抱える
子供を抱くようなこと、
- 8553 teinep kishma
テイネプ キシマ
赤子 抱える
赤子を抱くようなことを
- 8554 a-ekar kane
ア・エカラ カネ
される(程度)
我はして、

*77 oyoise という形式が期待されるが、原文のままとする。

- 8555 kimuikashike
キムイカシケ
頭上
妹の頭上を
- 8556 a-koruiruye
ア・コルイルイユ
我・撫でさする
撫でた。
- 8557 sannan ka ta
サンナン カ タ
顔 上 (場所)
そして、顔に
- 8558 an-echopnure
アネチヨフヌレ
我・接吻する
接吻をした。
- 8559 rametok rak be
ラメトク ラク ベ
勇者 末裔 もの
我は勇者の末裔、
- 8560 utarpa rak be
ウタラバ ラク ベ
首領 末裔 もの
頭領の末裔
- 8561 a-ne a koroka
ア・ネ ア コロカ
我・(繫辞類) 完了 (逆接)
であるが、
- 8562 tu kishnu nube
トゥ キシヌ ヌベ
二つの 僅かな 涙
僅かな涙を
- 8563 re kishnu nube
レ キシヌ ヌベ
三つの 僅かな 涙
何度も
- 8564 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
妹の
- 8565 kurkashike
クルカシケ
表面
上に
- 8566 a-eranekar kane
ア・エランケカラ カネ
我・降ろす (程度)
流した。
- 8567 a-ekap
ア・エカフ
我・挨拶する
我は挨拶し、
- 8568 a-koyairaike
ア・コヤイライケ
我・感謝する
感謝した。
- 8569 itasa bakno
イタサ バクノ
返す まで
そのお返しに
- 8570 ikeuhumshu
イケウフムシュ
無事を祝う
妹は無事をねぎらった。
- 8571 tap orowa
タップ オロワ
これ (始点)
それから、
- 8572 utut ta terke
ウトウト タ テレケ
火尻座 (場所) 跳ねる
妹は下座へ行き、
- 8573 otu betchirbe
オトゥ ベトチリベ
二つの 水滴
水滴を
- 8574 ore betchirbe
オレ ベトチリベ
三つの 水滴
何度も
- 8575 yaikarbare
ヤイカラバレ
清める
用いて、
- 8576 pirika pon shu
ピリカ ポン シュ
よい 小さい 鍋
良い小鍋の
- 8577 komshutna wano
コムシュトナ ワノ
鍋の耳元 から
耳元から
- 8578 obekarbare
オベカラバレ
水をかけて洗う
水をかけて洗い、
- 8579 oro wakka
オロ ワッカ
場所 水
その中に水を
- 8580 o wa
オ ワ
入れる (接続)
入れて、
- 8581 hoka tuika
ホカ トウイカ
炬 上
炬に
- 8582 eterkere
エテレケレ
跳ねとばす
掛けた。
- 8583 umso pirike p
ウムソ ピリケ プ
貯えられた 脱穀する もの
そして、脱穀した穀物を
- 8584 shuwonna wa
シュウオンナ ワ
鍋の中 (起点)
鍋の中へ
- 8585 echobobo
エチヨボボ
注ぐ
注ぎ入れた。
- 8586 taban pon shu
タブン ポン シュ
この 小さい 鍋
小鍋が
- 8587 bopbiri
ポッピリ
煮立った湯気
湯気を出し
- 8588 hokushitara
ホクシタラ
沸き返る
煮立った。
- 8589 aine
アイネ
(接続)
そして、
- 8590 ukoboye
ウコボイエ
互いに混ぜる
妹はそれを混ぜた。
- 8591 pirika meshi
ピリカ メシ
よい 飯
良い御飯は
- 8592 bera tuika ta
ベラ トウイカ タ
篋 上 (場所)
へらを使う最中に
- 8593 mau chimimi
マウ チミミ
風 かき分ける
湯気が分かれ、
- 8594 mau samama
マウ サママ
風 横になる
横になびいた。
- 8595 bera kokirba
ベラ コキリバ
篋 引つ繰り返る
妹はへらで混ぜ、
- 8596 buta unu wa
ブタ ウヌ ワ
蓋 はめる (接続)
蓋をして、
- 8597 rik oraiba
リク オライバ
高所 移す
炬に掛けた。
- 8598 ponno
ボンノ
少し
しばらく
- 8599 shirantek ko
シランテック コ
時がたつ (条件)
すると、
- 8600 yanke
ヤンケ
浜手の
炬から降ろした。
- 8601 orowa
オロワ
(始点)
それから、
- 8602 kabarbe ochike
カバラベ オチケ
薄造りの物 膳
薄造りの御膳、
- 8603 kabarbe itanki
カバラベ イタンキ
薄造りの物 御椀
薄造りの御椀を
- 8604 sanasapte wa
サナサッテ ワ
取り出す (接続)
取り出して
- 8605 uworero shki
ウウォレロシキ
重なってそびえる
重ねた。
- 8606 pirika meshi
ピリカ メシ
よい 飯
良い御飯、
- 8607 herashi iyoi
ヘラシ イヨイ
下へ 盛り付け
下の方へ盛ったものは

- 8608 pon kane
ボン カネ
小さい(程度)
小さく、
- 8609 herikashi iyoi
ヘリカシ イヨイ
上へ 盛り付け
上の方へ盛ったものは
- 8610 boro kane
ボロ カネ
大きい(程度)
大きくなっている。
- 8611 uturentek koro
ウトウレンテック コロ
両腕 持つ
妹は両腕に抱えた
- 8612 boro sonabi
ボロ ソナビ
大きい 高盛の腕
大きな高盛りを
- 8613 oribak tura
オリバットウラ
畏まる ともに
畏まりながら
- 8614 shikankitai-
シカンキタイ・
みずからの頭の上
頭の上に
- 8615 eimekani
エイメカニ
御膳をもつ
乗せ、
- 8616 i-koibuni
イ・コイブニ
我・食事を出す
我に差し出した。
- 8617 a-uina wa
ア・ウイナワ
我・取る (接続)
我は受け取って
- 8618 a-rikunruke
ア・リクンルケ
我・高くさしあげる
高くかざし、
- 8619 a-raunruke
ア・ラウンルケ
我・低くかざす
低くかざして
- 8620 a-koonkami
ア・コオンカミ
我・拝礼する
拝礼した。
- 8621 moire ibe
モイレ イベ
遅い 食事する
我はゆっくりと
- 8622 a-koyaikurka-
ア・コヤイクルカ・
我・我が上
食事を
- 8623 oma kane
オマ カネ
ある(程度)
おこなった。
- 8624 tanebo konna
タネボ コンナ
今こそ
今こそは、
- 8625 a-tureshipo
ア・トゥレンシポ
我・妹
我が妹が
- 8626 pirika shuye p
ピリカ シュイエ ヲ
よい 煮る もの
良く煮炊きした物を
- 8627 a-e wa
ア・エ ワ
我・食べる(接続)
食べた。
- 8628 ineap kusu
イネアッ クス
何と (理由・目的)
何と
- 8629 shuke eashkai wa
シュケ エアシカイ ワ
炊事する できる (接続)
煮炊きが上手で
- 8630 humash nankor a
フマシ ナンコラ
気配がする だろう か
あることか。
- 8631 sonno
ソンノ
真に
まことに
- 8632 kera pirika
ケラ ピリカ
味 よい
味が良い。
- 8633 a-ohapsekur-
ア・オハッセクル・
我・舌鼓
我は舌鼓を
- 8634 echiu kane
エチウ カネ
打つ(程度)
打った。
- 8635 ibe-an aine
イベ・アン アイネ
食事する・我(接続)
我は食事をして、
- 8636 imek arke
イメック アラケ
御馳走 半分
御馳走の半分を
- 8637 a-koturiri
ア・コトゥリリ
我・差し出す
渡した。
- 8638 oribak tura
オリバットウラ
畏まる ともに
妹は畏まりながら
- 8639 uina wa
ウイナ ワ
手に取る(接続)
受け取って、
- 8640 rikunruke
リクンルケ
高くかざす
高くかざし、
- 8641 raunruke
ラウンルケ
低くかざす
低くかざして
- 8642 koonkami wa
コオンカミ ワ
拝礼する (接続)
拝礼し、
- 8643 e aine
エ アイネ
食べる(接続)
それを食べた。そして、
- 8644 ibe ruoka
イベ ルオカ
食事する 跡
食事が
- 8645 chiobashbare
チオバシバレ
過ぎさせる
終わった。
- 8646 itak^{*78} hawe
イタク ハウエ
言う 声
我が言うことは(?)
- 8647 ene okai i
エネ オカイ
このように ある こと
このようであった。
- 8648 hokure
ホクレ
早く
「早く、
- 8649 tanebo konna
タネボ コンナ
今こそ
今こそは、
- 8650 shinrit sotki
シンリット ソトキ
出自 寝床
先祖の寝床、
- 8651 totto sotki
トット ソトキ
母 寝床
母の寝床の
- 8652 upsooro ta
ウッソロ タ
内部 (場所)
中に入りたい。
- 8653 kamui buri
カムイ ブリ
神 行い
神のおこない、
- 8654 ainu buri
アイヌ ブリ
人間 行い
人間のおこないは
- 8655 ene okai i
エネ オカイ
このように ある こと
このようにあるもの
- 8656 ne kusu
ネ クス
(繫辞類) (理由・目的)
なので、
- 8657 umurek buri
ウムレック ブリ
夫婦 行い
夫婦のおこないを
- 8658 a-ki
ア・キ
我・する
したいと

*78 itak-an という形式が期待されるが原文のままとする。

- 8659 kusu ne na
クス ネ ナ
(理由・目的) (繋辞類) ぞ
思う。
- 8660 tu sotki kar wa
トゥ ソトキ カラ ワ
二つの 寝床 作る (接続)
二つの寝床を用意して
- 8661 i-kore kunak
イ・コレ クナク
我・与える (引用)
くれ
- 8662 ramu yan
ラム ヤン
思う (命令)
ないか。」
- 8663 ari itak-an chiki
アリ イタク・アン チキ
(引用) 言う・我 (条件)
我がこう言うと、
- 8664 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹は
- 8665 ineap kusu
イネアックス
何と (理由・目的)
何と
- 8666 enubetne wa
エヌベトネ ワ
喜ぶ (接続)
喜ぶ
- 8667 ikichi nankor a
イキチ ナンコラ
する だろう か
ことであろうか。
- 8668 itak etoko
イタク エトコ
言葉 前方
言葉を聞いてすぐに
- 8669 ehobuni
エホブニ
起き上がる
起き上がり、
- 8670 tu mina itak
トゥ ミナ イタク
二つの 笑う 言葉
笑い話を
- 8671 re mina itak
レ ミナ イタク
三つの 笑う 言葉
何度も
- 8672 i-tasare
イ・タサレ
我・返す
我にした。
- 8673 a-okkeukurkan-
ア・オクケウクルカン・
我・首の骨
我は頸の骨も
- 8674 isam kane
イサム カネ
無い (程度)
無くなるほど、
- 8675 otu henkuror
オトゥ ヘンクロロ
二つの うなづくこと
何度も
- 8676 ore henkuror
オレ ヘンクロロ
三つの うなづくこと
うなづきを
- 8677 a-koanukar kane
ア・コアナカカネ
我・に置く (程度)
繰り返しした。
- 8678 mak ta terke
マク タ テレケ
奥 (場所) 跳ねる
妹は奥へ行き、
- 8679 tu sotki kar wa
トゥ ソトキ カラ ワ
二つの 寝床 作る (接続)
二つの寝床を用意して、
- 8680 homakashi
ホマカシ
奥から
その手前の寝床に
- 8681 an ike
アン イケ
ある こと
いる。
- 8682 ot ta
オト タ
所 (場所)
その場所で、
- 8683 hotke kosonte
ホトケ コソント
寝る 小袖
夜着の
- 8684 upsoroho
ウッソロホ
内部
中に
- 8685 chioahunke
チオアフンケ
入る
入り
- 8686 hotke
ホトケ
寝る
横になった。
- 8687 shiriki chiki
シリキ チキ
有様である (条件)
すると、
- 8688 chirikibuni-an
チリキブニ・アン
起き上がる・我
我は立ち上がり、
- 8689 uwok kani kut
ウウオク カニ クト
引っかけあう 黄金 帯
金の帯を
- 8690 a-yaikobita
ア・ヤイコビタ
我・自ら解く
ほどいた。
- 8691 kamui ranke tam
カムイ ランケ タム
神 下ろす 刀
神受の太刀、
- 8692 kani pon kasa
カニ ボン カサ
黄金 小さい 笠
金の兜を
- 8693 a-yaikoare
ア・ヤイコアレ
我・脱ぐ
置いた。
- 8694 a-koshina wa
ア・コシナ ワ
我・縛る (接続)
我はそれを結び、
- 8695 kakenchai ba ne
カケンチャイ バ ネ
掛け竿 上 (繋辞類)
掛け竿の上に
- 8696 an-eokte
アネオクテ
我・掛ける
掛けた。
- 8697 kani kosonte
カニ コソント
黄金 小袖
金の小袖を
- 8698 a-yaikoare
ア・ヤイコアレ
我・脱ぐ
脱ぎ、
- 8699 kakenchai kurka
カケンチャイ クルカ
掛け竿 上
掛け竿の上に
- 8700 an-erachikere
アネラチケレ
我・ぶら下げる
ぶら下げた。
- 8701 tap orowa
タップ オロワ
これ (始点)
それから、
- 8702 a-atusanumi
ア・アトウサヌミ
我・裸体
我は裸で
- 8703 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹の
- 8704 upsoroho
ウッソロホ
内部
寝床の中に
- 8705 a-korawoshma
ア・コラウオシマ
我・突進する
入った。
- 8706 iyainumare
イヤイヌマレ
驚いた
驚いたことに、
- 8707 tanebo konna
タネボ コンナ
今 こそ
今こそ、
- 8708 menoko upsor
メノコ ウッソロ
女 内部
我は女の肌身を
- 8709 a-yaimakire wa
ア・ヤイマキレ ワ
我・自ら理解する (接続)
知った。
- 8710 ineap kusu
イネアックス
何と (理由・目的)
何と
- 8711 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹の

- 8712 kamka hura
カムカ フラ
皮膚 匂い
身体の匂い、
- 8713 sakusa hura
サクサ フラ
脇 匂い
脇の匂いは
- 8714 pirika wa
ピリカ ワ
よい (接続)
良い
- 8715 humash nankor a
フマシ ナンコラ
気配がする だろう か
ことであろうか。
- 8716 pirika hura
ピリカ フラ
よい 匂い
良い匂い、
- 8717 kamui hura
カムイ フラ
神 匂い
神の匂いが
- 8718 i-temka mau ne
イ・テムカ マウ ネ
我・回復させる 風 (繋辞類)
我を快復させる風となり、
- 8719 i-emaknakur-
イ・エマツナクル・
我・奥
我を奥へ
- 8720 raiba kane
ライバ カネ
移動させる (程度)
押しやった。
- 8721 a-koshikuru
ア・コシキル
我・回る
我は向きを変え、
- 8722 okkeu kashi
オッケウ カシ
首 上
頸の上に
- 8723 a-tekkushbare
ア・テックシバレ
我・手を伸ばす
手を伸ばし、
- 8724 tukka kami
トゥッカ カミ
隆起する 肉
乳房に
- 8725 a-tekkushbare
ア・テックシバレ
我・手を伸ばす
手を伸ばした。
- 8726 beure totto
ベウレ トット
若い 母
若々しい乳房は、
- 8727 konep bahawe
コネプ バハウエ
何 噂
何かの噂を
- 8728 ukonu rok be
ウコヌ ロク ベ
語り合う (完了) もの
耳にした二人が、
- 8729 eukobi wa
エウコビ ワ
別れる (接続)
お互いに背を向けて、
- 8730 kut noyeye
クト ノイエイエ
咽喉 ねじる
頸をねじっている
- 8731 semkorachi
セムコラチ
まるで (する) ように
かのである。
- 8732 shiran chiki
シラン チキ
有様である (条件)
そこで、
- 8733 a-eyayomina-
ア・エヤヨミナ・
我・自ら笑う
我は笑みを
- 8734 ushi kane
ウシ カネ
ところ (程度)
浮かべた。
- 8735 pirika pon totto
ピリカ ボン トット
よい 小さい 乳房
良い小さな乳房を
- 8736 a-numbanumba
ア・ヌムバヌムバ
我・何度も絞る
我はつかみ、
- 8737 a-temkatemka
ア・テムカテムカ
我・
揉んだ。
- 8738 a-tekeshinotte
ア・テケシノトテ
我・手を遊ばせる
我は手でもて遊んだ。
- 8739 rarak konru ne
ララク コルネ
滑らかである 氷 (繋辞類)
乳房は滑らかな氷のように
- 8740 a-tekbosore
ア・テックボソレ
我が手から抜け落ちる
我が手をすり抜けた。
- 8741 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹が
- 8742 emina hau kan
エミナ ハウ カン
それを笑う 声 上
笑う声が
- 8743 tununitara
トゥヌニタラ
美しい音が響く
響いた。
- 8744 otu sui konna
オトゥ スイ コンナ
二つの 回 こそ
二度、
- 8745 ore sui konna
オレ スイ コンナ
三つの 回 こそ
三度と、
- 8746 an-echopnure
アネチヨップヌレ
我・接吻する
我らは接吻を
- 8747 i-echopnure kane
イ・エチヨップヌレ カネ
我・接吻する (程度)
繰り返した。
- 8748 ikichi-an aine
イキチ・アン アイネ
する・我 (接続)
そのようにして、
- 8749 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹を
- 8750 benram ka ta
ベンラム カタ
胸 上 (場所)
胸の上で
- 8751 a-shikoyubu
ア・シコユブ
我・自ら締める
抱きしめた。
- 8752 bokishiri ka ta
ボキシリ カタ
下半身 上 (場所)
足を
- 8753 a-chinkorewe
ア・チンコレウエ
我・足を曲げる
からめて
- 8754 a-shikoyubu kane
ア・シコユブ カネ
我・自ら締める (程度)
我は妹を抱きしめた。
- 8755 tanebo konna
タネボ コンナ
今 こそ
今こそは、
- 8756 yepnu upsor
イエプヌ ウップソ
無垢な 内部
純潔な肌身、
- 8757 base upsor
バセ ウップソ
重い 内部
尊い肌身、
- 8758 shukup kur upsor
シュクフ クル ウップソ
若い 人 内部
若者の肌身、
- 8759 pirika upsor
ピリカ ウップソ
よい 内部
美しい肌身を
- 8760 utashba bakno
ウタシバ バクノ
互いに まで
互いに
- 8761 a-ukeutumka-
ア・ウケウトウムカ・
我・互いの心
理解
- 8762 omare
オマレ
置く
した。
- 8763 a-ye manu
ア・イエ マヌ
言われる という
いわゆる、
- 8764 shukup kuru buri
シュクフ クル ブリ
若い 人 行い
若者のおこない、

- 8765 **nokan kur buri**
ノカン クル ブリ
幼い 人 行い
青年のおこないを
- 8766 **a-ki wa**
ア・キ ワ
我・する (接続)
して
- 8767 **inu-an ike**
イヌ・アン イケ
聞く・我 こと
みると、
- 8768 **konepnamunsui**
コネナナムンスイ
何とまた
何とまた、
- 8769 **an-eramuka-**
アネラムカ・
我・心の上・
我が心は
- 8770 **chakakke wa**
チャカッケ ワ
幸せである (接続)
幸せで
- 8771 **humash nankor a**
フマシ ナンコラ
気配がする だろう か
あることか。
- 8772 **sonno**
ソンノ
真に
まことに、
- 8773 **utashba bakno**
ウタシバ バクノ
互いに まで
互いに
- 8774 **uwenubetne-an**
ウウエヌベトネ・アン
喜ぶ・我
我らは喜んだ。
- 8775 **mashkinteta**
マシキンテタ
ますます
ますます、
- 8776 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹を
- 8777 **a-toikoomap**
ア・トイコオマフ
我・よく可愛がる
可愛く思った。
- 8778 **i-kotoikoomap**
イ・コトイコオマフ
我・激しく愛する
妹は我を愛おしく思った。
- 8779 **tanebo konna**
タネボ コンナ
今 こそ
今こそは、
- 8780 **sonno**
ソンノ
真に
まことに
- 8781 **ram oshi wano**
ラム オシ ワノ
心 中 から
心の底から、
- 8782 **ramushinne-an**
ラムシンネ・アン
我安心する
安心した。
- 8783 **a-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
我が妹を
- 8784 **a-shikoyubu kane**
ア・シコユブ カネ
我・自ら締める (程度)
抱きしめた。
- 8785 **i-shikoyubu kane**
イ・シコユブ カネ
我・抱きしめる (程度)
妹は我を抱きしめた。
- 8786 **mokonno sotki**
モコンノ ソトキ
よく眠る 寢床
心地よい寢床、
- 8787 **totto sotki**
トット ソトキ
母 寢床
母の寢床、
- 8788 **pirika sotki**
ピリカ ソトキ
よい 寢床
良い寢床、
- 8789 **sotki kurka**
ソトキ クルカ
寢床 上
その寢床の上で
- 8790 **a-emokonno**
ア・エモコンノ
我・よく眠る
我らはよく眠った。
- 8791 **ari bakno**
アリ バクノ
(引用) まで
ここまで。